

令和5年10月25日  
庁議資料

# 狛江市地域福祉計画等の策定等に係る 市民意識調査結果報告書

令和5年10月

狛江市

## 目次

第1章 調査の目的と構成	1
1 調査の目的	1
2 市民意識調査の概要	1
3 市民意識調査の調査項目	3
4 この調査の見方	17
第2章 市民一般調査	18
A 本人の基本情報	18
B 社会的孤立・孤独について	30
C 感染症の影響について	64
D 「ひきこもり」状態にある方の状況について	72
E 再犯防止について	80
F 避難行動要支援者支援について	94
G 地域の支え合いについて	101
第3章 子ども向け市民調査	107
A あなたの基本情報について	107
B 悩みごとや支え合いについて	109
C 家族のケアについて	113
第4章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	127
A 基本 あなた（宛名のご本人）の基本情報について	127
B あなたの（宛名のご本人）や生活状況について	133
C からだを動かすことについて	140
D 食べることについて	147
E 毎日の生活について	153
F 地域での活動について	164
G 助け合いについて	171
H 健康について	178
I 介護予防について	185
J 終末期ケアや終活について	188
K 認知症にかかる相談窓口の把握について	193
L 福祉施策について	194
第5章 在宅介護実態調査	203
A 基本情報	203
B 介護の状況と主な介護者について	204
C 生活の状況について	208
D 終末期ケアや終活について	214
E 福祉施策について	216
F 主な介護者の在宅介護の実態について	217
G クロス集計結果について	221
第6章 障がい者等調査	272
A 本人、家族について（基本事項）	272

B	市の障がい福祉サービスについて .....	291
C	日常生活と困りごと .....	306
D	就労等の状況 .....	318
E	地域とのつながり .....	329
F	障がい者差別について .....	333
G	市の障がい者福祉施策について .....	336
第7章 障がい児等調査 .....		342
A	本人、家族について（基本事項） .....	342
B	市の障がい福祉サービスについて .....	364
C	日常生活の困りごと .....	380
D	就学・就労等の状況 .....	392
E	障がい者差別について .....	400
F	市の障がい福祉施策について .....	402



# 第 1 章 調査の目的と構成

## 1 調査の目的

本調査は、地域福祉計画等の策定<sup>1</sup>の基礎資料として活用することを目的に、以下の4つのねらいのもと実施し、狛江市（以下「市」といいます。）の福祉を取り巻く現状と課題を整理します。

- ① 市民の生活実態や福祉に対する意識・意見を把握する。
- ② 過去の調査と同じ調査項目を設定し、経年変化を見る。
- ③ 福祉を取り巻く新たな課題・テーマについて、市民の意識やニーズを探る。
- ④ 市で実施している事業等の周知度を測る。

## 2 市民意識調査の概要

本業務では、郵送法及びWEBによる6種類のアンケート調査を実施しました。

調査項目	調査対象者 調査対象数	調査内容	調査方法 調査期間	回収数 (回収率)
市民一般調査	満16歳以上の 市民約72,535 人	①地域福祉に関すること。 ②社会的孤立・孤独 <sup>2</sup> に関すること。 ③「ひきこもり <sup>3</sup> 」状態にある方へのニーズに関すること。 ④感染症の影響 ⑤再犯防止に関すること。 ⑥避難行動要支援者支援に関すること。	WEBによるアンケート調査 令和5年1月 13日～31日	1,278件 (1.8%)

<sup>1</sup> 地域福祉計画等の策定…狛江市第5次地域福祉計画、狛江市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画、狛江市障がい者計画・第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画、狛江市第2期成年後見制度利用促進事業計画、狛江市第2次重層的支援体制整備事業実施計画及び狛江市第1次再犯防止推進計画の策定をいいます。以下同じです。

<sup>2</sup> 社会的孤立・孤独…孤独・孤立対策推進法（令和5年法律45号）では、孤独・孤立の定義はなされていない。一般に「孤独」は主観的概念であり、ひとりぼっちと感じる精神的な状態を指し、寂しいという感情を含めて用いられることがある。他方、「孤立」は客観的概念であり、社会とのつながりや助けのない、又は少ない状態を指す。本調査では、市民一般調査問17で「寂しい気持ち（孤独感）」について「とても感じる」を選択された方を「孤独」該当者、問12で「直接会って話す」、「電話（ビデオ通話を含む）」、「郵便やFAX」、「SNS（LINEによるチャットなど）」、「電子メールやショートメール」いずれの方法でも「週1回程度」以下の方を「社会的孤立」該当者としています。

<sup>3</sup> ひきこもり…厚生労働省では「様々な要因の結果として社会的参加（就学、就労、家庭外での交遊など）を回避し、原則的には6箇月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態を指す現象概念（他者と交わらない形での外出をしてもよい）」と定義されています。市民一般調査では、ひきこもり状態にある方を「概ね15歳から65歳未満の方で、次に該当するような方①仕事や学校に行かず、かつ、家族以外の人との交流をほとんどせずに6箇月以上続けて、自宅にひきこもっている状態の方、②①のような社会的参加ができない状態であるが、時々買い物などで外出することがある方（例：普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける、普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけが出かける。ただし、①②いずれも重度の障がいや疾病等で出かけることができない方を除きます。）」としています。

# 第1章 調査の目的と構成

## 2 市民意識調査の概要

調査項目	調査対象者 調査対象数	調査内容	調査方法 調査期間	回収数 (回収率)
子ども向け市民調査	市内小・中学校 (小学4年～中学3年)の児童・生徒約 3,230人	①地域福祉に関すること。 ②ヤングケアラーに関する こと。	WEBによるアンケート調査 令和5年1月 10日～31日	2,389件 (74.0%)
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	65歳以上の無作為で抽出した市民900人 (うち認定非該当者450人、総合事業対象者88人、要支援認定者362人)	①生活の状況や毎日の生活に関すること。 ②地域活動や助け合いに関する こと。 ③健康や介護予防に関する こと。	郵送によるアンケート調査 令和5年1月 18日～2月7日(2月14日 到着分まで回収に含めた。)	562件 (62.4%)
在宅介護実態調査	65歳以上の無作為で抽出した市民(要介護認定者)600人	①介護の状況、生活の状況に関する こと。 ②主な介護者に関する こと。	郵送によるアンケート調査 570件 居宅介護専門員による聞き取り調査30件 令和5年1月 18日～2月7日(2月14日 到着分まで回収に含めた。)	213件 (35.5%)
障がい者等調査 <sup>4</sup>	障害者総合支援法に基づくサービスを利用している方、難病や自立支援の医療助成を受けている方等700人	①障がい福祉サービスに関する こと。 ②難病に関する こと。 ③医療的ケアに関する こと。 ④ひきこもり状態にある方へのニーズに関する こと。	郵送によるアンケート調査 令和5年1月 18日～2月7日(2月14日 到着分まで回収に含めた。)	276件 (39.4%)

<sup>4</sup> 障がい者等調査…障がいのある人・難病のある人調査(18歳以上)をいいます。以下同じです。

調査項目	調査対象者 調査対象数	調査内容	調査方法 調査期間	回収数 (回収率)
障がい児等調査 <sup>5</sup>	児童福祉法に基づくサービスを利用している方、医療助成を受けている方等 290人	①障がい福祉サービスにすること。 ②難病にすること。 ③医療的ケアにすること。 ④ひきこもり状態にある方へのニーズにすること。	郵送によるアンケート調査 令和5年1月18日～2月7日（2月14日到着分まで回収に含めた。）	117件 (40.3%)

### 3 市民意識調査の調査項目

#### (1) 市民一般調査

項目	問	項目	前回
A 本人の基本情報	1	年齢	●
	2	地域	●
	3	婚姻状況	
	4	同居している方	●
	5	同居人数	
	6	同居している方のうち収入を得ている方の人数	
	7	学歴	
	8	現在の仕事	
	9	現在の住まい	
	10	世帯の年間収入	
	11	人とのコミュニケーションをする際の情報通信機器	
B 社会的孤立・孤独について	12	コミュニケーション頻度	
	12-2	同居していない家族や友人	
	12-3	同居している方	
	13	頼れる方	
	14	民間団体からの支援	
	14-2	支援の提供先	
	14-3	支援の内容	
	14-4	支援を受けない理由	
	15	周りで困った方がいる場合の声掛けや手助けの状況	
16	現在取り組んでいる活動	●	

<sup>5</sup> 障がい児等調査…周囲の理解と支援の必要な方・障がいのある方等調査（18歳未満）をいいます。以下同じです。

第1章 調査の目的と構成

3 市民意識調査の調査項目

項目	問	項目	前回
B 社会的 孤立・孤 独につい て	17	孤独であると感じる頻度	
C 感染症 の影響に ついて	18	新型コロナウイルス感染拡大に伴う人とのコミュニケーションの変化	
	19	新型コロナウイルス感染拡大による日常生活の変化	
D ひきこ もり」状 態にある 方の状況 について	20	あなたやあなたの周りの方に「ひきこもり」の状態にある方の有無	●
	21	その方とあなたの続柄	
	22	「ひきこもり」の状態にある方の年齢	●
	23	その方の交流の状況	
	24	その方の外出の状況	
	25	その方が現在の状況になってどのぐらい経過したのか	
	26	その方が現在の状況に至ったきっかけ	
E 再犯防 止につい て	27	再犯防止に協力する民間協力者について	
	28	住んでいる地域の安心安全	
	29	犯罪をした方の立ち直り協力の意向	
	29-2	協力したい理由	
	29-3	協力の内容	
	29-4	協力したくない理由	
	30	「社会を明るくする運動」又は「再犯防止啓発月間」の周知度	
	30-2	知った経緯	
	31	再犯防止政策について	
	32	再犯防止支援について	
F 避難行 動要支援 者支援に ついて	33	災害発生時の情報入手手段	
	34	ラジオ貸与の希望	
	35	避難を開始するきっかけ	
	36	家族以外の避難行動要支援者のために協力できること	
	36-2	協力できない理由	
	37	避難行動要支援者への対策として行政に期待すること	
G 地域の 支え合い について	38	近所付き合いの有無	●
	39	地域における問題や課題解決に向けた住民同士の自主的な支え合い、助け合いの関係の必要性	●
	40	居場所を作って、その居場所での活動にお世話役として参加してみたいと思うか。	●
	41	地域活動・ボランティア活動等への取り組み意向	●



項目	問	項目	前回
G 地域の 支え合い について	41-2	地域活動・ボランティア等で取り組みたいこと<自由回答>	

(2) 子ども向け市民調査

目	問	項目	前回
A あなた の基本情報 について	1	学年	●
	2	同居家族	
	3	健康状態	
B 悩みご とや支え合 いについて	4	悩んだり、困っていること	●
	5	悩みの相談先（心配事や悩みの相談相手・話を聞いてくれる方の有無）	●
	6	ほっとできる「居場所」	
	7	普段の生活の中で特に重要だと思うこと	
C 家族の ケアにつ いて	8	世話をしている家族の有無	
	9	世話を必要としている方及び状況	
	9-2	世話の内容	
	10	世話を一緒にしている方	
	11	世話を始めた年齢	
	12	世話をしている頻度	
	13	平日1日あたり世話に費やす時間	
	14	世話をしているために、やりたいけどできていないこと	
	15	世話のきつさ	
	16	世話について相談した経験	
	17	世話についての相談相手	
	18	世話について相談したことがない理由	
	19	世話について話を聞いてくれる方の有無	
20	学校や大人に助けて欲しいこと、必要な支援		

第1章 調査の目的と構成

3 市民意識調査の調査項目

(3) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

項目	問	調査項目	国調査項目 (◆オプション)	前回
A【基本】 あなた(宛 名のご本人) の基本情報に ついて	基本1	性別		●
	基本2	年齢		●
	基本3	居住地区(日常生活圏域)		●
	基本4	対象者		
	基本5	調査票の記入者	問0(表紙)	●
B あなた の(宛名の ご本人)や 生活状況に ついて	1	家族構成	問1-(1)	●
	1-2	住まいの状況	問1-(4)◆	●
	1-3	介護・介助の必要性	問1-(2)	●
	1-3-2	①介護・介助が必要になった原因	問1-(2)①◆	●
	1-3-3	②主な介護、介助者	問1-(2)②◆	●
C 身体を 動かすこと について	1-4	現在の経済状況	問1-(3)	●
	2	階段昇降方法	問2-(1)	●
	2-2	立ち上がり方法	問2-(2)	●
	2-3	歩行機能の状態	問2-(3)	●
	2-4	過去1年間に転んだ経験の有無	問2-(4)	●
	2-5	転倒の不安について	問2-(5)	●
	2-6	外出する際の移動手段	問2-(9)◆	●
	2-7	外出の頻度	問2-(6)	●
	2-8	外出回数の昨年との比較	問2-(7)	●
	2-9	外出を控えているか	問2-(8)◆	●
D 食べるこ とについて	2-9-2	外出を控えている理由	問2-(8)①◆	●
	3	身長・体重	問3-(1)	●
	3-2	半年前との比較	問3-(2)	●
	3-3	お茶や汁物等でむせることの有無	問3-(3)◆	●
	3-4	口の渇きの有無	問3-(4)◆	●
	3-5	歯磨き(人にやってもらう場合も含む)の頻度	問3-(5)◆	●
	3-6	歯の数と入れ歯の利用状況	問3-(6)	●
	3-6-2	噛み合わせ	問3-(6)①◆	●
	3-6-3	入れ歯の手入れ状況	問3-(6)②◆	●
3-(7)	6箇月間で2～3kg以上の体重減少の有無	問3-(7)◆	●	
3-(8)	どなたかと食事を共にする機会の有無	問3-(8)	●	

項目	問	調査項目	国調査項目 (◆オプション)	前回
E 毎日の生活について	4	物忘れが多いと感じるか	問4-(1)	●
	4-2	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか	問4-(2)◆	●
	4-3	今日が何月何日か分からないときがあるか	問4-(3)◆	●
	4-4	バスや電車を使って1人で外出しているか	問4-(4)	●
	4-5	自分で食品・日用品の買物をしているか	問4-(5)	●
	4-6	自分で食事の用意をしているか	問4-(6)	●
	4-7	自分で請求書の支払いをしているか	問4-(7)	●
	4-8	自分で預貯金の出し入れをしているか	問4-(8)	●
	4-9	年金等の書類が書けるか	問4-(9)◆	●
	4-10	新聞を読んでいるか	問4-(10)◆	●
	4-11	本や雑誌を読んでいるか	問4-(11)◆	●
	4-12	健康についての記事や番組に関心があるか	問4-(12)◆	●
	4-13	友人の家を訪ねているか	問4-(13)◆	●
	4-14	家族や友人の相談にのっているか	問4-(14)◆	●
	4-15	病人を見舞うことができるか	問4-(15)◆	●
	4-16	若い方に自分から話しかけることがあるか	問4-(16)◆	●
	4-17	日常生活全般で困っていることの有無		●
	4-17-2	困っていることは何か		●
	4-18	趣味の有無	問4-(17)◆	●
4-19	生きがいの有無	問4-(18)◆	●	
F 地域での活動について	5-1	会・グループ等の参加頻度	問5-(1)	●
	5-2	参加者としての地域づくりへの参加意向	問5-(2)	●
	5-3	お世話役としての地域づくりへの参加意向	問5-(3)	●
G 助け合いについて	6	心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる方	問6-(1)	●
	6-2	反対に、心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる方	問6-(2)	●
	6-3	看病や世話をしてくれる方	問6-(3)	●
	6-4	反対に、看病や世話をしてあげる方	問6-(4)	●
	6-5	家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手	問6-(5)◆	●
	6-6	友人・知人と会う頻度	問6-(6)◆	●
	6-7	1箇月間で会う友人・知人の人数	問6-(7)◆	●
	6-8	よく会う友人・知人との関係	問6-(8)◆	●

第1章 調査の目的と構成

3 市民意識調査の調査項目

項目	問	調査項目	国調査項目 (◆オプション)	前回
H 健康について	7	現在の健康状態	問7-(1)	●
	7-2	現在どの程度幸せか	問7-(2)	●
	7-3	この1箇月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすること	問7-(3)	●
	7-4	この1箇月間、どうしても物事に対して興味がわかない、又は心から楽しめない感じ	問7-(4)	●
	7-5	飲酒	問7-(5)◆	●
	7-6	喫煙	問7-(6)	●
	7-7	現在治療中又は後遺症のある病気の有無	問7-(7)	●
	7-8	信頼できるかかりつけ医の有無		●
I 介護予防について	8	介護予防についての関心の有無		●
	8-2	介護予防の何に関心があるか		●
	8-3	介護予防を意識した運動を行っているか		●
	8-3-2	運動の頻度		●
J 終末期ケアや終活について	9	看取りについての希望		●
	9-2	自宅で看取りをする場合の課題		●
	9-3	自宅以外で看取りを考える理由		●
	9-4	終活を進めているか		●
K 認知症相談窓口の把握について	10	認知症の症状がある方の有無	問8-(1)	●
	10-2	認知症に関する相談窓口を知っているか	問8-(2)	●
L 福祉政策について	11	地域包括支援センターの高齢者介護等に関する相談窓口としての周知度		●
	11-2	老人福祉センターの周知度		
	11-2-3	老人福祉センター内で利用したことのある施設		
	11-3	基本理念の実現度		●
	11-4	市が取り組むべきこと等についてのご意見<自由回答>		●

(4) 在宅介護実態調査

項目	問	調査項目	国調査項目 (◆オプション)	前回
A 基本情報	A票-◎-1	調査票の記入者		●
	A票-◎-2	生活する上で何らかの介護や手助けが必要になってからの期間		●
	A票-1	世帯類型	A票問1	●
B 介護の状況と主な介護者について	A票-2	ご家族やご親族の方からの介護頻度	A票問2	●
	A票-3	主な介護者	A票問3◆	●
	A票-4	主な介護者の性別	A票問4◆	●
	A票-5	主な介護者の年齢	A票問5	●
	A票-6	主な介護者が行っている介護等について	A票問6◆	●
	A票-7	ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方の有無	A票問7	●
C 生活の状況について	A票-8	現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス	A票問8◆	●
	A票-9	今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	A票問9◆	●
	A票-10	現時点での、施設への入所・入居の検討状況	A票問10	●
	A票-10-2	既に申込をした、又は検討している施設等について		●
	A票-10-3	既に申込をした、又は検討している施設等の所在地		●
	A票-10-4	既に申込をした、又は検討している施設等の待機年数		
	A票-11	現在抱えている傷病	A票問11◆	●
	A票-12	訪問診療の利用の有無	A票問12◆	●
	A票-13	(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスの利用の有無	A票問13◆	●
	A票-14	介護保険サービスを利用していない理由	A票問14◆	●
D 終末期ケアや終活について	A票-15	看取りについての希望		●
	A票-16	自宅で看取りをする場合の課題		●
	A票-17	自宅以外で看取りを考える理由		●
	A票-18	終活を進めているか		●

第1章 調査の目的と構成

3 市民意識調査の調査項目

項目	問	調査項目	国調査項目 (◆オプション)	前回
E 福祉施策について	A票-19	相談窓口の周知度		●
	A票-20	基本理念がどの程度、実現していると思うか		●
F 主な介護者の在宅介護の実態について	B票-1	主な介護者の現在の勤務形態	B票問1	●
	B票-2	主な介護者が介護するにあたり、働き方の調整の有無	B票問2	●
	B票-3	主な介護者が、仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援	B票問3◆	●
	B票-4	主な介護者の、働きながらの介護の継続可能性	B票問4	●
	B票-5	主な介護者が不安に感じる介護等	B票問5	●
	B票-6	主な介護者が介護を続ける上でストレスを感じている事柄		●
	B票-7	主な介護者が介護で困ったときの相談先		●
G クロス集計結果について	1-(1)-ア	施設等検討の状況		
	1-(1)-イ	要介護度別・施設等検討の状況		
	1-(1)-ウ	世帯類型別・施設等検討の状況		
	1-(2)-ア	要介護度別・介護者が不安に感じる介護		
	1-(2)-イ	認知症自立度別・介護者が不安に感じる介護		
	1-(3)-ア	要介護度別・サービス利用の組み合わせ		
	1-(3)-イ	認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ		
	1-(4)-ア	サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況 (要介護3以上)		
	1-(4)-イ			
	1-(5)	サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護(要介護3以上)		
	1-(6)-ア	サービス利用回数と施設等検討の状況(訪問系、要介護3以上)		
	1-(6)-イ			
	1-(7)	サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(訪問系、要介護3以上)		
	1-(8)	考察		
	2-(1)-ア	就労状況別・世帯類型		
	2-(1)-イ	就労状況別・主な介護者の本人との関係		
	2-(1)-ウ	就労状況別・主な介護者の年齢		
2-(1)-エ	就労状況別・要介護度			
2-(2)-ア	就労状況別・家族等による介護の頻度			

項目	問	調査項目	国調査項目 (◆オプション)	前回
G クロス集計結果について	2-(2)-イ	就労状況別・主な介護者が行っている介護		
	2-(2)-ウ	就労状況別・就労継続見込み		
	2-(2)-エ	要介護度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）		
	2-(3)-ア	就労状況別・介護保険サービス利用の有無		
	2-(3)-イ	就労継続見込み別・介護保険サービス利用の有無（フルタイム勤務+パートタイム勤務）		
	2-(3)-ウ	就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）		
	2-(4)-ア	就労状況別・サービス利用の組み合わせ		
	2-(4)-イ	サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）		
	2-(5)-ア	利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）		
	2-(5)-イ	在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）		
	2-(5)-ウ	就労状況別・施設等検討の状況		
	2-(5)-エ	就労継続見込み別・施設等検討の状況（要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）		
	2-(6)-ア	就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務+パートタイム勤務）		
	2-(6)-イ	就労状況別・効果的な勤め先からの支援		
	2-(7)	考察		
	3-(1)-ア	保険外の支援・サービスの利用状況		
	3-(1)-イ	在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス		
	3-(2)-ア	世帯類型別・保険外の支援・サービスの利用状況		
	3-(2)-イ	世帯類型別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス		
	3-(3)-ア	要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況		
3-(3)-イ	要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（単身世帯）			
3-(3)-ウ	要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（夫婦のみ世帯）			

第1章 調査の目的と構成

3 市民意識調査の調査項目

項目	問	調査項目	国調査項目 (◆オプション)	前回
G クロス 集計結果に ついて	3-(3)-エ	要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（その他世帯）		
	3-(4)	要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス		
	3-(5)	考察		
	4-(1)-ア	世帯類型・主な介護者		
	4-(1)-イ	世帯類型・主な介護者の年齢		
	4-(1)-ウ	要介護者の年齢・主な介護者の年齢		
	4-(1)-エ	要介護度別・世帯類型		
	4-(1)-オ	世帯類型別・要介護度		
	4-(2)	世帯類型別・家族等による介護の頻度		
	4-(3)-ア	要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）		
	4-(3)-イ	要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）		
	4-(3)-ウ	要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）		
	4-(4)	世帯類型別・施設等検討の状況（全要介護度）		
	4-(5)	考察		
	5-(1)-ア	主な介護者が行っている介護		
	5-(1)-イ	要介護度別・主な介護者が行っている介護		
	5-(1)-ウ	世帯類型別・主な介護者が行っている介護（要介護3以上）		
	5-(2)-ア	訪問診療の利用の有無		
	5-(2)-イ	世帯類型別・訪問診療の利用割合		
	5-(2)-ウ	要介護度別・訪問診療の利用割合		
	5-(3)	訪問診療の利用の有無別・サービス利用の組み合わせ（要介護3以上）		
	5-(4)-ア	訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（訪問系、要介護3以上）		
	5-(4)-イ	訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（通所系、要介護3以上）		
	5-(4)-ウ	訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無（短期系、要介護3以上）		
	5-(5)	考察		



項目	問	調査項目	国調査項目 (◆オプション)	前回
G クロス 集計結果に ついて	6-(1)	要介護度別のサービス未利用の理由		
	6-(2)	要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス		
	6-(3)	認知症自立度別の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス		
	6-(4)	要介護度別・抱えている傷病		
	6-(5)	訪問診療の利用の有無別・抱えている傷病		

(5) 障がい者等調査

項目	問	項目	前回
A 本 人、家 族につ いて(基 本事項)	1	調査票の記入者	●
	2	性別	●
	3	年齢	●
	4	居住地域	●
	5	居住形態	●
	6	障害支援区分	●
	7	希望する同居者と住まい	●
	8	同居している方	●
	9	所持している手帳及びその等級又は受けている診断名等	●
	10	障がいの種別	●
	11	普段の生活で医療的ケアが必要な方	
	12	外出の頻度	
	13	外出の理由	
	14	現在の外出の状態の継続期間	
14-2	現在の外出の状態に至ったきっかけ		
B 市の 障がい 福祉サ ービス につい て	15	現在利用している障がい福祉サービス	●
	16	障がい福祉サービスに関する情報の入手先	●
	17	コミュニケーションを行う上で困ること	
	18	65歳以上の方の介護保険サービスの利用状況	●
	19	介護保険サービスを利用する場合に困ること	●
	20	優先して充実すべき障がい福祉サービス等	●
	21	市が提供する障がい福祉サービス等で、近隣に当該サービスを提供する事業所がないため、利用できないサービスの有無	●
	22	利用できない障がい福祉サービスの内容	●
	23	利用できない障がい福祉サービス	●
	23-2	利用できないサービス補い方	●

第1章 調査の目的と構成

3 市民意識調査の調査項目

項目	問	項目	前回
C 日常生活と困りごと	24	日常生活における動作を自分1人でできるかどうか	●
	25	介助や支援をする方がいるかどうか	●
	26	介助や支援を主にしている方の続柄	●
	27	介助や支援を主にしている方の性別	●
	27-2	介助や支援を主にしている方の年齢	●
	28	外出するときに、困ったり不便に思ったりすること	●
	29	日々の生活の中で悩みや不安を感じる事	●
	30	福祉に関する困りごとがあった場合の相談先	●
	31	相談支援事業所の利用の有無	●
	31-2	相談支援事業所を利用しない理由	●
D 就労等の状況	32	給料や工賃を伴う仕事をしているかどうか	●
	33	仕事の内容	●
	34	現在の仕事による年収	●
	35	勤務先へ障がいや病気であることを伝えているかどうか	●
	36	仕事をする上での不安	●
	37	仕事をしていない主な理由	●
	38	就労支援センター「サポート」の認知度及び支援	●
	39	今後の働き方	●
	40	働きたい仕事の種類	●
	41	働きたい仕事での希望する賃金	●
	42	仕事をする（続ける）ために必要だと思うこと	●
	E 地域とのつながり	43	普段の近所付き合いの程度
44		近所付き合いをしていない理由	●
45		利用している施設	●
F 障がい者差別について	46	障がいがあることで、差別を感じたり嫌な思いをしたりしたことがあるかどうか	●
	47	差別を感じたり嫌な思いをしたりしたとき<自由回答>	●
G 市の障がい福祉施策について	48	市が障がいのある方にとって住みやすいまちと思うかどうか	●
	49	48の理由	
	50	市へのご意見・ご要望など<自由回答>	●

(6) 障がい児等調査

項目	問	項目	前回
A 本人、家族について (基本事項)	1	調査票の記入者	●
	2	性別	●
	3	年齢	●
	4	居住地域	●
	5	通園・通所・通学先	●
	6	居住形態	●
	7	希望する同居者と住まい	●
	8	同居している方	●
	9	所持している手帳及びその等級又は受けている診断名等	●
	10	障がいの種別	●
	11	障害支援区分	
	12	普段の生活で医療的ケアが必要な方	
	13	外出の頻度	
	14	外出の理由	
	15	現在の外出の状態の継続期間	
15-2	現在の外出の状態の継続期間		
B 市の障がい児福祉サービスについて	16	これまでに利用した補装具及び交換したことのある補装具	●
	17	現在利用している障がい福祉サービス	●
	18	今後、利用してみたい、又は利用を継続したい障がい福祉サービス	●
	19	市の障がい福祉サービスに関する情報の入手先	●
	20	コミュニケーションを行う上で困ること	
	21	優先して充実すべき障がい福祉サービス等	●
	22	市が提供する障がい福祉サービス等で、近隣に当該サービスを提供する事業所がないため、利用できないサービスの有無	●
	23	利用できない障がい福祉サービスの内容	●
	24	利用できない障がい福祉サービス	●
	24-2	利用できないサービス補い方	●

第1章 調査の目的と構成

3 市民意識調査の調査項目

項目	問	項目	前回
C 日常生活の困りごと	25	困ったときに相談できる場所の認知度	●
	26	日中、幼稚園・保育園・認定こども園・学校以外では、どのように過ごしているか	●
	27	自分の家で過ごす理由	●
	28	主に利用している施設	●
	29	介助や支援をする方がいるかどうか	●
	30	介助や支援を主にしている方の続柄	●
	31	介助や支援を主にしている方の性別	●
	31-2	介助や支援を主にしている方の年齢	●
	32	日々の生活の中で悩みや不安を感じる事	●
	33	福祉に関する困りごとの相談先	●
D 就学・就労等の状況	34	就学又は就労の状況	●
	35	現在の就学先	●
	36	将来、どこまで進学したいと考えているか	●
	37	就学する上で必要だと思うこと	●
	38	具体的に必要なサポート<自由回答>	●
	39	現在の就労先	●
	40	将来、どのような仕事をしたいか	●
E 障がい者差別について	42	障がいがあることで、差別を感じたり嫌な思いをしたりしたことがあるかどうか	●
	43	差別を感じたり嫌な思いをしたりしたのは、どのようなときか<自由回答>	●
F 市の障がい福祉施策について	44	市が障がいのある方にとって住みやすいまちだと思うかどうか	●
	45	44の理由	
	46	市へのご意見・ご要望など<自由回答>	●

## 4 この調査の見方

- 調査結果の比率は、その設問の回答者を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は100%を超える場合があります。
- 図表中の「n」は、当該設問の対象となる人数を表します。そのため、回答すべき対象者の絞り込みを行っている場合には、アンケートの回収数と「n」の数値は異なる場合があります。
- 圏域、年齢階層、家族構成、社会的孤立・孤独等の属性については、該当する設問の回答者のみを集計しているため、「n」の合計が必ずしも全体と一致しません。（詳細については、各章問1の注釈を参照してください。）
- 選択肢の語句が長い場合、省略した表現を用いることがあります。
- 原則として、帯グラフは単数回答、棒グラフは複数回答の設問にそれぞれ用いています。
- 母数（n）が少ない場合、コメントは省略しているところもあります。
- 表において、1位：濃い灰色、2位：薄い灰色で網掛け（着色）しています。
- 見やすさの観点から単一回答における帯グラフの0.0（%）の表示を省略しています。
- 本調査の一部では、市が取り組むべきこと等についてのご意見等について自由回答形式で伺い、内容ごとに分類・整理を行った上で、主な意見を掲載しました。
- 本調査における標準誤差は、下記のとおりです。例えば、ある設問の選択率が50%のとき、回答者総数（1,278人）の標本値は、母集団の47.3%～52.7%の範囲にあると考えられます。

調査ごとの標準誤差（信頼区間95%）

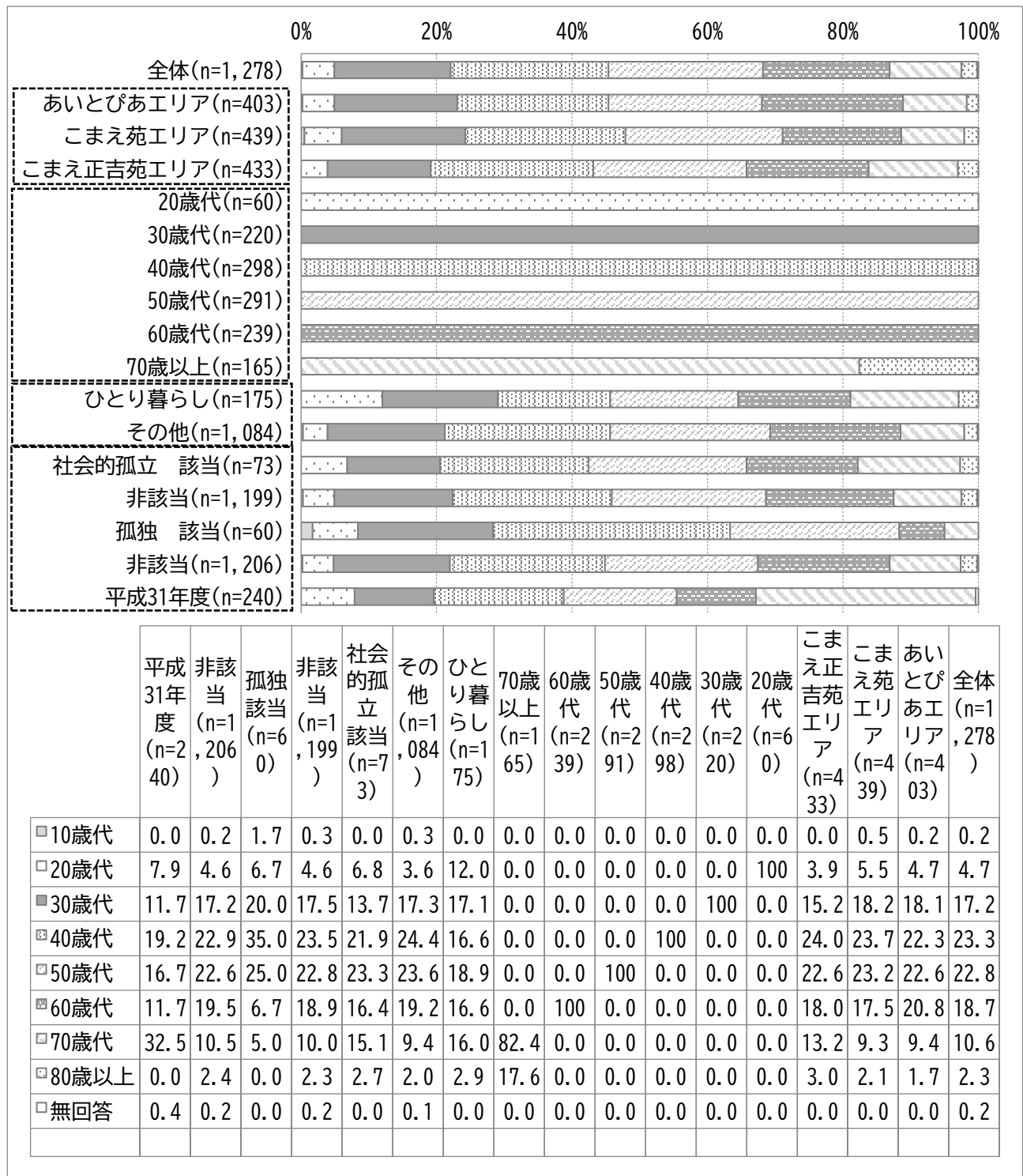
	対象数	回収数(n)	回収率	標準誤差		
				10%選択	30%選択	50%選択
市民一般調査	72,535	1,278	1.8%	1.64%	2.51%	2.74%
子ども向け市民調査	3,230	2,389	74.0%	1.20%	1.84%	2.01%
高齢者ニーズ調査	900	562	62.4%	2.48%	3.79%	4.13%
在宅介護実態調査	600	213	37.4%	3.56%	5.44%	5.93%
障がい者等調査	700	276	39.4%	3.54%	5.41%	5.90%
障がい児等調査	290	117	40.3%	5.44%	8.30%	9.06%

## 第2章 市民一般調査

### A 本人の基本情報

問1 令和4年12月1日現在のあなたの年齢をお伺いします。(○は1つ)

回答者の年齢は、「40歳代」が23.3%で最も多く、次いで、「50歳代」が22.8%となっています。



※平成31年度の70歳代・80歳以上は合算の合計値となっています。

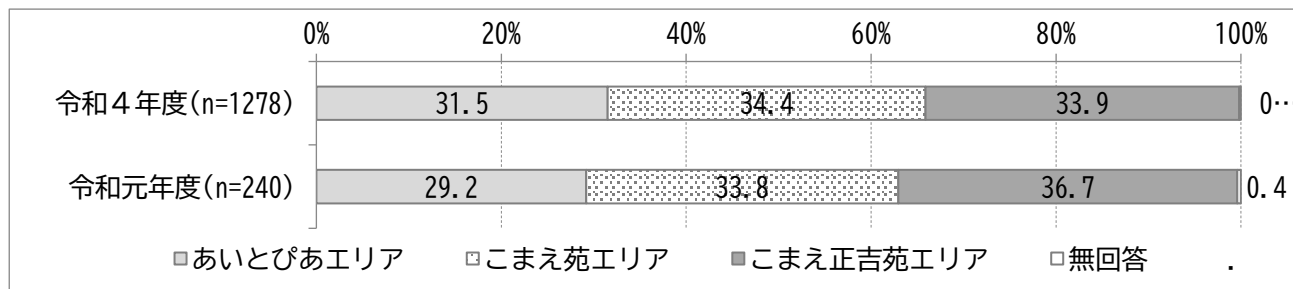
- ※あいとぴあエリアのnの数は、問2で「中和泉」、「西和泉」、「元和泉」及び「東和泉」を選択された方の合計者数です。こまえ苑エリアのnの数は、「猪方」、「駒井町」、「岩戸南」及び「岩戸北」を選択された方の合計者数です。こまえ正吉苑エリアのnの数は、「和泉本町」、「東野川」及び「西野川」を選択された方の合計者数です。なお、問2では、「無回答」の方がいるため、各エリアのnの合計者数と全体の回答者数とは、合致しません。以下同じです。
- ※「20歳代」、「30歳代」、「40歳代」、「50歳代」、「60歳代」及び「70歳以上」のnの数は、本問で「20歳代」、「30歳代」、「40歳代」、「50歳代」、「60歳代」及び「70歳以上」をそれぞれ選択された方の数です。なお、本問では、「無回答」の方がいるため、各年代のnの合計数と全体の回答者数とは、合致しません。以下この章で同じです。
- ※「一人暮らし」のnの数は、問4で「同居している方はいない」を選択された方の数です。「その他」のnの数は、「配偶者」、「子」、「子の配偶者」、「実父」、「実母」、「配偶者の父・母」、「孫」、「祖父・祖母」、「兄弟」、「他の親族（曾祖父母・ひ孫・伯父・叔母・甥・姪等）」、その他の人（ホームステイをしている方など）又は「恋人・友人」のいずれかを選択された方の合計者数です。なお、本問では、「無回答」の方がいるため、同居されている方ごとのnの合計数と全体の回答者数とは、合致しません。以下この章で同じです。
- ※「社会的孤立 該当」のnの数は、問12で「直接会って話す」、「電話（ビデオ通話を含む）」、「郵便やFAX」、「SNS（LINEによるチャットなど）」、「電子メールやショートメール」いずれの方法でも「週1回程度」以下を選択された方の合計者数、「社会的孤立 非該当」のnの数は、いずれか方法で「週2～3回程度」以上を選択された方の合計者数です。なお、問12では、「無回答」の方がいるため、該当及び非該当のnの合計数と全体の回答者数とは、合致しません。以下同じです。
- ※「孤独 該当」のnの数は、問17で「寂しい気持ち（孤独感）」について「とても感じる」を選択された方の数です。「孤独 非該当」のnの数は、「やや感じる」、「あまり感じない」又は「感じない」を選択された方の合計者数です。なお、問17では、「無回答」の方がいるため、該当及び非該当のnの合計数と全体の回答者数とは、合致しません。以下この章で同じです。

第2章 市民一般調査

A 本人の基本情報

問2 お住まいの地域はどちらですか。(○は1つ)

回答者の居住地については、「和泉本町」が17.6%で最も多く、次いで、「中和泉」が16.7%となっています。



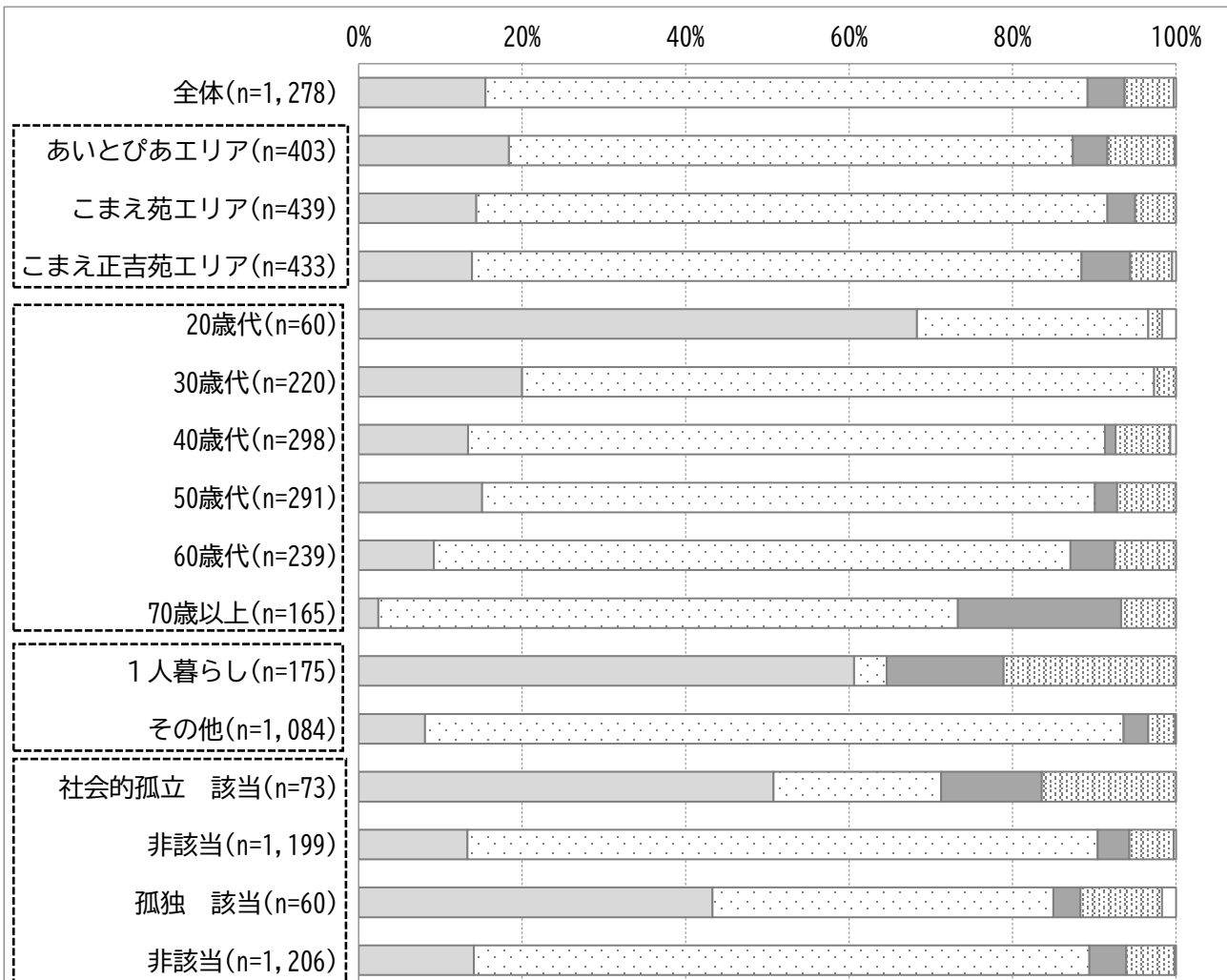
(単位: 人、%)

区分	人数	和泉本町	中和泉	西和泉	元和泉	東和泉	猪方	駒井町	岩戸南	岩戸北	東野川	西野川	その他	無回答
全体	1,278	17.6	16.7	1.6	5.1	8.1	7.6	4.6	11.4	10.7	8.9	7.4	0.0	0.2
あいとぴあエリア	403	0.0	52.9	5.2	16.1	25.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
こまえ苑エリア	439	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.1	13.4	33.3	31.2	0.0	0.0	0.0	0.0
こまえ正吉苑エリア	433	52.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.3	21.7	0.0	0.0
20歳代	60	15.0	18.3	1.7	6.7	5.0	13.3	1.7	11.7	13.3	8.3	5.0	0.0	0.0
30歳代	220	16.4	13.6	0.9	4.5	14.1	8.2	7.3	9.5	11.4	9.1	4.5	0.0	0.5
40歳代	298	18.5	16.4	1.0	6.4	6.4	5.4	5.0	11.4	13.1	6.4	10.1	0.0	0.0
50歳代	291	16.2	18.2	1.7	4.8	6.5	10.0	4.1	12.0	8.9	8.9	8.6	0.0	0.0
60歳代	239	18.8	18.0	4.2	4.6	8.4	8.4	4.2	9.2	10.5	9.2	4.6	0.0	0.0
70歳以上	165	20.0	15.8	0.0	4.2	7.3	3.6	3.0	15.8	7.9	13.3	9.1	0.0	0.0
1人暮らし	175	15.4	16.6	2.9	5.7	15.4	6.3	2.9	9.1	9.7	8.6	6.9	0.0	0.6
その他	1,084	18.0	16.7	1.5	4.9	6.9	7.9	5.0	11.9	10.8	8.9	7.4	0.0	0.1
社会的孤立該当	73	12.3	21.9	2.7	4.1	9.6	6.8	4.1	4.1	13.7	8.2	12.3	0.0	0.0
社会的孤立非該当	1,199	17.9	16.3	1.6	5.0	8.1	7.7	4.7	11.8	10.5	9.0	7.1	0.0	0.3
孤独該当	60	13.3	16.7	3.3	11.7	10.0	3.3	5.0	5.0	13.3	5.0	13.3	0.0	0.0
孤独非該当	1,206	17.9	16.7	1.6	4.6	8.0	7.9	4.6	11.7	10.6	9.1	7.0	0.0	0.2
平成31年度	240	19.7	15.0	2.5	2.5	9.2	7.9	2.9	11.3	11.7	11.3	7.5	0.0	0.4



問3 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」には事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合を含めます。(○は1つ)

現在の婚姻状況については、「配偶者あり」が73.6%で最も多く、次いで、「未婚」が15.5%となっています。



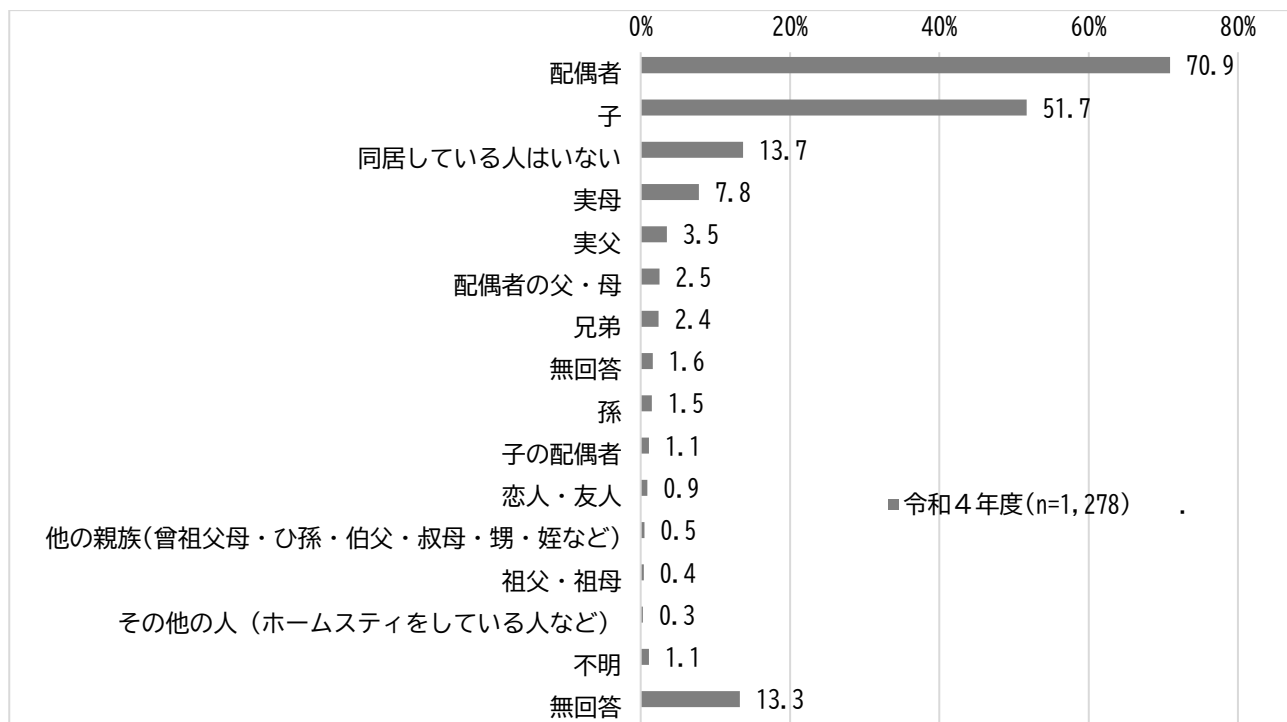
	非該当 (n=1,206)	孤独 該当 (n=60)	非該当 (n=1,199)	社会的 孤立 該当 (n=73)	その 他 (n=1,084)	1人 暮らし (n=175)	70歳 以上 (n=165)	60歳 代 (n=239)	50歳 代 (n=291)	40歳 代 (n=298)	30歳 代 (n=220)	20歳 代 (n=60)	こ ま え 正 吉 苑 エ リ ア (n=433)	こ ま え 苑 エ リ ア (n=439)	あ い と ぴ あ エ リ ア (n=403)	全 体 (n=1,278)
□ 未婚	14.1	43.3	13.3	50.7	8.1	60.6	2.4	9.2	15.1	13.4	20.0	68.3	13.9	14.4	18.4	15.5
□ 配偶者あり	75.3	41.7	77.0	20.5	85.4	4.0	70.9	77.8	74.9	77.9	77.3	28.3	74.6	77.2	69.0	73.6
■ 死別	4.5	3.3	3.9	12.3	3.0	14.3	20.0	5.4	2.7	1.3	0.0	0.0	6.0	3.4	4.2	4.5
▣ 離別	5.9	10.0	5.4	16.4	3.3	21.1	6.7	7.5	7.2	6.7	2.7	1.7	5.1	5.0	8.2	6.0
□ 無回答	0.2	1.7	0.3	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	1.7	0.5	0.0	0.2	0.3

第2章 市民一般調査

A 本人の基本情報

問4 あなたと同居している方をお答えください。なお「配偶者」には事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合を含めます（〇はいくつでも）

あなたと同居している方については、「配偶者」が70.9%で最も多く、次いで、「子」が51.7%となっています。



(単位：人、%)

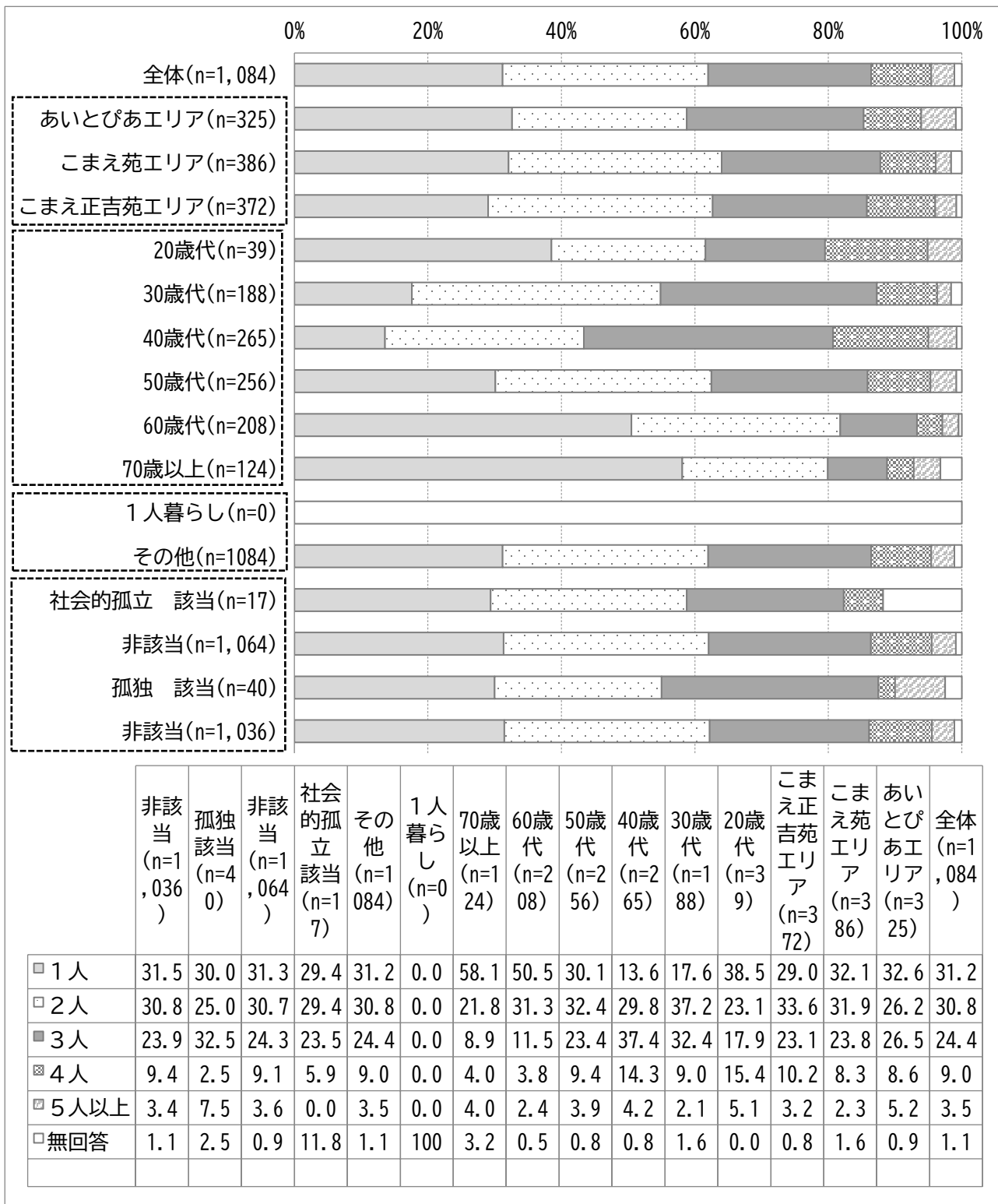
区分	人数	配偶者	子	子の配偶者	実父	実母	配偶者の父・母	孫	祖父・祖母	兄弟	父・叔母・甥・姪等	他の親族(曾祖父母・ひ孫・伯父・叔母・甥・姪等)	その他の人(ホームステイをしている人など)	恋人・友人	同居している方はいない	無回答
全体	1,278	70.9	51.7	1.1	3.5	7.8	2.5	1.5	0.4	2.4	0.5	0.3	0.3	0.9	13.7	1.6
あいとびあエリア	403	67.0	51.1	1.7	3.7	7.2	3.7	1.2	0.2	2.2	0.5	0.2	0.2	1.5	17.6	2.0
こまえ苑エリア	439	74.5	50.1	0.9	3.6	8.9	2.1	1.6	0.9	1.8	0.9	0.5	0.5	1.1	11.2	0.9
こまえ正吉苑エリア	433	71.1	54.0	0.7	3.2	7.4	1.8	1.6	0.0	3.2	0.0	0.2	0.2	0.2	12.5	1.8
20歳代	60	28.3	11.7	0.0	23.3	28.3	5.0	0.0	1.7	21.7	1.7	0.0	0.0	5.0	35.0	0.0
30歳代	220	75.9	65.0	0.0	4.5	5.5	0.5	0.0	0.9	1.4	0.0	0.0	0.0	0.9	13.6	0.9
40歳代	298	75.5	73.5	0.7	3.0	8.1	2.3	0.0	0.3	1.7	0.7	0.0	0.0	1.7	9.7	1.3
50歳代	291	71.8	57.7	0.3	2.7	8.9	3.8	0.0	0.0	1.0	0.3	0.3	0.3	0.7	11.3	1.0
60歳代	239	75.3	36.8	1.7	0.4	5.9	3.3	2.5	0.0	1.3	0.8	0.8	0.8	0.0	12.1	0.8
70歳以上	165	64.8	21.2	4.2	0.0	2.4	1.2	7.9	0.0	0.6	0.0	0.6	0.6	0.0	20.0	5.5
1人暮らし	175	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	0.6	0.0	100	0.0
その他	1,084	83.6	61.0	1.3	4.2	9.2	3.0	1.8	0.5	2.9	0.6	0.4	0.4	1.1	0.2	0.0
社会的孤立該当	73	19.2	12.3	0.0	1.4	1.4	0.0	2.7	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	78.1	0.0
社会的孤立非該当	1,199	74.1	54.1	1.2	3.7	8.3	2.7	1.4	0.4	2.5	0.5	0.3	0.3	1.0	9.7	1.7
孤独該当	60	40.0	33.3	0.0	11.7	20.0	1.7	0.0	0.0	8.3	0.0	1.7	1.7	0.0	31.7	3.3
孤独非該当	1,206	72.5	52.5	1.2	3.2	7.3	2.6	1.6	0.4	2.2	0.5	0.2	0.2	1.0	12.7	1.5

問5 【問4で1～12と回答した方】

あなたと同居している方は合計で何人ですか。あなた以外的人数をお答えください。

(○は1つ)

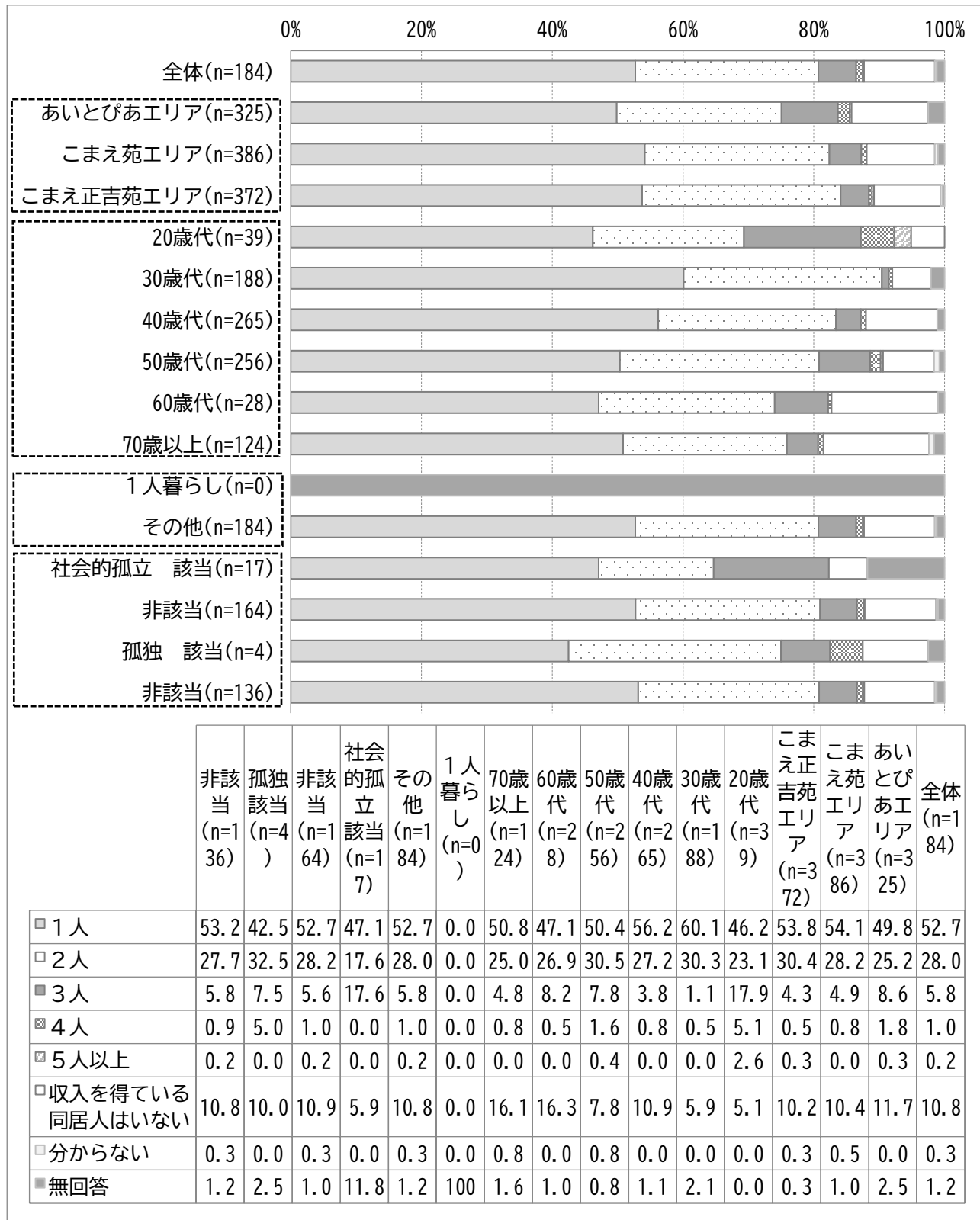
同居している方的人数については、「1人」が31.2%で最も多く、次いで、「2人」が30.8%となっています。



問6 【問4で1～12と回答した方】

あなたと同居している方のうち、収入を得ている方は合計で何人ですか。あなた以外の人数をお答えください。(○は1つ)

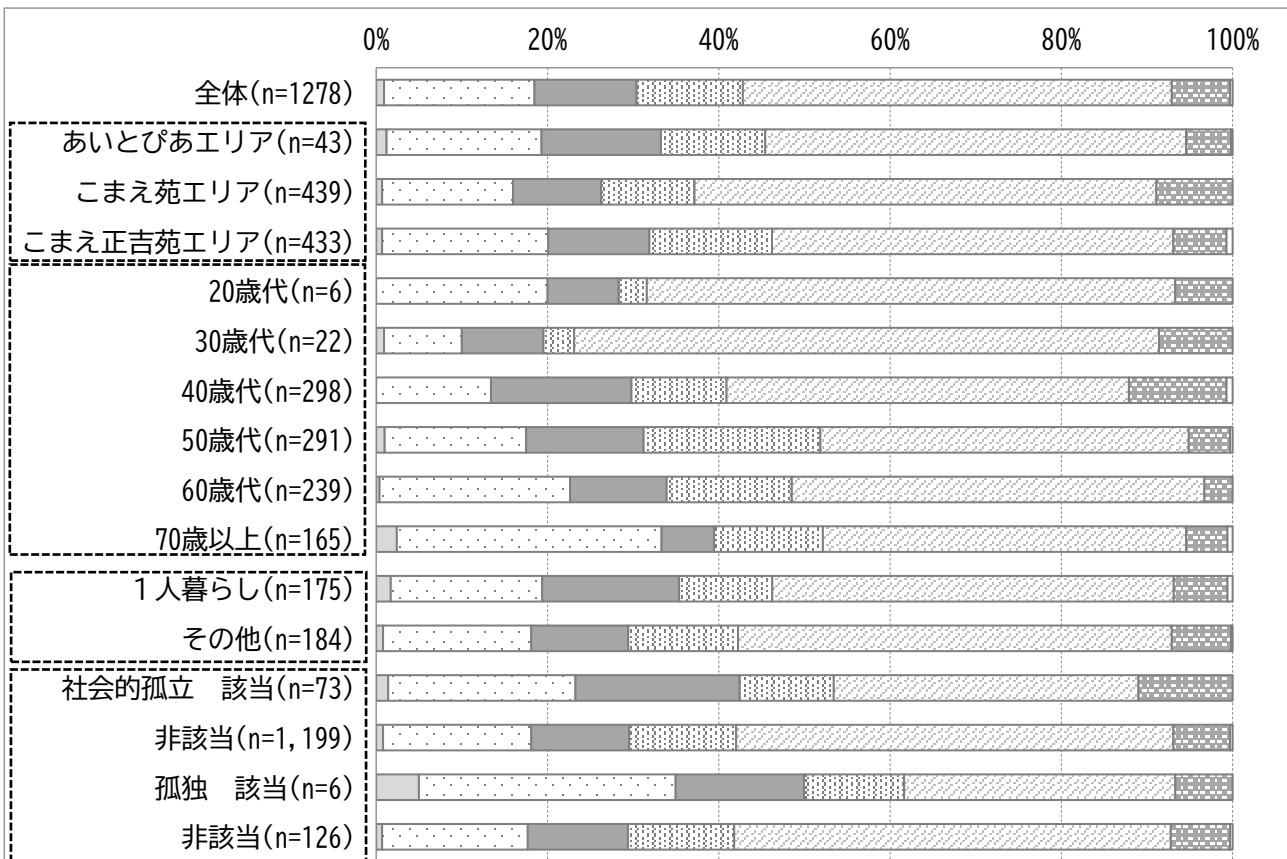
同居している方で収入を得ている人数については、「1人」が52.7%で最も多く、次いで、「2人」が28.0%となっています。



問7 あなたが最後に卒業した学校又は現在、在学している学校をお答えください。

(○は1つ)

あなたが最後に卒業した学校又は、在学している学校については、「大学」が50.1%で最も多く、次いで、「高校（旧制中学校を含む）」が17.6%となっています。



	非該当 (n=126)	孤独 該当 (n=6)	非該当 (n=1,199)	社会的孤 立 該当 (n=73)	その 他 (n=184)	1人 暮らし (n=175)	70歳 以上 (n=165)	60歳 代 (n=239)	50歳 代 (n=291)	40歳 代 (n=298)	30歳 代 (n=22)	20歳 代 (n=6)	こ ま え 正 吉 苑 エ リ ア (n=433)	こ ま え 苑 エ リ ア (n=439)	あい と ぴ あ エ リ ア (n=43)	全 体 (n=1278)
<input type="checkbox"/> 小学・ 中学	0.7	5.0	0.8	1.4	0.8	1.7	2.4	0.4	1.0	0.0	0.9	0.0	0.7	0.7	1.2	0.9
<input type="checkbox"/> 高校（旧 制中学校 を含む）	17.0	30.0	17.3	21.9	17.3	17.7	30.9	22.2	16.5	13.4	9.1	20.0	19.4	15.3	18.1	17.6
<input checked="" type="checkbox"/> 専門学校	11.7	15.0	11.4	19.2	11.3	16.0	6.1	11.3	13.7	16.4	9.5	8.3	11.8	10.3	13.9	11.9
<input checked="" type="checkbox"/> 短大・ 高専	12.4	11.7	12.5	11.0	12.8	10.9	12.7	14.6	20.6	11.1	3.6	3.3	14.3	10.9	12.2	12.4
<input checked="" type="checkbox"/> 大学	51.0	31.7	51.0	35.6	50.6	46.9	42.4	48.1	43.0	47.0	68.2	61.7	46.9	54.0	49.1	50.1
<input checked="" type="checkbox"/> 大学院	6.9	6.7	6.6	11.0	6.9	6.3	4.8	3.3	4.8	11.4	8.6	6.7	6.2	8.9	5.2	6.8
<input type="checkbox"/> その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
<input type="checkbox"/> 無回答	0.3	0.0	0.3	0.0	0.2	0.6	0.6	0.0	0.3	0.7	0.0	0.0	0.7	0.0	0.2	0.3

第2章 市民一般調査

A 本人の基本情報

問8 あなたの現在の仕事をお答えください。(○は1つ)

あなたの現在の仕事については、「正規の職員・従業員」が41.0%で最も多く、次いで、「仕事をしていない(仕事を探していない)」が16.0%となっています。

(単位:人、%)

区分	人数	正規の職員・従業員	派遣社員	パート・アルバイト(学生アルバイトを除く)	契約社員・嘱託	会社などの役員	自営業主	家族従業者・内職	学生・生徒	仕事をしていない(仕事を探している)	仕事をしていない(仕事を探していない)	その他	無回答
全体	1,278	41.0	2.5	14.6	7.2	3.1	6.1	1.4	1.2	4.6	16.0	0.0	2.3
あいとぴあエリア	403	39.0	2.7	14.4	8.2	3.0	7.2	1.5	1.5	6.0	14.9	0.0	1.7
こまえ苑エリア	439	43.1	3.2	14.6	6.6	4.1	6.4	1.1	1.8	2.5	14.6	0.0	2.1
こまえ正吉苑エリア	433	40.6	1.6	15.0	6.7	2.3	4.8	1.6	0.2	5.5	18.5	0.0	3.0
20歳代	60	65.0	3.3	6.7	1.7	0.0	1.7	0.0	16.7	3.3	0.0	0.0	1.7
30歳代	220	74.1	1.8	7.3	1.4	0.9	2.7	1.4	0.0	3.2	6.8	0.0	0.5
40歳代	298	57.7	4.0	15.1	4.7	2.0	5.4	1.0	0.7	4.0	4.7	0.0	0.7
50歳代	291	41.6	1.7	21.6	5.8	3.4	6.5	2.1	0.0	7.2	7.9	0.0	2.1
60歳代	239	11.7	2.1	17.6	20.1	7.1	10.0	2.1	0.0	5.4	22.2	0.0	1.7
70歳以上	165	0.0	2.4	10.3	4.8	3.0	7.3	0.6	0.0	2.4	60.0	0.0	9.1
1人暮らし	175	44.0	4.0	9.1	5.1	0.6	7.4	0.0	2.3	6.9	16.0	0.0	4.6
その他	1084	40.6	2.2	15.7	7.5	3.6	5.9	1.7	1.0	4.2	15.7	0.0	2.0
社会的孤立該当	73	41.1	1.4	8.2	8.2	0.0	9.6	0.0	0.0	12.3	16.4	0.0	2.7
社会的孤立非該当	1199	41.2	2.6	15.1	7.1	3.3	5.8	1.5	1.3	4.1	15.8	0.0	2.3
孤独該当	60	35.0	1.7	18.3	3.3	1.7	5.0	3.3	3.3	11.7	6.7	0.0	10.0
孤独非該当	1,206	41.4	2.6	14.6	7.4	3.2	6.1	1.3	1.1	4.1	16.3	0.0	1.9

問9 あなたの現在の住まいをお答えください。(○は1つ)

あなたの現在の住まいについては、「持ち家（一戸建）」が47.4%で最も多く、次いで、「持ち家（マンションなどの共同住宅）」が25.1となっています。

(単位：人、%)

区分	人数	持ち家（一戸建）	持ち家（マンションなどの共同住宅）	民営の賃貸住宅	都道府県・市営の賃貸住宅	都市再生機構（UR）・公社などの賃貸住宅	給与住宅（社宅・公務員住宅など）	会社・学校等の寮・寄宿舎	分からない	その他	無回答
全体	1,278	47.4	25.1	21.8	1.8	1.5	0.9	0.2	0.5	0.3	0.6
あいとぴあエリア	403	46.9	15.4	31.8	0.5	2.5	1.2	0.0	0.2	0.5	1.0
こまえ苑エリア	439	53.3	24.6	18.9	0.0	0.2	0.7	0.5	0.9	0.2	0.7
こまえ正吉苑エリア	433	42.3	34.6	15.0	4.8	1.8	0.7	0.0	0.2	0.2	0.2
20歳代	60	28.3	13.3	53.3	0.0	1.7	0.0	1.7	1.7	0.0	0.0
30歳代	220	34.1	18.6	41.8	0.5	1.8	2.3	0.0	0.0	0.5	0.5
40歳代	298	45.3	24.8	25.2	1.3	0.7	1.0	0.0	1.0	0.3	0.3
50歳代	291	56.0	25.4	14.4	0.7	1.4	0.7	0.3	0.7	0.0	0.3
60歳代	239	52.3	32.2	9.6	2.9	2.1	0.4	0.0	0.0	0.4	0.0
70歳以上	165	53.3	27.9	7.9	5.5	1.8	0.0	0.0	0.0	0.6	3.0
1人暮らし	175	14.9	20.0	54.3	3.4	3.4	0.6	0.6	1.7	0.0	1.1
その他	1,084	52.9	25.7	16.6	1.6	1.2	0.8	0.1	0.4	0.4	0.4
社会的孤立該当	73	24.7	15.1	45.2	6.8	4.1	1.4	0.0	2.7	0.0	0.0
社会的孤立非該当	1,199	49.0	25.9	20.4	1.5	1.3	0.8	0.2	0.3	0.3	0.2
孤独該当	60	36.7	11.7	40.0	5.0	5.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0
孤独非該当	1,206	48.1	26.0	21.0	1.7	1.3	0.9	0.2	0.4	0.3	0.2

## 第2章 市民一般調査

### A 本人の基本情報

問 10 あなたの世帯の2022（令和4）年における年間年収（税・社会保険料込み）をお答えください。自営業の場合には営業利益（税込み）をお答えください。（○は1つ）

あなたの年間年収については、「700～999万円」が17.2%で最も多く、次いで、「1000～1499万円」が16.0%となっています。

（単位：人、％）

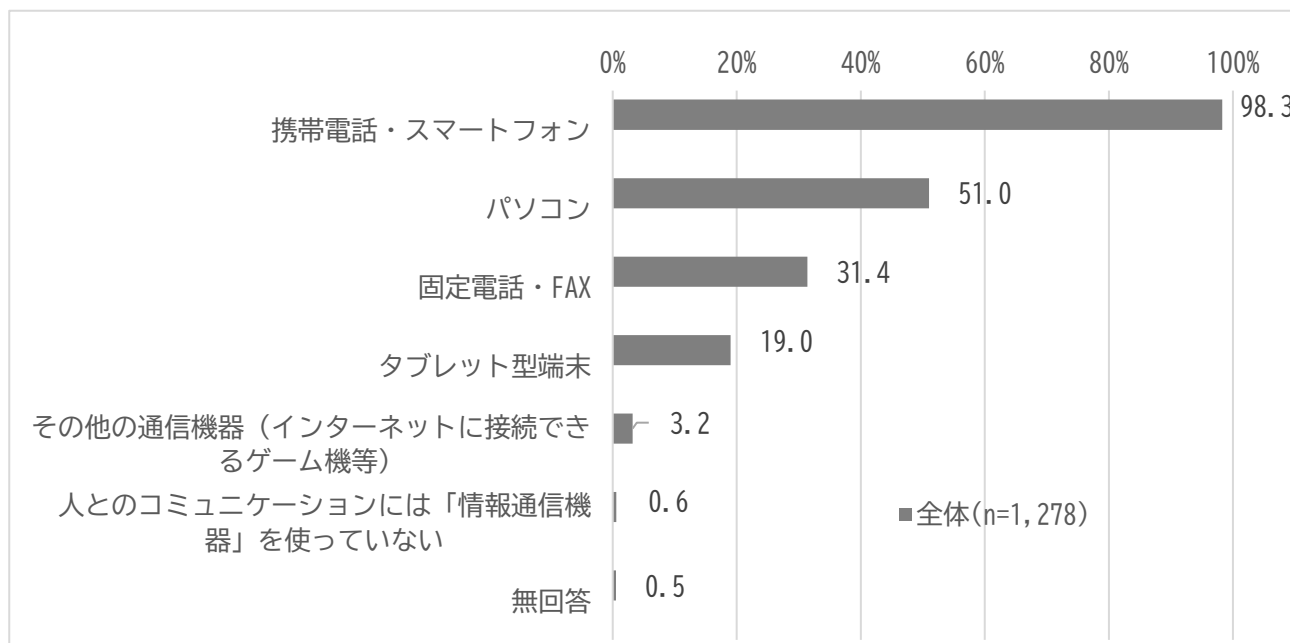
区分	人数	100万円未満	100～199万円	200～299万円	300～399万円	400～499万円	500～699万円	700～999万円	1,000～1,499万円	1,500万円以上	分からない	無回答
全体	1,278	5.0	6.3	9.4	8.6	9.1	13.8	17.2	16.0	5.9	6.6	2.1
あいとぴあエリア	403	6.0	8.4	9.4	9.9	9.4	12.9	17.1	12.7	6.5	4.7	3.0
こまえ苑エリア	439	4.6	3.9	6.8	7.1	10.7	15.7	17.5	16.2	7.1	8.4	2.1
こまえ正吉苑エリア	433	4.6	6.9	12.0	8.8	7.2	12.9	16.6	18.9	4.2	6.5	1.4
20歳代	60	5.0	5.0	18.3	18.3	15.0	5.0	8.3	5.0	5.0	15.0	0.0
30歳代	220	3.6	2.3	5.0	7.3	9.1	17.3	19.5	23.6	5.5	5.0	1.8
40歳代	298	2.0	3.0	4.0	7.4	7.0	16.8	20.8	22.1	7.4	7.7	1.7
50歳代	291	6.5	5.8	4.5	4.5	6.9	12.0	24.1	18.9	7.9	7.9	1.0
60歳代	239	7.5	10.0	12.6	10.9	10.5	15.1	13.4	8.8	5.0	3.8	2.5
70歳以上	165	6.1	13.9	26.1	13.3	12.7	9.1	3.6	3.6	1.2	4.8	5.5
1人暮らし	175	13.1	14.3	17.7	15.4	11.4	10.9	8.6	3.4	0.6	2.9	1.7
その他	1,084	3.8	5.0	7.9	7.6	8.6	14.2	18.5	18.3	6.8	7.4	1.9
社会的孤立該当	73	17.8	12.3	19.2	9.6	6.8	12.3	12.3	2.7	1.4	5.5	0.0
社会的孤立非該当	1,199	4.3	6.0	8.8	8.6	9.3	14.0	17.6	16.8	6.2	6.7	1.8
孤独該当	60	11.7	15.0	8.3	15.0	3.3	11.7	13.3	10.0	1.7	10.0	0.0
孤独非該当	1,206	4.7	5.9	9.5	8.4	9.4	14.0	17.5	16.3	6.1	6.5	1.7



問 11 あなたがコミュニケーションをとる際にお使いの情報通信機器をお答えください。

(○はいくつでも)

コミュニケーションの際、使用している情報通信機器については、「携帯電話・スマートフォン」が98.3%で最も多く、次いで、「パソコン」が51.0%となっています。



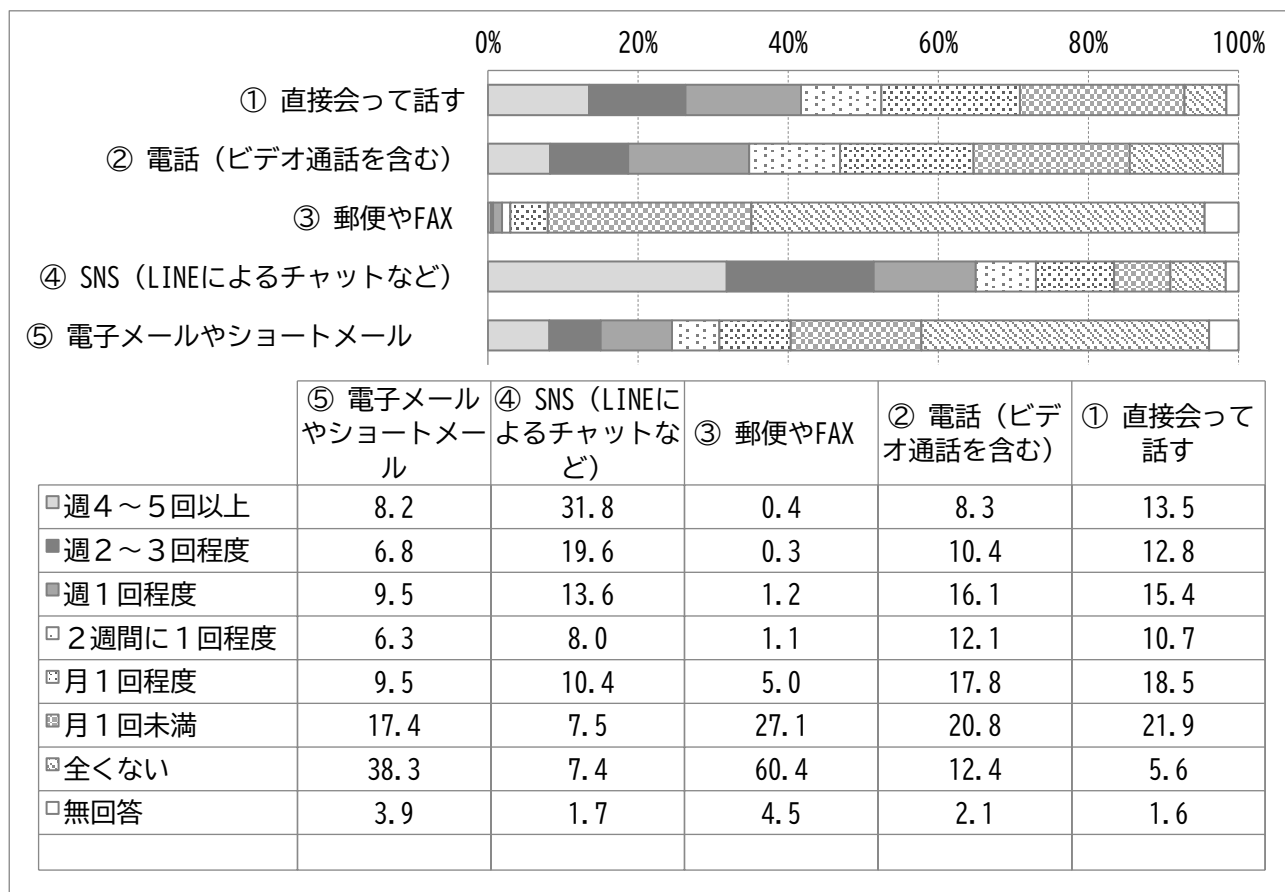
(単位：人、%)

区分	人数	固定電話・FAX	携帯電話・スマートフォン	タブレット型端末	パソコン	その他の通信機器 (インターネットに接続できるゲーム機等)	人とのコミュニケーションには「情報通信機器」を使っていない	無回答
全体	1,278	31.4	98.3	19.0	51.0	3.2	0.6	0.5
あいとぴあエリア	403	31.3	98.8	17.6	51.4	4.0	1.0	0.7
こまえ苑エリア	439	32.1	98.4	19.8	50.3	3.9	0.7	0.7
こまえ正吉苑エリア	433	30.7	97.7	19.4	51.0	1.8	0.2	0.2
20歳代	60	13.3	100	20.0	55.0	3.3	0.0	0.0
30歳代	220	5.9	100	20.0	45.5	7.7	0.5	0.0
40歳代	298	20.8	99.3	22.1	49.3	4.0	0.0	0.3
50歳代	291	36.1	97.9	18.9	50.5	3.1	1.0	0.3
60歳代	239	44.8	98.7	17.2	56.9	0.4	0.8	0.0
70歳以上	165	63.0	93.9	13.9	51.5	0.0	0.6	3.0
1人暮らし	175	18.9	97.7	19.4	50.9	2.9	0.6	1.1
その他	1,084	33.5	98.6	19.2	51.0	3.3	0.6	0.4
社会的孤立該当	73	23.3	97.3	15.1	47.9	1.4	1.4	0.0
社会的孤立非該当	1,199	32.0	98.8	19.3	51.5	3.3	0.6	0.1
孤独該当	60	25.0	98.3	16.7	38.3	1.7	3.3	0.0
孤独非該当	1,206	31.8	98.8	19.2	52.1	3.3	0.5	0.1

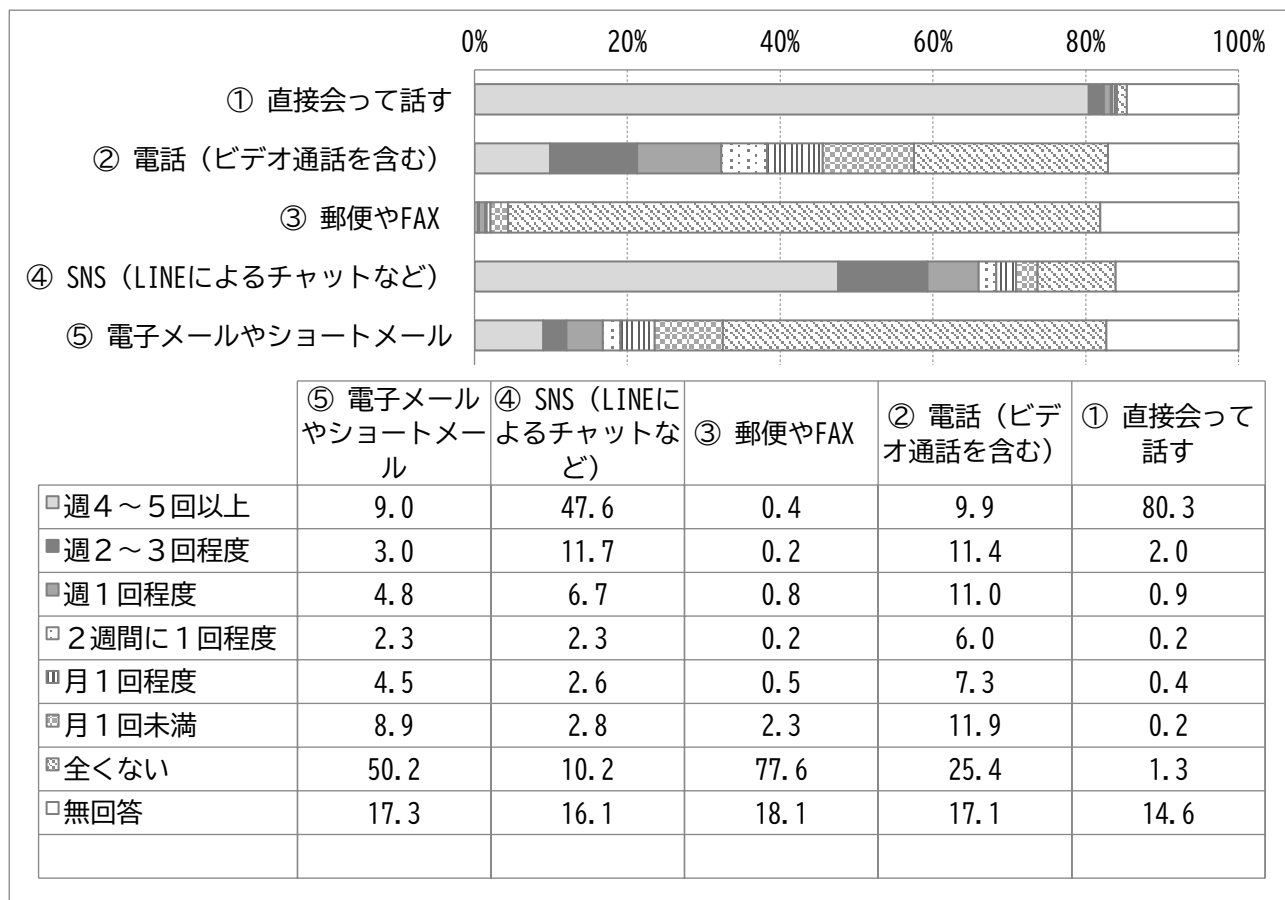
**B 社会的孤立・孤独について**

問 12 あなたと同居していない家族や友人とのコミュニケーション頻度について、①～⑤ごとにそれぞれお答えください。また、あなたと同居している方がいる場合、その方とのコミュニケーション頻度についてもお答えください。(①～⑤について、それぞれ○は1つだけ)

同居していない家族や友人とのコミュニケーション頻度については、「③郵便やFAX:全くない」が60.4%、「⑤電子メールやショートメール:全くない」が38.3%となっています。



同居している家族や友人とのコミュニケーション頻度については、「① 直接会って話す：週4～5回以上」が80.3%、「③ 郵便やFAX：全くない」が77.6%となっています。



第2章 市民一般調査

B 社会的孤立・孤独について

同居していない家族や友人とのコミュニケーション頻度 <週に2回以上> (単位：人、%)

	人数	直接会って話す	電話（ビデオ通話を含む）	郵便やFAX	SNS（LINEによるチャットなど）	電子メールやショートメール
全体	1,278	26.3	18.7	0.7	51.4	15.0
あいとぴあエリア	403	24.9	19.2	0.0	51.6	14.8
こまえ苑エリア	439	27.3	18.5	1.1	52.0	15.0
こまえ正吉苑エリア	433	26.3	18.5	0.9	50.6	15.3
20歳代	60	26.7	18.4	0.0	71.7	3.4
30歳代	220	28.2	14.6	0.5	54.6	8.2
40歳代	298	21.9	15.4	1.0	50.3	10.0
50歳代	291	24.4	14.7	0.6	47.4	15.1
60歳代	239	24.7	20.1	0.4	49.8	21.3
70歳以上	165	36.4	35.7	1.2	50.9	28.5
1人暮らし	175	25.7	21.2	0.0	58.3	13.7
その他	1,084	26.2	18.2	0.9	50.4	15.0
社会的孤立該当	73	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
社会的孤立非該当	1,199	27.9	19.9	0.7	54.8	16.1
孤独該当	60	20.0	11.7	0.0	41.7	10.0
孤独非該当	1,206	26.5	19.2	0.7	52.3	15.3

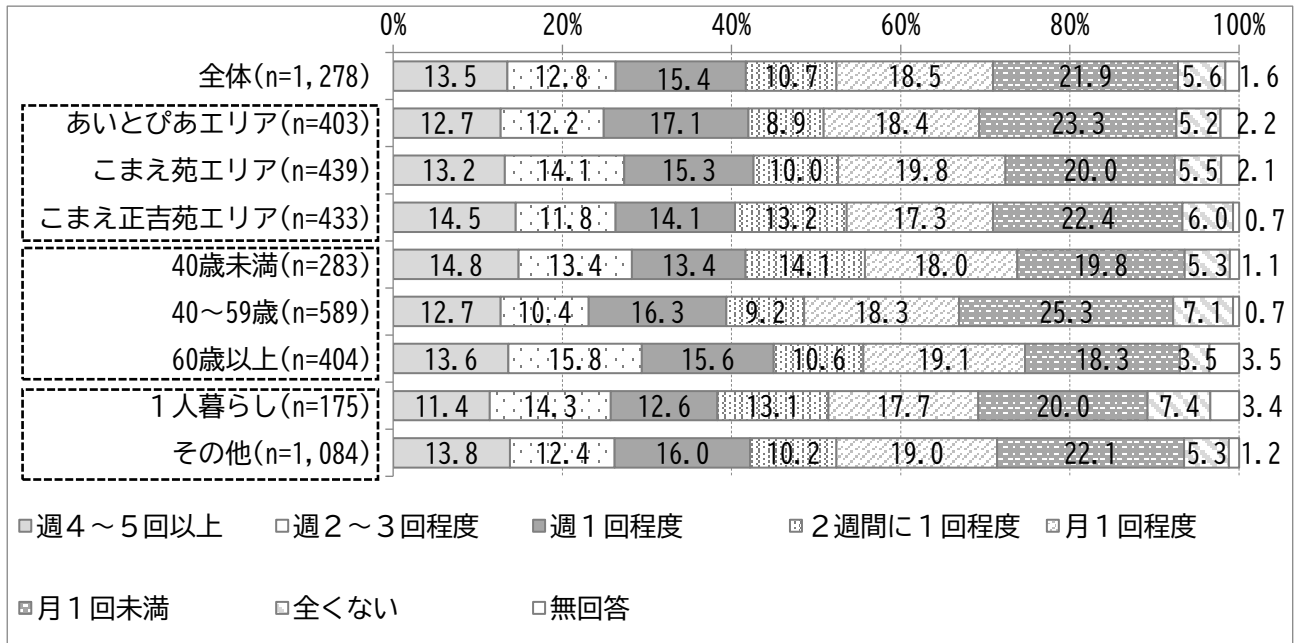
同居している家族や友人とのコミュニケーション頻度 <週に2回以上> (単位：人、%)

	人数	直接会って話す	電話（ビデオ通話を含む）	郵便やFAX	SNS（LINEによるチャットなど）	電子メールやショートメール
全体	1,278	82.3	21.3	0.6	59.3	12.0
あいとぴあエリア	403	78.4	21.1	0.5	57.6	13.2
こまえ苑エリア	439	85.0	21.4	0.2	61.1	12.1
こまえ正吉苑エリア	433	83.3	21.2	1.2	59.1	10.8
20歳代	60	65.0	20.0	1.7	61.7	1.7
30歳代	220	85.0	23.2	0.0	76.3	4.6
40歳代	298	87.3	27.2	0.3	69.1	12.8
50歳代	291	84.9	15.8	0.3	64.3	13.1
60歳代	239	82.8	21.7	1.2	47.7	15.5
70歳以上	165	70.3	17.0	1.2	25.5	17.6
1人暮らし	175	2.3	1.2	0.0	2.3	0.6
その他	1,084	95.9	24.7	0.7	69.2	13.7
社会的孤立該当	73	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
社会的孤立非該当	1,199	87.8	22.7	0.7	63.2	12.8
孤独該当	60	61.7	16.6	0.0	48.4	6.6
孤独非該当	1,206	83.9	21.7	0.6	60.3	12.4

問 12-2 同居していない家族や友人とのコミュニケーション頻度 (○は1つ)

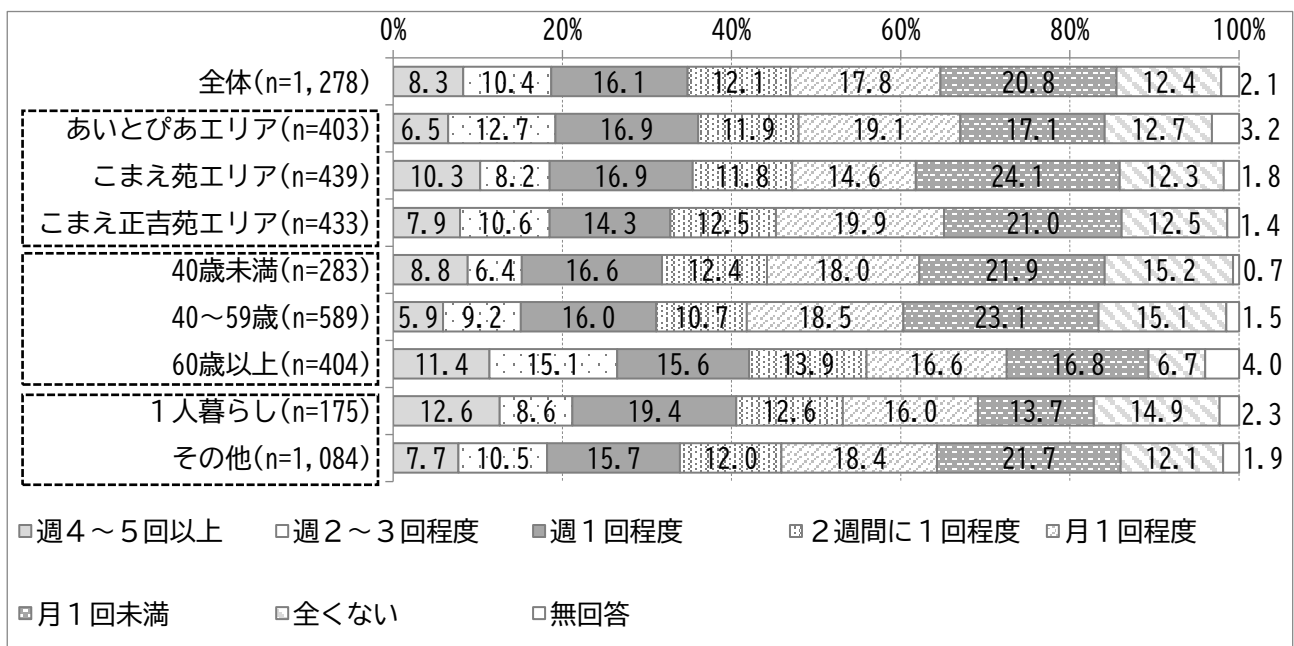
同居していない家族や友人と「① 直接会って話す」のコミュニケーション頻度については、「月1回未満」が21.9%で最も多く、次いで、「月1回程度」が18.5%となっています。

① 直接会って話す 同居していない家族や友人とのコミュニケーション頻度



同居していない家族や友人と「② 電話 (ビデオ通話を含む)」のコミュニケーション頻度については、「月1回未満」が20.8%で最も多く、次いで、「月1回程度」が17.8%となっています。

② 電話 (ビデオ通話を含む) 同居していない家族や友人とのコミュニケーション頻度



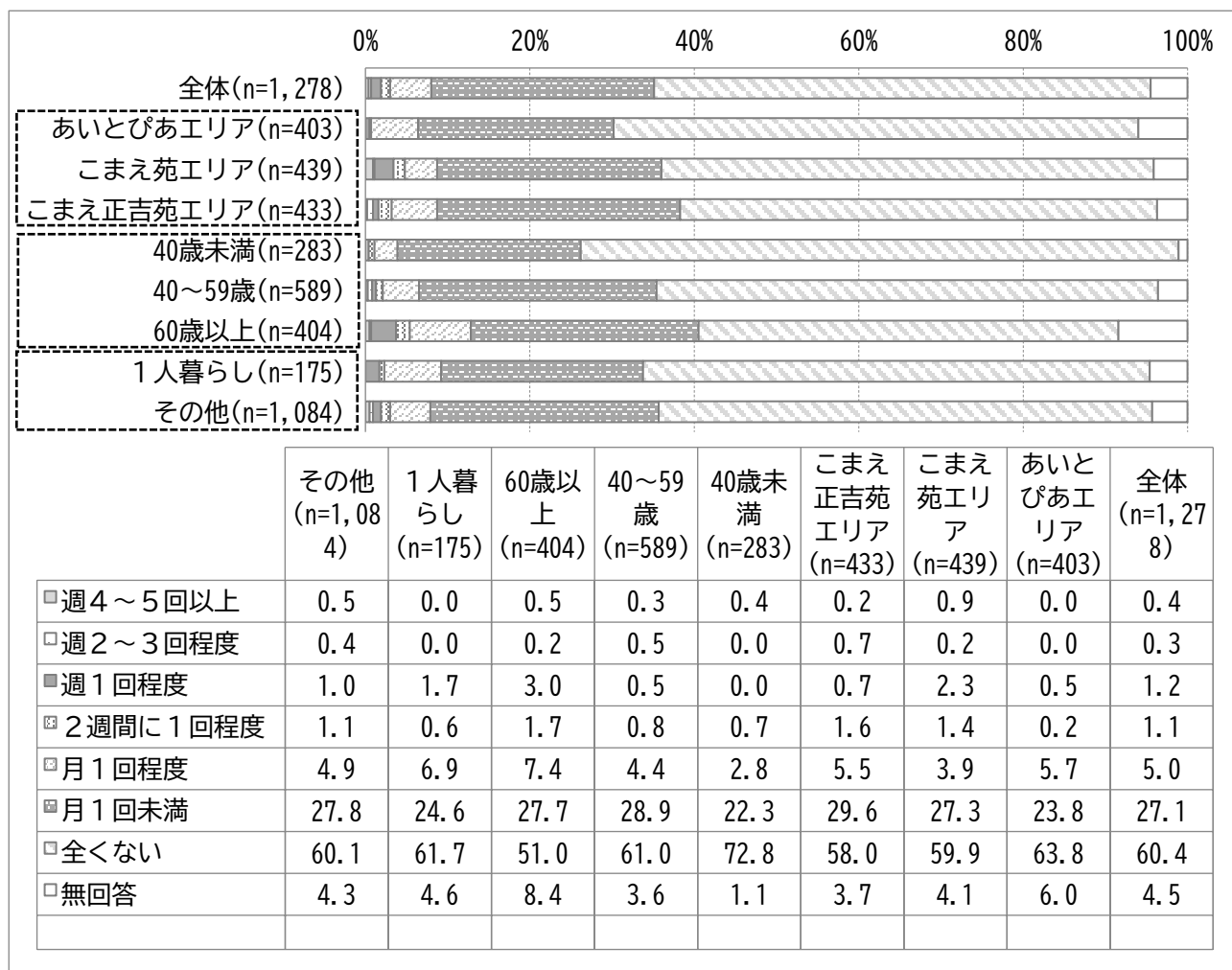
同居していない家族や友人と「③ 郵便や FAX」のコミュニケーション頻度については、「全く

第2章 市民一般調査

B 社会的孤立・孤独について

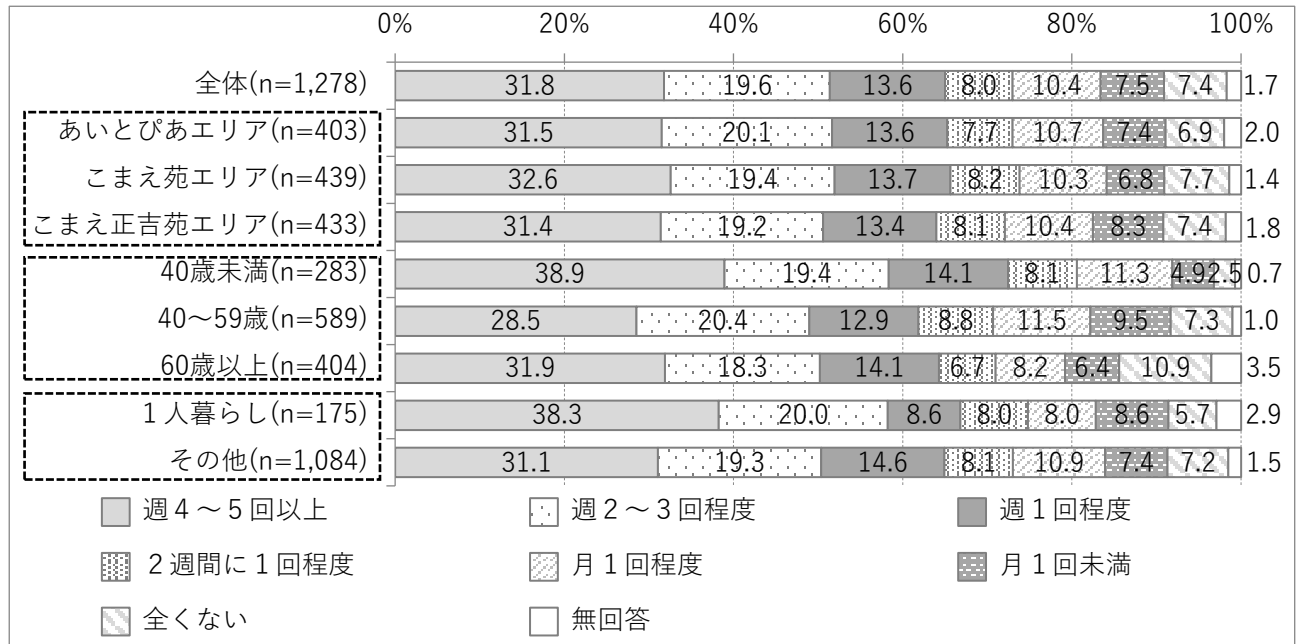
ない」が60.4%で最も多く、次いで、「月1回未満」が27.1%となっています。

③ 郵便やFAX 同居していない家族や友人とのコミュニケーション頻度



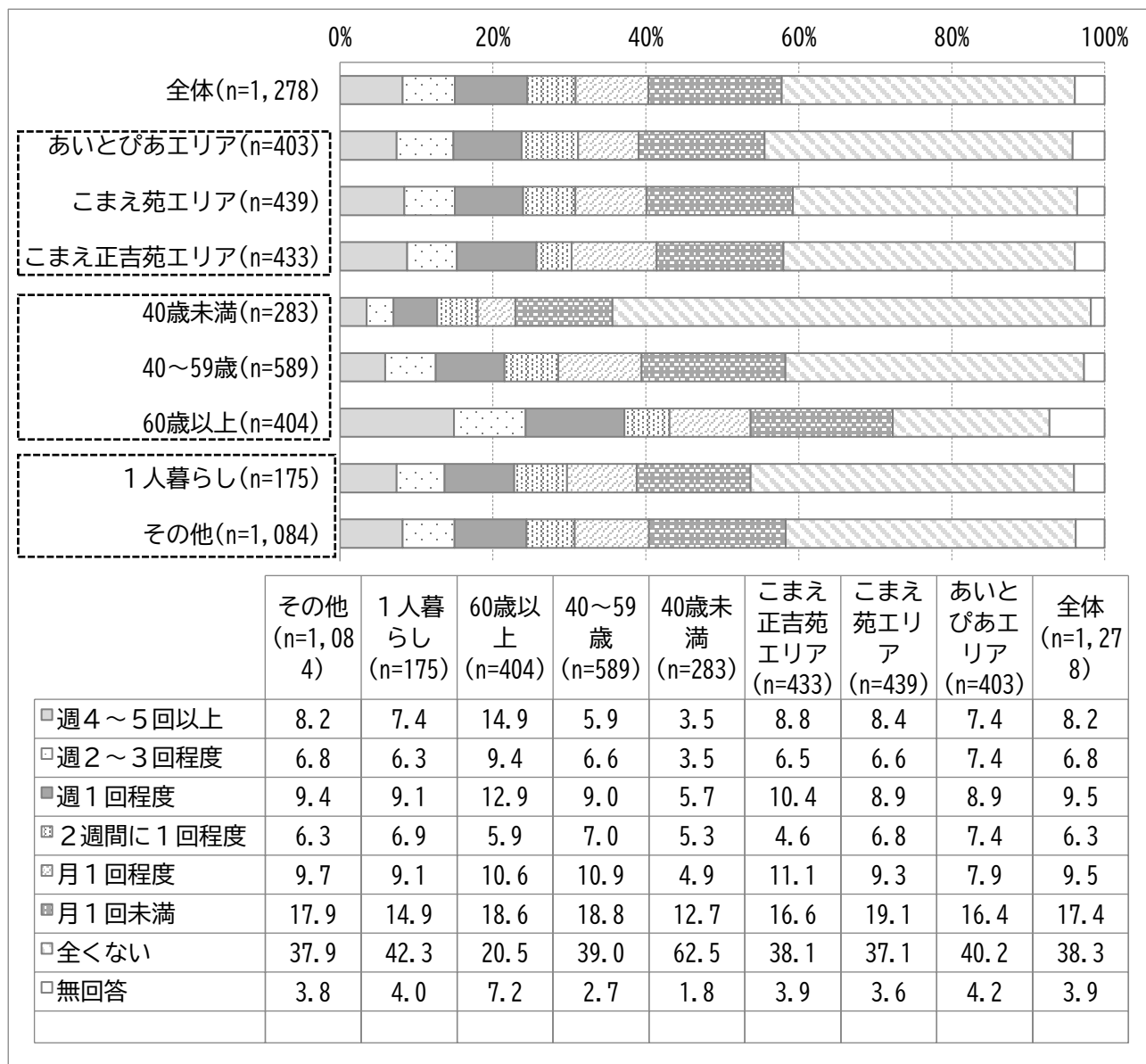
同居していない家族や友人と「④ SNS (LINE によるチャットなど)」のコミュニケーション頻度については、「週4～5回以上」が31.8%で最も多く、次いで、「週2～3回程度」が19.6%となっています。

④ SNS (LINE によるチャットなど) 同居していない家族や友人とのコミュニケーション頻度



同居していない家族や友人と「⑤ 電子メールやショートメール」のコミュニケーション頻度については、「全くない」が38.8%で最も多く、次いで、「月1回未満」が17.4%となっています。

⑤ 電子メールやショートメール 同居していない家族や友人とのコミュニケーション頻度



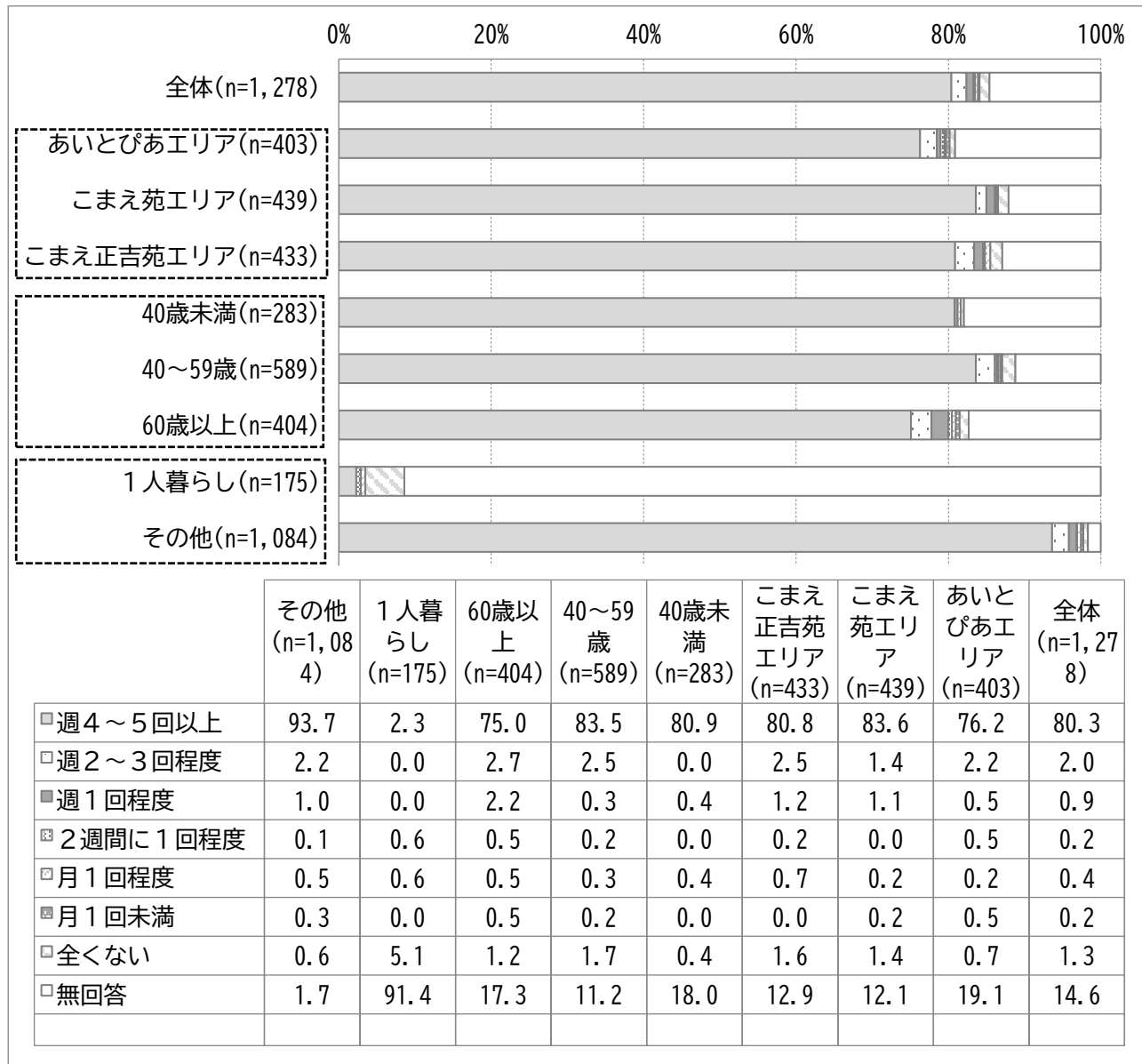


問 12-3 【問 12 で「同居している方がいる」場合にお答えください】

同居している方とのコミュニケーション頻度（○は1つ）

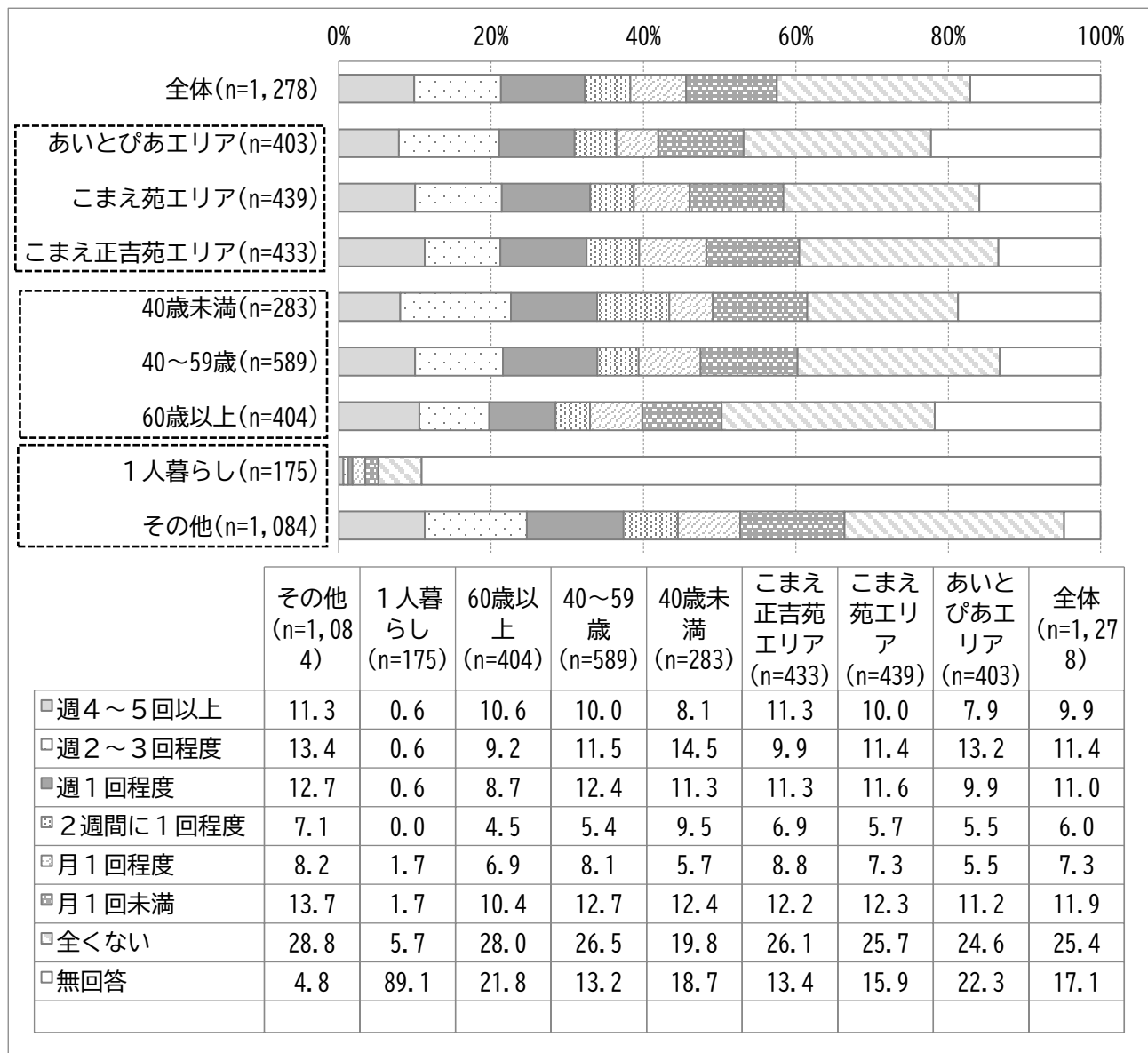
同居している方と「① 直接会って話す」のコミュニケーション頻度については、「週4～5回以上」が80.3%で最も多く、次いで、「無回答」が14.6%となっています。

① 直接会って話す 同居している方」とのコミュニケーション頻度



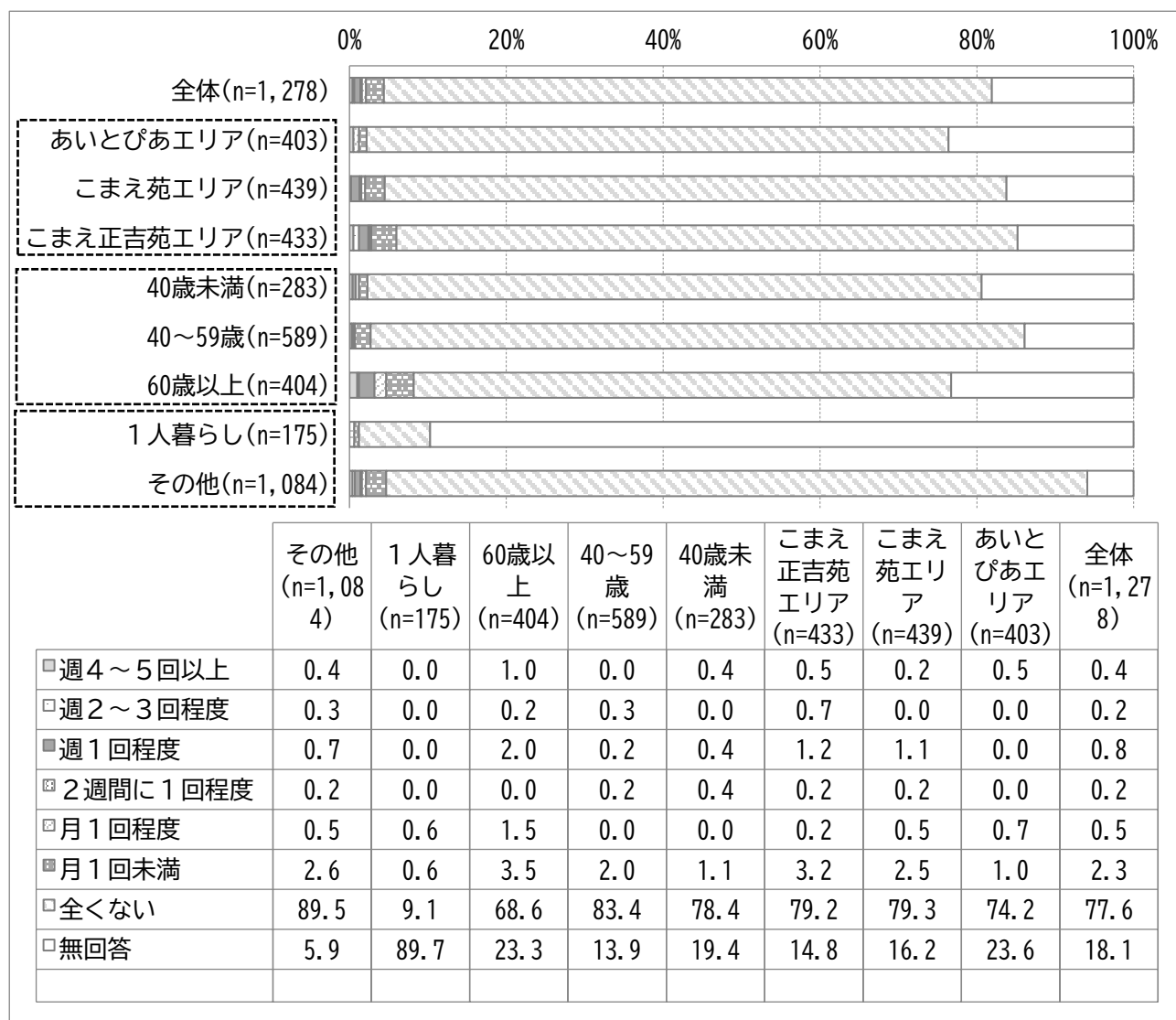
同居している方と「② 電話（ビデオ通話を含む）」のコミュニケーション頻度については、「全くない」が25.4%で最も多く、次いで、「無回答」が17.1%となっています。

② 電話（ビデオ通話を含む） 同居している方とのコミュニケーション頻度



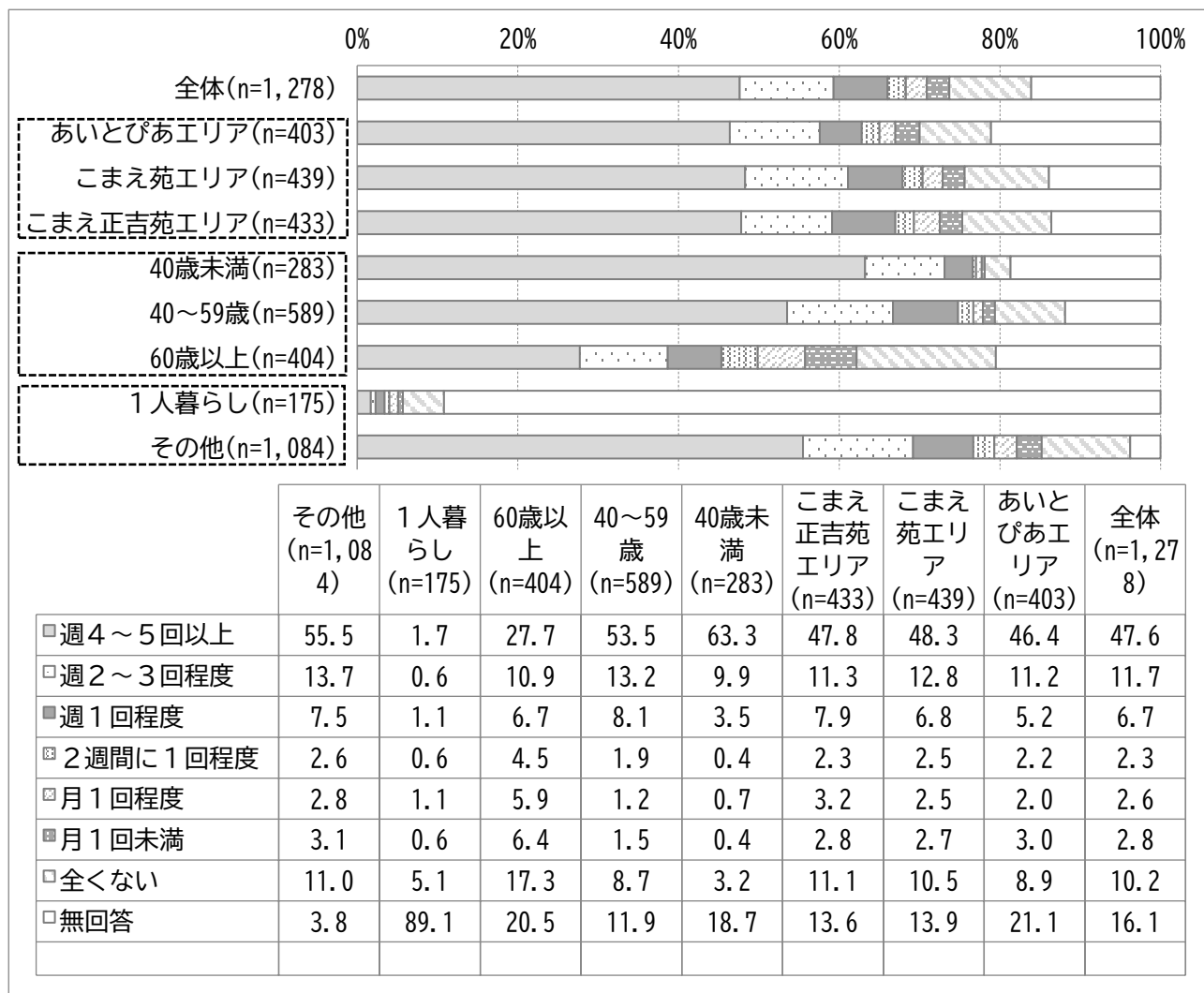
同居している方と「③ 郵便やFAX」のコミュニケーション頻度については、「全くない」が77.6%で最も多く、次いで、「無回答」が18.1%となっています。

③ 郵便やFAX 同居している方とのコミュニケーション頻度



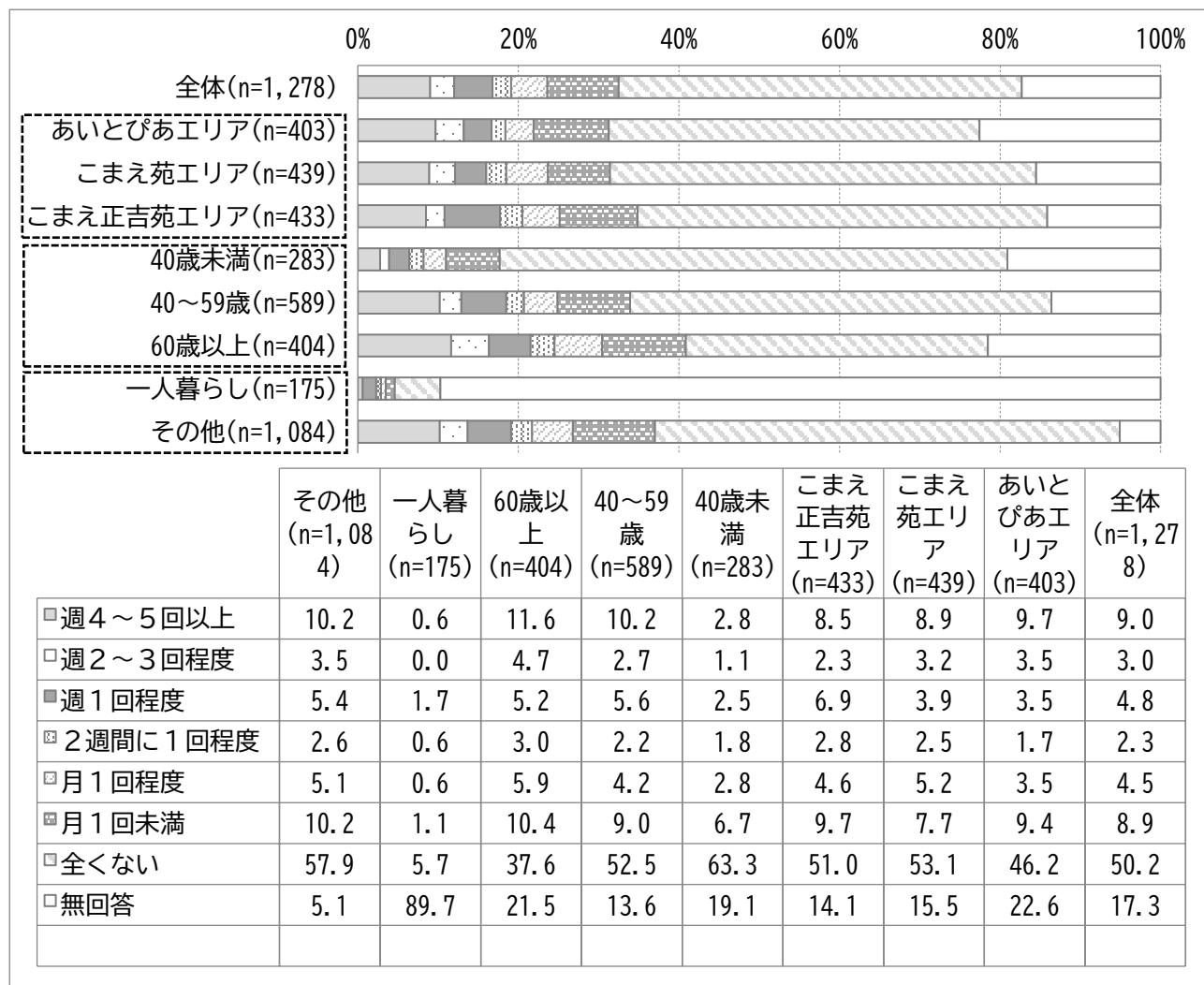
同居している方と「④ SNS (LINE によるチャットなど)」のコミュニケーション頻度については、「週4～5回以上」が47.6%で最も多く、次いで、「無回答」が16.1%となっています。

④ SNS (LINE によるチャットなど) 同居している方とのコミュニケーション頻度



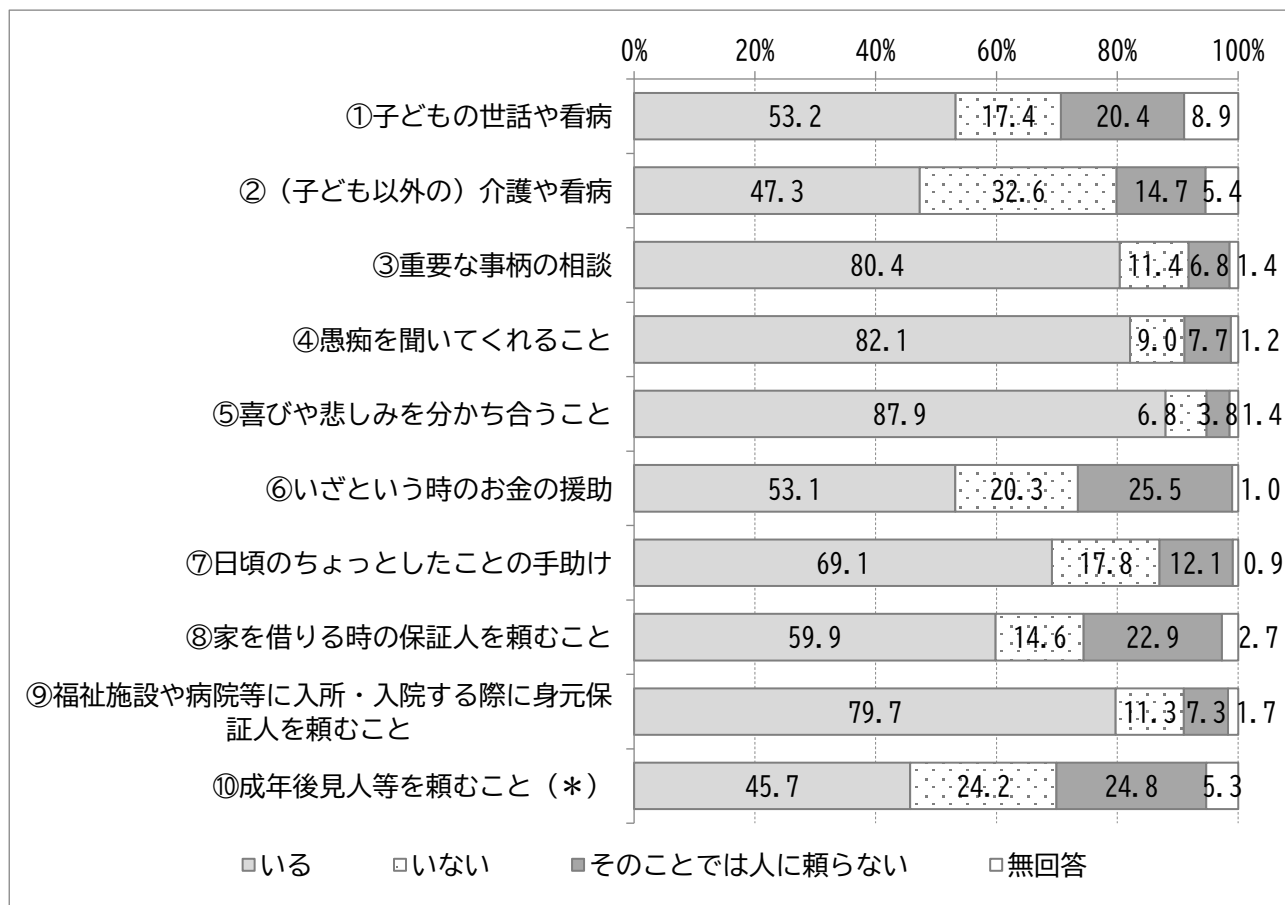
同居している方と「⑤ 電子メールやショートメール」のコミュニケーション頻度については、「全くない」が50.2%で最も多く、次いで、「無回答」が17.3%となっています。

⑤ 電子メールやショートメール 同居している方とのコミュニケーション頻度

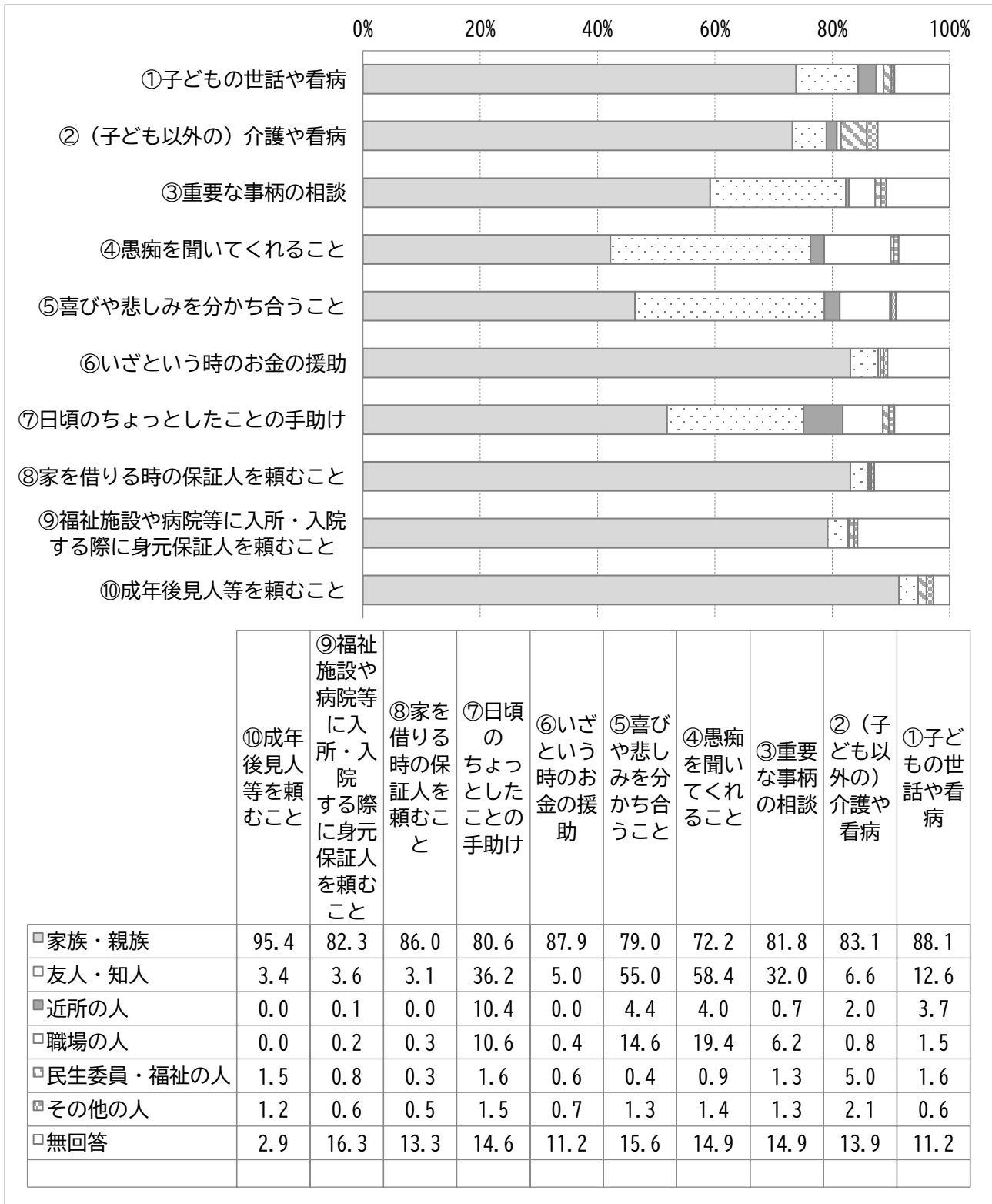


問 13 あなたは次に挙げる①～⑩の事柄で頼れる方はいますか。また「いる」と答えた方にお聞きします。それは誰ですか（あてはまる番号全てに○を付けてください）。

①～⑩の事柄で頼れる方については、「いる：⑤喜びや悲しみを分かち合うこと」が 87.9%で最も多く、次いで、「いる：④愚痴を聞いてくれること」が 82.1%となっています。



①～⑩の事柄で頼れる方が「いる」方については、全ての事柄で「家族・親族」の割合が最も高くなっています。



第2章 市民一般調査

B 社会的孤立・孤独について

次に挙げる①～⑩の事柄で頼れる方が「いる」割合

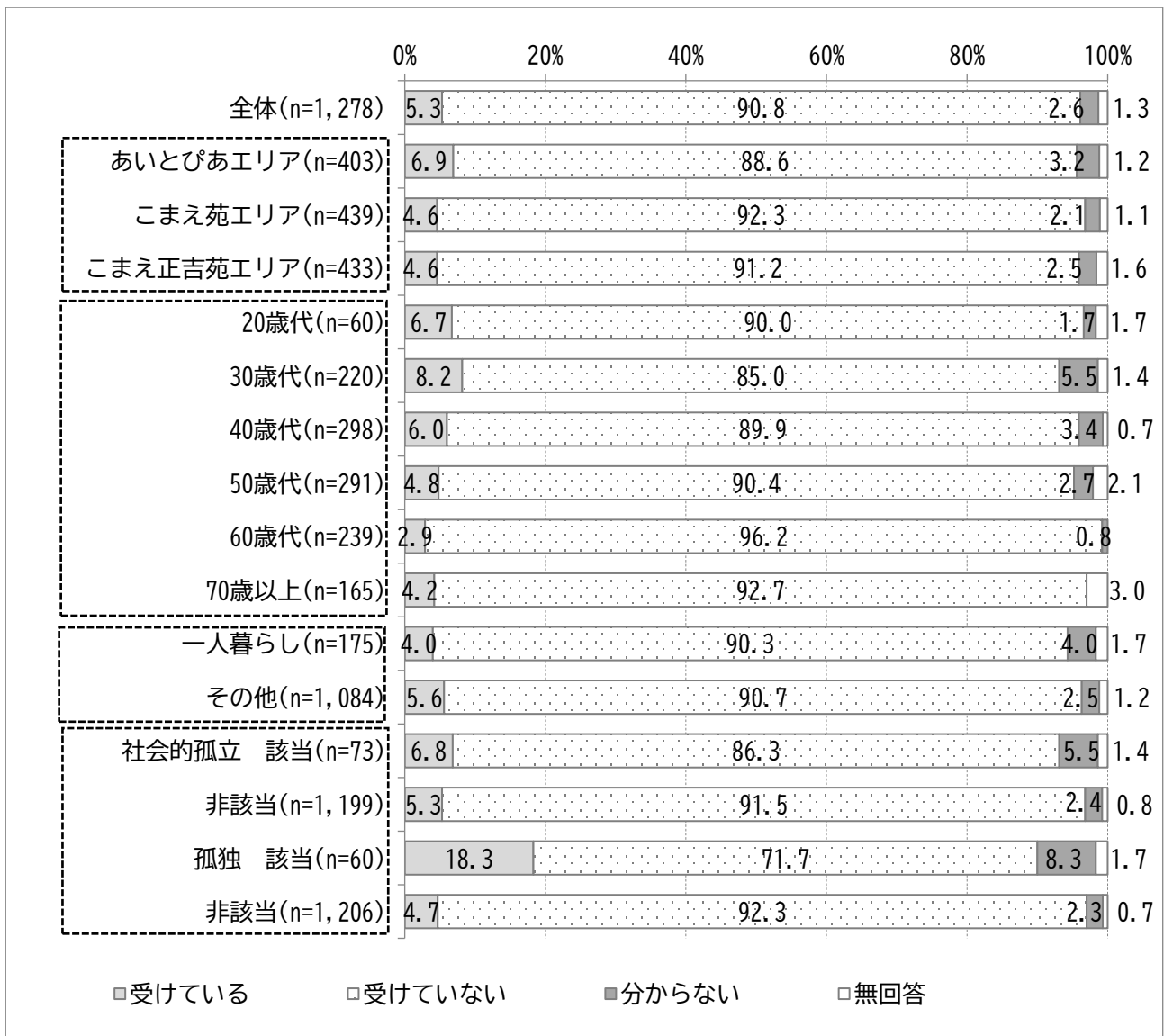
(単位：人、%)

区分	人数	⑩ 成年後見人等を頼むこと	⑨ 福祉施設や病院等に入所・入院する際に身元保証人を頼むこと	⑧ 家を借りる時の保証人を頼むこと	⑦ 日頃のちょっとしたことの手助け	⑥ いざという時のお金の援助	⑤ 喜びや悲しみを分かち合うこと	④ 愚痴を聞いてくれること	③ 重要な事柄の相談	② (子ども以外の) 介護や看病	① 子どもの世話や看病
全体	1,278	45.7	79.7	59.9	69.1	53.1	87.9	82.1	80.4	47.3	53.2
あいとぴあエリア	403	42.4	78.7	63.0	69.0	53.3	86.8	81.6	79.2	48.4	54.3
こまえ苑エリア	439	46.0	81.1	59.2	68.8	51.5	88.4	82.7	80.0	46.9	51.7
こまえ正吉苑エリア	433	48.5	79.2	57.3	69.5	54.7	88.5	82.0	82.0	46.9	53.8
20歳代	60	50.0	90.0	86.7	76.7	68.3	90.0	88.3	83.3	38.3	36.7
30歳代	220	46.4	83.6	76.8	72.7	71.8	94.1	89.5	88.6	48.6	64.1
40歳代	298	39.9	79.2	67.8	70.8	56.7	86.9	80.2	78.2	47.0	64.8
50歳代	291	46.4	73.9	55.7	67.4	51.2	88.0	81.8	79.7	54.0	42.6
60歳代	239	46.9	79.1	43.1	66.1	41.0	87.0	80.3	75.7	47.3	48.1
70歳以上	165	49.7	82.4	43.6	65.5	36.4	81.8	75.8	79.4	37.0	50.3
1人暮らし	175	33.7	79.4	60.0	41.7	41.7	72.0	82.1	67.4	30.3	21.1
その他	1,084	47.8	80.1	60.4	73.9	55.4	90.9	65.1	83.0	50.6	59.0
社会的孤立該当	73	26.0	64.4	52.1	27.4	24.7	49.3	46.6	50.7	30.1	55.3
社会的孤立非該当	1,199	47.1	81.0	60.6	72.0	55.1	90.7	84.7	82.6	48.6	23.3
孤独該当	60	28.3	56.7	43.3	45.0	25.0	45.0	45.0	43.3	30.0	55.1
孤独非該当	1,206	46.9	81.3	61.1	70.6	54.8	90.5	84.3	82.6	48.7	55.3



問 14 あなたは現在、行政機関や NPO 等の民間団体から、困りごとに対する支援（対価を直接支払うものを除く。）を受けていますか。（○は1つ）

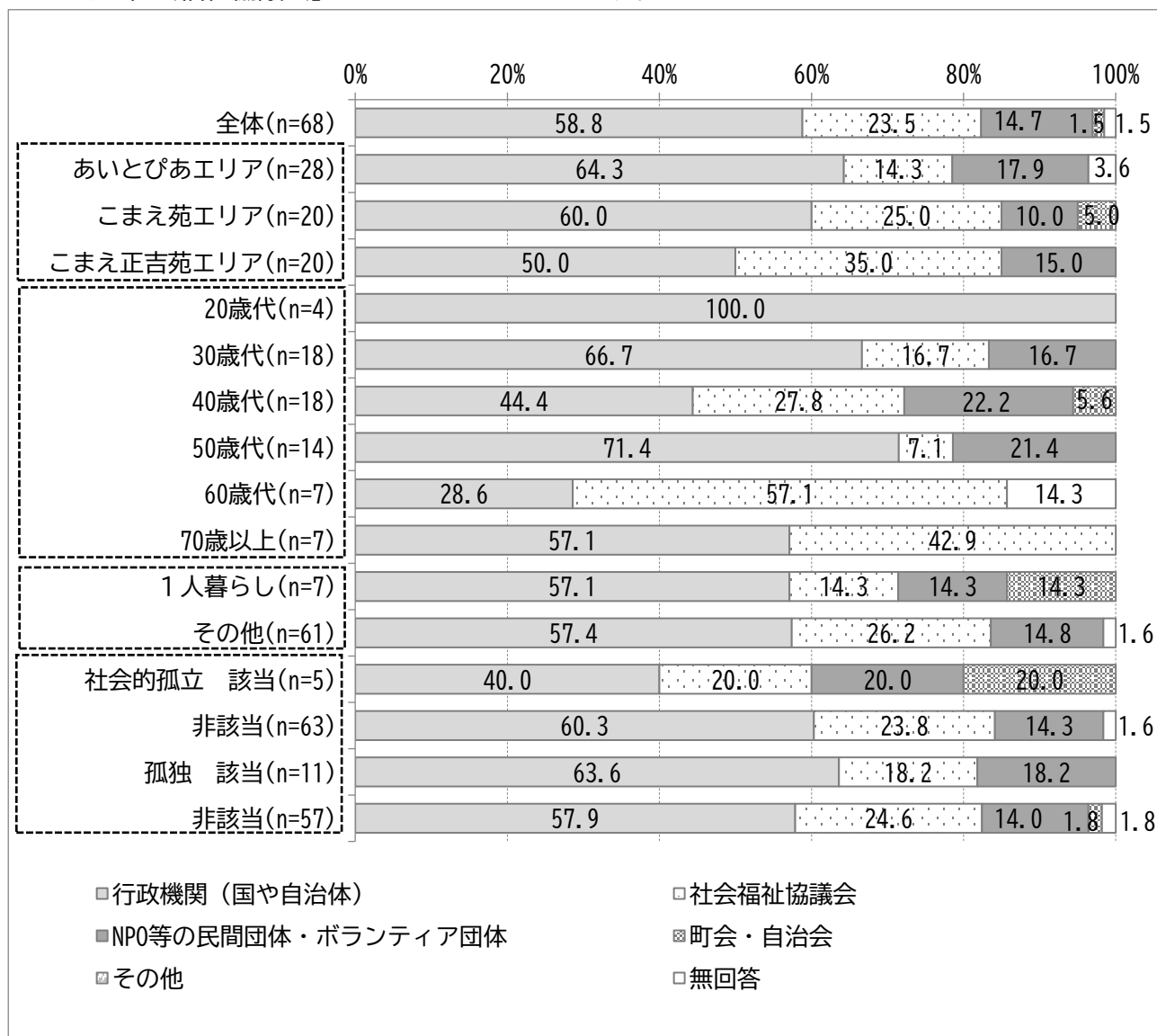
困りごとに対する支援を受けているかについては、「受けていない」が 90.8%で最も多く、次いで、「受けている」が 5.3%となっています。



問 14-2 【問 14 で「1 受けている」と回答した方へ】

あなたはどこから支援を受けていますか。(○は1つ)

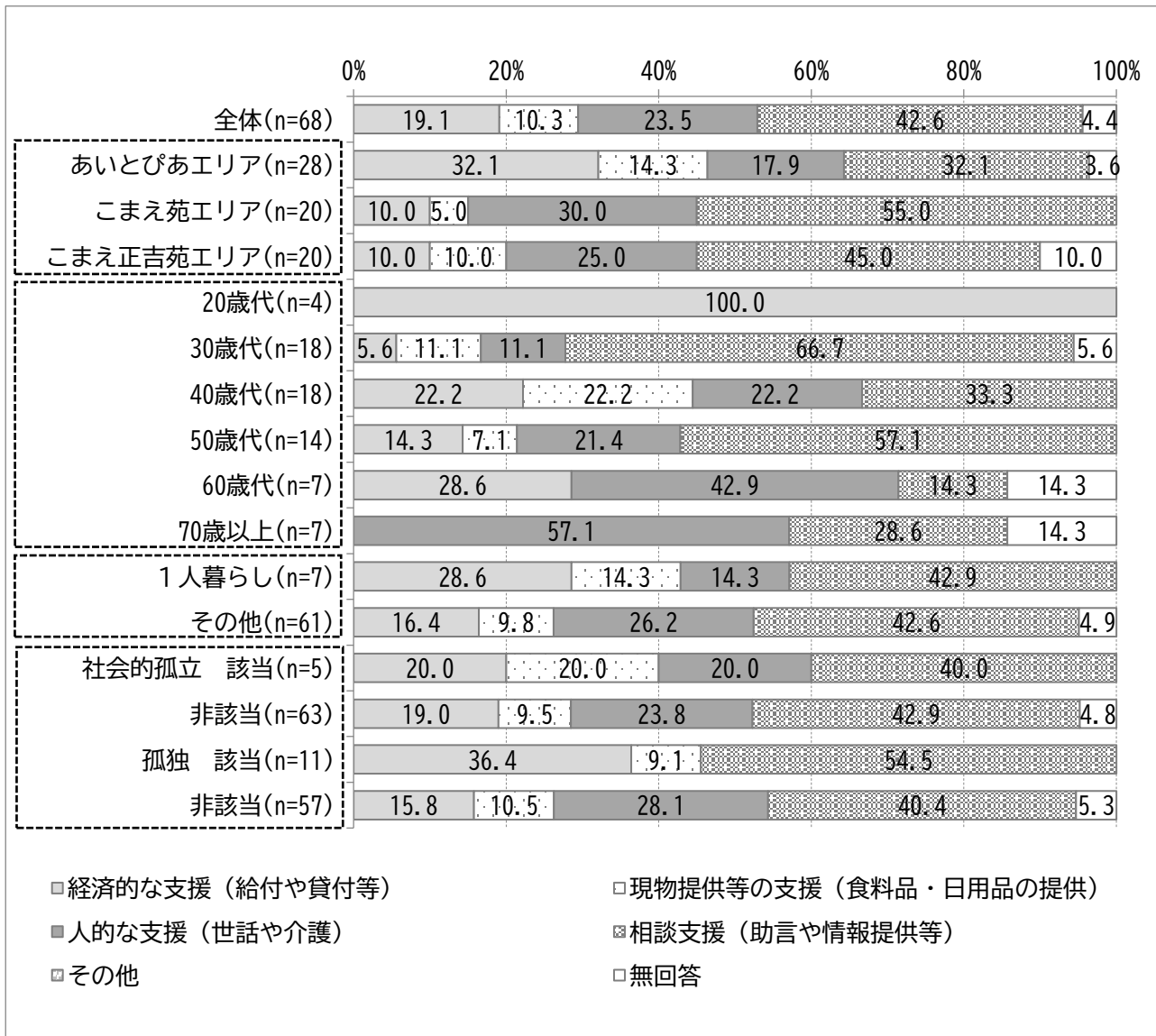
どこから支援を受けているかについては、「行政機関（国や自治体）」が 58.8%で最も多く、次いで、「社会福祉協議会」が 23.5%となっています。



問 14-3 【問 14 で「1 受けている」と回答した方へ】

あなたはどのような支援を受けていますか。(○は1つ)

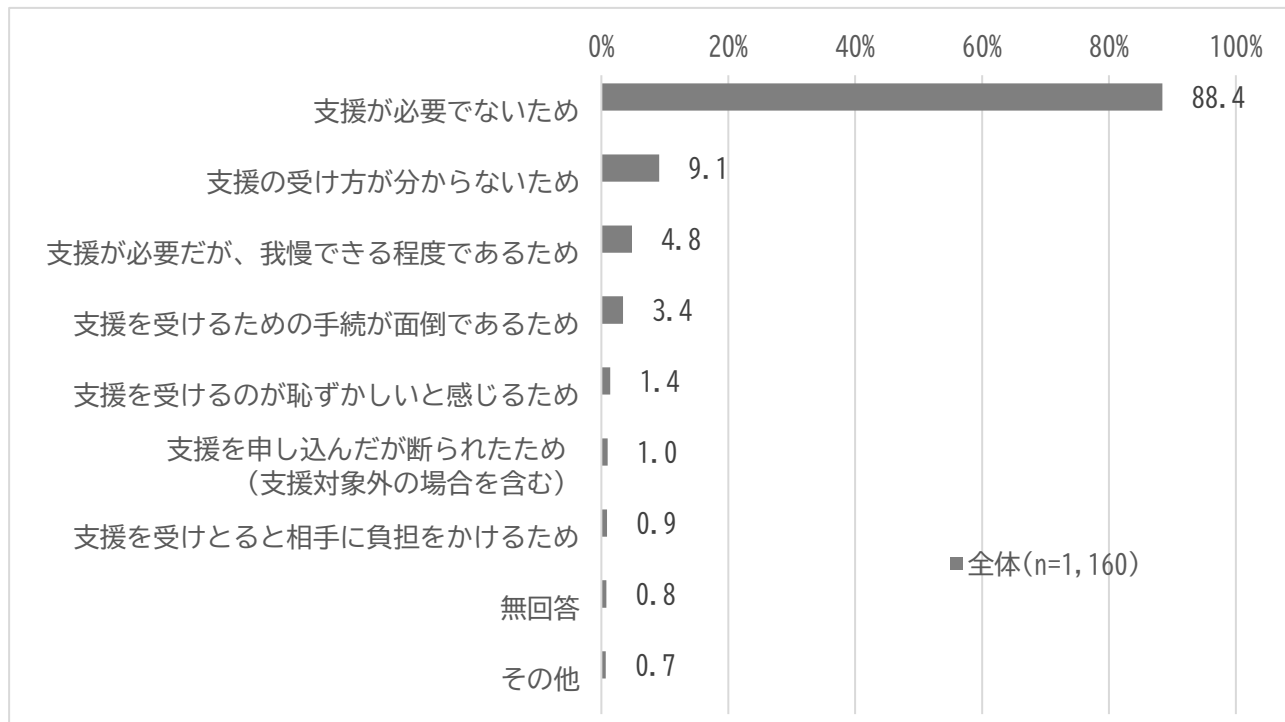
どのような支援を受けているかについては、「相談支援（助言や情報提供等）」が 42.6%で最も多く、次いで、「人的な支援（世話や介護）」が 23.5%となっています。



問 14-4 【問 14 で「2 受けていない」と回答した方へ】

その理由をお答えください。(〇はいくつでも)

受けていない理由については、「支援が必要でないため」が 88.4%で最も多く、次いで、「支援の受け方が分からないため」が 9.1%となっています。

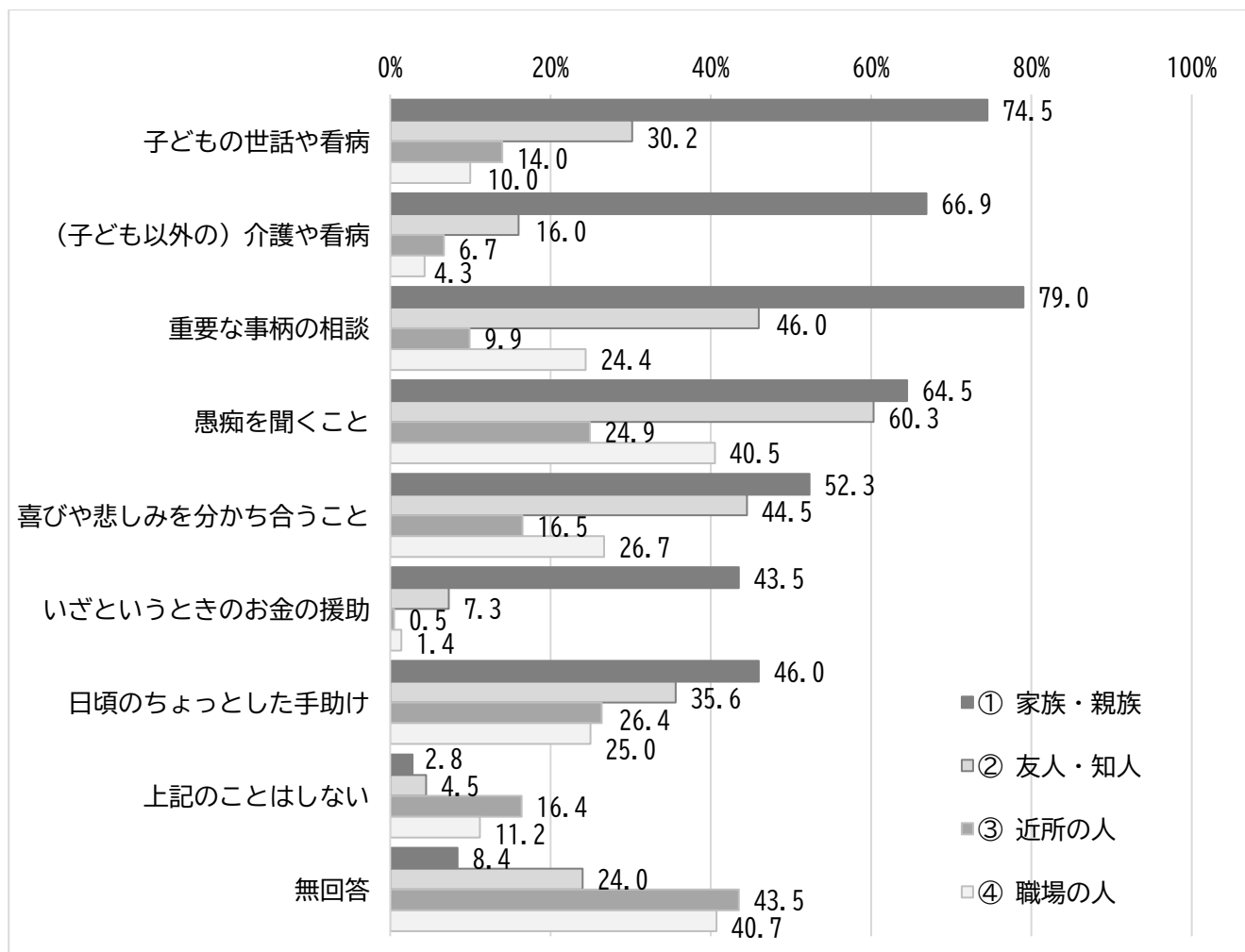


(単位：人、%)

区分	人数	その他	無回答	支援を受けると相手に負担をかけるため	支援を申し込んだが断られたため(支援対象外の場合を含む)	支援を受けるのが恥ずかしいと感じるため	支援を受けるための手続きが面倒であるため	我慢できる程度であるため	支援が必要だが、我慢できる程度であるため	支援の受け方が分からないため	支援が必要でないため
全体	1,160	0.7	0.8	0.9	1.0	1.4	3.4	4.8	9.1	88.4	
あいとびあエリア	357	0.6	0.6	1.4	1.7	2.2	5.3	5.0	10.6	88.0	
こまえ苑エリア	405	1.0	0.5	1.0	1.0	1.2	3.2	5.2	8.1	89.4	
こまえ正吉苑エリア	395	0.5	1.3	0.5	0.5	0.8	2.0	4.3	8.9	87.6	
20歳代	54	0.0	0.0	0.0	1.9	1.9	7.4	5.6	16.7	81.5	
30歳代	187	0.0	1.1	1.6	0.5	1.1	7.0	5.3	11.8	87.7	
40歳代	268	1.1	0.4	1.1	0.7	1.9	3.4	6.0	11.6	84.7	
50歳代	263	1.5	0.8	1.1	1.1	2.3	3.0	4.6	9.5	89.0	
60歳代	230	0.0	0.4	0.0	0.9	0.4	1.3	3.0	3.5	94.8	
70歳以上	153	0.7	2.0	1.3	1.3	0.7	2.0	5.2	7.2	87.6	
1人暮らし	158	0.0	0.6	0.6	0.6	2.5	3.8	7.6	10.1	88.0	
その他	983	0.7	0.7	1.0	1.1	1.2	3.4	4.5	9.0	88.6	
社会的孤立該当	63	0.0	3.2	0.0	1.6	3.2	6.3	11.1	17.5	79.4	
社会的孤立非該当	1,097	0.7	0.6	1.0	1.0	1.3	3.3	4.5	8.7	88.9	
孤独該当	43	4.7	0.0	4.7	9.3	4.7	14.0	16.3	32.6	46.5	
孤独非該当	1,113	0.5	0.8	0.8	0.7	1.3	3.1	4.3	8.3	89.9	

問 15 あなたは、①～④の方が、次に挙げる事柄について助けを必要としているときに、それらの事柄をしますか（○はいくつでも）

①～④の方が助けを必要としている事柄については、「家族・親族：重要な事柄の相談」が79.0%で最も多く、次いで、「家族・親族：子どもの世話や看病」が74.5%となっています。



第2章 市民一般調査

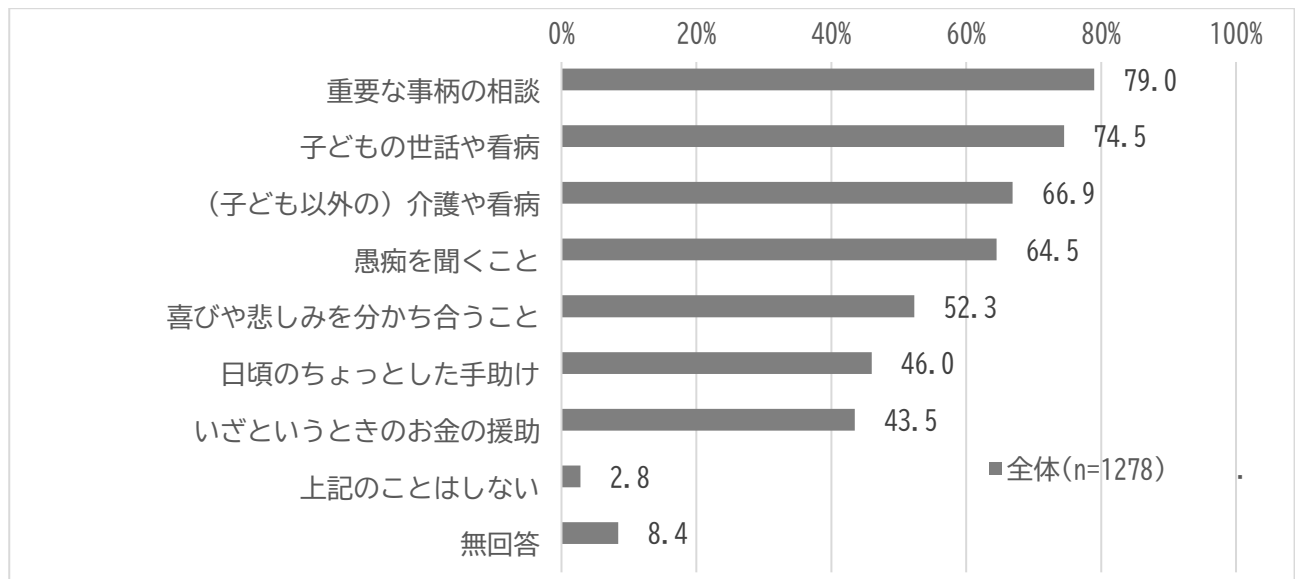
B 社会的孤立・孤独について

助けが必要なときに何らかの手助けをしない（無回答を含む）割合

（単位：人、％）

全体	1,278	11.2	28.5	59.9	51.9
あいとぴあエリア	403	13.1	31.3	63.8	53.6
こまえ苑エリア	439	9.5	27.1	58.6	48.1
こまえ正吉苑エリア	433	11.0	27.5	57.9	54.3
20歳代	60	5.0	6.7	60.0	26.7
30歳代	220	8.2	13.6	50.5	31.9
40歳代	298	7.7	22.2	55.4	36.2
50歳代	291	12.4	27.9	57.1	51.2
60歳代	239	15.5	41.0	68.2	69.5
70歳以上	165	15.7	50.9	74.5	92.1
1人暮らし	175	17.1	26.3	66.9	52.5
その他	1,084	9.9	28.5	58.7	51.4
社会的孤立該当	73	26.0	39.7	69.8	67.1
社会的孤立非該当	1,199	9.8	27.5	59.2	50.7
孤独該当	60	25.0	45.0	71.6	58.3
孤独非該当	1,206	9.9	27.1	59.0	51.2

① 家族・親族 助けが必要なときにそれらの事柄をしますか



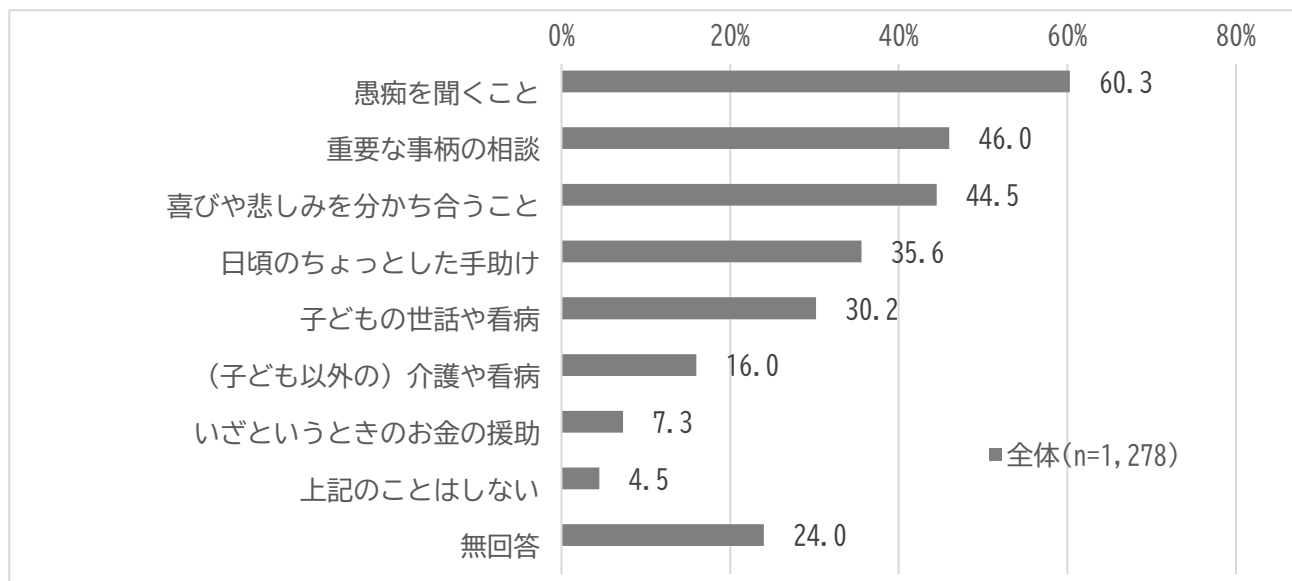
(単位：人、%)

区分	人数	無回答	右記のことはしない	いざというときのお金の援助	日頃のちょっとした手助け	喜びや悲しみを分かち合うこと	愚痴を聞くこと	(子ども以外の) 介護や看病	子どもの世話や看病	重要な事柄の相談
全体	1,278	8.4	2.8	43.5	46.0	52.3	64.5	66.9	74.5	79.0
あいとぴあエリア	403	9.9	3.2	42.4	46.2	53.3	65.3	66.3	73.0	77.9
こまえ苑エリア	439	6.8	2.7	44.6	46.2	50.8	62.2	68.3	77.0	78.1
こまえ正吉苑エリア	433	8.5	2.5	43.4	45.5	52.7	65.8	65.8	73.4	80.8
20歳代	60	1.7	3.3	65.0	70.0	70.0	80.0	81.7	85.0	90.0
30歳代	220	5.5	2.7	55.0	59.1	64.5	80.5	77.7	83.2	88.2
40歳代	298	6.0	1.7	46.6	48.7	57.4	72.1	69.8	80.5	85.9
50歳代	291	9.3	3.1	41.2	45.7	50.9	63.9	73.5	71.5	79.0
60歳代	239	10.9	4.6	38.5	36.4	42.7	52.7	60.3	66.5	72.4
70歳以上	165	13.9	1.8	24.8	28.5	35.8	40.6	38.8	64.8	59.4
1人暮らし	175	11.4	5.7	33.7	39.4	42.3	54.3	53.1	55.4	71.4
その他	1,084	7.6	2.3	45.4	47.4	54.3	66.5	69.8	78.2	80.5

第2章 市民一般調査

B 社会的孤立・孤独について

② 友人・知人 助けが必要なときにそれらの事柄をしますか

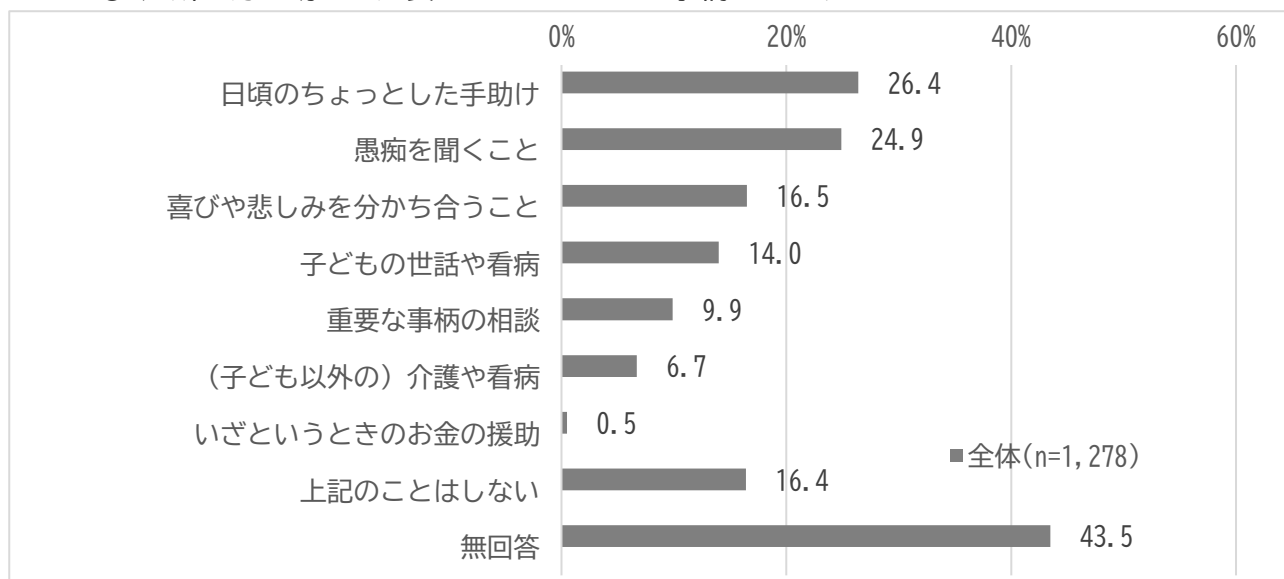


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	右記のことはしない	いざというときのお金の援助	(子ども以外の) 介護や看病	子どもの世話や看病	日頃のちょっとした手助け	喜びや悲しみを分かち合うこと	重要な事柄の相談	愚痴を聞くこと
全体	1,278	24.0	4.5	7.3	16.0	30.2	35.6	44.5	46.0	60.3
あいとびあエリア	403	26.6	4.7	7.4	15.9	29.0	34.7	44.4	43.4	59.6
こまえ苑エリア	439	22.1	5.0	8.2	16.4	29.4	36.9	44.0	47.2	60.1
こまえ正吉苑エリア	433	23.8	3.7	6.2	15.7	32.1	35.1	45.0	47.1	60.7
20歳代	60	5.0	1.7	18.3	20.0	48.3	58.3	75.0	68.3	85.0
30歳代	220	10.9	2.7	8.6	19.5	44.1	46.4	57.7	59.5	78.6
40歳代	298	17.8	4.4	7.7	21.1	40.9	41.6	50.3	54.0	66.8
50歳代	291	23.4	4.5	6.2	16.5	31.6	33.7	43.0	42.6	60.8
60歳代	239	33.1	7.9	6.3	10.9	11.7	26.8	34.7	35.1	46.4
70歳以上	165	47.9	3.0	3.6	7.3	10.3	18.2	21.8	26.7	33.3
1人暮らし	175	19.4	6.9	10.9	16.0	26.9	36.6	43.4	50.3	58.9
その他	1,084	24.4	4.1	6.8	16.1	31.2	35.6	45.0	45.6	60.8



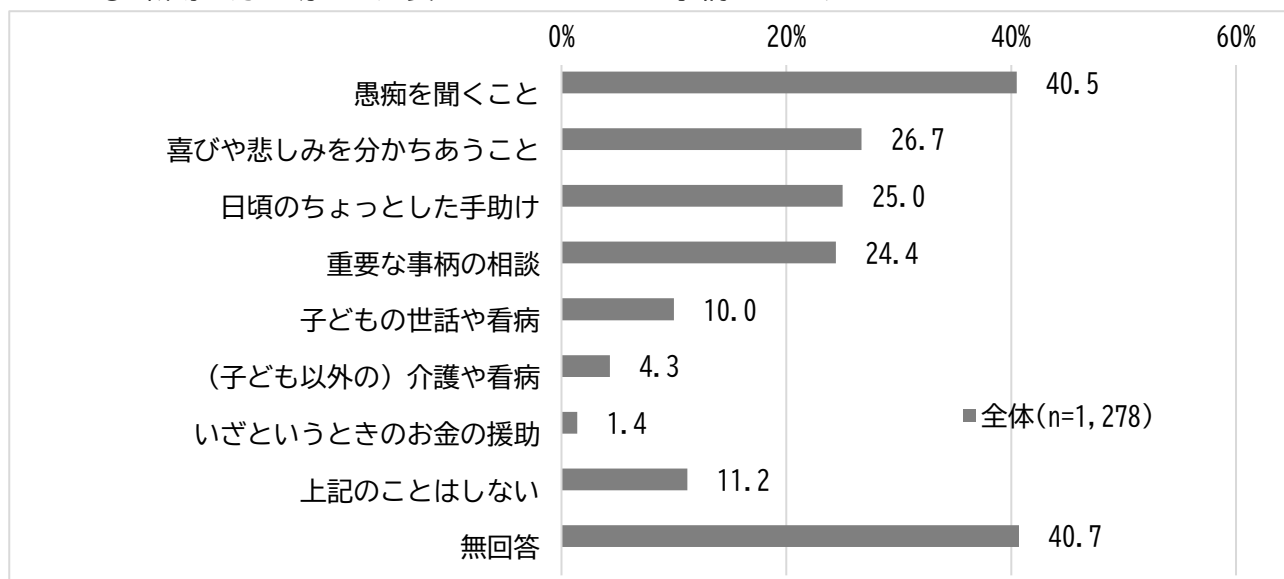
③ 近所の方 助けが必要なときにそれらの事柄をしますか



(単位：人、%)

区分	人数	無回答	右記のことはしない	(子ども以外の) 介護や看病	いざというときのお金の援助	重要な事柄の相談	子どもの世話や看病	喜びや悲しみを分かち合うこと	愚痴を聞くこと	日頃のちょっとした手助け
全体	1,278	43.5	16.4	6.7	0.5	9.9	14.0	16.5	24.9	26.4
あいとびあエリア	403	45.7	18.1	7.2	0.5	9.4	12.9	17.9	22.8	25.6
こまえ苑エリア	439	42.4	16.2	6.2	0.5	9.6	14.6	15.9	26.0	26.0
こまえ正吉苑エリア	433	42.7	15.2	6.9	0.5	10.9	14.5	15.9	25.6	27.5
20歳代	60	28.3	31.7	0.0	0.0	11.7	8.3	21.7	18.3	35.0
30歳代	220	28.2	22.3	6.4	0.5	11.8	18.6	22.7	35.5	35.5
40歳代	298	38.3	17.1	9.4	0.3	12.8	22.5	18.8	28.5	29.2
50歳代	291	44.0	13.1	8.9	0.3	7.6	15.8	15.8	25.8	27.8
60歳代	239	52.7	15.5	3.8	0.4	7.1	4.2	13.0	18.8	21.3
70歳以上	165	64.8	9.7	4.8	0.6	9.7	5.5	7.9	12.7	10.3
1人暮らし	175	40.6	26.3	3.4	0.6	9.1	8.0	13.1	19.4	20.0
その他	1,084	43.8	14.9	7.2	0.5	10.1	15.1	17.2	26.0	27.5

④ 職場の方 助けが必要なときにそれらの事柄をしますか

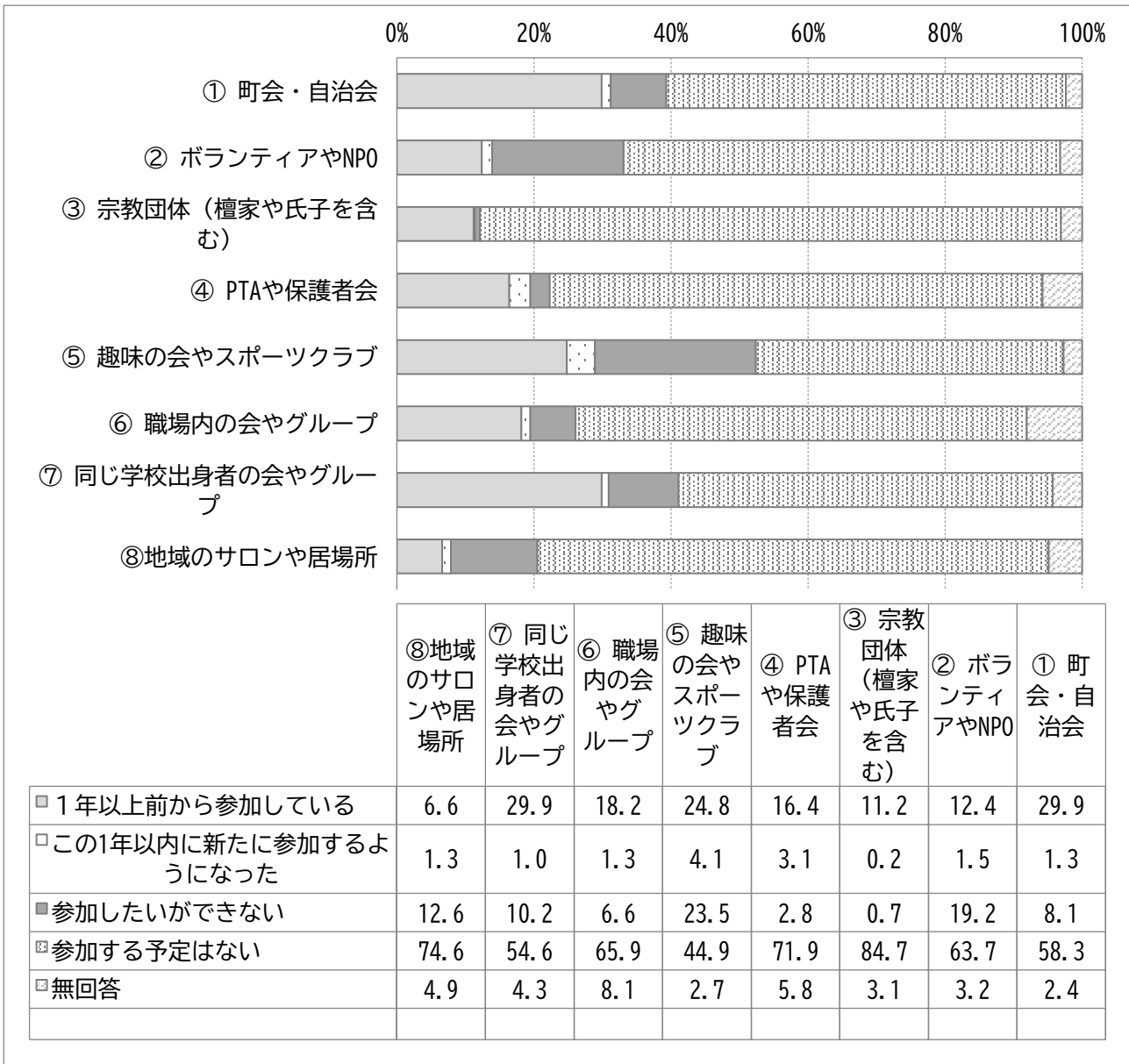


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	右記のことはしない	いざというときのお金の援助	(子ども以外の) 介護や看病	子どもの世話や看病	重要な事柄の相談	日頃のちょっとした手助け	喜びや悲しみを分かち合うこと	愚痴を聞くこと
全体	1,278	40.7	11.2	1.4	4.3	10.0	24.4	25.0	26.7	40.5
あいとびあエリア	403	41.9	11.7	1.5	6.0	10.9	22.1	25.3	27.0	39.7
こまえ苑エリア	439	37.4	10.7	1.8	3.6	9.8	27.1	25.5	26.9	41.5
こまえ正吉苑エリア	433	43.0	11.3	0.9	3.5	9.5	23.8	24.2	26.1	40.2
20歳代	60	15.0	11.7	3.3	3.3	16.7	43.3	50.0	50.0	65.0
30歳代	220	21.4	10.5	2.3	5.0	13.6	33.6	37.7	40.9	60.9
40歳代	298	27.5	8.7	1.7	7.4	17.8	32.9	32.6	34.2	53.7
50歳代	291	40.2	11.0	1.0	4.1	8.6	22.7	22.7	25.1	40.2
60歳代	239	53.6	15.9	0.0	2.1	2.5	15.9	15.9	15.9	23.4
70歳以上	165	81.8	10.3	1.2	1.2	1.8	4.8	1.8	3.0	5.5
1人暮らし	175	37.1	15.4	2.9	5.7	9.7	28.6	24.0	24.6	38.3
その他	1,084	40.9	10.5	1.2	4.2	10.2	24.1	25.3	27.3	41.2

問 16 次のような地域活動・ボランティア活動等について、あなたが現在取り組んでいる活動はありますか。(〇はいくつでも)

現在取り組んでいる活動については、「参加する予定はない」を除くと、「① 町会・自治会と⑦ 同じ学校出身者の会やグループ」の「1年以上前から参加している」が29.9%と最も多くなっています。



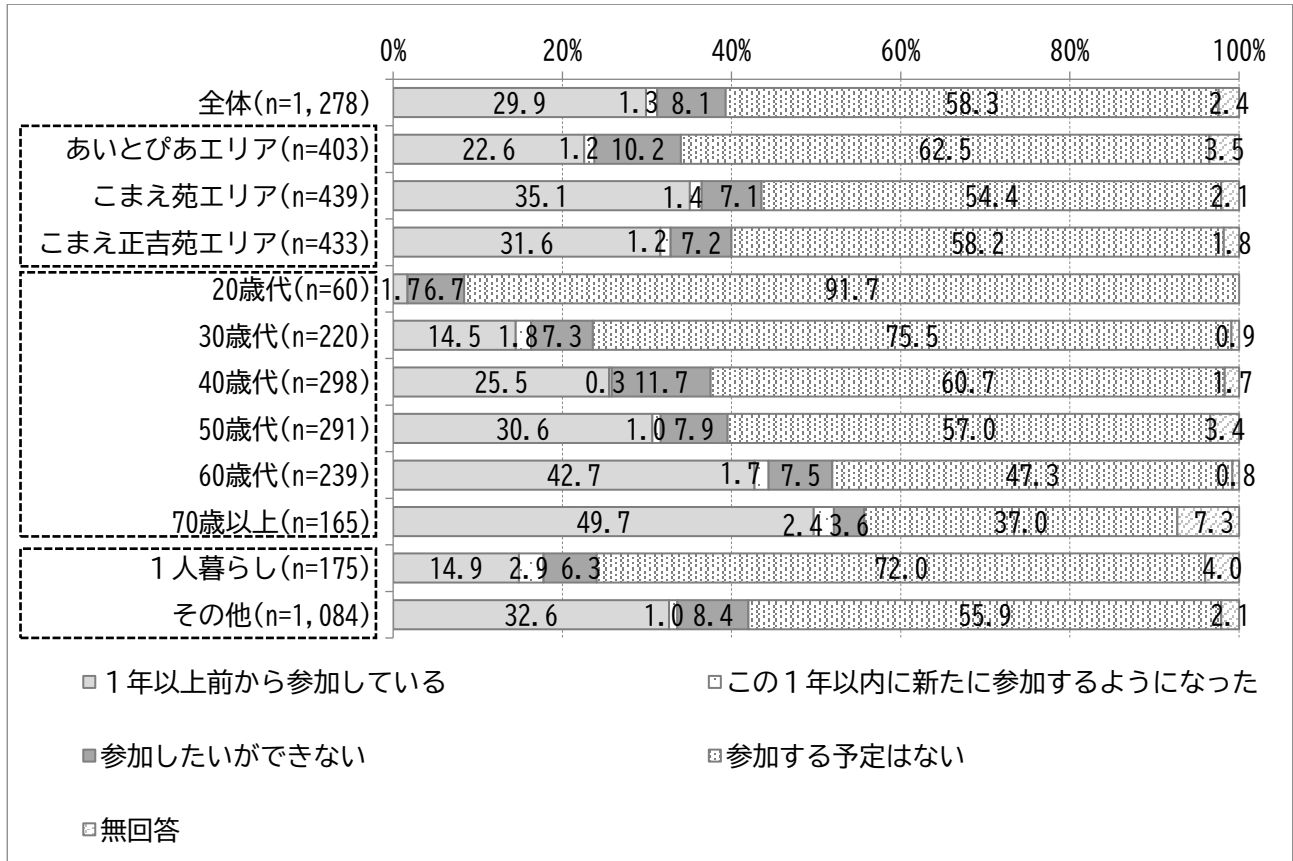
第2章 市民一般調査

B 社会的孤立・孤独について

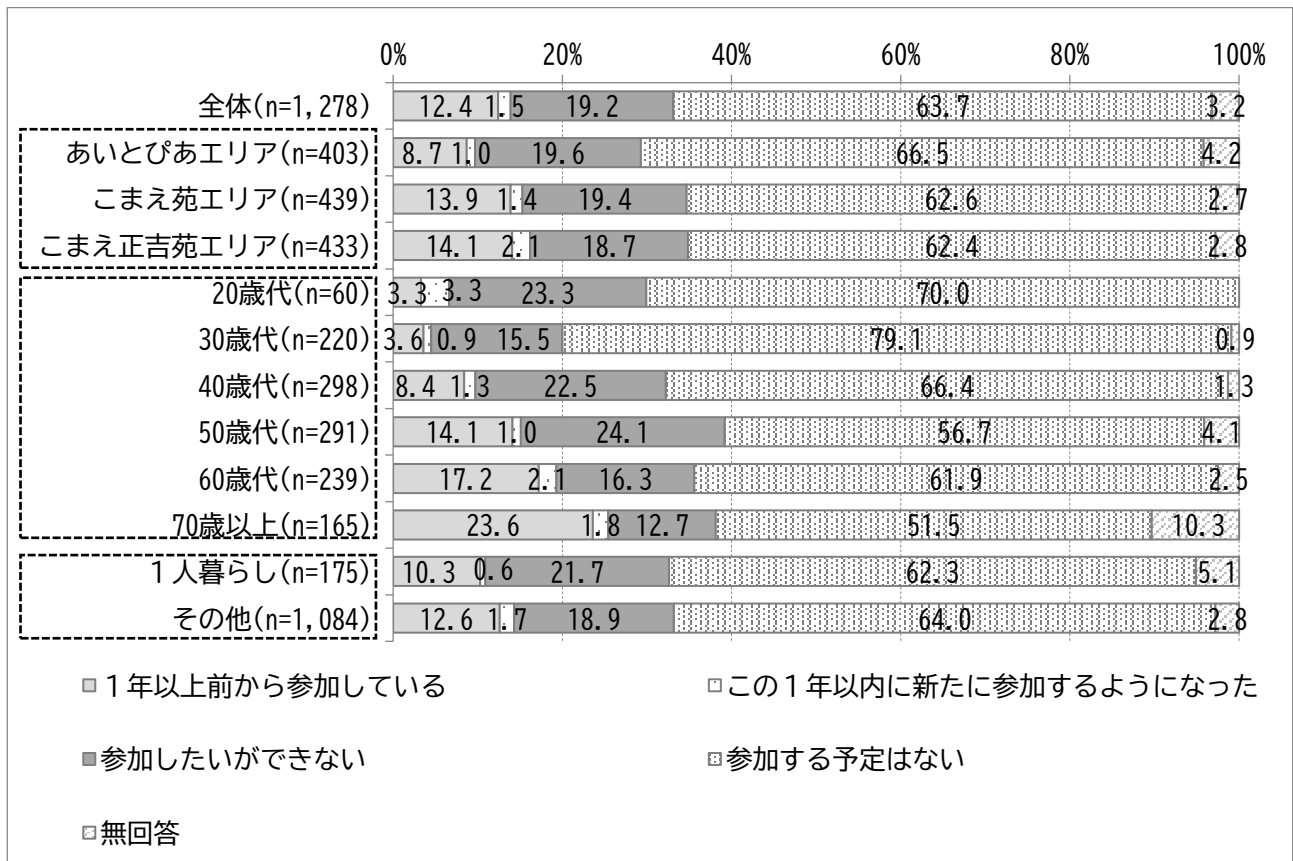
地域活動・ボランティア活動等に参加する予定はない（無回答を含む）割合 （単位：人、％）

	人数	① 町会・自治会	② ボランティアやNPO	③ 宗教団体（檀家や氏子を含む）	④ PTAや保護者会	⑤ 趣味の会やスポーツクラブ	⑥ 職場内の会やグループ	⑦ 同じ学校出身者の会やグループ	⑧ 地域のサロンや居場所
全体	1,278	60.7	66.9	87.8	77.7	47.6	74.0	58.9	79.5
あいとびエリア	403	66.0	70.7	87.1	79.7	47.7	73.7	59.8	79.4
こまえ苑エリア	439	56.5	65.3	86.5	77.0	48.6	72.2	57.9	78.8
こまえ正吉苑エリア	433	60.0	65.2	89.8	76.7	46.6	76.2	59.3	80.4
20歳代	60	91.7	70.0	98.3	96.7	51.7	70.0	60.0	86.7
30歳代	220	76.4	80.0	94.6	68.2	58.2	68.2	68.2	79.1
40歳代	298	62.4	67.7	92.3	53.6	47.6	65.8	59.4	79.1
50歳代	291	60.4	60.8	83.2	76.3	44.0	72.5	62.9	79.4
60歳代	239	48.1	64.4	81.1	97.9	46.5	82.9	50.6	78.7
70歳以上	165	44.3	61.8	84.8	100.0	40.6	88.5	50.4	80.0
1人暮らし	175	76.0	67.4	90.3	98.8	48.6	80.0	68.5	83.4
その他	1,084	58.0	66.8	87.4	74.0	47.2	73.1	57.4	78.8
社会的孤立該当	73	73.9	67.1	90.4	95.9	54.8	84.9	72.6	79.4
社会的孤立非該当	1,199	59.7	66.8	87.7	76.5	47.0	73.2	57.8	79.4
孤独該当	60	70.0	66.6	91.7	81.7	55.0	80.0	70.0	63.4
孤独非該当	1,206	59.9	66.7	87.5	77.4	46.9	73.5	58.0	80.2

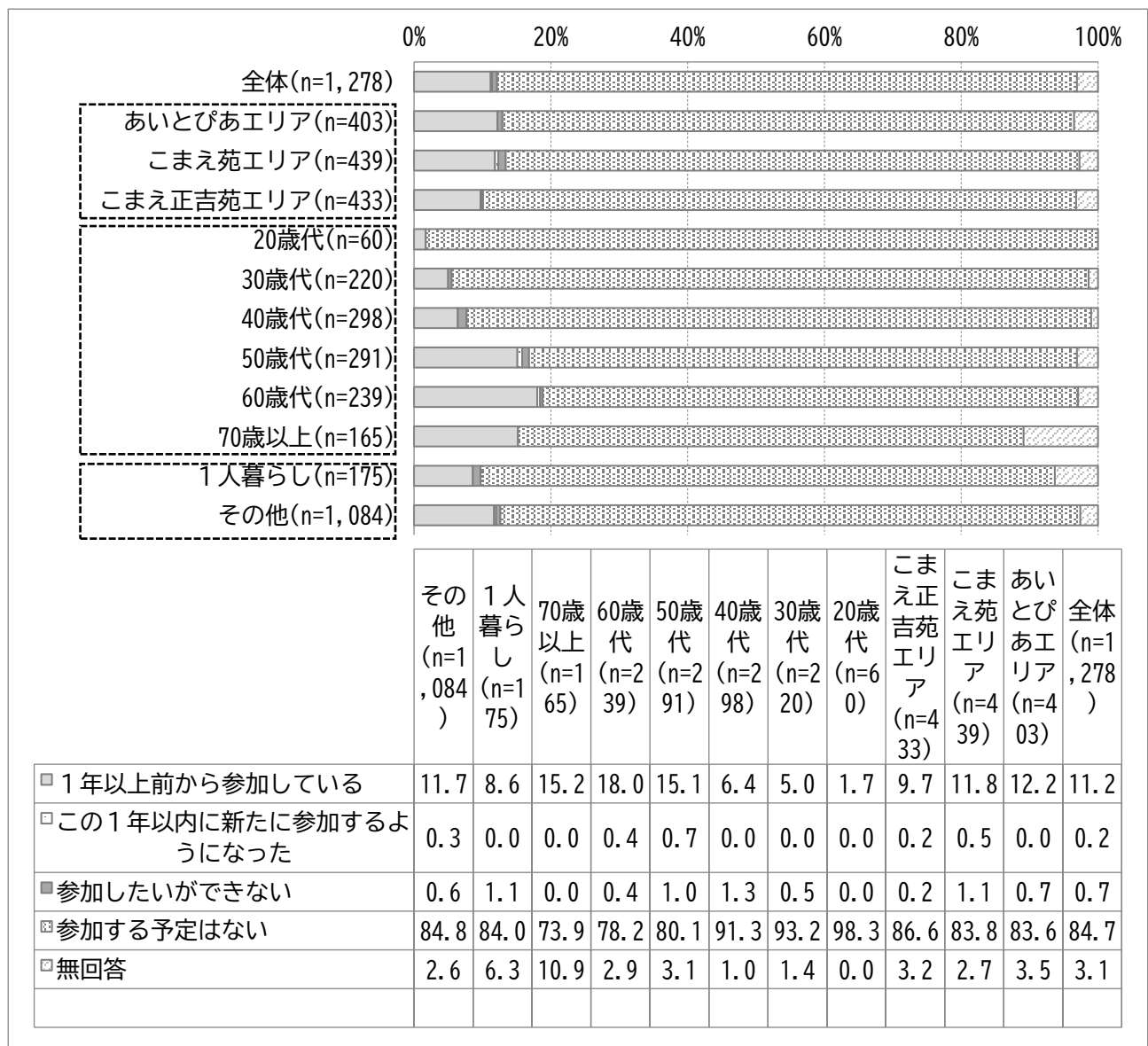
①町会・自治会



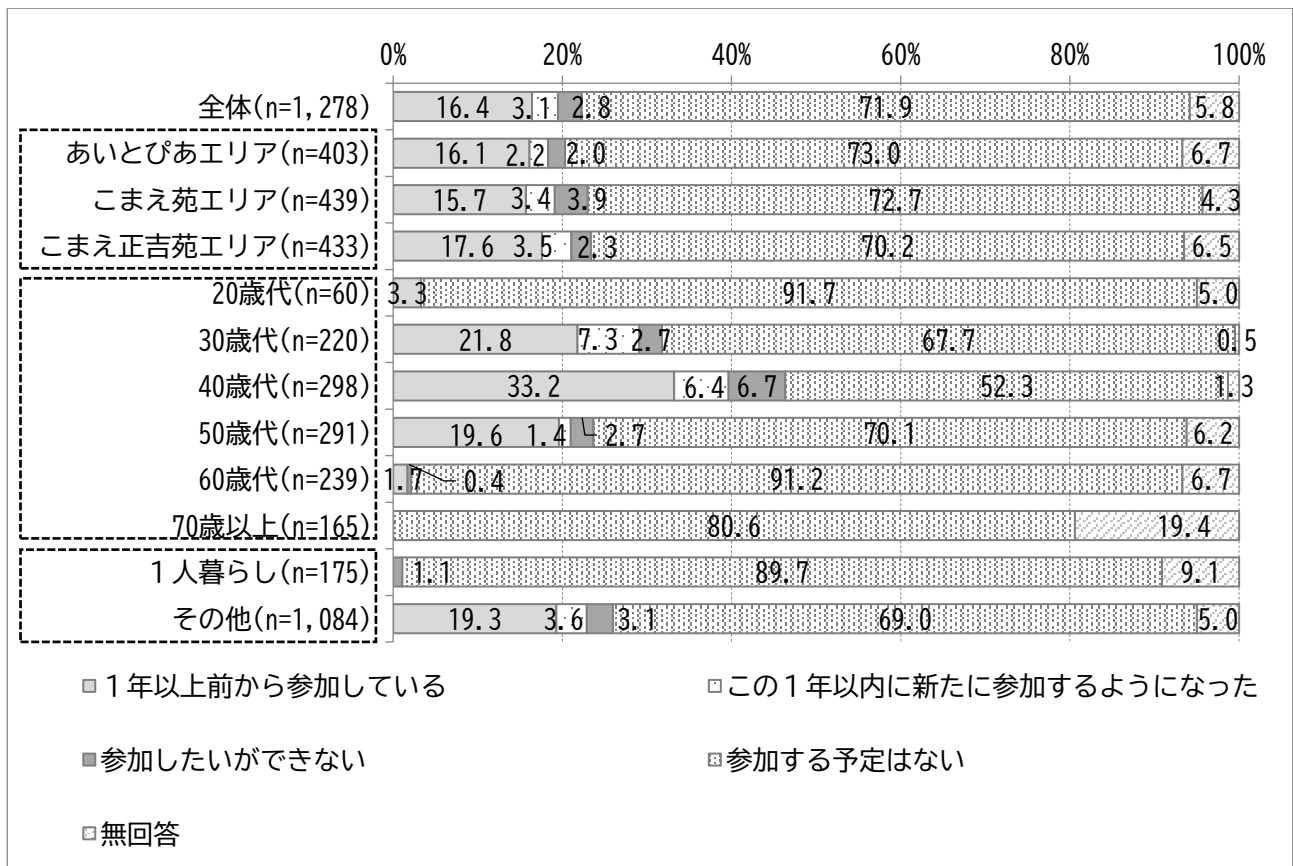
②ボランティアやNPO



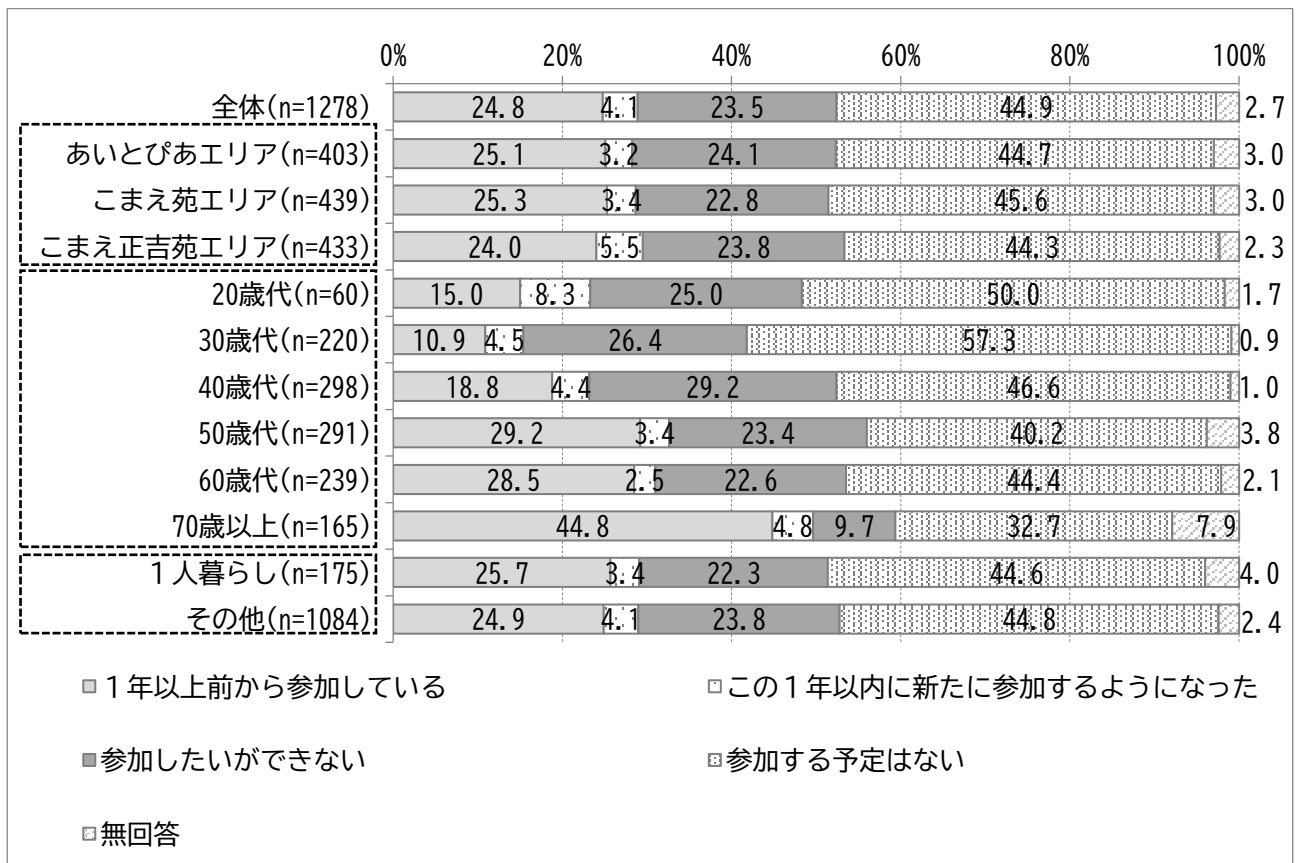
③宗教団体（檀家や氏子を含む）



#### ④PTA や保護者会



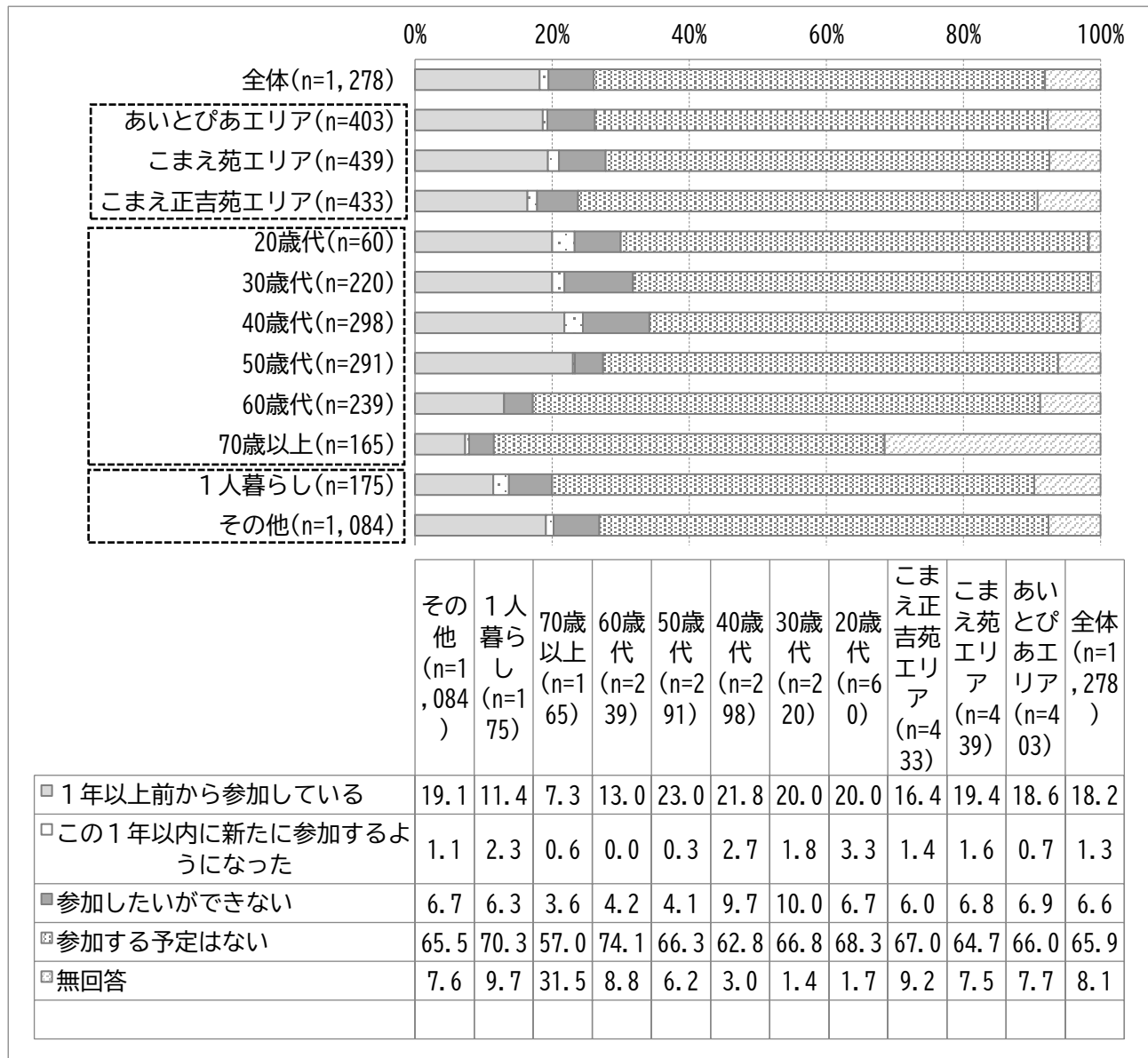
#### ⑤趣味の会やスポーツクラブ



第2章 市民一般調査

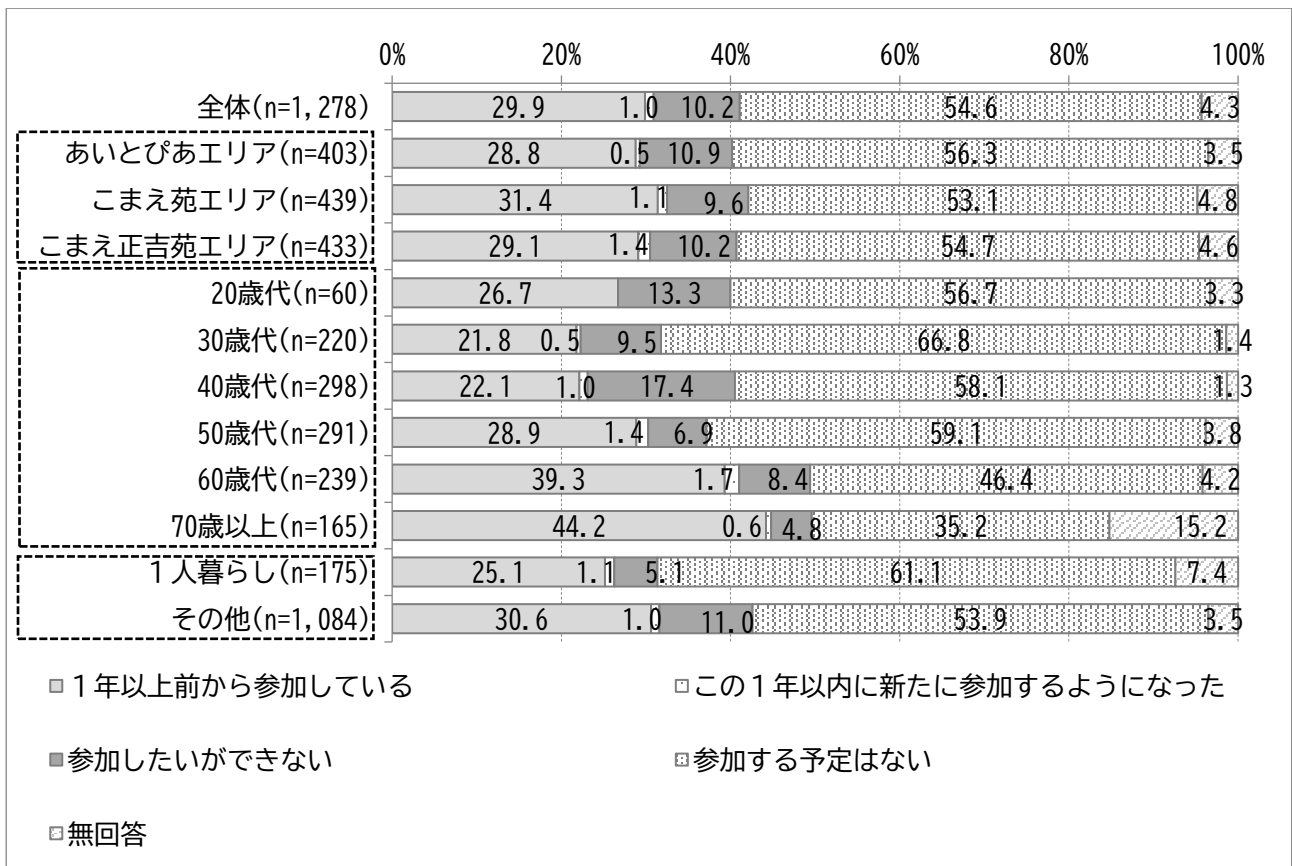
B 社会的孤立・孤独について

⑥職場内の会やグループ

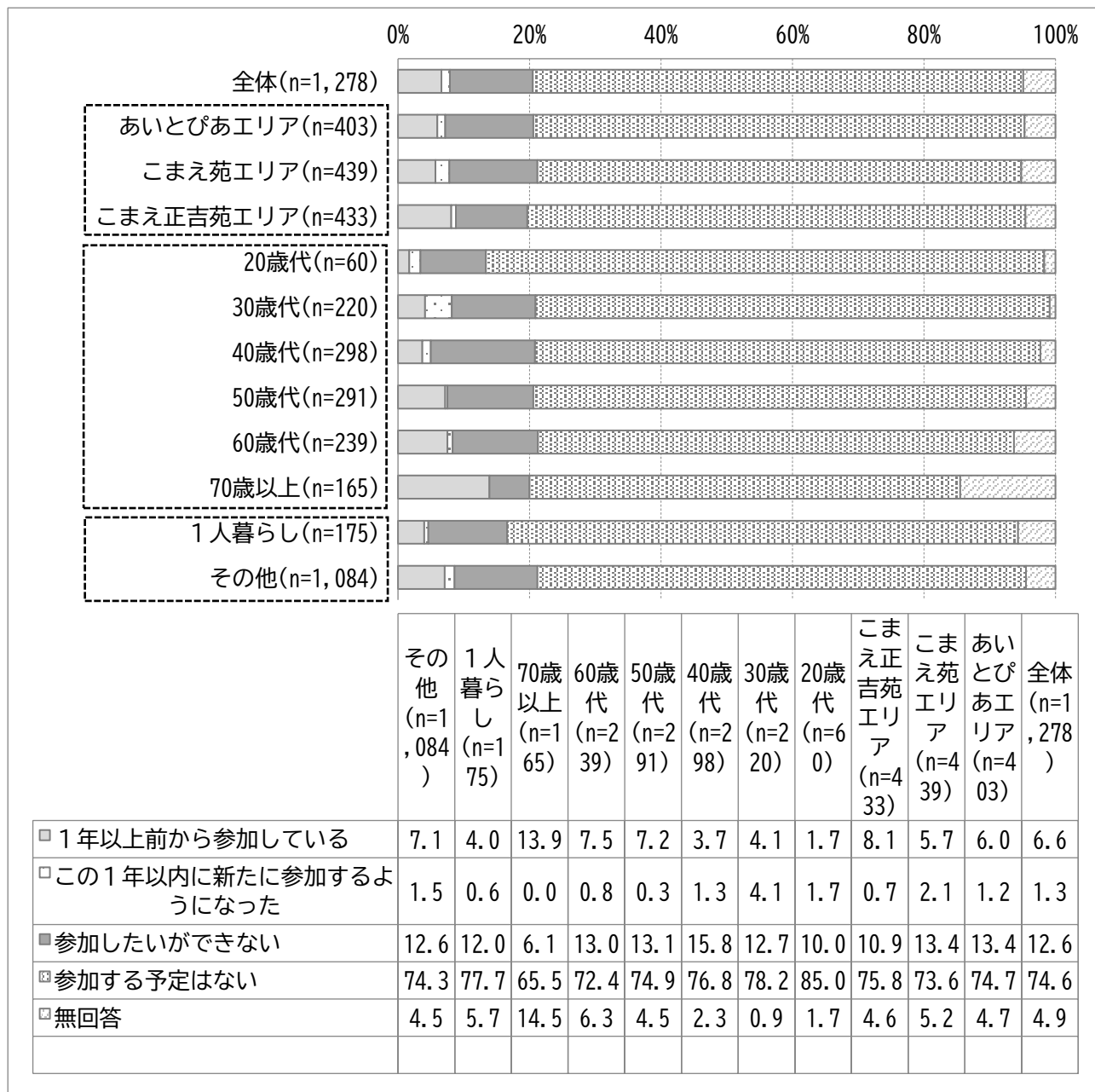




⑦同じ学校出身者の会やグループ

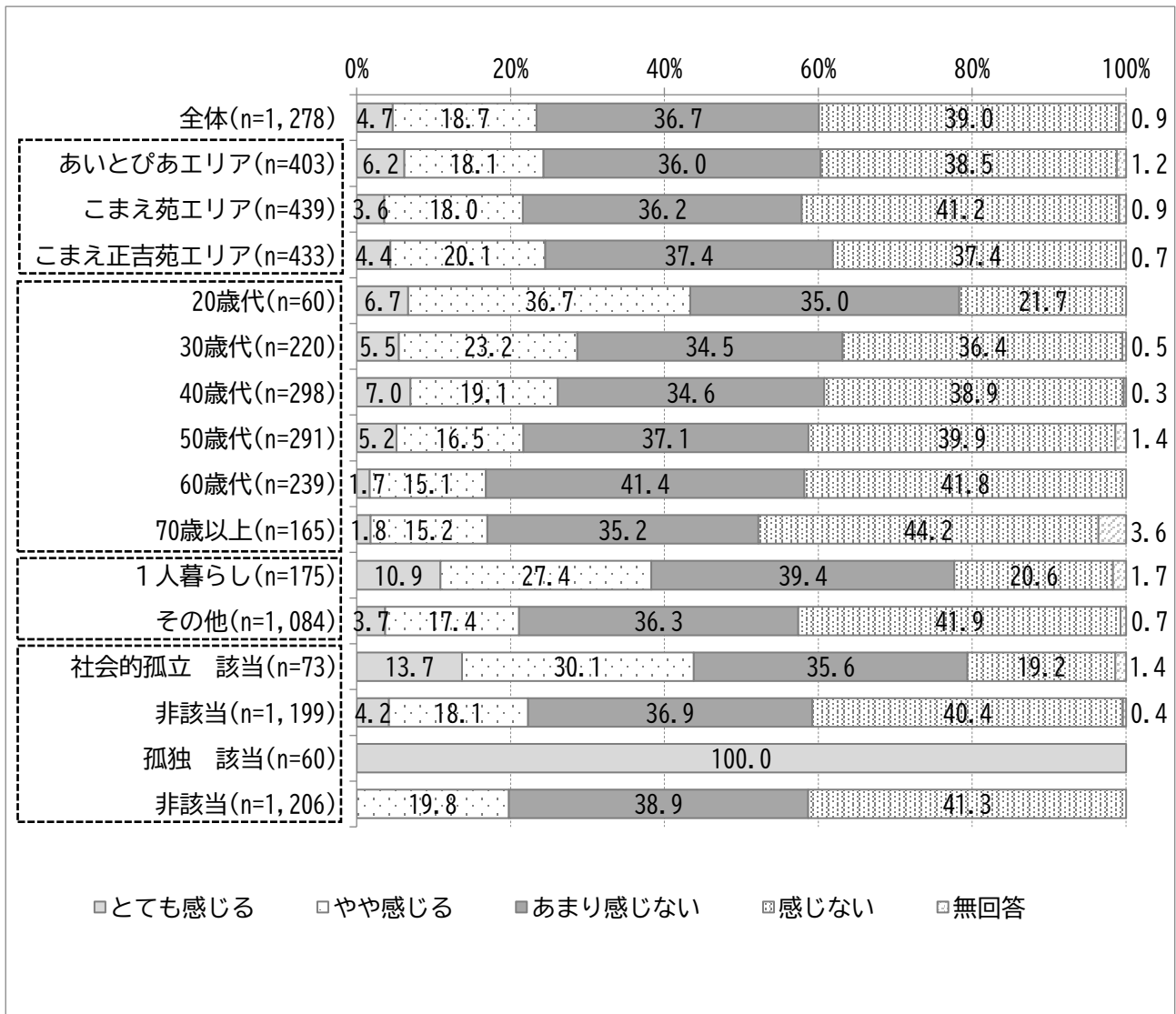


⑧地域のサロンや居場所



問 17 寂しい気持ち（孤独感）を日頃、感じますか。（○は1つ）

寂しい気持ちについては、「感じない」が39.0%で最も多く、次いで、「あまり感じない」が36.7%となっています。

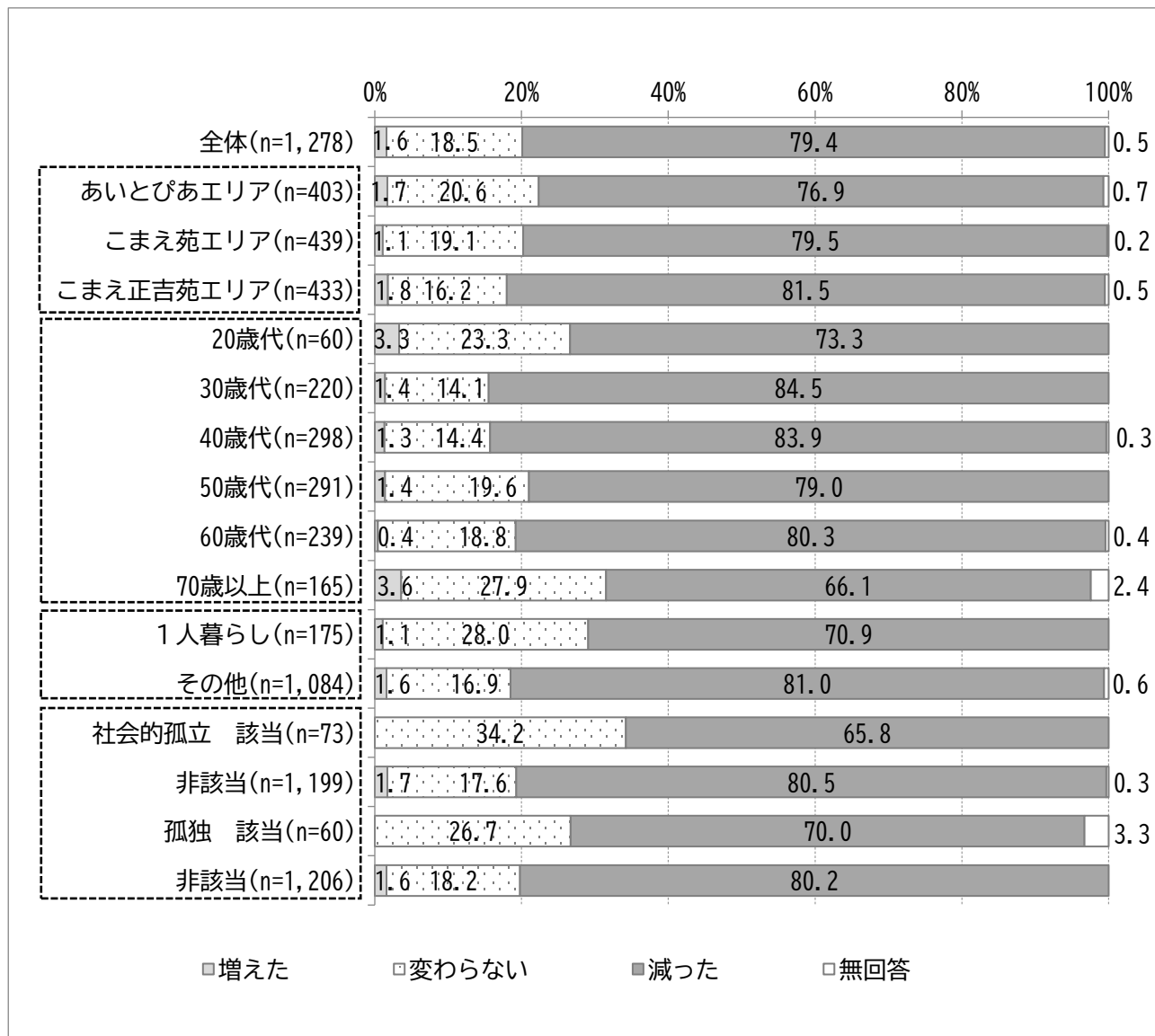


C 感染症の影響について

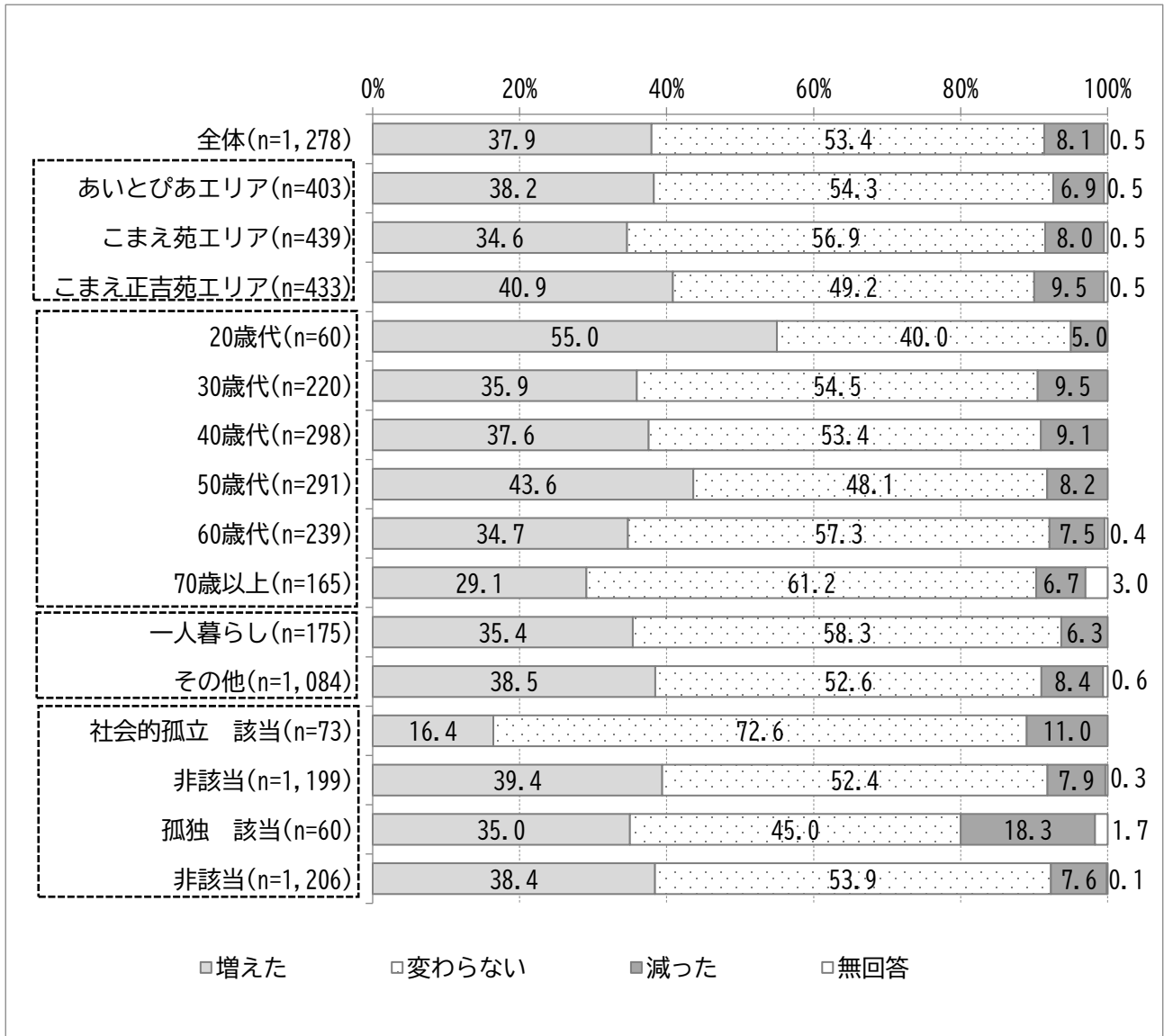
問18 新型コロナウイルス感染拡大により人とのコミュニケーションにどのような変化がありましたか。(①及び②それぞれについて、それぞれ○は1つだけ)

直接会ってコミュニケーションをとることについては、「減った」が79.4%で最も多く、次いで、「変わらない」が18.5%となっています。また、直接会わずにコミュニケーションをとることについては、「変わらない」が53.4%で最も多く、次いで「増えた」が37.9%となっています。

① 人と直接会ってコミュニケーションをとること コロナ感染拡大のコミュニケーションへの変化

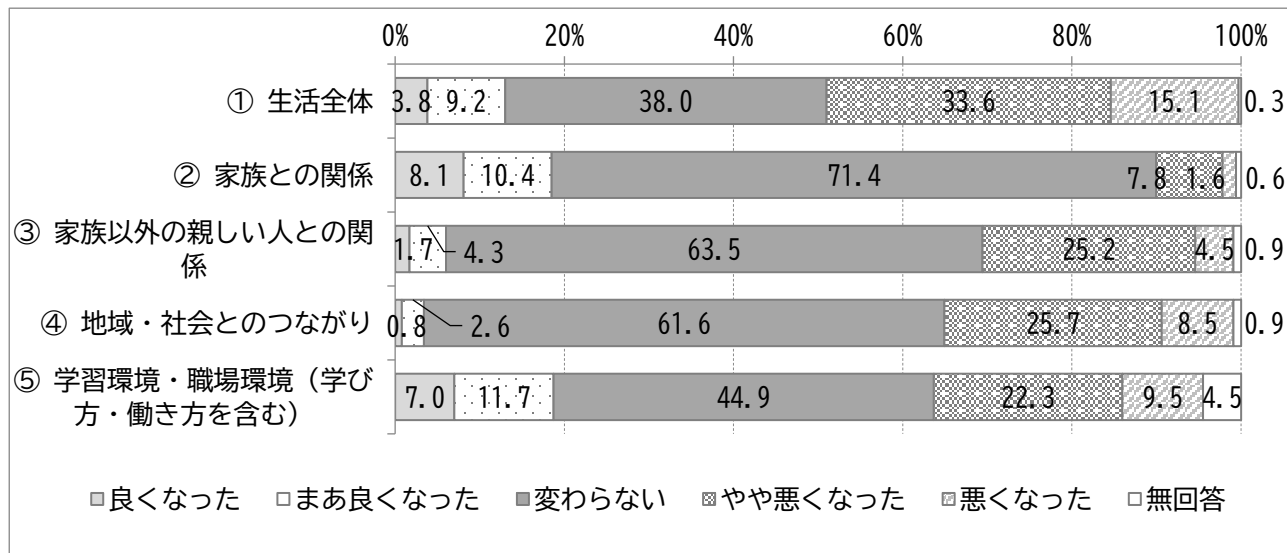


② 人と直接会わずにコミュニケーションをとること コロナ感染拡大のコミュニケーションへの変化



問 19 新型コロナウイルス感染拡大により、日常生活にどのような変化がありましたか。①～⑤について、それぞれお答えください。(①～⑤について、それぞれ〇はひとつだけ)

「①～⑤について日常生活に変化があったか」については、「②家族との関係」は「良くなった+まあ良くなった」が18.5%となっています。またそれ以外の①、③～⑤については「やや悪くなった+悪くなった」と回答した割合が多く、「①生活全体」が48.7%で最も多く、次いで「④地域・社会とのつながり」が34.2%となっています。

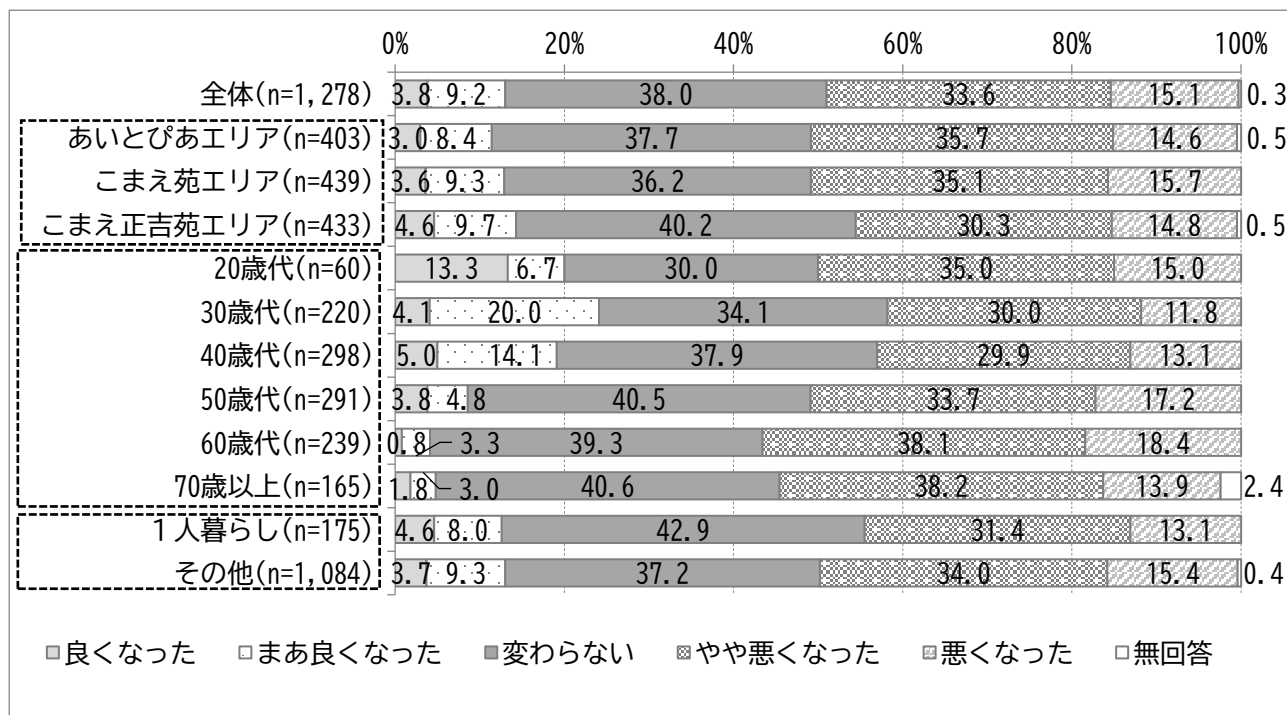


感染症拡大で日常生活が「悪くなった/やや悪くなった」割合 (単位：人、%)

	人数	⑤学習環境・職場環境	④地域・社会とのつながり	③家族以外の親しい人との関係	②家族との関係	①生活全体
全体	1,278	11.7	34.2	29.7	9.4	48.7
あいとぴあエリア	403	10.4	34.0	29.1	10.4	50.3
こまえ苑エリア	439	11.6	33.8	28.7	8.0	50.8
こまえ正吉苑エリア	433	12.9	34.5	31.4	10.1	45.1
20歳代	60	20.0	38.3	15.0	3.3	50.0
30歳代	220	21.4	36.9	32.3	12.3	41.8
40歳代	298	17.4	34.2	31.5	9.0	43.0
50歳代	291	8.9	32.0	26.1	8.2	50.9
60歳代	239	3.8	36.4	34.8	11.7	56.5
70歳以上	165	2.4	28.5	26.6	6.7	52.1
1人暮らし	175	8.6	25.2	22.3	9.2	44.5
その他	1,084	12.4	35.9	31.3	9.5	49.4
社会的孤立該当	73	30.2	26.0	26.0	13.7	49.3
社会的孤立非該当	1,199	32.0	34.8	30.0	9.2	48.9
孤独該当	60	46.6	68.3	26.6	43.4	55.0
孤独非該当	1,206	31.3	48.0	8.7	29.2	33.4

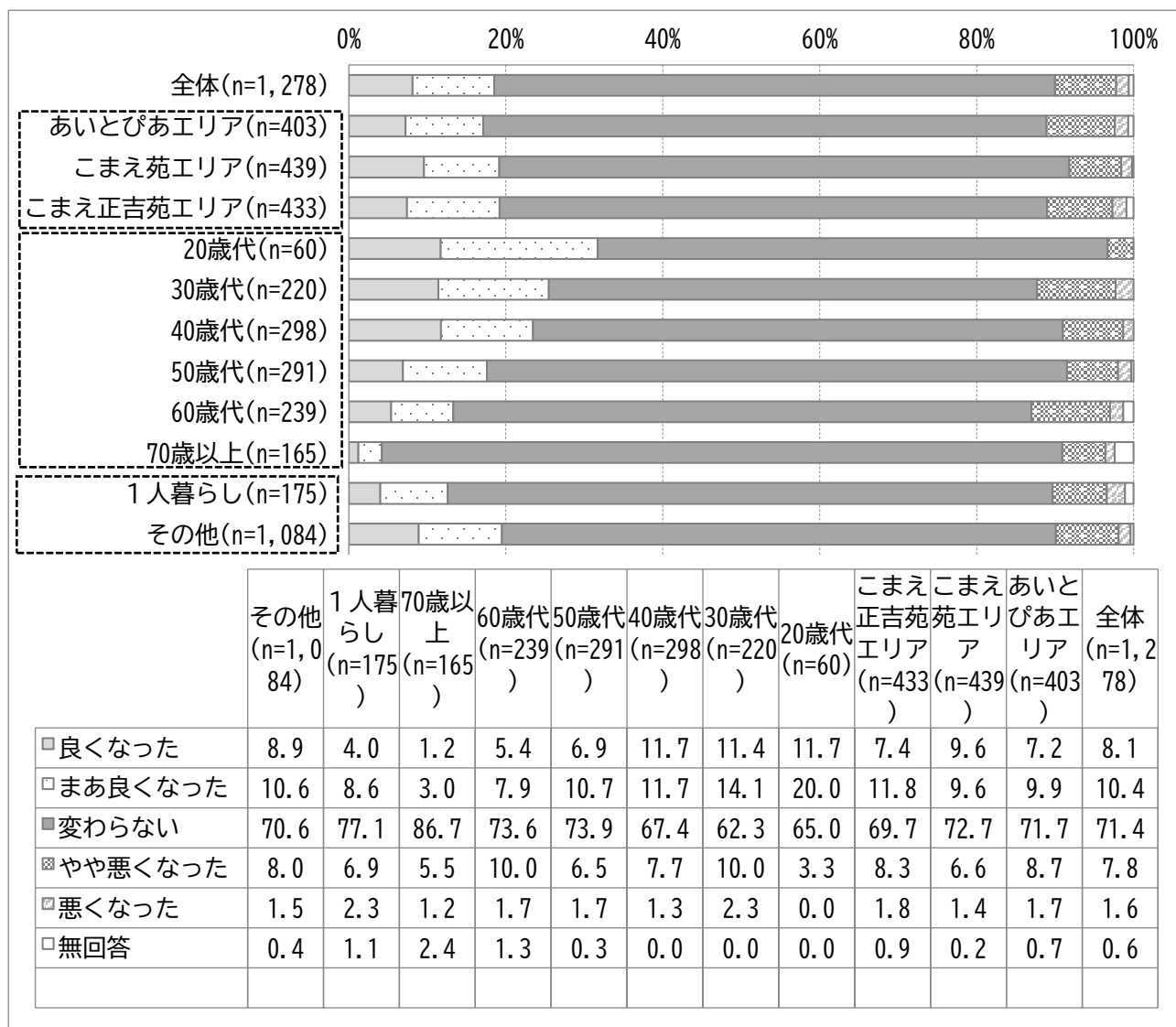
「①生活全体の日常生活」の変化については、「変わらない」が38.0%で最も多く、次いで、「やや悪くなった」が33.6%となっています。

① 生活全体 コロナ感染拡大の日常生活への変化



「②家族との関係の日常生活」の変化については、「変わらない」が71.4%で最も多く、次いで、「まあ良くなった」が10.4%となっています。

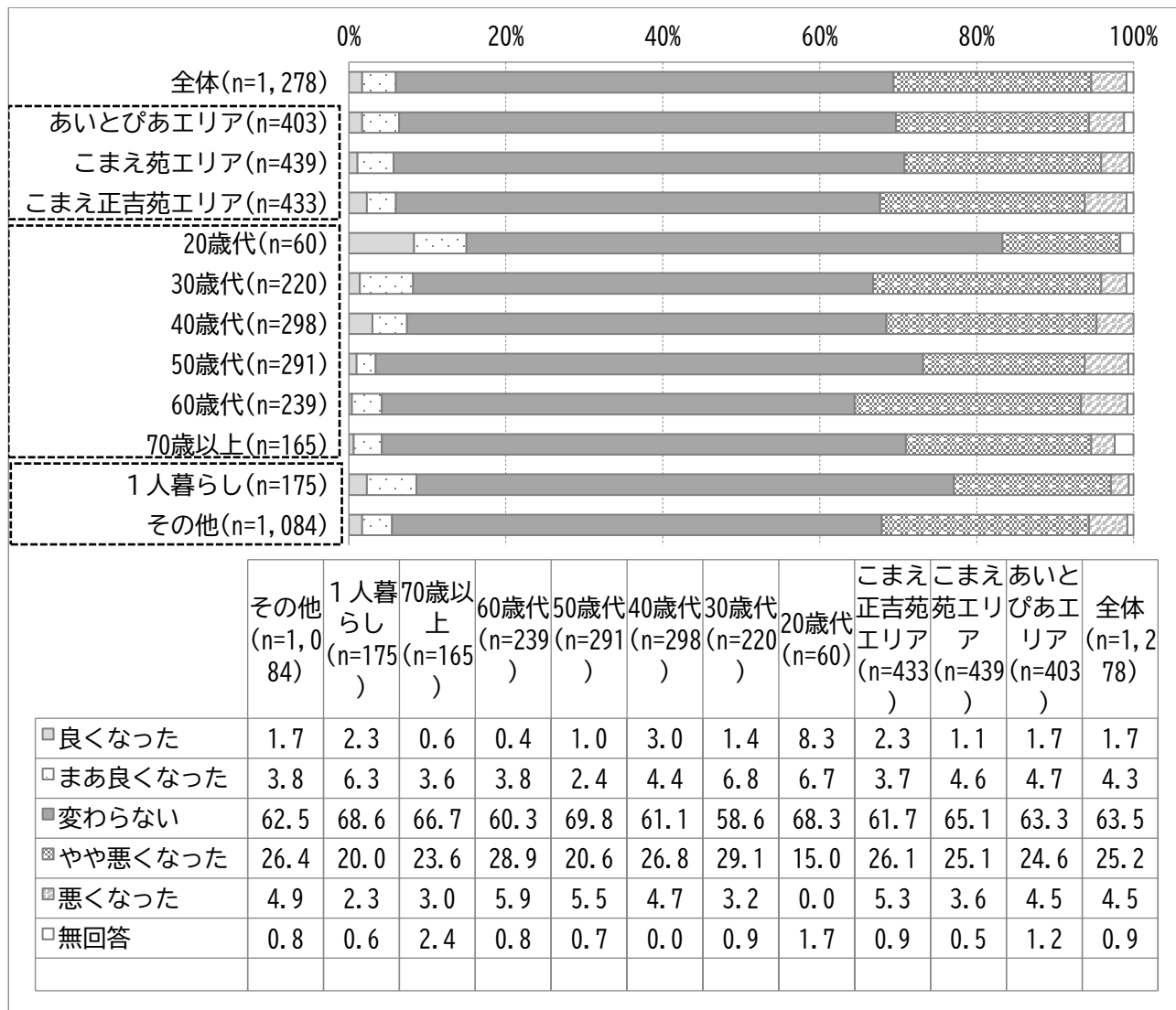
② 家族との関係 コロナ感染拡大の日常生活への変化





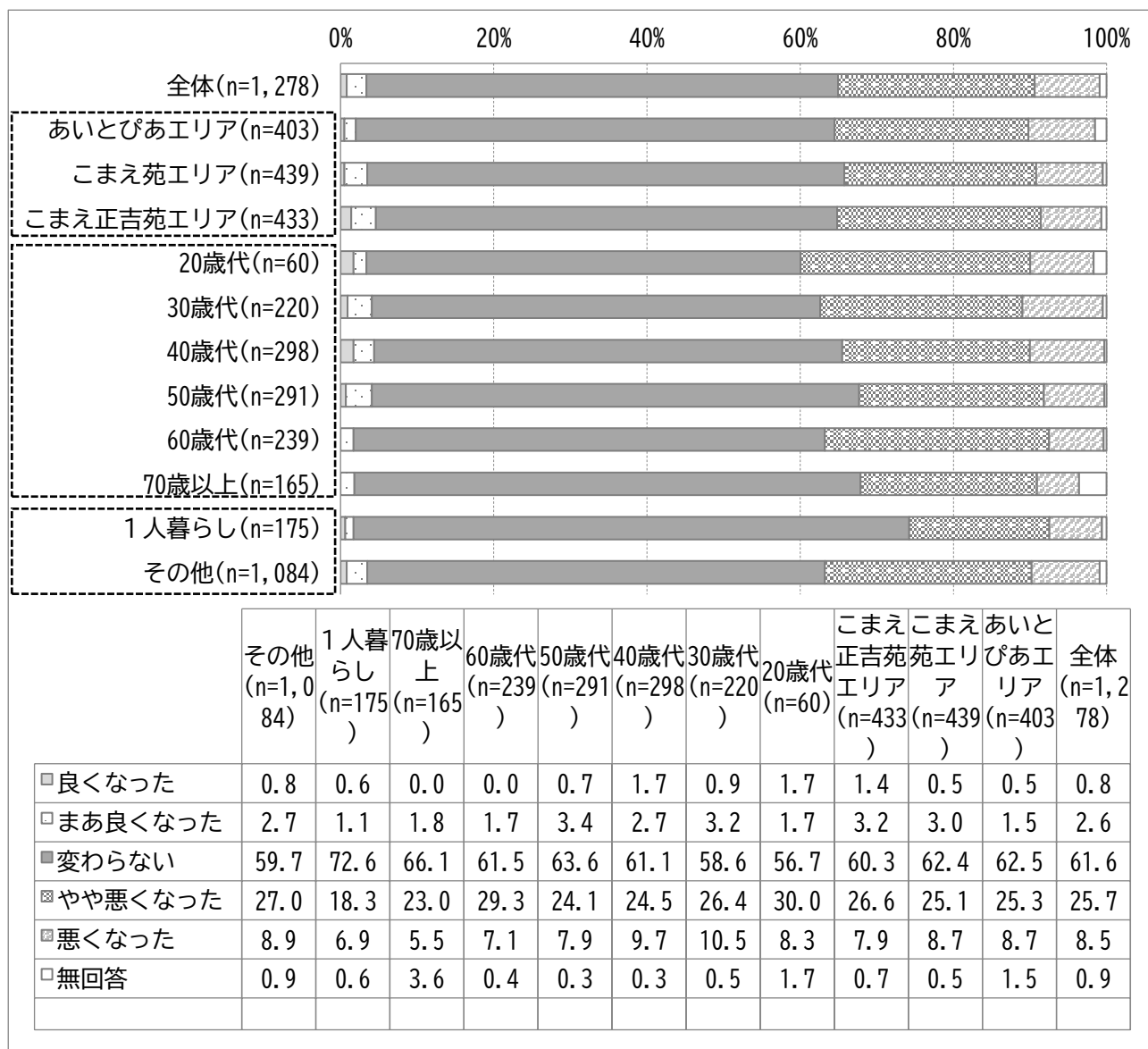
「③家族以外の親しい方との関係の日常生活」の変化については、「変わらない」が 63.5%で最も多く、次いで、「やや悪くなった」が 25.2%となっています。

③ 家族以外の親しい方との関係 コロナ感染拡大の日常生活への変化



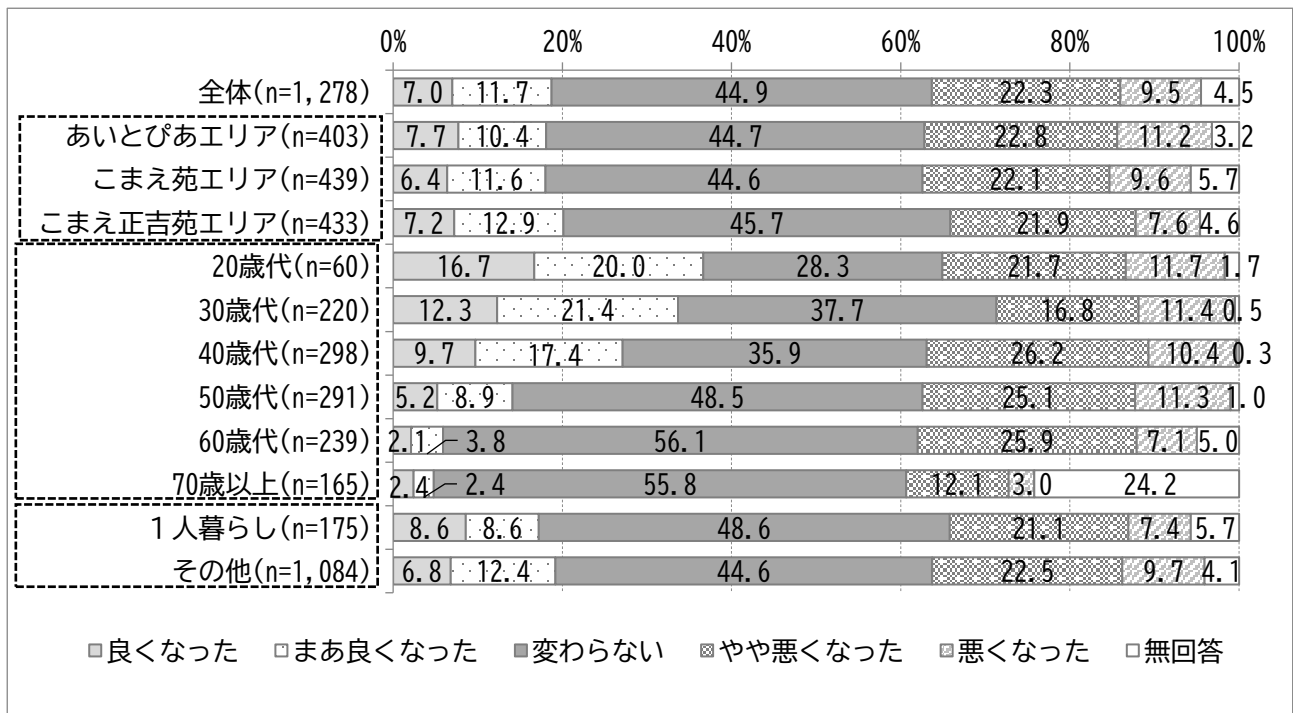
「④ 地域・社会とのつながりに関しての日常生活」の変化については、「変わらない」が61.6%で最も多く、次いで、「やや悪くなった」が25.7%となっています。

④ 地域・社会とのつながり コロナ感染拡大の日常生活への変化



「⑤ 学習環境・職場環境（学び方・働き方を含む）の日常生活」の変化については、「変わらない」が44.9%で最も多く、次いで、「やや悪くなった」が22.3%となっています。

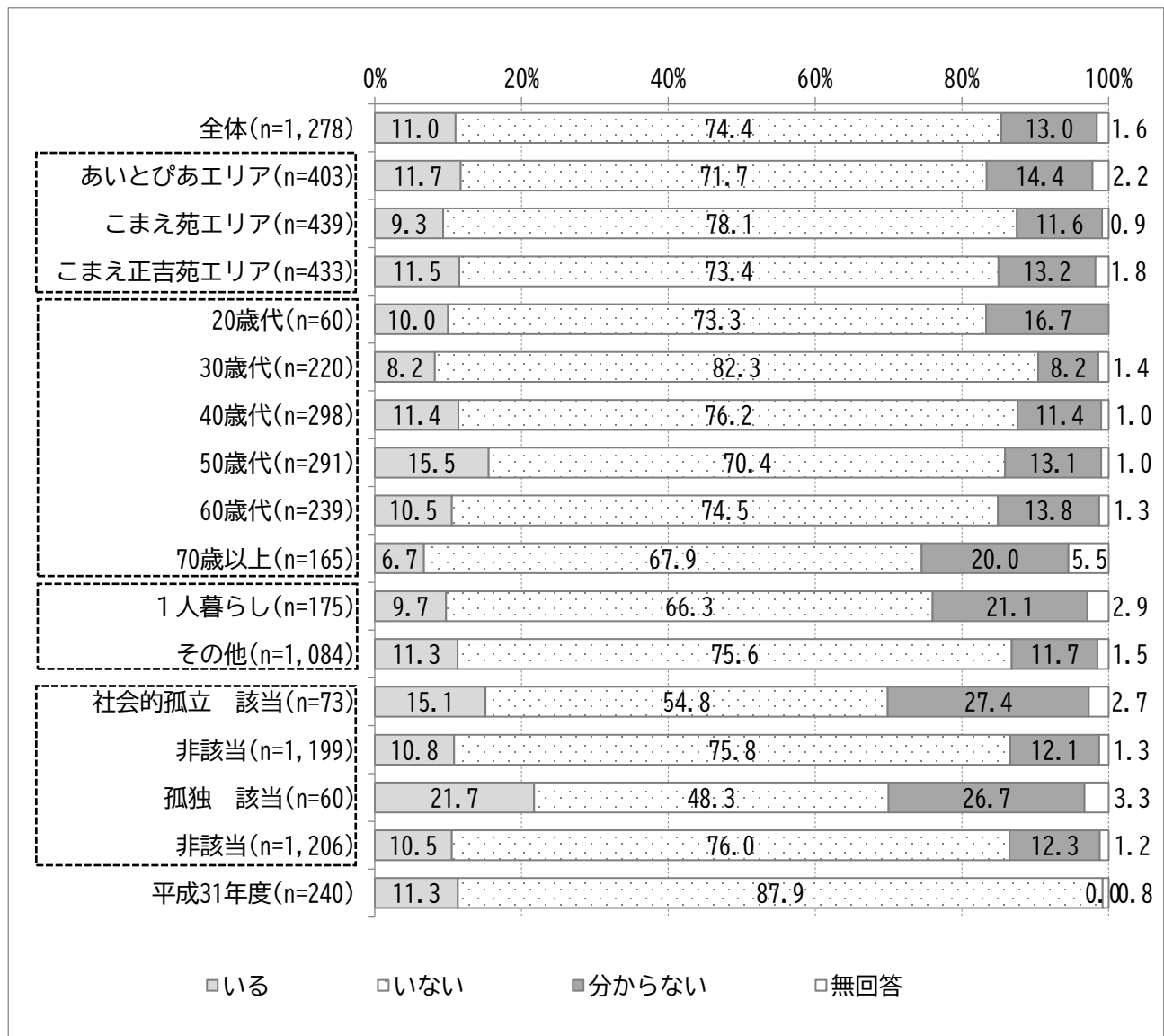
④ 学習環境・職場環境（学び方・働き方を含む） コロナ感染拡大の日常生活への変化



**D 「ひきこもり」状態にある方の状況について**

問 20 あなたやあなたの周りの方に「ひきこもり」の状態にある方はいますか。(○は1つ)

周りの方に「ひきこもり」の状態にある方がいるかについては、「いない」が74.4%、「分からない」が13.0%となっています。

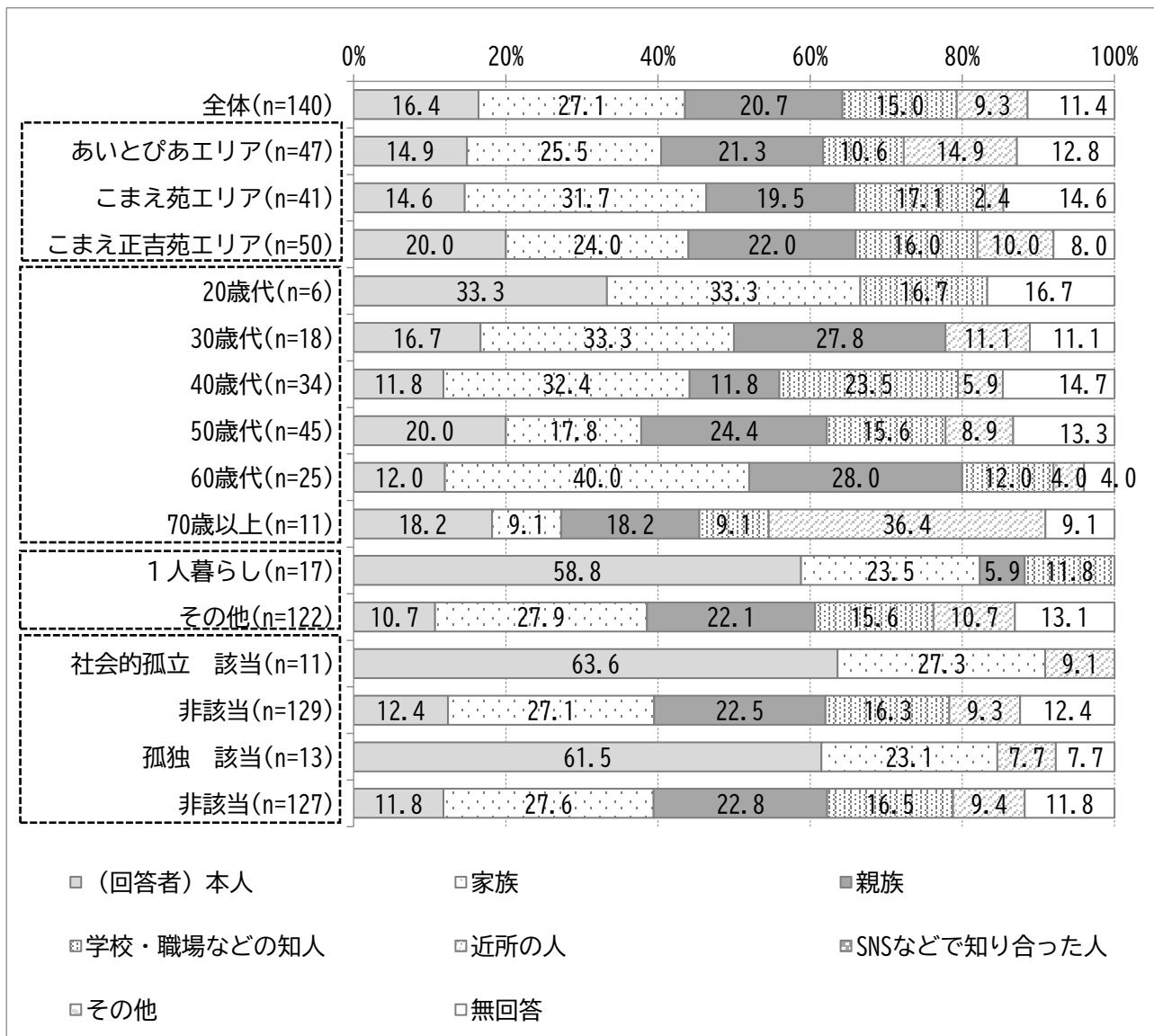


※平成 31 年度調査では、「分からない」の選択肢はない。

問 21 【問 20 で「1 いる」と回答した方へ】

「ひきこもり」の状態にある方とあなたの関係を教えてください。(○は1つ)

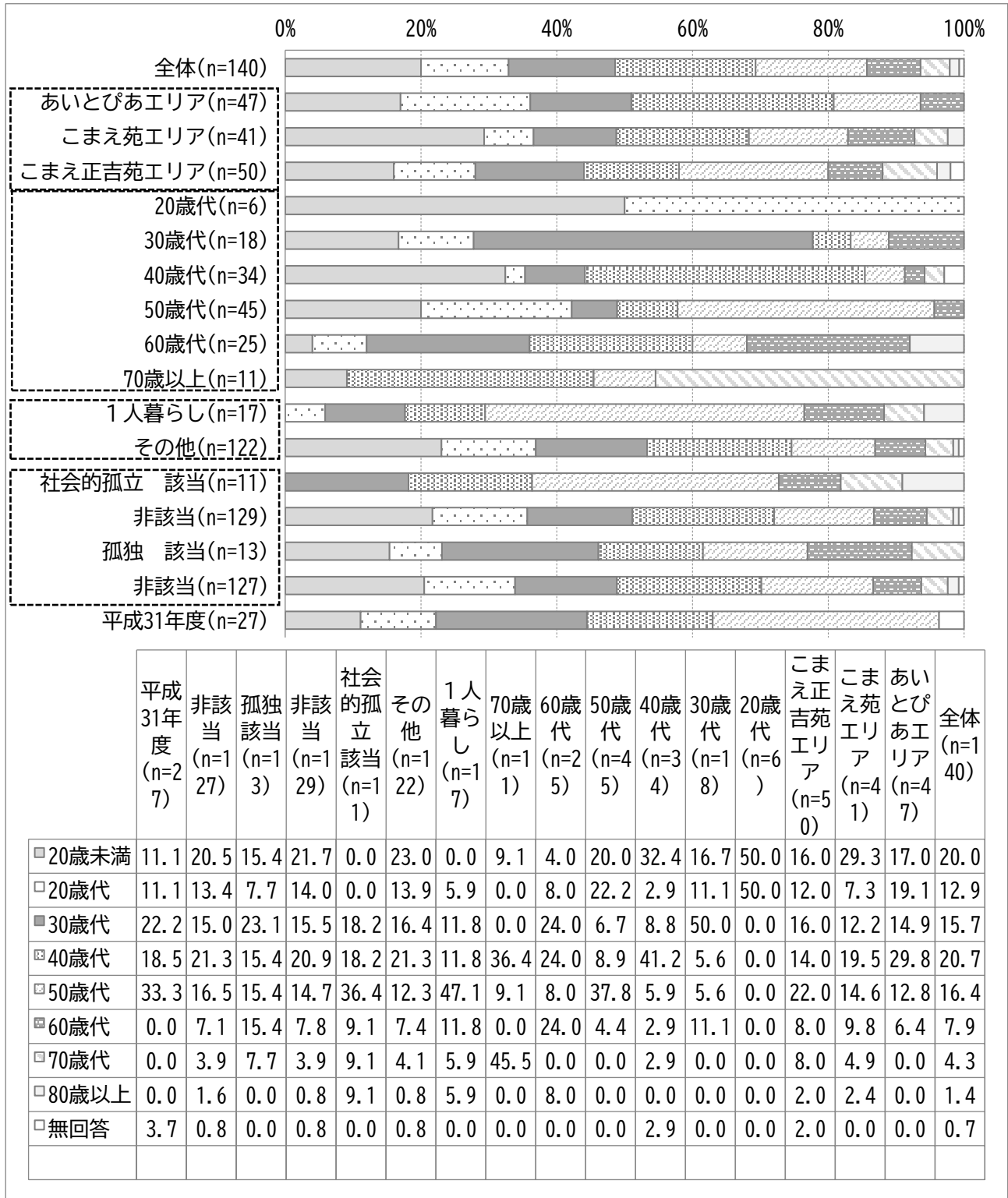
「ひきこもり」の状態にある方との関係については、「家族」が 27.1%で最も多く、次いで、「親族」が 20.7%となっています。



問 22 【問 20 で「1 いる」と回答した方へ】

「ひきこもり」の状態にある方の年齢は次のどれですか。(○は1つ)

「ひきこもり」の状態にある方の年齢については、「40 歳代」が 20.7%で最も多く、次いで、「20 歳未満」が 20.0%となっています。

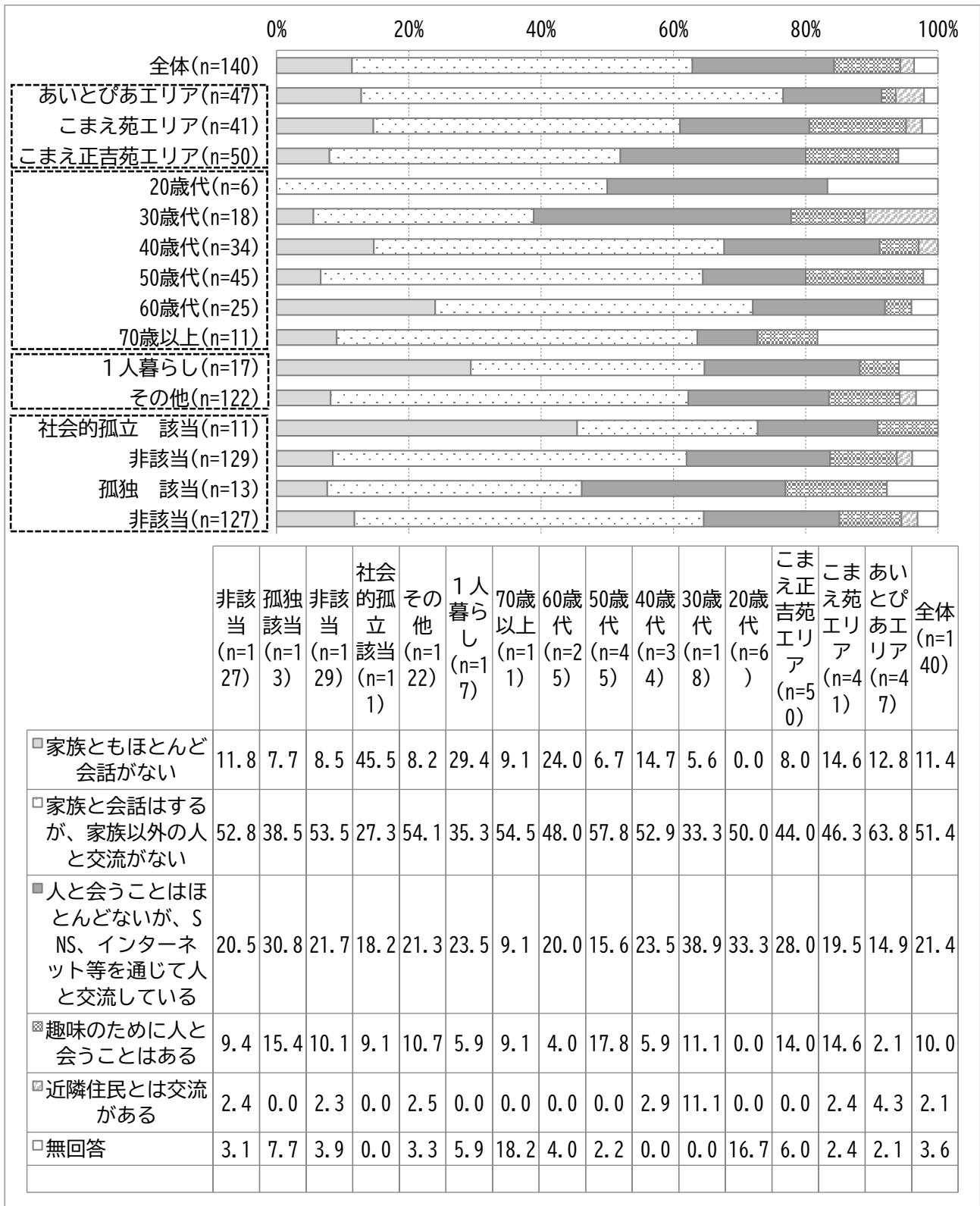


※平成 31 年度調査では、「50 歳以上」の選択肢となっていた。

問 23 【問 20 で「1 いる」と回答した方へ】

その方の交流の状況について、お答えください。(○は1つ)

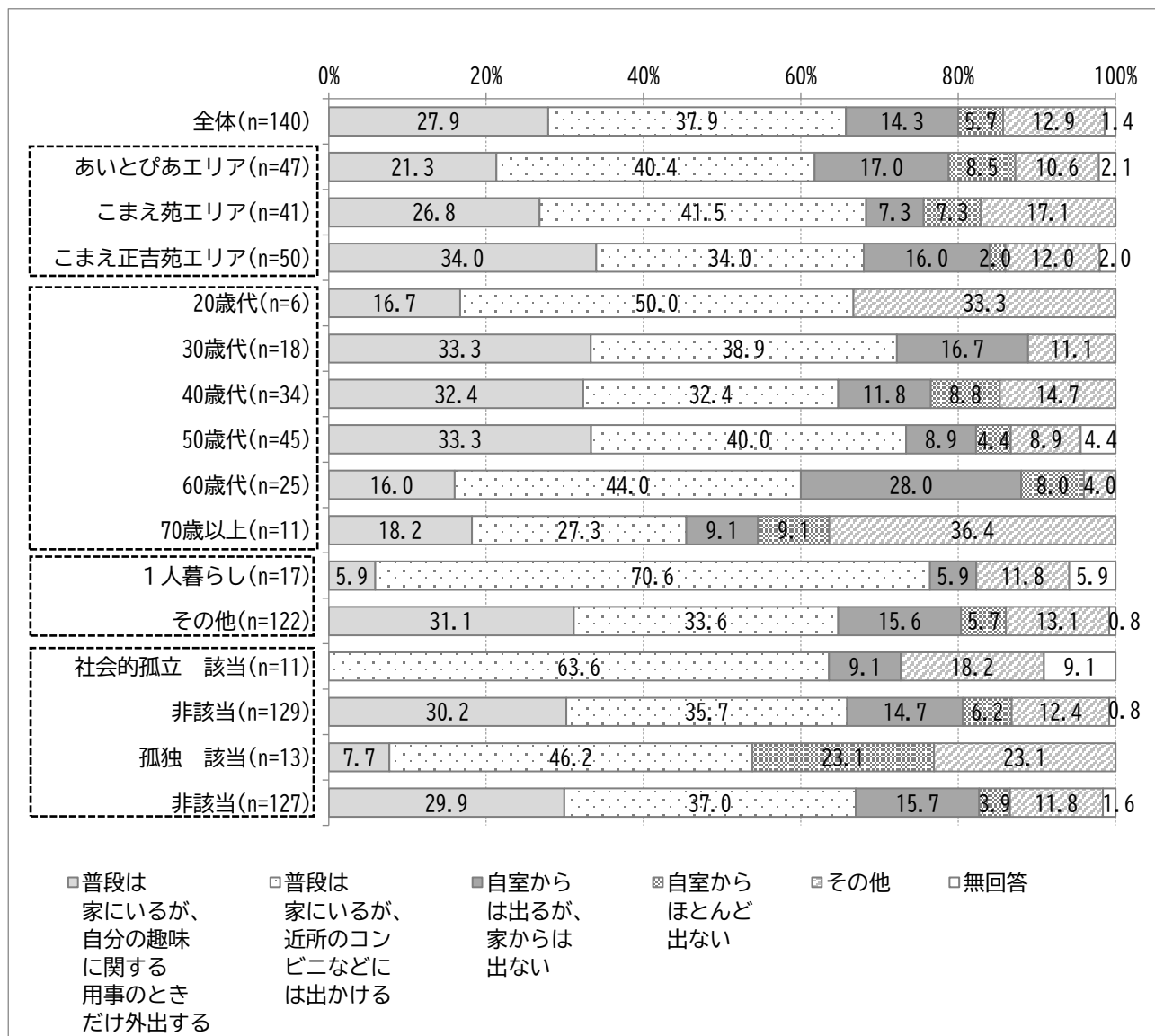
「ひきこもり」の状態にある方の交流の状態については、「家族と会話はするが、家族以外の方と交流がない」が 51.4%で最も多く、次いで、「人と会うことはほとんどないが、SNS、インターネット等を通じて人と交流している」が 21.4%となっています。



問 24 【問 20 で「1 いる」と回答した方へ】

その方は普段どれくらい外出しますか(新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛を除く)。  
(○は1つ)

どれくらい外出しているかについては、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が 37.9%で最も多く、次いで、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のみだけ外出する」が 27.9%となっています。

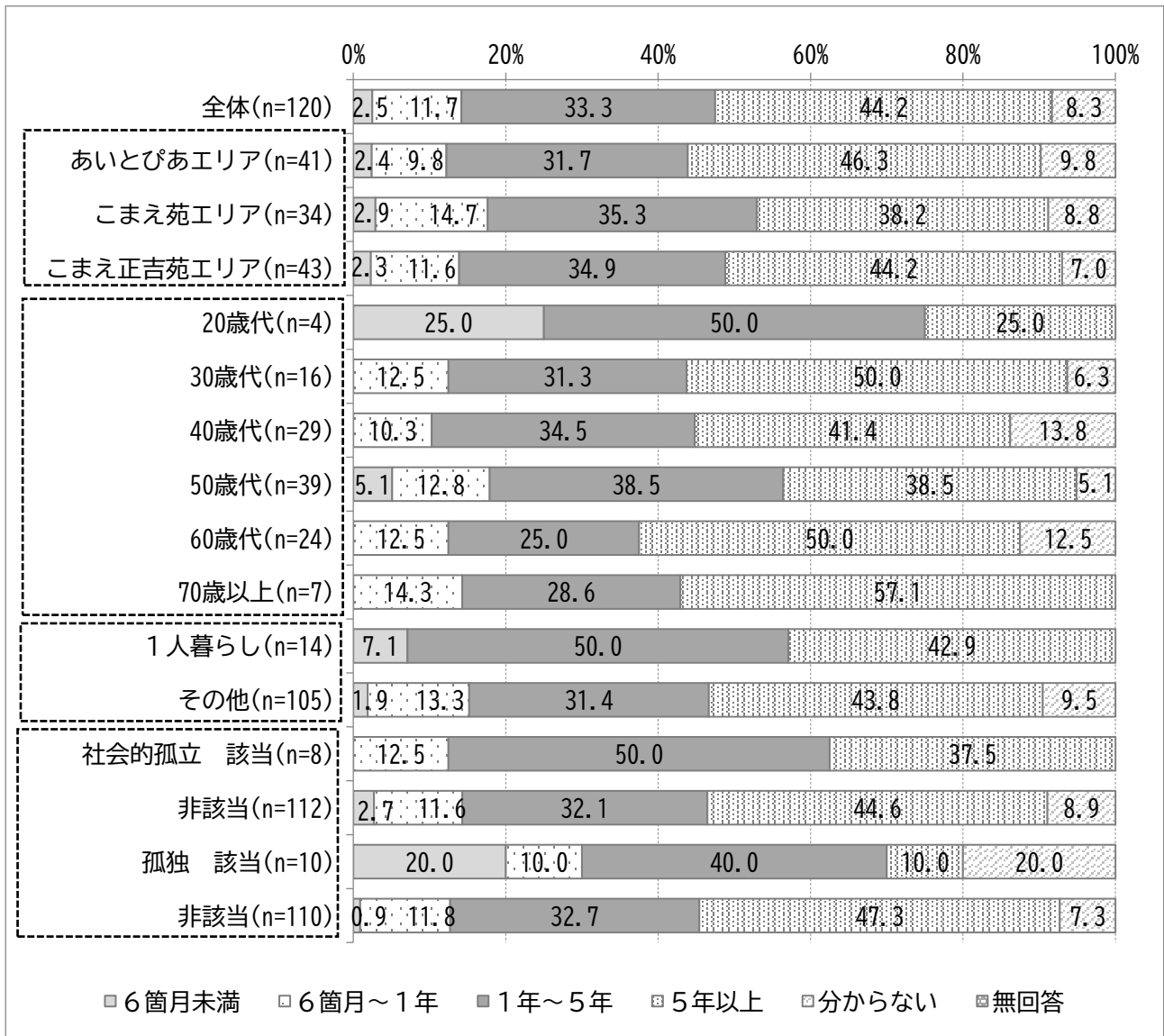




問 25 【問 24 で「その他」以外に○を付けた方のみにお伺いします】

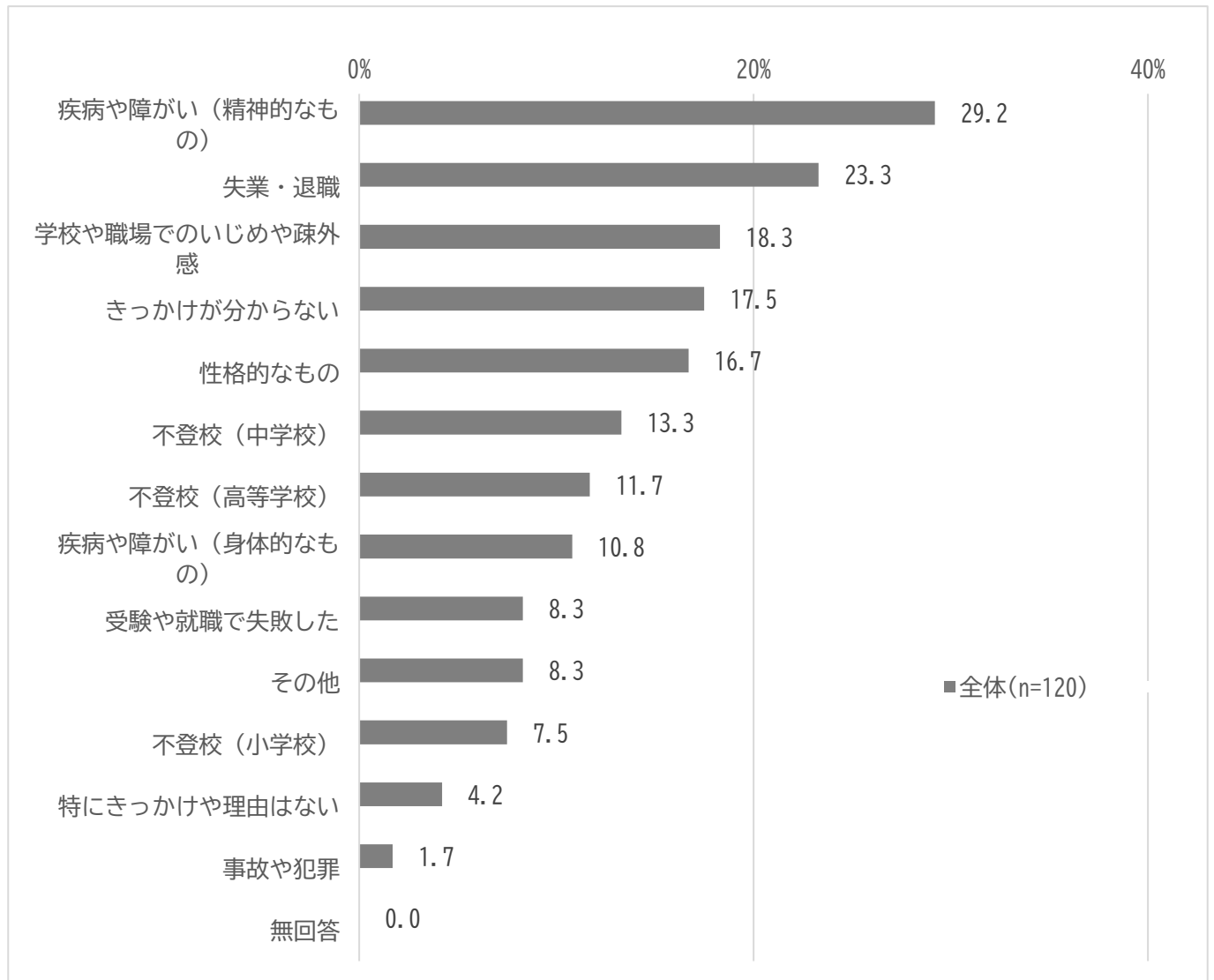
その方がその状態になってどのくらい続いていますか。(○は1つ)

その状態については、「5年以上」が44.2%で最も多く、次いで、「1年～5年」が33.3%となっています。



問 26 その方がその状態になったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

その状態になったきっかけについては、「疾病や障がい(精神的なもの)」が 29.2%で最も多く、次いで、「失業・退職」が 23.3%となっています。



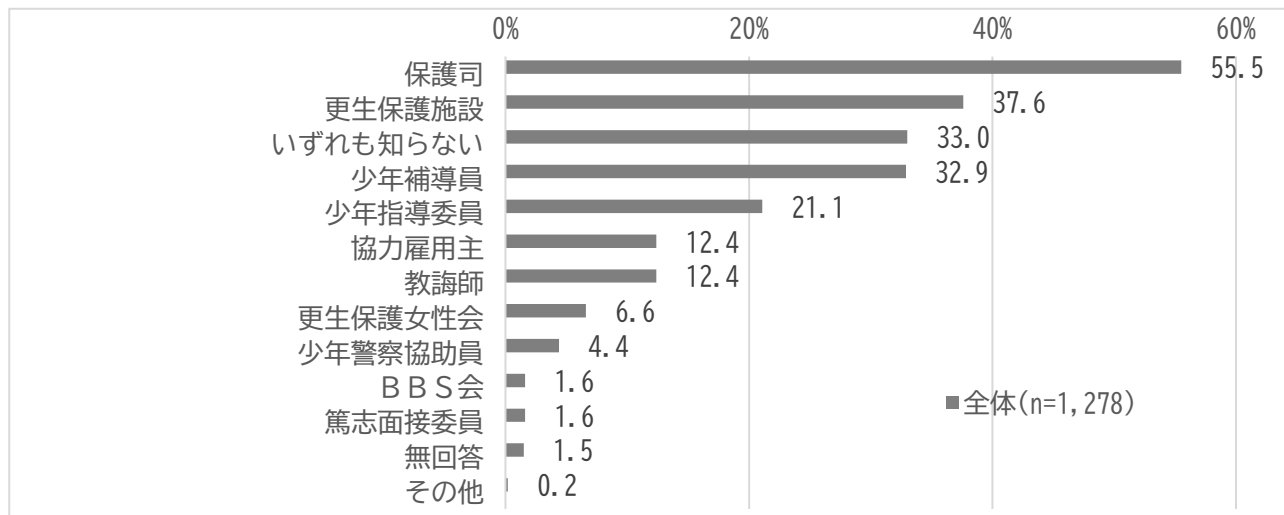
(単位：人、%)

区分	人数	無回答	事故や犯罪	特にきっかけや理由はない	不登校（小学校）	その他	受験や就職で失敗した	疾病や障がい（身体的なもの）	不登校（高等学校）	不登校（中学校）	性格的なもの	きっかけが分からない	学校や職場でのいじめや疎外感	失業・退職	疾病や障がい（精神的なもの）
全体	120	0.0	1.7	4.2	7.5	8.3	8.3	10.8	11.7	13.3	16.7	17.5	18.3	23.3	29.2
あいとぴあエリア	41	0.0	0.0	2.4	7.3	4.9	9.8	9.8	12.2	19.5	14.6	29.3	26.8	29.3	24.4
こまえ苑エリア	34	0.0	0.0	5.9	8.8	8.8	5.9	8.8	8.8	17.6	17.6	5.9	14.7	8.8	29.4
こまえ正吉苑エリア	43	0.0	4.7	4.7	7.0	11.6	9.3	14.0	11.6	2.3	18.6	16.3	11.6	30.2	34.9
20歳代	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	75.0	50.0	75.0
30歳代	16	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3	12.5	6.3	12.5	18.8	6.3	18.8	25.0	31.3	37.5
40歳代	29	0.0	0.0	3.4	20.7	17.2	6.9	10.3	3.4	10.3	24.1	10.3	13.8	20.7	27.6
50歳代	39	0.0	2.6	5.1	5.1	2.6	12.8	12.8	20.5	15.4	12.8	17.9	15.4	17.9	30.8
60歳代	24	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	12.5	4.2	8.3	25.0	20.8	16.7	29.2	25.0
70歳以上	7	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	42.9	0.0	14.3	0.0
1人暮らし	14	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	28.6	14.3	7.1	7.1	14.3	7.1	64.3	35.7
その他	105	0.0	1.9	3.8	8.6	8.6	9.5	8.6	11.4	14.3	18.1	17.1	20.0	18.1	28.6
社会的孤立該当	8	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	62.5	50.0
社会的孤立非該当	112	0.0	1.8	4.5	8.0	8.0	8.9	10.7	12.5	14.3	17.9	17.9	18.8	20.5	27.7
孤独該当	10	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	30.0	10.0	30.0	70.0	60.0
孤独非該当	110	0.0	1.8	3.6	8.2	9.1	9.1	8.2	12.7	14.5	15.5	18.2	17.3	19.1	26.4

E 再犯防止について

問 27 あなたは、再犯防止に協力する民間協力者として、次の方々がいることを知っていますか。(〇はいくつでも)

再犯防止に協力する民間協力者がいることを知っているかについては、「保護司」が 55.5%で最も多く、次いで、「更生保護施設」が 37.6%となっています。

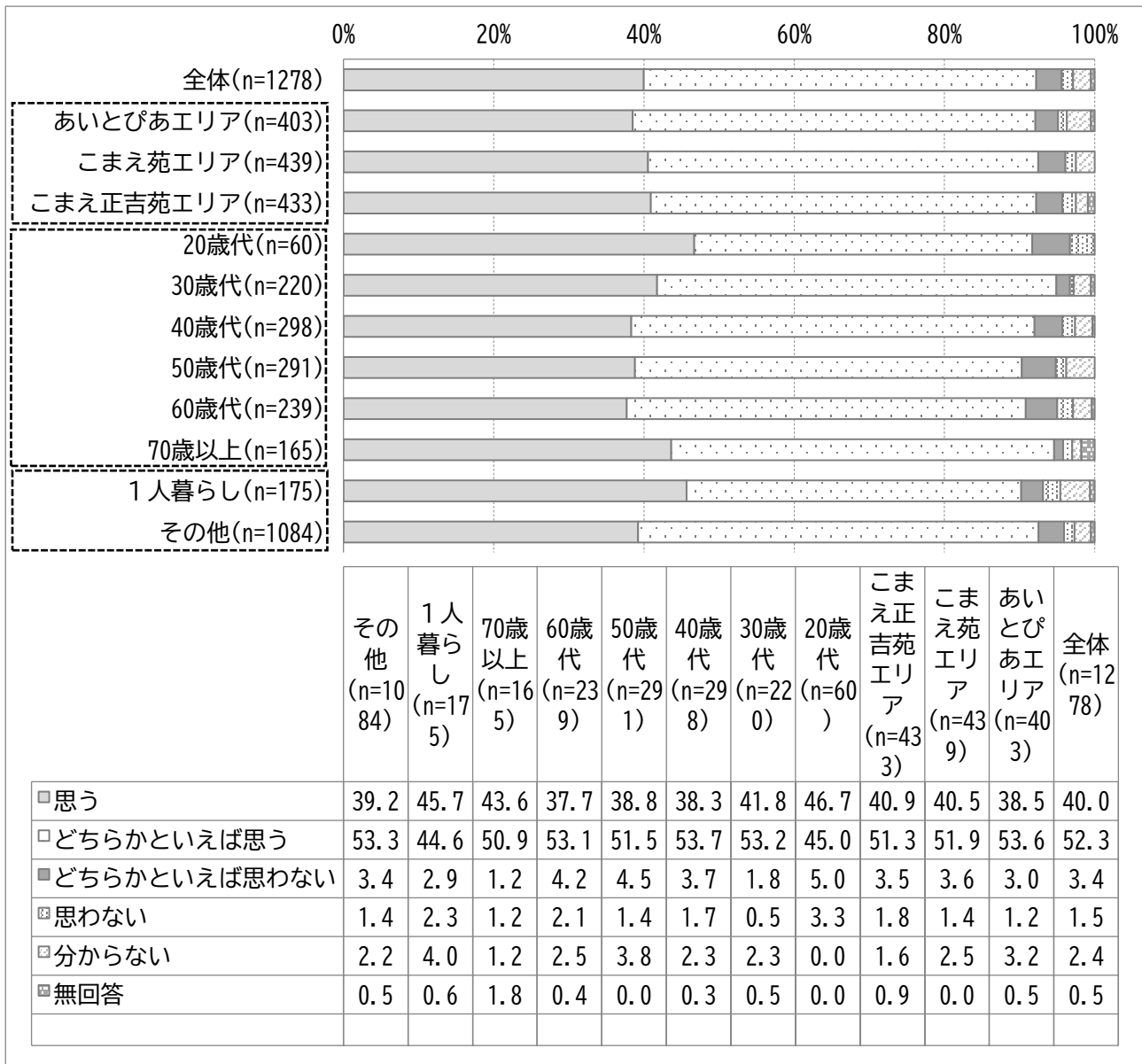


(単位：人、%)

区分	人数	その他	無回答	篤志面接委員	BBS会	少年警察協助手員	更生保護女性会	教諭師	協力雇用主	少年指導委員	少年補導員	いずれも知らない	更生保護施設	保護司
全体	1,278	0.2	1.5	1.6	1.6	4.4	6.6	12.4	12.4	21.1	32.9	33.0	37.6	55.5
あいとびあエリア	403	0.0	0.7	1.0	1.2	5.0	6.0	12.7	11.4	19.9	32.0	37.0	36.2	53.8
こまえ苑エリア	439	0.0	1.1	1.6	1.1	2.5	5.2	10.9	12.3	20.5	34.6	33.3	37.1	54.2
こまえ正吉苑エリア	433	0.5	2.5	2.1	2.3	5.8	8.5	13.6	13.6	22.9	31.9	29.1	39.0	58.2
20歳代	60	0.0	1.7	0.0	5.0	6.7	6.7	5.0	10.0	21.7	26.7	50.0	26.7	30.0
30歳代	220	0.0	2.3	0.9	1.8	0.9	5.5	9.1	11.8	17.7	25.5	46.8	31.4	38.2
40歳代	298	0.3	0.7	1.3	1.7	4.7	5.0	10.4	13.4	20.8	30.9	37.9	36.6	47.3
50歳代	291	0.3	1.0	3.1	1.4	6.5	7.2	15.5	11.7	23.4	38.1	26.8	43.3	62.2
60歳代	239	0.0	0.4	1.3	0.8	4.6	7.9	15.1	12.6	21.8	38.1	24.3	42.3	71.1
70歳以上	165	0.0	4.2	1.2	1.2	3.6	7.9	13.9	13.9	21.2	32.7	22.4	35.2	68.5
1人暮らし	175	0.0	1.7	1.7	1.1	7.4	9.1	16.6	15.4	25.1	36.0	33.1	41.1	57.7
その他	1,084	0.2	1.5	1.5	1.7	4.0	6.1	11.7	12.0	20.6	32.6	33.2	36.9	54.7

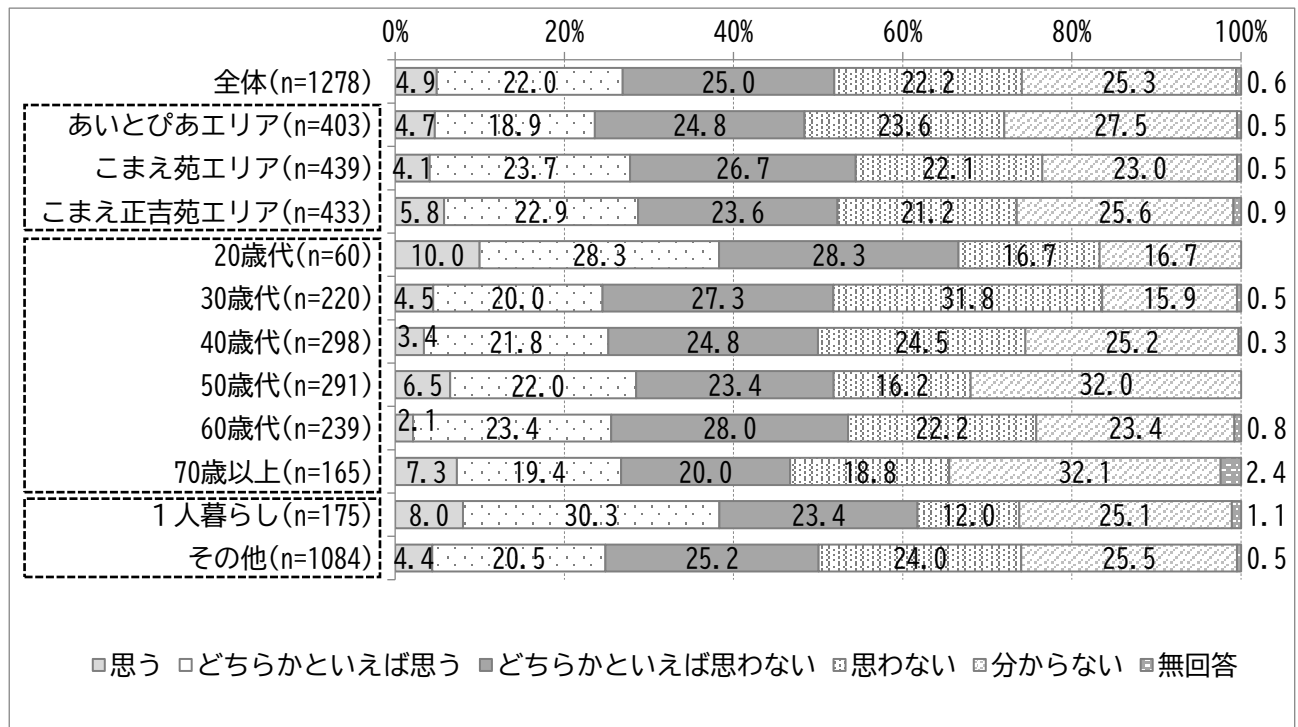
問 28 現在、あなたが住まいの地域は、治安が良く、安心して安全に暮らせる地域だと思いますか。(○は1つ)

住まいの地域は安心して安全に暮らせる地域かどうかについては、「どちらかといえば思う」が52.3%で最も多く、次いで、「思う」が40.0%となっています。



問 29 あなたは、犯罪をした方の立ち直りに協力したいと思いますか。(○は1つ)

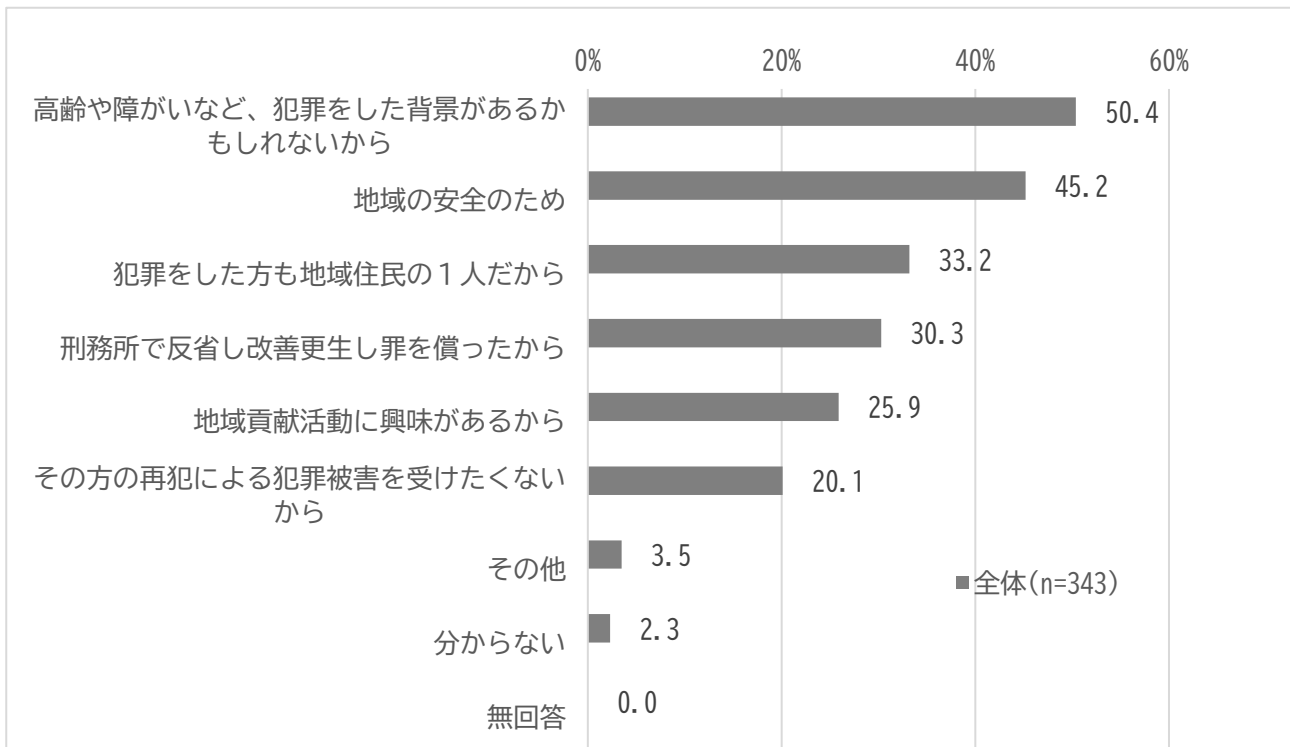
犯罪をした方の立ち直りに協力したいかについては、「分からない」が25.3%で最も多く、次いで、「どちらかといえば思わない」が25.0%となっています。



問 29-2 【問 29 で「1 思う」、「2 どちらかといえば思う」と回答した方へ】

協力したいと思う理由を教えてください。(〇はいくつでも)

協力したいと思う理由については、「高齢や障がいなど、犯罪をした背景があるかもしれないから」が 50.4%で最も多く、次いで、「地域の安全のため」が 45.2%となっています。

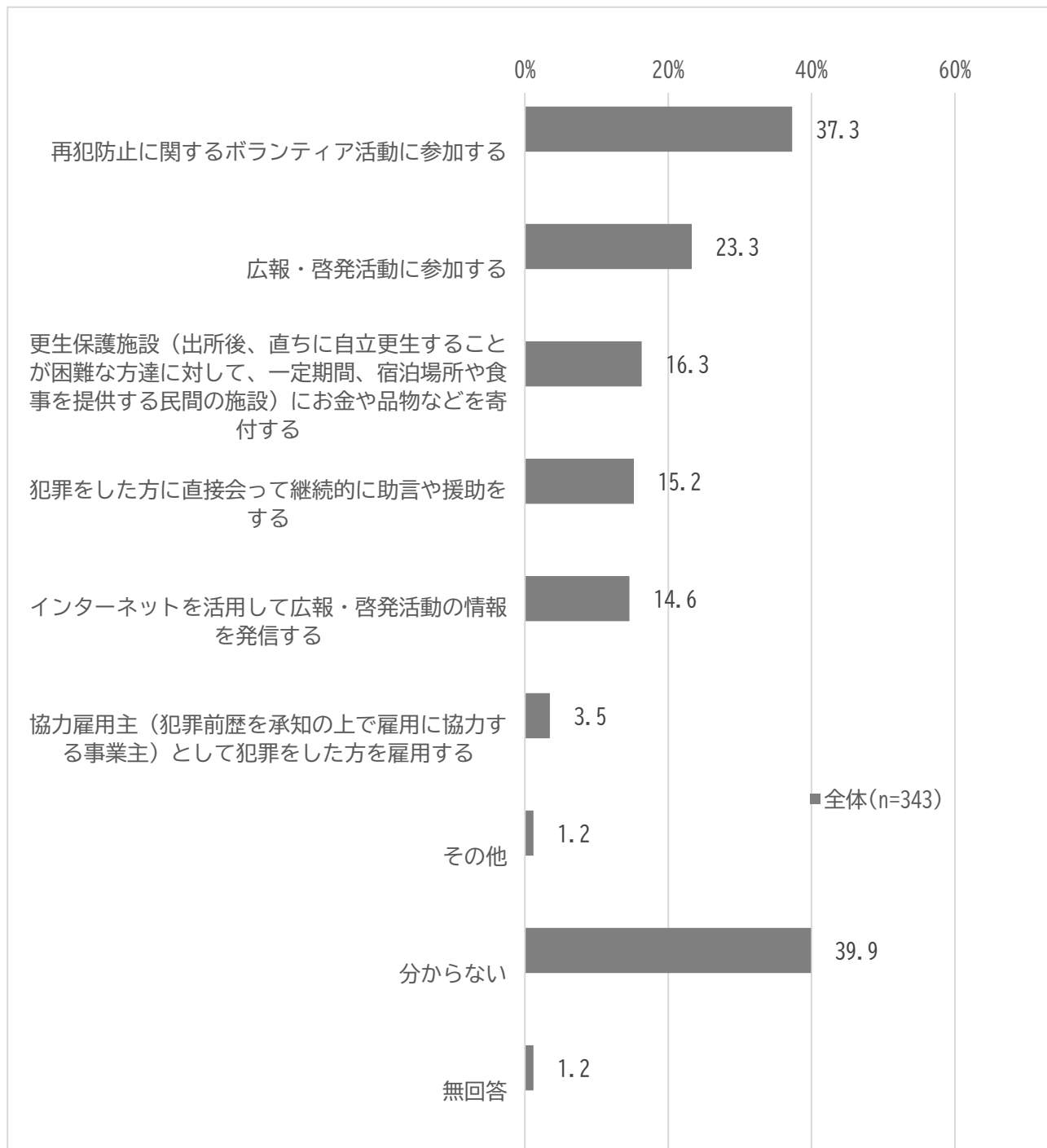


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	分からない	その他	被害をその方の再犯による犯罪から	地域貢献活動に興味がある	刑務所で反省し改善更生	の1人だから方も地域住民	地域の安全のため	を高齢や障がいなど、犯罪
全体	343	0.0	2.3	3.5	20.1	25.9	30.3	33.2	45.2	50.4
あいとぴあエリア	95	0.0	1.1	4.2	22.1	22.1	30.5	26.3	46.3	54.7
こまえ苑エリア	122	0.0	1.6	4.1	23.8	27.0	32.0	33.6	46.7	50.0
こまえ正吉苑エリア	124	0.0	4.0	2.4	14.5	27.4	28.2	38.7	42.7	48.4
20歳代	23	0.0	0.0	8.7	26.1	26.1	34.8	21.7	30.4	56.5
30歳代	54	0.0	0.0	7.4	24.1	38.9	27.8	35.2	46.3	57.4
40歳代	75	0.0	1.3	5.3	30.7	22.7	28.0	32.0	49.3	42.7
50歳代	83	0.0	1.2	1.2	12.0	25.3	31.3	34.9	49.4	55.4
60歳代	61	0.0	1.6	0.0	19.7	19.7	36.1	34.4	39.3	54.1
70歳以上	44	0.0	11.4	2.3	9.1	25.0	22.7	34.1	45.5	38.6
1人暮らし	67	0.0	3.0	4.5	23.9	22.4	31.3	34.3	40.3	50.7
その他	270	0.0	2.2	3.0	19.6	26.7	30.4	33.3	46.7	51.1

問 29-3 【問 29 で「1 思う」、「2 どちらかといえば思う」と回答した方へ】  
どのような協力をしたいと思いますか。(〇はいくつでも)

どのような協力をしたいかについては、「分からない」が 39.9%で最も多く、次いで、「再犯防止に関するボランティア活動に参加する」が 37.3%となっています。



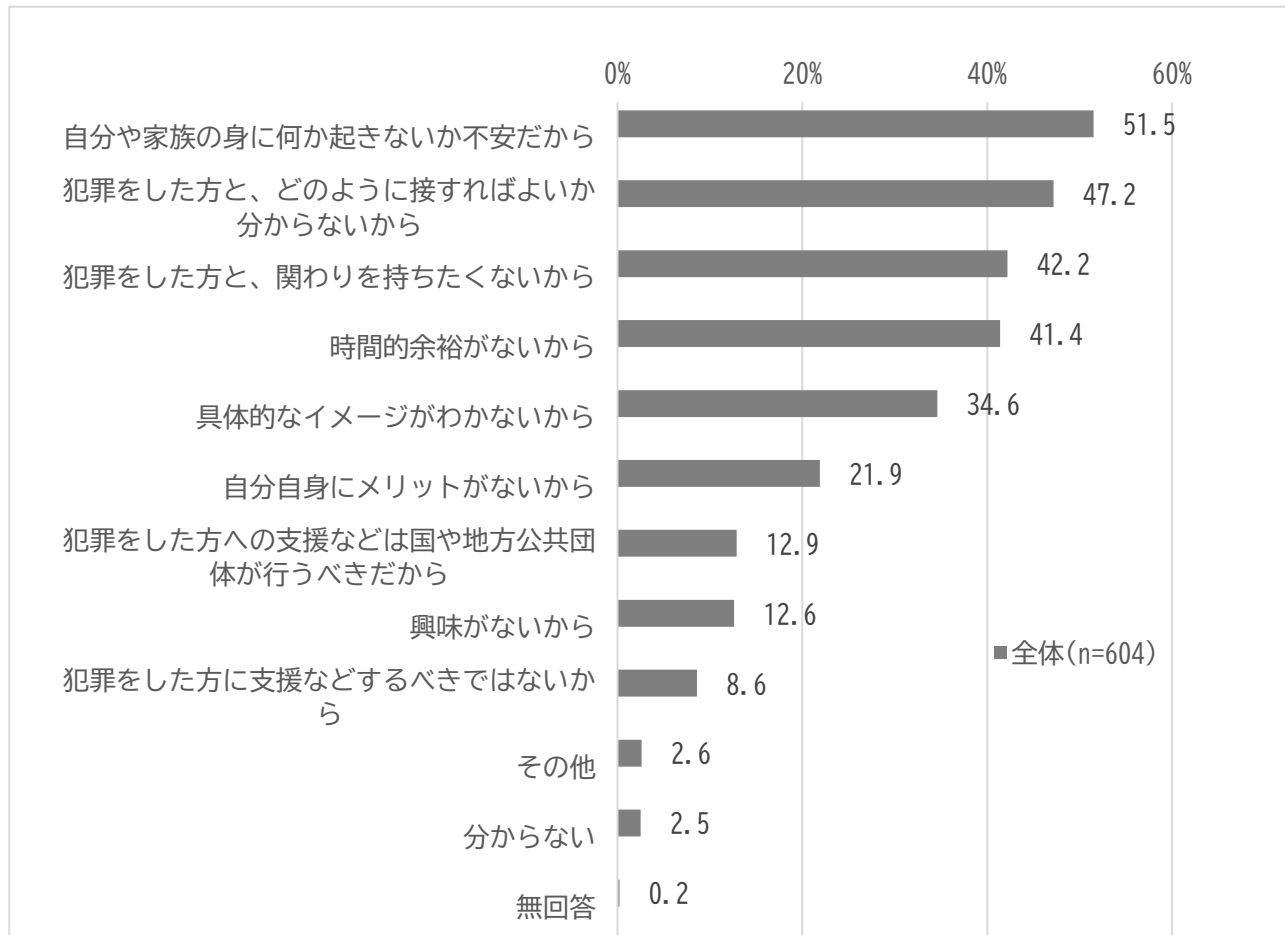


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	分からない	その他	協力雇用主（犯罪前歴を承知の上で雇用に協力する事業主）として犯罪をした方を雇用する	インターネットを活用して広報・啓発活動の情報を発信する	犯罪をした方に直接会って継続的に助言や援助をする	更生保護施設（出所後、直ちに自立更生することが困難な方達に対して、一定期間、宿泊場所や食事を提供する民間の施設）にお金や品物などを寄付する	広報・啓発活動に参加する	再犯防止に関するボランティア活動に参加する
全体	343	1.2	39.9	1.2	3.5	14.6	15.2	16.3	23.3	37.3
あいとびあエリア	95	1.1	42.1	2.1	5.3	12.6	17.9	17.9	21.1	36.8
こまえ苑エリア	122	0.8	39.3	0.8	4.1	17.2	12.3	18.0	22.1	33.6
こまえ正吉苑エリア	124	1.6	38.7	0.8	1.6	13.7	16.1	13.7	25.8	41.1
20歳代	23	0.0	34.8	0.0	8.7	21.7	4.3	34.8	26.1	30.4
30歳代	54	0.0	42.6	1.9	5.6	24.1	25.9	20.4	25.9	37.0
40歳代	75	0.0	41.3	1.3	2.7	12.0	9.3	18.7	17.3	42.7
50歳代	83	1.2	32.5	0.0	2.4	14.5	18.1	13.3	25.3	42.2
60歳代	61	1.6	44.3	1.6	3.3	8.2	16.4	8.2	26.2	32.8
70歳以上	44	4.5	43.2	2.3	2.3	11.4	11.4	15.9	20.5	29.5
1人暮らし	67	1.5	43.3	0.0	4.5	17.9	11.9	19.4	19.4	31.3
その他	270	1.1	39.3	1.5	3.3	13.7	15.6	15.6	24.8	39.6

問 29-4 【問 29 で「3 どちらかといえば思わない」、「4 思わない」と回答した方へ】  
協力したいと思わない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

協力したいと思わない理由については、「自分や家族の身に何か起きないか不安だから」が51.5%で最も多く、次いで、「犯罪をした方と、どのように接すればよいか分からないから」が47.2%となっています。

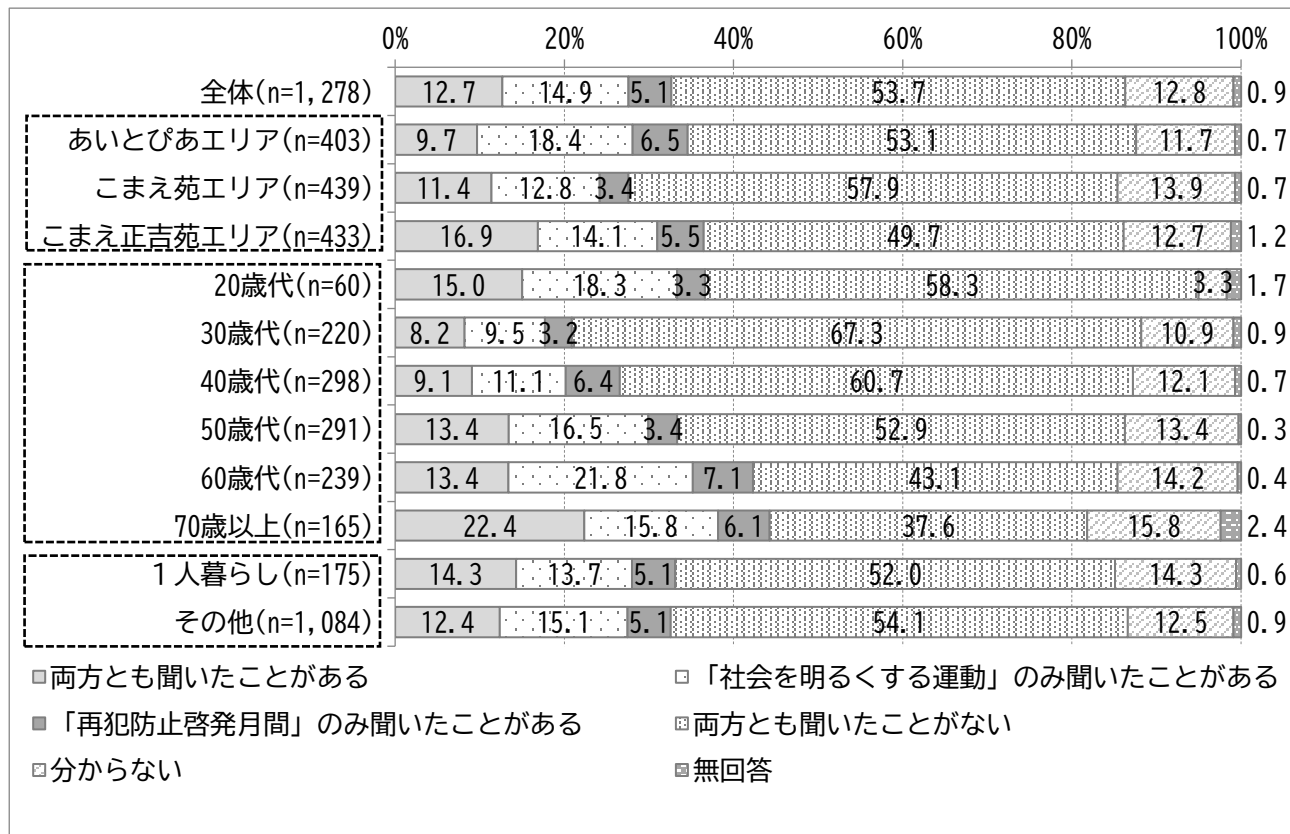


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	分からない	その他	らど犯 す罪を るべき た方 では ない 支 援 か な	興 味 が な い か ら	体 な 犯 行 は し た 方 へ か ら 共 支 援	な 自 分 に メ リ ッ ト が	か 具 体 的 な イ メ ー ジ が わ	時 間 的 余 裕 が な い か ら	り 犯 を 持 ち た 方 な い か ら わ	分 よ う に 接 し た 方 と よ い ど か の	起 自 分 な い 家 族 の 安 身 だ か ら
全体	604	0.2	2.5	2.6	8.6	12.6	12.9	21.9	34.6	41.4	42.2	47.2	51.5
あいとぴあエリア	195	0.0	2.1	4.1	9.7	10.3	14.4	19.5	34.9	41.0	43.6	46.2	55.4
こまえ苑エリア	214	0.5	3.7	2.3	9.8	13.1	12.6	22.9	32.2	44.4	42.1	50.5	46.7
こまえ正吉苑エリア	194	0.0	1.5	1.5	6.2	14.4	11.9	23.2	37.1	38.1	40.7	44.3	52.6
20歳代	27	0.0	0.0	0.0	14.8	14.8	29.6	63.0	44.4	44.4	44.4	37.0	55.6
30歳代	130	0.0	1.5	1.5	13.1	16.9	11.5	36.2	35.4	55.4	50.8	50.8	63.8
40歳代	147	0.0	2.0	1.4	11.6	15.0	8.2	27.2	36.7	52.4	43.5	44.2	60.5
50歳代	115	0.0	4.3	3.5	4.3	11.3	12.2	11.3	33.0	38.3	45.2	41.7	45.2
60歳代	120	0.8	0.8	3.3	5.0	6.7	16.7	10.0	26.7	30.8	39.2	49.2	41.7
70歳以上	64	0.0	6.3	6.3	4.7	10.9	14.1	4.7	42.2	10.9	20.3	56.3	32.8
1人暮らし	62	0.0	4.8	4.8	11.3	16.1	12.9	21.0	38.7	27.4	40.3	45.2	27.4
その他	533	0.2	2.1	2.4	8.4	12.2	12.9	22.1	34.1	43.2	42.2	47.5	54.2

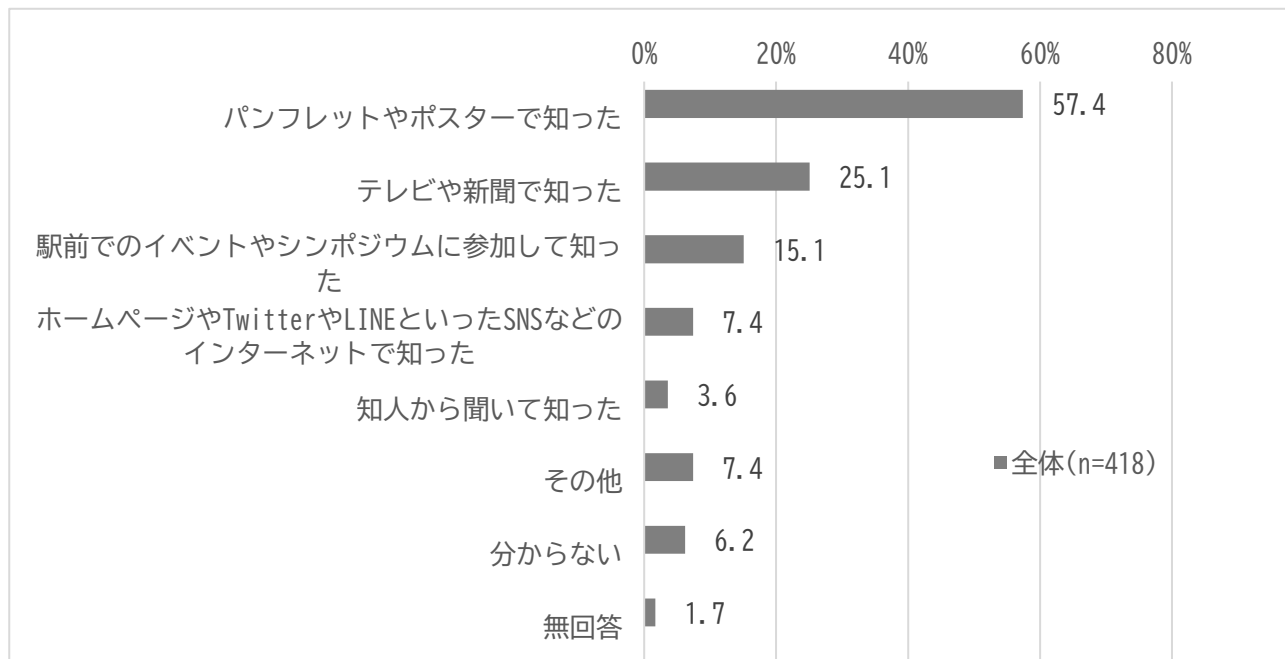
問 30 あなたは、再犯防止に関する広報・啓発活動の取組である「社会を明るくする運動」又は「再犯防止啓発月間」を聞いたことがありますか。(○は1つ)

再犯防止に関する取組である「社会を明るくする運動」又は「再犯防止啓発月間」を聞いたことがあるかについては、「両方とも聞いたことがない」が53.7%で最も多く、次いで、「社会を明るくする運動」のみ聞いたことがある」が14.9%となっています。



問 30-2 【問 30 で「1 両方とも聞いたことがある」、「2 社会を明るくする運動のみ聞いたことがある」、「3 再犯防止啓発月間のみ聞いたことがある」と回答した方へ】  
 どのようにして知りましたか。(〇はいくつでも)

「社会を明るくする運動」「再発防止啓発月間」をどのようにして知ったかについては、「パンフレットやポスターで知った」が 57.4%で最も多く、次いで、「テレビや新聞で知った」が 25.1%となっています。

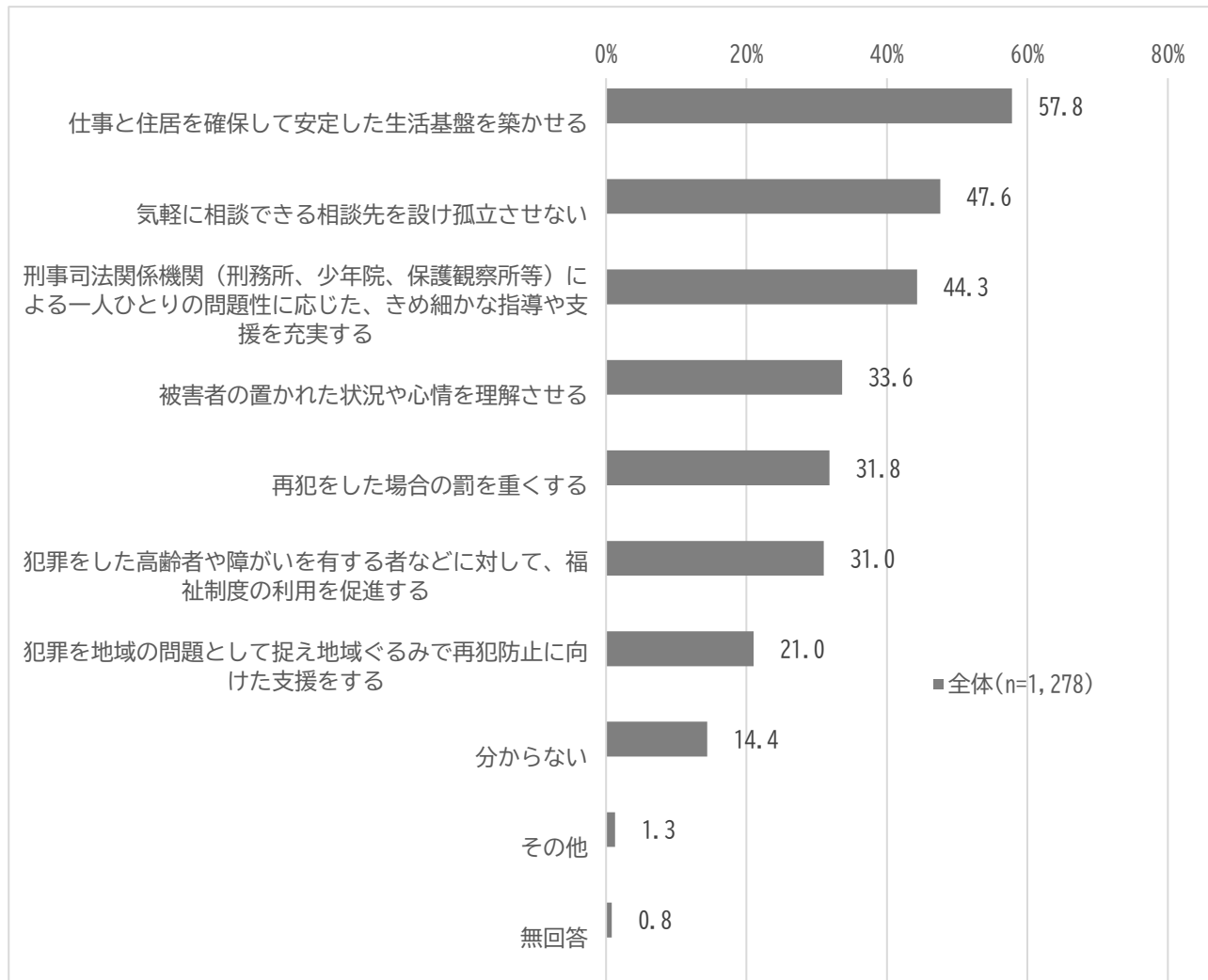


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	分からない	その他	知人から聞いて知った	ホームページやTwitterやLINEといったSNSなどのインターネットで知った	駅前でのイベントやシンポジウムに参加して知った	テレビや新聞で知った	知った方法
全体	418	1.7	6.2	7.4	3.6	7.4	15.1	25.1	57.4
あいとぴあエリア	139	1.4	6.5	2.2	4.3	7.2	15.1	33.1	54.7
こまえ苑エリア	121	1.7	6.6	9.9	2.5	9.9	14.0	18.2	60.3
こまえ正吉苑エリア	158	1.9	5.7	10.1	3.8	5.7	15.8	23.4	57.6
20歳代	22	0.0	18.2	18.2	0.0	9.1	4.5	13.6	50.0
30歳代	46	0.0	2.2	4.3	0.0	8.7	23.9	21.7	65.2
40歳代	79	1.3	12.7	10.1	3.8	8.9	8.9	12.7	54.4
50歳代	97	1.0	4.1	9.3	4.1	10.3	21.6	21.6	53.6
60歳代	101	2.0	3.0	5.0	4.0	5.0	9.9	31.7	68.3
70歳以上	73	4.1	5.5	4.1	5.5	4.1	17.8	39.7	47.9
1人暮らし	58	3.4	12.1	1.7	1.7	10.3	3.4	31.0	55.2
その他	353	1.1	5.4	8.2	3.7	7.1	17.3	23.8	58.4

問 31 あなたは、再犯防止のためには、具体的にどのようなことが必要だと思いますか。  
(〇はいくつでも)

再犯防止のためにはどのようなことが必要かについては、「仕事と住居を確保して安定した生活基盤を築かせる」が57.8%で最も多く、次いで、「気軽に相談できる相談先を設け孤立させない」が47.6%となっています。

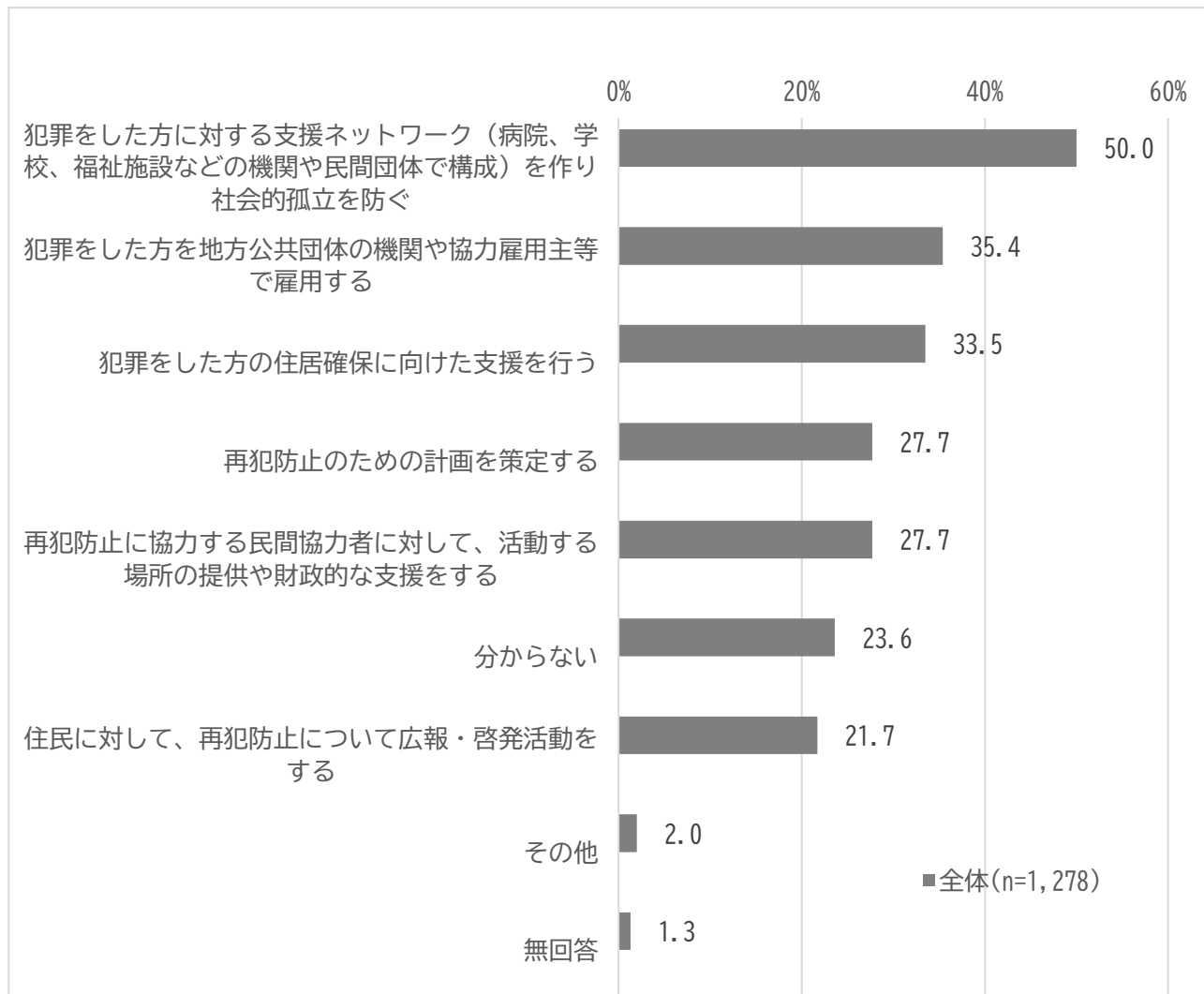


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	その他	分からない	犯罪を地域の 問題として捉 え地域ぐるみで 再犯防止に 向けた支援を する	犯罪をした高 齢者や障がい を有する者な どに対して、 福祉制度の利 用を促進する	再犯をした場 合の罰を重く する	被害者の置か れた状況や心 情を理解させ る	刑事司法関係 機関(刑務所、 少年院、保護 観察所等)に よる一人ひと りの問題性に 応じたきめ 細かな指導や 支援を充実す る	気軽に相談で きる相談先を 設け孤立させ ない	仕事と住居を 確保して安定 した生活基盤 を築かせる
全体	1,278	0.8	1.3	14.4	21.0	31.0	31.8	33.6	44.3	47.6	57.8
あいとびあエリア	403	0.5	1.7	16.9	20.3	31.0	31.0	33.5	43.9	50.4	59.3
こまえ苑エリア	439	0.9	1.4	13.0	21.4	33.3	31.2	32.3	44.9	45.3	56.5
こまえ正吉苑エリア	433	0.9	0.7	13.6	21.2	28.6	32.8	34.9	43.6	47.1	58.0
20歳代	60	1.7	1.7	10.0	26.7	45.0	43.3	35.0	65.0	61.7	70.0
30歳代	220	0.9	1.4	10.0	22.3	27.3	45.9	33.6	49.1	48.2	60.5
40歳代	298	0.3	2.3	14.8	21.8	30.2	43.6	33.9	40.6	46.0	54.0
50歳代	291	0.7	1.4	14.4	16.8	31.6	30.6	36.1	44.3	46.0	57.7
60歳代	239	0.8	0.4	13.8	21.3	32.2	18.4	31.0	42.7	50.2	62.3
70歳以上	165	3.6	0.0	22.4	21.8	29.7	9.1	31.5	37.6	42.4	50.9
1人暮らし	175	0.6	1.1	12.6	17.7	36.0	25.1	30.9	45.7	52.6	64.0
その他	1,084	0.7	1.3	14.9	21.6	30.4	32.8	34.2	44.4	47.0	56.9

問 32 再犯防止のために、市は何をするべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

再犯防止に市は何をするべきかについては、「犯罪をした方に対する支援ネットワーク（病院、学校、福祉施設などの機関や民間団体で構成）を作り社会的孤立を防ぐ」が 50.0%で最も多く、次いで、「犯罪をした方を地方公共団体の機関や協力雇用主等で雇用する」が 35.4%となっています。





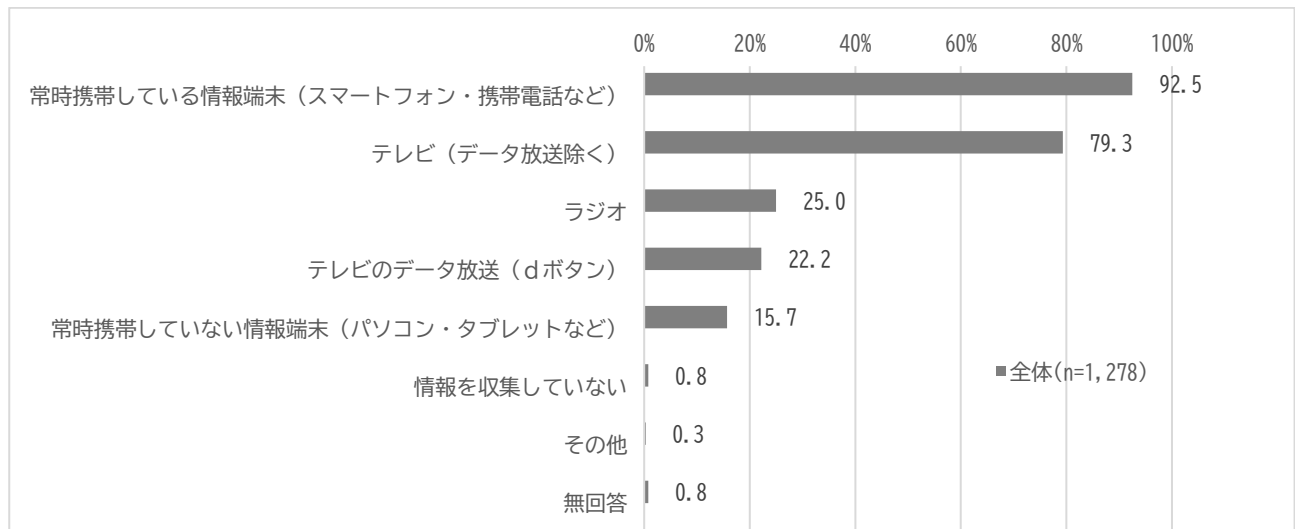
(単位：人、%)

区分	人数	無回答	その他	住民に対して、再犯防止について広報・啓発活動をする	分からない	再犯防止に協力する民間協力者や財政的な支援をする	再犯防止のための計画を策定する	犯罪をした方の住居確保に向けた支援を行う	犯罪をした方を地方公共団体の機関や協力雇用主等で雇用する	犯罪をした方に対する支援ネットワーク(病院、学校、福祉施設)を作り社会的孤立を防ぐ	犯罪をした方に対する支援ネットワーク(病院、学校、福祉施設)を作り社会的孤立を防ぐ
全体	1,278	1.3	2.0	21.7	23.6	27.7	27.7	33.5	35.4	50.0	
あいとびあエリア	403	1.2	3.0	20.8	23.3	28.5	25.1	36.0	35.0	48.4	
こまえ苑エリア	439	1.4	2.3	20.3	25.3	26.0	27.6	31.7	33.7	49.9	
こまえ正吉苑エリア	433	1.4	0.9	23.6	22.2	28.6	30.0	33.0	37.9	51.5	
20歳代	60	1.7	1.7	28.3	13.3	43.3	43.3	45.0	50.0	60.0	
30歳代	220	0.5	1.4	20.9	20.9	31.8	30.0	35.0	38.6	51.4	
40歳代	298	0.3	4.0	21.1	26.2	25.8	26.5	25.8	29.5	47.3	
50歳代	291	1.0	3.1	23.0	25.4	27.5	25.8	35.1	36.1	49.5	
60歳代	239	1.3	0.0	18.4	20.1	24.3	25.9	38.1	39.7	52.3	
70歳以上	165	4.8	0.6	23.0	28.5	25.5	25.5	31.5	29.1	46.1	
1人暮らし	175	1.1	1.7	24.6	18.9	31.4	29.7	39.4	37.7	59.4	
その他	1,084	1.3	1.9	21.3	24.2	27.1	27.5	32.5	35.3	48.5	

F 避難行動要支援者支援について

問33 地震が発生したときや大雨が降っているときなど災害が発生するおそれがある場合、どのような手段で避難情報などを収集していますか。よく利用するツールを全てお選びください。(〇はいくつでも)

災害時にどのような手段で避難情報などを収集しているかについては、「常時携帯している情報端末(スマートフォン・携帯電話など)」が92.5%で最も多く、次いで、「テレビ(データ放送除く)」が79.3%となっています。

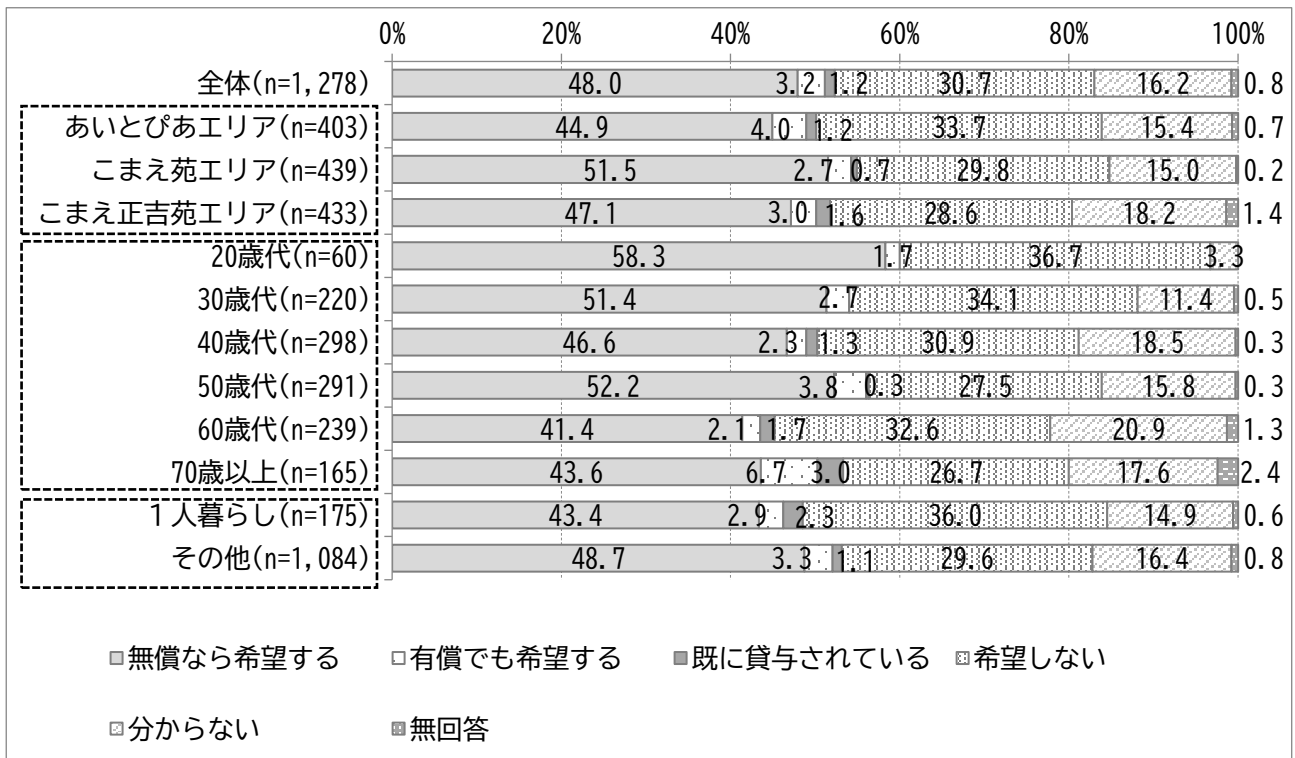


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	その他	情報を収集していない	常時携帯していない情報端末(パソコン・タブレットなど)	テレビのデータ放送(dボタン)	ラジオ	テレビ(データ放送除く)	常時携帯している情報端末(スマートフォン・携帯電話など)
全体	1,278	0.8	0.3	0.8	15.7	22.2	25.0	79.3	92.5
あいとびあエリア	403	1.0	0.5	0.5	16.4	23.8	25.1	78.7	93.8
こまえ苑エリア	439	0.0	0.2	0.7	14.1	22.3	21.6	80.6	93.4
こまえ正吉苑エリア	433	1.4	0.2	1.2	16.9	20.8	28.6	78.8	90.3
20歳代	60	0.0	0.0	0.0	13.3	15.0	13.3	71.7	100
30歳代	220	0.5	0.0	0.9	11.4	11.4	17.7	80.0	96.4
40歳代	298	0.3	0.3	0.0	19.1	23.5	19.8	75.8	96.6
50歳代	291	0.3	0.7	1.7	1.8	26.5	26.5	78.7	91.4
60歳代	239	1.3	0.4	0.4	16.3	27.6	27.6	81.6	89.5
70歳以上	165	2.4	0.0	1.2	14.5	20.6	42.4	84.8	83.6
1人暮らし	175	0.6	0.0	1.7	19.4	18.3	30.3	67.4	89.7
その他	1,084	0.8	0.4	0.6	15.2	22.9	24.4	81.1	93.1

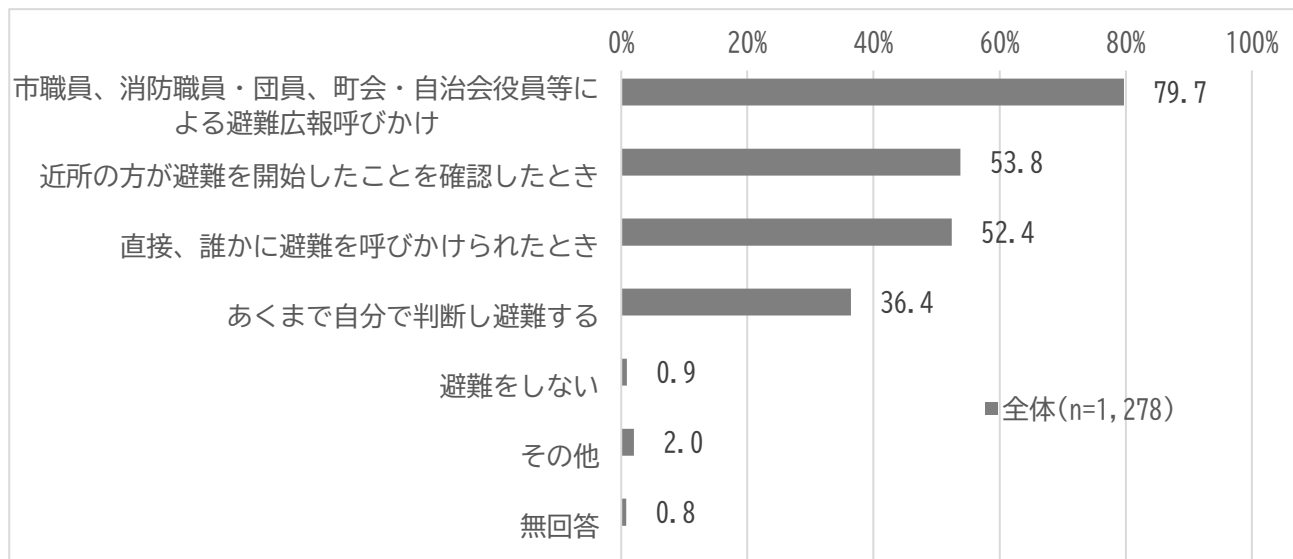
問 34 市で自動起動機能付きラジオを個別避難計画を策定された避難行動要支援者に無償貸与していますが、あなたはラジオの貸与を希望しますか。(○は1つ)

避難行動要支援者に無償で貸与していることについては、「無償なら希望する」が48.0%で最も多く、次いで、「希望しない」が30.7%となっています。



問 35 あなたは下記の呼びかけ等により、避難を開始しますか。(〇はいくつでも)

呼びかけ等により避難を開始するかについては、「市職員、消防職員・団員、町会・自治会役員等による避難広報呼びかけ」が 79.7%で最も多く、次いで、「近所の方が避難を開始したことを確認したとき」が 53.8%となっています。

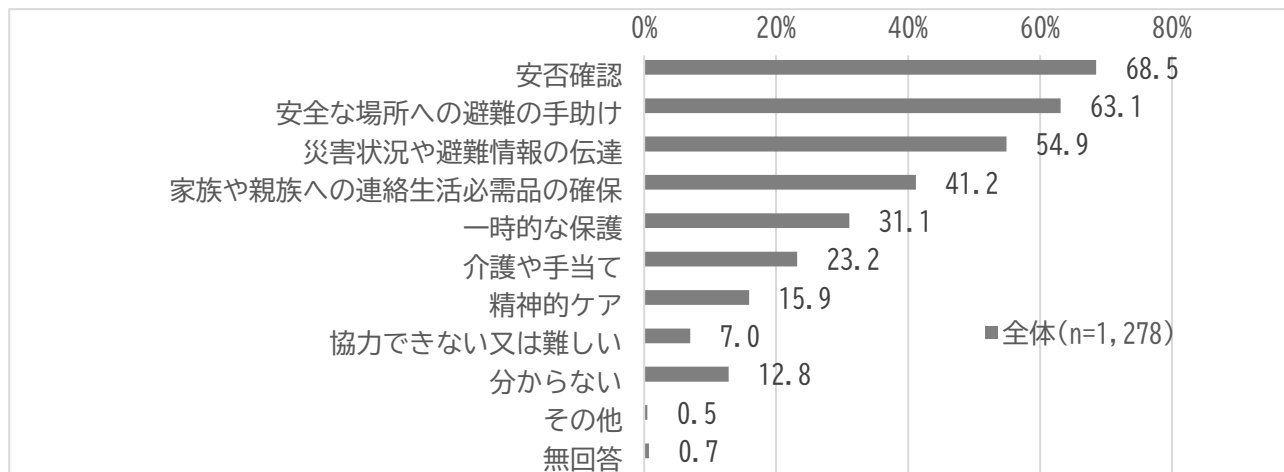


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	その他	避難をしない	あくまで自分で判断し避難する	直接、誰かに避難を呼びかけられたとき	近所の方が避難を開始したことを確認したとき	市職員、消防職員・団員、町会・自治会役員等による避難広報呼びかけ
全体	1,278	0.8	2.0	0.9	36.4	52.4	53.8	79.7
あいとびあエリア	403	1.0	2.2	0.7	34.5	52.9	51.6	82.6
こまえ苑エリア	439	0.0	1.4	1.1	37.4	51.9	54.4	79.5
こまえ正吉苑エリア	433	1.4	2.5	0.7	36.7	52.7	55.2	77.4
20歳代	60	0.0	0.0	0.0	45.0	60.0	51.7	81.7
30歳代	220	0.5	1.4	0.9	42.3	61.8	63.6	81.4
40歳代	298	0.3	1.7	0.7	43.0	53.7	56.7	77.9
50歳代	291	1.0	2.7	1.4	34.4	51.5	55.0	80.1
60歳代	239	0.8	2.9	0.0	29.3	46.9	50.2	82.4
70歳以上	165	1.8	1.8	1.2	26.1	44.2	38.8	75.8
1人暮らし	175	0.6	3.4	1.7	36.0	52.0	45.1	73.7
その他	1,084	0.8	1.8	0.7	36.3	52.7	55.5	80.8
社会的孤立該当	73	0.0	2.7	2.7	37.0	43.8	31.5	72.6
社会的孤立非該当	1,199	0.7	2.0	0.8	36.4	53.0	55.3	80.4
孤独該当	60	1.7	8.3	3.3	41.7	48.3	48.3	66.7
孤独非該当	1,206	0.5	1.7	0.7	36.2	52.8	54.3	80.8

問 36 大地震などの災害が起こったときに、あなたは近隣に住む家族以外の避難行動要支援者のためにどのような助け合いや協力ができますか。(〇はいくつでも)

近隣に住む家族以外の避難行動要支援者のためにどのような助け合いや協力ができるかについては、「安否確認」が68.5%で最も多く、次いで、「安全な場所への避難の手助け」が63.1%となっています。

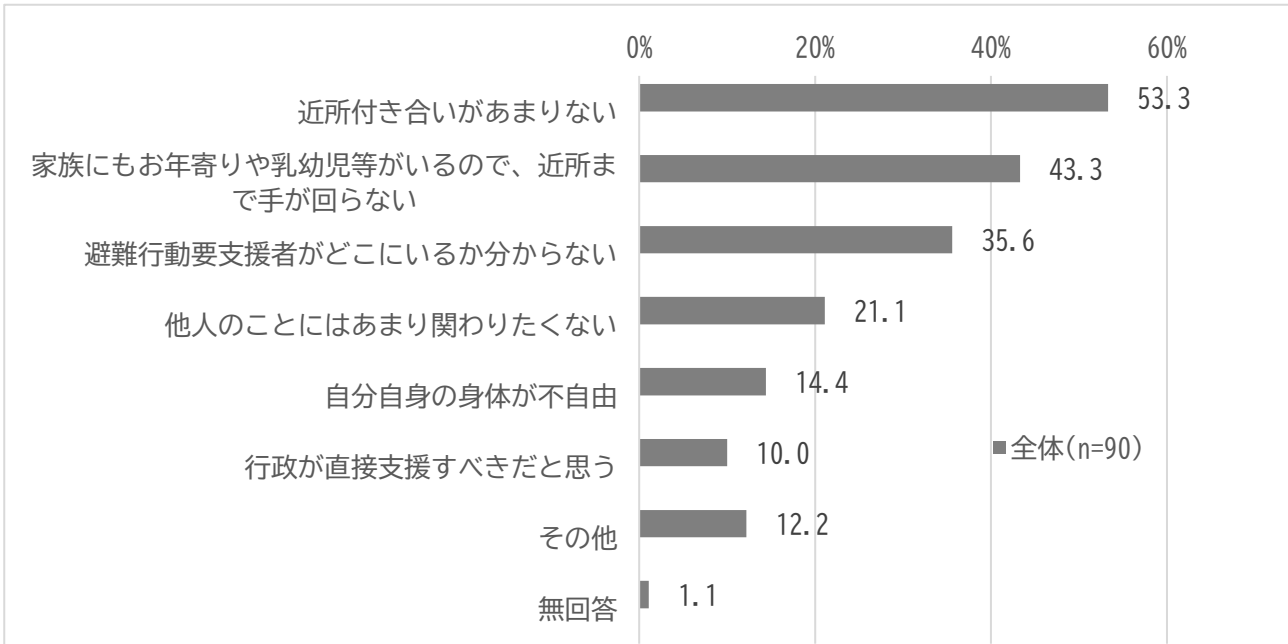


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	その他	分からない	協力できない又は難しい	精神的ケア	介護や手当て	一時的な保護	家族や親族への連絡生活必需品の確保	災害状況や避難情報の伝達	安全な場所への避難の手助け	安否確認
全体	1,278	0.7	0.5	12.8	7.0	15.9	23.2	31.1	41.2	54.9	63.1	68.5
あいとぴあエリア	403	0.7	0.2	15.6	7.4	15.6	23.3	32.5	41.7	57.3	63.8	65.0
こまえ苑エリア	439	0.0	0.7	13.0	8.2	17.3	24.1	31.9	41.7	51.5	63.3	69.9
こまえ正吉苑エリア	433	1.4	0.5	9.9	5.5	14.8	22.2	29.1	40.4	55.7	62.1	70.0
20歳代	60	0.0	0.0	8.3	15.0	25.0	21.7	36.7	33.3	61.7	75.0	75.0
30歳代	220	0.5	0.0	11.4	9.1	13.6	20.5	34.1	42.3	60.5	67.3	65.5
40歳代	298	0.7	0.3	15.1	5.0	15.1	24.2	31.2	44.6	57.4	63.1	68.1
50歳代	291	0.3	0.0	13.7	7.2	18.2	25.4	32.0	40.9	55.3	62.9	70.4
60歳代	239	0.8	0.8	11.7	4.6	16.7	23.4	29.7	39.7	49.8	64.9	69.0
70歳以上	165	1.8	1.8	12.1	7.9	11.5	21.2	25.5	38.8	46.1	50.9	66.1
1人暮らし	175	0.6	0.6	11.4	10.3	16.6	18.3	23.4	33.1	52.6	62.3	65.7
その他	1084	0.7	0.5	12.9	6.5	16.0	24.2	32.5	42.2	55.4	63.4	68.8
社会的孤立該当	73	0.0	0.0	20.5	8.2	11.0	12.3	19.2	24.7	39.7	58.9	49.3
社会的孤立非該当	1199	0.6	0.5	12.3	7.0	16.3	23.9	31.9	42.2	55.9	63.7	69.7
孤独該当	60	1.7	0.0	16.7	20.0	25.0	26.7	30.0	36.7	48.3	50.0	53.3
孤独非該当	1,206	0.4	0.5	12.6	6.5	15.6	23.2	31.3	41.5	55.4	64.2	69.3

問 36-2 【問 36 で 8 「協力できない又は難しい」と回答した方へ】  
 協力できない理由について、次のどれに該当しますか。(○はいくつでも)

協力できない理由については、「近所付き合いがあまりない」が 53.3%で最も多く、次いで、「家族にもお年寄りや乳幼児等がいるので、近所まで手が回らない」が 43.3%となっています。

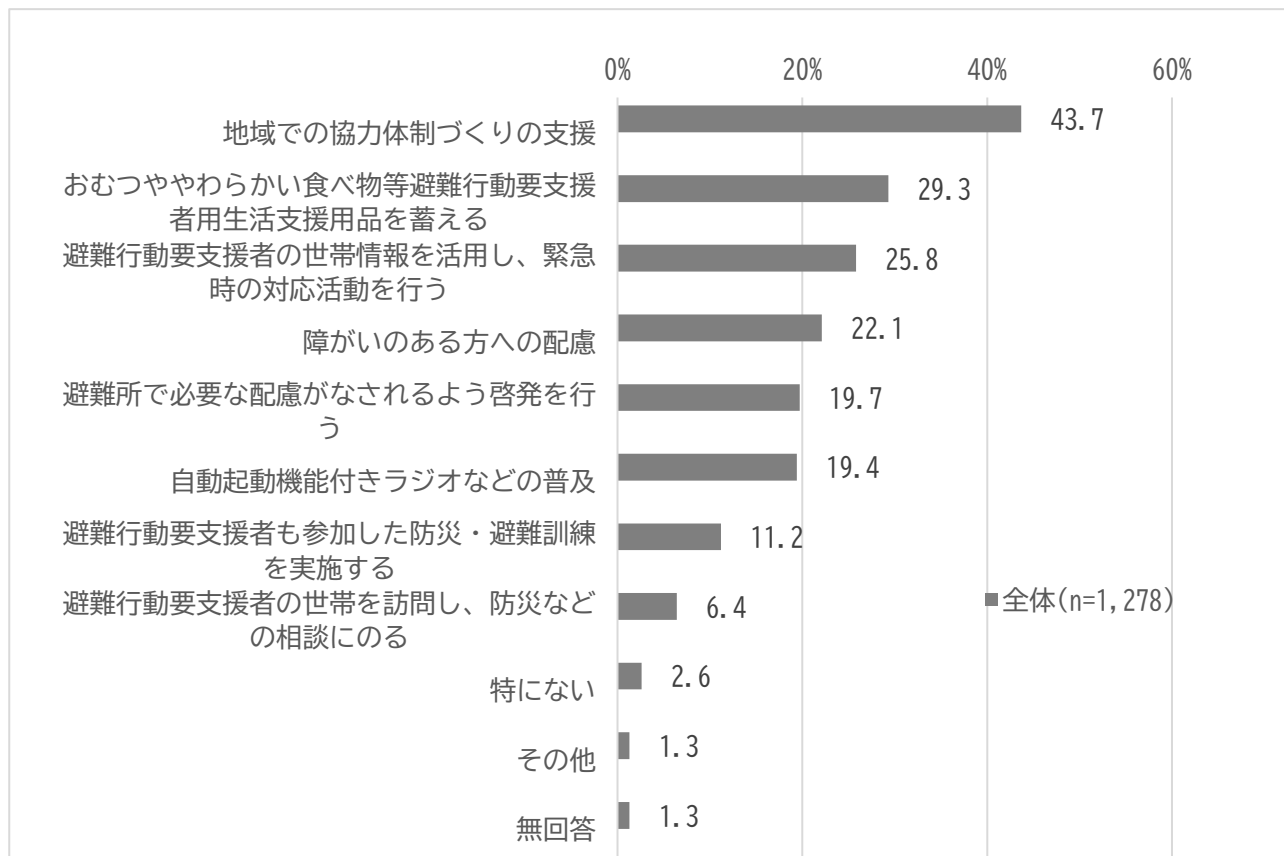


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	その他	行政が直接支援すべきだと思う	自分自身の身体が不自由	他人のことにはあまり関わりたくない	避難行動要支援者がどこにいるか分からない	家族にもお年寄りや乳幼児等がいるので、近所まで手が回らない	近所付き合いがあまりない
全体	90	1.1	12.2	10.0	14.4	21.1	35.6	43.3	53.3
あいとぴあエリア	30	0.0	3.3	6.7	10.0	16.7	33.3	50.0	53.3
こまえ苑エリア	36	0.0	22.2	11.1	11.1	30.6	41.7	41.7	63.9
こまえ正吉苑エリア	24	4.2	8.3	12.5	25.0	12.5	29.2	37.5	37.5
20歳代	9	0.0	0.0	11.1	11.1	55.6	44.4	11.1	88.9
30歳代	20	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	30.0	70.0	50.0
40歳代	15	0.0	20.0	13.3	13.3	13.3	33.3	46.7	53.3
50歳代	21	4.8	19.0	9.5	9.5	28.6	47.6	42.9	61.9
60歳代	11	0.0	9.1	0.0	36.4	18.2	36.4	45.5	45.5
70歳以上	13	0.0	15.4	30.8	30.8	15.4	23.1	23.1	30.8
1人暮らし	18	0.0	33.3	5.6	16.7	22.2	50.0	5.6	66.7
その他	70	1.4	7.1	11.4	14.3	21.4	31.4	52.9	48.6

問 37 避難行動要支援者の対策として、あなたは行政に何を期待しますか。特に重要だと思うものを2つまでお選びください。(〇は2つまで)

避難行動要支援者の対策としての行政への期待で特に重要だと思うものについては、「地域での協力体制づくりの支援」が43.7%で最も多く、次いで、「おむつややわらかい食べ物等避難行動要支援者用生活支援用品を蓄える」が29.3%となっています。



第2章 市民一般調査

F 避難行動要支援者支援について

(単位：人、%)

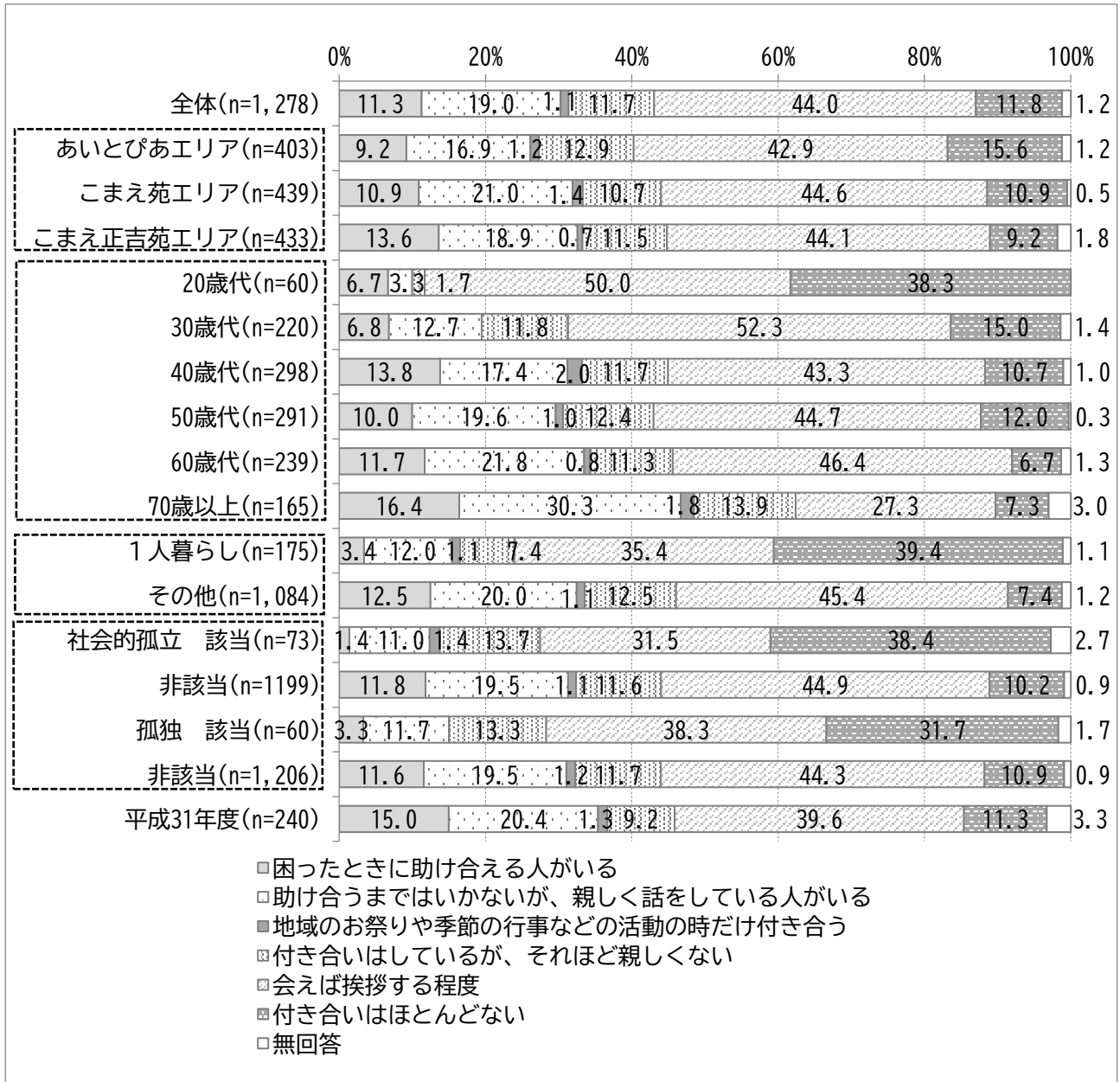
区分	人数	無回答	その他	特 に ない	避難行動要支援者の世帯を訪問し、 防災などの相談にのる	避難行動要支援者も参加した防災・ 避難訓練を実施する	自動起動機能付きラジオなどの普及	避難所で必要な配慮がなされるよう 啓発を行う	障がいのある方への配慮	避難行動要支援者の世帯情報を活用 し、緊急時の対応活動を行う	避難行動要支援者用生活支援用品を蓄える	地域での協力体制づくりの支援
全体	1,278	1.3	1.3	2.6	6.4	11.2	19.4	19.7	22.1	25.8	29.3	43.7
あいとぴあエリア	403	1.5	1.2	3.2	5.0	12.9	17.9	20.8	20.1	26.1	29.0	44.4
こまえ苑エリア	439	0.9	2.3	2.1	4.6	10.9	21.2	22.3	23.0	26.0	28.9	41.9
こまえ正吉苑エリア	433	1.6	0.5	2.5	9.7	9.7	18.7	15.9	23.1	25.4	30.0	45.0
20歳代	60	0.0	0.0	5.0	5.0	11.7	10.0	26.7	16.7	31.7	48.3	30.0
30歳代	220	0.9	0.9	3.2	4.1	13.2	12.3	19.1	18.6	23.6	47.7	40.0
40歳代	298	1.0	2.0	1.7	9.1	15.4	14.4	20.5	18.8	25.5	34.6	40.6
50歳代	291	0.7	2.1	2.4	7.2	10.0	23.7	18.6	26.5	26.5	21.6	43.3
60歳代	239	1.3	0.4	2.5	5.9	8.8	23.0	20.5	23.4	30.5	18.0	49.8
70歳以上	165	4.2	1.2	3.0	4.8	6.1	28.5	17.0	24.2	19.4	18.2	51.5
1人暮らし	175	1.7	1.1	6.9	5.7	10.9	22.9	20.6	24.0	26.9	24.6	35.4
その他	1,084	1.3	1.4	1.7	6.3	11.4	18.8	19.6	22.0	25.5	30.5	45.0



## G 地域の支え合いについて

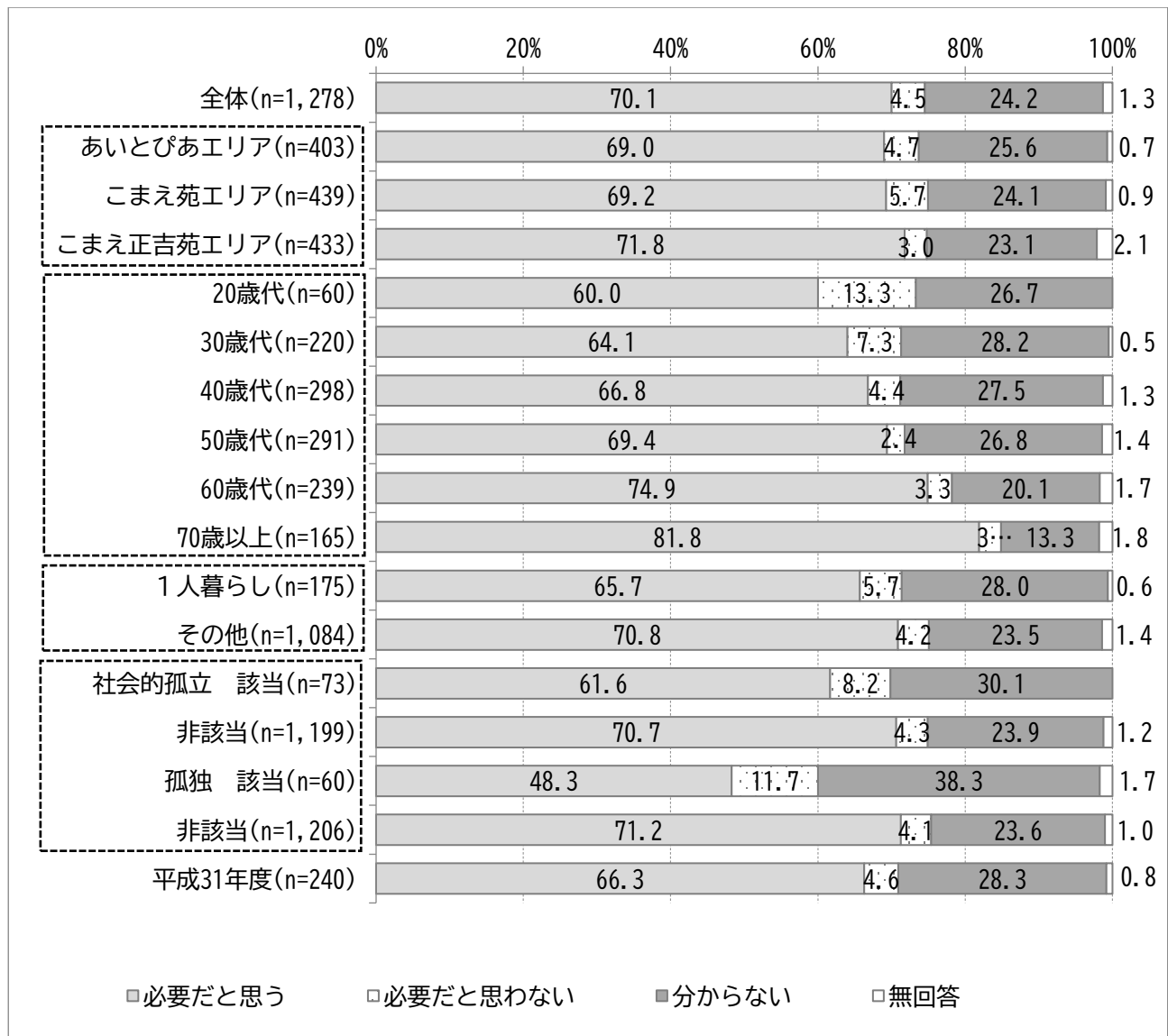
問 38 あなたは普段どの程度、ご近所付き合いをしていますか。(○は1つ)

ご近所付き合いについては、「会えば挨拶する程度」が39.6%で最も多く、次いで、「助け合うまではいかないが、親しく話をしている方がいる」が20.4%となっています。



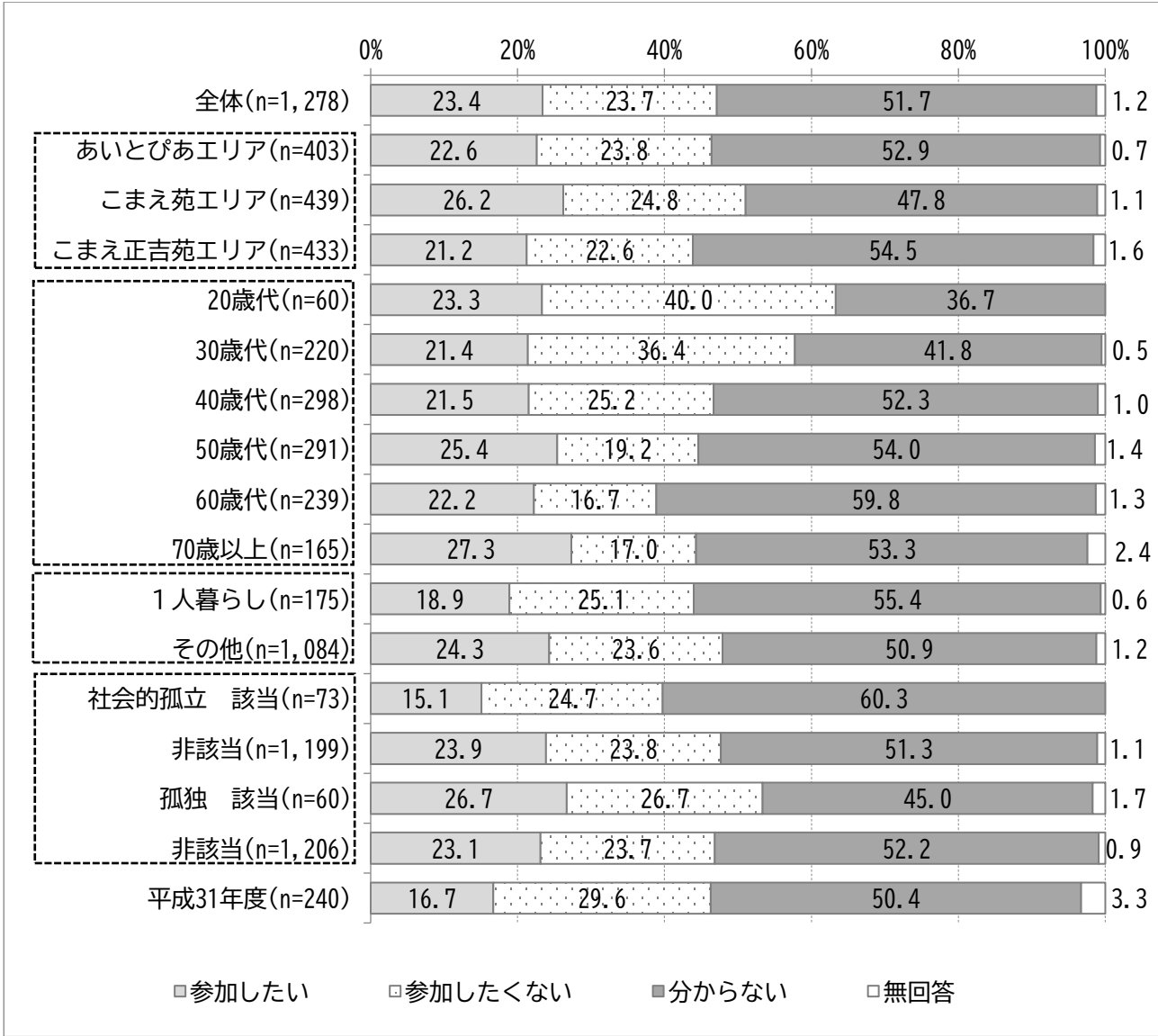
問 39 あなたは、地域における問題や課題解決に向けた住民同士の自主的な支え合い、助け合いの関係が必要だと思いますか。(○は1つ)

住民同士の自主的な支え合い、助け合いの関係の必要性については、「必要だと思う」が70.1%で最も多く、次いで、「分からない」が24.2%となっています。



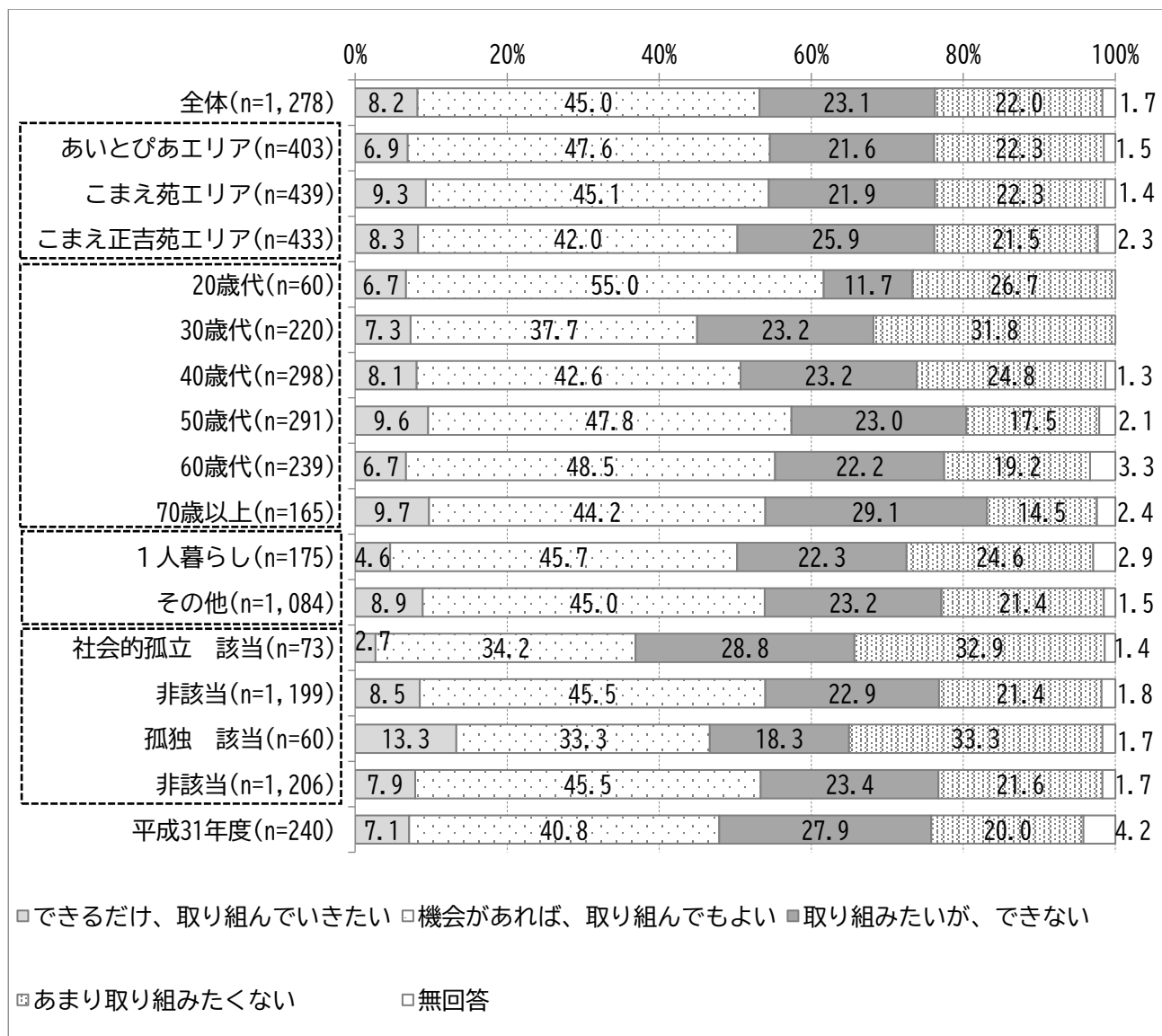
問 40 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、その活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（お世話役としての地域づくりへの参加意向）（○は1つ）

活動に企画・運営（お世話役）としての参加意向については、「分からない」が51.7%で最も多く、次いで、「参加したくない」が23.7%となっています。



問 41 あなたは、今後、地域活動・ボランティア活動等に取り組んでいきたいと考えていますか。(〇は1つ)

地域活動・ボランティア活動等への取組意向については、「機会があれば、取り組んでもよい」が45.0%で最も多く、次いで、「取り組みたいが、できない」が23.1%となっています。



問 41-2 地域活動・ボランティア等で取り組みたいことなどがありましたら、ご自由にお書きください。(自由回答)

#### 子ども・子育て支援：31 件

- 何もかもお年寄り向けのものが多い印象ですが、これからの世代を育てていくためには、子ども達が伸び伸びと安心して過ごせる地域社会を目指したいです。そして、その親世代を支える活動があればいいなと願っています。そのための活動やボランティアがあれば参加したいと考えます。
- 困っている子ども達へ食事、勉強の手伝い、居場所づくりなどをできたらと思います。家庭環境で色々困った状況になってもすぐに相談できる環境があるということ子ども達自身が知っていることが大事です。相談する術すら知らないのはあまりにも可哀想です。
- 子どもの居場所をたくさん作りたい。子育て中の親子、単身者、高齢者、障がいのある方等、色んな世代、立場の人達が気軽に集まれる場所や機会がたくさんあればいい。
- 子ども食堂などでのお手伝いをしたい。
- 子どもの交通安全見守りがやりたいです。
- 子育てママ達の相談相手をしたい。

#### 活動には困難あり：21 件

- これまで、NPO 法人で理事や活動員として無償のボランティア（フードバンク）をしたが、なかなか活動が広がらない。また、高齢のため、活動を辞めてしまう団体があるのは、残念だ。
- 今は介護で参加できないがやってみたい活動はあります。しかし、逆に地域だと上手く溶け込めなかったりイメージと違って辞めづらかったり揉めたりしたら嫌だと思い躊躇してしまう。
- 取り組みたいが、子どもを放置してはできない。簡単に預かる仕組みがなさすぎる。保育園も少ない、入れない、仕事すら探せない。システムが難しすぎる！もっと簡素化すべき。
- 人間関係が面倒。批判されるし、対立することがあり、精神的に無理
- イベントの運営側にも携わりたいが、既にコミュニティができ上がっており、あまり門戸が開かれていないように感じる。

#### 環境活動：17 件

- 週末に「粕江ゴミ拾いの日」的なものがあれば家族で参加したい！今は子育て中でなかなか人と話す機会が少なく孤独を感じる人が多いのですが、本当はもっと色んな世代の方と話してみたい！
- 自然と人が共存しやすいまちづくり。川の清掃、ゴミ拾いなど
- 多摩川近隣の掃除など
- 以前、市役所で不用品交換会のようなものが、あったように思いますが、復活してくれたら良いと思います。リサイクルやおもちゃの故障を無償で直すとか、油で、石鹼作り、コンポストの作り方とか、コロナが、収まらなければ無理ですが、廃れてしまっているイベントを復活して欲しい。

### 支援先の情報提供：11件

- ◆ 5年前迄やっていたが人間関係で退き、かつ、仕事の忙しいこともあり、今はやっていません。市の広報を見て探しています。広報にボランティア活動を積極的にあげて欲しいです。
- ◆ 自分で何ができるのか、どんな協力の仕方があるのか、それはどんなときに必要なのかなど、全く分からないので、する・見ることのきっかけが欲しいです。
- ◆ どんな活動があるのか、広報等で紹介して欲しい。
- ◆ できることを探している最中です。

### 地域活動：10件

- ◆ 子どもがいても参加できるような地域活動やボランティアがあると良いなと思います。
- ◆ 自身が高齢者であるため、気軽に行けるコミュニティ空間があればと思います。カフェのような場所で、本やお茶を楽しむ、若いお母さんや子どもと接することができたらと思います。
- ◆ お祭りやイベントの手伝いなどしてみたい

### 障がい者支援：6件

- ◆ 高齢と持病で体力的に積極的に対応は無理ではあるものの、障がい者が目前にいれば手助けを昔からやっているし、今後もそうしたい。また子ども達の妨げになることは排除するように、また危険なことに関しては叱ることにしている。
- ◆ 耳の聞こえに問題のある方々のためにパソコンで文字通訳をしています。これからも続けていきたいです。
- ◆ 知的障がいのある息子がいるので、成人の知的障がいのある方の居場所づくり

### 外国人支援：4件

- ◆ 外国居住歴の長い方、日本生活に馴染みのない方の地域の友人になる。
- ◆ 日本語が不自由な外国人支援

### 防犯防災活動：4件

- ◆ 安心安全パトロール
- ◆ 災害時に避難所で、初めて接するより、顔馴染み程度になっておくことは、重要かと思います。

### 前向きに検討：3件

- ◆ 今まで地域活動・ボランティアに興味はなかったが、生きる価値を見出だせるなら、アリなのかと最近思い始めました。
- ◆ 仕事をリタイアしたら協力したい。

### 動物保護活動：3件

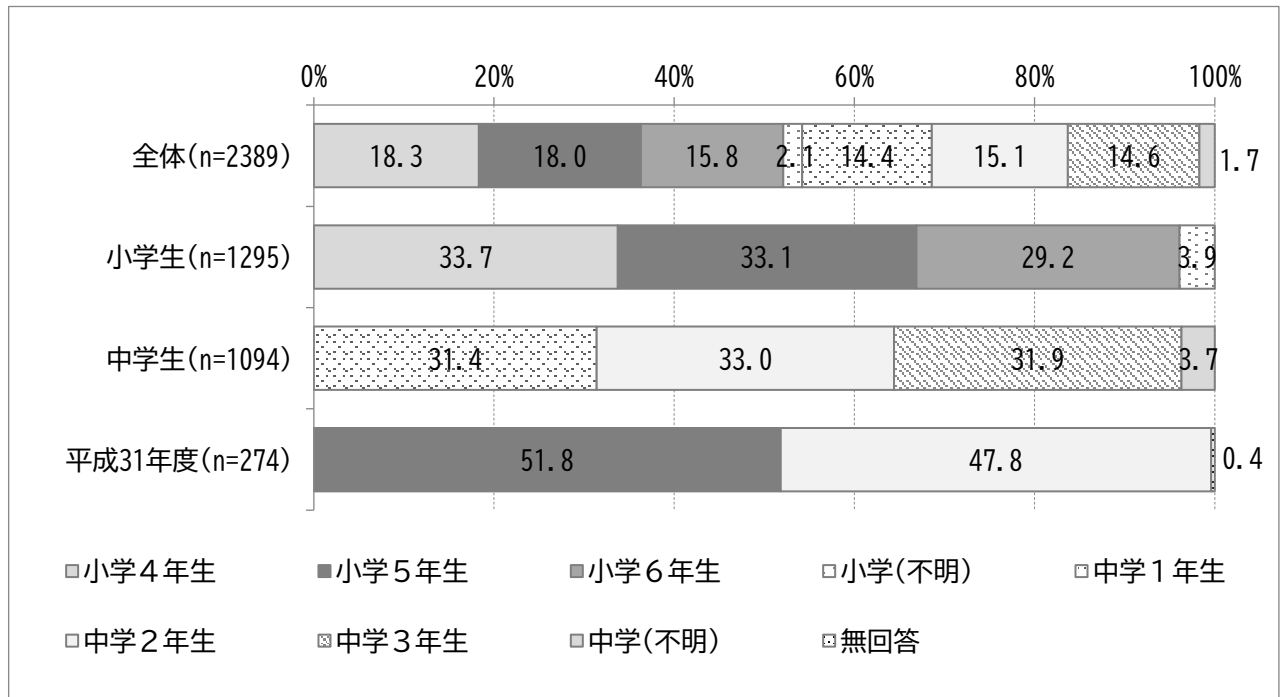
- ◆ 現在、地域ねこの会で、飼い主のいない猫の不妊去勢手術のお手伝いをしています。
- ◆ 地域猫の保護活動やパトロール等

### 第3章 子ども向け市民調査

#### A あなたの基本情報について

問1 あなたの学年を教えてください。

回答者は、小学生では「小学4年生」が33.7%で最も多く、中学生では、「中学2年生」が33.0%で最も多くなっています。



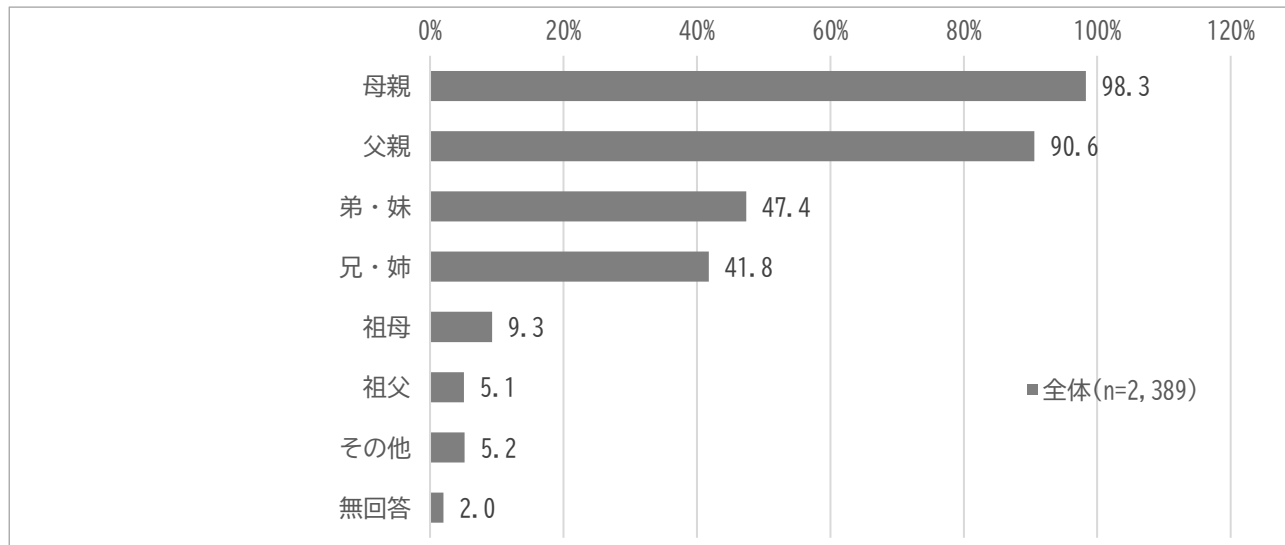
※平成31年度は小学5年生、中学2年生のみを対象としたため、その区分けで整理しています。

### 第3章 子ども向け市民調査

#### A あなたの基本情報について

問2 今、一緒に住んでいる家族について教えてください。(あてはまる番号全てに○)

一緒に住んでいる家族は、「母親」が98.3%で最も多く、次いで、「父親」が90.6%となっています。

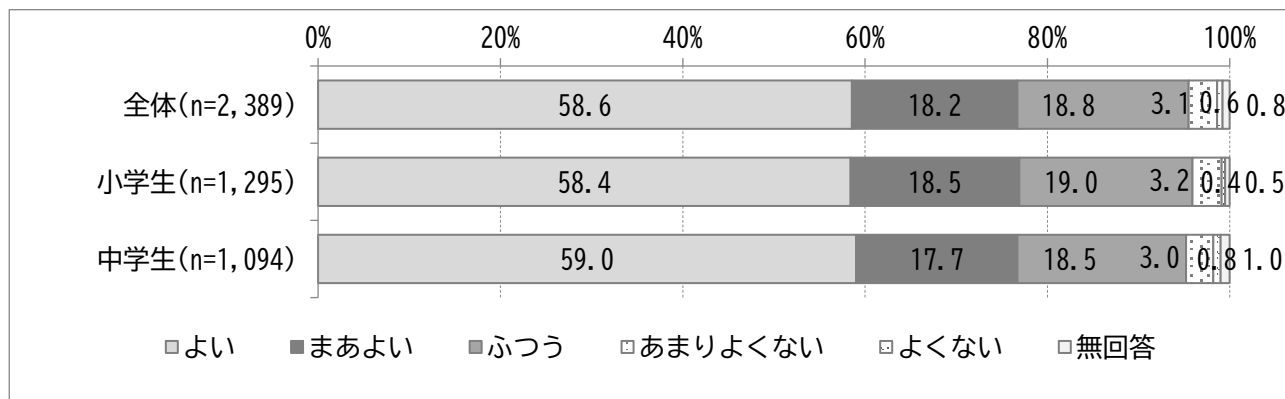


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	その他	祖父	祖母	兄・姉	弟・妹	父親	母親
全体	2,389	0.2	5.2	5.1	9.3	41.8	47.4	90.6	98.3
小学生	1,295	0.1	5.3	4.8	8.6	41.9	47.6	92.4	98.9
中学生	1,094	0.4	5.1	5.6	10.0	41.7	47.2	88.5	97.5
ほっとできる場所ある	2,239	0.2	5.0	5.2	9.2	41.6	47.8	90.7	98.5
ほっとできる場所ない	195	0.0	8.2	4.6	10.3	45.6	43.6	89.7	95.4

問3 あなたの健康状態について教えてください。

健康状態は、「よい」が58.6%で最も多く、次いで、「ふつう」が18.2%となっています。

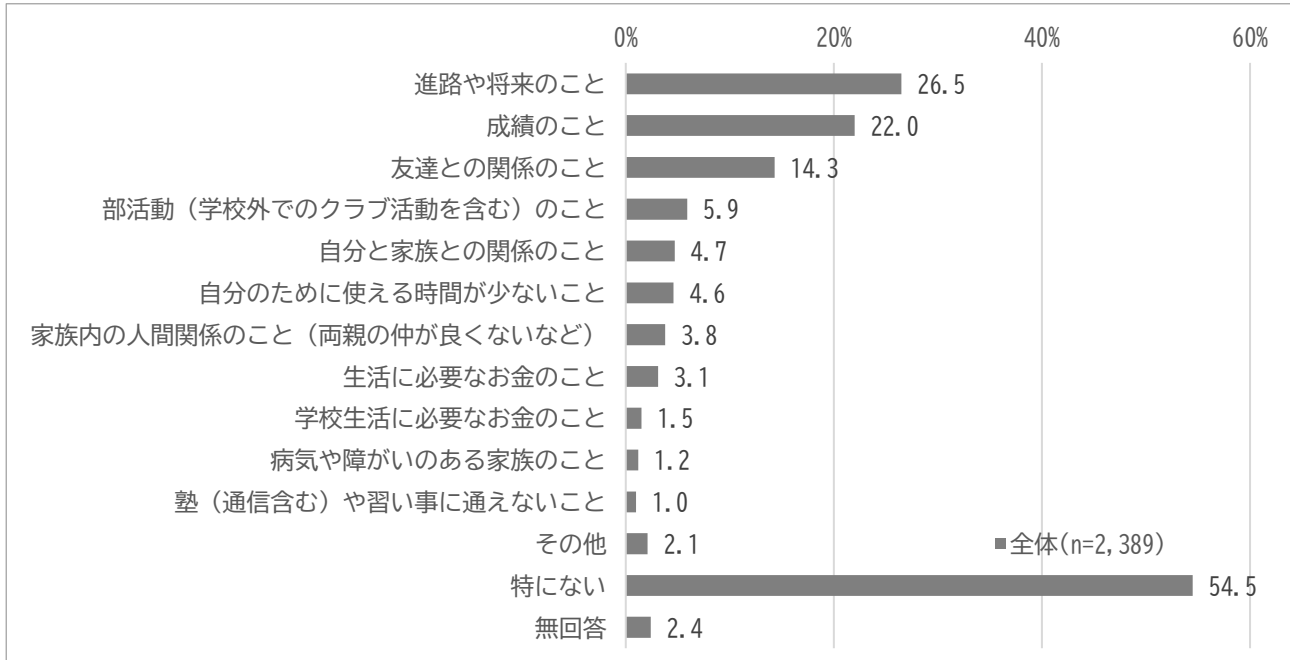




## B 悩みごとや支え合いについて

問4 今、悩んだり、困ったりしていることはありますか。(あてはまる番号全てに○)

悩んだり、困ったりしていることについては、「進路や将来のこと」が26.5%で最も多く、次いで、「成績のこと」が22.0%となっています。



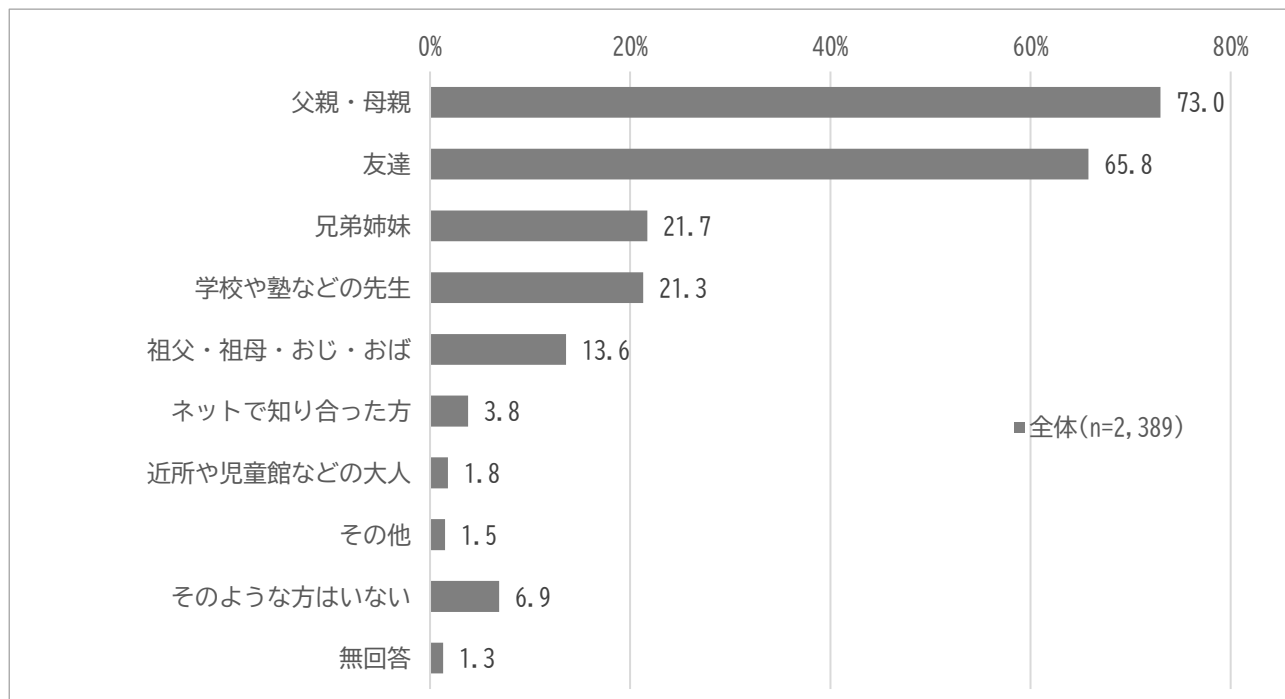
(単位：人、%)

区分	人数	無回答	特にない	その他	塾 (通信含む) や習い事に通えないこと	病気や障がいのある家族のこと	学校生活に必要なお金のこと	生活に必要なお金のこと	家族内の人間関係のこと (両親の仲が良くないなど)	自分のために使える時間が少ないこと	自分と家族との関係のこと	部活動 (学校外でのクラブ活動を含む) のこと	友達との関係のこと	成績のこと	進路や将来のこと
全体	2,389	2.4	54.5	2.1	1.0	1.2	1.5	3.1	3.8	4.6	4.7	5.9	14.3	22.0	26.5
小学生	1,295	2.1	61.2	1.9	1.0	1.3	0.9	2.8	3.6	4.2	4.6	3.8	16.4	16.0	18.5
中学生	1,094	2.8	46.4	2.3	1.0	1.0	2.3	3.5	4.0	4.9	4.9	8.4	11.8	29.1	35.9
ほとんどできる場所がある	2,239	2.3	55.8	1.9	1.0	1.1	1.6	2.9	3.5	4.4	4.0	5.5	13.4	21.7	26.0
ほとんどできない場所がない	195	3.6	37.4	6.2	1.5	2.6	1.0	5.1	7.7	6.7	14.9	9.7	25.6	24.6	30.3

問5 あなたの心配事や悩みを聞いてくれる方は誰ですか。(〇はいくつでも)

心配事や悩みを聞いてくれる方は、「父親・母親」が73.0%で最も多く、次いで、「友達」が65.8%となっています。

学年別で見ると、中学生では「学校や塾などの先生」が小学生よりも11.4ポイント高くなっています。



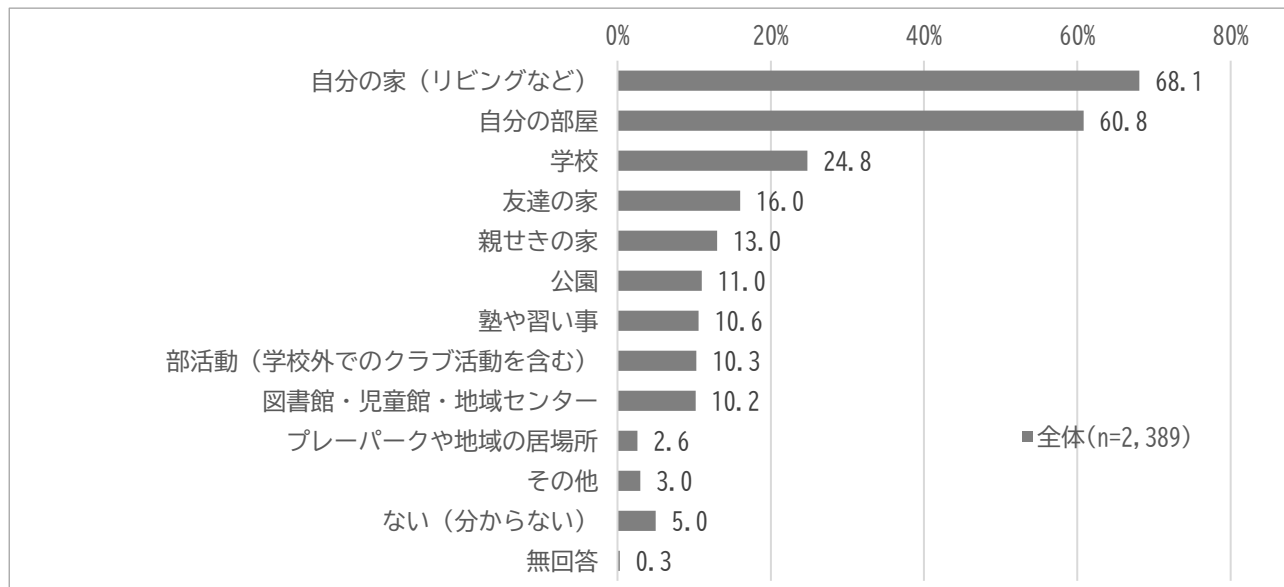
(単位：人、%)

区分	人数	無回答	そのような方はいない	その他	近所や児童館などの大人	ネットで知り合った方	祖父・祖母・おじ・おば	学校や塾などの先生	兄弟姉妹	友達	父親・母親
全体	2,389	1.3	6.9	1.5	1.8	3.8	13.6	21.3	21.7	65.8	73.0
小学生	1,295	0.8	6.6	2.3	2.1	2.3	13.7	16.1	22.5	63.5	77.7
中学生	1,094	1.7	7.2	0.5	1.4	5.6	13.4	27.5	20.7	68.5	67.6

問6 ほっとできる「居場所」はどこですか。(〇はいくつでも)

ほっとできる「居場所」は、「自分の家(リビングなど)」が68.1%で最も多く、次いで、「自分の部屋」が60.8%となっています。

学年別で見ると、小学生では「自分の家(リビングなど)」が72.5%で最も多いですが、中学生では、「自分の部屋」が70.8%で最も多くなっています。

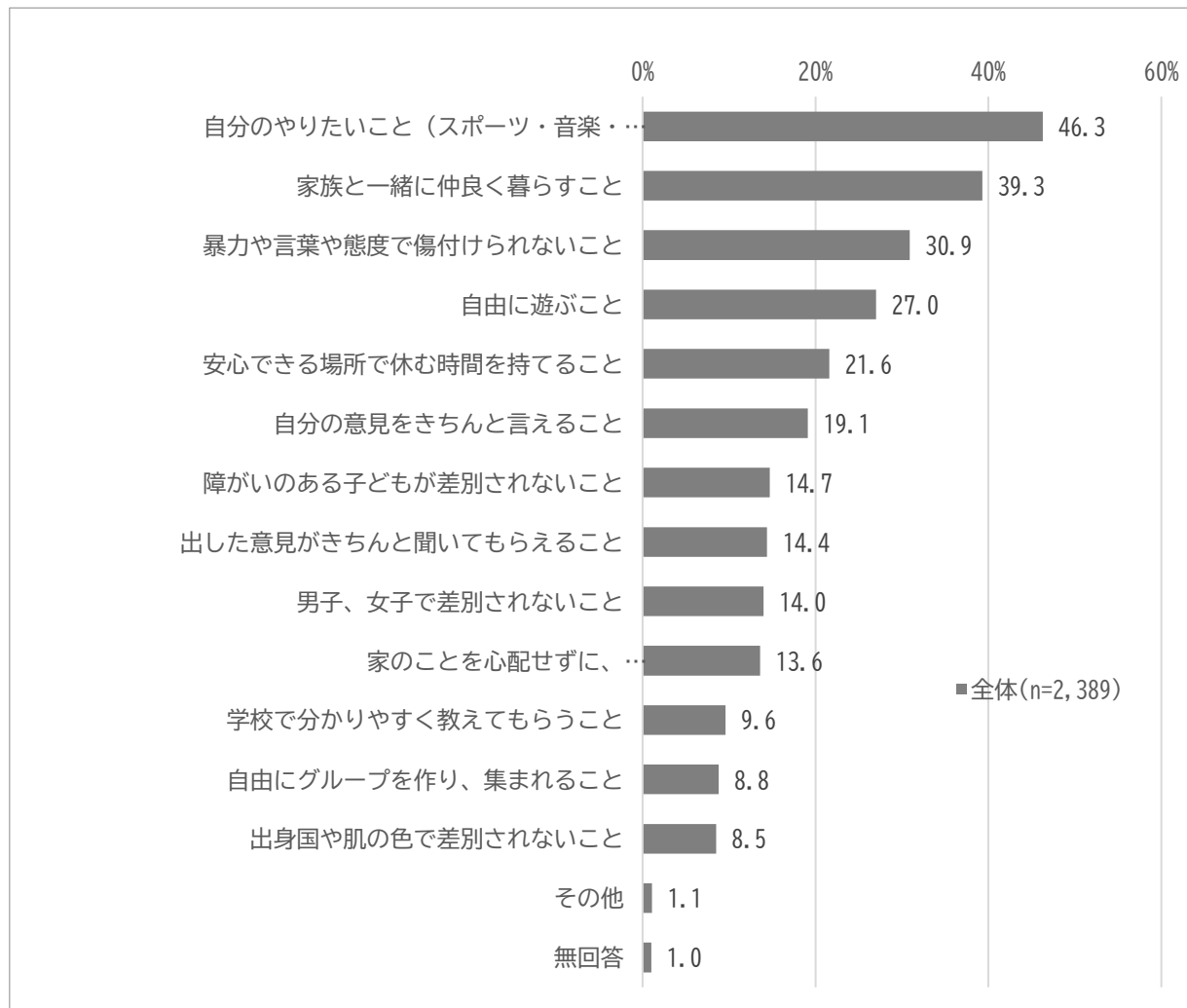


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	ない(分からない)	その他	居場所 プレーパークや地域の	図書館・児童館・地域 センター	部活動(学校外でのク ラブ活動を含む)	塾や習い事	公園	親せきの家	友達の家	学校	自分の家(リビングな ど)	自分の部屋
全体	2,389	0.3	5.0	3.0	2.6	10.2	10.3	10.6	11.0	13.0	16.0	24.8	68.1	60.8
小学生	1,295	0.2	5.4	4.8	3.3	13.2	5.6	11.4	15.8	13.5	18.6	29.0	72.5	52.3
中学生	1,094	0.4	4.5	0.9	1.7	6.6	16.0	9.7	5.3	12.4	12.9	19.9	62.8	70.8

問7 普段の生活の中で特に重要だと思うことは、次のうちどれですか。(3つまで○)

生活の中で特に重要だと思うことは、「自分のやりたいことに取り組めること」が46.3%で最も多く、次いで、「家族と一緒に仲良く暮らすこと」が39.3%となっています。



(単位：人、%)

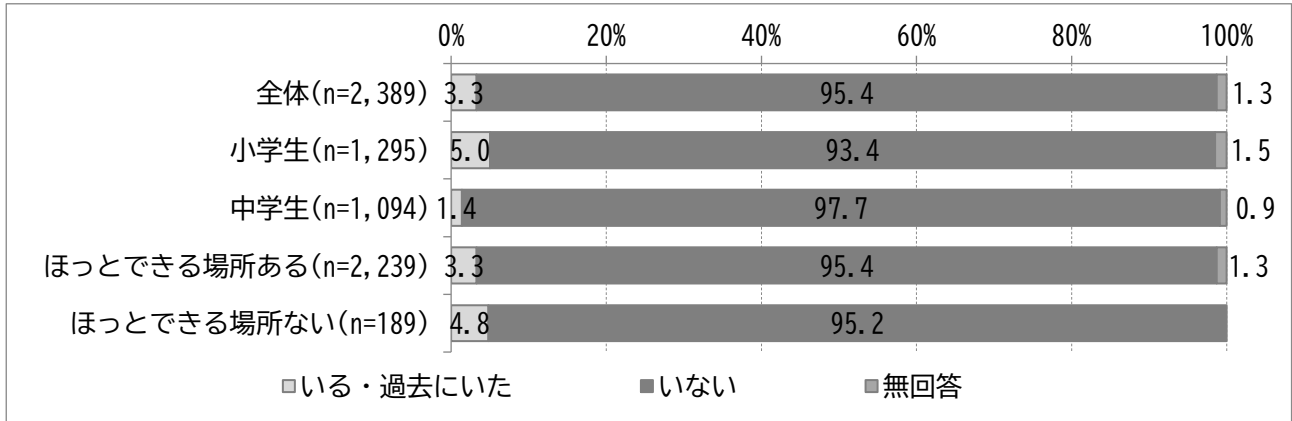
	人数	無回答	その他	出身国や肌の色で差別されないこと	自由に遊ぶこと	学校で分かりやすく教えてもらうこと	暴力や態度で傷付けられないこと	家族と一緒に仲良く暮らすこと	男子、女子で差別されないこと	自分の意見をきちんと言えること
全体	2,389	1.0	1.1	8.5	8.8	9.6	13.6	14.0	14.4	
小学生	1,295	1.2	1.2	8.0	8.4	9.8	11.5	15.4	13.4	
中学生	1,094	0.9	0.9	9.0	9.2	9.3	16.2	12.4	15.4	

	自分のやりたいことに取り組めること	家族と一緒に暮らすこと	暴力や態度で傷付けられないこと	自由に遊ぶこと	安心できる場所で休む時間を持てること	自分の意見をきちんと言えること	障がいのある子どもが差別されないこと	出身国や肌の色で差別されないこと
全体	46.3	39.3	30.9	27.0	21.6	19.1	14.7	14.4
小学生	40.9	45.3	30.7	27.9	20.6	17.5	17.0	13.4
中学生	52.6	32.1	31.3	25.9	22.7	21.0	12.0	15.4

## C 家族のケアについて

問8 家族の中にあなたがお世話をしている方はいますか。(ここで「お世話」とは、家族にケアが必要な方がいる場合に、大人がするような家事や家族の介護などをする事です。)(○はいくつでも)

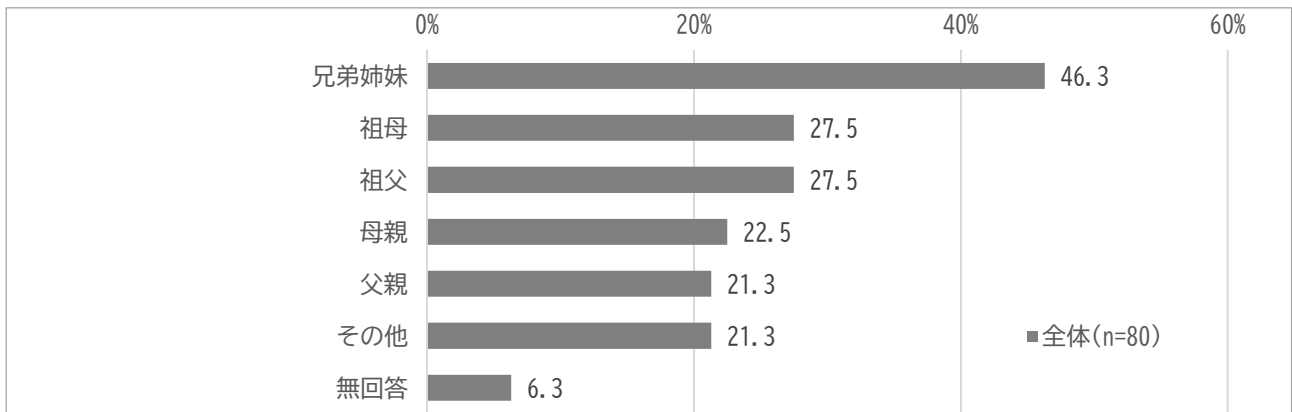
家族の中にお世話をしている方がいるかについては、「いない」が95.4%で最も多く、次いで、「いる・過去にいた」が3.3%となっています。



問9以降はお世話をしている方が「いる・過去にいた」と回答したケアラーのみが対象

問9 お世話を必要な方の状況を教えてください。

お世話を必要としている方は、「兄弟姉妹」が46.3%で最も多く、次いで、「祖母」及び「祖父」がそれぞれ27.5%となっています。



(単位：人、%)

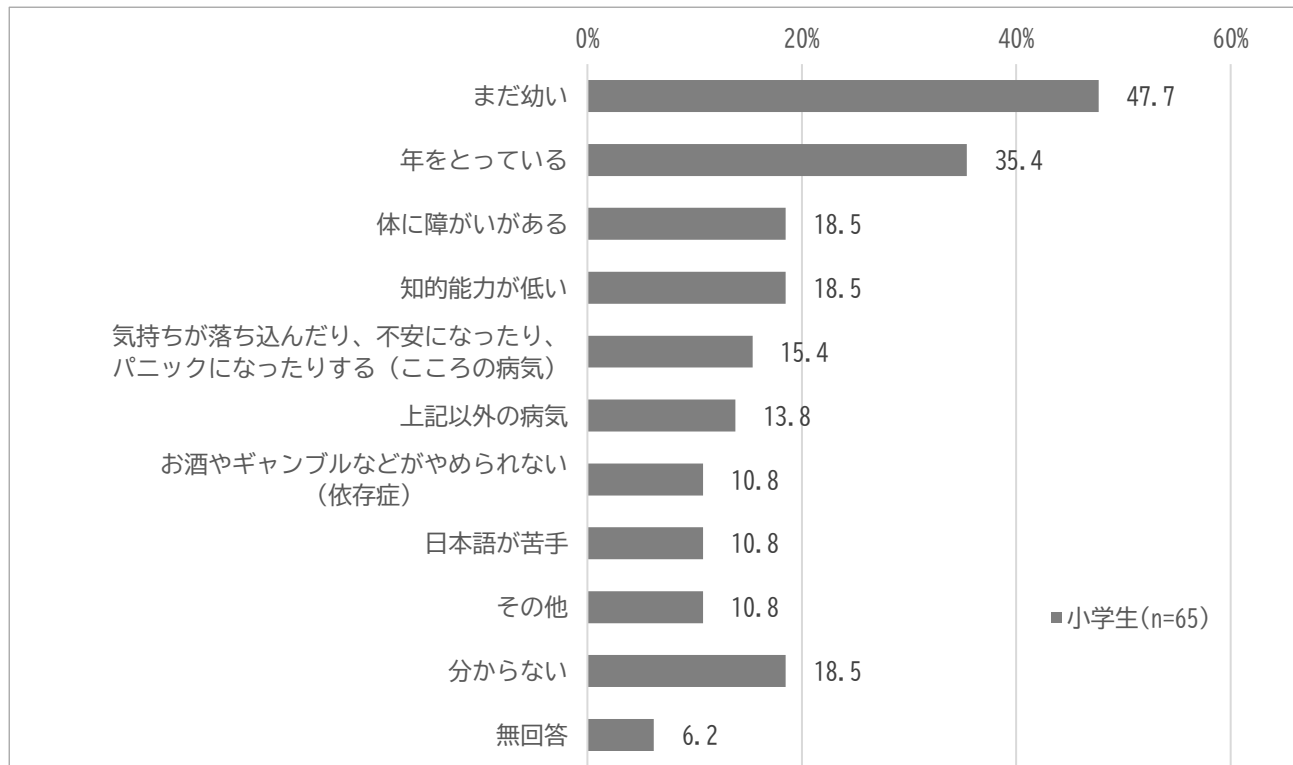
区分	人数	無回答	その他	父親	母親	祖父	祖母	兄弟姉妹
全体	80	6.3	21.3	21.3	22.5	27.5	27.5	46.3
小学生	65	6.2	21.5	20.0	21.5	26.2	27.7	50.8
中学生	15	6.7	20.0	26.7	26.7	33.3	26.7	26.7

### 第3章 子ども向け市民調査

#### C 家族のケアについて

##### <小学生>

お世話を行っている方は、「まだ幼い」が47.7%で最も多く、次いで「年をとっている」が35.4%となっています。

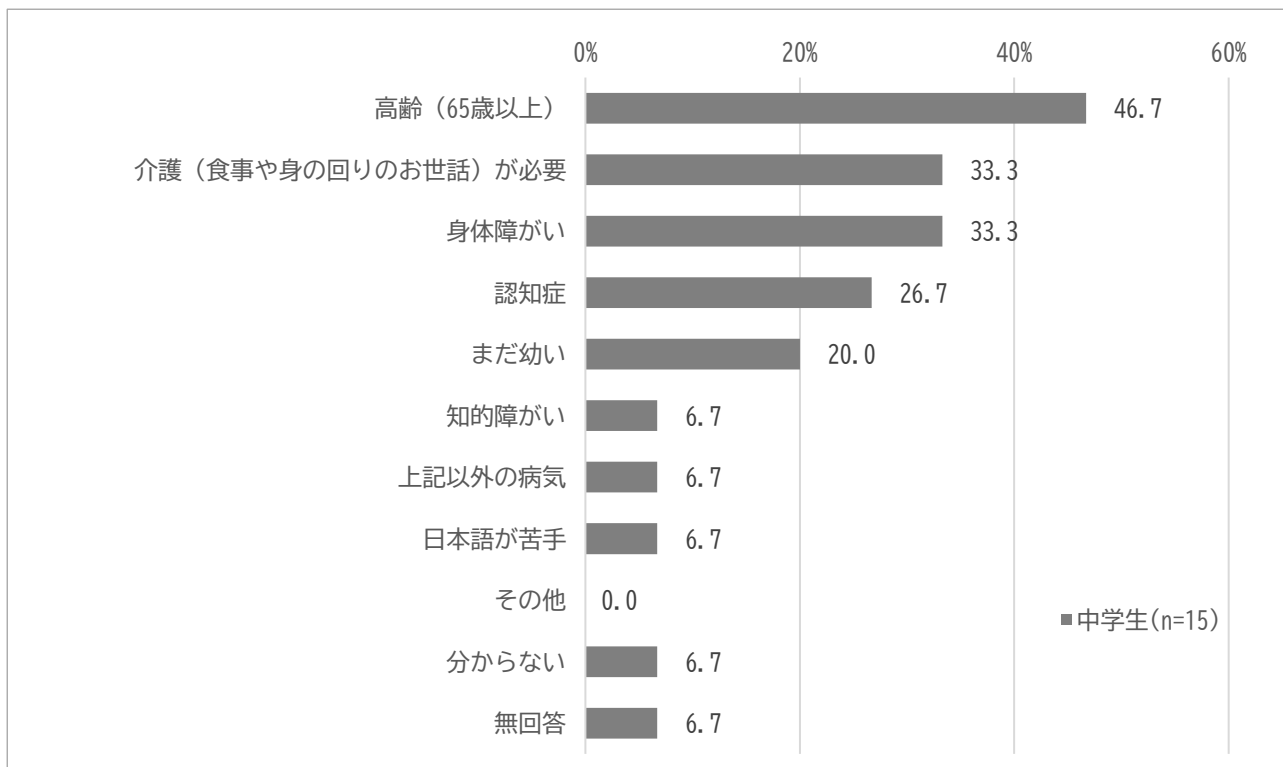


(単位：人、%)

世話対象者	人数	無回答	分からない	その他	日本語が苦手	お酒やギャンブルなどがやめられない（依存症）	左記・右記以外の病気	気持ちが落ち込んだり、不安になったり、パニックになったりする（こころの病気）	知的能力が低い	体に障がいがある	年をとっている	まだ幼い
全体	65	6.2	18.5	10.8	10.8	10.8	13.8	15.4	18.5	18.5	35.4	47.7
母親	14	0.0	64.3	14.3	14.3	28.6	21.4	21.4	28.6	21.4	42.9	35.7
父親	13	0.0	46.2	7.7	15.4	30.8	7.7	15.4	23.1	23.1	53.8	30.8
祖母	18	0.0	27.8	16.7	16.7	27.8	22.2	27.8	33.3	27.8	83.3	33.3
祖父	17	0.0	35.3	23.5	35.3	41.2	41.2	41.2	47.1	47.1	82.4	41.2
兄弟姉妹	33	0.0	21.2	6.1	6.1	9.1	6.1	12.1	15.2	15.2	18.2	78.8
その他	14	0.0	35.7	42.9	28.6	28.6	35.7	28.6	42.9	28.6	57.1	50.0

<中学生>

お世話を行っている方は、「高齢（65歳以上）」が46.7%で最も多く、次いで「介護（食事や身の回りのお世話）が必要」及び「身体障がい」がそれぞれ33.3%となっています。



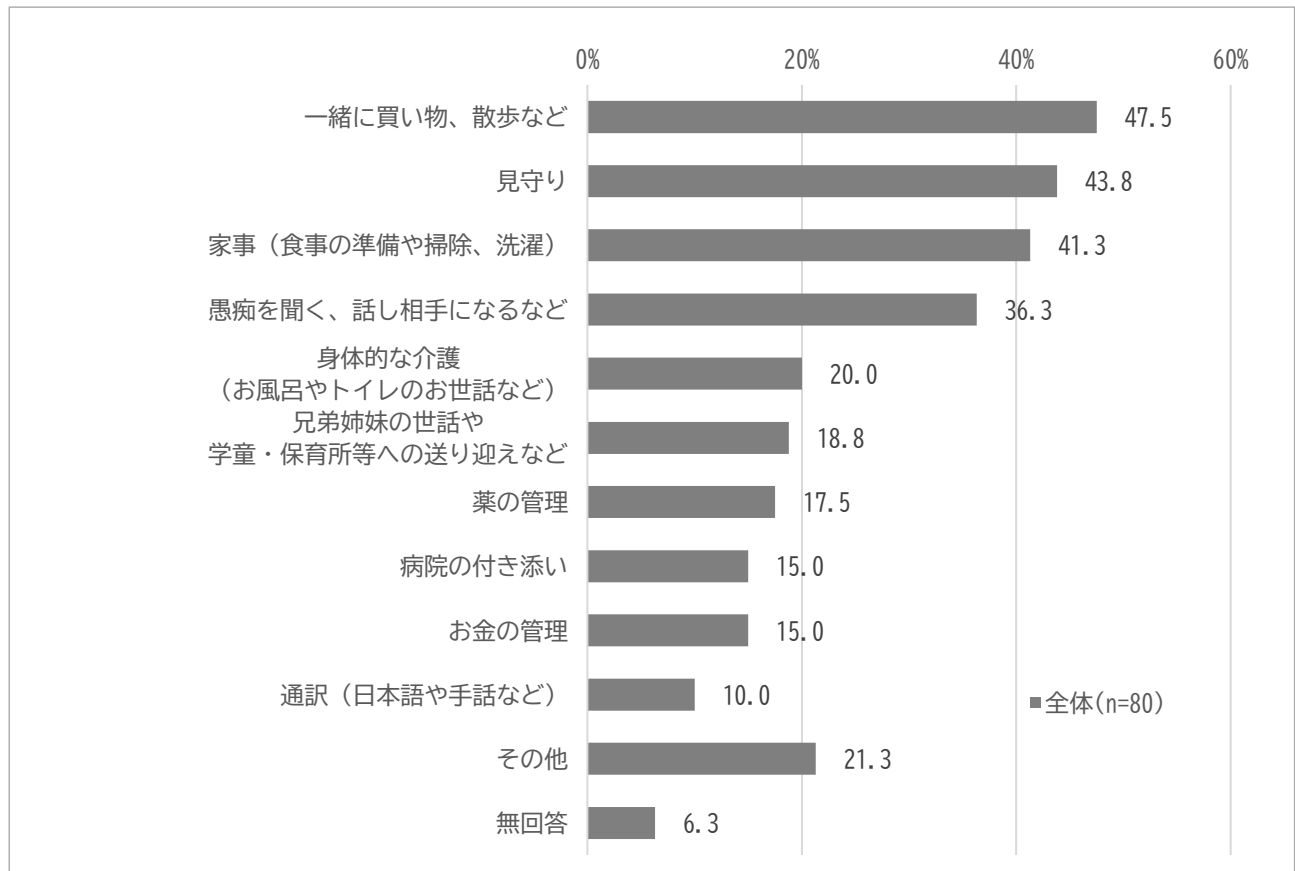
(単位：人、%)

世話対象者	人数	無回答	分からない	その他	日本語が苦手	認知症以外の病気	知的障がい	まだ幼い	認知症	高齢（65歳以上）	介護（食事や身の回りのお世話）が必要	身体障がい
全体	65	6.7	6.7	0.0	6.7	6.7	6.7	20.0	26.7	46.7	33.3	33.3
母親	14	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0
父親	13	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0
祖母	18	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	25.0
祖父	17	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	40.0	60.0	60.0	40.0
兄弟姉妹	33	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	14	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	66.7	66.7	0.0

※その他の回答選択肢として、「こころの病気（可能性がある場合を含む）」、「依存症（酒やギャンブルなどがやめられず、生活に問題がある）」を調査票に掲載していたが、中学生では回答なしだったため、本報告書ではグラフ及び表に含めていない。

問9-2 あなたが行っているお世話の内容を教えてください。

お世話の内容は、「一緒に買い物、散歩など」が47.5%で最も多く、次いで「見守り」が43.8%となっています。



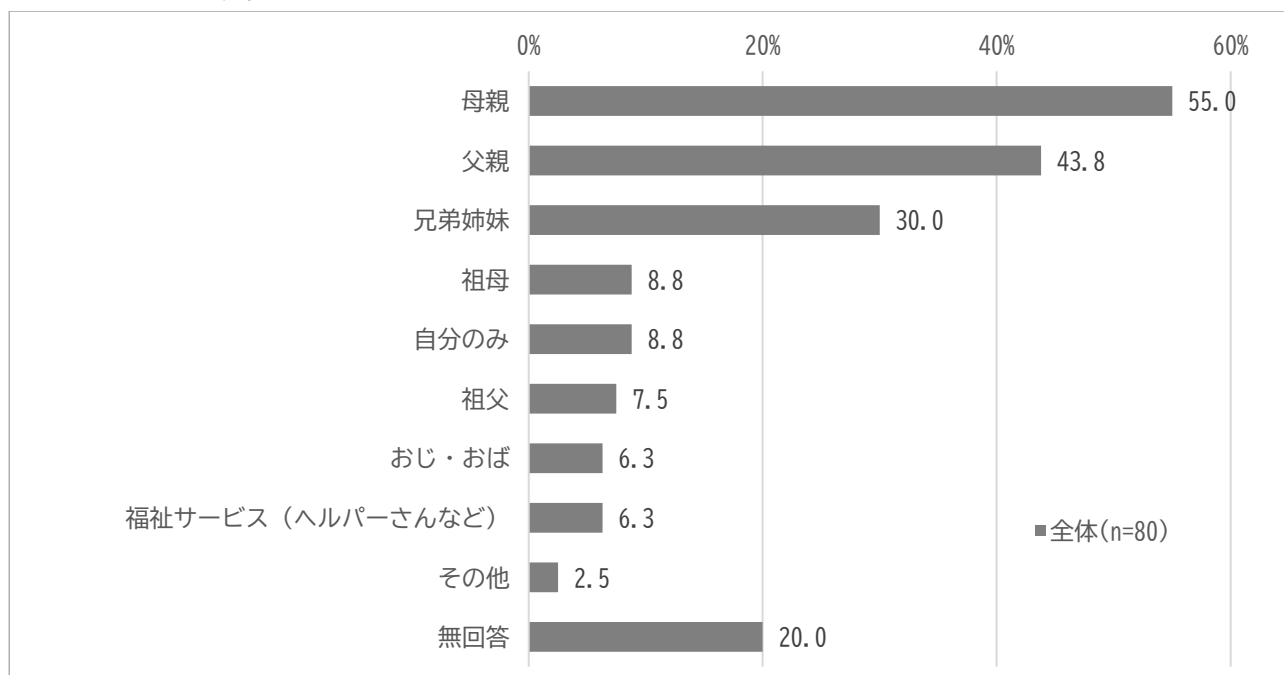
(単位：人、%)

世話対象者	人数	無回答	その他	通訳 (日本語や手話など)	お金の管理	病院の付き添い	薬の管理	兄弟姉妹の世話や学童・保育所等への送り迎えなど	身体的な介護 (お風呂やトイレのお世話など)	愚痴を聞く、話し相手になるなど	家事 (食事の準備や掃除、洗濯)	見守り	一緒に買い物、散歩など
全体	65	6.3	21.3	10.0	15.0	15.0	17.5	18.8	20.0	36.3	41.3	43.8	47.5
母親	14	5.6	22.2	11.1	27.8	27.8	22.2	22.2	11.1	38.9	77.8	50.0	55.6
父親	13	11.8	17.6	5.9	23.5	23.5	23.5	17.6	5.9	41.2	64.7	47.1	52.9
祖母	18	4.5	18.2	13.6	22.7	27.3	27.3	27.3	22.7	59.1	54.5	68.2	68.2
祖父	17	0.0	22.7	27.3	36.4	40.9	40.9	36.4	36.4	54.5	59.1	68.2	59.1
兄弟姉妹	33	2.7	24.3	10.8	16.2	13.5	13.5	24.3	13.5	37.8	29.7	45.9	40.5
その他	14	0.0	52.9	23.5	29.4	29.4	23.5	29.4	41.2	41.2	47.1	70.6	47.1



問 10 お世話は誰と行っていますか。(あてはまる番号全てに○)

お世話は誰と行っているかについては、「母親」が 55.0%で最も多く、次いで、「父親」が 43.8%となっています。

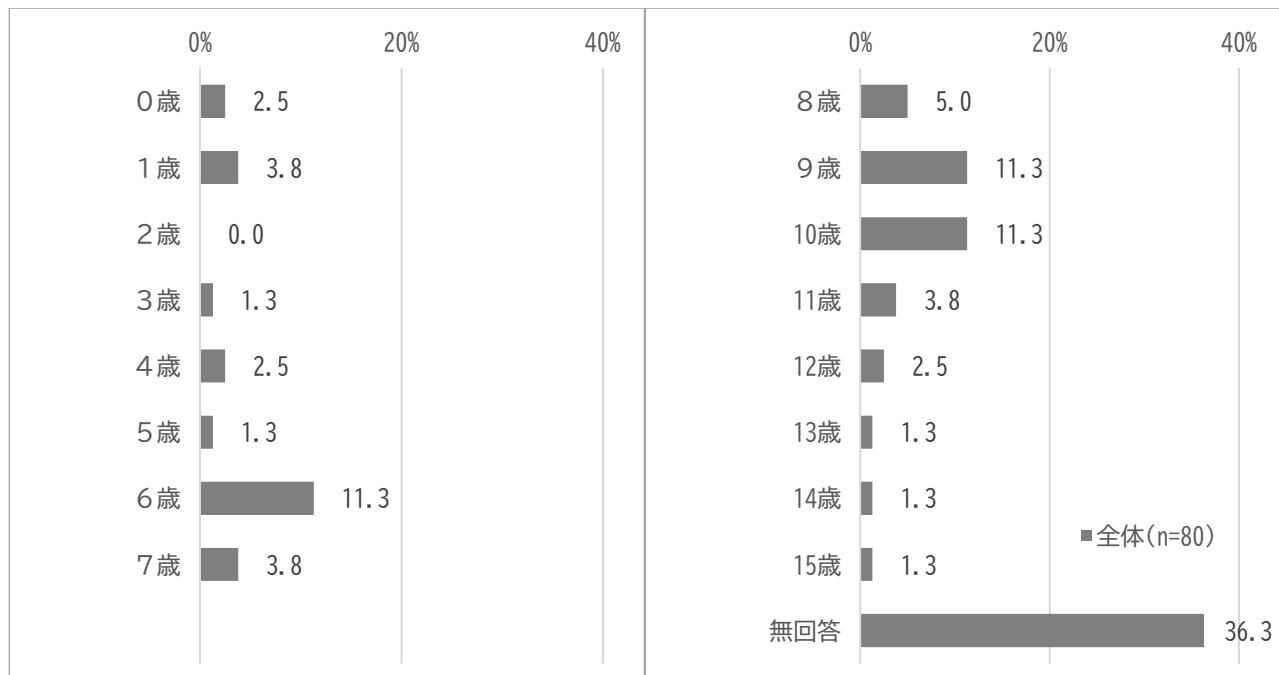


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	その他	福祉サービス(ヘルパーさんなど)	おじ・おば	祖父	自分のみ	祖母	兄弟姉妹	父親	母親
全体	80	20.0	2.5	6.3	6.3	7.5	8.8	8.8	30.0	43.8	55.0
小学生	65	21.5	3.1	3.1	3.1	6.2	10.8	7.7	30.8	43.1	50.8
中学生	15	13.3	0.0	20.0	20.0	13.3	0.0	13.3	26.7	46.7	73.3

問11 お世話はいつからしていますか。お世話を始めた年齢をお答えください。(はっきりと分からない場合は、だいたいの年齢でかまいません)

お世話を始めた年齢は、「無回答」が36.3%で最も多く、次いで、「6歳」、「9歳」及び「10歳」がそれぞれ11.3%となっています。



(単位：人、%)

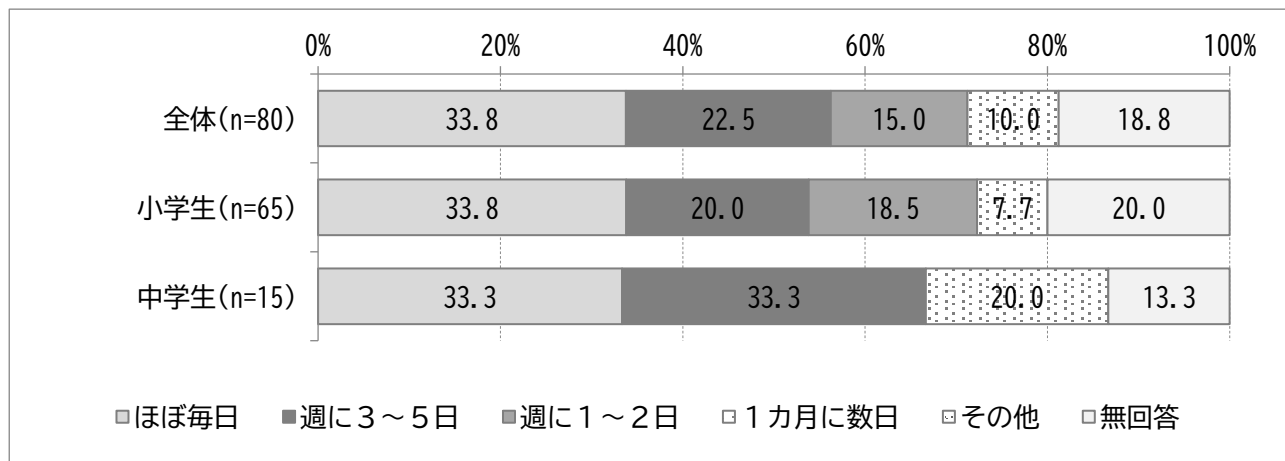
区分	人数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳
全体	80	2.5	3.8	0.0	1.3	2.5	1.3	11.3	3.8
小学生	65	3.1	3.1	0.0	1.5	3.1	1.5	10.8	3.1
中学生	15	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	6.7

区分	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	無回答
全体	5.0	11.3	11.3	3.8	2.5	1.3	1.3	1.3	36.3
小学生	6.2	12.3	9.2	3.1	1.5	0.0	0.0	0.0	41.5
中学生	0.0	6.7	20.0	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	13.3

問 12 お世話をしている回数を教えてください。

お世話をしている回数は、「ほぼ毎日」が 33.8%で最も多く、次いで、「週に3～5回」が 22.5%となっています。

学年別でみると、中学生では、「週に3～5日」が小学生に比べて 13.3 ポイント高くなっています。



### 第3章 子ども向け市民調査

#### C 家族のケアについて

問 13 平日にお世話はどれくらい行っていますか。1日の時間数をお答えください。(日によって違う場合は、この1箇月の中で最も長い日の時間をお答えください)

お世話をしている1日の時間数は、「1時間」が16.3%で最も多く、次いで、「2時間」が12.5%となっています。



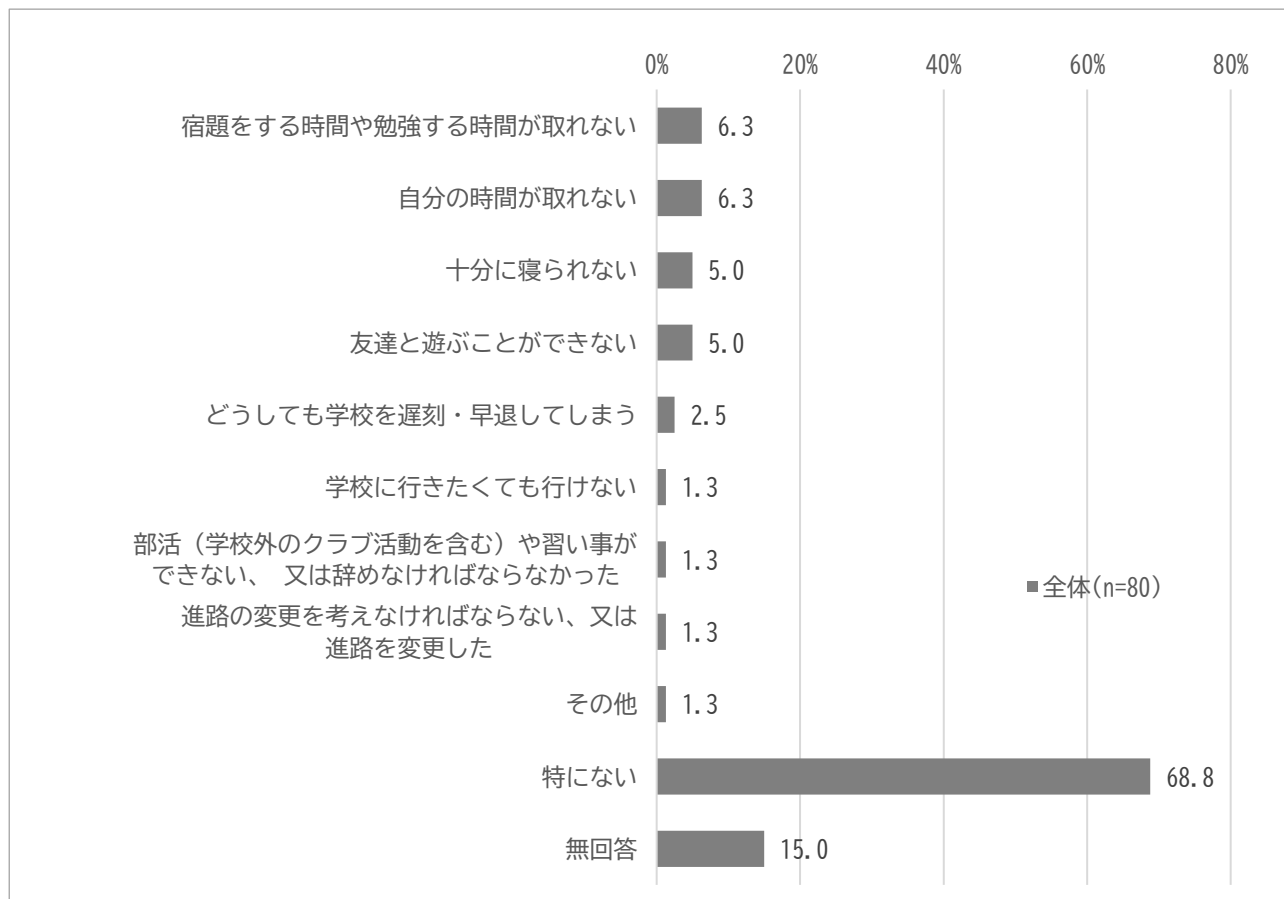
(単位：人、%)

区分	人数	0時間	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間
全体	80	2.5	16.3	12.5	8.8	1.3	1.3	0.0	2.5	0.0	0.0	2.5
小学生	65	1.5	15.4	12.3	9.2	1.5	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	3.1
中学生	15	6.7	20.0	13.3	6.7	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0

区分	11時間	12時間	13時間	14時間	15時間	16時間	17時間	18時間	19時間	20時間	無回答
全体	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	1.3	48.8
小学生	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	1.5	50.8
中学生	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0

問 14 お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか。(あてはまる番号全てに○)

お世話をしていることで、やりたいけどできないことは、「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」及び「自分の時間が取れない」がそれぞれ 6.3%で最も多く、次いで、「十分に寝られない」が 5.0%となっています。

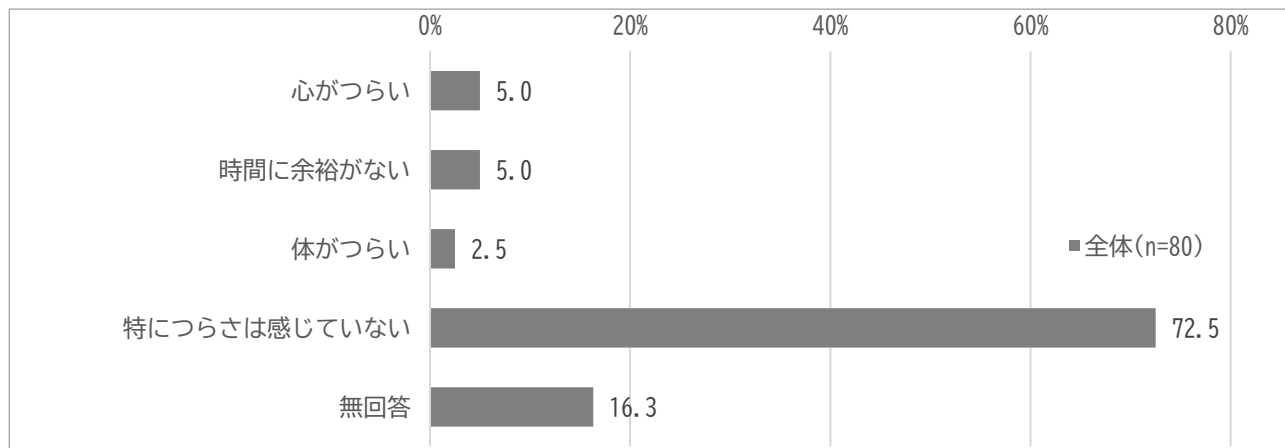


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	特にない	その他	進路の変更を考えなければならない、又は進路を変更した	部活（学校外のクラブ活動を含む）や習い事ができない、又は辞めなければならなかった	学校に行きたくても行けない	どうしても学校を遅刻・早退してしまう	宿題をする時間や勉強する時間が取れない	十分に寝られない	友達と遊ぶことができない	自分の時間が取れない
全体	80	15.0	68.8	1.3	1.3	1.3	1.3	2.5	6.3	5.0	5.0	6.3
小学生	65	16.9	66.2	1.5	0.0	1.5	1.5	3.1	6.2	6.2	6.2	7.7
中学生	15	6.7	80.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0

問 15 お世話をすることにつらさを感じていますか。(あてはまる番号全てに○)

お世話をすることにつらさを感じているかについては、「心がつらい」及び「時間に余裕がない」が5.0%で最も多く、次いで、「身体がつらい」が2.5%となっています。

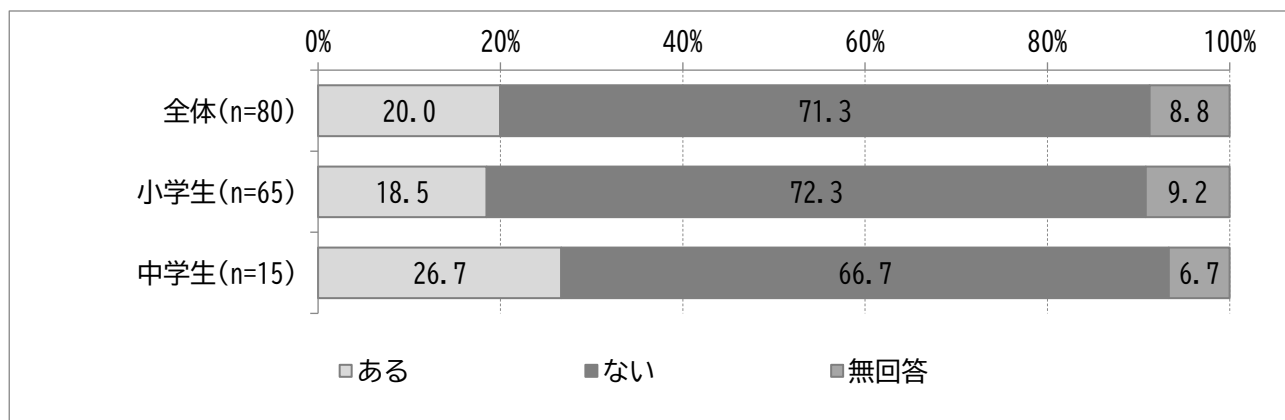


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	特につらさを感じていない	体がつらい	時間に余裕がない	心がつらい
全体	80	16.3	72.5	2.5	5.0	5.0
小学生	65	16.9	72.3	3.1	4.6	3.1
中学生	15	13.3	73.3	0.0	6.7	13.3

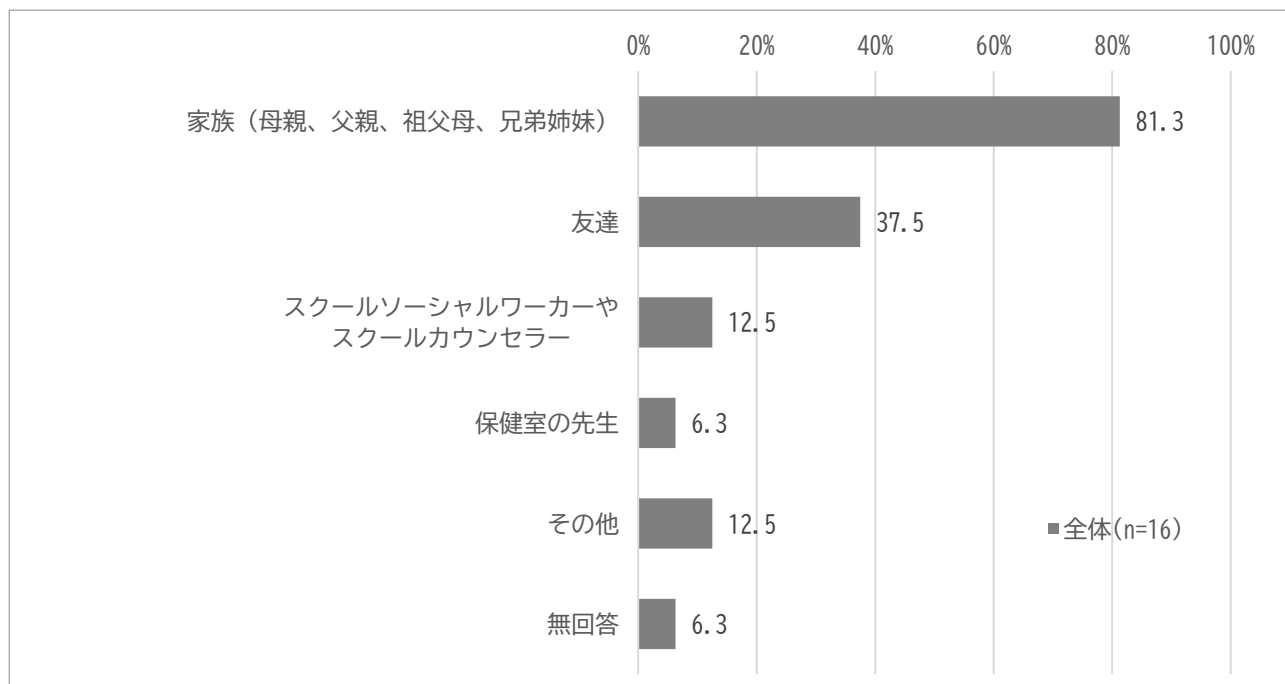
問 16 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。

お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはあるかについては、「ない」が71.3%で最も多く、次いで、「ある」が20.0%となっています。



問 17 【問 16 で「ある」と回答した方にお伺いします】それは誰ですか。(あてはまる番号  
全てに○)

お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる方については、「家族（母親、父親、祖父母、兄弟姉妹）」が 81.3%で最も多く、次いで、「友達」が 37.5%となっています。



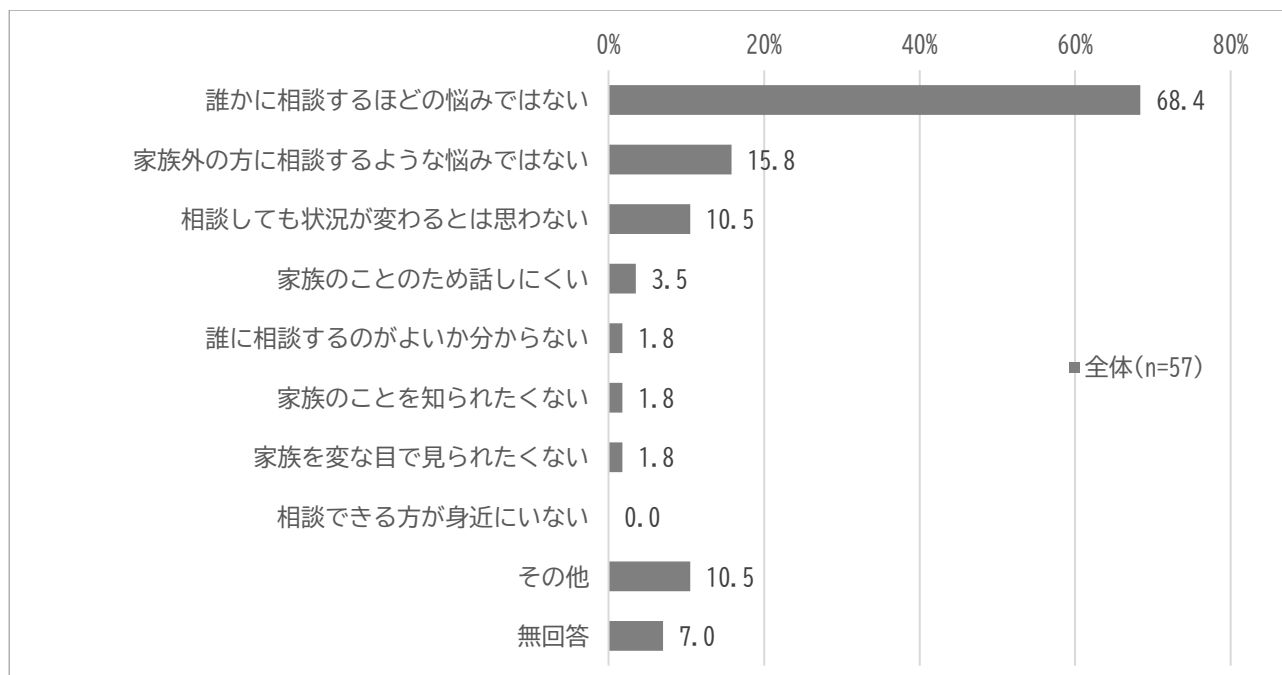
(単位：人、%)

区分	人数	無回答	その他	保健室の先生	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー	友達	家族（母親、父親、祖父母、兄弟姉妹）
全体	16	6.3	12.5	6.3	12.5	37.5	81.3
小学生	12	8.3	16.7	8.3	16.7	41.7	75.0
中学生	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	100.0

※その他の回答選択肢として、「親戚（おじ、おばなど）」、「学校の先生（保健室の先生以外）」、「お医者さん、その他病院の方」、「ヘルパーやケアマネさん」、「役所やあいとぴあの方」、「近所の方」、「ネットで知り合った方」を調査票に掲載していたが、小学生・中学生共に回答なしだったため、本報告書ではグラフ及び表に含めていない。

問 18 【問 16 で「ない」と回答した方にお伺いします】相談していない理由を教えてください。(あてはまる番号全てに○)

相談していない理由については、「誰かに相談するほどの悩みではない」が 68.4%で最も多く、次いで、「家族外の方に相談するような悩みではない」が 15.8%となっています。



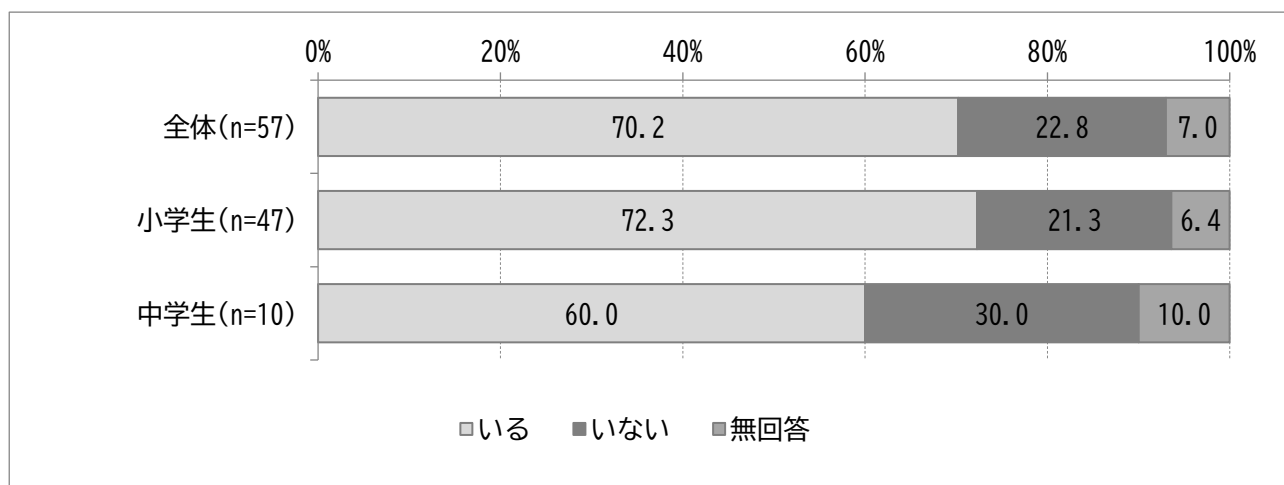
(単位：人、%)

区分	人数	無回答	その他	相談できる方が身近にいない	家族を変な目で見られたくない	家族のことを知られたくない	誰に相談するのがよいか分からない	家族のここのため話しにくい	相談しても状況が変わるとは思わない	家族外の方に相談するような悩みではない	誰かに相談するほどの悩みではない
全体	57	7.0	10.5	0.0	1.8	1.8	1.8	3.5	10.5	15.8	68.4
小学生	47	8.5	8.5	0.0	2.1	0.0	2.1	2.1	10.6	14.9	70.2
中学生	10	0.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0	20.0	60.0



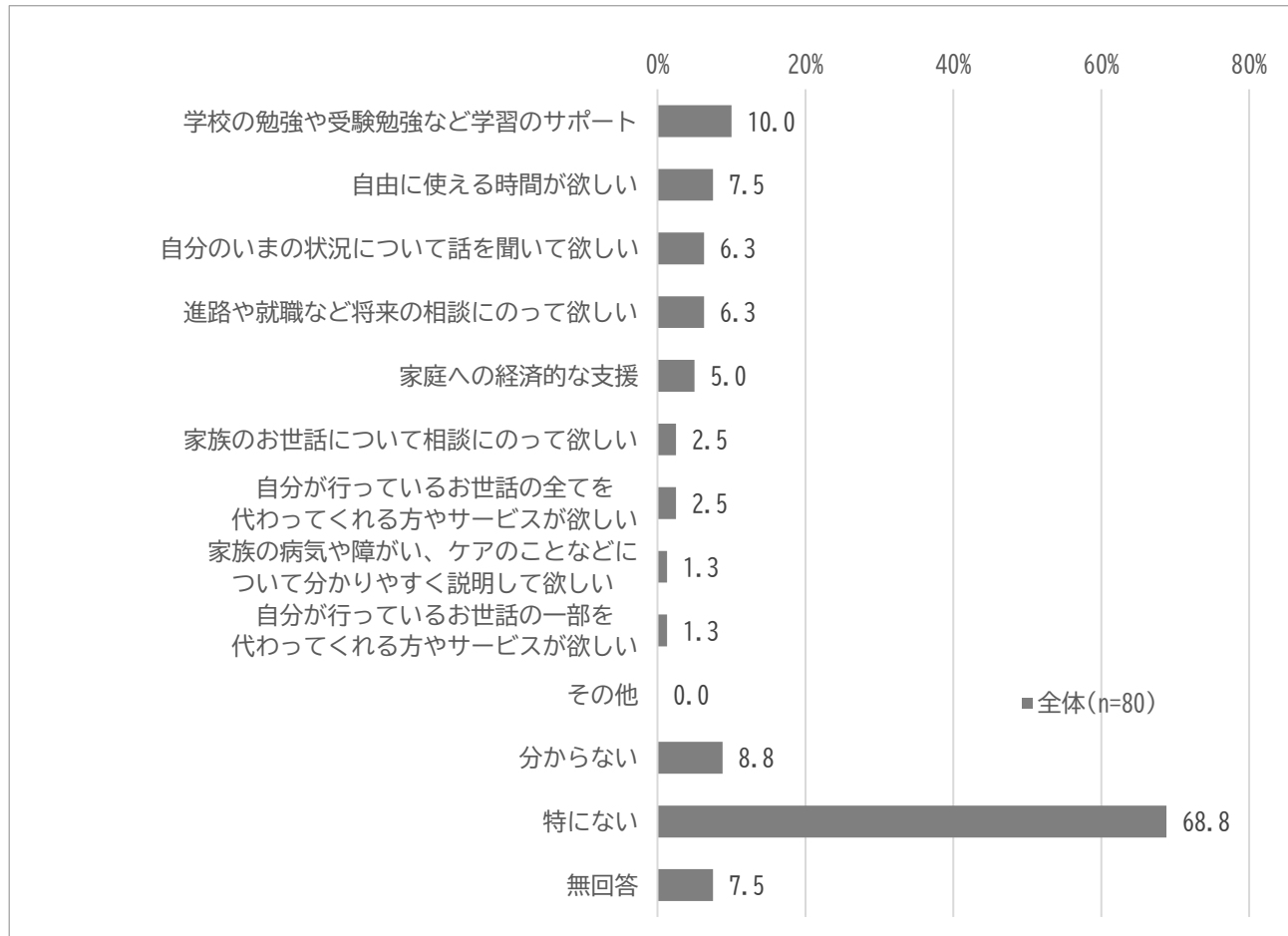
問 19 【問 16 で「ない」と回答した方にお伺いします】お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる方はいますか。

お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる方については、「いる」が 70.2%で最も多く、次いで、「いない」が 22.8%となっています。



問 20 学校や周りの大人に助けて欲しいことや、必要としていることはありますか。(あてはまる番号全てに○)

学校や周りの大人に助けて欲しいことや、必要としていることは、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」が10.0%で最も多く、次いで、「自由に使える時間が欲しい」が7.5%となっています。



(単位：人、%)

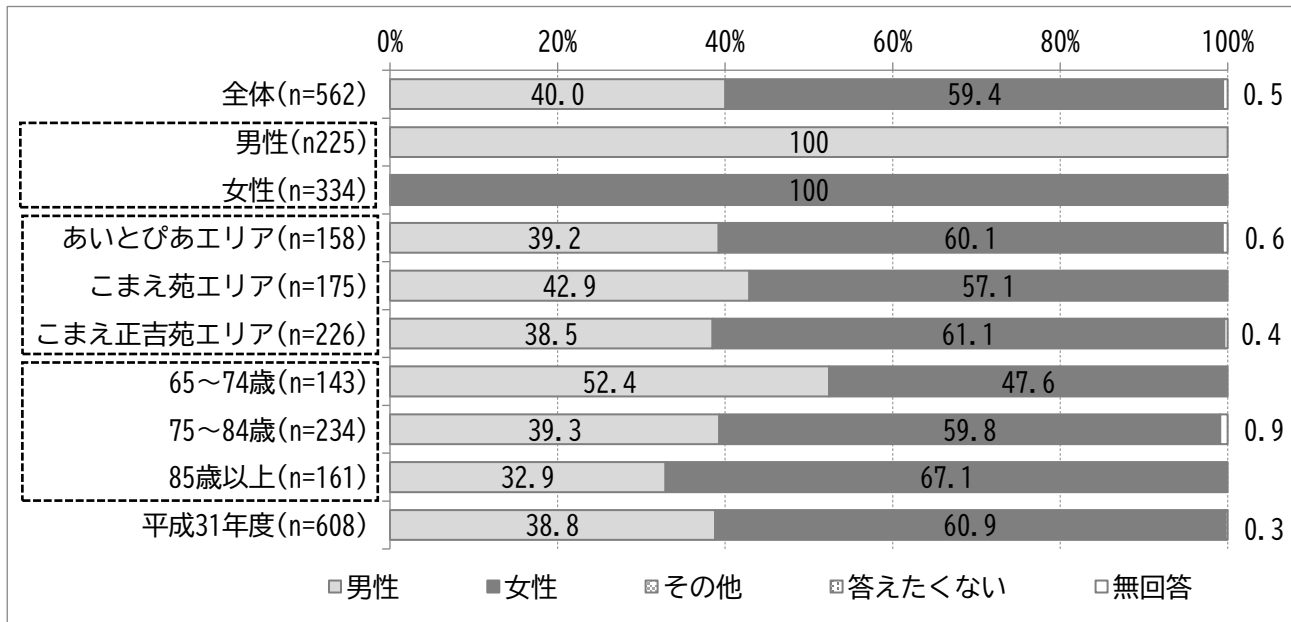
区分	人数	無回答	特にない	分からない	その他	自分が行っているお世話の一部を代わってくれる方やサービスが欲しい	家族の病気や障がい、ケアのことなどについて分かりやすく説明して欲しい	自分が行っているお世話の全てを代わってくれる方やサービスが欲しい	い家族のお世話について相談にのって欲しい	家庭への経済的な支援	い進路や就職など将来の相談にのって欲しい	自分のいまの状況について話を聞いて欲しい	自由に使える時間が欲しい	学校の勉強や受験勉強など学習のサポート
全体	80	7.5	68.8	8.8	0.0	1.3	1.3	2.5	2.5	5.0	6.3	6.3	7.5	10.0
小学生	65	7.7	67.7	9.2	0.0	1.5	1.5	3.1	3.1	4.6	6.2	6.2	9.2	9.2
中学生	15	6.7	73.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	6.7	0.0	13.3

# 第4章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

## A 基本 あなた（宛名のご本人）の基本情報について

### 基本1 性別を教えてください。（○は1つ）

性別は、「女性」が59.7%で最も多く、次いで、「男性」が40.3%となっています。



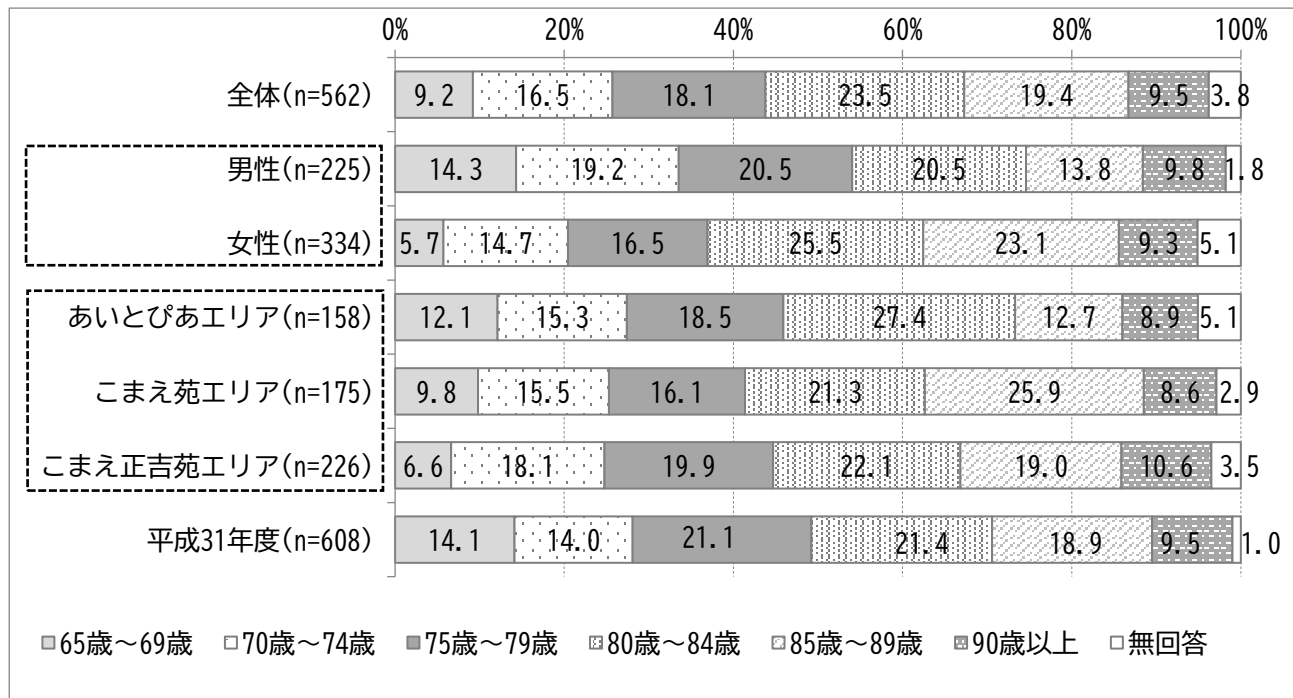
※「男性」及び「女性」のnの数は、本問で「男性」及び「女性」を選択された方の数です。なお、本問では、「無回答」の方がいる（「その他」、「答えたくない」の選択肢については、選択された方はいなかった。）ことから各性のnの合計者数と全体の回答者数とは、合致しません。以下この章で同じです。

※あいとびあエリアのnの数は、基本（3）で「中和泉」、「西和泉」、「元和泉」及び「東和泉」を選択された方の合計者数です。こまえ苑エリアのnの数は、「猪方」、「駒井町」、「岩戸南」及び「岩戸北」を選択された方の合計者数です。こまえ正吉苑エリアのnの数は、「和泉本町」、「東野川」及び「西野川」を選択された方の合計者数です。なお、基本（3）では、「無回答」の方がいるため、各エリアのnの合計者数と全体の回答者数とは、合致しません。以下この章で同じです。

※「65～74歳代」、「75～84歳代」、「85歳以上」のnの数は、基本（2）で記入いただいた年齢に基づき集計した数です。なお、基本（2）では、年齢をご記入いただけなかった方もいるため、各年代のnの合計数と全体の回答者数とは、合致しません。以下この章で同じです。

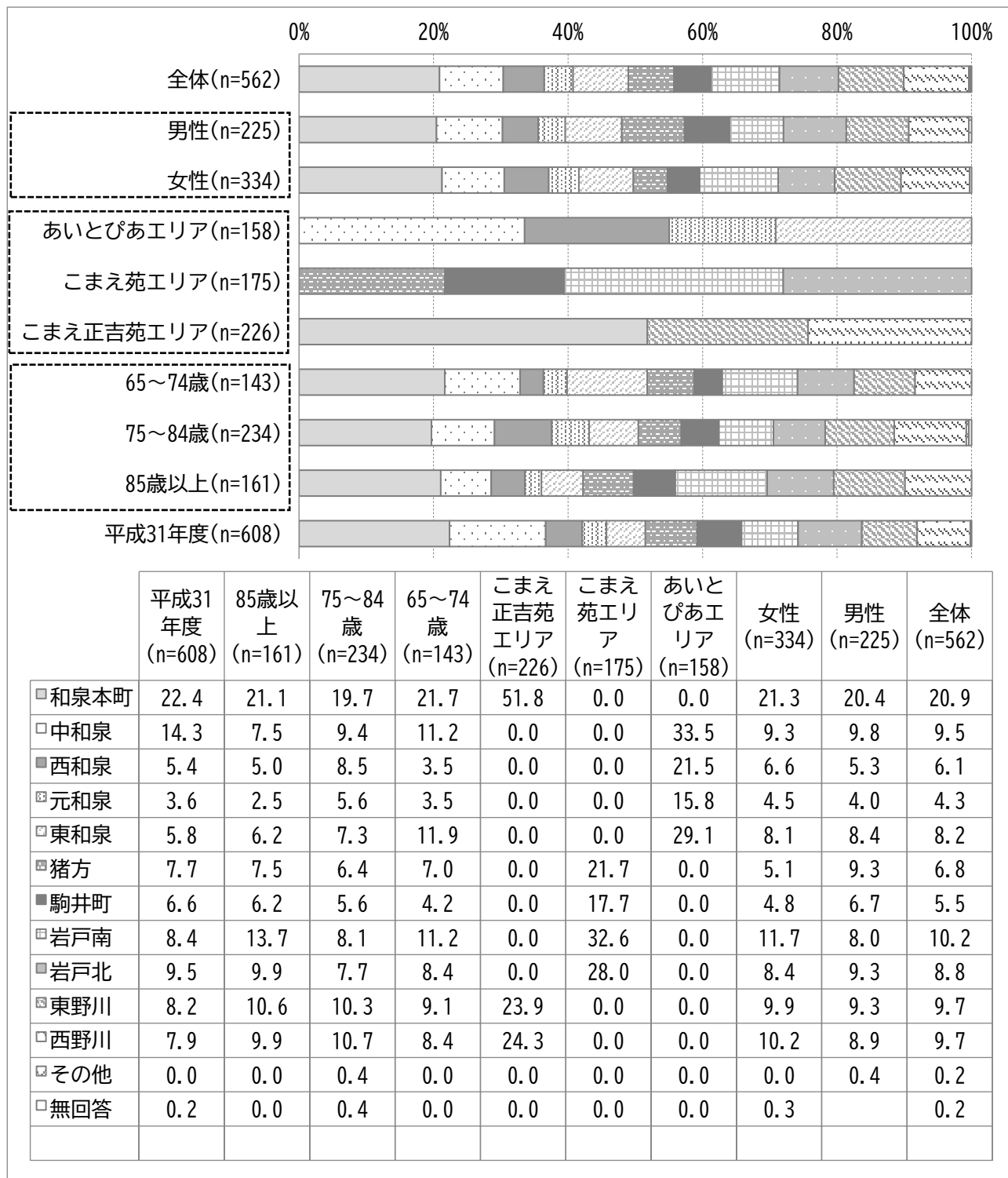
基本2 年齢を教えてください。（○は1つ）

年齢は、「80～84歳」が23.5%で最も多く、次いで、「85～89歳」が19.4%となっています。



基本3 お住まいの地域を教えてください。(○は1つ)

居住地域は、「和泉本町」が20.9%で最も多く、次いで、「岩戸南」が10.2%となっています。

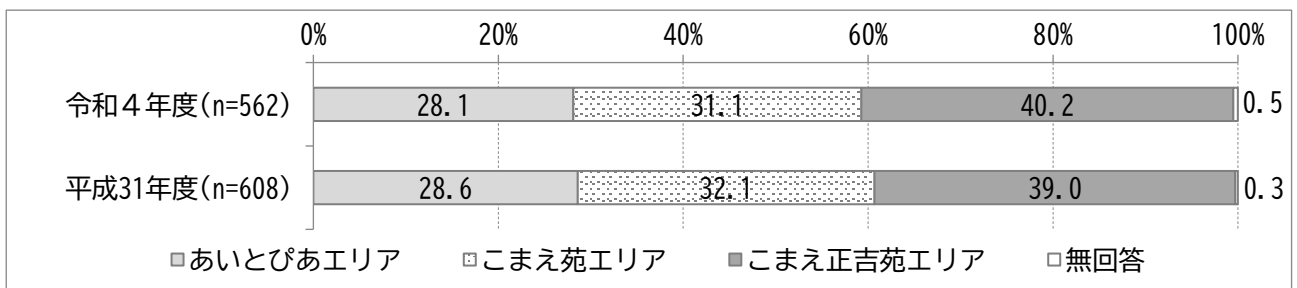


第4章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査  
 A 基本 あなた（宛名のご本人）の基本情報について

(単位：人、%)

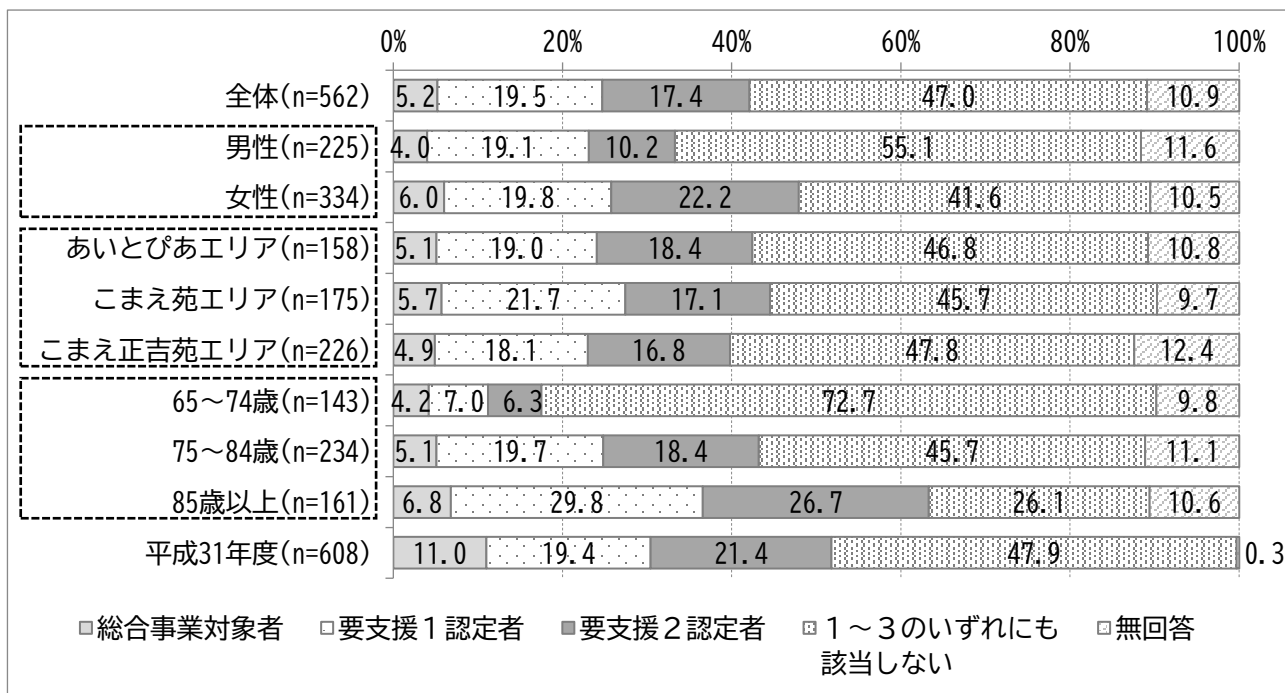
区分	人数	和泉本町	中和泉	西和泉	元和泉	東和泉	猪方	駒井町	岩戸南	岩戸北	東野川	西野川	その他	無回答
全体	562	20.9	9.5	6.1	4.3	8.2	6.8	5.5	10.2	8.8	9.7	9.7	0.2	0.2
男性	225	20.4	9.8	5.3	4.0	8.4	9.3	6.7	8.0	9.3	9.3	8.9	0.4	0.0
女性	334	21.3	9.3	6.6	4.5	8.1	5.1	4.8	11.7	8.4	9.9	10.2	0.0	0.3
あいとぴあエリア	158	0.0	33.5	21.5	15.8	29.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
こまえ苑エリア	175	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.7	17.7	32.6	28.0	0.0	0.0	0.0	0.0
こまえ正吉苑エリア	226	51.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.9	24.3	0.0	0.0
65～74歳	143	21.7	11.2	3.5	3.5	11.9	7.0	4.2	11.2	8.4	9.1	8.4	0.0	0.0
75～84歳	234	19.7	9.4	8.5	5.6	7.3	6.4	5.6	8.1	7.7	10.3	10.7	0.4	0.4
85歳以上	161	21.1	7.5	5.0	2.5	6.2	7.5	6.2	13.7	9.9	10.6	9.9	0.0	0.0
平成31年度	608	22.4	14.3	5.4	3.6	5.8	7.7	6.6	8.4	9.5	8.2	7.9	0.0	0.2

<エリア別>



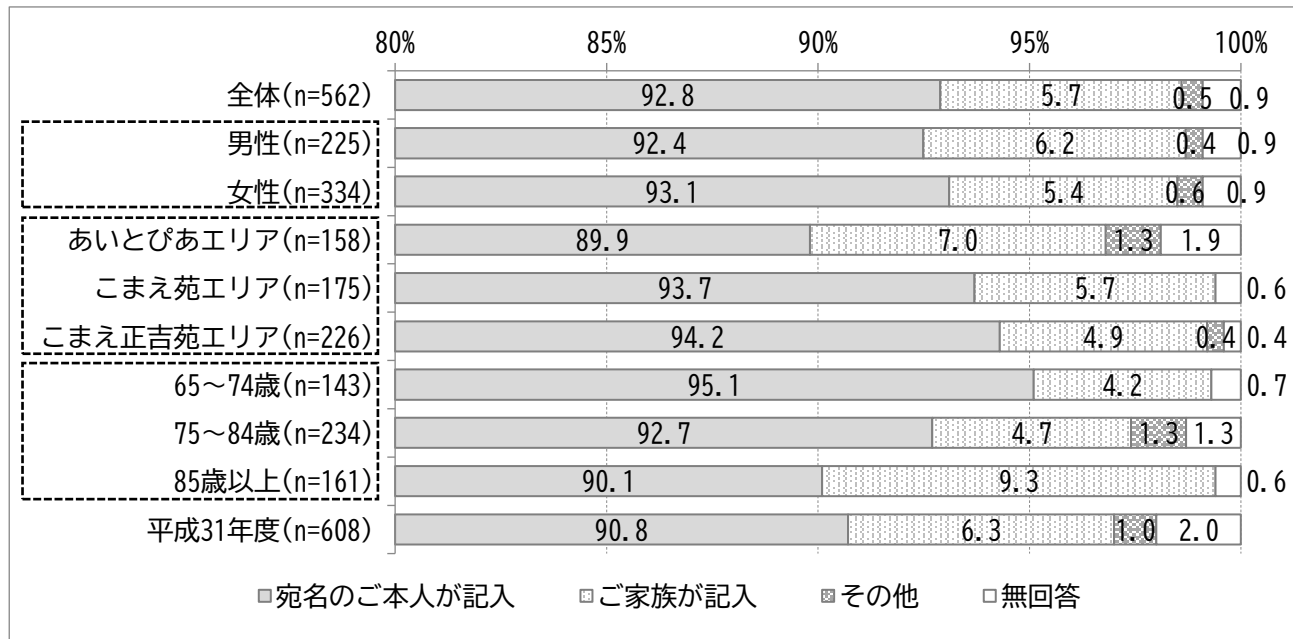
基本4 次のいずれかに該当しますか。(○は1つ)

認定区分は、「認定なし」が47.0%で最も多く、次いで、「要支援1」が19.5%となっています。



基本5 調査票を記入されたのはどなたですか。（○は1つ）

調査票を記入された方は、「宛名ご本人が記入」が92.8%で最も多く、次いで、「ご家族が記入」が5.7%となっています。



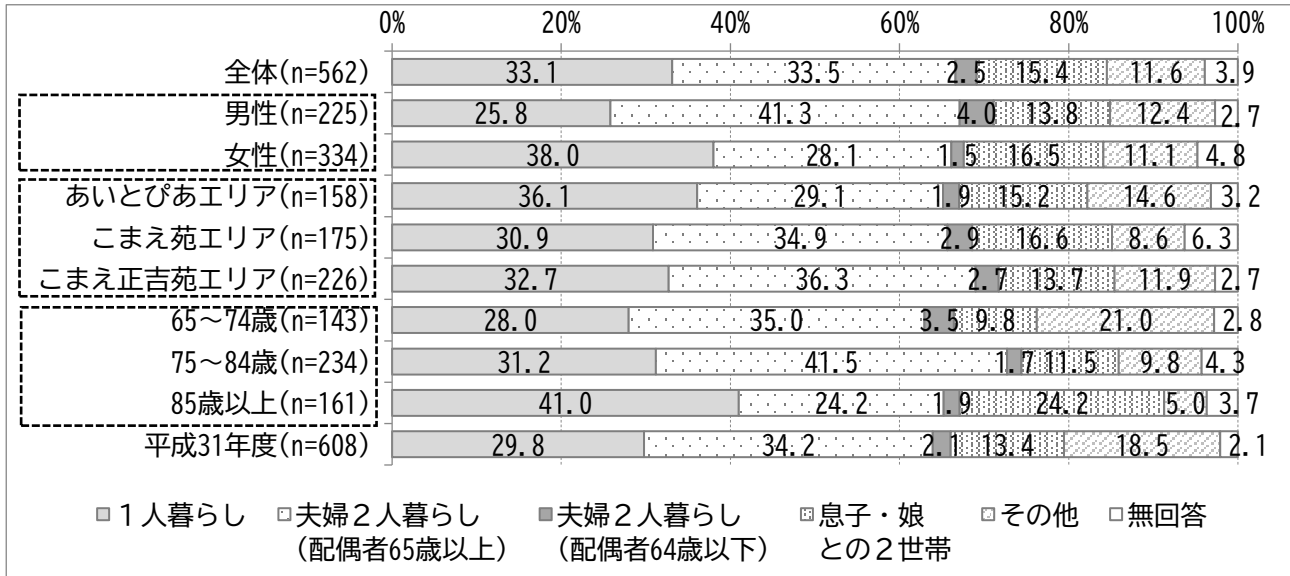
※パーセンテージの小さい項目の数字を見やすくするために横軸の始点を80%にした。



## B あなたの（宛名のご本人）や生活状況について

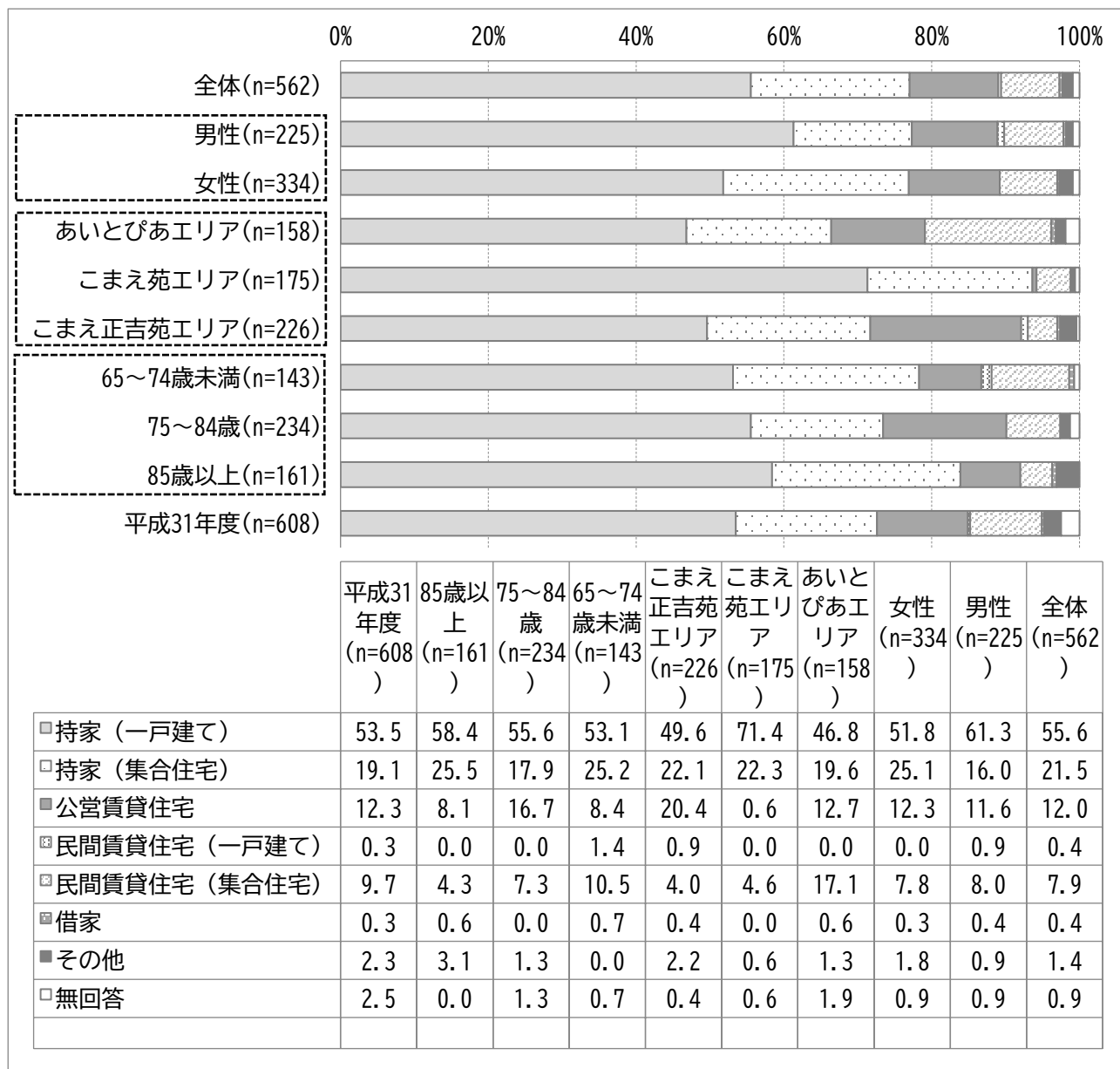
問1 家族構成を教えてください。（〇は1つ）

家族構成は、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が33.5%で最も多く、次いで、「1人暮らし」が33.1%となっています。



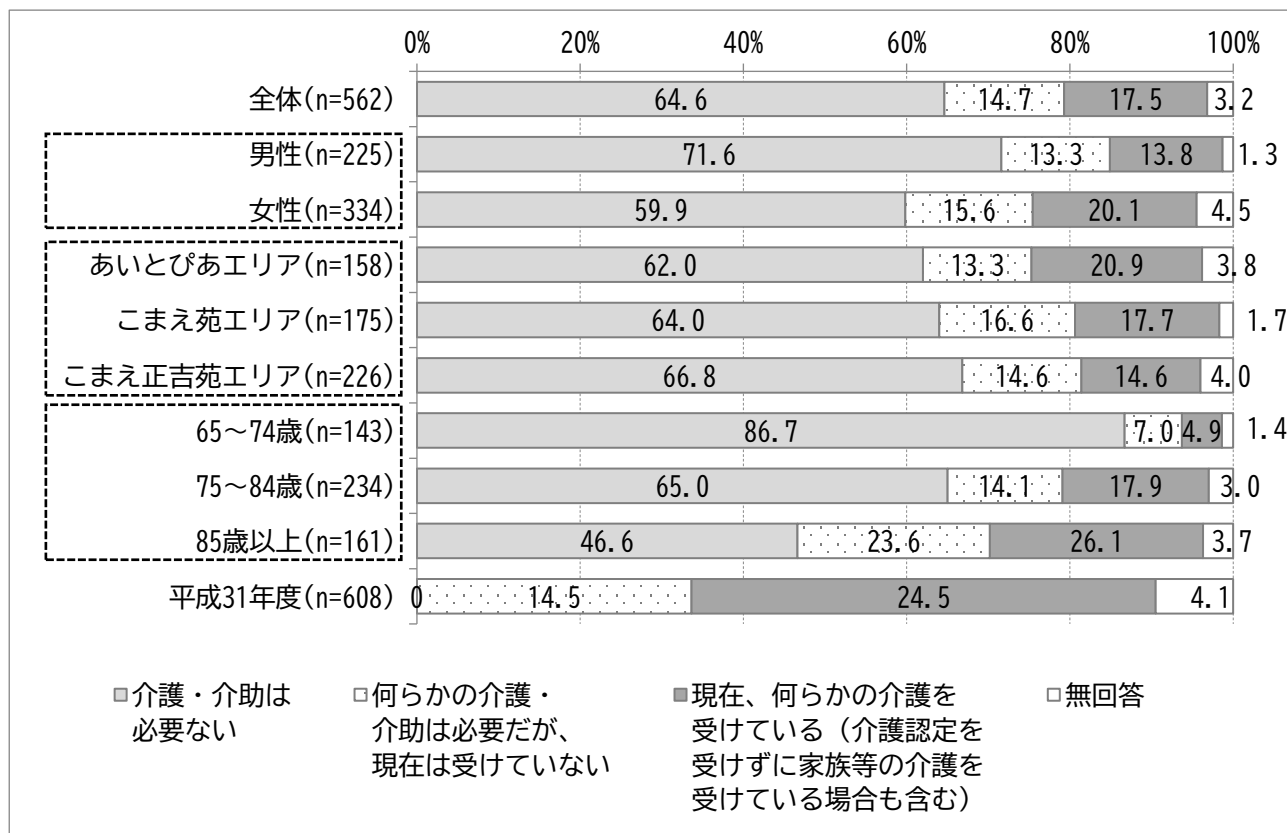
問1-2 お住まいは一戸建て、又は集合住宅のどちらですか。（○は1つ）

居住形態は、「持家（一戸建て）」が55.6%で最も多く、次いで、「持家（集合住宅）」が21.5%となっています。



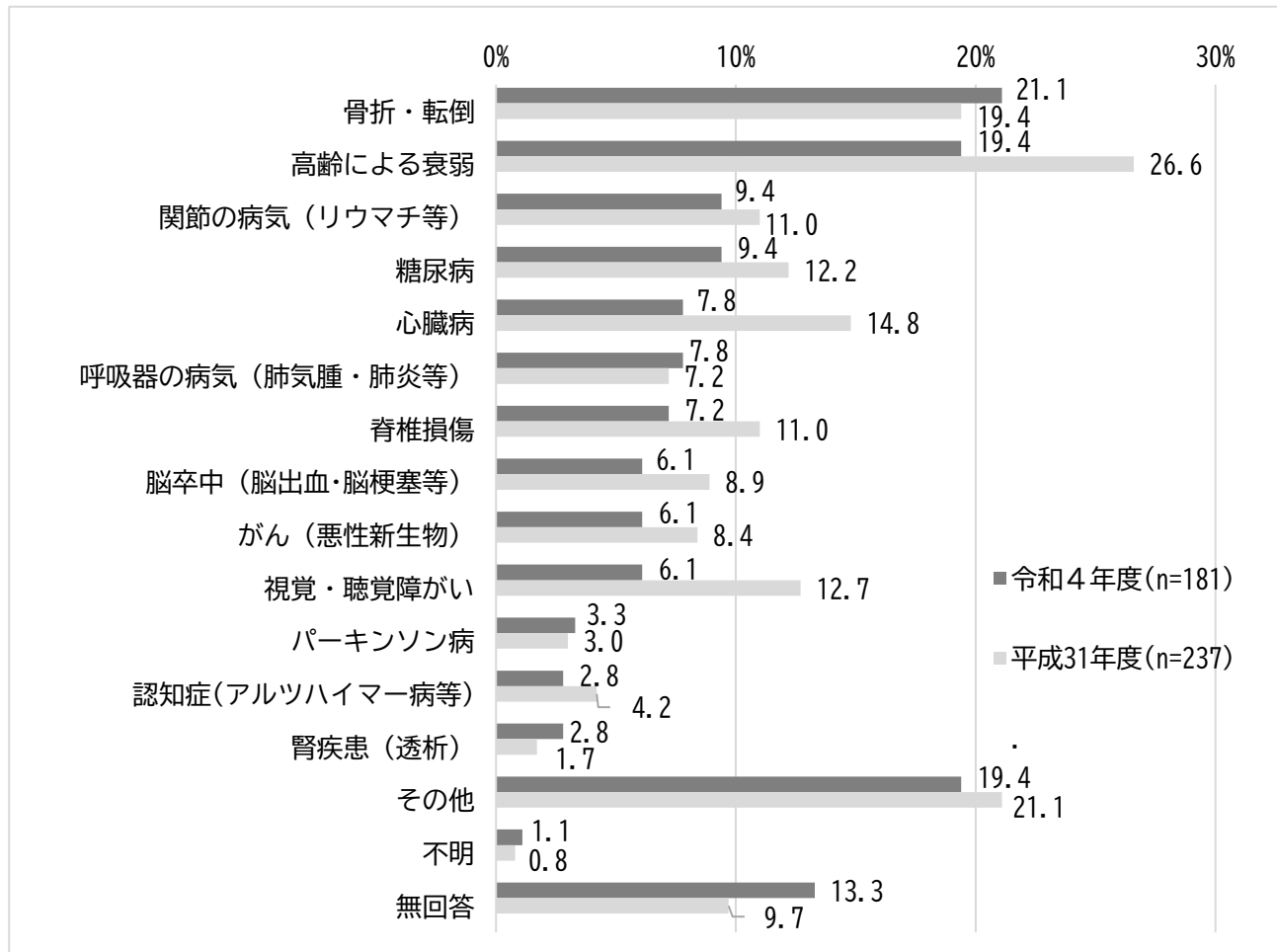
問1-3 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が64.6%で最も多く、次いで、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が17.5%となっています。



問1-3-2 【問1-3において、「1 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】  
 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（〇はいくつでも）

介護・介助が必要になった主な原因は、「骨折・転倒」が21.1%で最も多く、次いで、「高齢による衰弱」が19.4%となっています。

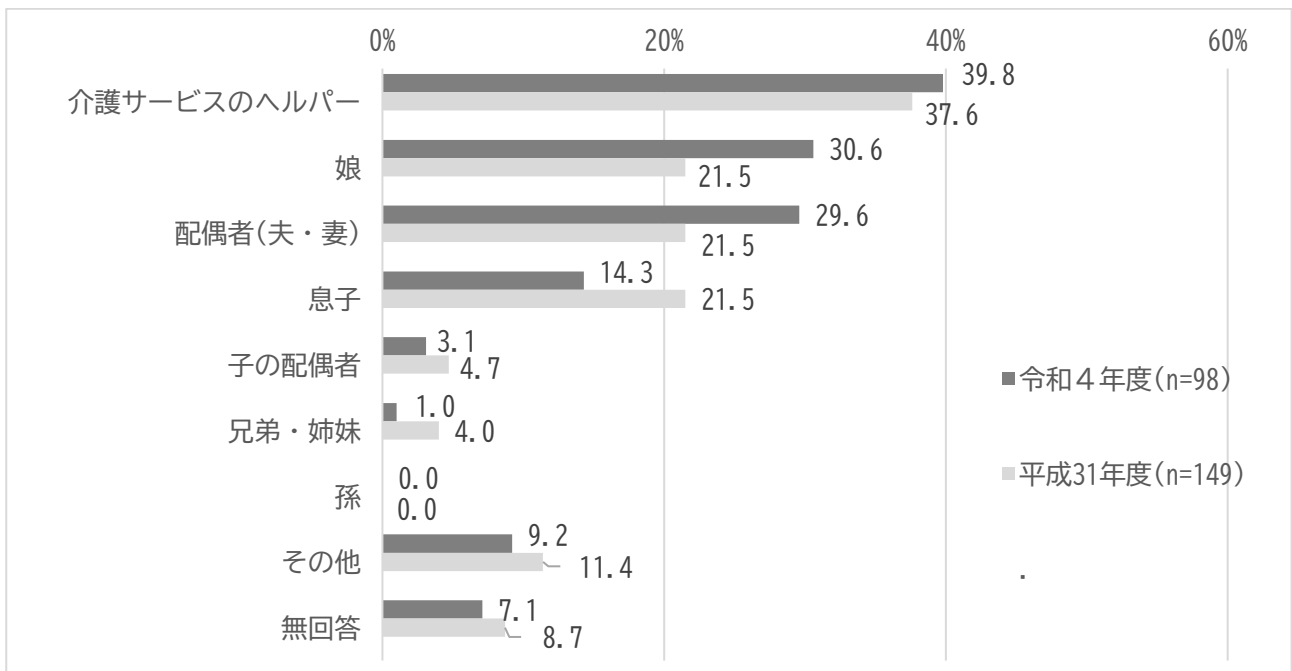


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	不明	その他	腎疾患(透析)	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	視覚・聴覚障がい	がん(悪性新生物)	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	脊椎損傷	呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	心臓病	糖尿病	関節の病気(リウマチ等)	高齢による衰弱	骨折・転倒
全体	181	13.3	1.1	19.4	2.8	2.8	3.3	6.1	6.1	6.1	7.2	7.8	7.8	9.4	9.4	19.4	21.1
男性	61	13.1	0.0	18.0	4.9	3.3	4.9	4.9	8.2	9.8	3.3	14.8	9.8	6.6	6.6	13.1	13.1
女性	119	13.4	1.7	20.2	1.7	2.5	2.5	6.7	5.0	4.2	9.2	4.2	6.7	10.9	10.9	22.7	25.2
あいびあエリア	54	14.8	1.9	18.5	1.9	3.7	7.4	5.6	5.6	5.6	3.7	13.0	9.3	5.6	13.0	13.0	18.5
こまえ苑エリア	60	8.3	0.0	26.7	5.0	1.7	1.7	5.0	5.0	5.0	8.3	6.7	10.0	13.3	5.0	25.0	23.3
こまえ正吉苑エリア	66	16.7	1.5	13.6	1.5	3.0	1.5	7.6	7.6	7.6	9.1	4.5	4.5	9.1	10.6	19.7	21.2
65～74歳	17	5.9	0.0	17.6	5.9	0.0	11.8	5.9	5.9	29.4	0.0	5.9	5.9	0.0	5.9	0.0	11.8
75～84歳	75	18.7	0.0	22.7	2.7	2.7	2.7	5.3	5.3	6.7	6.7	9.3	6.7	12.0	8.0	10.7	21.3
85歳以上	80	10.0	1.3	16.3	1.3	3.8	2.5	6.3	7.5	1.3	10.0	6.3	10.0	7.5	10.0	31.3	22.5
平成31年度	237	9.7	0.8	21.1	1.7	4.2	3.0	12.7	8.4	8.9	11.0	7.2	14.8	12.2	11.0	26.6	19.4

問1-3-3 【問1-3において、「3 現在、何らかの介護を受けている」方のみ】  
主にどなたの介護、介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

介護、介助されている方は、「介護サービスのヘルパー」が39.8%で最も多く、次いで、「娘」が各30.6%となっています。



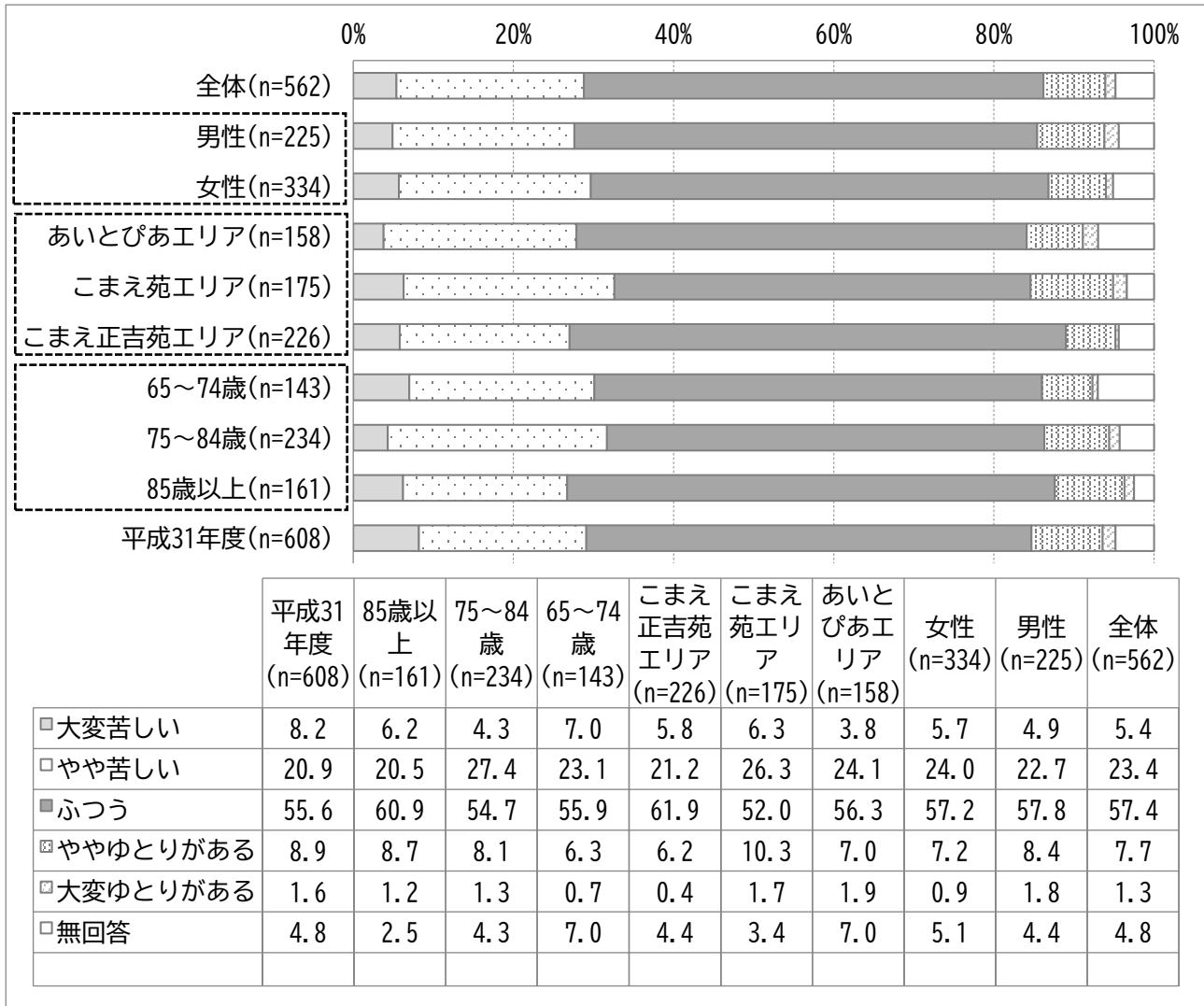
第4章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査  
B あなたの（宛名のご本人）や生活状況について

(単位：人、%)

区分	人数	無回答	その他	孫	兄弟・姉妹	子の配偶者	息子	配偶者 (夫・妻)	娘	介護サービスのヘルパー
全体	98	7.1	9.2	0.0	1.0	3.1	14.3	29.6	30.6	39.8
男性	31	9.7	6.5	0.0	0.0	0.0	12.9	41.9	22.6	35.5
女性	67	6.0	10.4	0.0	1.5	4.5	14.9	23.9	34.3	41.8
あいとぴあエリア	33	6.1	0.0	0.0	0.0	6.1	24.2	21.2	24.2	30.3
こまえ苑エリア	31	3.2	16.1	0.0	0.0	0.0	12.9	32.3	29.0	54.8
こまえ正吉苑エリア	33	12.1	9.1	0.0	3.0	3.0	6.1	36.4	36.4	36.4
65～74歳	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	71.4	0.0	14.3
75～84歳	42	11.9	11.9	0.0	2.4	0.0	9.5	28.6	28.6	38.1
85歳以上	42	2.4	9.5	0.0	0.0	7.1	19.0	23.8	35.7	50.0
平成31年度	149	8.7	11.4	0.0	4.0	4.7	21.5	21.5	21.5	37.6

問1-4 現在の暮らしの状況を経済的に見てどう感じていますか。(○は1つ)

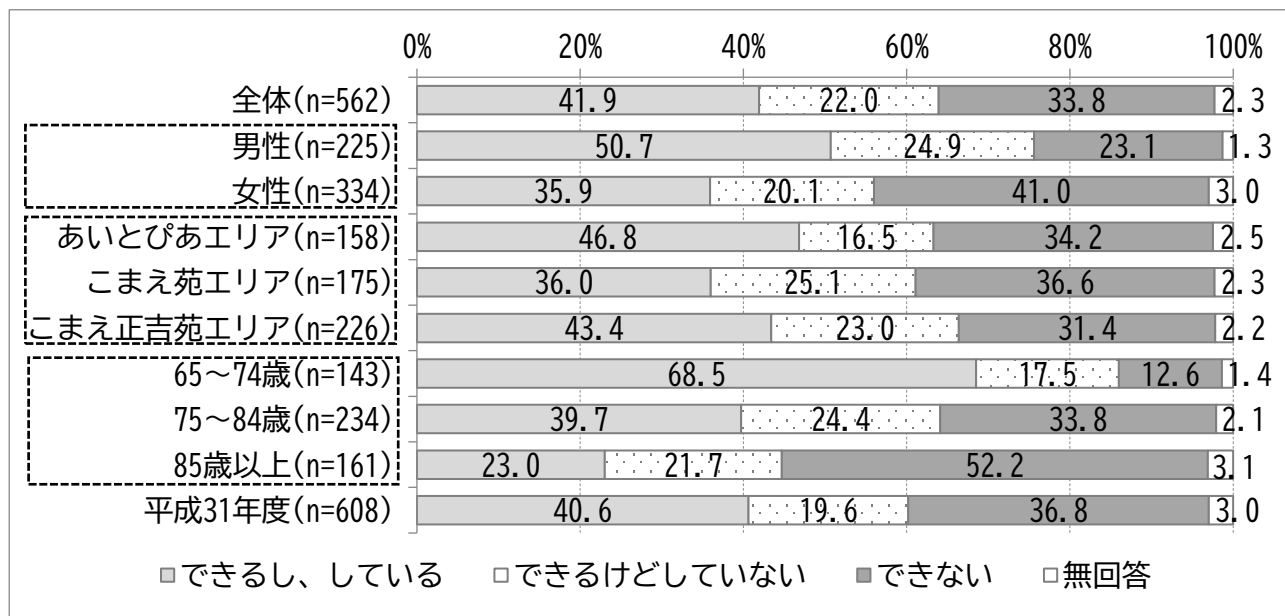
暮らしの経済的な状況については、「ふつう」が57.4%で最も多く、次いで、「やや苦しい」が23.4%となっています。



C からだを動かすことについて

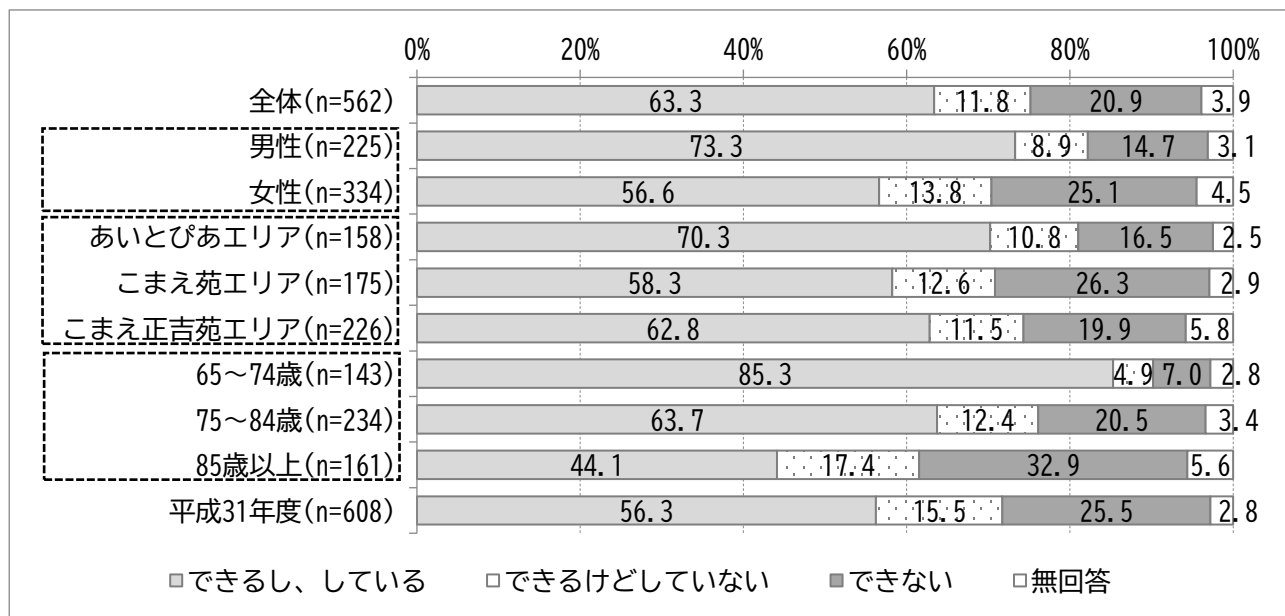
問2 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

階段の昇降については、「できるし、している」が41.9%で最も多く、次いで、「できない」が33.8%となっています。



問2-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

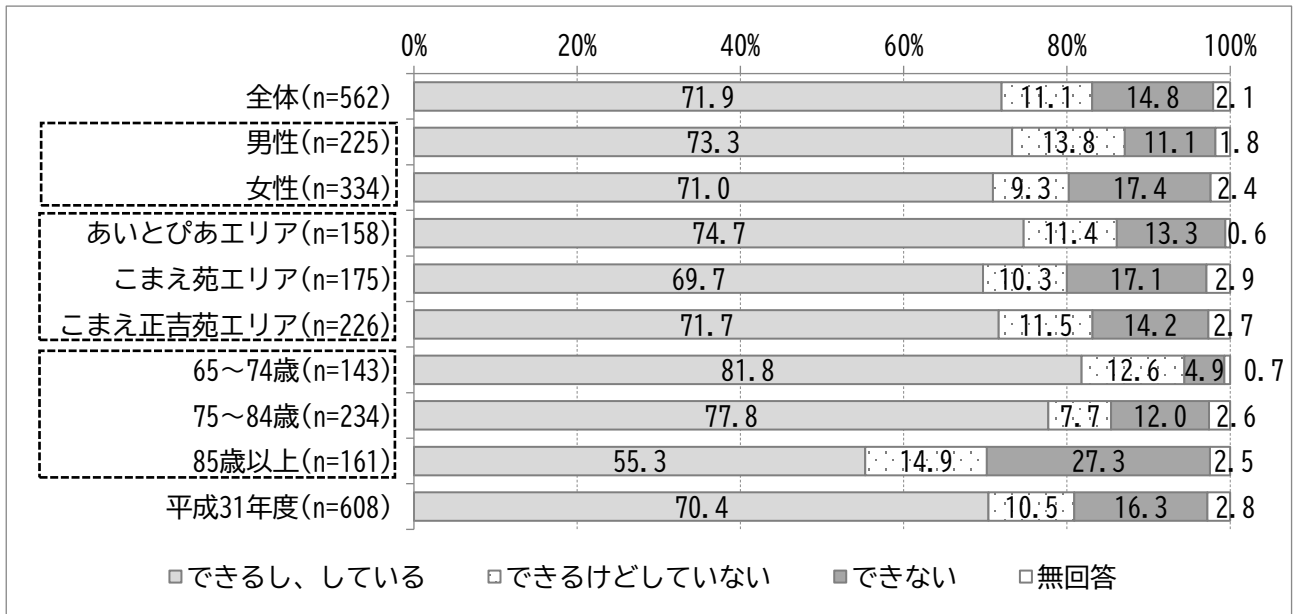
椅子からの立ち上がりについては、「できるし、している」が63.3%で最も多く、次いで、「できない」が20.9%となっています。





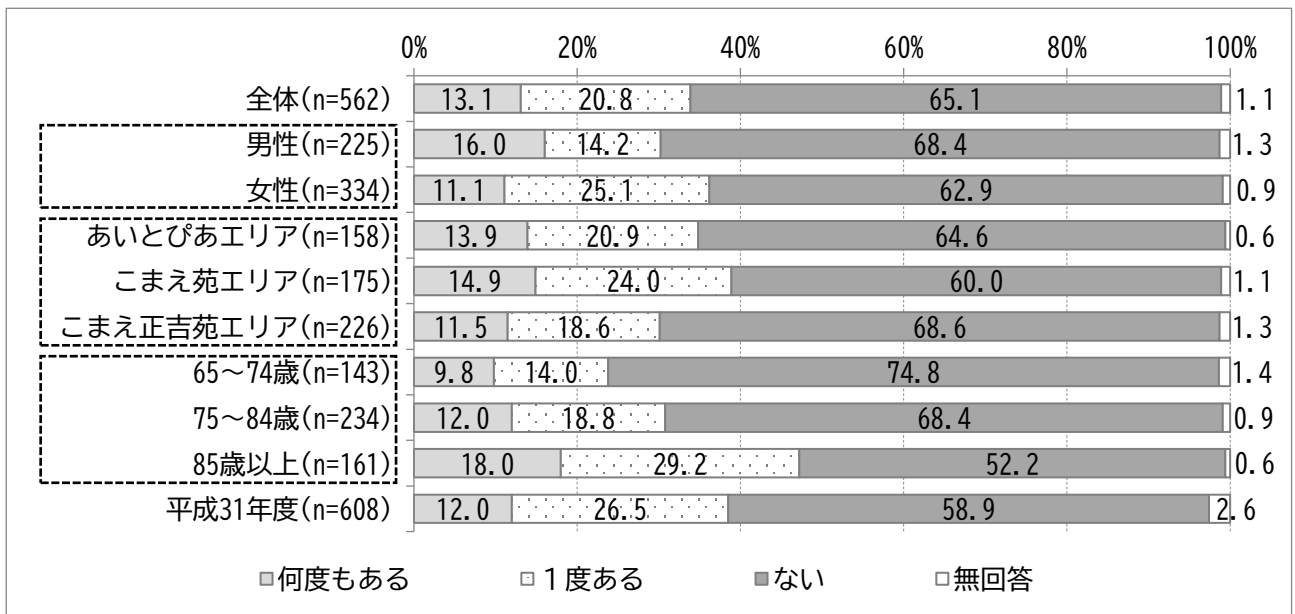
問2-3 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

歩き続けることについては、「できるし、している」が71.9%で最も多く、次いで、「できない」が14.8%となっています。



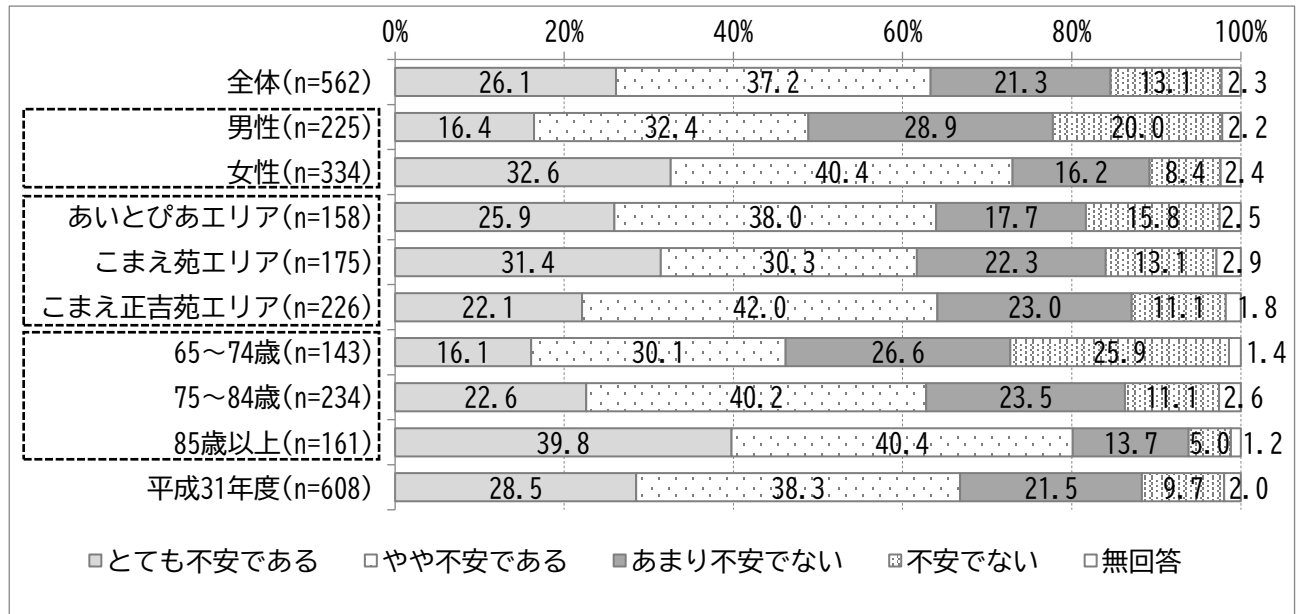
問2-4 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

転倒経験は、「ない」が65.1%で最も多く、次いで、「1度ある」が20.8%となっています。



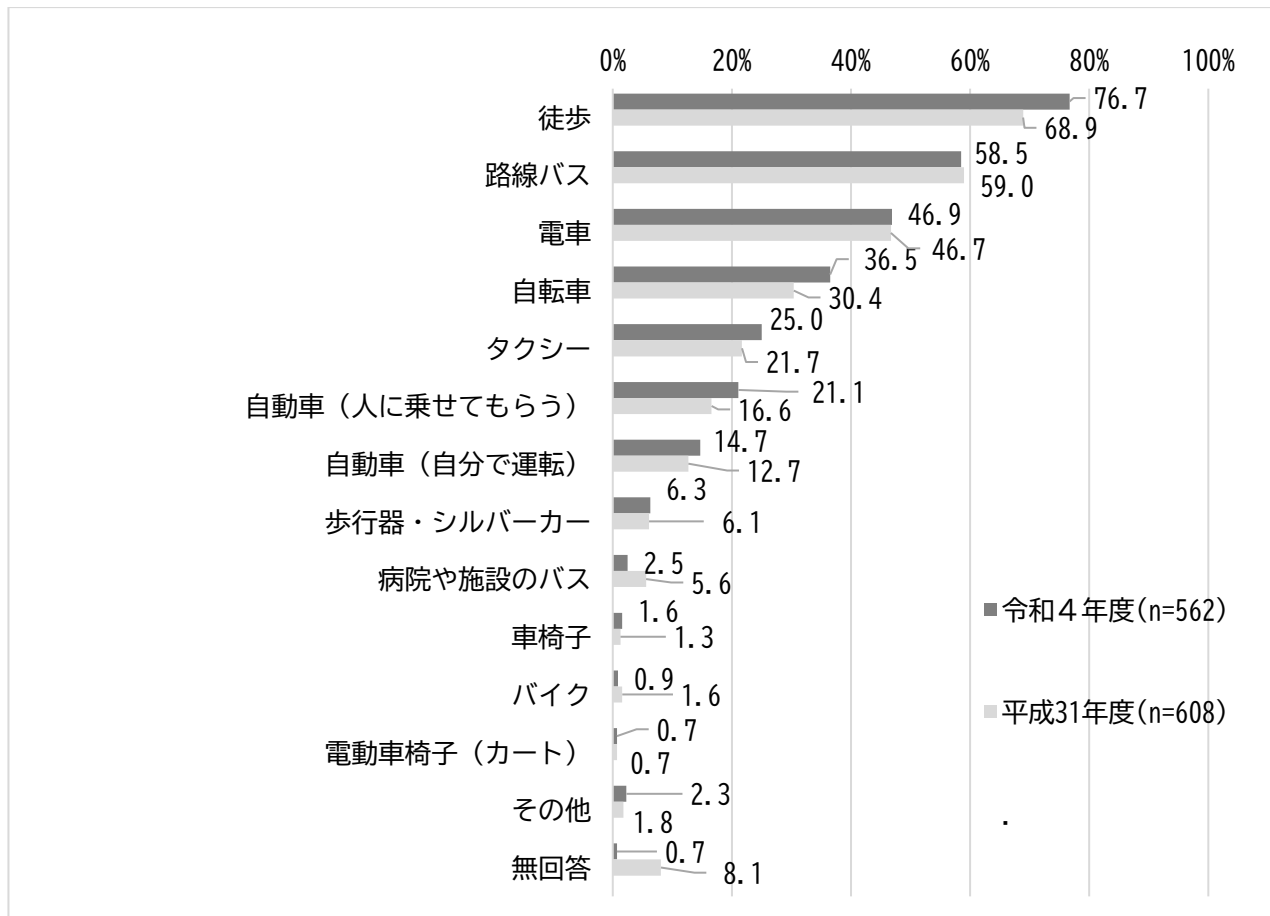
問2-5 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

転倒に対する不安は、「やや不安である」が37.2%で最も多く、次いで、「とても不安である」が26.1%となっています。



問2-6 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

外出する際の移動手段は、「徒歩」が76.7%で最も多く、次いで、「路線バス」が58.5%となっています。

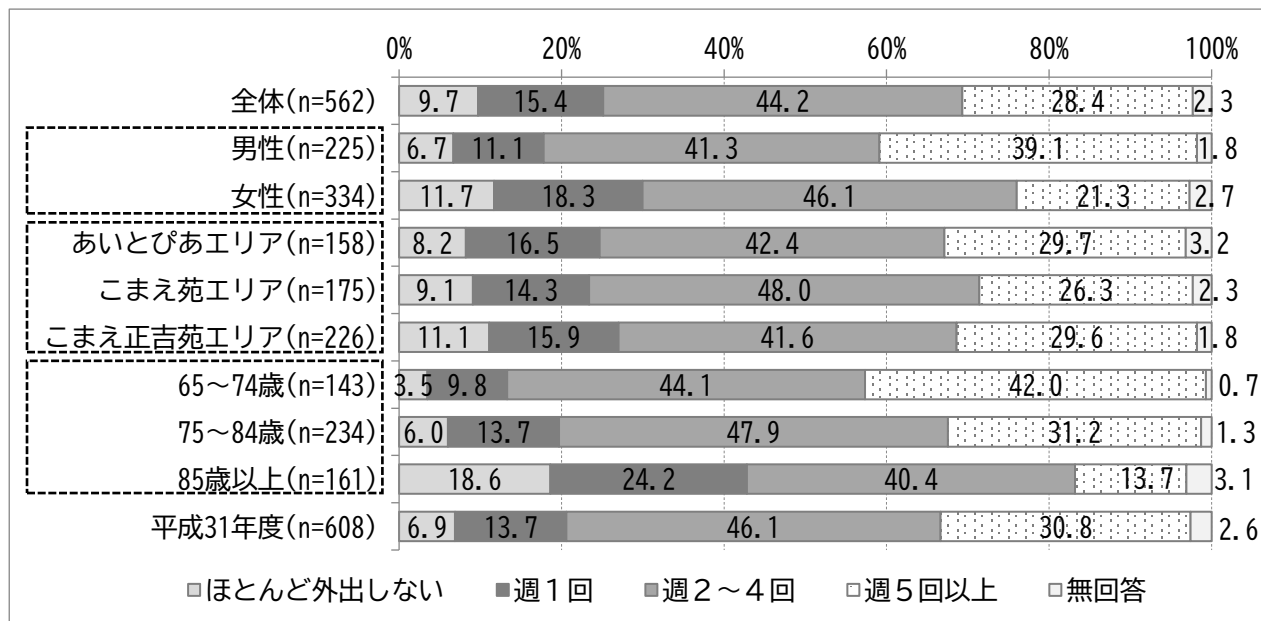


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	その他	電動車椅子(カート)	バイク	車椅子	の病院や施設のバス	歩行器・シルバーカー	自分で運転(自動車)	に自動車(人に乗せてもらう)	タクシー	自転車	電車	路線バス	徒歩
全体	562	0.7	2.3	0.7	0.9	1.6	2.5	6.3	14.7	21.1	25.0	36.5	46.9	58.5	76.7
男性	225	1.3	0.9	0.0	1.8	0.9	1.8	3.1	29.8	14.7	21.3	48.0	48.9	51.6	79.1
女性	334	0.3	3.3	1.2	0.3	2.1	3.0	8.4	4.5	25.4	27.5	28.7	45.5	63.2	75.1
あいとぴあエリア	158	0.6	0.6	0.6	1.9	1.9	2.5	5.7	12.0	20.9	24.7	40.5	48.7	50.6	74.7
こまえ苑エリア	175	1.1	5.1	0.6	0.0	1.1	2.9	8.0	20.0	20.6	27.4	37.1	50.9	53.7	73.7
こまえ正吉苑エリア	226	0.4	1.3	0.9	1.3	1.8	2.2	5.3	12.4	21.7	23.5	33.6	43.4	67.7	80.5
65~74歳	143	0.7	0.0	0.0	0.7	0.7	0.7	0.0	31.5	16.8	16.8	58.7	57.3	50.3	88.1
75~84歳	234	0.0	1.7	1.3	1.7	0.4	3.4	4.7	14.5	17.5	23.9	36.8	48.3	63.7	80.8
85歳以上	161	1.2	5.0	0.6	0.6	3.7	2.5	13.7	0.6	29.2	33.5	18.0	38.5	58.4	64.0
平成31年度	608	8.1	1.8	0.7	1.6	1.3	5.6	6.1	12.7	16.6	21.7	30.4	46.7	59.0	68.9

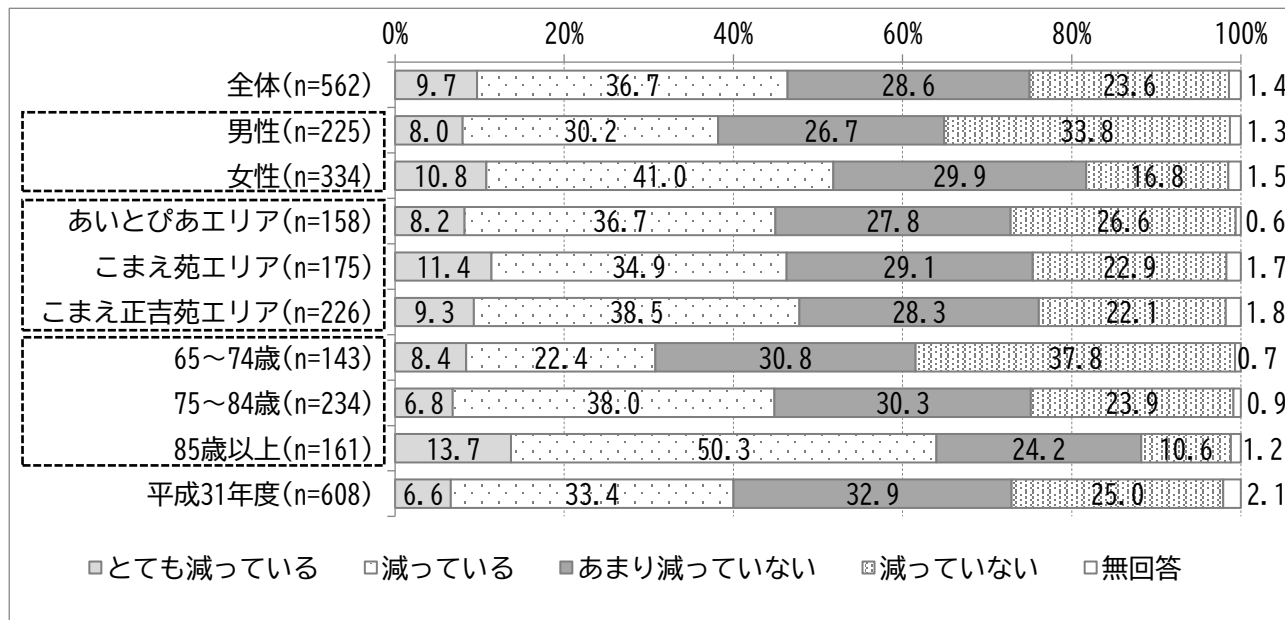
問2-7 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

外出頻度については、「週2～4回」が44.2%で最も多く、次いで、「週5回以上」が28.4%となっています。



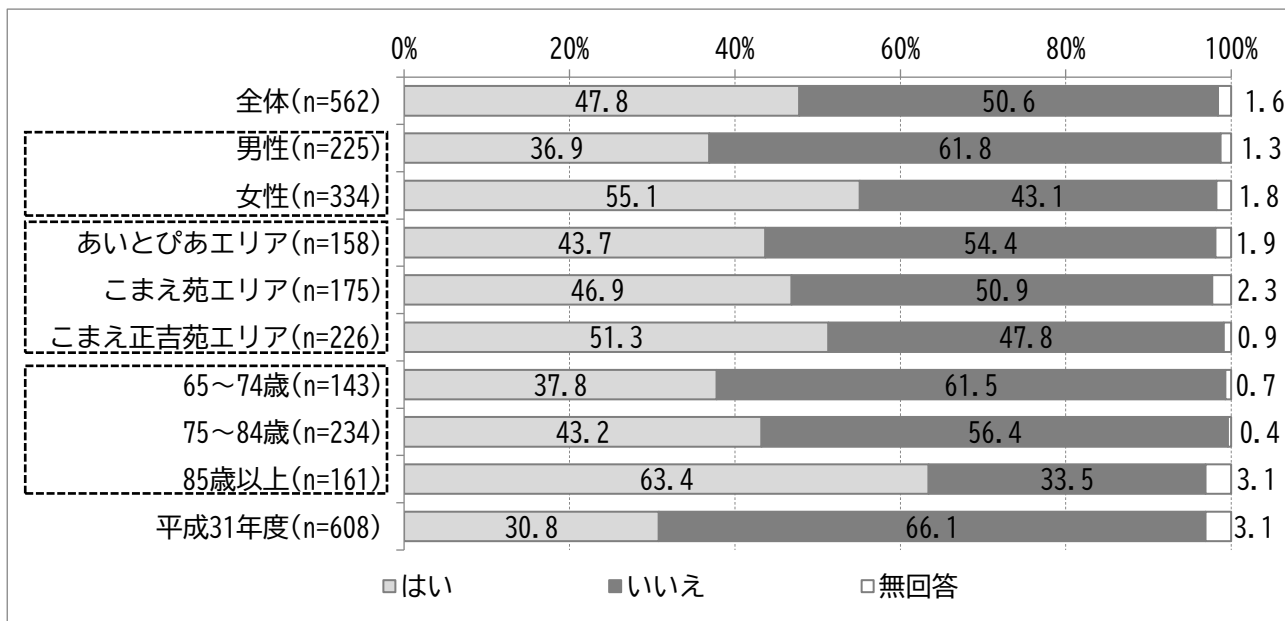
問2-8 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

外出の回数については、「減っている」が36.7%で最も多く、次いで、「あまり減っていない」が28.6%となっています。



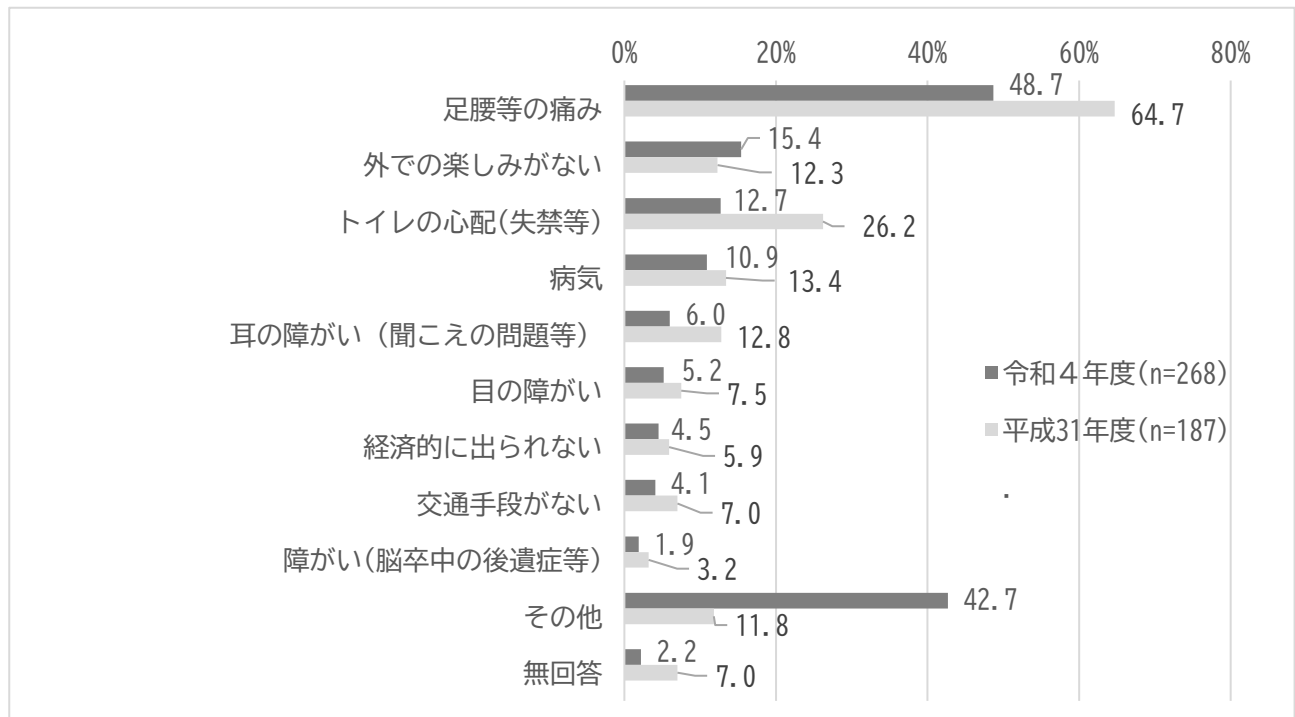
問2-9 外出を控えていますか。(○は1つ)

外出を控えているかについては、「いいえ」が66.1%で最も多く、次いで、「はい」が47.8%となっています。



問2-9-2 【問9-2において「1 はい」(外出を控えている)と回答した方にお伺いします。】  
 外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

外出を控えている理由は、「足腰等の痛み」が48.7%で最も多く、次いで、「その他」が42.7%となっています。



(単位：人、%)

区分	人数	無回答	その他	障がい(脳卒中の後遺症等)	交通手段がない	経済的に出られない	目の障がい	耳の障がい(聞こえの問題等)	病気	トイレの心配(失禁等)	外での楽しみがない	足腰等の痛み
全体	268	2.2	42.7	1.9	4.1	4.5	5.2	6.0	10.9	12.7	15.4	48.7
男性	83	1.2	49.4	6.0	3.6	8.4	4.8	4.8	16.9	16.9	14.5	34.9
女性	184	2.7	39.7	0.0	4.3	2.7	5.4	6.5	8.2	10.9	15.8	54.9
あいとぴあエリア	69	0.0	39.1	1.4	4.3	2.9	2.9	5.8	11.6	10.1	15.9	56.5
こまえ苑エリア	82	0.0	42.7	1.2	6.1	4.9	3.7	7.3	12.2	15.9	19.5	51.2
こまえ正吉苑エリア	116	5.2	45.7	2.6	2.6	5.2	7.8	5.2	8.6	12.1	12.1	41.4
65~74歳	54	0.0	66.7	7.4	0.0	7.4	3.7	1.9	9.3	5.6	7.4	25.9
75~84歳	101	1.0	43.6	1.0	3.0	5.0	5.0	7.9	14.9	12.9	19.8	44.6
85歳以上	102	3.9	32.4	0.0	7.8	2.9	6.9	6.9	7.8	15.7	14.7	61.8
平成31年度	187	7.0	11.8	3.2	7.0	5.9	7.5	12.8	13.4	26.2	12.3	64.7

## D 食べることについて

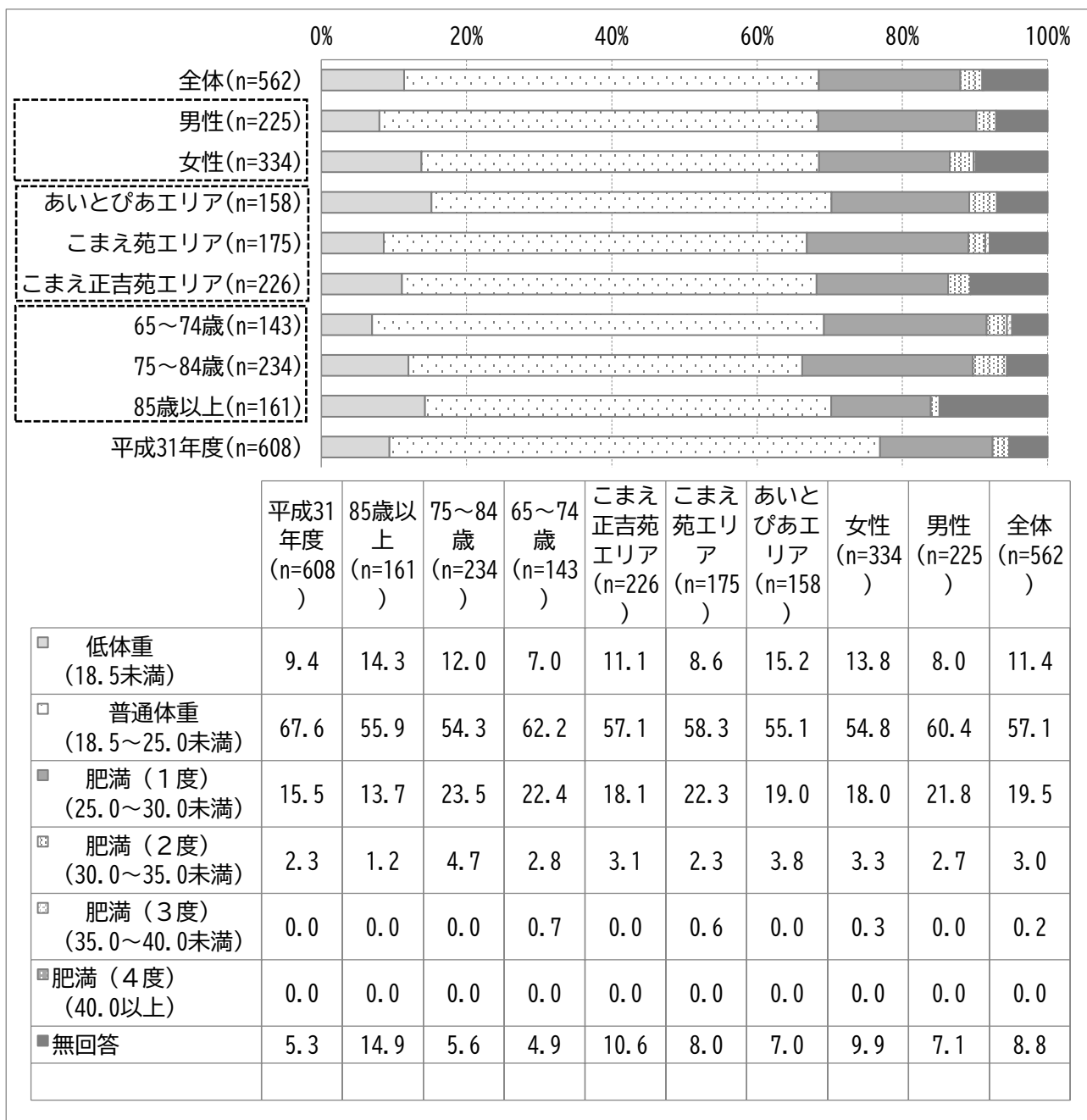
### 問3 (身長)(体重)から算出: BMI

身長と体重から算出したBMIは、「標準」が57.1%で最も多く、次いで、「肥満1度」が19.5%となっています。

BMIとは、WHOで定めた肥満判定の国際基準です。数式は「体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))」で求められます。

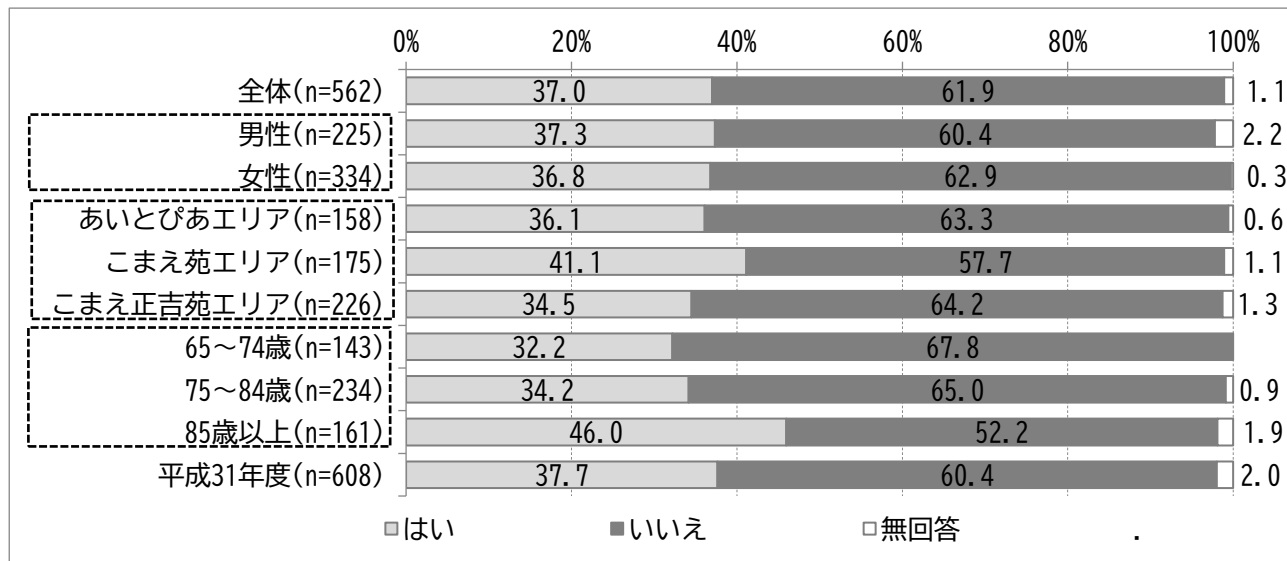
18.5未満: 低体重、18.5以上25.0未満: 標準、25.0以上30.0未満: 肥満1度

30.0以上35.0未満: 肥満2度、35.0以上40.0未満: 肥満3度、40.0以上: 肥満4度



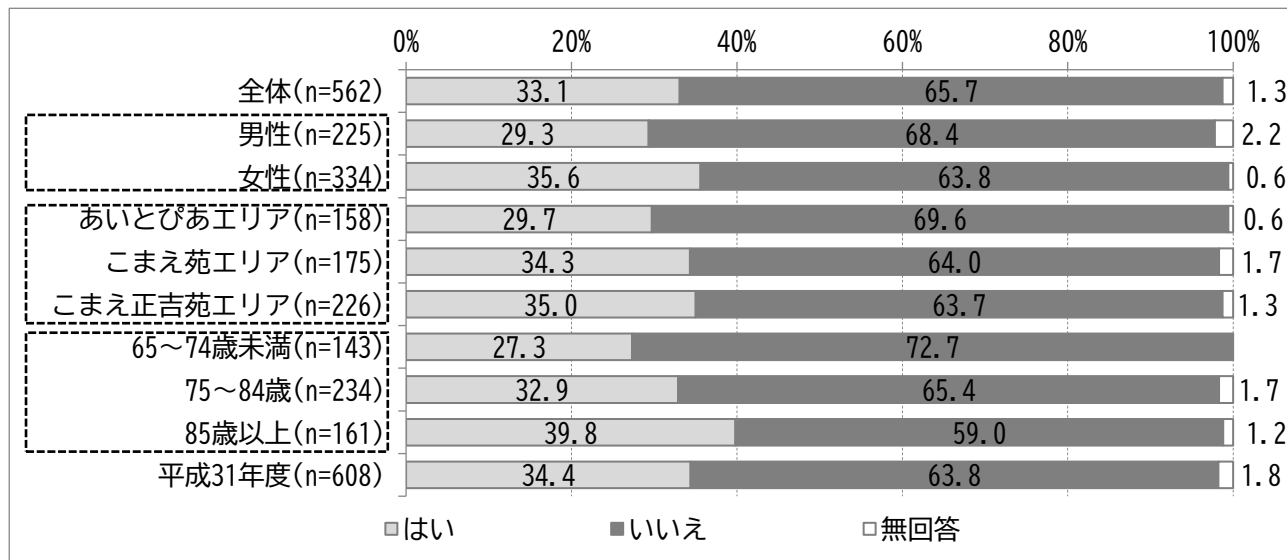
問3-2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

固いものの食べにくさが進んだかについては、「いいえ」が61.9%で最も多く、次いで「はい」が37.0%となっています。



問3-3 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

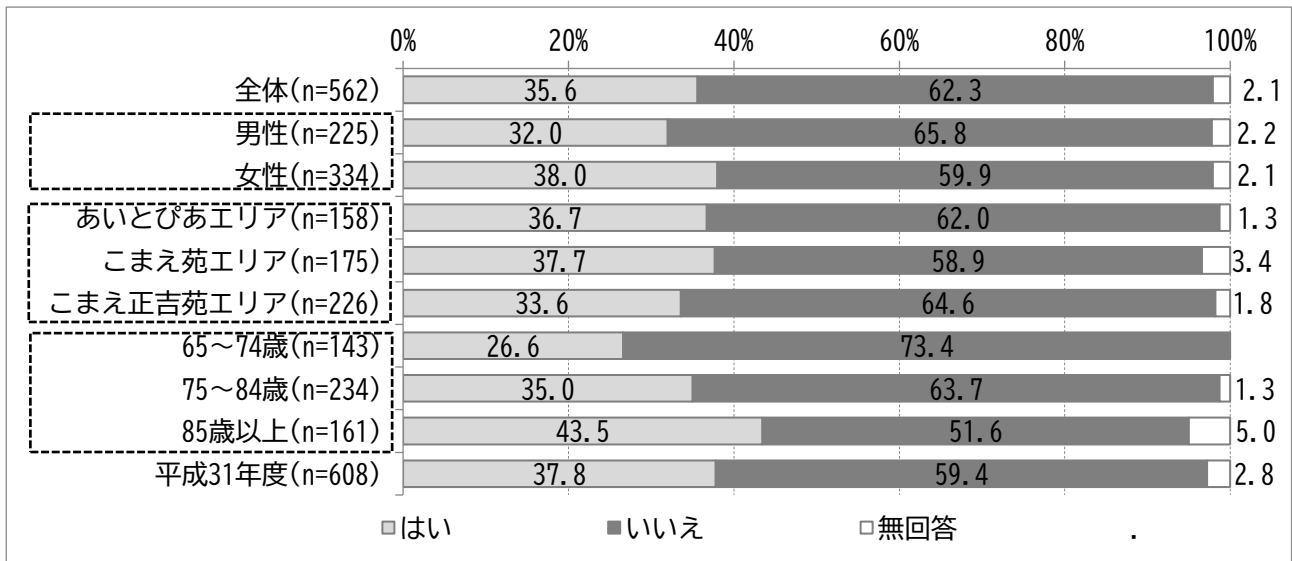
お茶等でむせるかについては、「いいえ」が65.7%と最も多く、次いで「はい」が33.1%となっています。





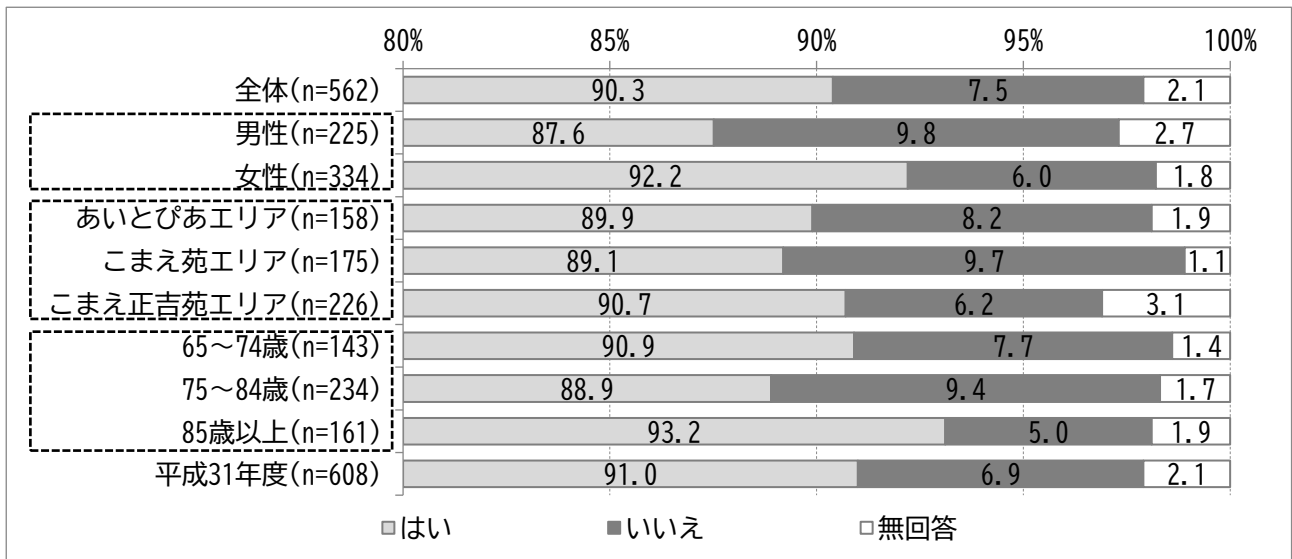
問3-4 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

口の渇きについては、「いいえ」が62.3%と最も多く、「はい」で35.6%となっています。



問3-5 歯磨き(人にやってもらう場合も含む。)を毎日していますか。(○は1つ)

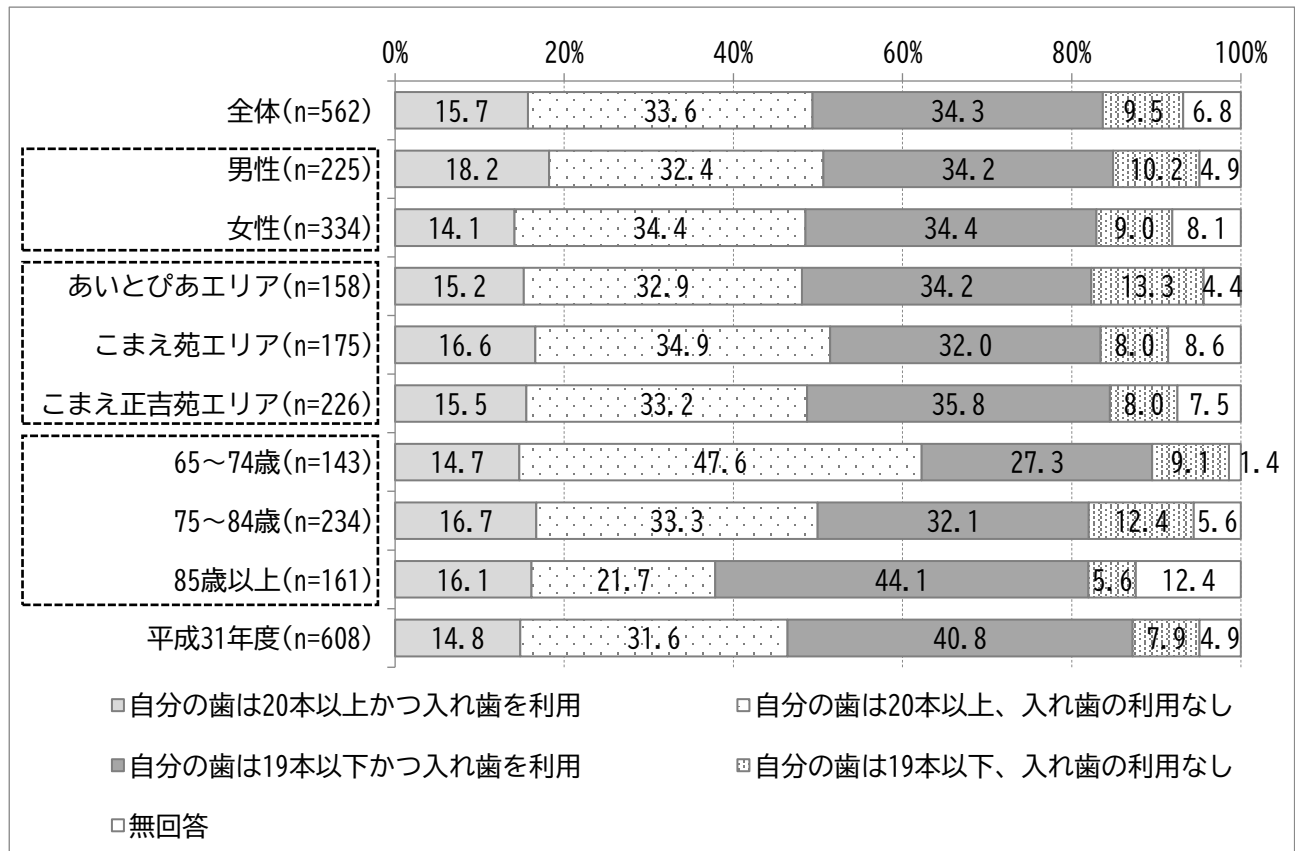
歯磨きを毎日しているかについては、「はい」が90.3%で最も多く、次いで「いいえ」が7.5%となっています。



注) パーセンテージの小さい項目の数字を見やすくするために横軸の始点を80%にした。

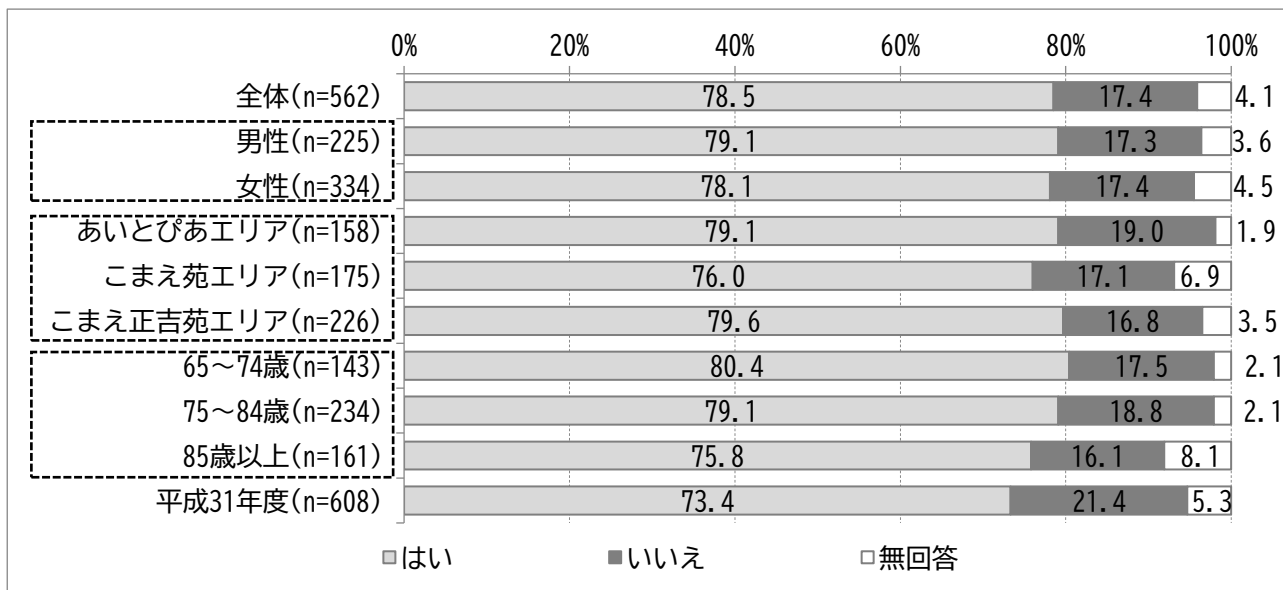
問3-6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。)(○は1つ)

歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は19本以下かつ入れ歯を利用」が34.3%で最も多く、次いで、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が33.6%となっています。



問3-6-2 噛み合わせは良いですか。(○は1つ)

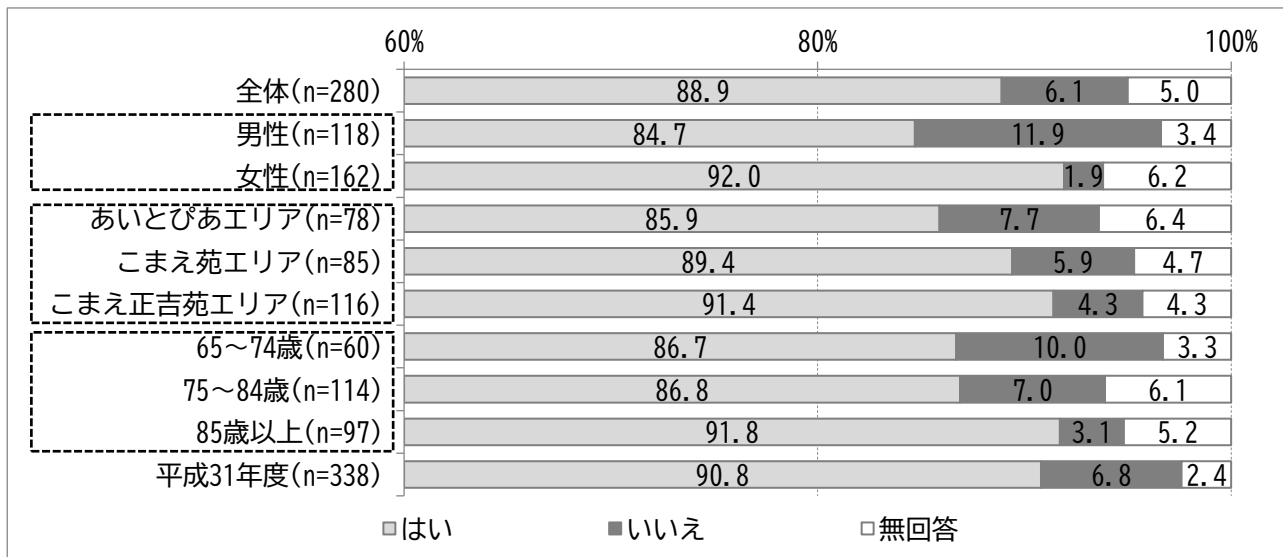
噛み合わせは良いかについては、「はい」が78.5%と最も多く、次いで「いいえ」が17.4%なっています。



問3-6-3 【問3-6において「1 自分の歯は20本以上かつ入れ歯を利用」「3 自分の歯は19本以下かつ入れ歯を利用」のいずれかを回答した方にお伺いします。】

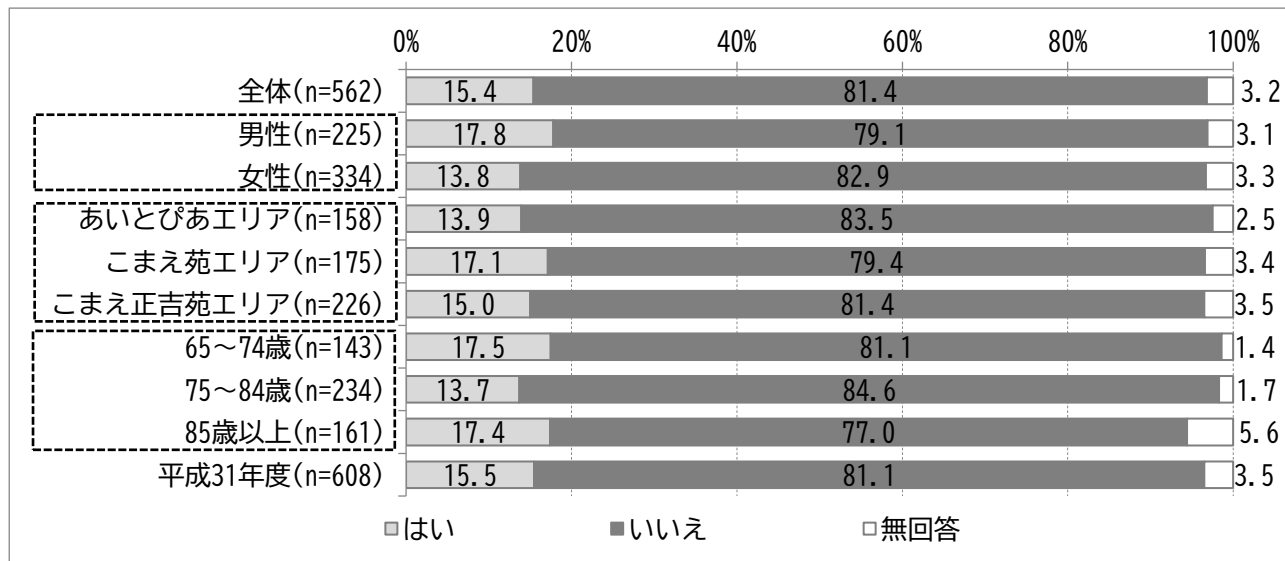
毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)

毎日入れ歯の手入れをしているかについては、「はい」が88.9%で最も多く、次いで、「いいえ」が6.1%となっています。



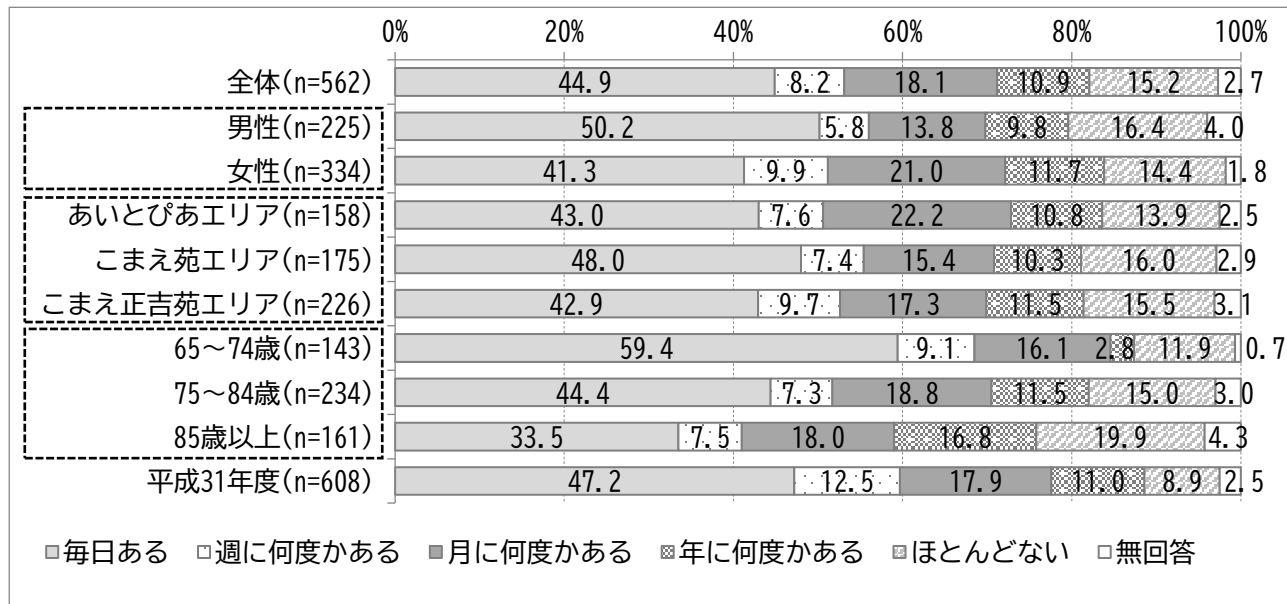
問3-7 6箇月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

体重減少の有無については、「いいえ」が81.4%で最も多く、次いで、「はい」が15.4%となっています。



問3-8 どなたかと食事を共にする機会がありますか。(○は1つ)

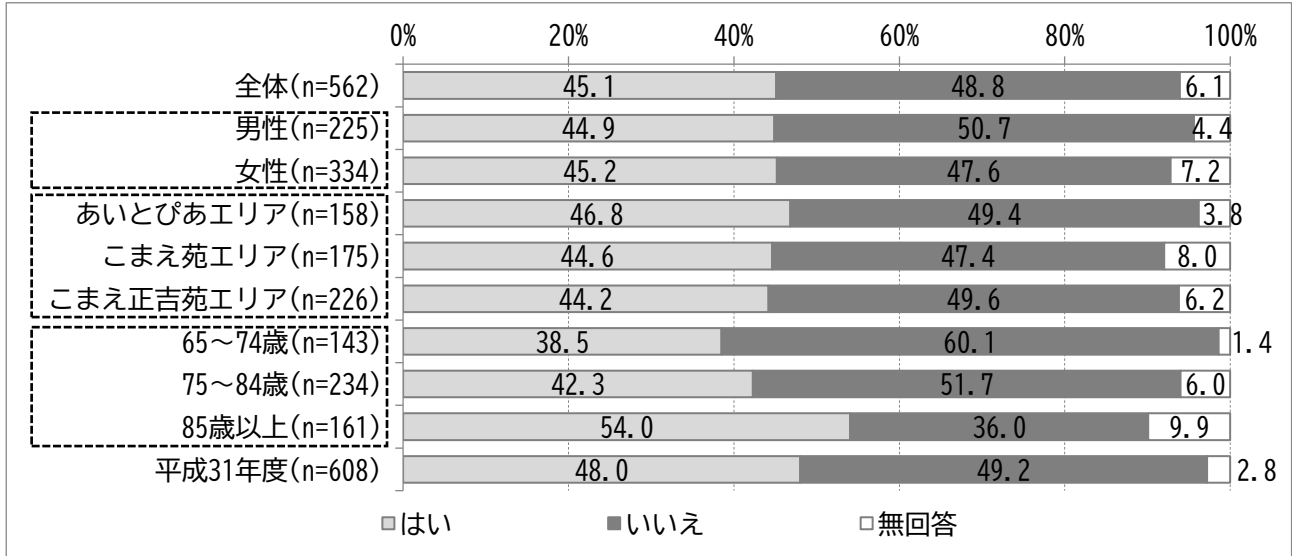
食事を誰かとする機会の有無については、「毎日ある」が44.9%で最も多く、次いで、「月に何度かある」が18.1%となっています。



## E 毎日の生活について

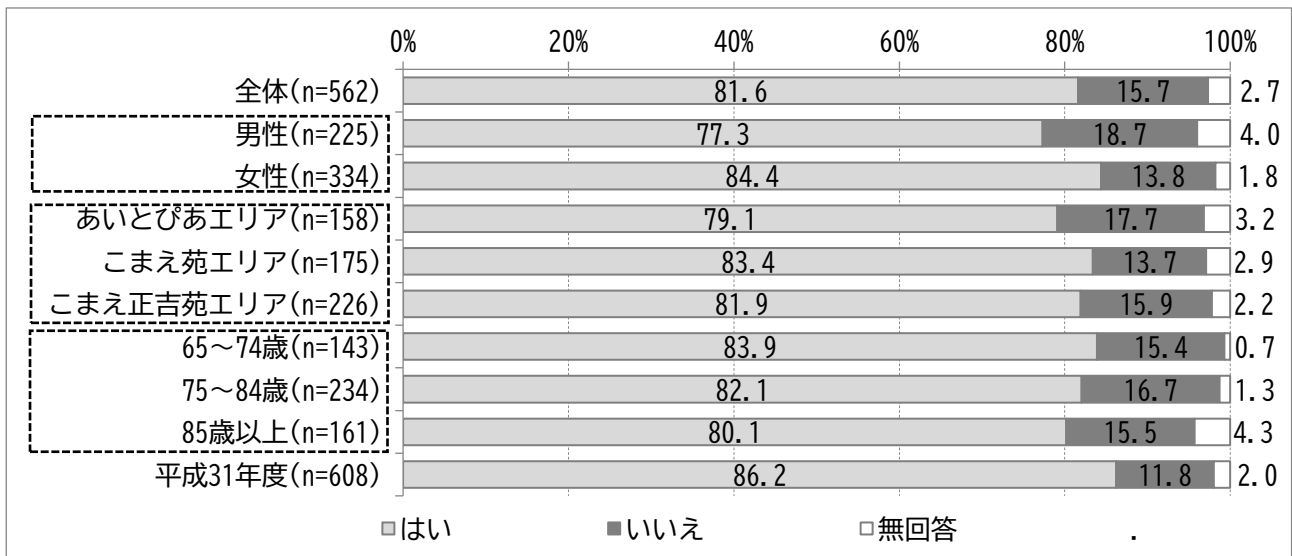
### 問4 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

物忘れが多いかについては、「いいえ」が48.8%で最も多く、次いで「はい」が45.1%となっています。



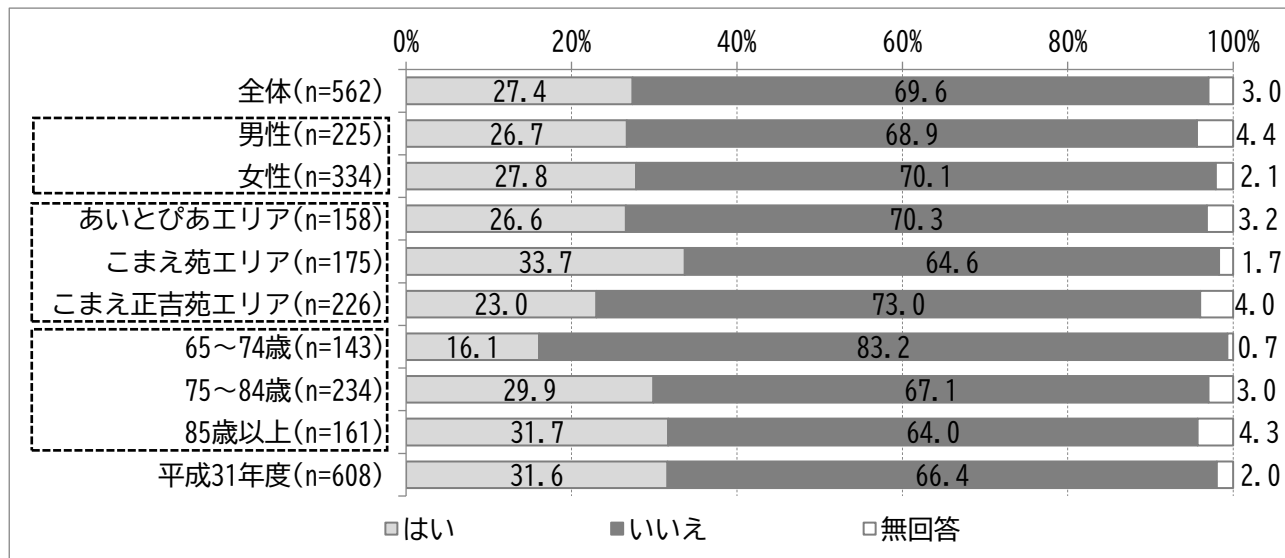
### 問4-2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)

自分で電話をかけるかについては、「はい」が81.6%で最も多く、次いで、「いいえ」が15.7%となっています。



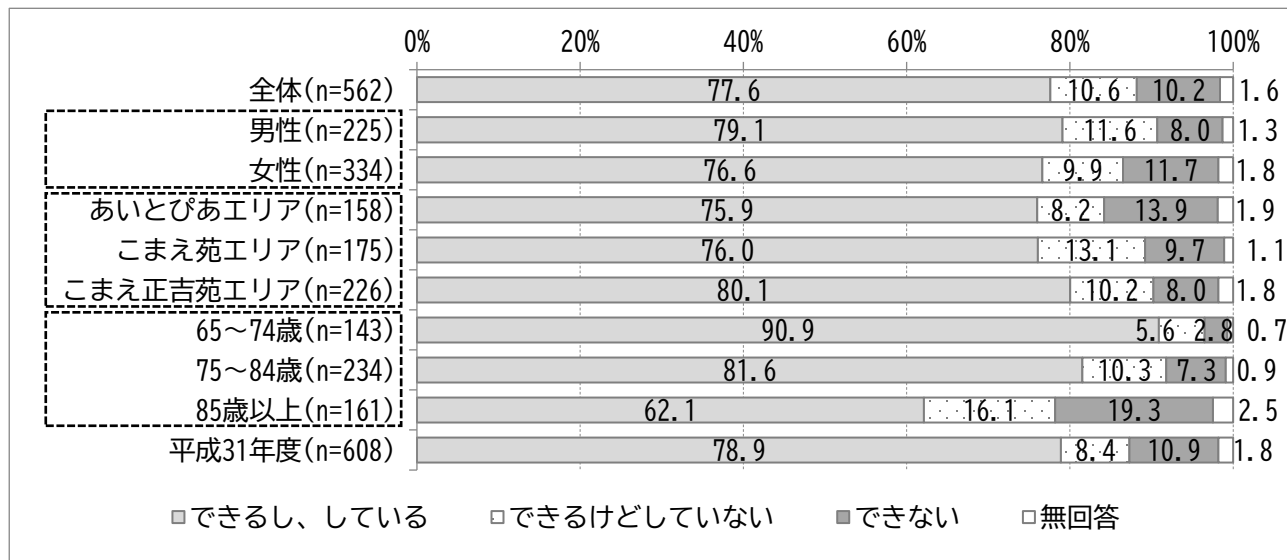
問4-3 今日が何月何日か分からないときがありますか。(○は1つ)

日付が分からないときがあるかについては、「いいえ」が69.6%と最も多く、次いで「はい」が27.4%となっています。



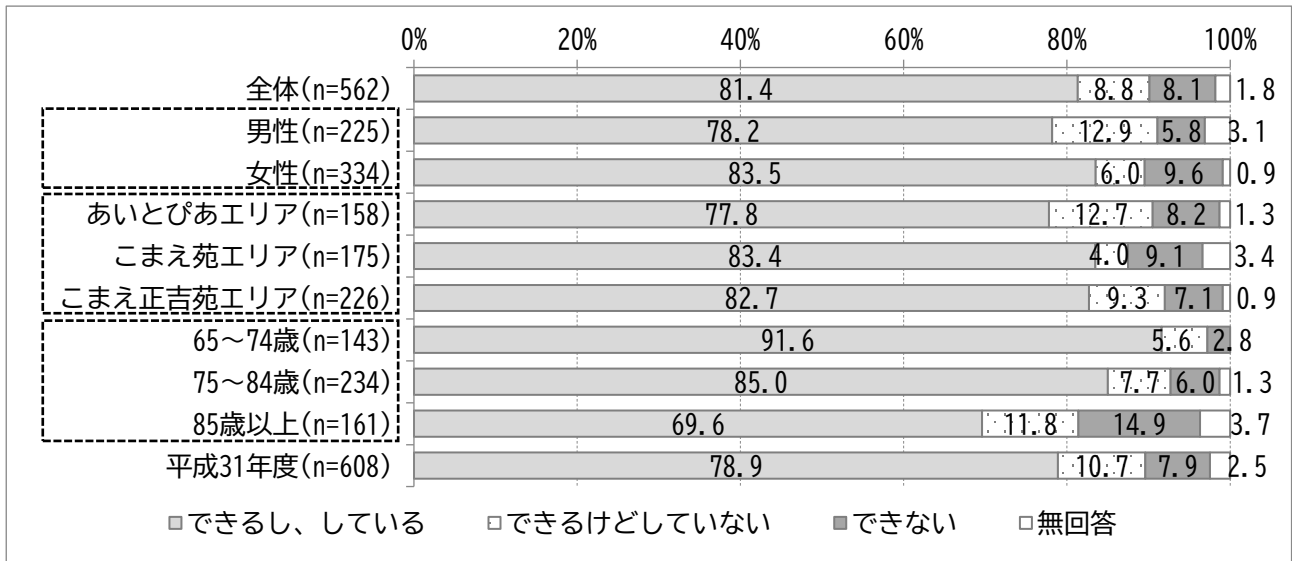
問4-4 バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(○は1つ)

1人で外出するかについては、「できるし、している」が77.6%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が10.6%となっています。



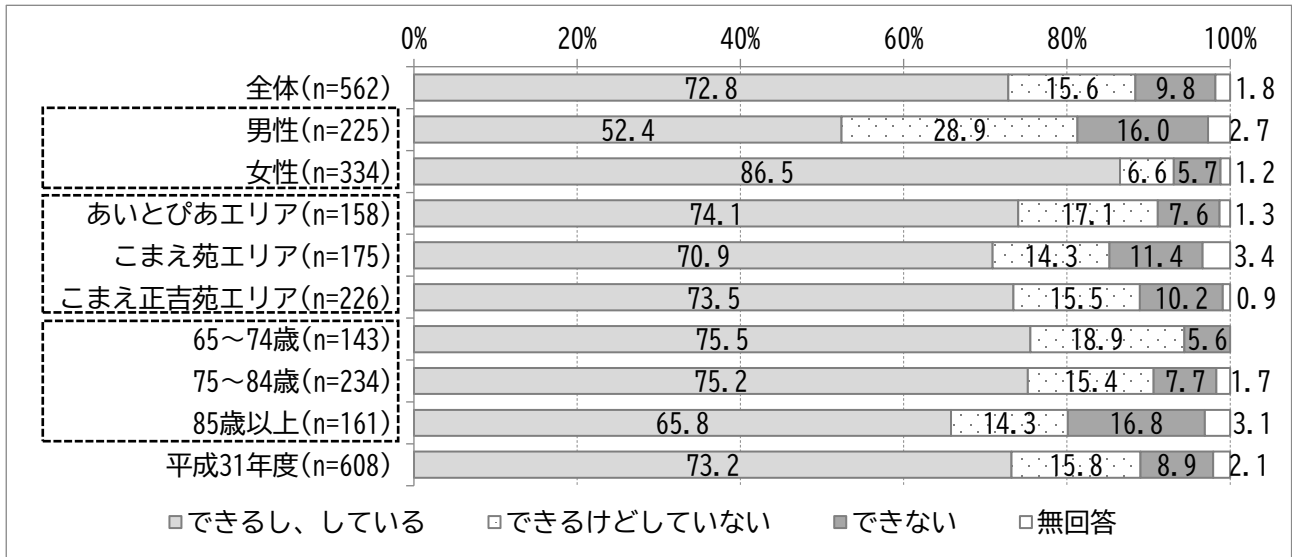
問4-5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

食品・日用品の買物については、「できるし、している」が81.4%で最も多く、次いで、「できるけどしていない」が8.8%となっています。



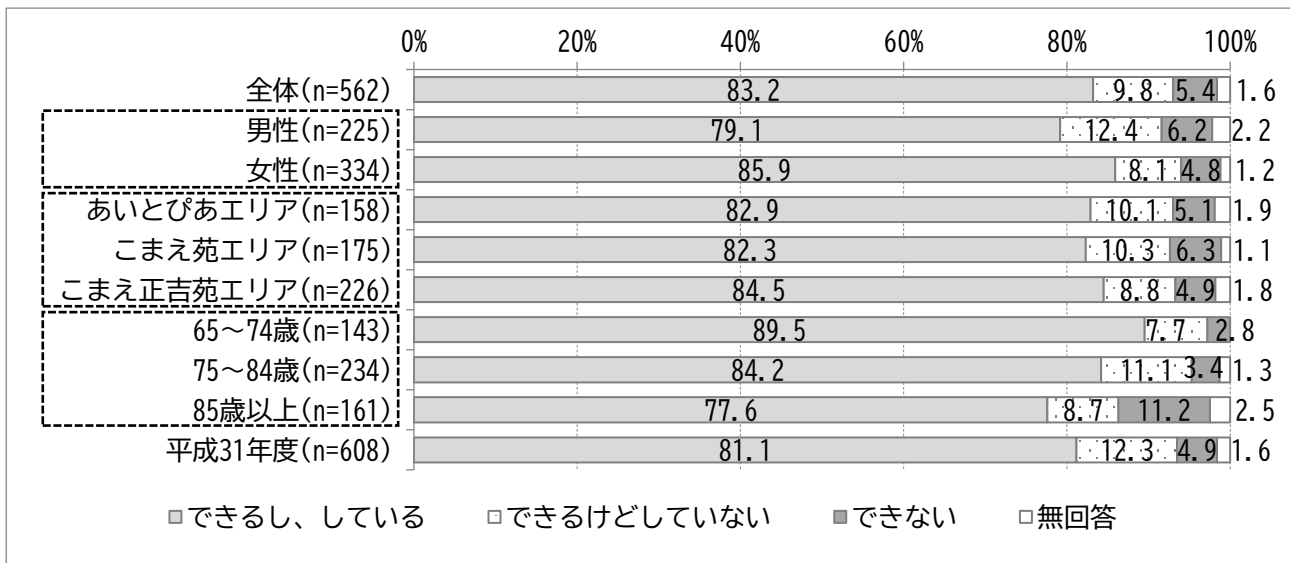
問4-6 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

食事の用意については、「できるし、している」が72.8%で最も多く、次いで、「できるけどしていない」が15.6%となっています。



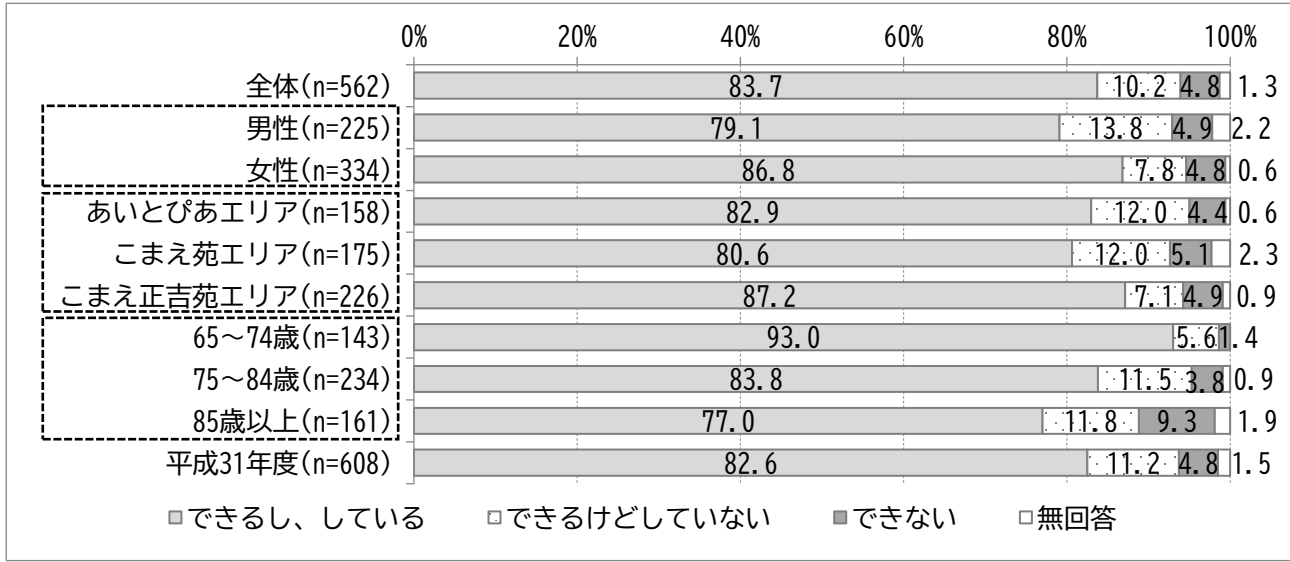
問4-7 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

請求書の支払いについては、「できるし、している」が83.2%で最も多く、次いで、「できるけどしていない」が9.8%となっています。



問4-8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

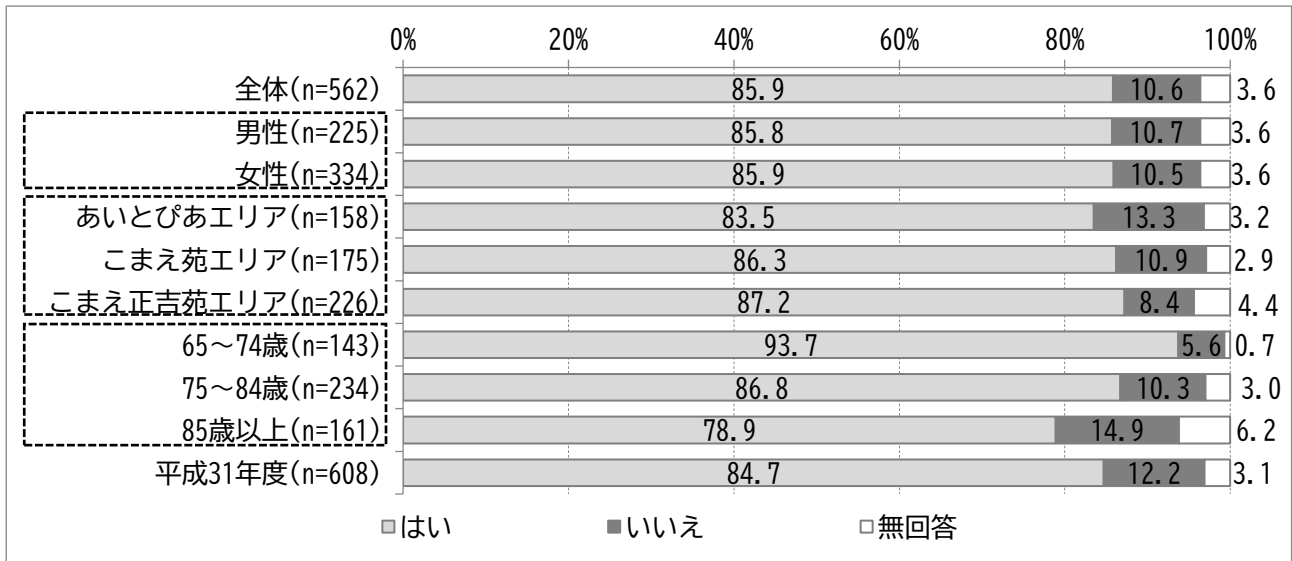
預貯金の出し入れについては、「できるし、している」が83.7%で最も多く、次いで、「できるけどしていない」が10.2%となっています。





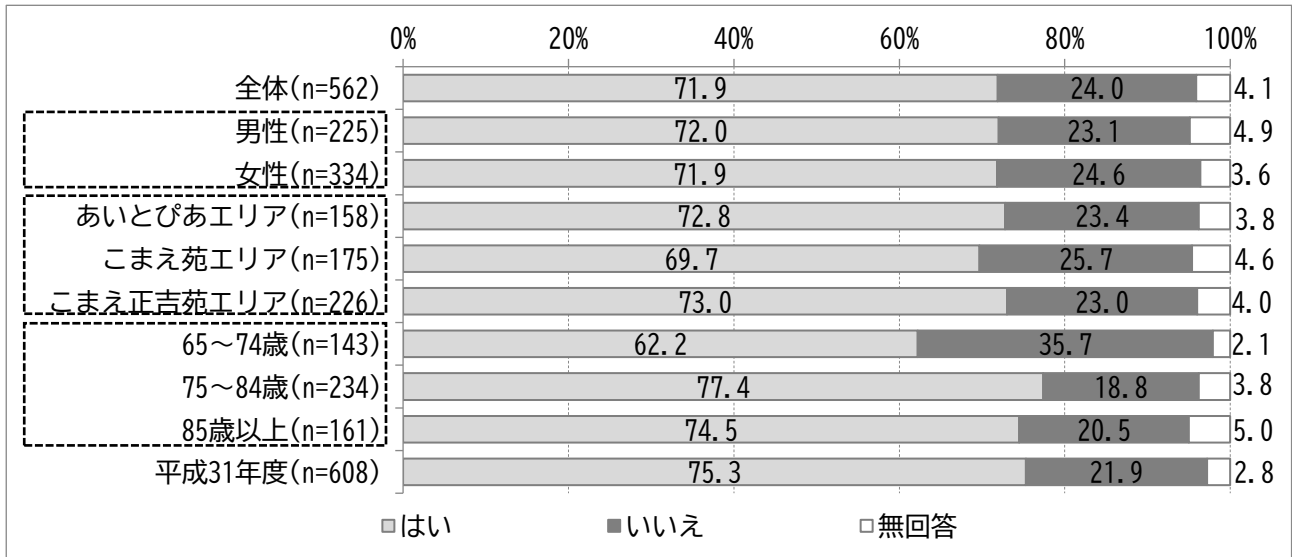
問4-9 年金等の書類（役所、病院等に出す書類）が書けますか。（○は1つ）

年金等の書類については、「はい」が85.9%で最も多く、次いで、「いいえ」が10.6%となっています。



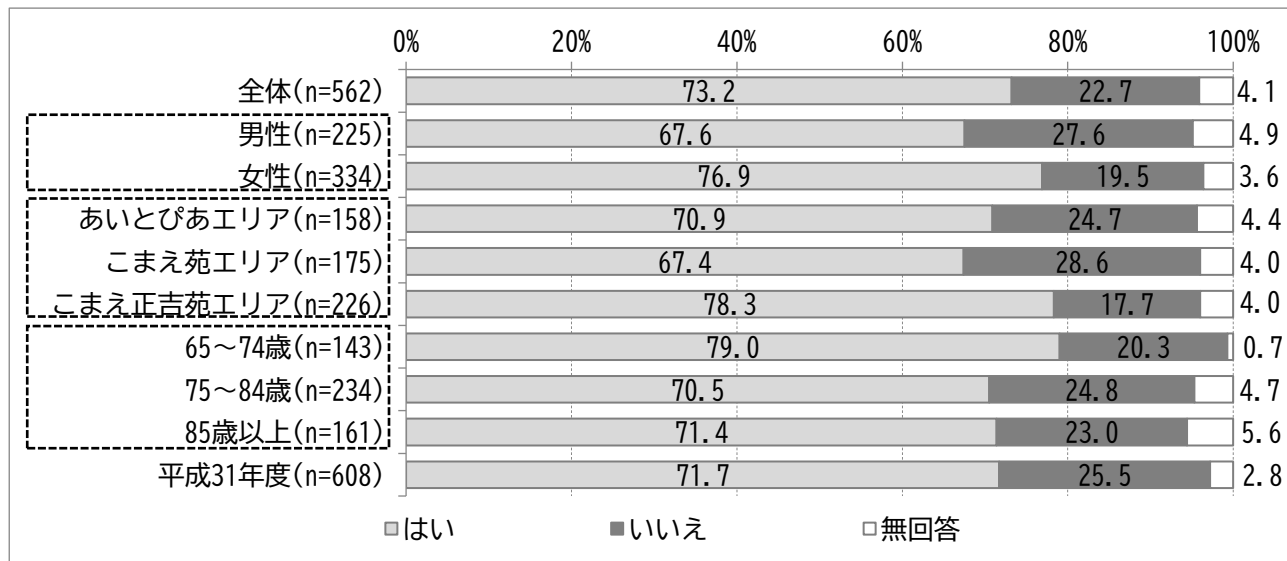
問4-10 新聞を読んでいますか。（○は1つ）

新聞を読んでいるかについては、「はい」で71.9%と最も多く、次いで、「いいえ」が24.0%となっています。



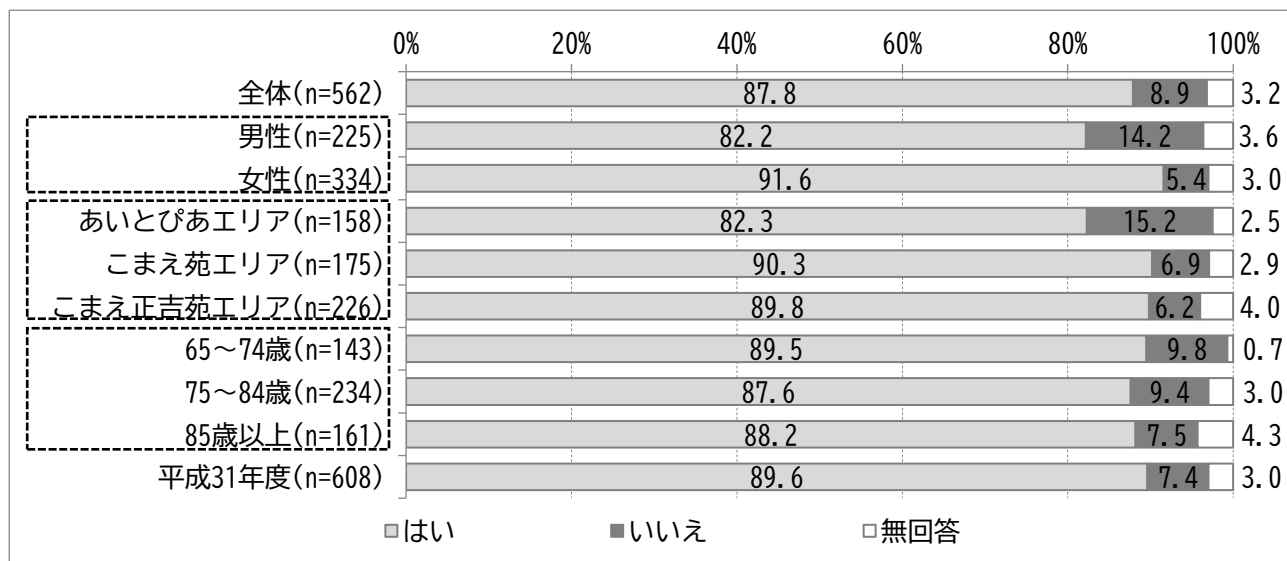
問4-11 本や雑誌を読んでいますか。(○は1つ)

本や雑誌を読んでいるかについては、「はい」が73.2%で最も多く、次いで、「いいえ」が22.7%となっています。



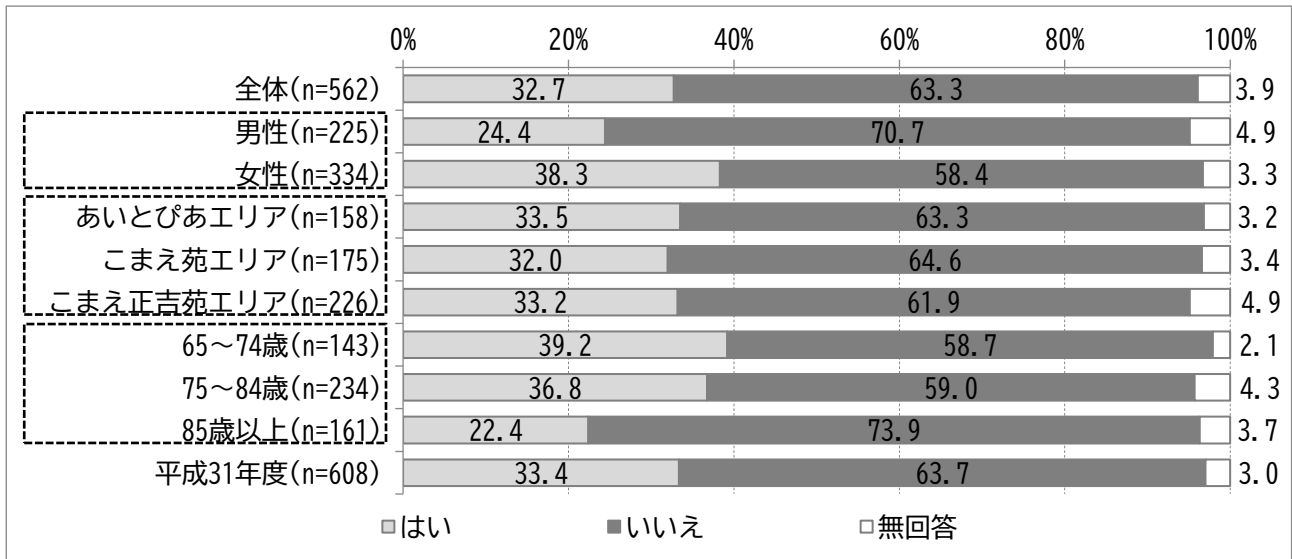
問4-12 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ)

健康についての記事や番組への関心の有無については、「はい」が87.8%で最も多く、次いで、「いいえ」が8.9%となっています。



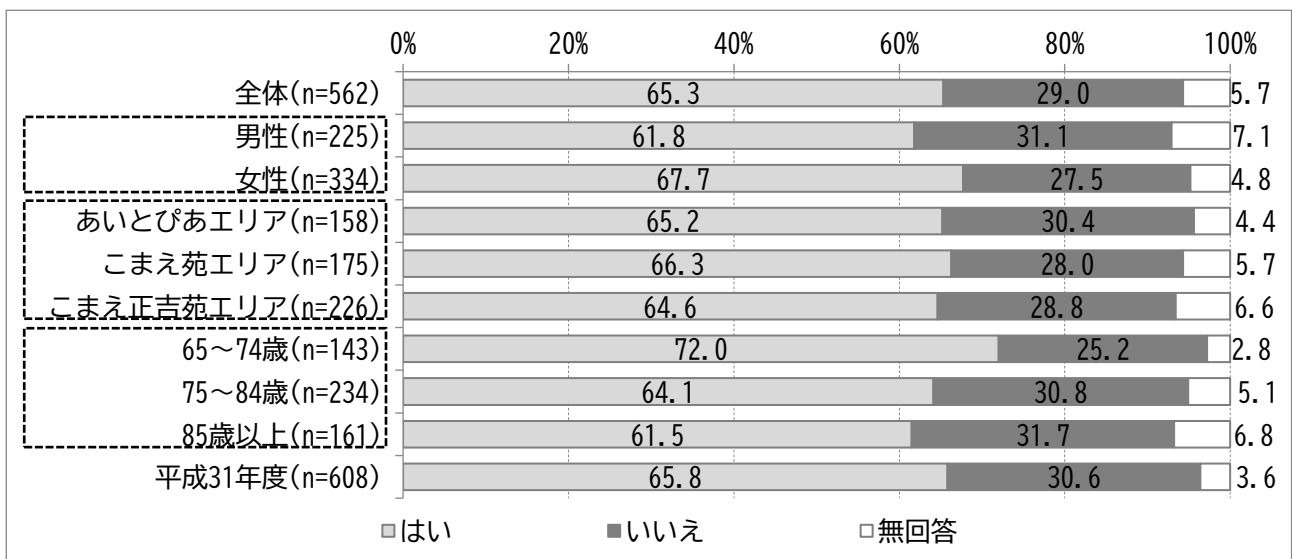
問4-13 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)

友人の家への訪問の有無については、「いいえ」が63.3%で最も多く、次いで、「はい」が32.7%となっています。



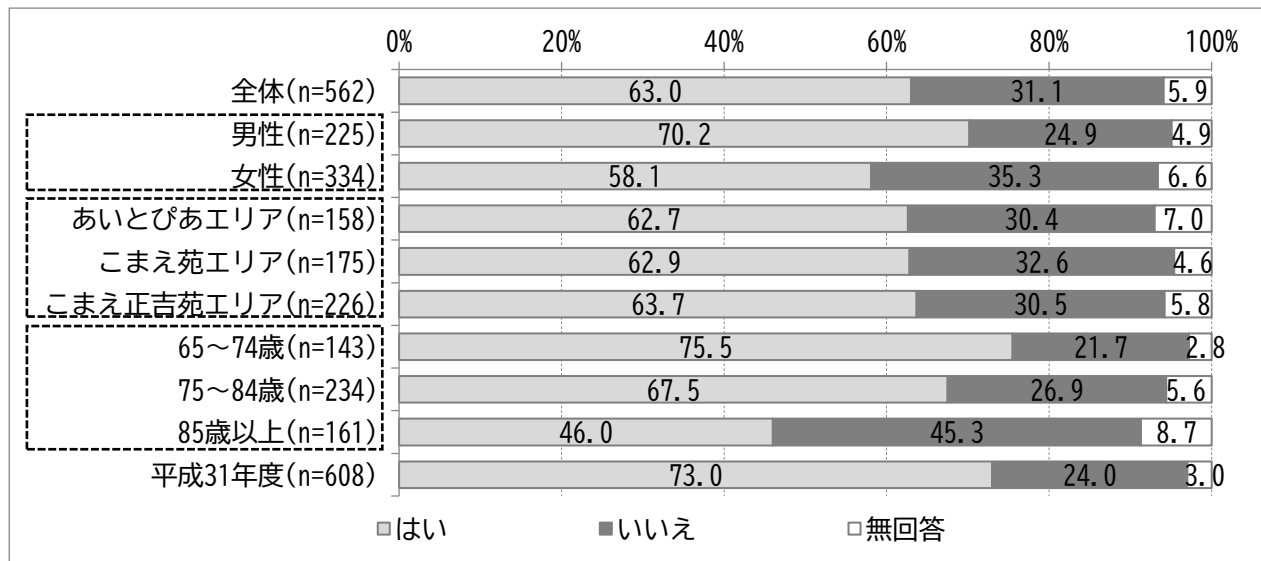
問4-14 家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ)

家族等の相談にのっているかについては、「はい」が65.8%で最も多く、次いで、「いいえ」が29.0%となっています。



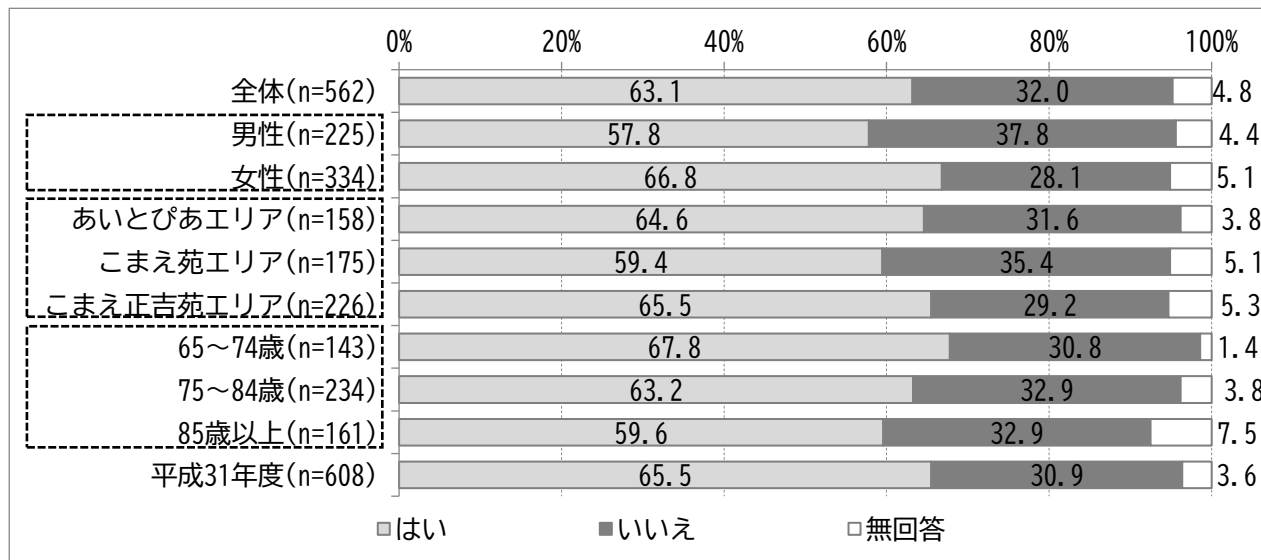
問4-15 病人を見舞うことができますか。(○は1つ)

病人を見舞うことができるかについては、「はい」が63.0%で最も多く、次いで、「いいえ」が31.1%となっています。



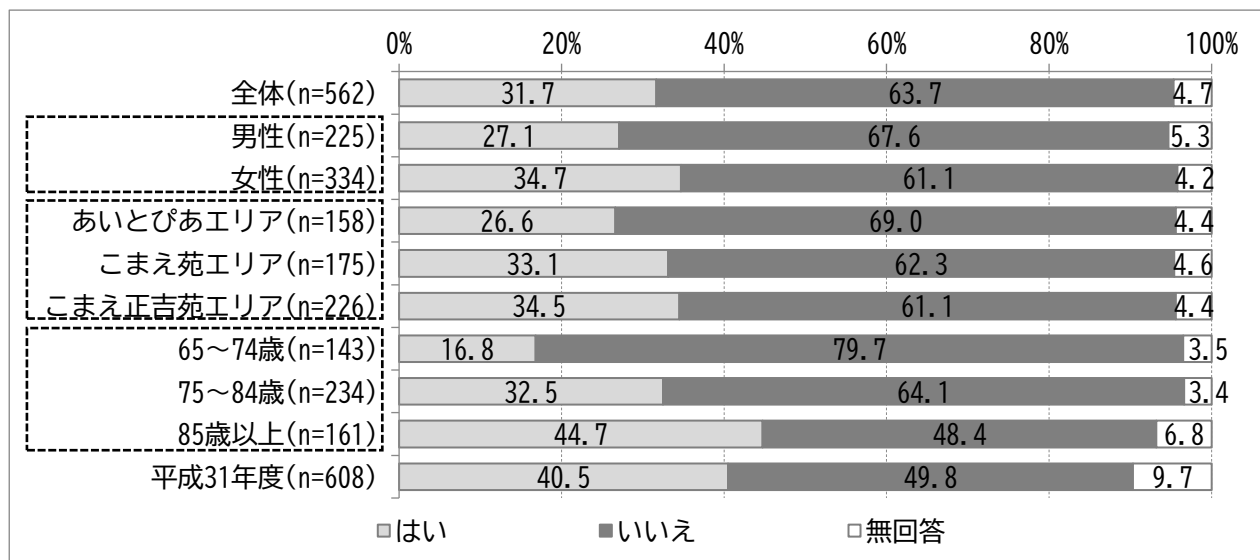
問4-16 若い方に自分から話しかけることがありますか。(○は1つ)

若い方への話しかけについては、「はい」が63.1%で最も多く、次いで、「いいえ」が32.0%となっています。



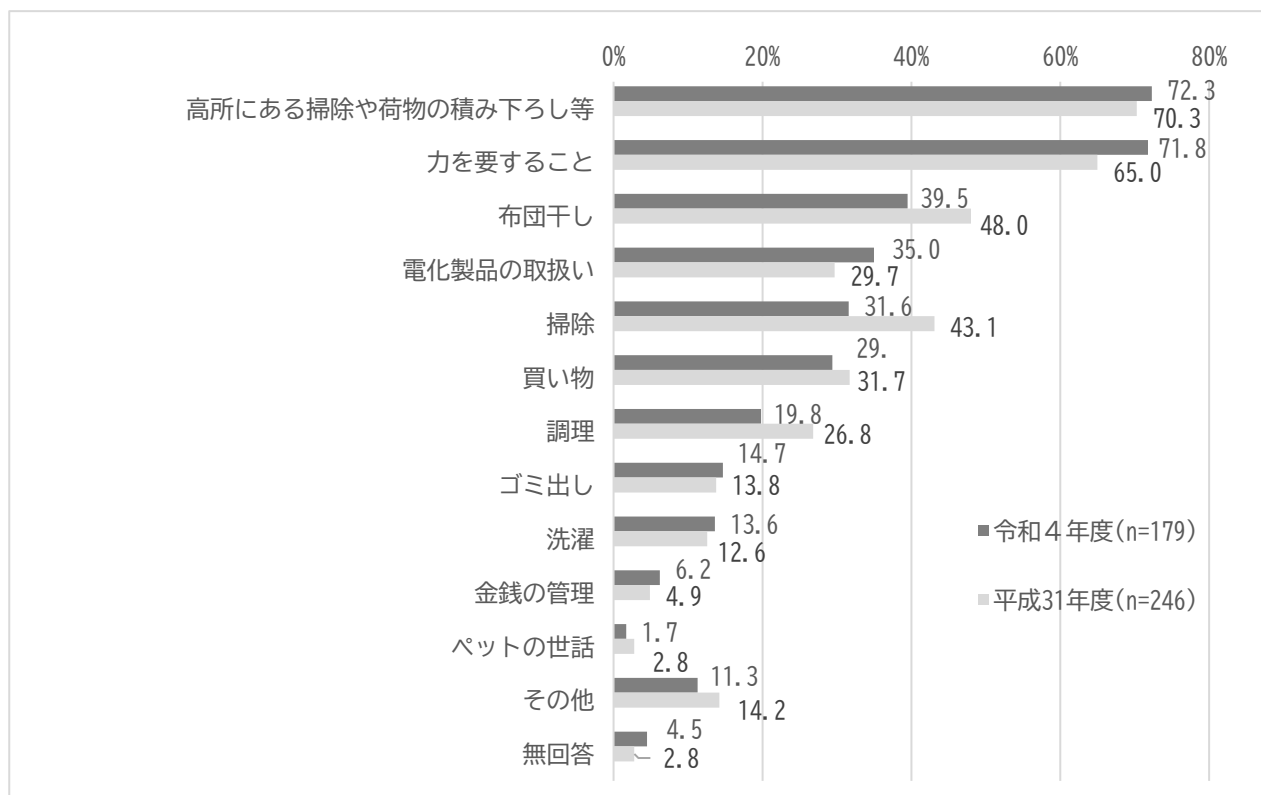
問4-17 日常生活全般で困っていることはありますか。(○は1つ)

日常生活全般で困っていることは、「いいえ」が63.7%で最も多く、次いで、「はい」が31.7%となっています。



問4-17-2 【問4-17で「1 ある」(困っていることがある)と回答した方にお伺いします。】あなたが困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

困っていることは、「高所の掃除や荷物の積み下ろし等」が72.3%で最も多く、次いで、「力を要すること」が71.8%となっています。

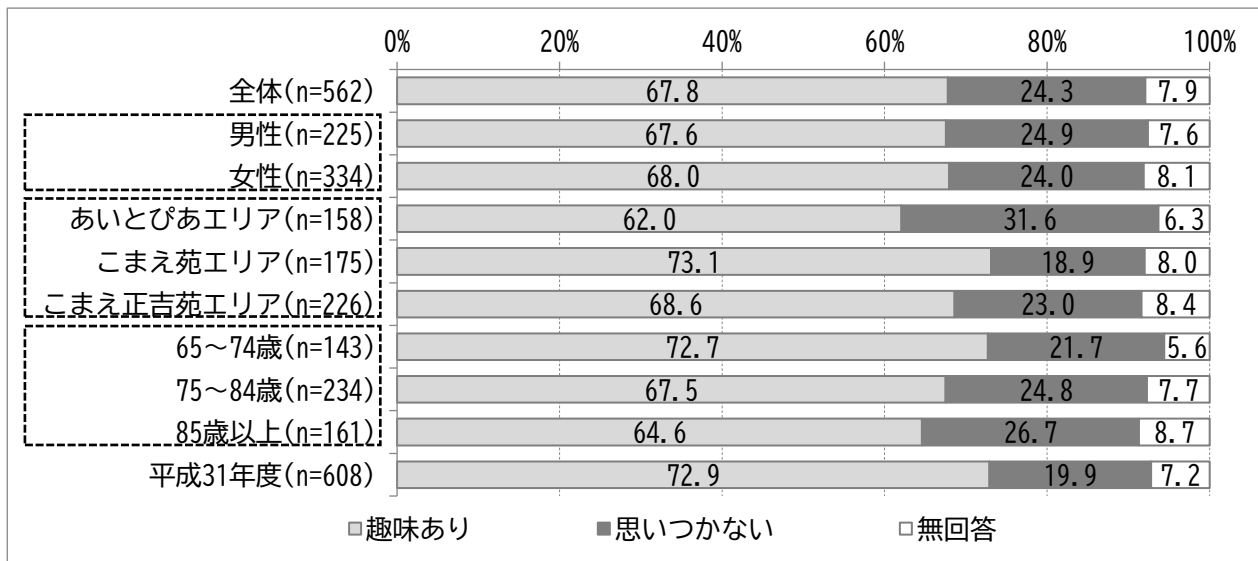


(単位：人、%)

区分	人数	買い物	調理	掃除	ゴミ出し	洗濯	高所にある掃除や荷物の積み下ろし	力を要すること	布団干し	ペットの世話	電化製品の取扱い	金銭の管理	その他	無回答
全体	179	29.4	19.8	31.6	14.7	13.6	72.3	71.8	39.5	1.7	35.0	6.2	11.3	4.5
男性	61	16.4	27.9	31.1	11.5	23.0	50.8	62.3	26.2	3.3	23.0	8.2	19.7	8.2
女性	116	36.2	15.5	31.9	16.4	8.6	83.6	76.7	46.6	0.9	41.4	5.2	6.9	2.6
あいとぴあエリア	42	28.6	16.7	19.0	11.9	9.5	66.7	66.7	33.3	0.0	35.7	4.8	9.5	11.9
こまえ苑エリア	58	32.8	25.9	32.8	13.8	19.0	75.9	81.0	44.8	5.2	29.3	5.2	15.5	3.4
こまえ正吉苑エリア	78	26.9	16.7	37.2	16.7	11.5	71.8	66.7	38.5	0.0	38.5	7.7	9.0	2.6
65～74歳	24	25.0	25.0	20.8	8.3	8.3	58.3	66.7	12.5	0.0	25.0	8.3	12.5	12.5
75～84歳	76	22.4	15.8	25.0	7.9	7.9	68.4	67.1	26.3	1.3	34.2	1.3	10.5	6.6
85歳以上	72	36.1	23.6	40.3	23.6	20.8	79.2	76.4	58.3	2.8	38.9	11.1	12.5	1.4
平成31年度	236	31.7	26.8	43.1	13.8	12.6	70.3	65.0	48.0	2.8	29.7	4.9	14.2	2.8

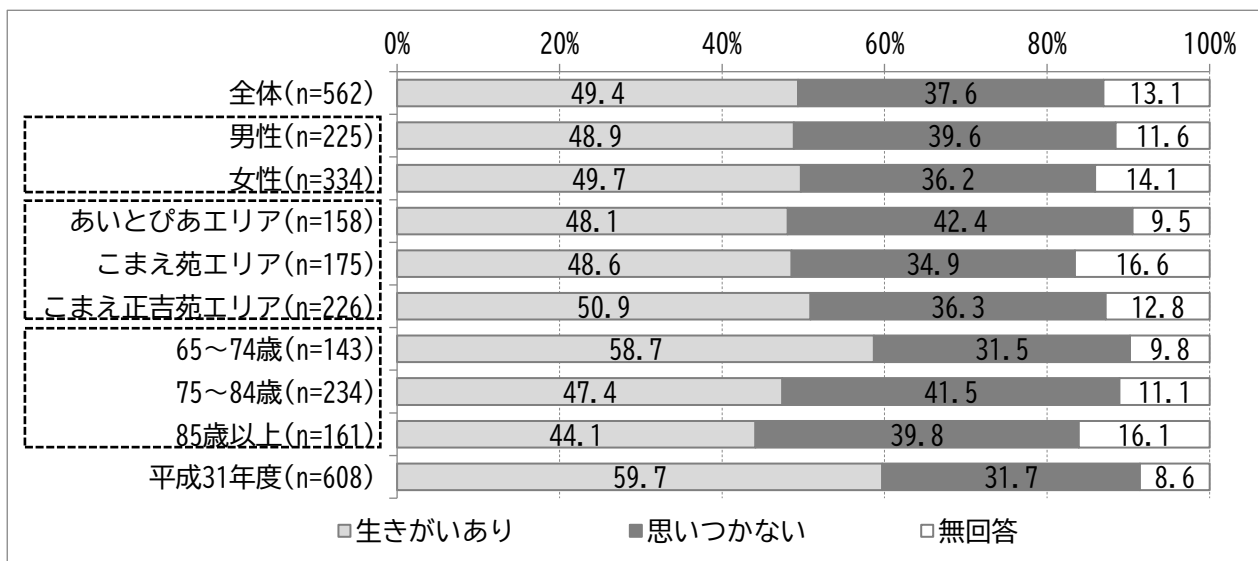
問4-18 趣味はありますか。(○は1つ)

趣味の有無については、「趣味あり」が67.8%で最も多く、次いで、「思いつかない」が24.3%となっています。



問4-19 生きがいはありますか。(○は1つ)

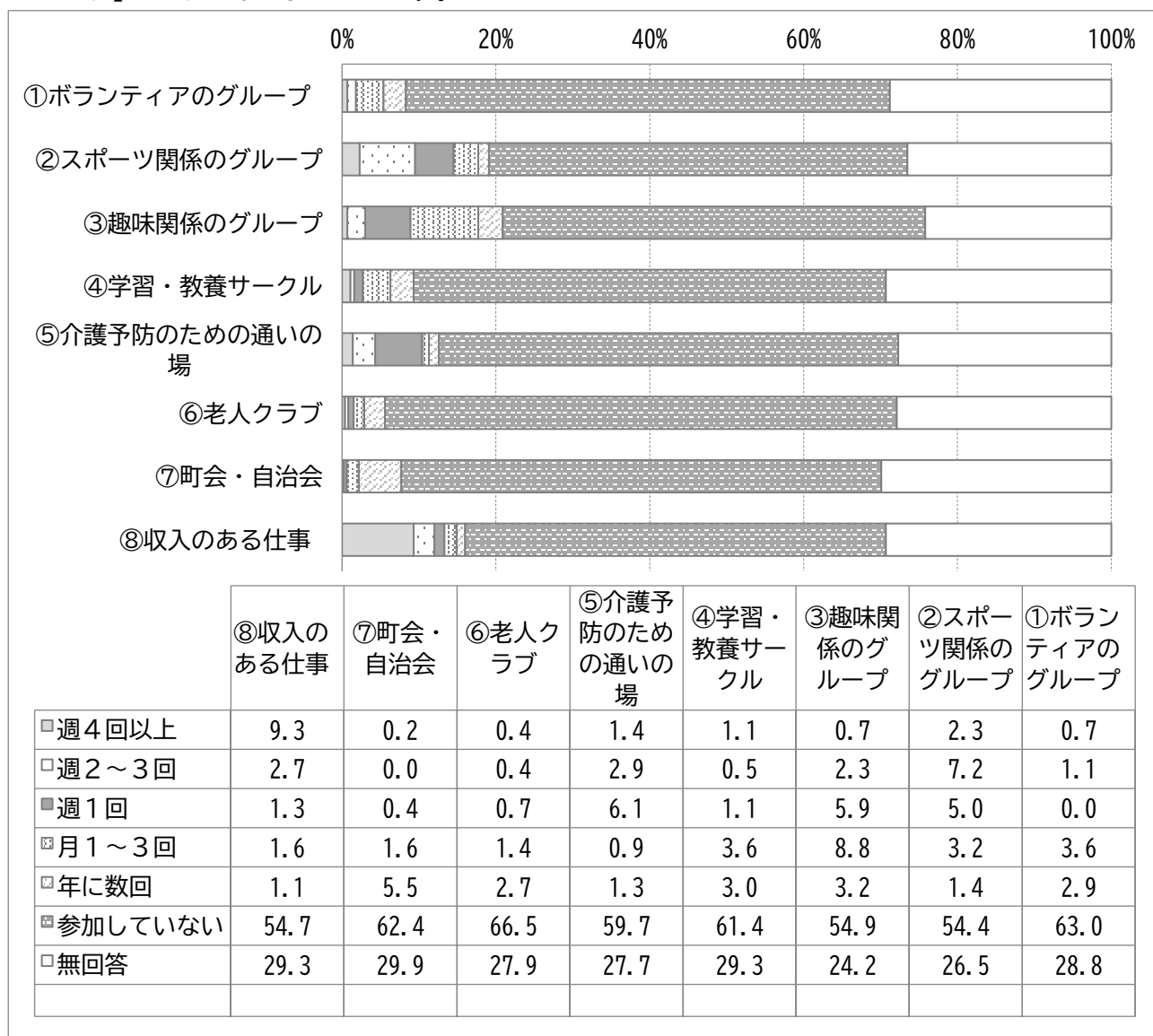
生きがいの有無については、「生きがいあり」が49.4%で最も多く、次いで、「思いつかない」が37.6%となっています。



F 地域での活動について

問5-1 以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか。①から⑧までそれぞれに回答してください。

『参加している』（「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」及び「年に数回」の合計）が最も多いのは「趣味関係のグループ」で20.9%であり、次いで、「スポーツ関係のグループ」が19.1%となっています。





① ボランティアのグループ

ボランティアのグループで「参加していない」「無回答」を除いて、「月1～3回」が3.6%で最も多く、次いで、「年に数回」が2.9%となっています。

(単位：人、%)

区分	人数	以上週4回	3週2回	週1回	3月1回	数年回数	いて参加なし	無回答
全体	562	0.7	1.1	0.0	3.6	2.9	63.0	28.8
男性	225	0.9	1.3	0.0	2.2	4.4	68.9	22.2
女性	334	0.6	0.9	0.0	4.5	1.8	59.0	33.2
あいとぴあエリア	158	0.0	1.3	0.0	3.2	5.1	68.4	22.2
こまえ苑エリア	175	1.1	0.6	0.0	4.0	2.3	62.3	29.7
こまえ正吉苑エリア	226	0.9	1.3	0.0	3.5	1.8	59.7	32.7
65～74歳	143	0.0	0.0	0.0	6.3	3.5	76.2	14.0
75～84歳	234	0.9	1.3	0.0	3.4	3.0	61.1	30.3
85歳以上	161	1.2	0.0	0.0	1.9	1.9	55.9	39.1
平成31年度	608	0.8	3.3	4.3	4.9	3.1	70.9	12.7

② スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブで「参加していない」「無回答」を除いて、「週2～3回」が7.2%で最も多く、次いで、「週1回」が5.0%となっています。

(単位：人、%)

区分	人数	以上週4回	3週2回	週1回	3月1回	数年回数	いて参加なし	無回答
全体	562	2.3	7.2	5.0	3.2	1.4	54.4	26.5
男性	225	1.8	7.6	4.0	2.7	2.7	61.8	19.6
女性	334	2.7	6.9	5.7	3.6	0.6	49.4	31.1
あいとぴあエリア	158	1.3	5.7	6.3	3.2	1.9	57.6	24.1
こまえ苑エリア	175	3.4	9.1	2.9	4.6	0.6	53.1	26.3
こまえ正吉苑エリア	226	2.2	6.6	5.8	2.2	1.8	53.1	28.3
65～74歳	143	0.7	4.9	6.3	4.9	0.7	67.1	15.4
75～84歳	234	3.0	9.8	4.7	3.0	1.7	51.3	26.5
85歳以上	161	2.5	4.3	5.0	2.5	1.9	49.7	34.2
平成31年度	608	2.5	8.2	8.4	3.9	2.1	62.5	12.3

## ③ 趣味関係のグループ

趣味関係のグループで「参加していない」「無回答」を除いて、「月1～3回」が8.8%で最も多く、次いで、「週1回」が5.9%となっています。

(単位：人、%)

区分	人数	以上週4回	3週2回	週1回	3月1回	数年回数	いて参加なし	無回答
全体	562	0.7	2.3	5.9	8.8	3.2	54.9	24.2
男性	225	0.4	3.1	5.8	6.7	5.3	59.1	19.6
女性	334	0.9	1.8	6.0	10.2	1.8	52.1	27.2
あいとぴあエリア	158	1.3	1.9	7.0	7.6	3.2	58.2	20.9
こまえ苑エリア	175	0.6	0.6	5.7	9.1	2.9	54.9	26.3
こまえ正吉苑エリア	226	0.4	4.0	5.3	9.3	3.5	52.7	24.8
65～74歳	143	1.4	2.8	4.9	11.2	4.2	64.3	11.2
75～84歳	234	0.9	2.1	6.0	9.4	3.8	53.8	23.9
85歳以上	161	0.0	1.2	6.2	6.8	1.2	50.3	34.2
平成31年度	608	1.6	5.9	9.0	11.7	5.1	55.3	11.3

## ④ 学習・教養サークル

学習・教養サークルで「参加していない」「無回答」を除いて、「月1～3回」が3.6%で最も多く、次いで、「年に数回」が3.0%となっています。

(単位：人、%)

区分	人数	以上週4回	3週2回	週1回	3月1回	数年回数	いて参加なし	無回答
全体	562	1.1	0.5	1.1	3.6	3.0	61.4	29.3
男性	225	0.4	0.4	0.9	2.2	5.3	68.4	22.2
女性	334	1.5	0.6	1.2	4.5	1.5	56.6	34.1
あいとぴあエリア	158	0.0	0.6	1.3	4.4	3.8	65.2	24.7
こまえ苑エリア	175	1.7	0.6	0.0	2.3	4.0	62.3	29.1
こまえ正吉苑エリア	226	1.3	0.4	1.8	4.0	1.8	58.0	32.7
65～74歳	143	0.7	0.0	2.8	4.2	2.8	74.1	15.4
75～84歳	234	0.9	0.9	0.9	3.0	2.6	61.1	30.8
85歳以上	161	1.9	0.6	0.0	3.7	3.1	52.8	37.9
平成31年度	608	0.2	1.5	2.6	6.7	4.6	70.6	13.8

### ⑤ 介護予防のための通いの場

介護予防のための通いの場で「参加していない」「無回答」を除いて、「週1回」が6.1%で最も多く、次いで、「週2～3回」が2.9%となっています。

(単位：人、%)

区分	人数	以上週4回	3週2回	週1回	3月1回	数年回数	いて参加なし	無回答
全体	562	1.4	2.9	6.1	0.9	1.3	59.7	27.7
男性	225	0.4	0.9	4.0	0.4	1.8	69.8	22.7
女性	334	2.1	4.2	7.5	1.2	0.9	53.0	31.1
あいとぴあエリア	158	0.0	3.2	7.0	0.6	3.2	60.8	25.3
こまえ苑エリア	175	3.4	5.1	5.7	1.7	1.1	57.7	25.1
こまえ正吉苑エリア	226	0.9	0.9	5.8	0.4	0.0	60.2	31.9
65～74歳	143	0.0	0.7	2.8	2.1	0.7	79.0	14.7
75～84歳	234	0.4	3.4	5.1	0.4	2.1	56.8	31.6
85歳以上	161	4.3	3.7	9.9	0.6	0.6	49.7	31.1
平成31年度	608	0.7	6.9	10.5	3.0	1.2	65.3	12.5

### ⑥ 老人クラブ

老人クラブで「参加していない」「無回答」を除いて、「年に数回」が2.7%で最も多く、次いで、「月1～3回」が1.4%となっています。

(単位：人、%)

区分	人数	以上週4回	3週2回	週1回	3月1回	数年回数	いて参加なし	無回答
全体	562	0.4	0.4	0.7	1.4	2.7	66.5	27.9
男性	225	0.4	0.0	0.4	0.4	1.8	74.2	22.7
女性	334	0.3	0.6	0.9	2.1	3.3	61.4	31.4
あいとぴあエリア	158	0.0	0.0	1.3	3.2	0.6	72.8	22.2
こまえ苑エリア	175	1.1	0.6	0.0	0.6	2.9	65.1	29.7
こまえ正吉苑エリア	226	0.0	0.4	1.3	0.9	3.5	63.3	30.5
65～74歳	143	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	83.9	15.4
75～84歳	234	0.4	0.4	1.3	1.7	3.4	65.8	26.9
85歳以上	161	0.6	0.6	1.2	1.9	4.3	54.0	37.3
平成31年度	608	0.3	1.0	1.3	3.1	2.1	79.8	12.3

## ⑦ 町会・自治会

町会・自治会で「参加していない」「無回答」を除いて、「年に数回」が5.5%で最も多く、次いで、「月1～3回」が1.6%となっています。

(単位：人、%)

区分	人数	以上週4回	3週2回	週1回	3月1回	数年回数	いて参加なし	無回答
全体	562	0.2	0.0	0.4	1.6	5.5	62.4	29.9
男性	225	0.0	0.0	0.9	2.2	6.2	68.0	22.7
女性	334	0.3	0.0	0.0	1.2	5.1	58.7	34.7
あいとぴあエリア	158	0.0	0.0	0.6	2.5	7.0	65.8	24.1
こまえ苑エリア	175	0.0	0.0	0.0	1.1	5.7	61.1	32.0
こまえ正吉苑エリア	226	0.4	0.0	0.4	1.3	4.0	61.1	32.7
65～74歳	143	0.0	0.0	1.4	0.7	5.6	78.3	14.0
75～84歳	234	0.4	0.0	0.0	2.1	6.0	62.0	29.5
85歳以上	161	0.0	0.0	0.0	1.2	5.0	51.6	42.2
平成31年度	608	0.3	0.5	0.5	2.6	9.0	73.7	13.3

## ⑧ 収入のある仕事

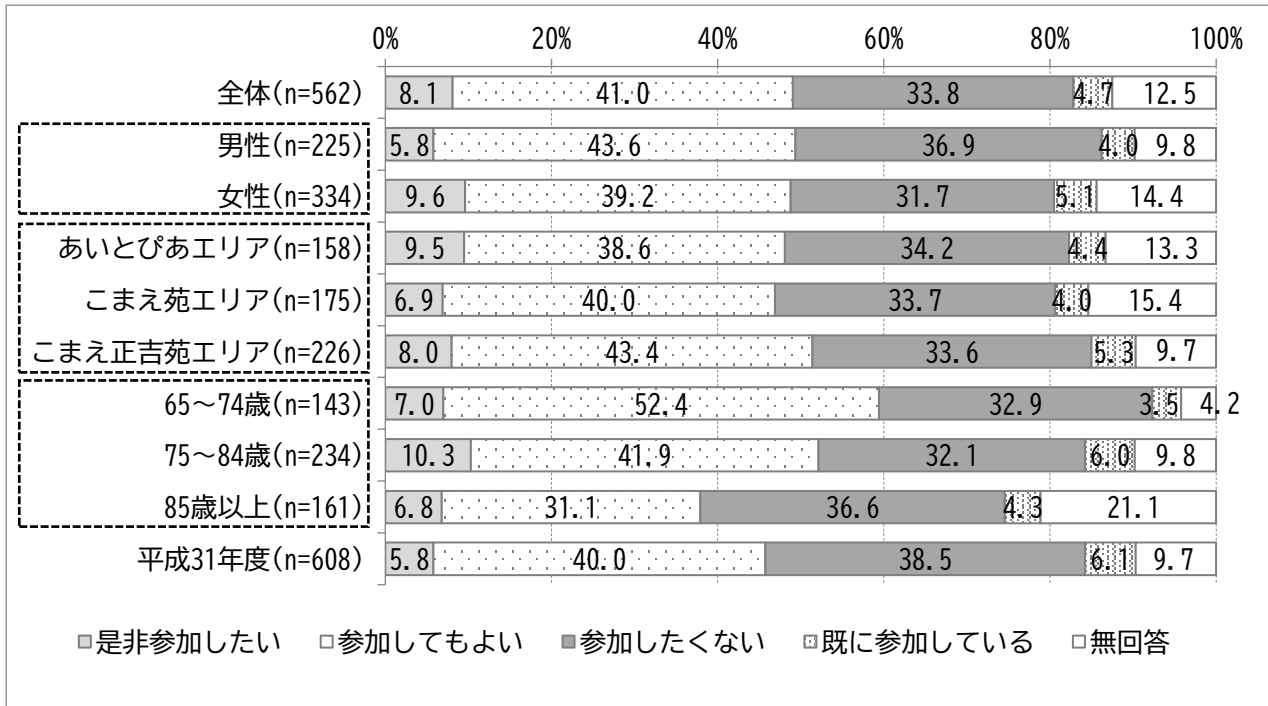
収入のある仕事で「参加していない」「無回答」を除いて、「週4回以上」が9.3%で最も多く、次いで、「週2～3回」が2.7%となっています。

(単位：人、%)

区分	人数	以上週4回	3週2回	週1回	3月1回	数年回数	いて参加なし	無回答
全体	562	9.3	2.7	1.3	1.6	1.1	54.7	29.3
男性	225	15.1	4.9	0.9	2.7	2.2	54.2	20.0
女性	334	5.4	1.2	1.5	0.9	0.3	55.1	35.6
あいとぴあエリア	158	11.4	3.8	1.3	3.2	0.0	57.6	22.8
こまえ苑エリア	175	8.6	1.7	0.6	0.6	1.1	56.0	31.4
こまえ正吉苑エリア	226	8.4	2.7	1.8	1.3	1.8	51.8	32.3
65～74歳	143	23.8	7.0	3.5	2.1	1.4	51.0	11.2
75～84歳	234	6.0	1.3	0.9	2.1	0.9	58.1	30.8
85歳以上	161	0.0	1.2	0.0	0.6	0.6	55.9	41.6
平成31年度	608	6.9	3.6	1.8	2.1	2.6	70.9	12.0

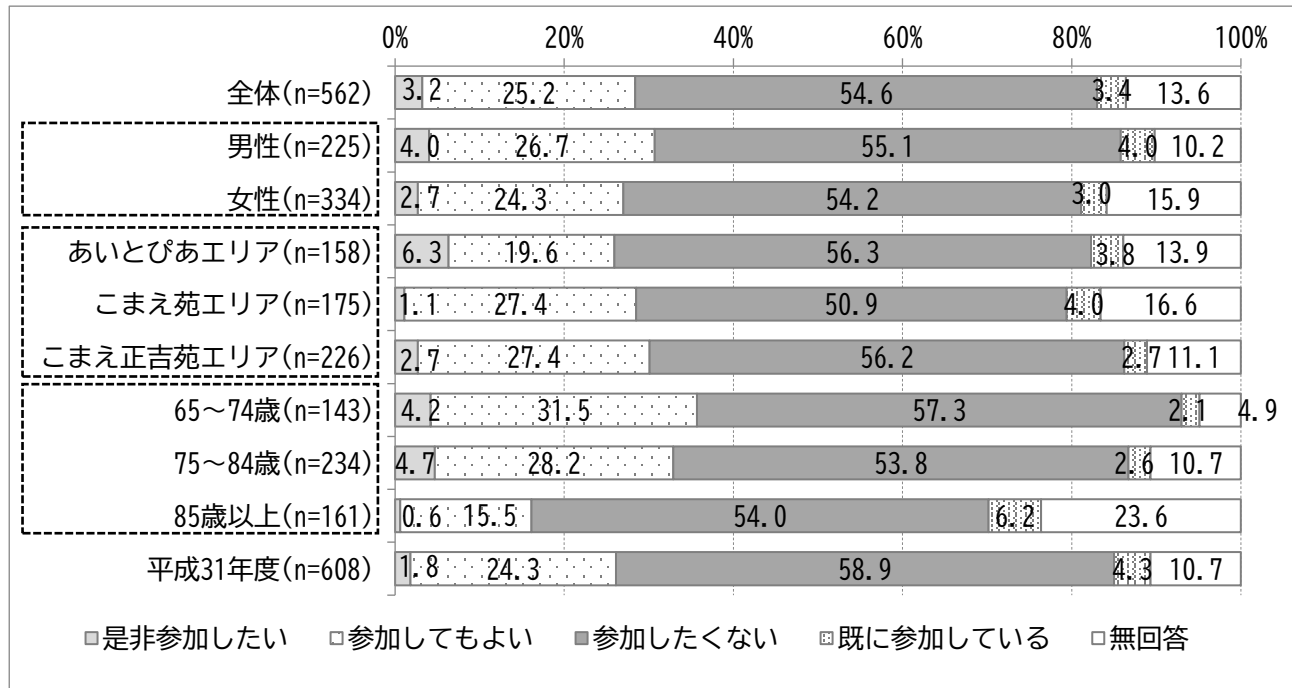
問5-2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

地域づくりに参加者として参加したいかについては、「参加してもよい」が41.0%で最も多く、次いで、「参加したくない」が33.8%となっています。



問5-3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたは、その活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（○は1つ）

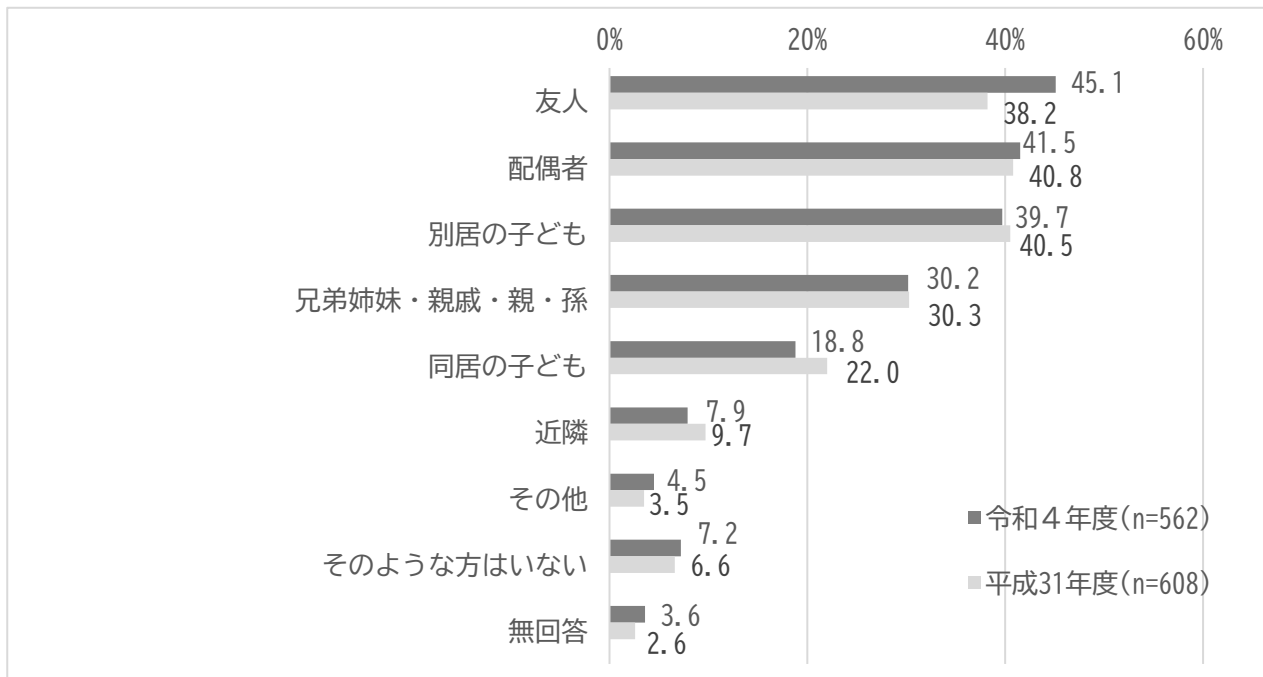
企画・運営（お世話役）として参加したいかについては、「参加したくない」が54.6%で最も多く、次いで、「参加してもよい」が25.2%となっています。



## G 助け合いについて

### 問6 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる方（○はいくつでも）

心配事や愚痴を聞いてくれる方は、「友人」が45.1%で最も多く、次いで、「配偶者」が41.5%となっています。

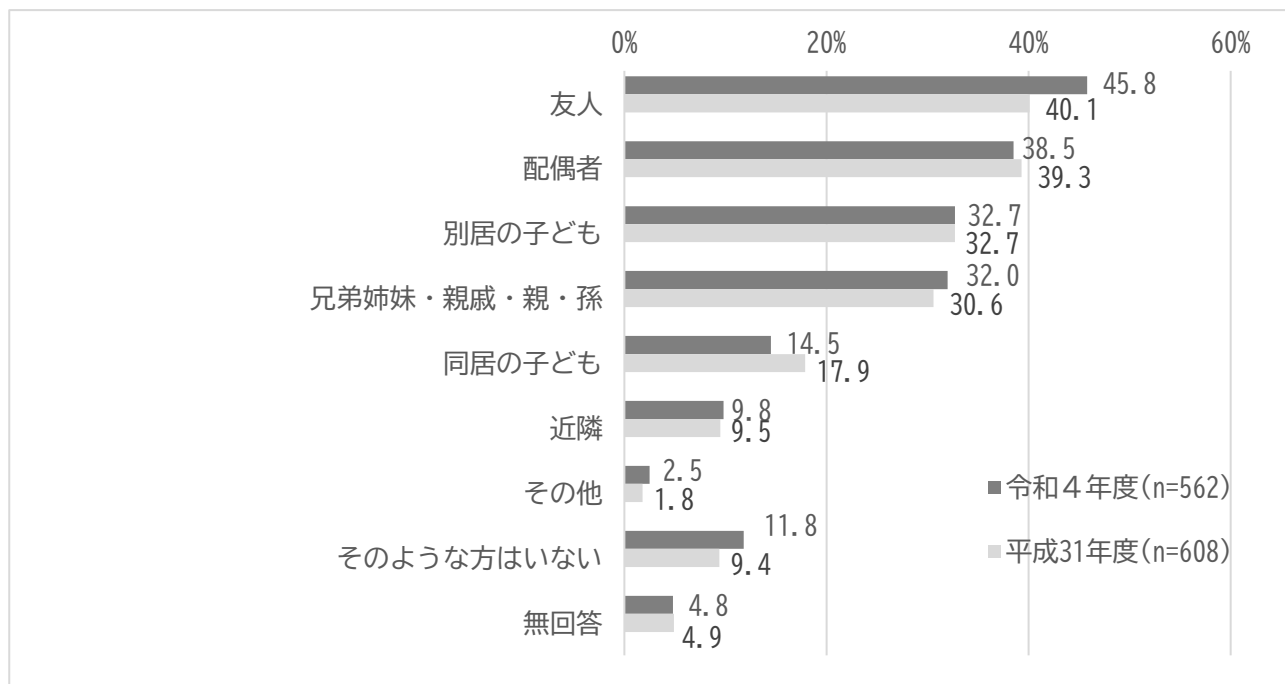


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	は その い な い 方	そ の 他	近 隣	同 居 の 子 ど も	兄 弟 姉 妹 ・ 親 戚 ・ 親	別 居 の 子 ど も	配 偶 者	友 人
全体	562	3.6	7.2	4.5	7.9	18.8	30.2	39.7	41.5	45.1
男性	225	4.4	10.2	3.6	2.7	15.6	23.6	32.4	60.9	28.0
女性	334	3.0	5.1	5.1	11.4	21.0	34.7	44.6	28.4	56.6
あいとぴあエリア	158	4.4	7.0	2.5	4.4	17.1	29.1	38.0	37.3	44.3
こまえ苑エリア	175	2.3	8.0	5.1	9.1	20.6	34.9	41.7	44.6	44.0
こまえ正吉苑エリア	226	4.0	6.6	5.3	8.8	18.1	27.4	39.4	42.5	46.0
65～74歳	143	0.0	7.0	1.4	4.2	18.2	30.8	35.7	57.3	57.3
75～84歳	234	4.7	6.8	4.7	9.4	16.7	30.3	38.0	42.3	44.0
85歳以上	161	3.7	8.7	5.0	8.1	22.4	29.2	45.3	28.6	34.8
平成31年度	608	2.6	6.6	3.5	9.7	22.0	30.3	40.5	40.8	38.2

問6-2 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる方（〇はいくつでも）

心配事や愚痴を聞いてあげる方は、「友人」が45.8%、「配偶者」が38.5%となっています。



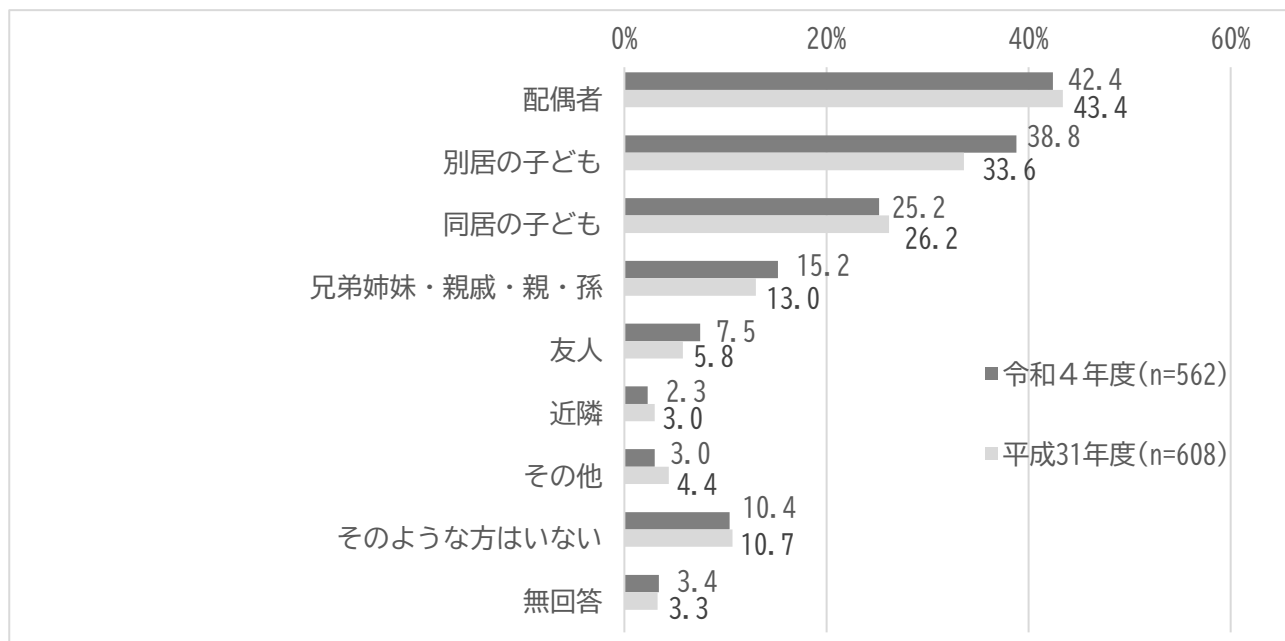
(単位：人、%)

区分	人数	無回答	はそ い な い 方	そ の 他	近 隣	同 居 の 子 ど も	兄 弟 姉 妹 ・ 親 戚 ・ 孫 ・ 親	別 居 の 子 ど も	配 偶 者	友 人
全体	562	4.8	11.8	2.5	9.8	14.5	32.0	32.7	38.5	45.8
男性	225	3.6	12.9	2.7	4.4	13.3	25.8	31.6	57.8	30.2
女性	334	5.7	11.1	2.4	13.5	15.3	36.2	33.5	25.4	56.3
あいとぴあエリア	158	4.4	12.7	1.3	5.1	12.7	27.8	31.6	34.2	46.2
こまえ苑エリア	175	4.0	10.9	3.4	11.4	14.9	36.0	35.4	43.4	46.3
こまえ正吉苑エリア	226	5.8	11.9	2.7	11.5	15.0	32.3	31.4	38.1	44.7
65～74歳	143	0.7	7.0	2.8	7.0	18.9	33.6	35.0	55.9	58.0
75～84歳	234	6.8	9.8	1.7	11.1	13.2	33.3	34.6	38.9	44.9
85歳以上	161	4.3	19.9	2.5	9.9	12.4	28.0	28.6	24.8	34.8
平成31年度	608	4.9	9.4	1.8	9.5	17.9	30.6	32.7	39.3	40.1



問6-3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる方（〇はいくつでも）

看病や世話をしてくれる方は、「配偶者」が42.4%で最も多く、次いで、「別居の子ども」が38.8%となっています。

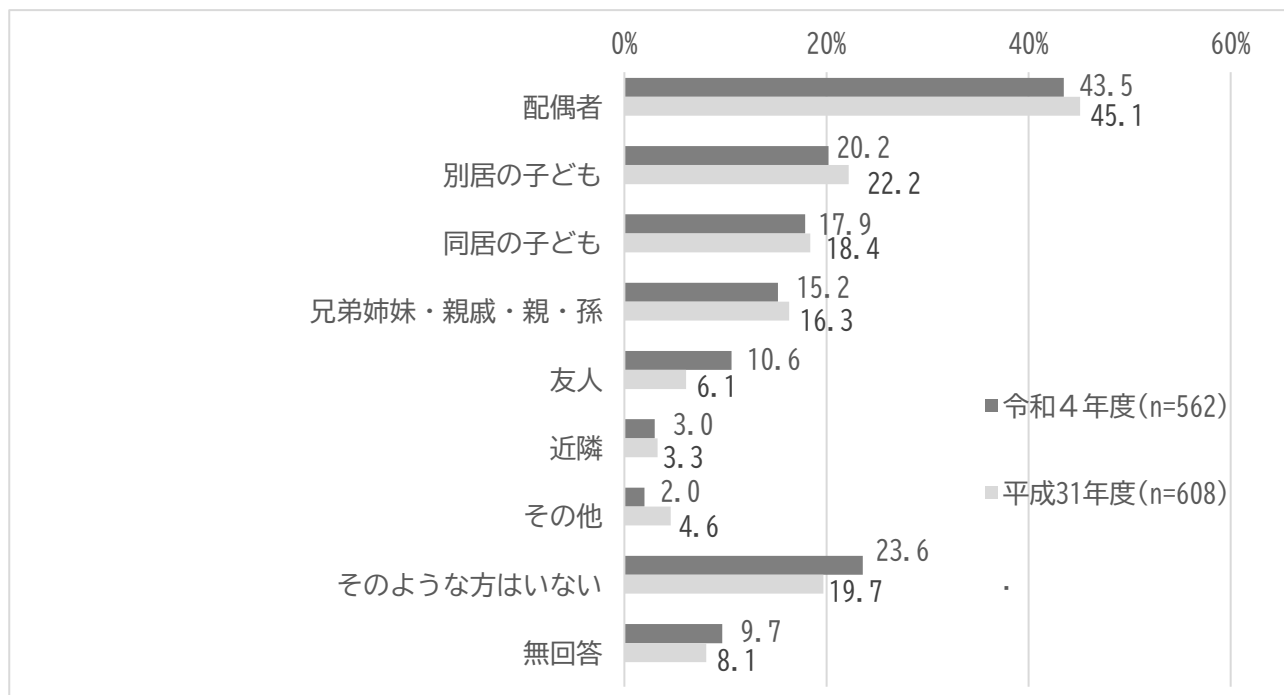


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	はそ い な い 方	そ の 他	近 隣	友 人	兄 弟 姉 妹 ・ 親 戚 ・ 親 ・ 孫	同 居 の 子 ど も	別 居 の 子 ど も	配 偶 者
全体	562	3.4	10.4	3.0	2.3	7.5	15.2	25.2	38.8	42.4
男性	225	1.8	10.7	2.2	0.4	3.6	12.0	21.8	32.0	63.1
女性	334	4.5	10.2	3.6	3.6	10.2	17.4	27.5	43.4	28.4
あいとぴあエリア	158	3.2	10.8	0.6	1.9	7.6	14.6	24.1	36.1	41.1
こまえ苑エリア	175	2.9	11.4	2.9	2.9	8.6	16.6	28.0	40.6	45.7
こまえ正吉苑エリア	226	4.0	9.3	4.9	2.2	6.6	14.6	23.5	39.4	41.2
65～74歳	143	0.0	8.4	1.4	1.4	11.2	18.9	25.2	30.1	60.8
75～84歳	234	5.6	12.0	2.6	2.6	6.8	13.7	20.5	38.9	43.2
85歳以上	161	3.7	11.2	4.3	2.5	5.6	11.8	31.7	46.0	26.7
平成31年度	608	3.3	10.7	4.4	3.0	5.8	13.0	26.2	33.6	43.4

問6-4 反対に、看病や世話をしてあげる方（○はいくつでも）

看病や世話をしてあげる方は、「配偶者」が43.5%で最も多く、次いで、「別居の子ども」が20.2%となっています。

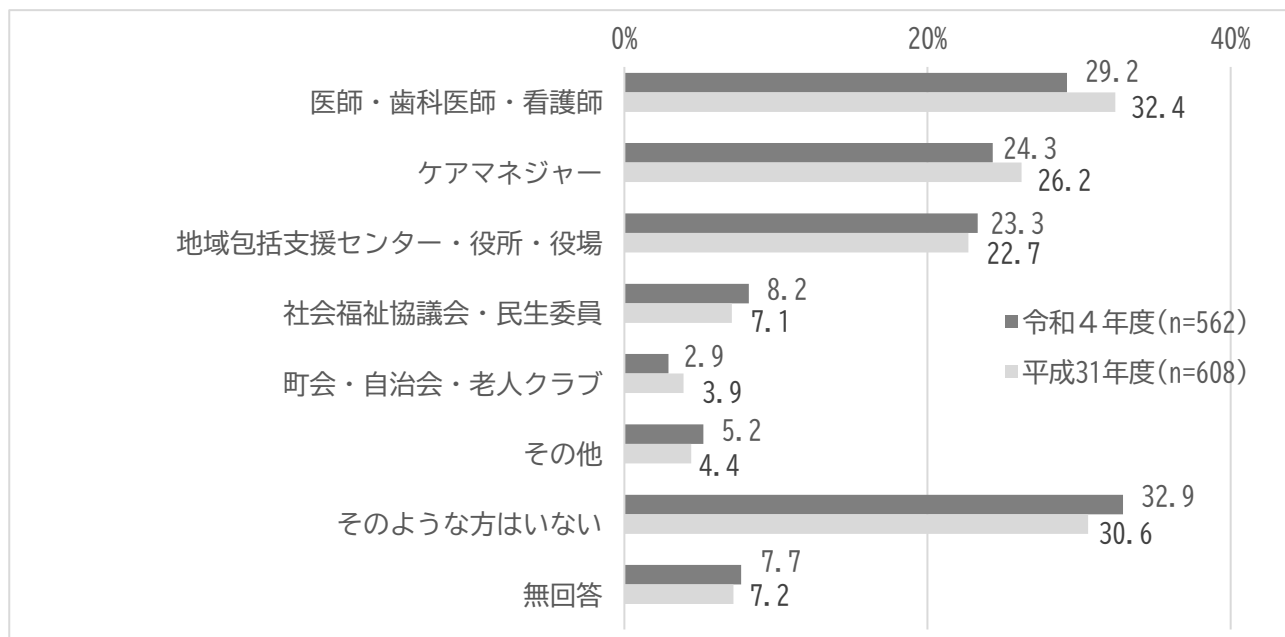


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	はそ い な い 方	そ の 他	近 隣	友 人	兄 弟 姉 妹 ・ 親 戚 ・ 孫	同 居 の 子 ど も	別 居 の 子 ど も	配 偶 者
全体	562	9.7	23.6	2.0	3.0	10.6	15.2	17.9	20.2	43.5
男性	225	5.8	21.3	3.1	1.3	6.2	11.6	17.8	18.7	60.4
女性	334	12.3	25.1	1.2	4.2	13.5	17.7	18.0	21.3	32.0
あいとぴあエリア	158	11.4	25.9	1.3	1.9	7.6	11.4	16.5	16.5	38.6
こまえ苑エリア	175	8.6	21.7	2.3	2.9	10.3	20.0	21.7	20.0	46.9
こまえ正吉苑エリア	226	9.3	23.0	2.2	4.0	12.8	14.2	15.5	23.5	44.7
65～74歳	143	2.1	14.7	4.2	2.1	14.7	23.1	23.1	28.7	60.8
75～84歳	234	9.4	23.5	0.0	4.3	10.7	14.1	16.2	21.8	46.6
85歳以上	161	13.7	32.9	3.1	1.9	6.8	9.3	16.1	11.8	26.7
平成31年度	608	8.1	19.7	4.6	3.3	6.1	16.3	18.4	22.2	45.1

問6-5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(〇はいくつでも)

相談する相手は、「そのような方はいない」が32.9%で最も多く、次いで、「医師・歯科医師・看護師」が29.2%となっています。

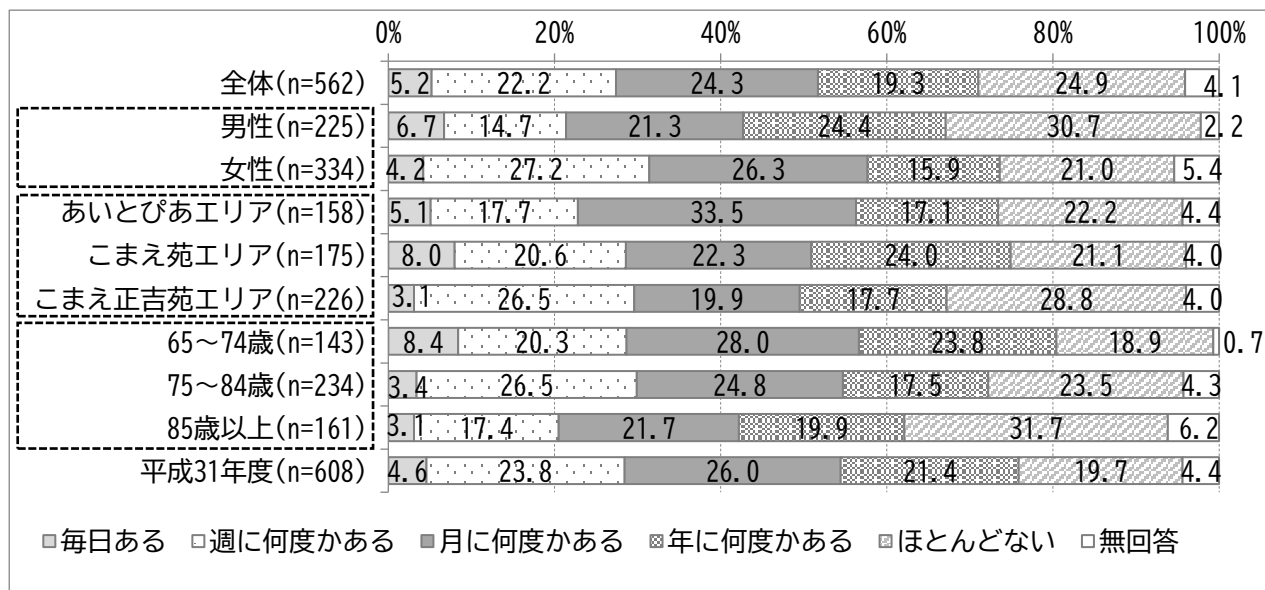


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	いそ ない な い よ う な 方 は	そ の 他	老 人 ク ラ ブ ・ 町 会 ・ 自 治 会 ・	社 会 福 祉 協 議 会 ・ 民 生 委 員	役 場 ・ 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー ・ 役 所 ・	ケ ア マ ネ ジ ャ ー	医 師 ・ 歯 科 医 師 ・ 看 護 師
全体	562	7.7	32.9	5.2	2.9	8.2	23.3	24.3	29.2
男性	225	5.3	38.2	6.7	2.2	8.4	20.4	15.1	33.3
女性	334	9.3	29.3	4.2	3.3	8.1	25.1	30.5	26.3
あいとぴあエリア	158	8.2	34.8	6.3	1.9	6.3	14.6	25.3	27.2
こまえ苑エリア	175	6.3	25.1	5.7	1.7	12.0	28.0	29.7	34.3
こまえ正吉苑エリア	226	8.4	38.1	4.0	4.0	6.6	25.7	19.0	26.5
65～74歳	143	1.4	51.0	6.3	2.1	3.5	18.9	6.3	28.7
75～84歳	234	10.7	30.8	6.0	3.0	8.1	22.6	26.1	25.6
85歳以上	161	7.5	20.5	3.1	3.1	13.7	29.8	39.1	34.8
平成31年度	608	7.2	30.6	4.4	3.9	7.1	22.7	26.2	32.4

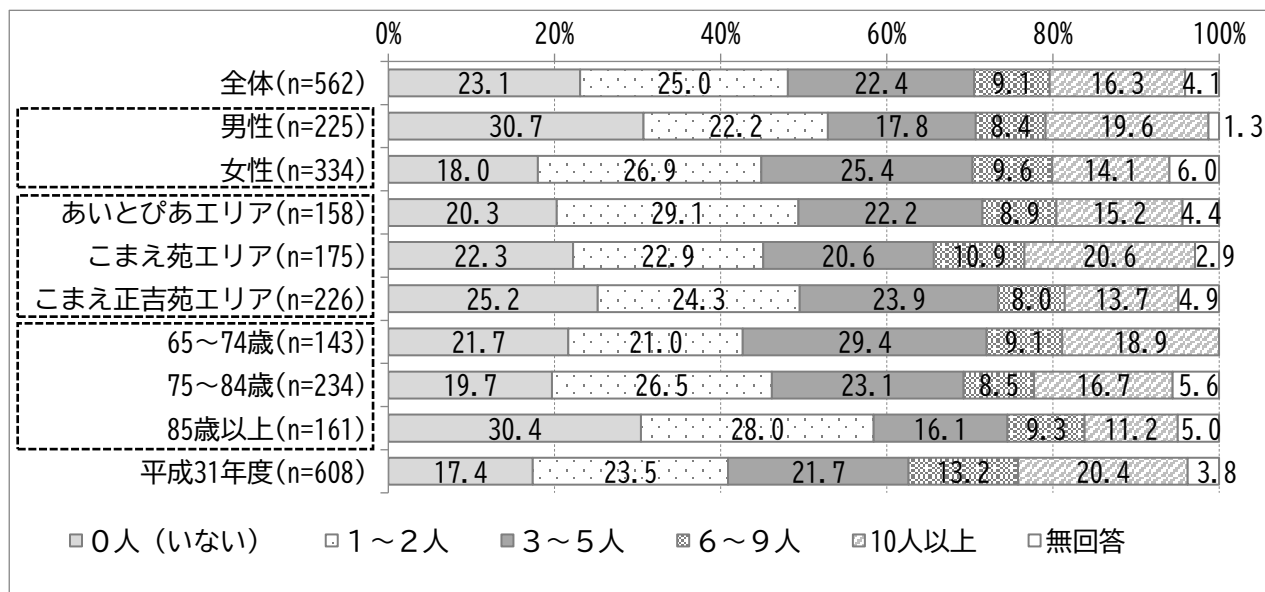
問6-6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

友人・知人と会う頻度は、「ほとんどない」が24.9%で最も多く、次いで、「月に何度かある」が24.3%となっています。



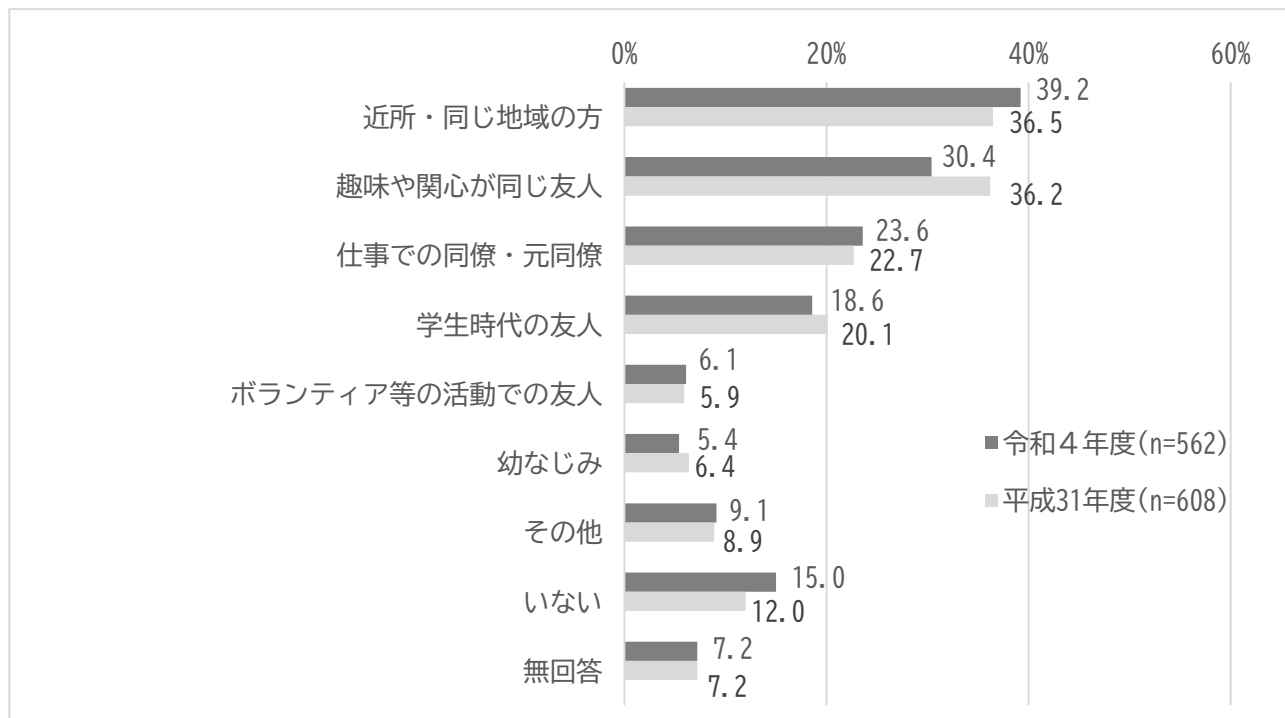
問6-7 この1箇月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ方には何度会っても1人と数えることとします。(○は1つ)

この1箇月間で会った友人・知人の数は、「1～2人」が25.0%で最も多く、次いで、「0人」が23.1%となっています。



問6-8 よく会う友人・知人はどんな関係の方ですか。(〇はいくつでも)

よく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の方」が39.2%で最も多く、次いで、「趣味や関心が同じ友人」が30.4%となっています。



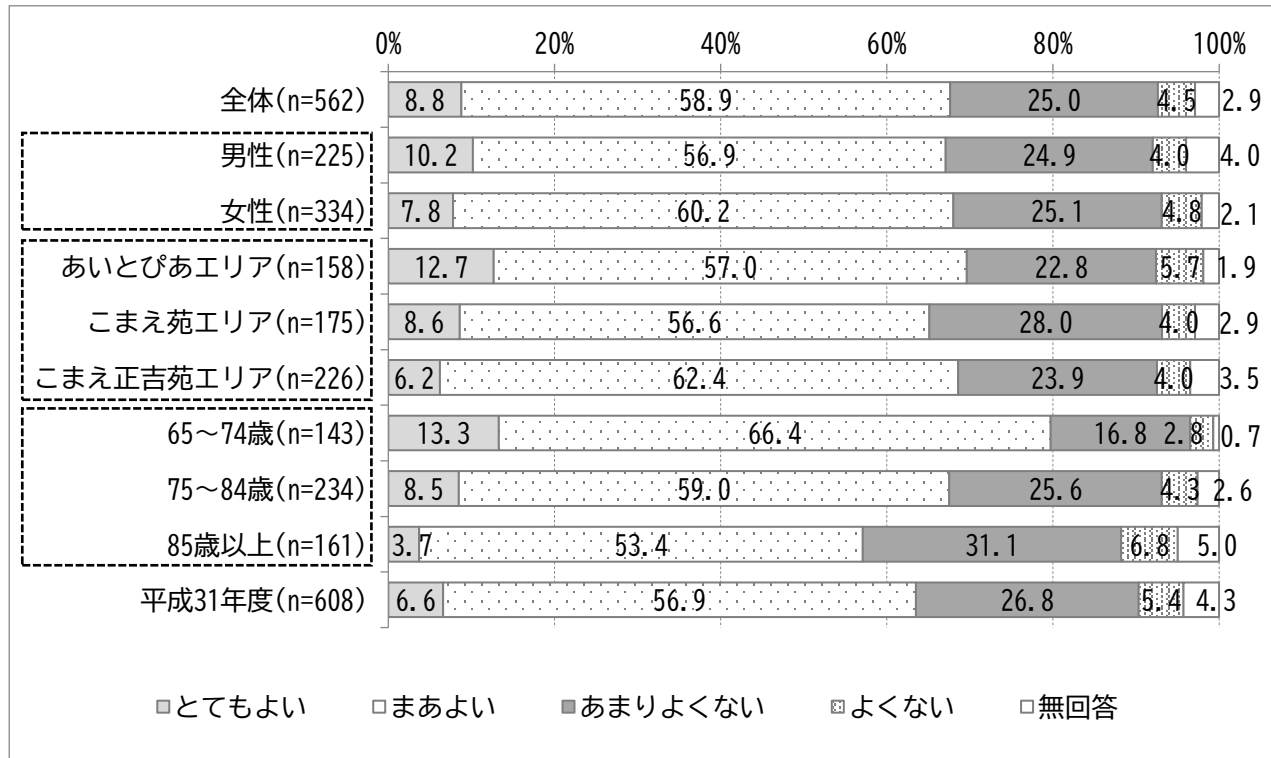
(単位：人、%)

区分	人数	無回答	いない	その他	幼なじみ	ボランティア等の活動での友人	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	近所・同じ地域の方
全体	562	7.2	15.0	9.1	5.4	6.1	18.6	23.6	30.4	39.2
男性	225	5.8	19.6	7.6	4.9	4.4	18.7	34.2	27.6	27.1
女性	334	8.1	12.0	10.2	5.7	7.2	18.6	16.5	32.3	47.3
あいとぴあエリア	158	8.2	14.6	8.9	7.0	5.7	19.6	23.4	34.8	35.4
こまえ苑エリア	175	7.4	9.7	10.3	6.9	6.3	22.3	25.1	29.7	40.6
こまえ正吉苑エリア	226	6.2	19.0	8.4	3.1	6.2	15.0	22.1	28.8	40.7
65～74歳	143	0.0	16.8	6.3	6.3	6.3	25.2	42.7	33.6	39.2
75～84歳	234	7.3	10.7	11.5	5.1	5.6	17.9	20.1	35.9	40.2
85歳以上	161	13.7	19.9	8.1	5.6	5.0	13.7	10.6	21.1	39.1
平成31年度	608	7.2	12.0	8.9	6.4	5.9	20.1	22.7	36.2	36.5

## H 健康について

問7 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

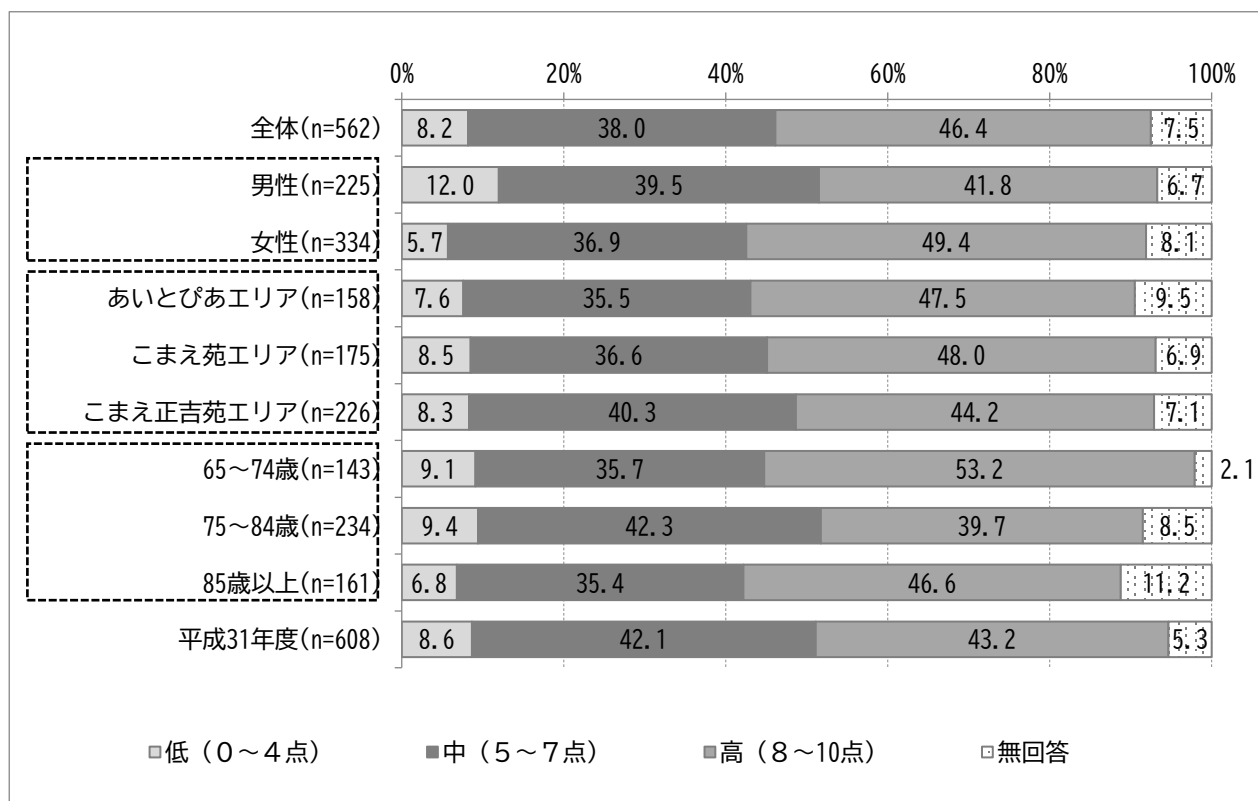
主観的健康観は、「まあよい」が58.9%で最も多く、次いで、「あまりよくない」が25.0%となっています。『よい』(「とてもよい」と「まあよい」との合計)は67.7%である一方、『よくない』(「あまりよくない」と「よくない」との合計)は29.5%となっています。



問7-2 あなたは、現在どの程度幸せですか。

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)(○は1つ)

主観的幸福感は、「8～10点」の幸福度高が46.4%で最も多く、次いで、「5～7点」の幸福感中が38.0%、「0～4点」の幸福感低が8.2%となっています。

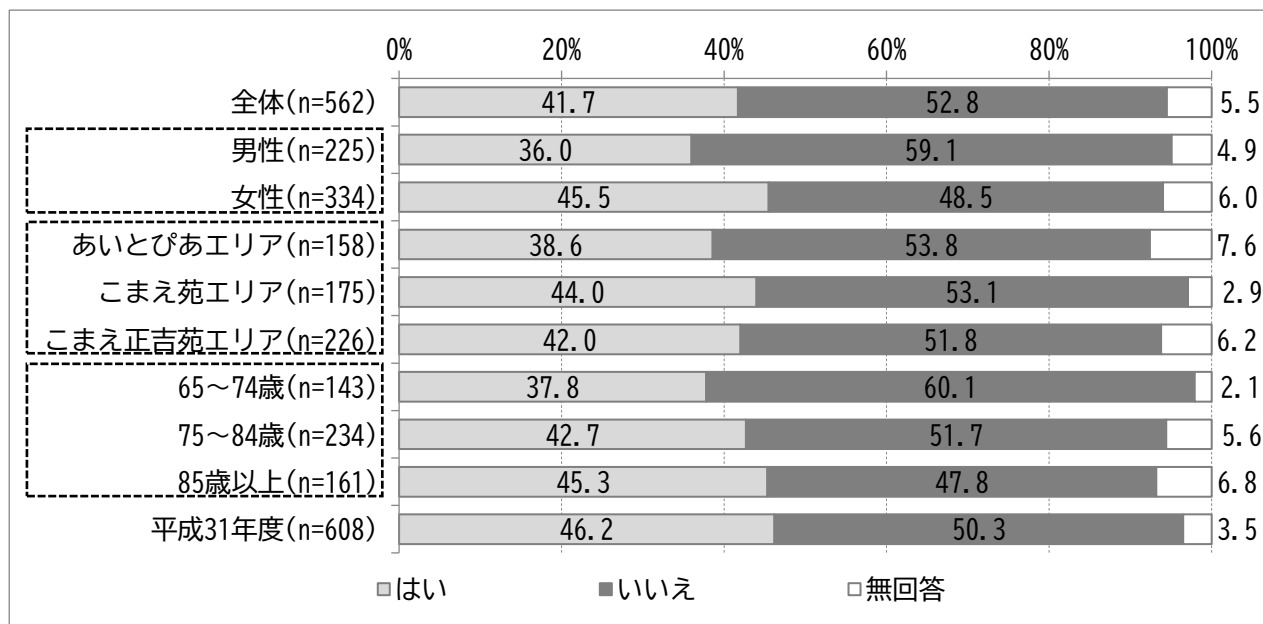


(単位：人、%)

区分	人数	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	562	1.1	0.5	0.9	1.6	4.1	16.5	7.5	14.0	22.9	11.3	12.2	7.5
男性	225	0.4	0.9	1.3	2.7	6.7	12.0	8.4	19.1	19.6	11.1	11.1	6.7
女性	334	1.5	0.3	0.6	0.9	2.4	19.5	6.9	10.5	25.1	11.4	12.9	8.1
あいとぴあエリア	158	0.6	0.0	1.3	1.3	4.4	14.6	10.1	10.8	22.8	8.9	15.8	9.5
こまえ苑エリア	175	1.1	1.1	0.6	2.3	3.4	16.6	6.9	13.1	26.3	12.6	9.1	6.9
こまえ正吉苑エリア	226	1.3	0.4	0.9	1.3	4.4	17.3	6.2	16.8	20.4	11.9	11.9	7.1
65～74歳	143	0.0	2.1	2.1	1.4	3.5	10.5	7.0	18.2	28.7	17.5	7.0	2.1
75～84歳	234	2.1	0.0	0.4	2.6	4.3	21.4	7.7	13.2	19.2	9.8	10.7	8.5
85歳以上	161	0.6	0.0	0.6	0.6	5.0	14.9	8.7	11.8	22.4	6.8	17.4	11.2
平成31年度	608	1.0	0.0	1.5	1.8	4.3	18.1	8.7	15.3	22.5	9.0	11.7	5.3

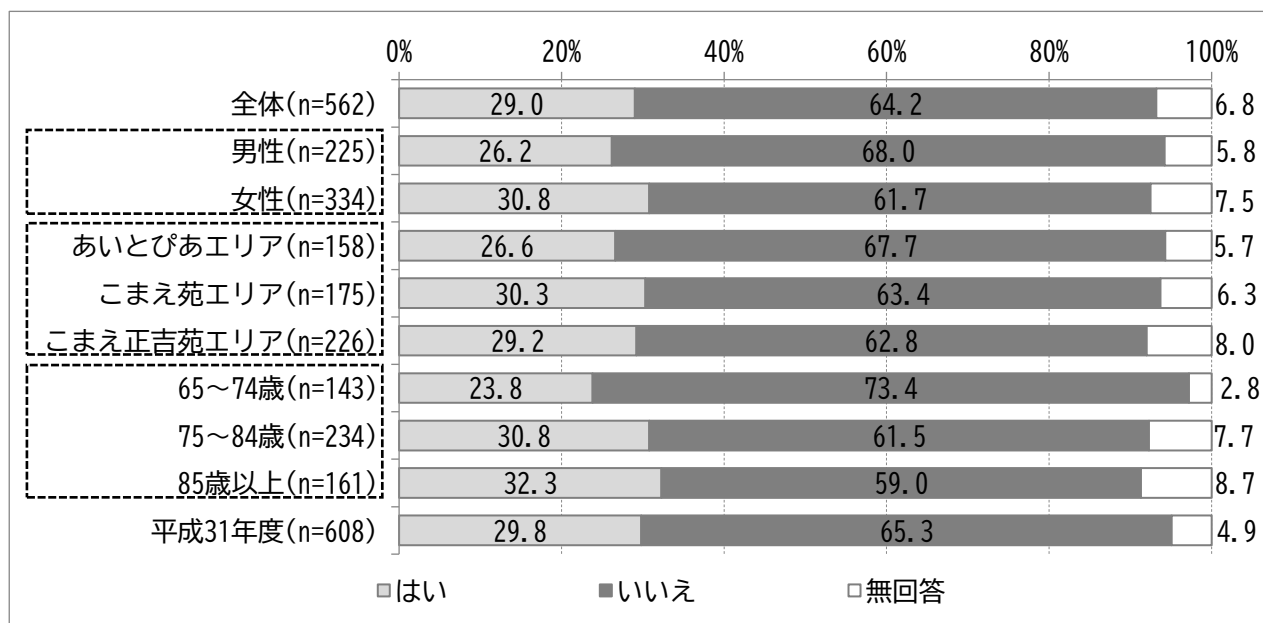
問7-3 この1箇月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることは、「いいえ」が52.8%で最も多く、次いで、「はい」が41.7%となっています。



問7-4 この1箇月間、どうしても物事に対して興味がわからない、又は心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

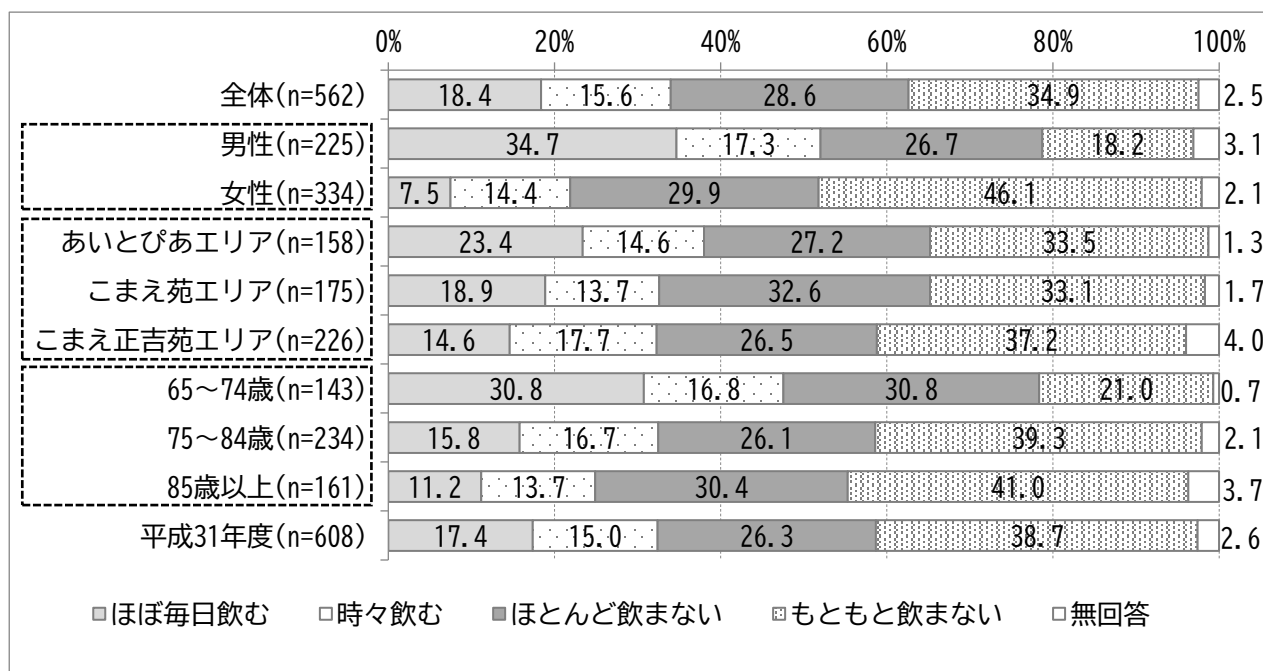
物事に対して興味がわからない等の経験の有無は、「いいえ」が64.2%で最も多く、次いで、「はい」が29.0%となっています。





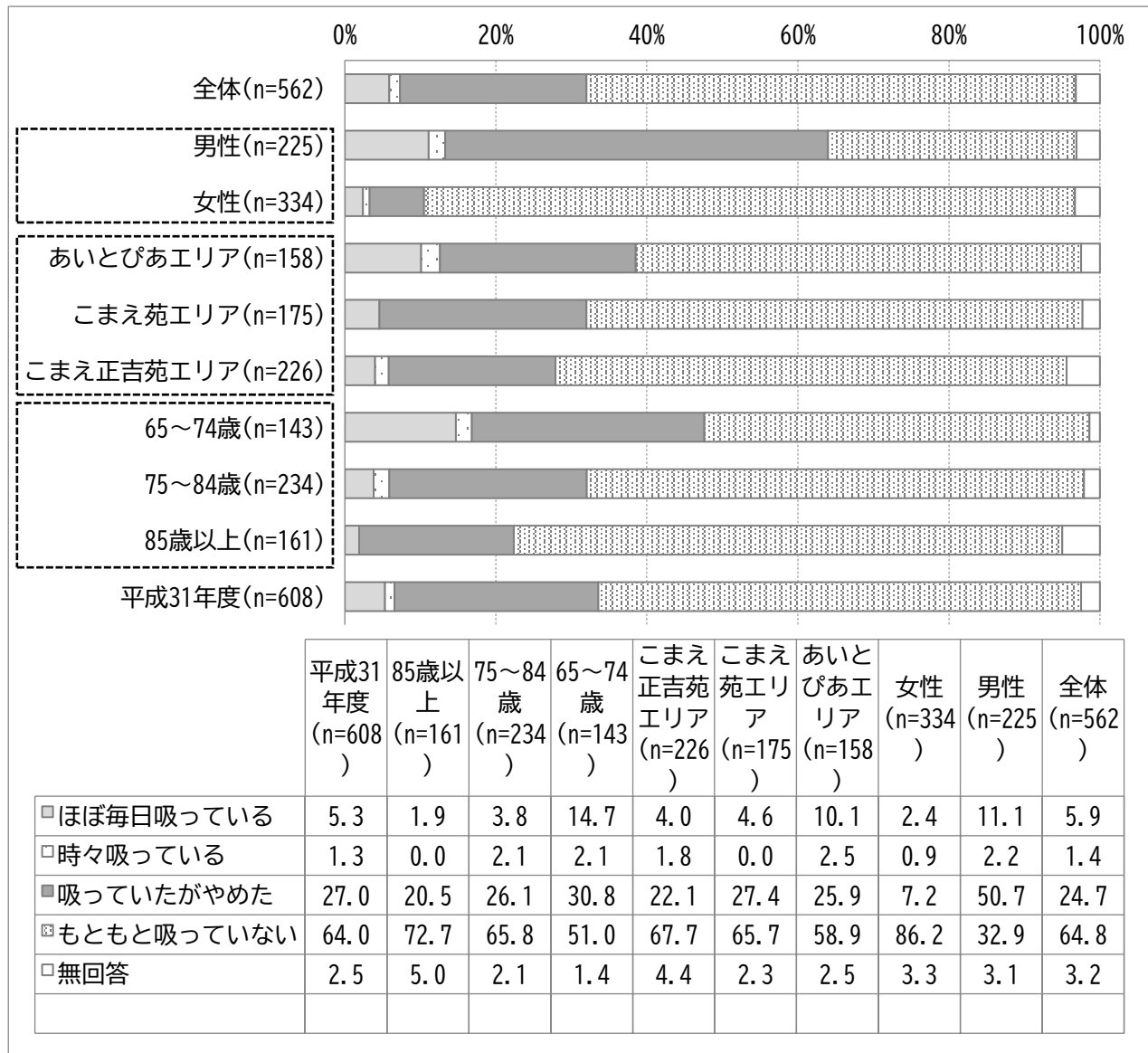
問7-5 お酒は飲みますか。(〇は1つ)

飲酒については、「もともと飲まない」が34.9%で最も多く、次いで、「ほとんど飲まない」が28.6%となっています。



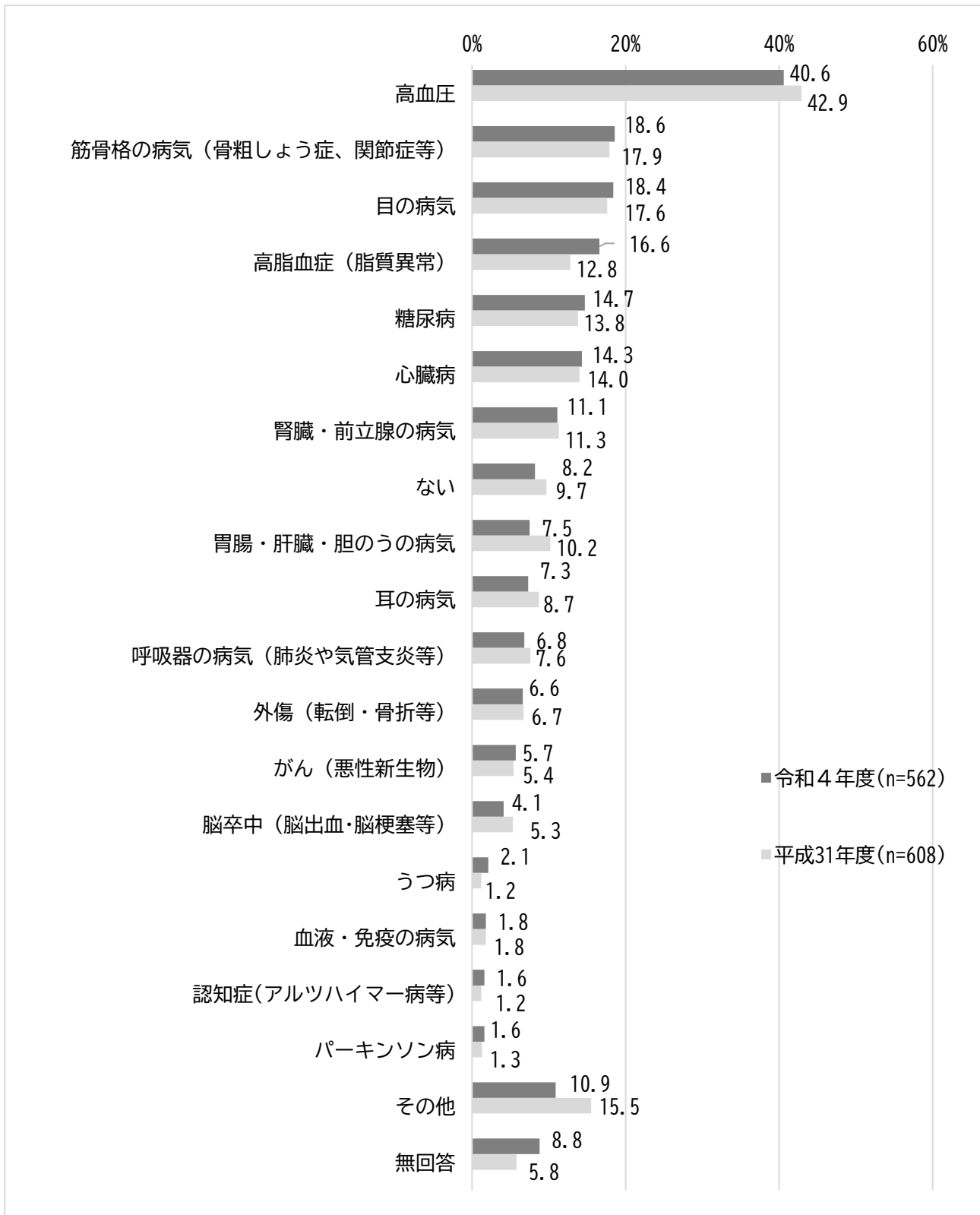
問7-6 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

喫煙経験は、「もともと吸っていない」が64.8%で最も多く、次いで、「吸っていたが、やめた」が24.7%となっています。



問 7-7 現在治療中又は後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

治療中又は後遺症のある病気については、「高血圧」が40.6%で最も多く、次いで、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が18.6%となっています。

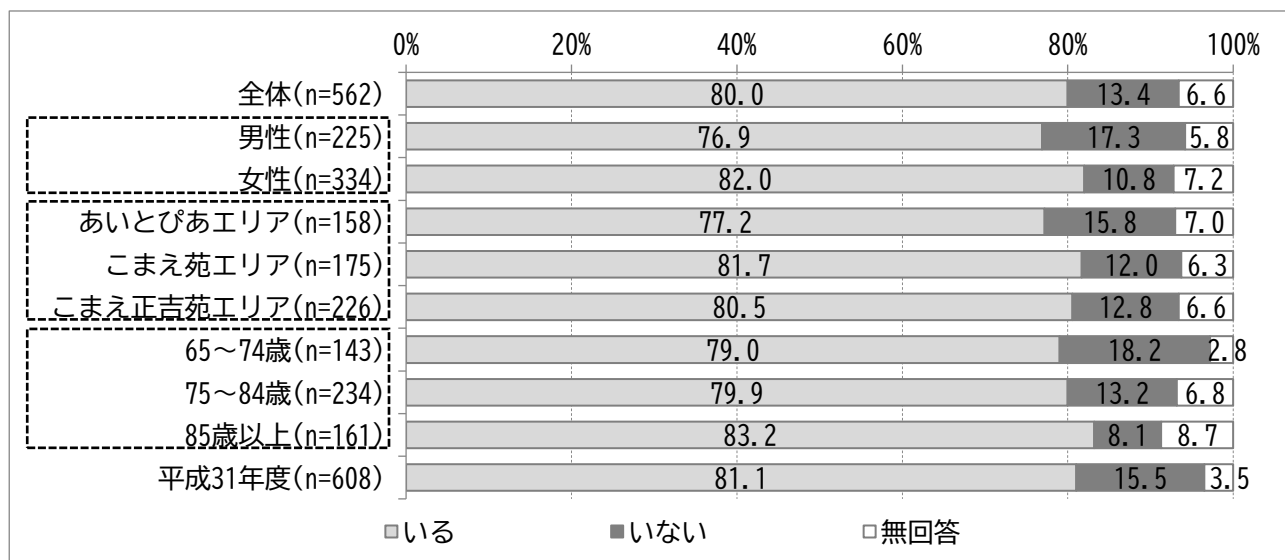


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	その他	パーキンソン病	認知症(アルツハイマー病等)	血液・免疫の病気	うつ病	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	がん(悪性新生物)	外傷(転倒・骨折等)	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	耳の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	ない	腎臓・前立腺の病気	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	目の病気	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	高血圧
全体	562	8.8	10.9	1.6	1.6	1.8	2.1	4.1	5.7	6.6	6.8	7.3	7.5	8.2	11.1	14.3	14.7	16.6	18.4	18.6	40.6
男性	225	6.7	11.1	2.7	1.8	0.9	1.3	5.3	9.3	1.8	8.0	5.3	9.3	11.6	22.2	19.1	19.6	12.0	14.2	4.4	39.1
女性	334	10.2	10.8	0.9	1.5	2.4	2.7	3.3	3.3	9.9	6.0	8.7	6.3	6.0	3.6	11.1	11.4	19.8	21.3	28.1	41.6
あいとぴあエリア	158	10.1	8.2	3.8	1.9	1.3	1.3	4.4	7.0	9.5	7.6	7.0	5.1	8.9	12.0	17.1	10.1	15.2	15.8	14.6	34.8
こまえ苑エリア	175	6.3	13.1	0.6	1.7	4.0	1.7	2.9	5.1	4.6	7.4	8.0	8.0	9.1	12.0	16.0	17.7	15.4	17.7	20.6	46.3
こまえ正吉苑エリア	226	9.7	11.1	0.9	1.3	0.4	3.1	4.9	5.3	6.2	5.8	7.1	8.8	7.1	9.7	11.1	15.5	18.6	20.8	19.9	40.3
65～74歳	143	6.3	11.9	2.8	0.0	0.7	2.8	6.3	4.9	2.8	3.5	4.9	4.9	16.1	7.0	8.4	16.8	20.3	13.3	3.5	32.9
75～84歳	234	10.7	10.3	1.3	2.1	2.1	3.0	4.3	8.1	5.6	8.5	5.1	6.8	4.3	14.1	15.4	16.7	16.2	18.4	22.6	43.6
85歳以上	161	6.2	11.2	1.2	2.5	1.9	0.6	2.5	3.1	11.2	7.5	13.0	11.8	6.2	11.2	17.4	9.3	15.5	22.4	28.0	45.3
平成31年度	608	5.8	15.5	1.3	1.2	1.8	1.2	5.3	5.4	6.7	7.6	8.7	10.2	9.7	11.3	14.0	13.8	12.8	17.6	17.9	42.9

問7(8) あなたは、信頼できるかかりつけ医はいますか。(○は1つ)

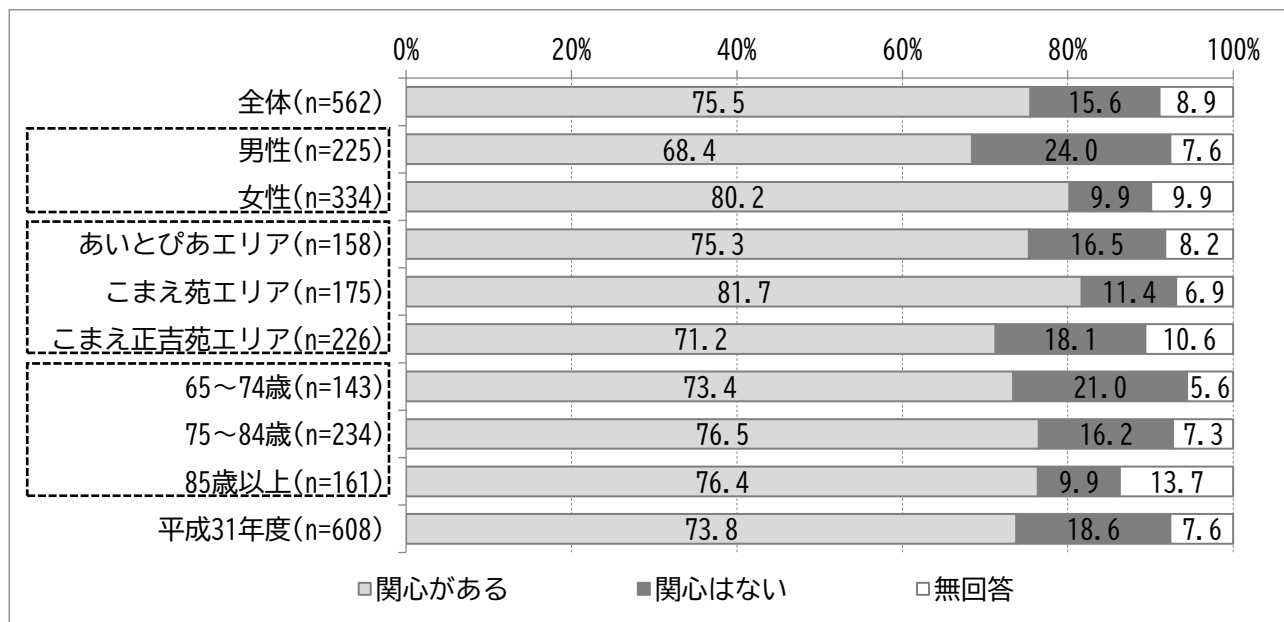
かかりつけ医の有無は、「いる」が80.0%で最も多く、次いで、「いない」が13.4%となっています。



## I 介護予防について

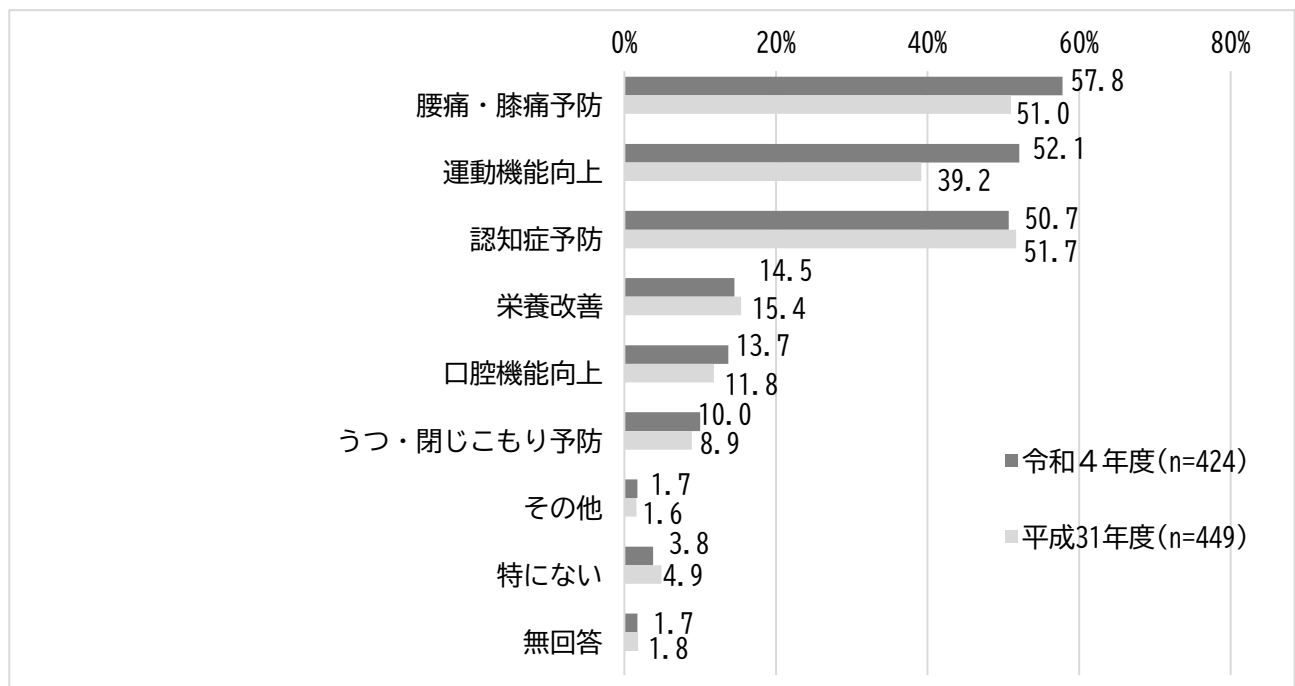
問8 介護予防について、関心がありますか。(○は1つ)

介護予防への関心度については、「関心がある」が75.5%で最も多く、次いで、「関心はない」が15.6%となっています。



問8-2 【問8で「1 関心がある」方と回答した方にお伺いします。】介護予防について、どんなことに関心がありますか。(〇はいくつでも)

関心があるものについては、「腰痛・膝痛予防」が57.8%で最も多く、次いで、「運動機能向上」が52.1%となっています。

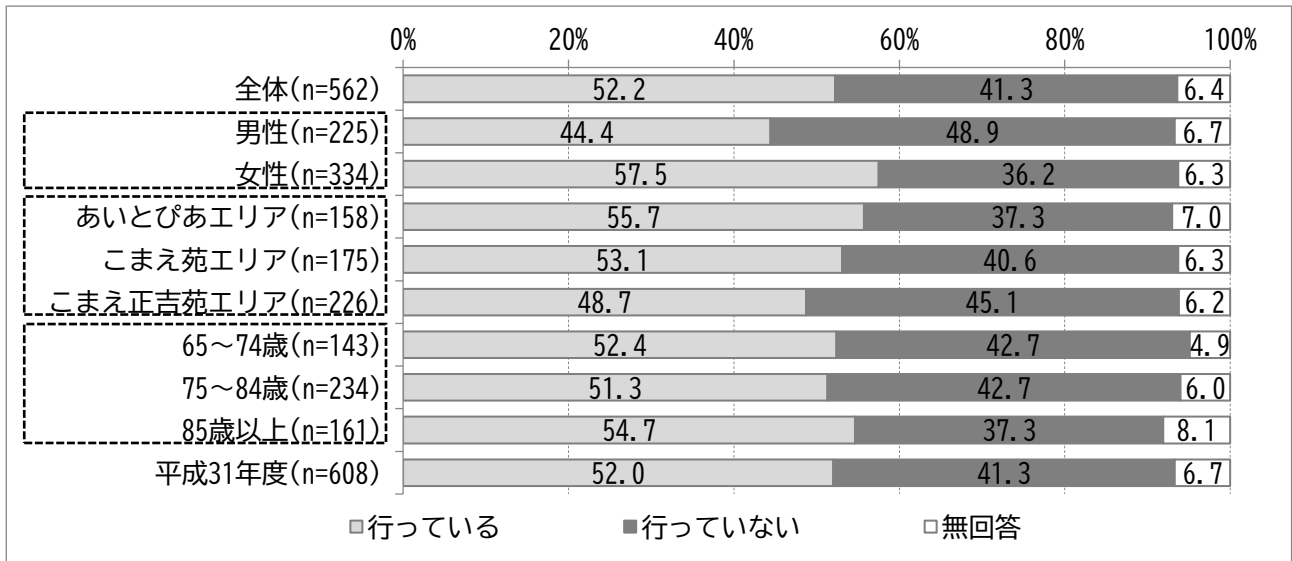


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	特にない	その他	うつ・閉じこもり予防	口腔機能向上	栄養改善	認知症予防	運動機能向上	腰痛・膝痛予防
全体	424	1.7	3.8	1.7	10.0	13.7	14.5	50.7	52.1	57.8
男性	154	0.6	7.1	0.6	7.8	13.6	16.9	50.6	51.9	48.7
女性	268	2.2	1.9	2.2	11.2	13.8	13.1	50.7	52.2	63.1
あいとぴあエリア	119	1.7	4.2	1.7	6.7	11.8	12.6	48.7	52.9	58.0
こまえ苑エリア	143	3.5	5.6	1.4	9.8	15.4	16.8	53.1	46.2	60.8
こまえ正吉苑エリア	161	0.0	1.9	1.9	12.4	13.7	13.7	49.7	57.1	55.3
65～74歳	105	0.0	3.8	0.0	7.6	17.1	20.0	62.9	53.3	51.4
75～84歳	179	1.7	2.2	1.1	10.6	12.8	13.4	51.4	52.5	62.0
85歳以上	123	2.4	6.5	4.1	11.4	13.0	11.4	40.7	52.0	59.3
平成31年度	449	1.8	4.9	1.6	8.9	11.8	15.4	51.7	39.2	51.0

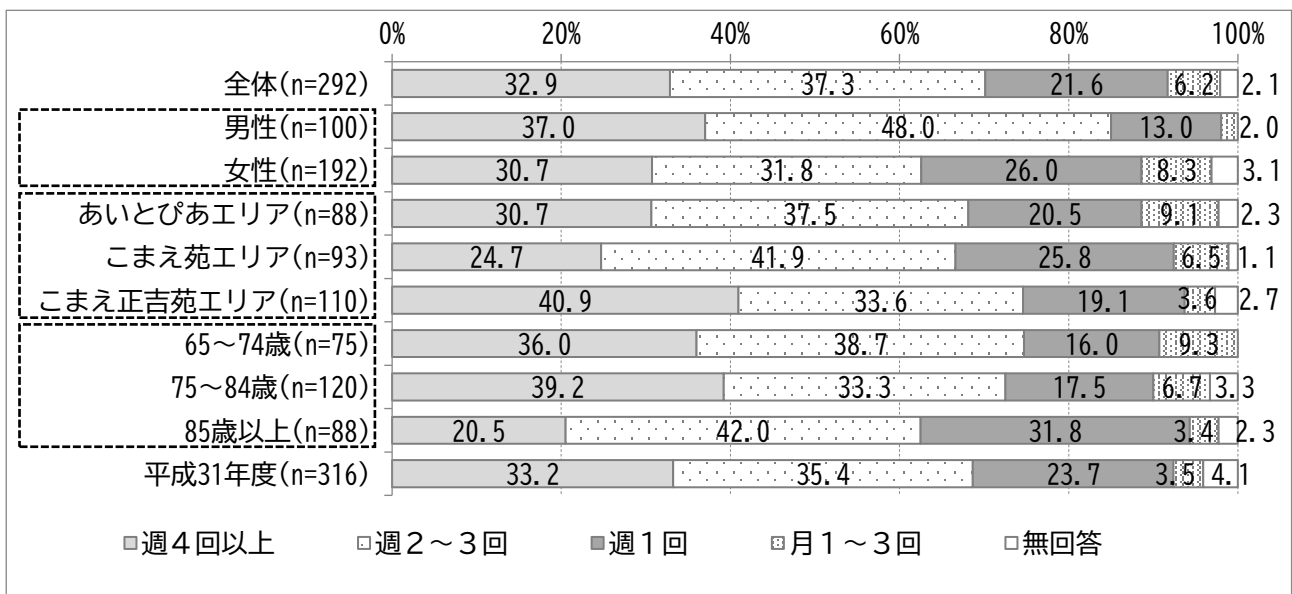
問8-3 介護予防を意識した運動を行っていますか。(○は1つ)

介護予防を意識した運動については、「行っている」が52.2%、「行っていない」が41.3%となっています。



問8-3-2 【問8-3で「1 行っている」(運動をしている)と回答した方にお伺いします。】どれくらいの頻度で運動を行っていますか。(○は1つ)

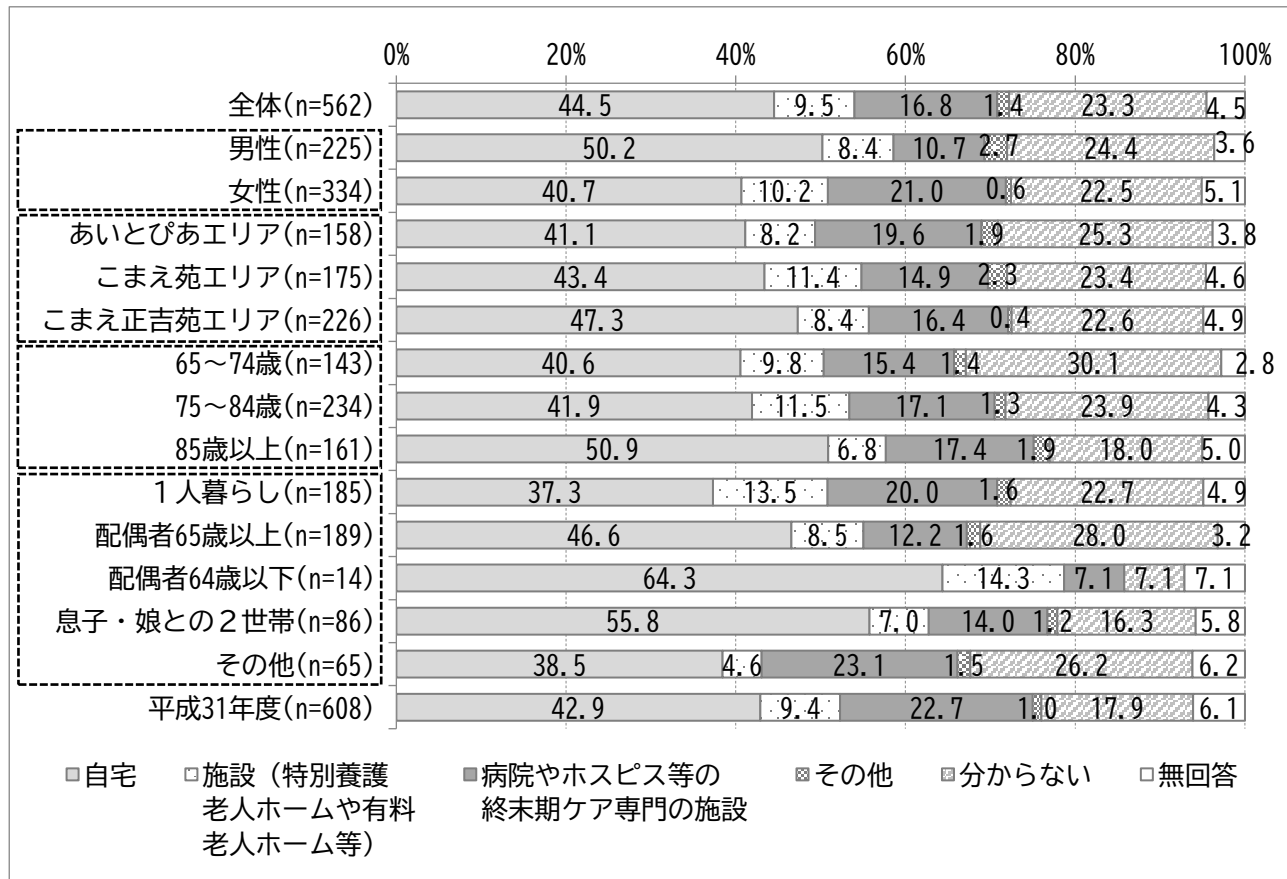
運動頻度は、「週2～3回」が37.3%で最も多く、次いで、「週4回以上」が32.9%となっています。



J 終末期ケアや終活について

問9 あなたは、ご自分の人生の最終段階が近づいたとき（いわゆる看取りの時期）をどこで過ごしたいと考えていますか。（〇は1つ）

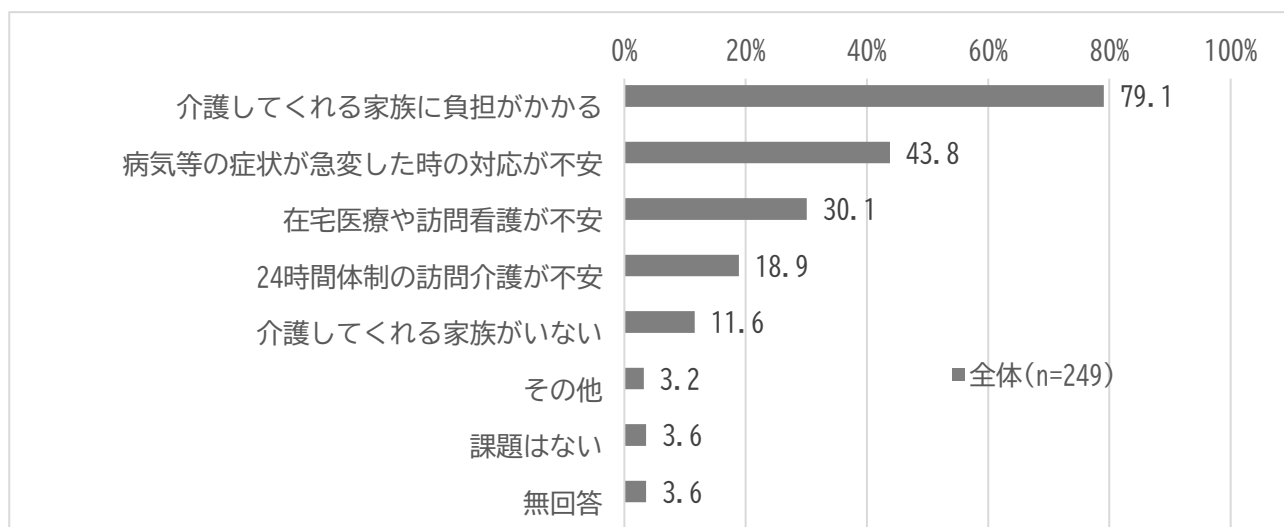
看取りの時期に過ごしたい場所は、「自宅」が44.5%で最も多く、次いで、「分からない」が23.3%となっています。





問9-2 【(1)で「1 自宅」と回答した方にお伺いします。】自宅で最期まで過ごしたいと思ったときに、課題と思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

課題と思うことは、「介護してくれる家族に負担がかかる」が79.1%で最も多く、次いで、「病気等の症状が急変した時の対応が不安」が43.8%となっています。



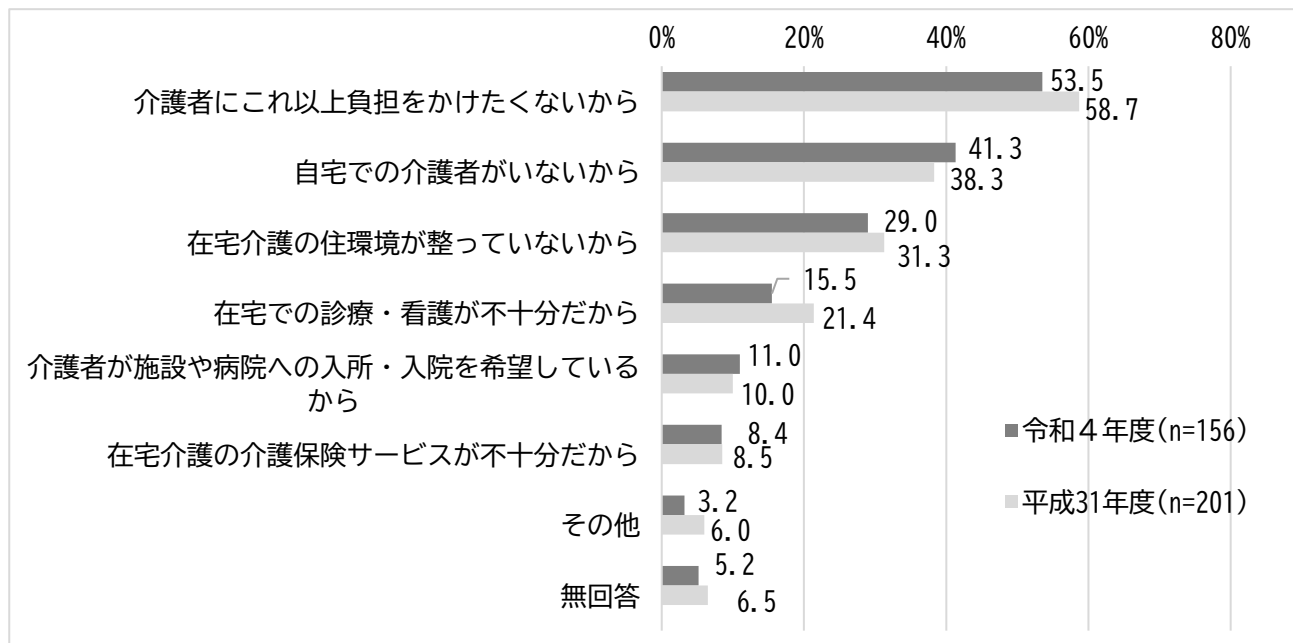
※前回の設問の選択肢が違うため比較はしていません。

(単位：人、%)

区分	人数	無回答	課題はない	その他	介護してくれる家族がない	24時間体制の訪問介護が不安	在宅医療や訪問看護が不安	病気等の症状が急変した時の対応が不安	介護してくれる家族に負担がかかる
全体	249	3.6	3.6	3.2	11.6	18.9	30.1	43.8	79.1
男性	113	1.8	3.5	0.9	8.8	21.2	31.0	37.2	80.5
女性	136	5.1	3.7	5.1	14.0	16.9	29.4	49.3	77.9
あいとぴあエリア	65	0.0	1.5	1.5	15.4	13.8	29.2	44.6	86.2
こまえ苑エリア	76	0.0	5.3	3.9	14.5	23.7	32.9	52.6	72.4
こまえ正吉苑エリア	107	8.4	3.7	3.7	7.5	17.8	29.0	37.4	79.4
65～74歳	58	0.0	3.4	0.0	10.3	19.0	29.3	37.9	79.3
75～84歳	98	7.1	3.1	4.1	11.2	18.4	25.5	41.8	74.5
85歳以上	82	1.2	3.7	4.9	12.2	22.0	37.8	52.4	84.1
1人暮らし	69	4.3	2.9	5.8	31.9	18.8	30.4	49.3	58.0
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	88	4.5	3.4	1.1	6.8	19.3	34.1	39.8	86.4
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	9	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	88.9
息子・娘との2世帯	48	2.1	6.3	0.0	0.0	22.9	31.3	47.9	91.7
その他	25	0.0	4.0	0.0	4.0	16.0	28.0	40.0	88.0

問9-3 【(1)で「2 施設（特別養護老人ホームや有料老人ホーム等）」、「3 病院やホスピス等の終末期ケア専門の施設」又は「4 その他」のいずれかを回答した方にお伺いします。】自宅以外で看取りの時期を過ごしたいと考える理由は何ですか。(〇はいくつでも)

自宅以外で看取りの時期を過ごしたいと考える理由は、「介護者にこれ以上負担をかけたくないから」が53.5%で最も多く、次いで、「自宅での介護者がいないから」が41.3%となっています。

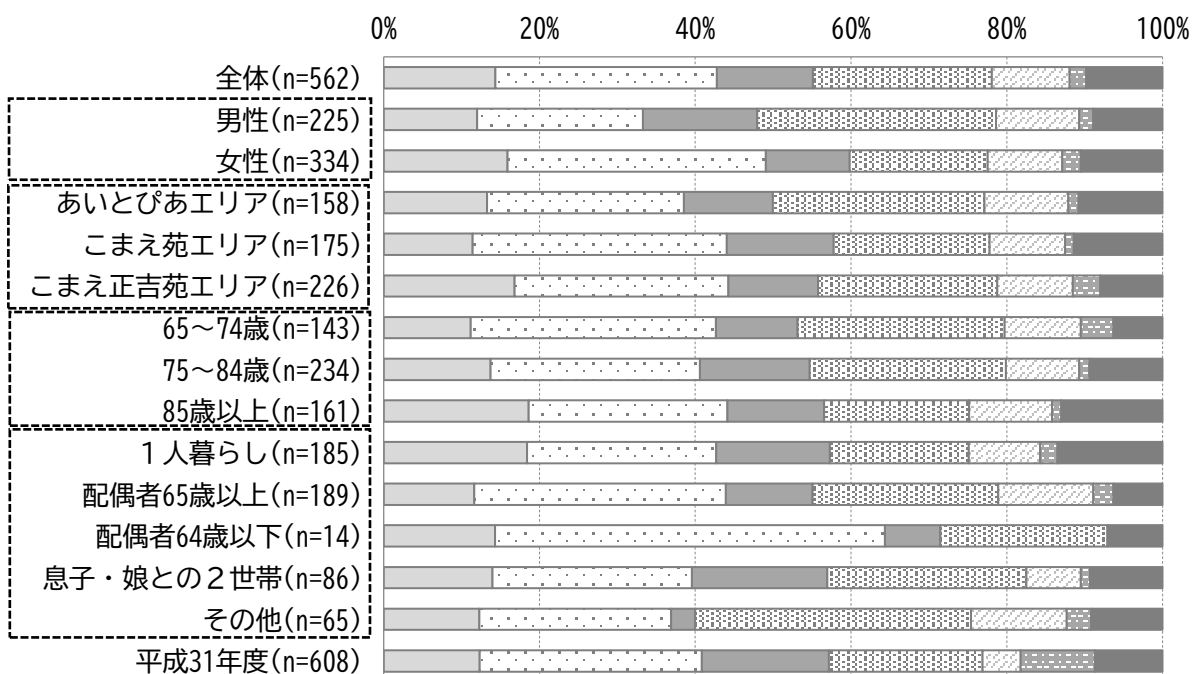


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	その他	在宅介護の介護保険サービスが不十分だから	介護者が施設や病院への入所・入院を希望しているから	在宅での診療・看護が不十分だから	自宅での介護者がいないから	介護者にこれ以上負担をかけたくないから	在宅介護の住環境が整っていないから
全体	156	5.2	3.2	8.4	11.0	15.5	41.3	53.5	29.0
男性	49	8.2	4.1	6.1	10.2	18.4	26.5	61.2	34.7
女性	106	3.8	2.8	9.4	11.3	14.2	48.1	50.0	26.4
あいとぴあエリア	47	10.6	2.1	10.6	17.0	17.0	46.8	42.6	29.8
こまえ苑エリア	50	0.0	8.0	8.0	6.0	24.0	36.0	54.0	30.0
こまえ正吉苑エリア	57	5.3	0.0	7.0	10.5	7.0	42.1	61.4	28.1
65～74歳	38	7.9	2.6	2.6	10.5	7.9	39.5	47.4	28.9
75～84歳	70	4.3	5.7	14.3	12.9	17.1	40.0	54.3	28.6
85歳以上	42	4.8	0.0	4.8	9.5	21.4	47.6	57.1	28.6
1人暮らし	65	6.2	1.5	10.8	6.2	16.9	72.3	30.8	21.5
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	42	4.8	4.8	4.8	16.7	16.7	26.2	69.0	26.2
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0
息子・娘との2世帯	19	0.0	5.3	15.8	15.8	15.8	15.8	84.2	47.4
その他	19	10.5	0.0	0.0	10.5	5.3	10.5	63.2	42.1
平成31年度	201	6.5	6.0	8.5	10.0	21.4	38.3	58.7	31.3

問9-4 あなたは、ご自分の人生の最終段階が近づいたときに、どこでどのように過ごしたいか、また医療や介護への希望や経済的なことへの考えなどを周りの方に伝える、いわゆるエンディングノートなどを利用した「終活」について考えたり、実際に進められたりしていますか。(〇は1つ)

終活について考えたことがあるかについては、「これから終活を進めたい」が28.4%で最も多く、次いで、「終活は特に考えていない」が22.9%となっています。

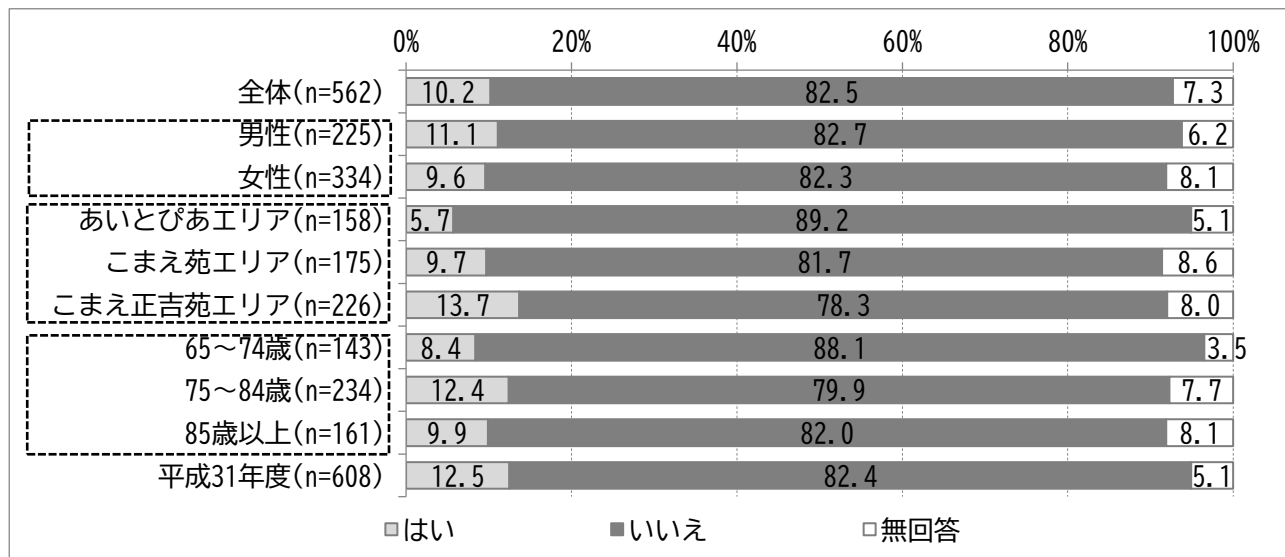


	平成31年度 (n=608)	その他 (n=65)	息子・娘との2世帯 (n=86)	配偶者64歳以下 (n=14)	配偶者65歳以上 (n=189)	1人暮らし (n=185)	85歳以上 (n=161)	75~84歳 (n=234)	65~74歳 (n=143)	こまえ正吉苑エリア (n=226)	こまえ苑エリア (n=175)	あいとぴあエリア (n=158)	女性 (n=334)	男性 (n=225)	全体 (n=562)
既に進んでいる	12.3	12.3	14.0	14.3	11.6	18.4	18.6	13.7	11.2	16.8	11.4	13.3	15.9	12.0	14.3
これから終活を進めたい	28.5	24.6	25.6	50.0	32.3	24.3	25.5	26.9	31.5	27.4	32.6	25.3	33.2	21.3	28.4
今回終活を知ったので、これから検討したい	16.3	3.1	17.4	7.1	11.1	14.6	12.4	14.1	10.5	11.5	13.7	11.4	10.8	14.7	12.3
終活は特に考えていない	19.7	35.4	25.6	21.4	23.8	17.8	18.6	25.2	26.6	23.0	20.0	27.2	17.7	30.7	22.9
分からない	4.9	12.3	7.0	0.0	12.2	9.2	10.6	9.4	9.8	9.7	9.7	10.8	9.6	10.7	10.0
その他	9.5	3.1	1.2	0.0	2.6	2.2	1.2	1.3	4.2	3.5	1.1	1.3	2.4	1.8	2.1
無回答	8.7	9.2	9.3	7.1	6.3	13.5	13.0	9.4	6.3	8.0	11.4	10.8	10.5	8.9	9.8

## K 認知症にかかる相談窓口の把握について

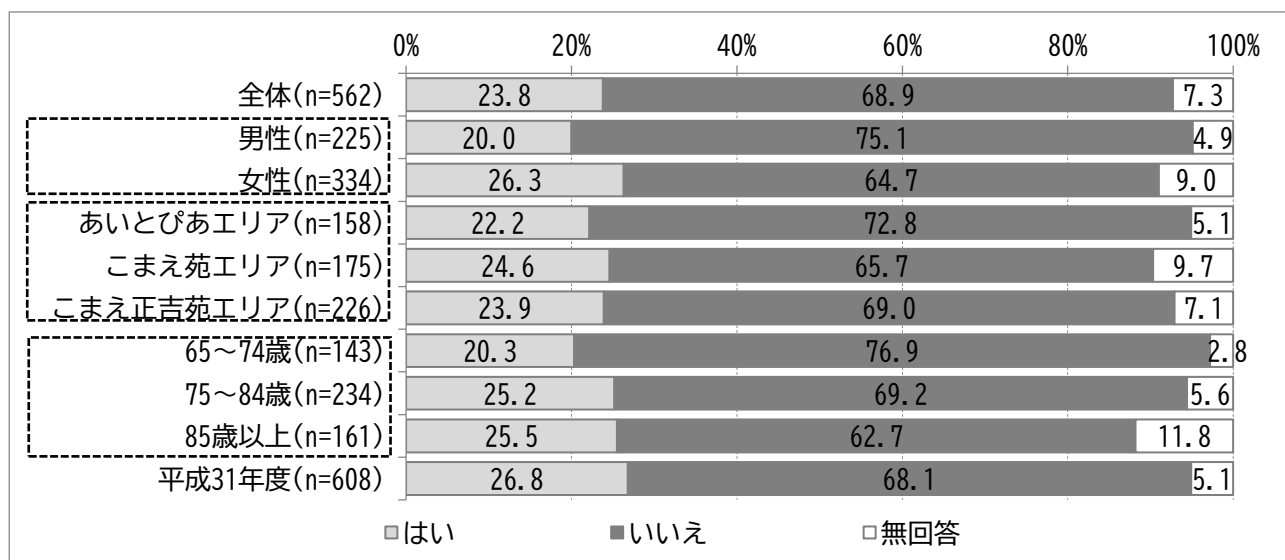
問 10 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある方がいますか。(○は1つ)

ご自身又はご家族の認知症の症状の有無については、「いいえ」が 82.5%で最も多く、次いで、「はい」が 10.2%となっています。



問 10-2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

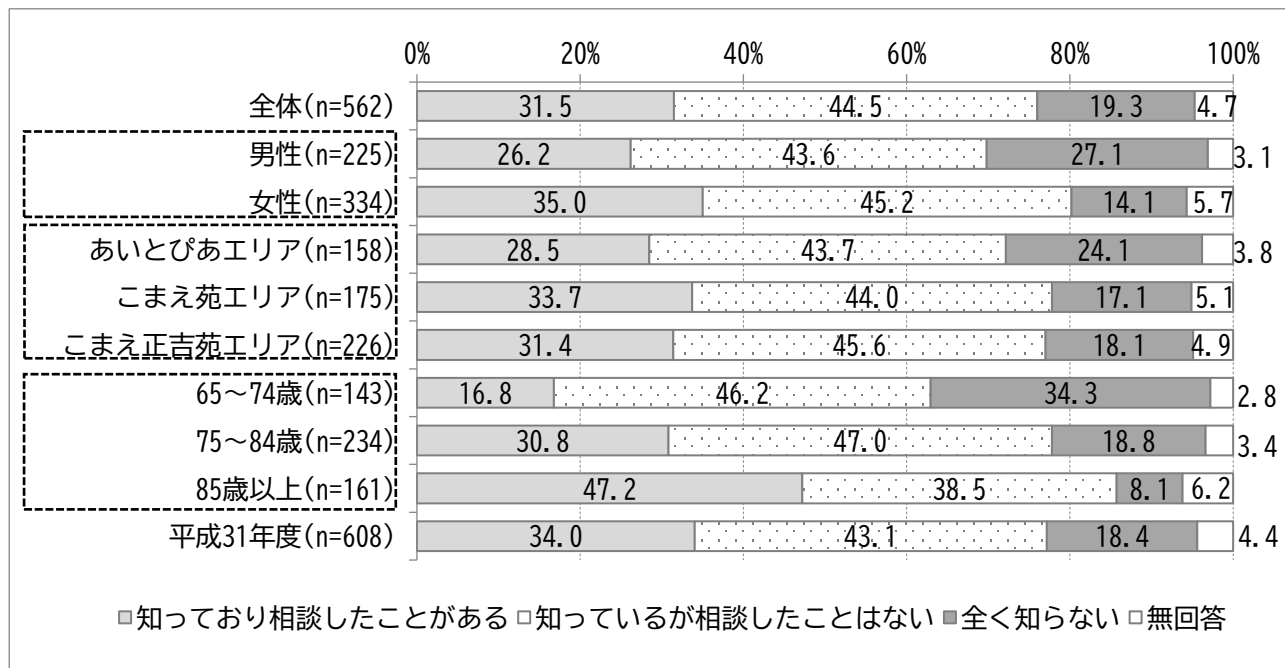
認知症に関する相談窓口の認知度については、「いいえ」が 68.9%で最も多く、次いで、「はい」が 23.8%となっています。



L 福祉施策について

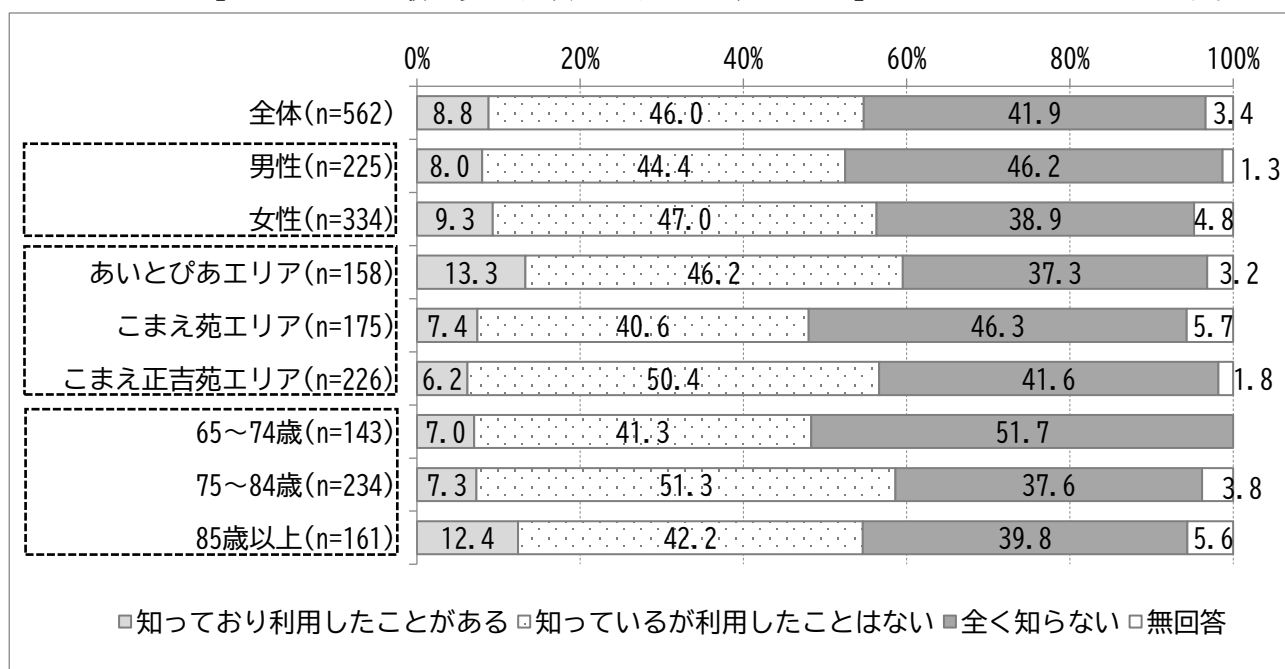
問 11 最寄りの地域包括支援センター（あいとぴあセンター・こまえ正吉苑・こまえ苑）が、高齢者介護等に関する相談窓口となっていることを知っていますか。（○は1つ）

相談窓口としての地域包括支援センターの認知度は、「知っているが相談したことはない」が44.5%で最も多く、次いで、「知っており相談したことがある」が31.5%となっています。



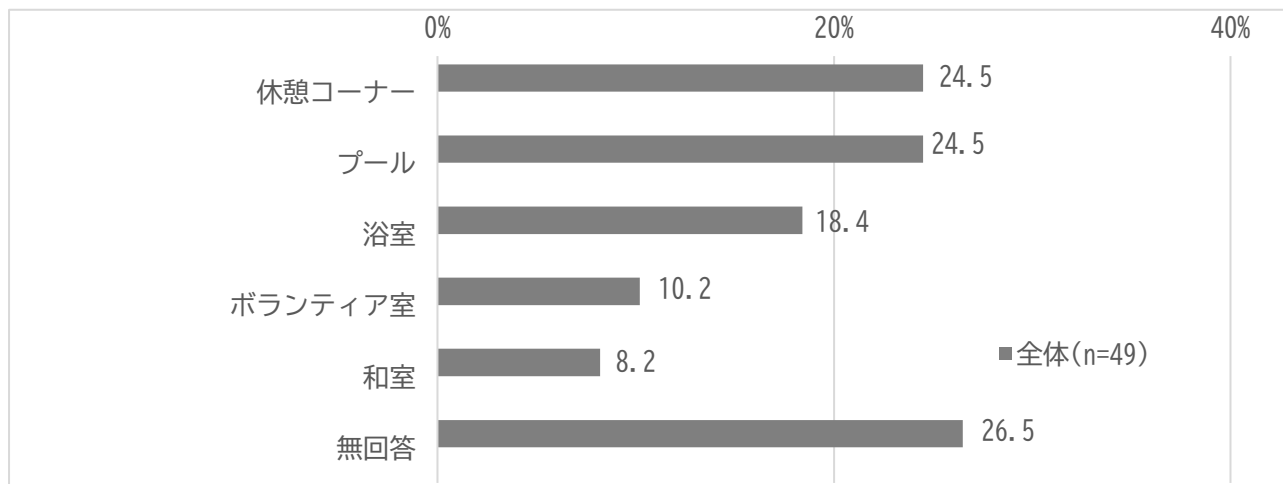
問 11-2 老人福祉センター（あいとぴあセンター地下）を知っていますか。（○は1つ）

老人福祉センター（あいとぴあセンター地下）を知っているかについては、「知っているが利用したことはない」が46.0%で最も多く、次いで、「全く知らない」が41.9%となっています。



問 11-2-3 【(2)で「1 知っており利用したことがある」と回答した方にお伺いします。】老人福祉センターのどの施設を利用したことがありますか。(〇はいくつでも)

老人福祉センターのどの施設を利用したかについては、「無回答」が 26.5%で最も多く、次いで、「休憩コーナー」が 24.5%となっています。

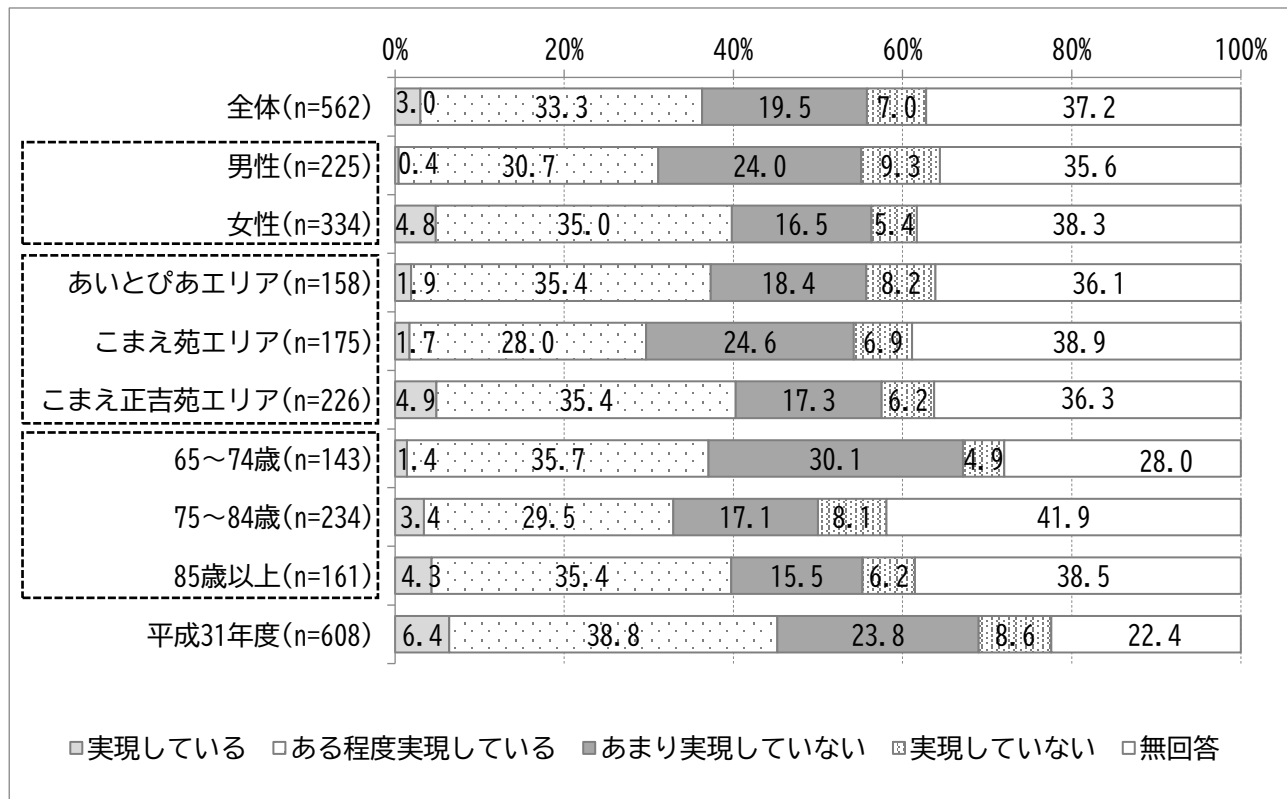


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	和室	ボランティア室	浴室	プール	休憩コーナー
全体	49	26.5	8.2	10.2	18.4	24.5	24.5
男性	18	22.2	11.1	16.7	22.2	16.7	27.8
女性	31	29.0	6.5	6.5	16.1	29.0	22.6
あいとぴあエリア	21	23.8	19.0	9.5	9.5	28.6	23.8
こまえ苑エリア	13	46.2	0.0	7.7	15.4	7.7	38.5
こまえ正吉苑エリア	14	14.3	0.0	14.3	35.7	28.6	14.3
65～74 歳	10	20.0	10.0	0.0	20.0	10.0	40.0
75～84 歳	17	29.4	5.9	17.6	23.5	17.6	23.5
85 歳以上	20	25.0	5.0	10.0	15.0	40.0	20.0

問 11-4 市では、地域福祉、高齢者福祉、障がい者福祉の計画として「あいとぴあ レインボープラン」を策定し、高齢者保健福祉計画では、「みんなで支え合いながら、自分らしく健康に暮らしつづけられるまち ～あいとぴあ粕江～」を基本理念としています。あなたは、本市において、この基本理念がどの程度、実現していると思いますか。(〇は1つ)

基本理念の実現状況については、「無回答」が37.2%で最も多く、次いで、「ある程度実現している」が33.3%となっています。





問 11-4 今後、高齢者の保健福祉関係で、市が取り組むべきこと等について、何かご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

**<自立者>**

**移動手段の充実・誰もが利用しやすいまちづくり：7件**

- ・高齢化が進むと、突然に不調・不全になる。その時にどう対応すべきか？準備すべきことが多々あるが、考えているだけで具体的に進まない。狛江市は「買い物」不便地域。交通のアクセスにママバスを利用しているが、他の手段はないものか？
- ・トイレが近く、まちで困ることがある。耳が遠いので、どこにトイレがあるのか表示して欲しい。
- ・市の玄関入口にエスカレーターが無いのは、高齢者の福祉に逆行する。

**サービスにつなげるための体制強化・相談体制・情報発信の充実：7件**

- ・高齢者がやりにくくなっている力仕事、庭の木を切る、高い所の仕事、その他諸々の相談をどこにしたらよいか。それぞれの仕事の専門を広報に載せて欲しい。
- ・健康づくり、趣味、活動に大変興味があるが、それらの情報が非常に少ない。先日公民館に行つて、こんなにたくさんのグループが活動しているとはじめて知りました。“わっこ”に会員募集のグループが何件か掲載されていますが、それ以外の情報をもっと知りたいといつも思っています。“老人”ということばで高齢者をみんな一緒に扱って欲しくない。元気な高齢者はいっぱいいます！
- ・広報と丁寧な説明を尽くすこと。根気良く、何回も広報と説明を繰り返してもらいたい。

**サービス充実：5件**

- ・中央公民館又は、上和泉地域センターどちらかにでも良いので、カラオケを是非入れて欲しい。
- ・介護を必要とする前段階時期の過ごし方が大変重要であると考えます。市の文化的施設をもっと開放（使い易く）した集まり、イベント等があると良いと思います。例えば、エコルマの最上階の多目的室等、高齢者は高齢者に特化した中核施設機関のみに委ねることなく、横断的に考えていただきたい。
- ・病院の混雑対策

**多世代の居場所づくり・地域との交流：4件**

- ・老人が自由に使える場所が欲しい。友達と話せる場が欲しい。集中して勉強（学習）する所があると良い。野川地域センターがあるので、利用します。読みたい本も手に入るので助けられています。
- ・誰もが自由に会いたいときお話をしたいとき、集ってお茶でも飲みながら集まれる場所、気軽に行ける場所があったら良いと思います。

**住まいや入所施設の充実：4件**

- ・安価で入居できる老人介護施設を増やして欲しい。
- ・狛江市では元気な高齢者が多く見られると思いますが、もし入院した場合に、退院後の受け入れの老健施設が少ないと思いました。

#### 介護保険サービス・行政への感謝：4件

- ・地域包括支援センターに相談にのってもらい非常に感謝しております。これからも市民のために役に立ってもらえると嬉しいです。
- ・自分が高齢者なのに、人生の最終期を考えたことがありませんでした。今回の件で、このアンケートを参考にして、考えたいと思っています。ありがとうございました。

#### 生きがいづくり・ボランティア・就労の場：3件

- ・ボランティアでお話し相手に来て欲しい。
- ・高齢者の生きがい作りとその告知
- ・ボランティアに参加したいと思っている方も多くいると思います。何でもお手伝いをさせて頂ければ生きがいにもなると思いますが、どうでしょうか？

#### 新型コロナウイルス感染症：3件

- ・家族に先立たれ、コロナ禍のため1人で外出もままならず、主治医だけが頼りで、家でポツンとしていると落ち込む。どうして欲しいか考えも思い浮かばない。
- ・コロナが流行らなかつたら、と毎日思っています。道で立ち話しができない。お茶も一緒に飲めない。とにかく、顔を見て話せないことは、老いた者には、一番つらいことです。老人は外出するというのは、ひどい話です。若者に迷惑をかけることを老人が一番気にしています。

#### 防犯・防災の充実：2件

- ・多摩川土手を整備していただいたことは嬉しいことでした。
- ・できれば数多くの防犯カメラの設置をお願いしたいと考えています。ひったくり、ひき逃げ等の事件の抑止力になるかと思います。

#### 介護保険料・制度：2件

- ・介護保険料の支払いがきつい！自分はどれだけのリターンがあるのか考えることがある。
- ・介護保険料が高い。80才過ぎたら、福祉受けてなければ少し返して欲しい。

#### 高齢者福祉：2件

- ・狛江市に住んで1年10箇月。狛江市の福祉について勉強しなくては！ですね。

#### あいとぴあレインボープラン：2件

- ・「あいとぴあレインボープラン」の基本理念について、高齢者福祉計画の内容が不明（知らない）により、この質問に答えようがない。高齢者の保健福祉関係で市が取り組むべきことについて、住民（高齢者）が、理解できるよう、事業計画（目的内容）をまず、知らしめることが必要かと思います。行政の一人歩きにならないように。
- ・「あいとぴあレインボープラン」というものを知らない。もっと住民に知らせるべきではないでしょうか。あいとぴあの利用は健康増進室のみ（自分にとって）です。他に何かありますか？

## その他：13件

- ・狛江市ではプールが何処にあるのか、水泳教室等あるのか解りませんので、和泉本町3丁目から行ける所を教えてくださいと思っています。
- ・自分の住むマンションに、認知症の一人暮らしの方が居住している。知り合いはできるだけサポートしたいと思っているが、福祉サービス等につないだ後、個人情報守秘義務のためなのか、サポートする方とヘルパーさんとの意思疎通がうまくいかない。
- ・エンディングノートが終活について考えるのに大事だと思いますが、かなり細かい点も書かなくてはいけないのと、書いて保管する場所も考えなくてはならず、大変です。自分自身が元気なうちに書いておくようにしたいと思いますので、助言頂ければと思います（ピンポイントでここまで書いて置くと良いという点など）。
- ・保健福祉関係ってあまり良く分かりません。これから先お世話になることと思います。
- ・高齢者に色々お気使いありがとうございます。私は医療費を使いすぎて申し訳なく思っております。
- ・金銭的に長生きすると困ることがある。物価は上がり保険代は上がり困ることばかり、高齢者にも生きやすい世の中にして欲しい。小さい子どもばかりが優遇されているように思える。
- ・日常の生活がまだできているので、実感としてピンとこないのが勉強不足かも。できるだけ自立する努力はしているつもりです。その時が来たら相談したいと思います。

**<要支援・総合事業対象者>**

**サービスにつなげるための体制強化・相談体制・情報発信の充実：10件**

- ・動けなくなる前に、何を利用したら良いのか、利用できるのか、行動するべきだと考えています。考えてもいない方も、いらっしゃると思うので、相談窓口のことを、もっと広報したほうが、色々な必要なことが、出てくるのではないかと思います。
- ・利用できる施設の案内を、詳しく知らせてくれるガイドの発行や、狛江市民が気軽に利用できるよう、機関誌などを発行、老人に分かりやすいものを出して欲しい。
- ・狛江市に転居してから長いのですが、今もって色々な所在地が分かりません。もう少し分かりやすくお願いします。

**サービス充実：9件**

- ・明らかに以前より体の調子が年齢と共に悪くなっているのに、介護認定なしになりました。認定方法もおかしいし、担当する方が1人ではなく、2人1組で取り組むことや継続して声をかけることなどきめ細かく担当して欲しい。
- ・関係書類が複雑で理解し難い。記入し難い（書類の簡素化、表現・説明の簡素化）
- ・健康な高齢者に対する保険料の減額、年齢で画一的に区別したシステムの改善

**老後や健康でなくなったときの生活について：5件**

- ・多くの方が、老後の不安を感じなくて済む、施設の充実、市政の支えを強めてもらいたい。
- ・自分が病気になって、健康を害したとき、要支援1なので相談者はいるが、実際にそうなったとき、どの程度の相談にのってもらえるのか、すごく心配。超高齢化社会だから、今後ますます、介護に携わる方が必要となるだろうから、市としては、早急に対策を考えていただきたいと思う。
- ・高齢者となり、不安なことは、①私が亡くなったときの妻の介護、②年々先細りになる高齢者の生活（人的・経済的）、③高齢者福祉は高齢者が不安なく生きることであって欲しい。

**移動手段の充実・誰もが利用しやすいまちづくり：7件**

- ・駒井町水道道路の歩道において幅が狭く、電信柱、段差等により、足の悪い方や車椅子、ベビーカー等がとても不便を感じていると思います。是非ご検討いただきたいです。
- ・安心して年寄りが歩ける平らな道（自転車等が）、衛生的なトイレ、ベンチ等が欲しい。
- ・スーパー、コンビニなど近くにないので不自由です。バス停も遠いので生協を利用していますが、生鮮食品などでも分量は多く捨てるものが多く心が痛みます。給食があったら助かると思います。お風呂は家では危険なので、週1回外の入浴施設へ行けるので助かっています。

**健康づくり・健康寿命の延伸：4件**

- ・人生100年の時代。狛江にも室内プールを作っていつでも泳げるようになるといい。
- ・健康作りとして体操教室を進めて欲しい。
- ・プールの充実

**住まいや入所施設の充実：4件**

- ・ごく少数の方しか、特別養護老人ホームに入れず、他の方は、金額の高い有料老人ホーム等に入

ることになり、この不公平な状況を緩和して欲しいと思います。

- ・もっと老人ホームを作って欲しい。健康状態が悪く、家で介護ができないときはすぐに狛江市内の老人ホームに入りたい。

### **見守り・支え合い：3件**

- ・町会・自治会、老人会等の組織を利用し、高齢者が孤立しない、お互いの顔を知っている等の小さい自治体の良さを利用し、“つながりのまち、狛江”を作って欲しいと思います。日々保健福祉の事業に注力して下さっている方々にお礼を申し上げます。
- ・高齢者の見回り、訪問などの積極的な活動、マンションなどの場合の鍵の預かりサービスの展開
- ・町内の方達と助け合い、それぞれの自宅でできる限り生活を続けたいと思っている。町内（ご近隣）（町内・友人、歩いて尋ねられる範囲で住んでいる方達）と助け合う。公の支援は最終手段として、お年より同士が支え合うまちづくりを望みます。

### **あいとぴあレインボープラン：3件**

- ・「あいとぴあレインボープラン」の基本理念について、レインボープランというのをはじめて聞いた。どんなことを行っているのですか。
- ・高齢人口がますます増えるので、先の先まで読んで計画して下さい（高齢人口の推移は、正確に読めるはずなので）。
- ・「あいとぴあレインボープラン」の基本理念の実現

### **介護保険サービス・行政への感謝：3件**

- ・自分が健康であることが大切。狛江の市役所は、親切に色々教えてください。いつも感謝しています。
- ・狛江市は人口も企業も少ない中で（そのため税収入が少ない）良く福祉関係に力を入れてくれていると思い、感謝しております。コロナの影響かどうか分かりませんが、知名度のある人物がテレビ放送の中で高齢者は集団自決すれば良いと話をしていたとのことを聴き、今の世の中の風潮には外出することをためらう日々です。

### **アンケート調査：3件**

- ・今回の質問内容は、コロナの中で答えられないことが多いです。お考え下さい。
- ・この調査の時期が令和4年11月1日現在となっておりますが、令和4年10月18日～令和5年1月7日迄歩行障がいにより入院しておりました。困って各質問の答えが現在と多少違って来たこともあります。福祉サービスを受けお世話になりましたが、受ける側も勉強不足な所が多く、これからは未詳な問題として、関心を持っていきたいと思っています。

### **生きがいづくり・ボランティア・就労の場：2件**

- ・これから狛江も高齢者が増えるばかりです。地域での活動の中に元気なお年寄りのための趣味や学習も大切ですが、ボランティアのグループや、収入のある仕事を増やし助け合い活動に力を入れたらどうかと思います。
- ・老人が楽しめる催し物を計画し、実施する。

### 多世代の居場所づくり・地域との交流：2件

- ・高齢者が多い割には、施設が少ない。趣味に使う施設がもっと欲しい。
- ・各町会・自治会に老人やその他の方が集まりコミュニケーションがとれる会場が少ないと思う。イベント等できる会場を増やして欲しい（気軽に行ける場所）。

### 防犯・防災の充実：2件

- ・情報もれ、振込詐欺（業者も含めて）が多すぎる。起きてからでは遅い。対策が不十分である。特に業者については、営業妨害になるので手を打つことができないとしている。例えば、業者が他県の場合、全く機能していない。
- ・緊急時での連絡方法の確立を

### 新型コロナウイルス感染症：2件

- ・コロナワクチン接種のとき（他の市町村より早かった）も高齢者優先だけでなく、会場で接して下さる方々から私は大切にされていると実感し涙が出そうになり、こんな役立たずの年寄りをと思いながらもとても明るい毎日が過ごせています。会場に居た方は市役所の方でしょうか。感謝しています。
- ・週5日で9件のボランティアを楽しみ、コロナ禍では大学の友人達と月1回のズーム飲み会を開催、殆ど毎日のように1時間以上のウォーキング、就寝前の毎夜の読書も欠かさずと楽しく充実した日々を過ごしています。特にボランティア活動は自分の居場所でもあるので、高齢者の方々に元気なうちに参加されるよう、もっと勧めてもらいたい！

### その他：9件

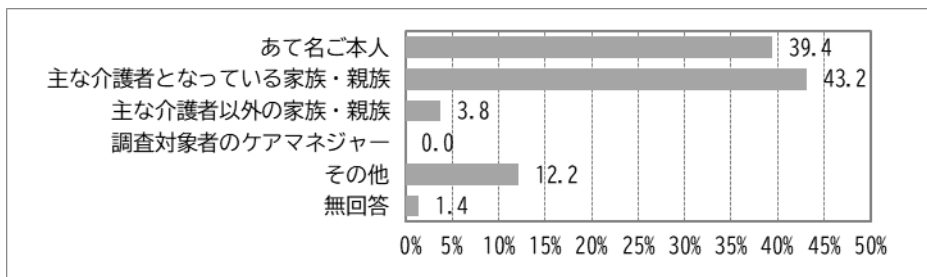
- ・一人暮らしの老人への手厚い訪問介護をお願いします。
- ・終活を考えたとき、費用がいくらかかるのか、見当がつかない。目安を提示してもらえば安心できる。
- ・毎年、高い介護保険料を徴収されていて、いざ介護保険を使うときに、ハードルが高くて使えないということにならないようにして下さい。
- ・老人福祉に関する施策は、きめ細かくして欲しい。申し込み等が、スマホのみになることが多く、不便になっている。要支援のサービスが減るのは困る。目や耳の障がいに対する、補助具への補助金を出して欲しい。
- ・ネット番組で「高齢者は集団自決を」などと放言した評論家だかがいるらしいが、そういう歪んだ人間観に基づく高齢者に対する見方が広まっていくのが心配だ。

## 第5章 在宅介護実態調査

### A 基本情報

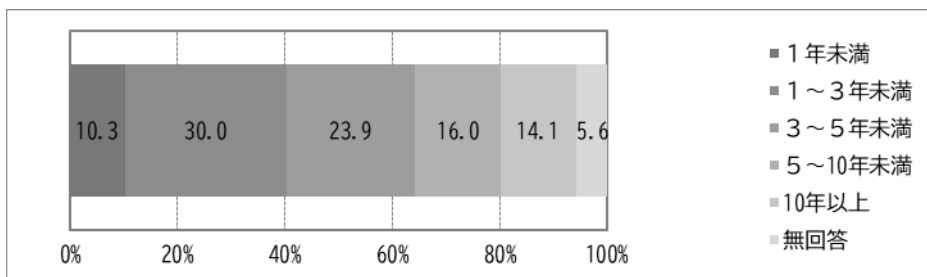
問A票-◎-1 このA票を回答するのは、どなたですか。(いくつでも○)

回答者は、「主な介護者となっている家族・親族」が43.2%で最も多く、次いで、「あて名ご本人」が39.4%となっています。



問A票-◎-2 生活する上で何らかの介護や手助けが必要になってからの期間はどれくらいですか。(1つに○)

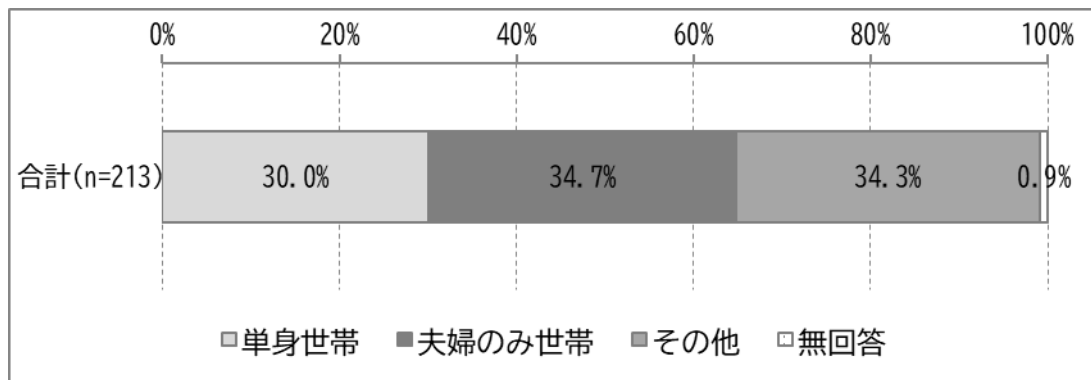
生活する上で何らかの介護や手助けが必要になってからの期間については、「1～3年未満」が30.0%で最も多く、次いで、「3～5年未満」が23.9%となっています。



※本章の表は、「在宅介護実態調査「自動集計分析ソフト」」を使用して作成したものであるため、用字・用語等について修正できないものがございます。以下本章において同じです。

問A票-1 あなたの世帯類型について、ご回答ください。(1つに○)

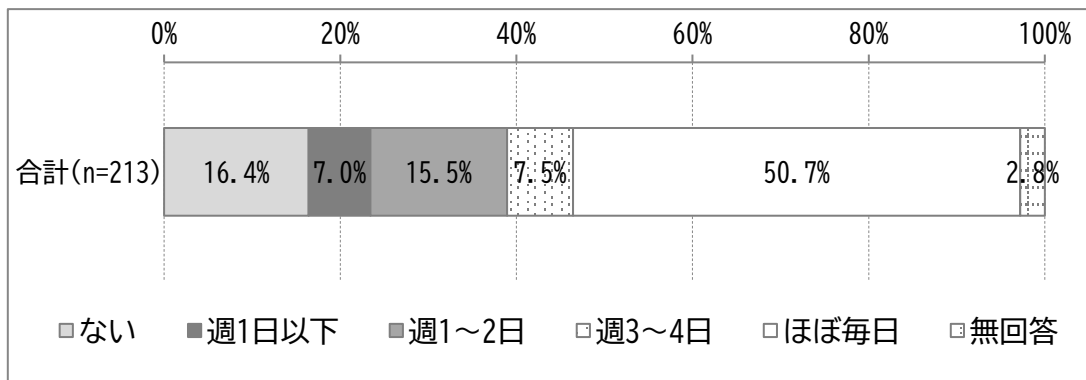
世帯類型については、「夫婦のみ世帯」が34.7%で最も多く、次いで、「その他」が34.3%となっています。



## B 介護の状況と主な介護者について

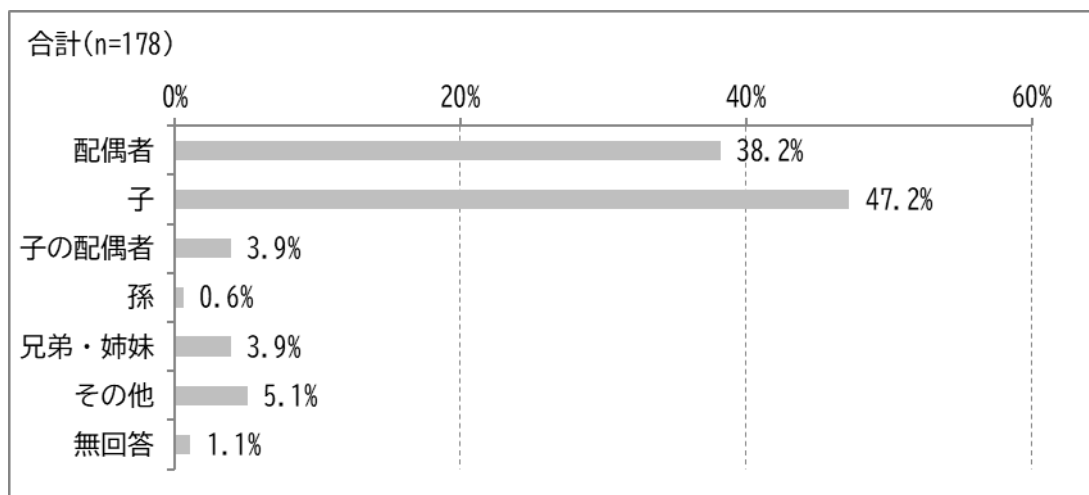
問A票-2 あなたは、ご家族やご親族から、週にどのくらい介護を受けていますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（1つに○）

ご家族やご親族から週当たり介護を受けている頻度については、「ほぼ毎日ある」が50.7%で最も多く、次いで、「受けていない」が16.4%となっています。



問A票-3 （あなたを介護する）主な介護者の方は、どなたですか。（1つに○）

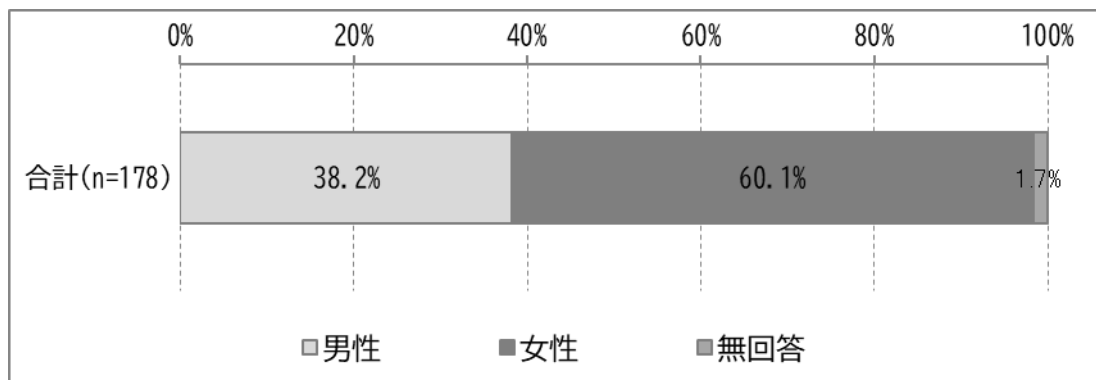
主介護者については、「子」が47.2%で最も多く、次いで、「配偶者」が38.2%となっています。





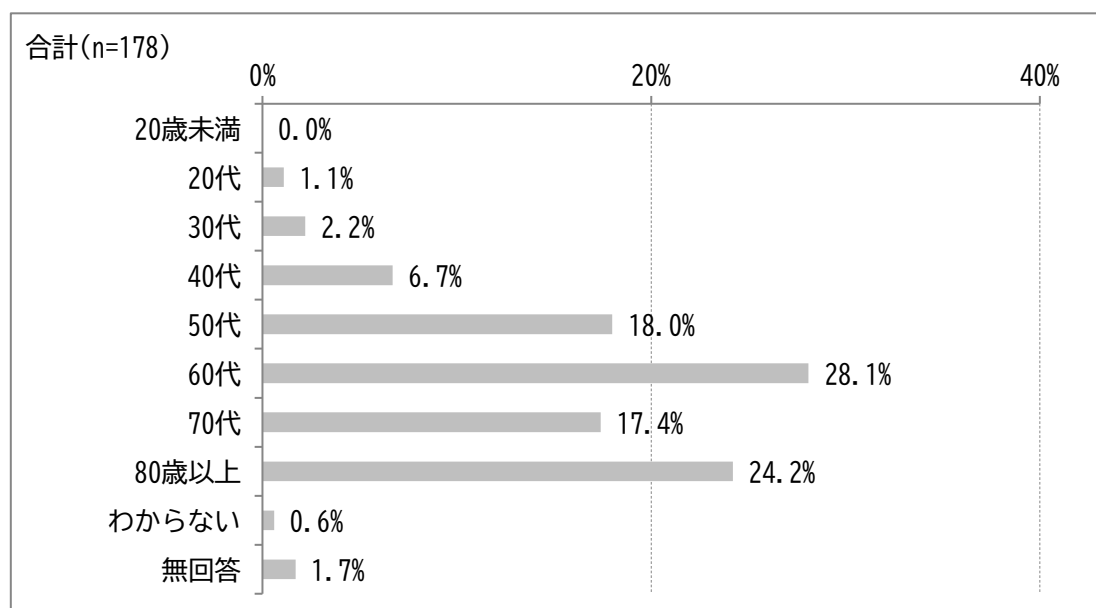
問A票-4 (あなたを介護する) 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(1つに○)

主介護者の性別については、「女性」が60.1%で最も多く、次いで、「男性」が38.2%となっています。



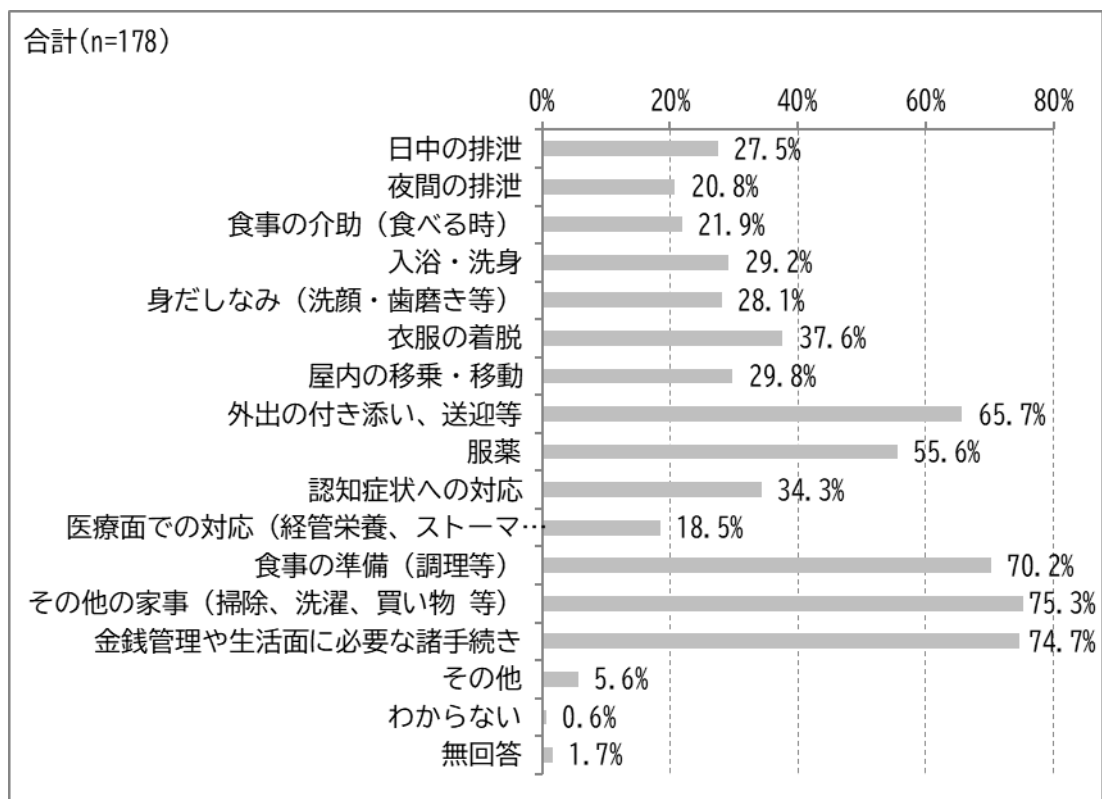
問A票-5 (あなたを介護する) 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(1つに○)

主介護者の年齢については、「60歳代」が28.1%で最も多く、次いで、「80歳以上」が24.2%となっており、老々介護の状態にある世帯が一定数存在します。



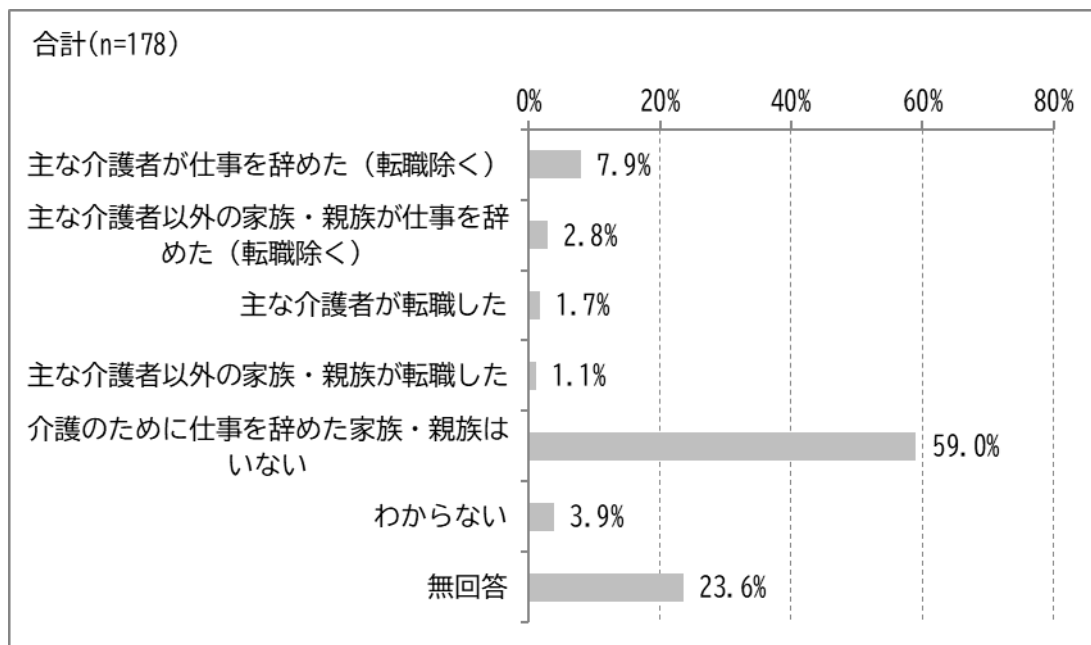
問A票-6 現在、主な介護者の方が行っている、あなたへの介護等は、次のうちどれですか。  
(いくつでも○)

主介護者の介護等の内容については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が75.3%で最も多く、次いで、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が74.7%となっております。



問A票-7 ご家族やご親族の中で、あなたの介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。また、自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます）。

ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方の有無については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が59.0%で最も多く、次いで、「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が7.9%となっております。

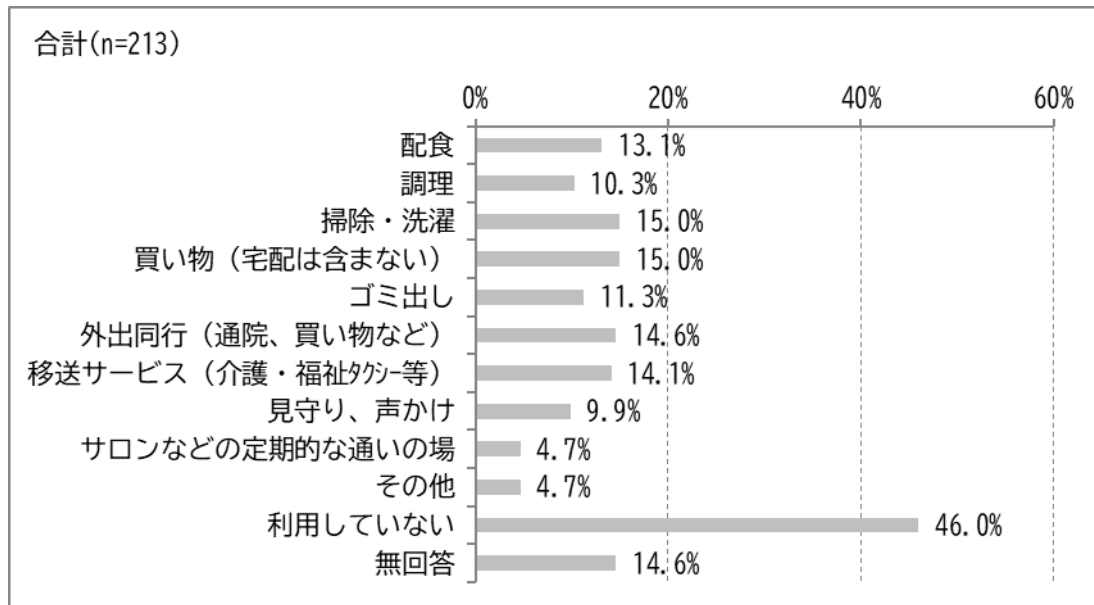


C 生活の状況について

問A票-8 現在、あなたが利用している「介護保険サービス※以外」の支援・サービスは、次のうちどれですか。(いくつでも○)

※介護予防・日常生活支援総合事業に基づくサービスは、「介護保険サービス」に含めます。

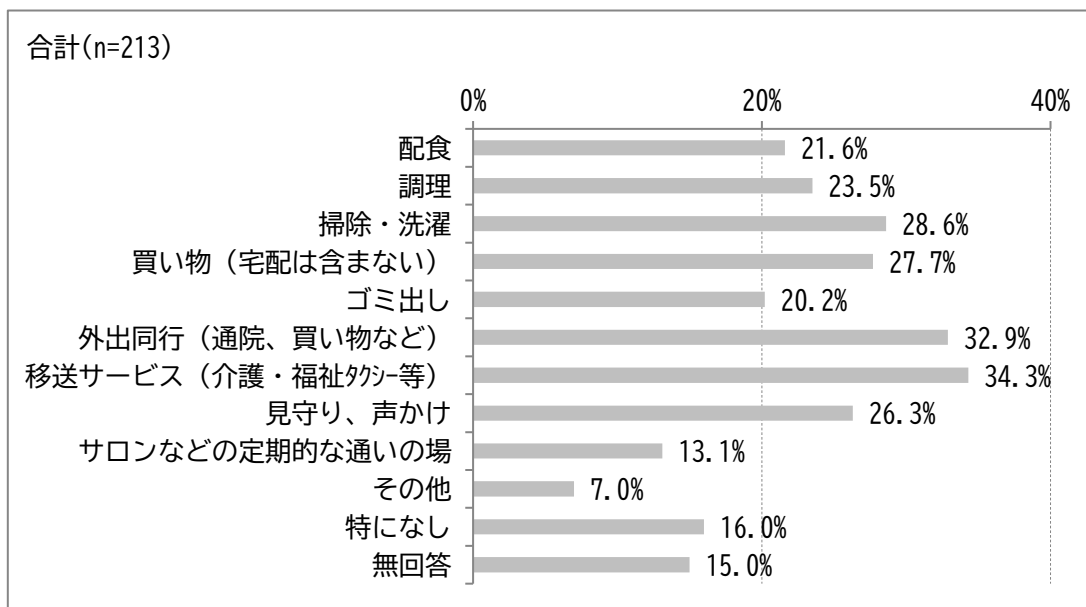
「介護保険サービス以外」で利用している支援・サービスについては、「利用していない」が46.0%で最も多く、次いで、「掃除・洗濯」及び「買い物（宅配は含まない）」が15.0%となっております。



問A票-9 あなたが、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス※は、次のうちどれですか。(いくつでも○)

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービス共に含みます。

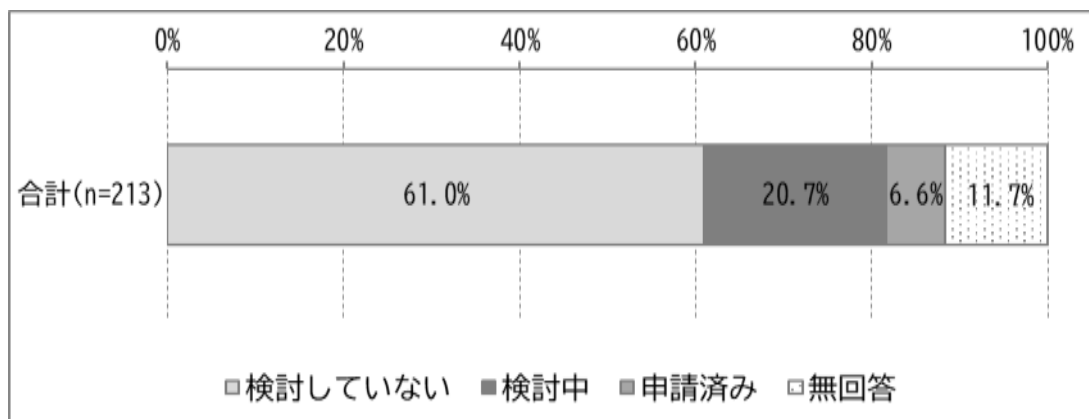
今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が34.3%で最も多く、次いで、「外出同行（通院、買い物等）」が32.9%となっております。



問A票-10 あなたは、施設等への入所・入居について検討していますか（1つに○）

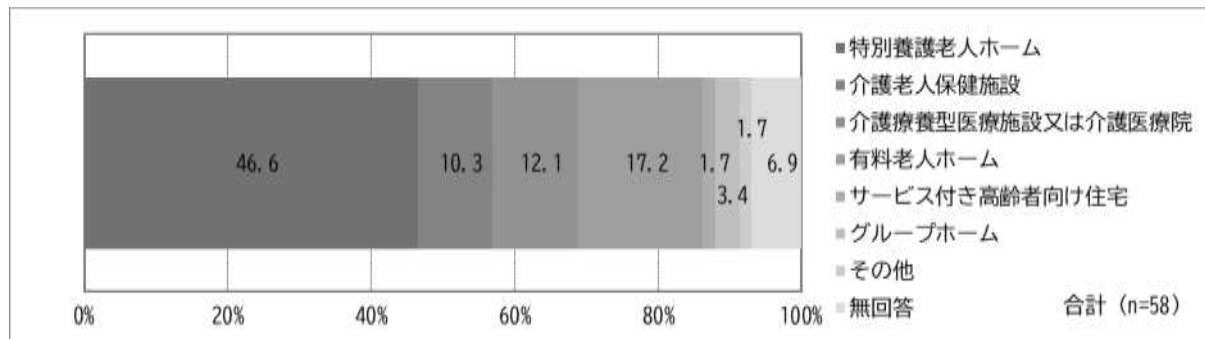
※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します

施設等への入所・入居の検討については、「入所・入居は検討していない」が61.0%で最も多く、次いで、「入所・入居を検討している」が20.7%となっております。



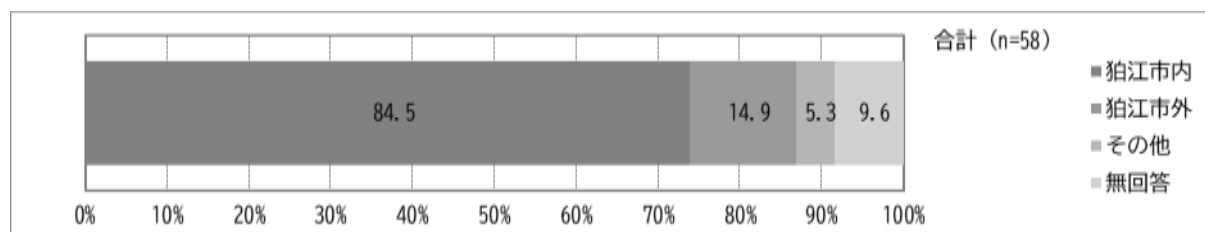
問A票-10-2 【問A票-10において「2. 入所・入居を検討している」「3. 既に入所・入居申込みをしている」と回答した方にお伺いします】既に申込みをしている、又は検討している施設等は何ですか。

既に申込みをしている、又は検討している施設等については、「特別養護老人ホーム」が46.6%で最も多く、次いで、「有料老人ホーム」が17.2%となっております。



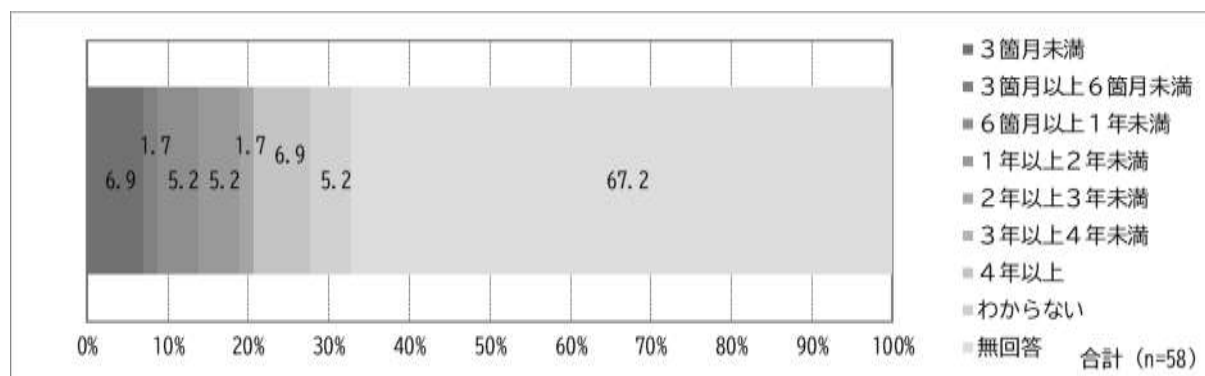
問A票-10-3 【問10において「2. 入所・入居を検討している」「3. 既に入所・入居申込みをしている」と回答した方にお伺いします】その施設等の所在地をご回答ください。(○は1つ)

既に申込みをしている、又は検討している施設等の所在地については、「狛江市内」が84.5%で最も多く、次いで、「狛江市外」が14.9%となっております。



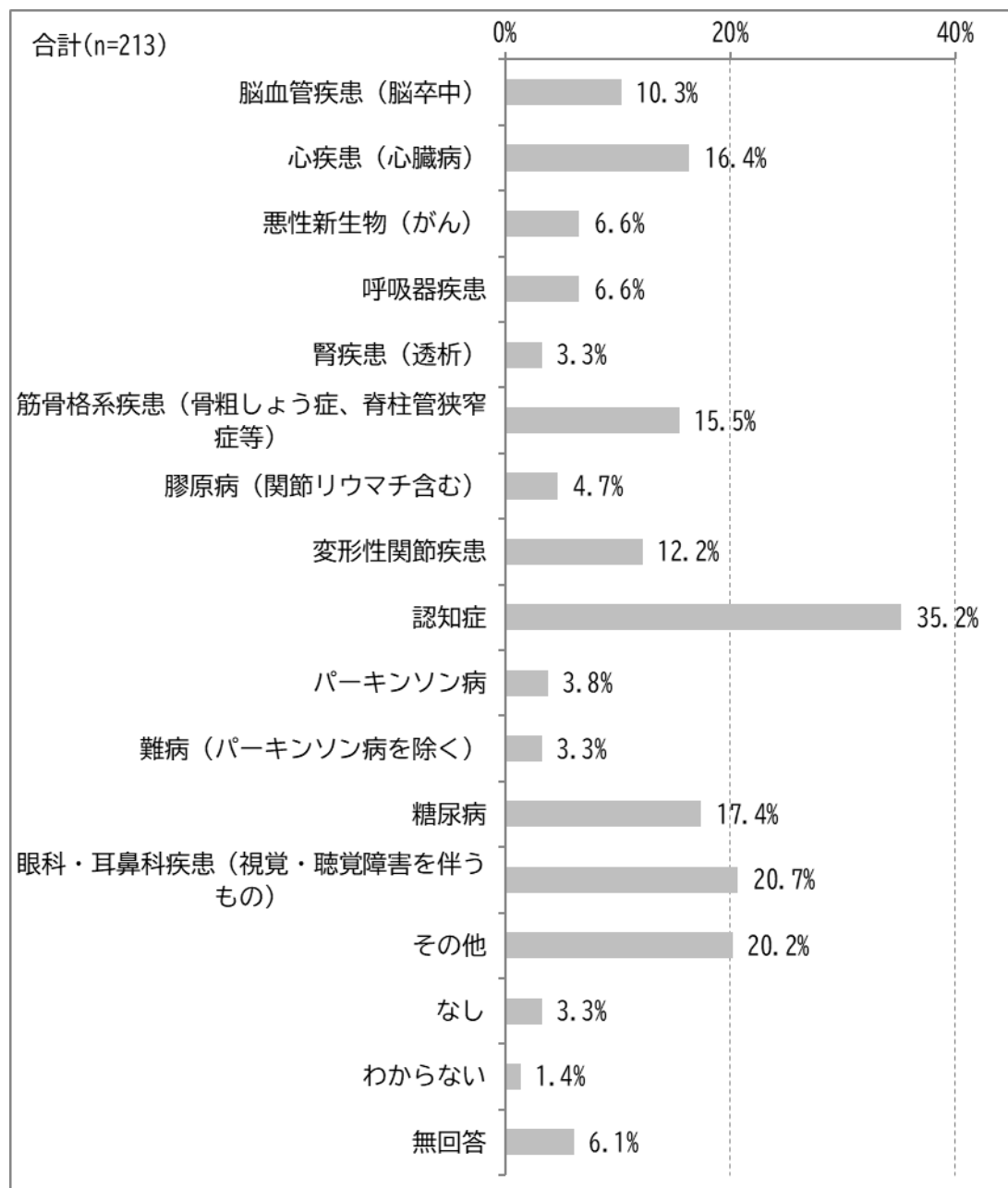
問A票-10-4 【問10において「2. 入所・入居を検討している」「3. 既に入所・入居申込みをしている」と回答した方にお伺いします】施設等に既に申込した方は、最初に申込みしてからどのくらい経っていますか。(○は1つ)

施設等に既に申込した方が最初に申込みしてから期間については、「3箇月未満」及び「4年以上」が6.9%で最も多く、次いで、「6箇月以上1年未満」、「1年以上2年未満」及び「わからない」が5.2%となっております。



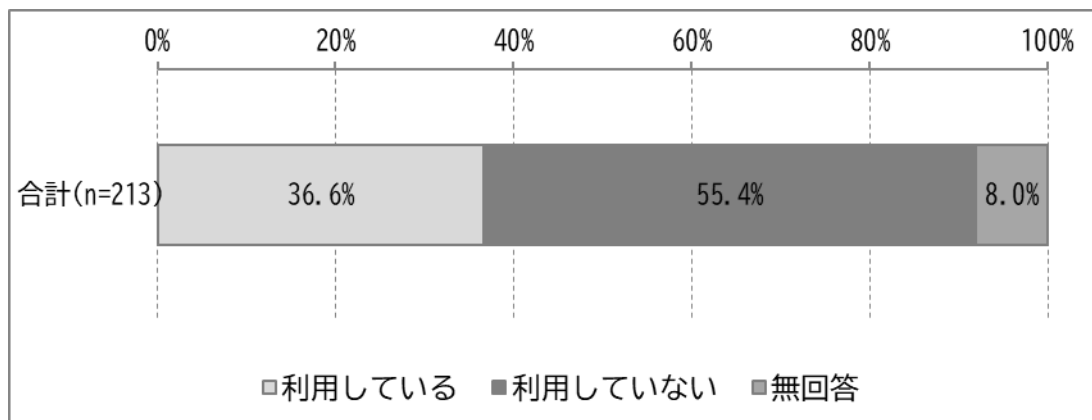
問A票-11 あなたが、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(いくつでも○)

現在抱えている疾病については、「認知症」が35.2%で最も多く、次いで、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が20.7%となっております。



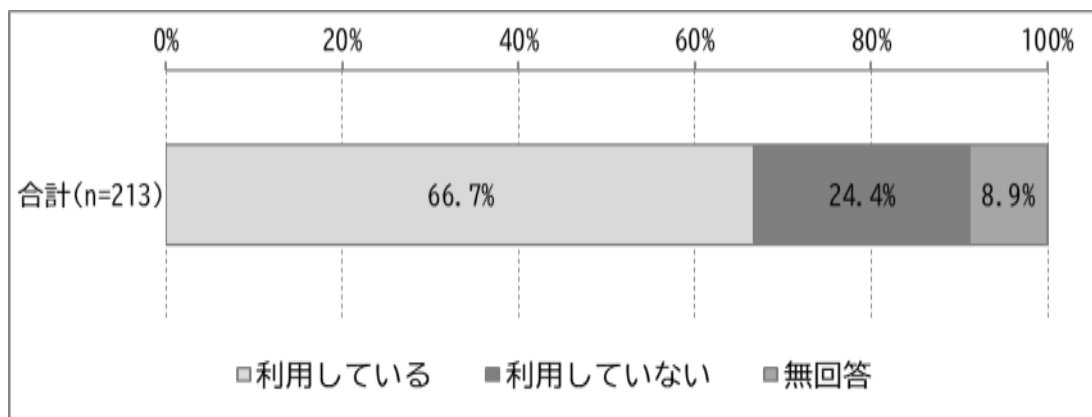
問A票-12 あなたは、現在、訪問診療を利用していますか（訪問歯科診療や居宅療養管理指導等を含みません）。

訪問診療の利用状況については、「利用していない」が55.4%で最も多く、次いで、「利用している」が36.6%となっております。



問A票-13 あなたは、現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか。

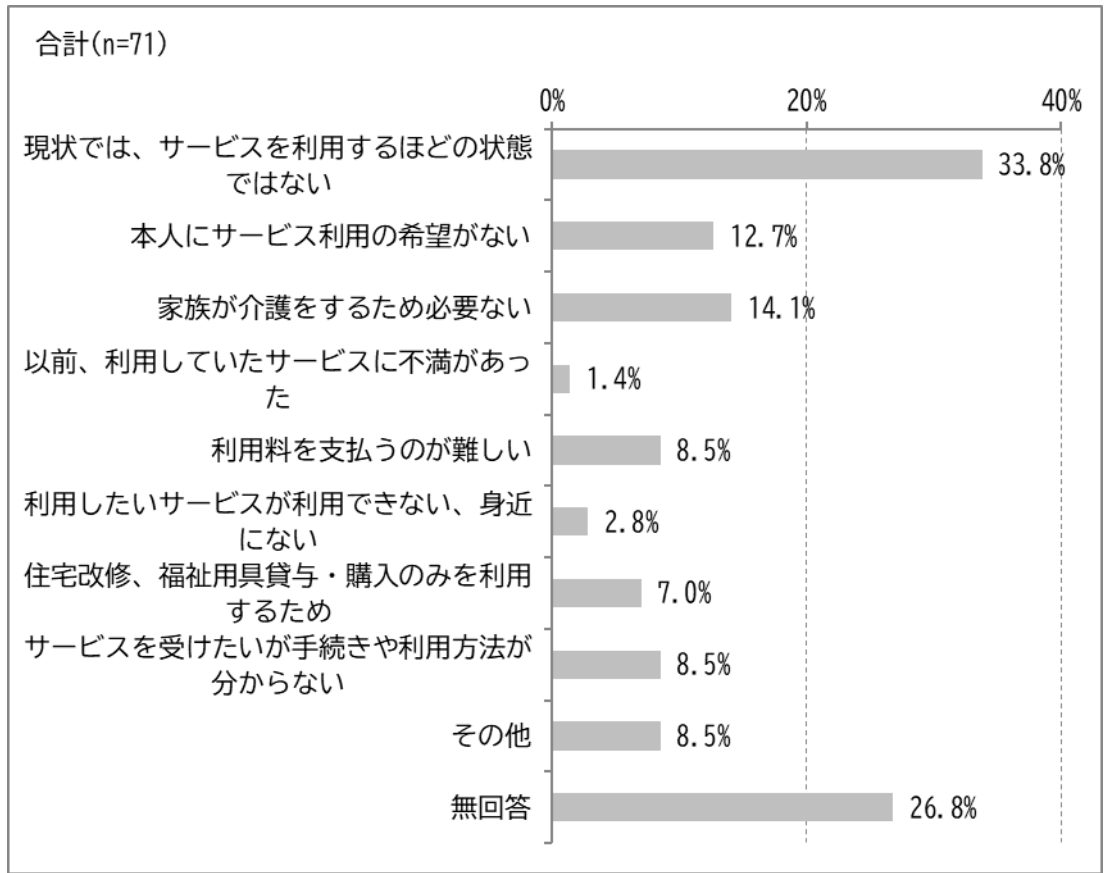
（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスの利用状況については、「利用している」が66.7%で最も多く、次いで、「利用していない」が24.4%となっております。





問A票-14 【問13で「2」と回答した方にお伺いします。】あなたが、介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(いくつでも○)

介護保険サービスを利用していない理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が33.8%で最も多く、次いで、「家族が介護するため必要ない」が14.1%となっております。

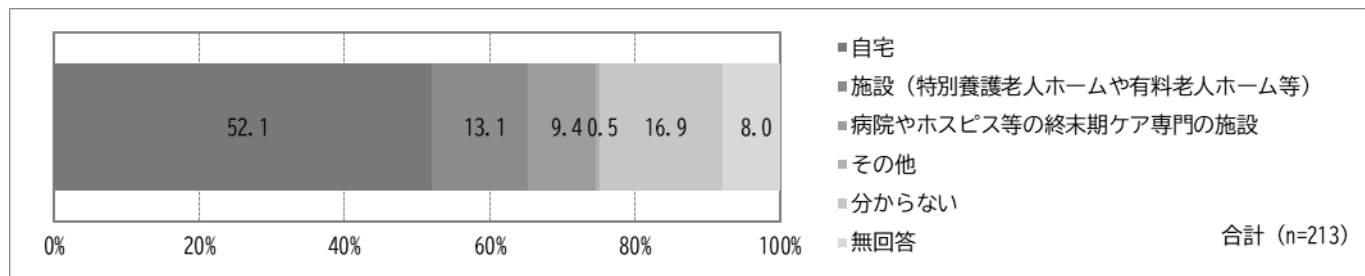


## D 終末期ケアや終活について

問A票-15 あなたは、ご自分の人生の最終段階が近づいたとき（いわゆる看取りの時期）をどこで過ごしたいと考えていますか。（○は1つ）

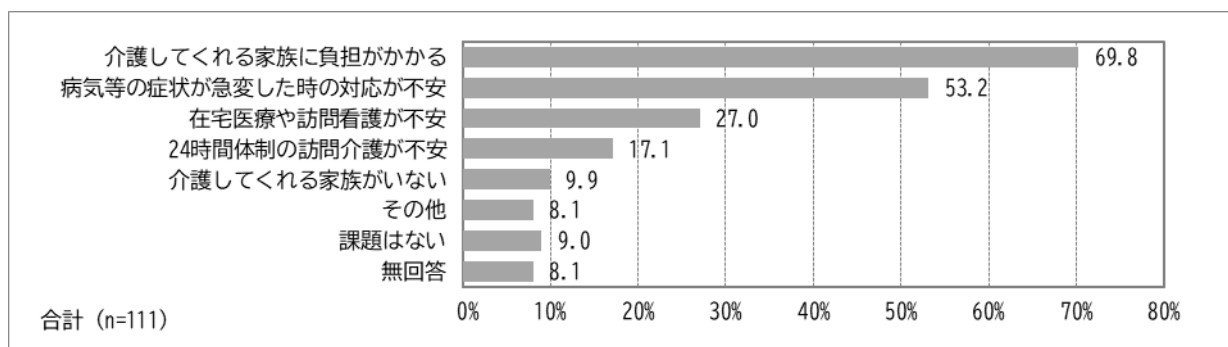
※看取りとは、人生の最終期を迎えた状態のことをいいます。

いわゆる看取りの時期を過ごしたい場所については、「自宅」が52.1%で最も多く、次いで、「分からない」が16.9%となっております。



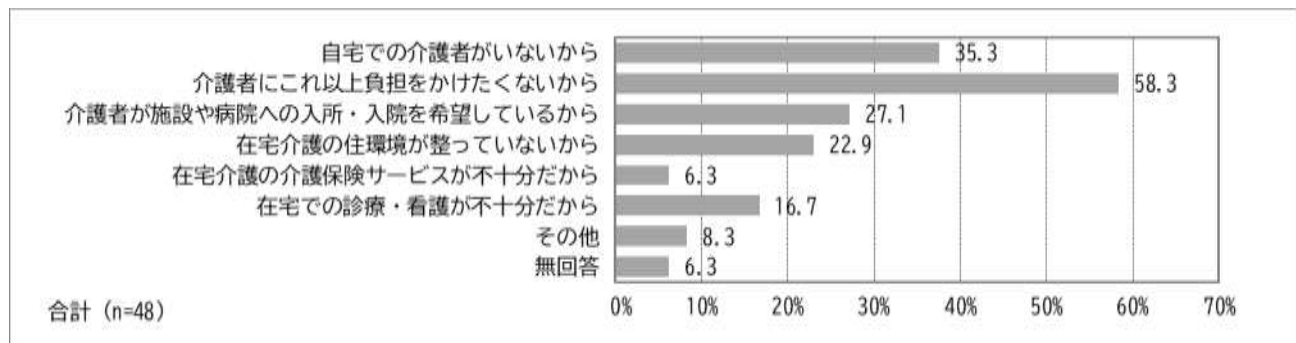
問A票-16 【問15で「1. 自宅」と回答した方にお伺いします。】自宅で最期まで過ごしたいと思ったときに、課題と思うことは何ですか。（○はいくつでも）

自宅で最期まで過ごしたいと思ったときに、課題と思うことについては、「介護をしてくれる家族に負担がかかる」が69.8%で最も多く、次いで、「病気等の症状が急変した時の対応が不安」が53.2%となっております。



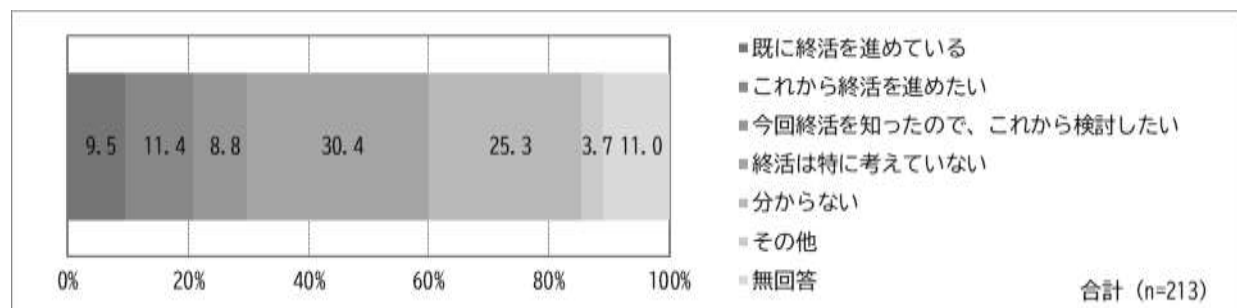
問A票-17 【問15で「2. 施設」「3. 病院やホスピス等」「4. その他」と回答した方にお伺いします。】自宅以外で看取りの時期を過ごしたいと考える理由は何ですか。(〇はいくつでも)

自宅以外で看取りの時期を過ごしたいと考える理由については、「介護者にこれ以上負担をかけたくないから」が58.3%で最も多く、次いで、「自宅での介護者がいないから」が35.3%となっております。



問A票-18 ご自分の人生の最終段階が近づいたときに備えて、エンディングノートなどを利用した「終活」について考えたり、実際に進められていますか。(〇は1つ)

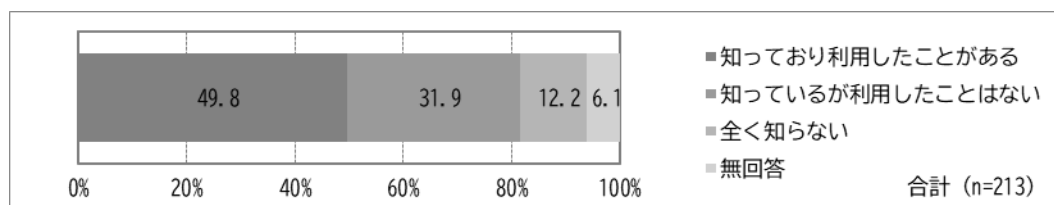
エンディングノートなどを利用した「終活」について考えたり、実際に進められているかどうかについては、「終活は特に考えていない」が30.4%で最も多く、次いで、「分からない」が25.3%となっております。



## E 福祉施策について

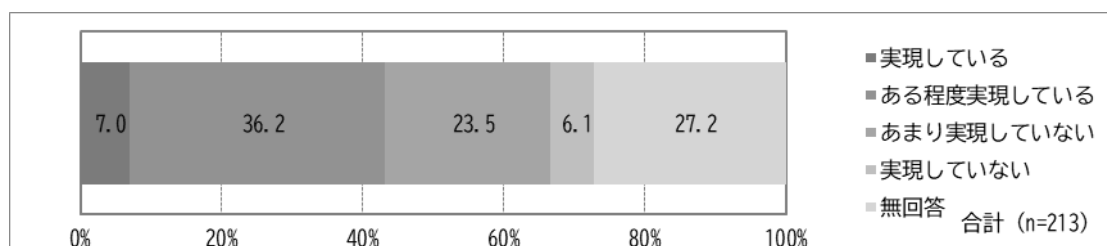
問A票-19 最寄りの地域包括支援センター（あいとぴあセンター・こまえ正吉苑・こまえ苑）が、高齢者介護等に関する相談窓口となっていることを知っていますか。（○は1つ）

最寄りの地域包括支援センターが、高齢者介護等に関する相談窓口となっていることを知っているかどうかについては、「知っており利用したことがある」が49.8%で最も多く、次いで、「知っているが利用したことはない」が31.9%となっております。



問A票-20 狛江市においては、地域福祉、高齢者福祉、障がい者福祉等の計画として「あいとぴあ レインボープラン」を策定し、高齢者福祉計画では、「みんなで支え合いながら、自分らしく健康に暮らしつづけられるまち ～あいとぴあ狛江～」を基本理念としています。あなたは、本市において、この基本理念がどの程度、実現していると思いますか。（○は1つ）

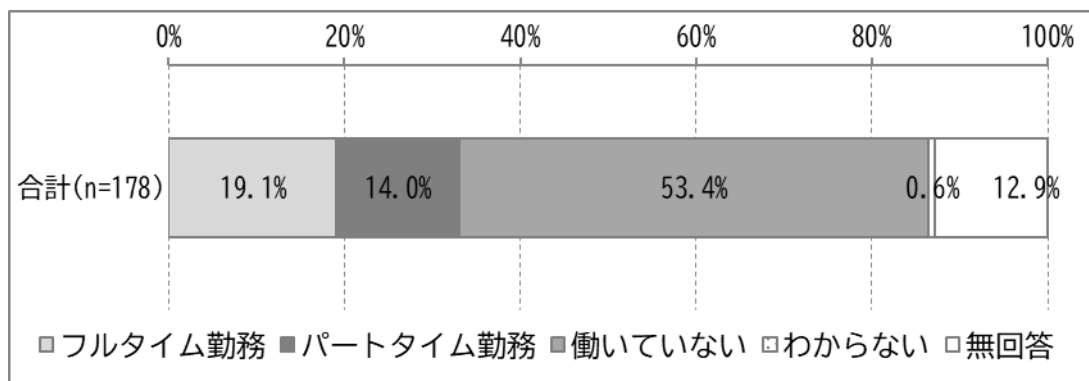
基本理念がどの程度、実現しているかどうかについては、「ある程度実現している」が36.2%で最も多く、次いで、「あまり実現していない」が27.2%となっております。



## F 主な介護者の在宅介護の実態について

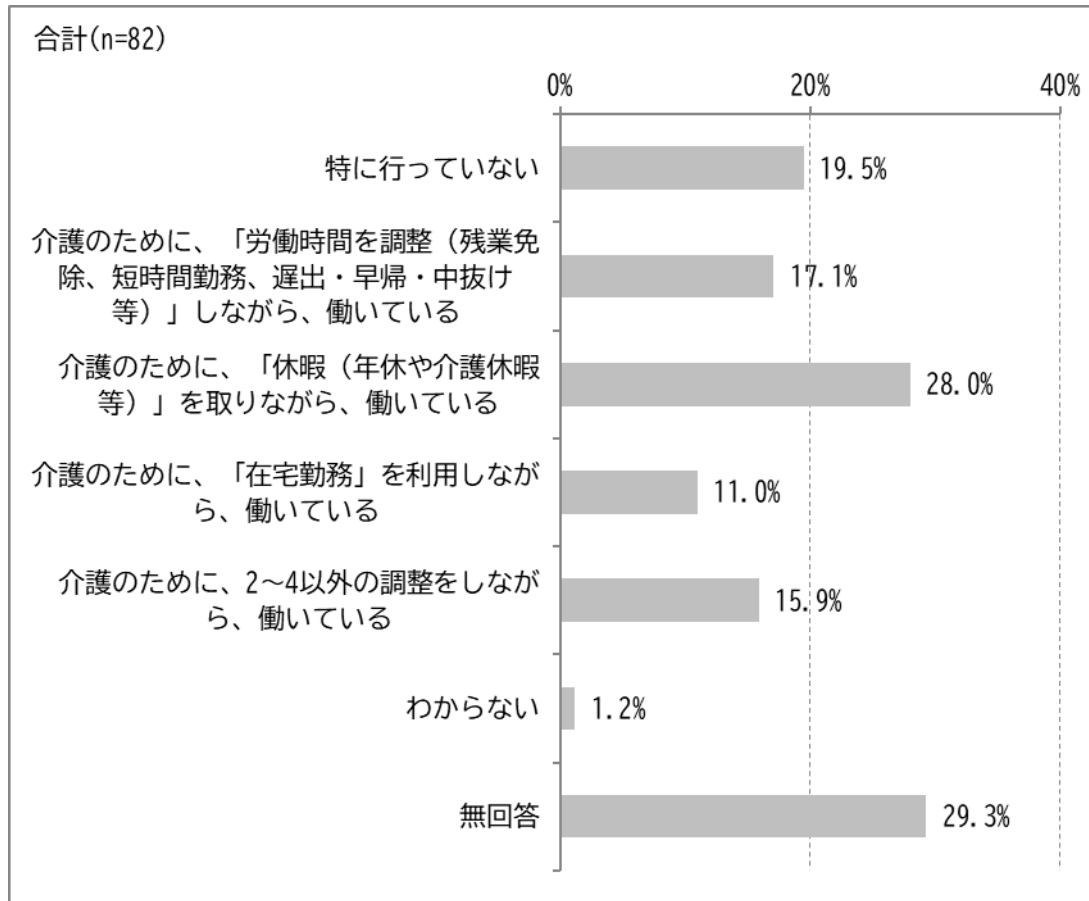
問B票-1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つに○)

主な介護者の方の現在の勤務形態については、「働いていない」が53.4%で最も多く、次いで、「フルタイム勤務」が19.1%となっております。



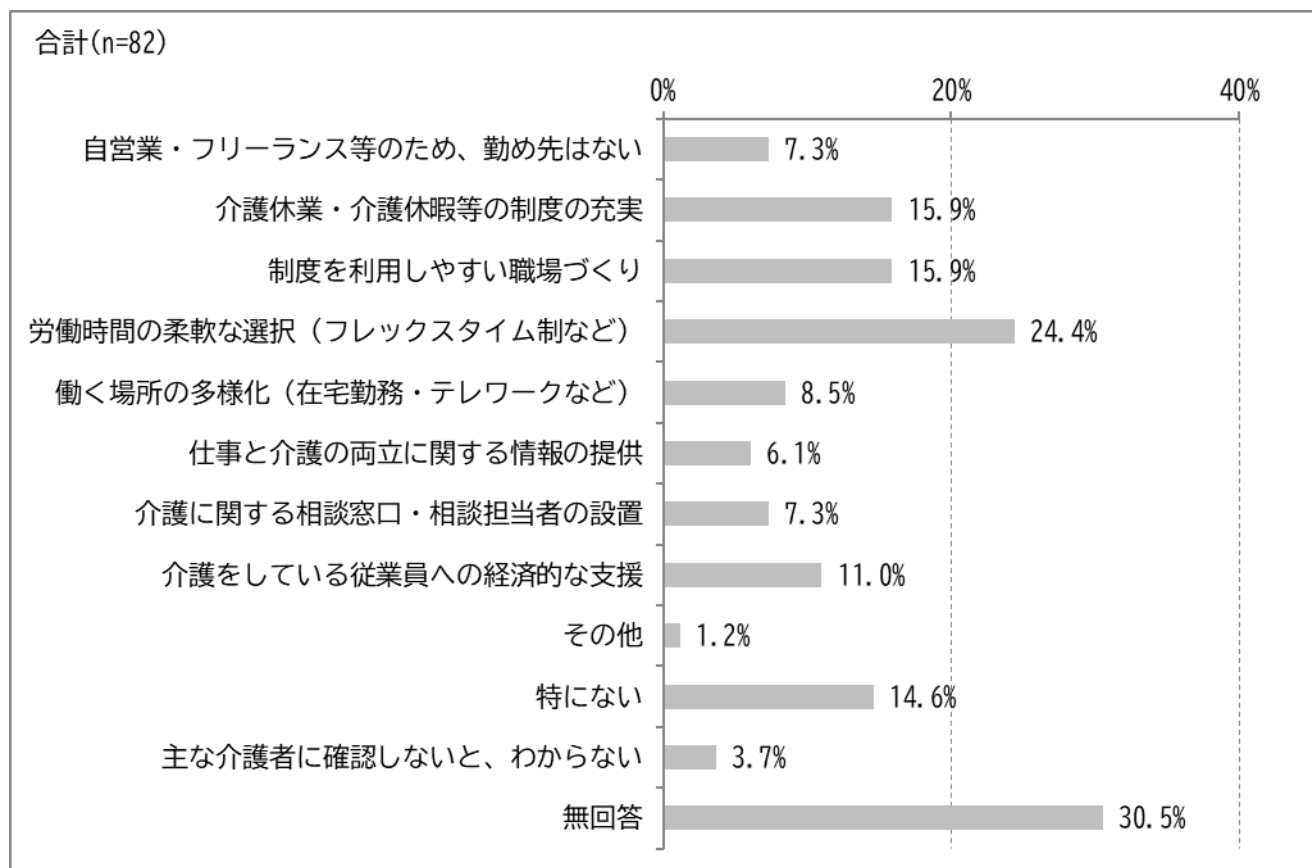
問B票-2 【問1で「1」又は「2」と回答した方にお伺いします。】主な介護者の方は、介護をするに当たって、何か働き方についての調整等をしていますか。(いくつでも○)

主な介護者の方の介護をするに当たっての働き方の調整方法については、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が28.0%で最も多く、次いで、「特に行っていない」が19.5%となっております。



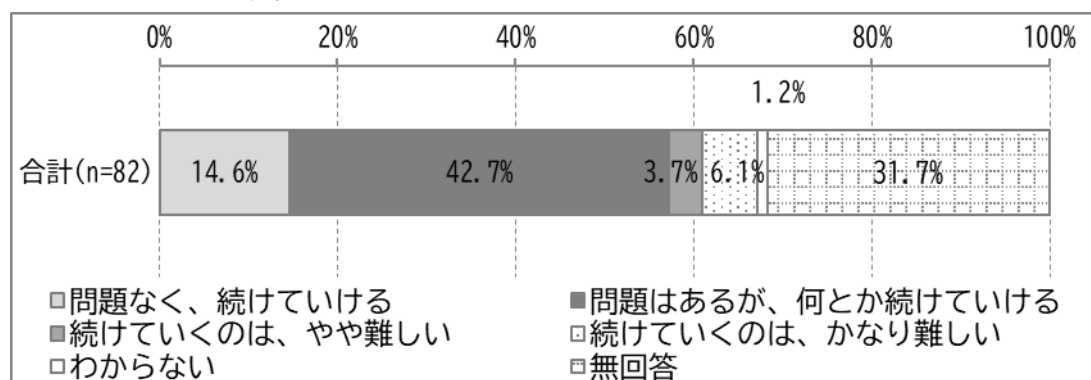
問B票-3 【問1で「1」又は「2」と回答した方にお伺いします。】主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（3つまでに○）

仕事と介護の両立に効果のある支援については、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が24.4%で最も多く、次いで、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」及び「制度を利用しやすい職場づくり」が15.9%となっております。



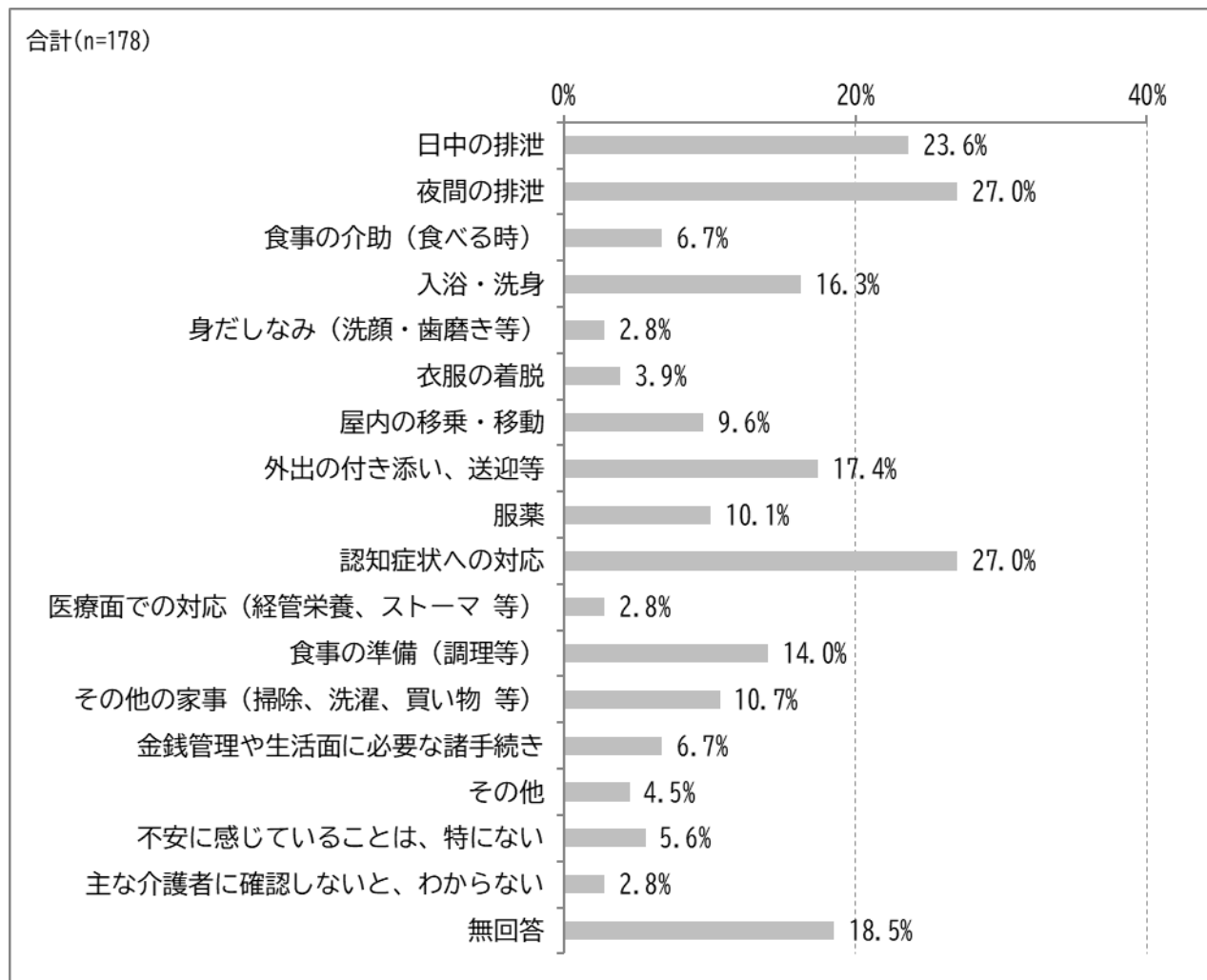
問B票-4 【問1で「1」又は「2」と回答した方にお伺いします。】主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（1つに○）

主な介護者の方が今後も働きながら介護を続けていけるかどうかについては、「問題はあるが、何とか続けていける」が42.7%で最も多く、次いで、「問題なく、続けていける」が14.6%となっております。



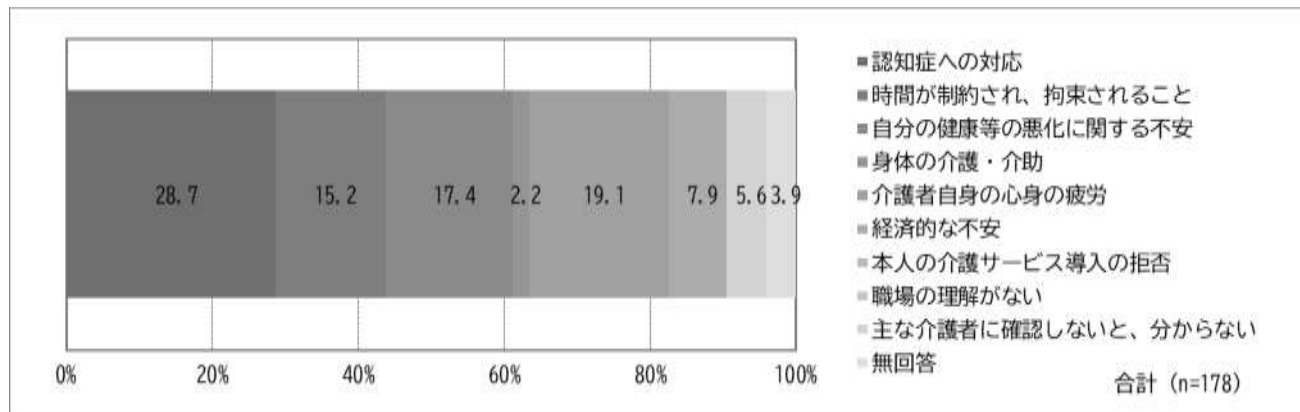
問B票-5 現在の生活を継続していくに当たって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（3つまでに○）

今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者の方が不安を感じる介護については、「夜間の排泄」及び「認知症状への対応」が27.0%で最も多く、次いで、「日中の排泄」が23.6%となっております。



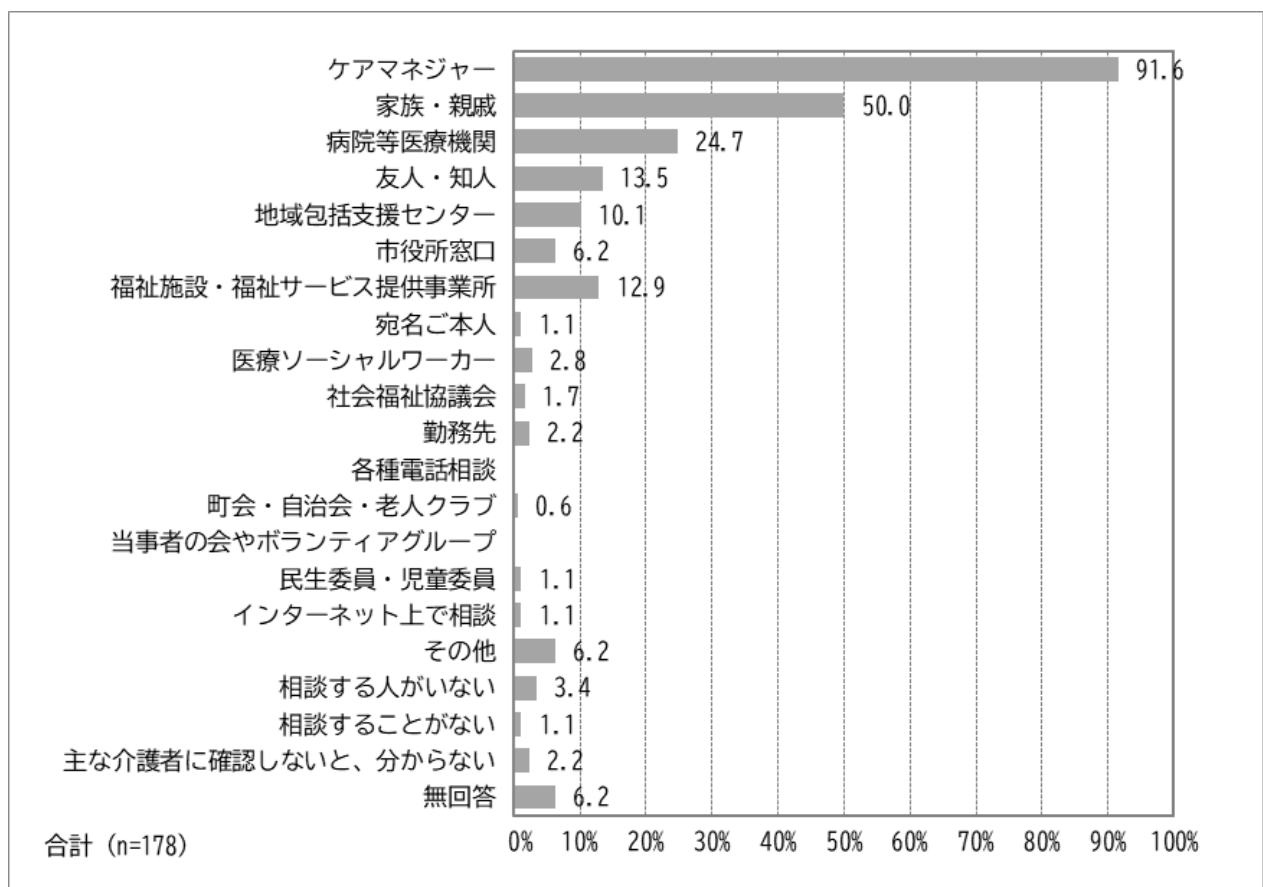
問B票-6 主な介護者の方がストレスに感じていることは何ですか。(1つに○)

主な介護者の方がストレスに感じていることについては、「認知症への対応」が24.8%で最も多く、次いで、「時間が制約され、拘束されること」が16.2%となっております。



問B票-7 主な介護者の方の相談先はどこですか。(いくつでも○)

主な介護者の方の相談先については、「ケアマネジャー」が91.6%で最も多く、次いで、「家族・親戚」が50.0%となっております。





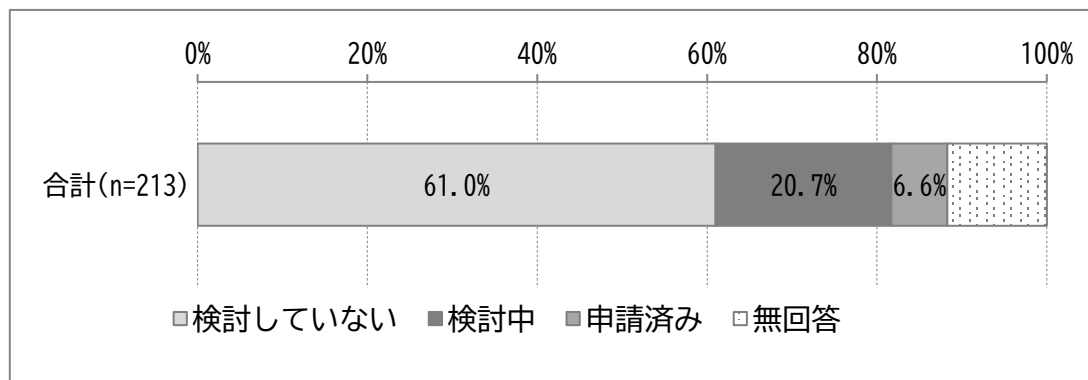
## G クロス集計結果について

### 1 在宅介護の限界点を高めるための支援

#### (1) 基礎集計

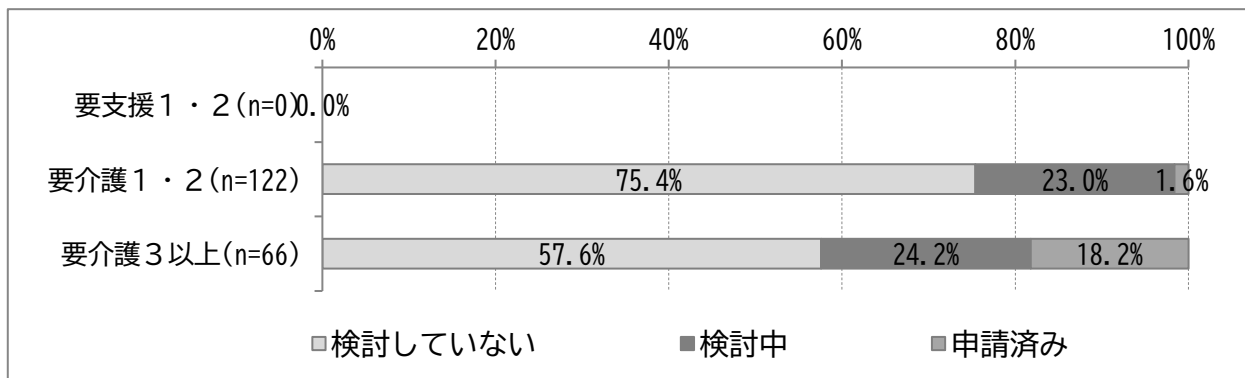
##### ア 施設等検討の状況

施設等検討の状況については、「検討していない」が61.0%で最も多く、次いで、「家族・親族」が20.7%となっております。



##### イ 要介護度別・施設等検討の状況

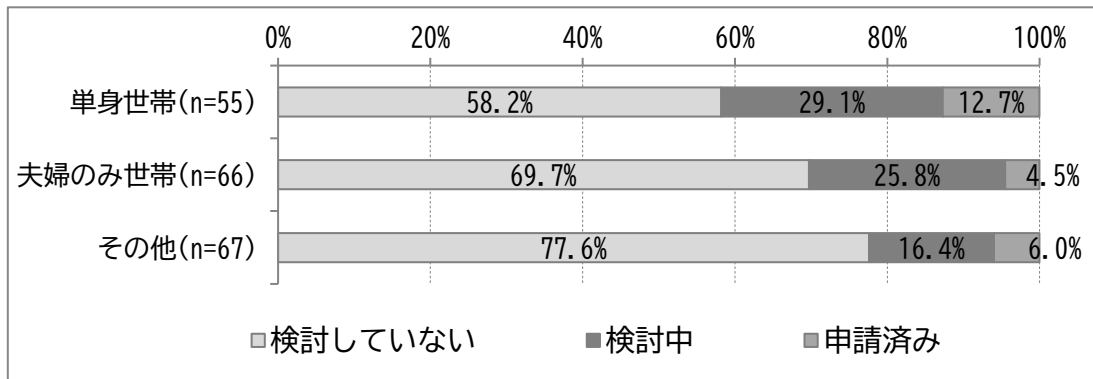
施設等の検討状況を要介護度別に見ると、「要介護1・2」では「検討していない」が75.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が23.0%、「申請済み」が1.6%となっています。「要介護3以上」では「検討していない」が57.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が24.2%、「申請済み」が18.2%となっています。



※「要介護1・2」、「要介護3以上」のnの数は、介護保険総合データベースに蓄積された情報を基に集計した数（以下「介護保険DB数」といいます。）です。

ウ 世帯類型別・施設等検討の状況

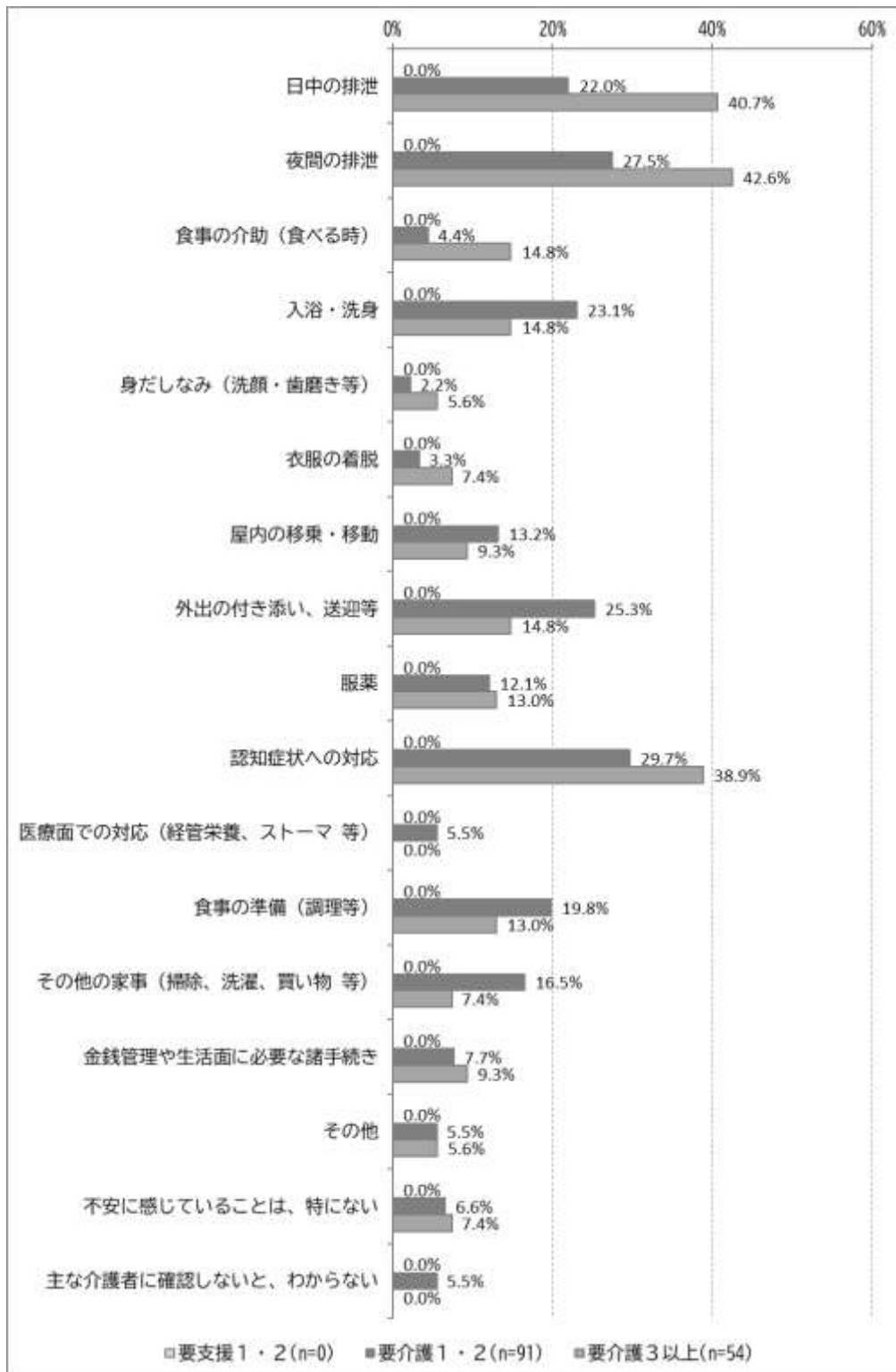
施設等の検討状況を世帯類型別に見ると、「単身世帯」では「検討していない」が58.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が29.1%、「申請済み」が12.7%となっています。「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が69.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が25.8%、「申請済み」が4.5%となっています。「その他」では「検討していない」が77.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が16.4%、「申請済み」が6.0%となっています。



(2) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安を感じる介護」の変化

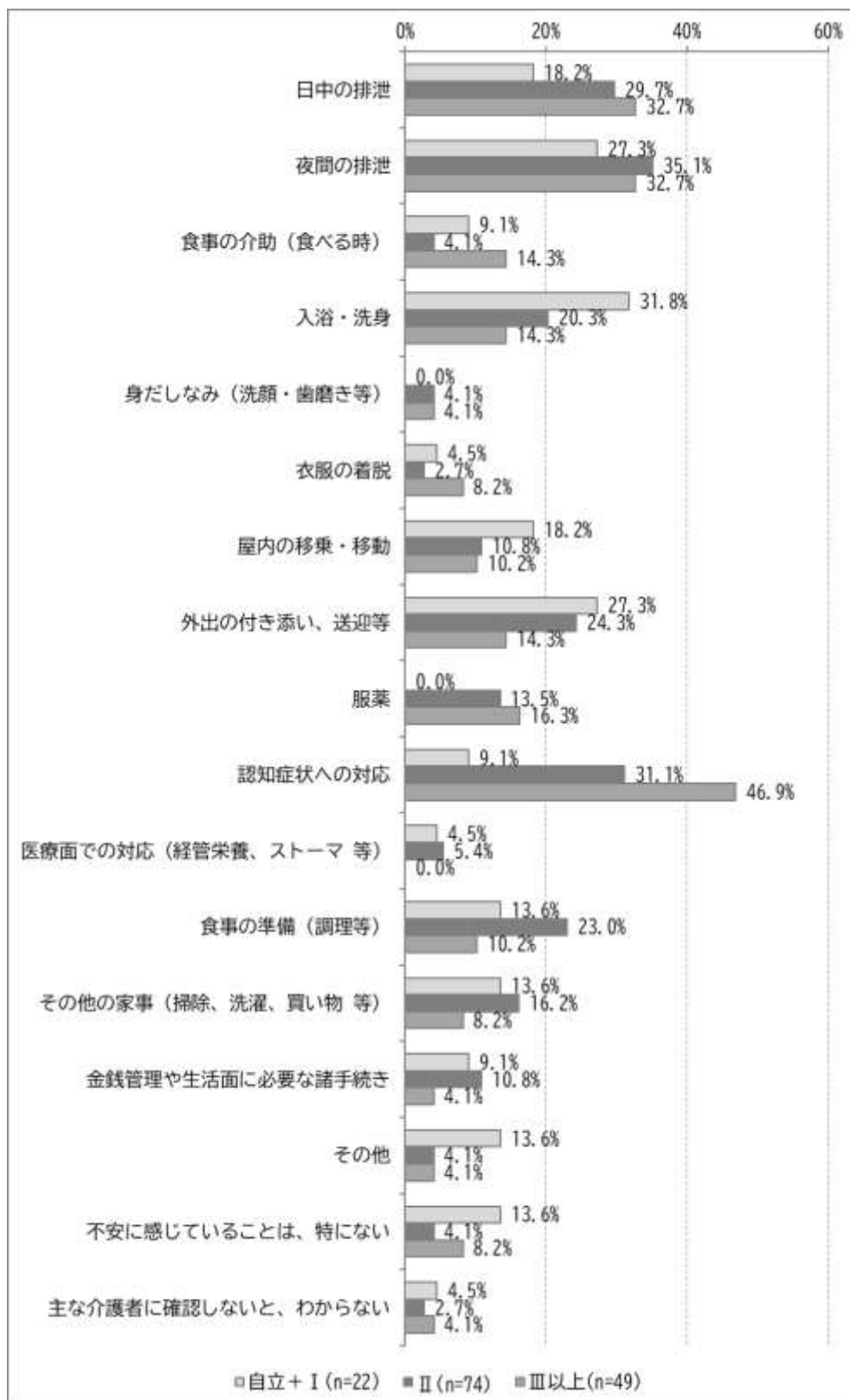
ア 要介護度別・介護者が不安を感じる介護

介護者が不安を感じる介護を要介護度別に見ると、「要介護1・2」では「認知症状への対応」が29.7%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が27.5%、「外出の付き添い、送迎等」が25.3%となっています。「要介護3以上」では「夜間の排泄」が42.6%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が40.7%、「認知症状への対応」が38.9%となっています。



イ 認知症自立度別・介護者が不安に感じる介護

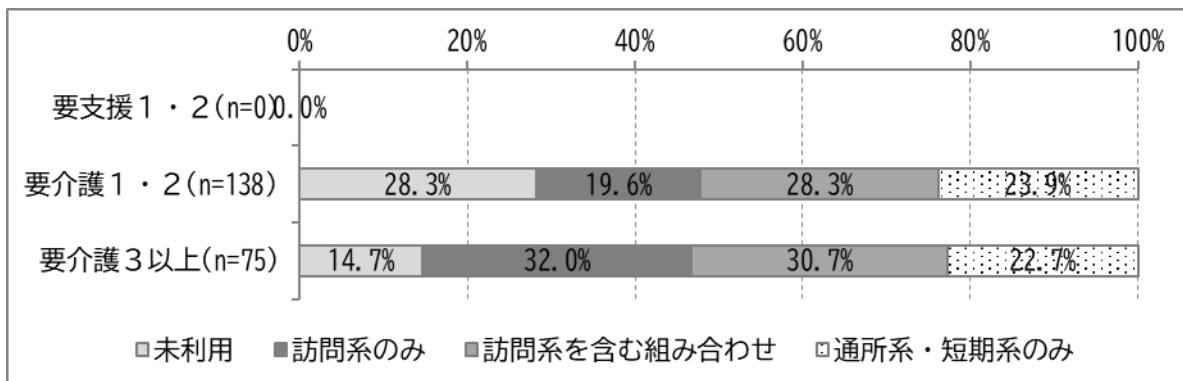
介護者が不安に感じる介護を認知症自立度別に見ると、「自立+Ⅰ」では「入浴・洗身」が31.8%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」及び「外出の付き添い、送迎等」が27.5%となっています。「Ⅱ」では「夜間の排泄」が35.1%と最も割合が高く、次いで「認知症への対応」が31.1%、「日中の排泄」が29.7%となっています。「Ⅲ」では「認知症への対応」が46.9%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」及び「夜間の排泄」が32.7%となっています。



(3) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化

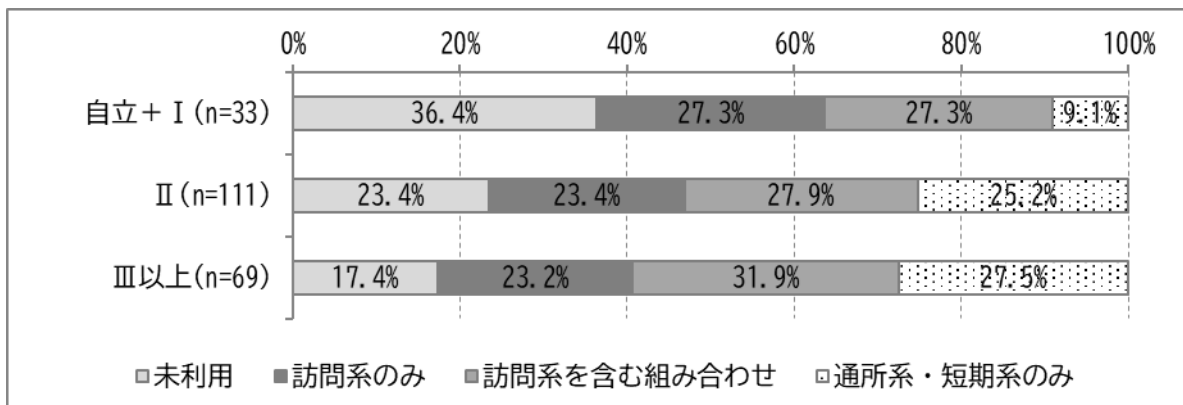
ア 要介護度別・サービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを要介護度別に見ると、「要介護1・2」では「未利用」、「訪問系を含む組み合わせ」が28.3%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が23.9%、「訪問系のみ」が19.6%となっています。「要介護3以上」では「訪問系のみ」が32.0%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が30.7%、「通所系・短期系のみ」が22.7%となっています。



イ 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別に見ると、「自立+ I」では「未利用」が36.4%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が27.3%、「通所系・短期系のみ」が9.1%となっています。「II」では「訪問系を含む組み合わせ」が27.9%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が25.2%、「未利用」、「訪問系のみ」が23.4%となっています。「III以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が31.9%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が27.5%、「訪問系のみ」が23.2%となっています。

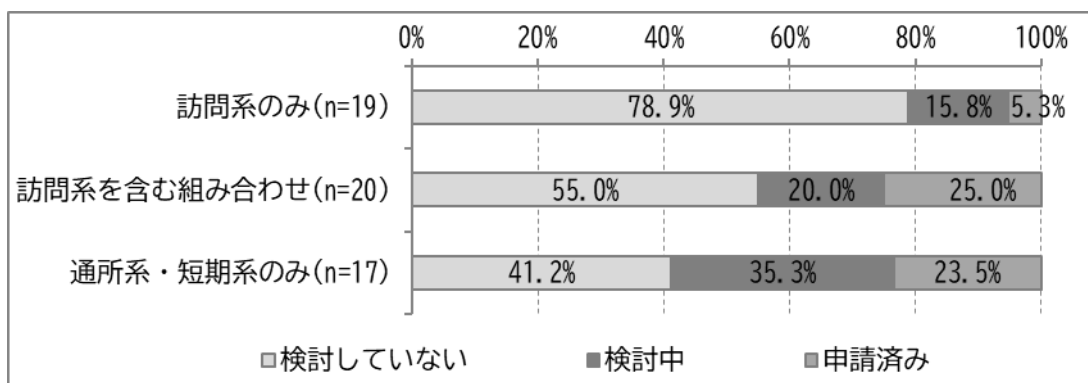


※「自立+ I」、「II」、「III以上」のnの数は、介護保険総合データベースに蓄積された情報を基に集計した数です。

(4) サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況の関係

ア サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）

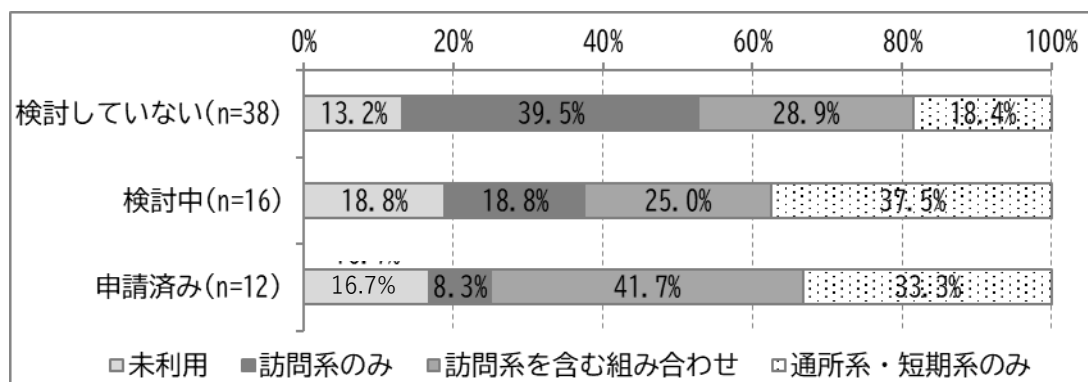
施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別に見ると、「訪問系のみ」では「検討していない」が78.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が15.8%、「申請済み」が5.3%となっています。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が55.0%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が25.0%、「検討中」が20.0%となっています。「通所系・短期系のみ」では「検討していない」が41.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が35.3%、「申請済み」が23.5%となっています。



※「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」、「通所系・短期系のみ」のnの数は、介護保険総合データベースに蓄積された情報を基に集計した数です。

イ サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別に見ると、「検討していない」では「訪問系のみ」が39.5%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が28.9%、「通所系・短期系のみ」が18.4%となっています。「検討中」では「通所系・短期系のみ」が37.5%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が25.0%、「未利用」、「訪問系のみ」が18.8%となっています。「申請済み」では「訪問系を含む組み合わせ」が41.7%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が33.3%、「未利用」が16.7%となっています。

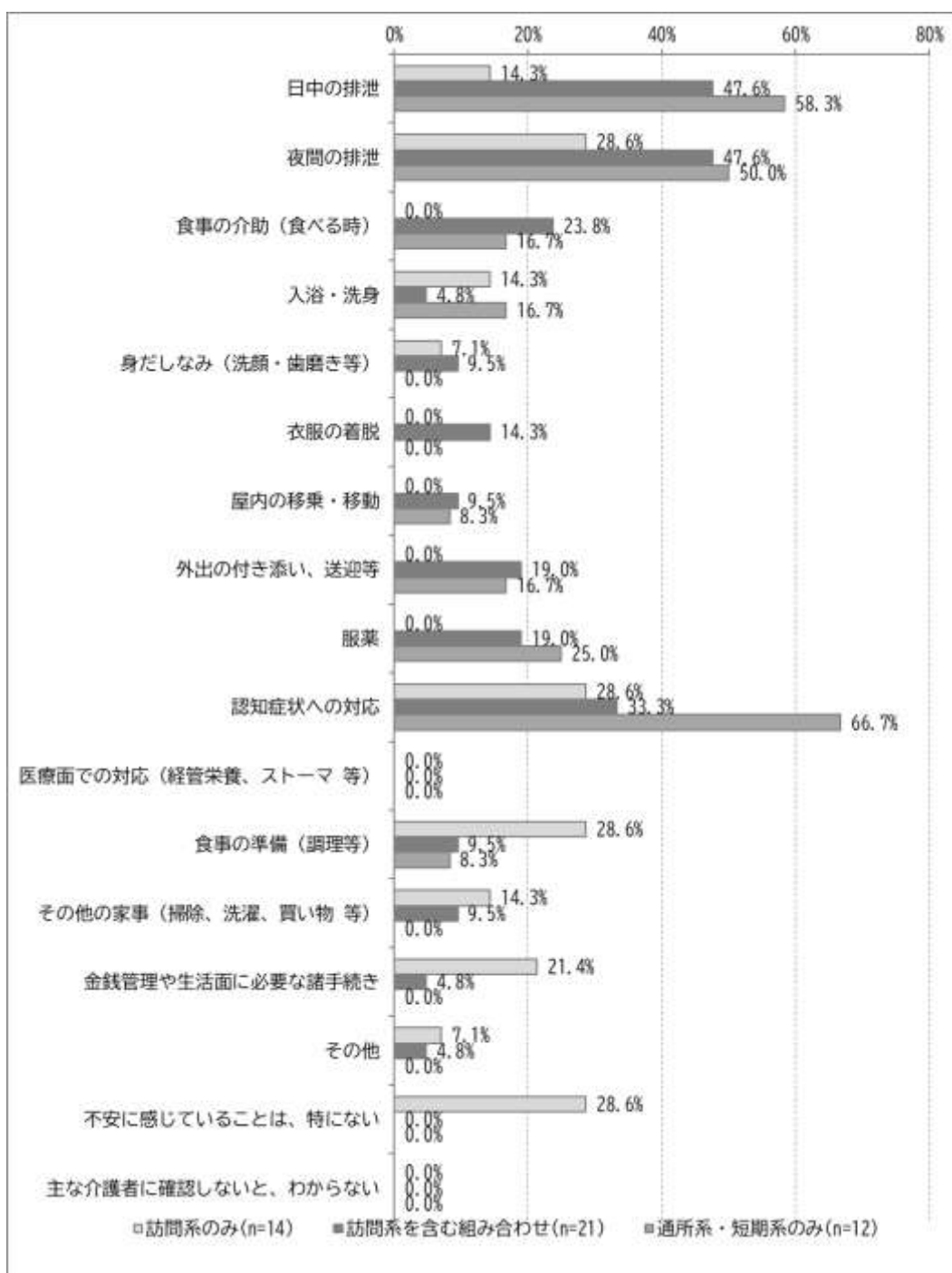


※「検討していない」、「検討中」、「申請済み」のnの数は、施設等の検討状況に関する回答を基に集計した数です。

(5) サービス利用の組み合わせと主な介護者が不安を感じる介護の関係

【サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（要介護3以上）】

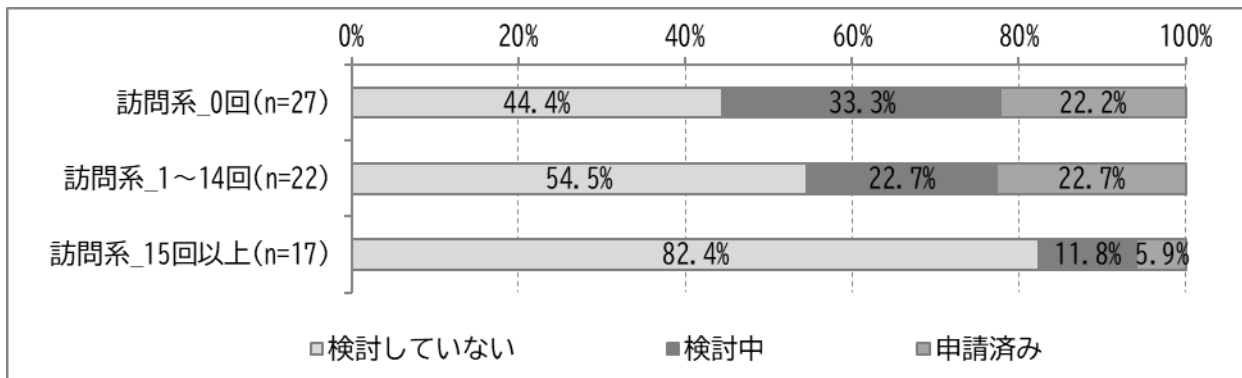
介護者が不安を感じる介護をサービス利用の組み合わせ別に見ると、「訪問系のみ」では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」、「食事の準備（調理等）」、「不安に感じていることは、特にない」が28.6%と最も割合が高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が21.4%、「日中の排泄」、「入浴・洗身」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が14.3%となっています。「訪問系を含む組み合わせ」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」が47.6%と最も割合が高く、次いで「認知症状への対応」が33.3%、「食事の介助（食べる時）」が23.8%となっています。「通所系・短期系のみ」では「認知症状への対応」が66.7%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が58.3%、「夜間の排泄」が50.0%となっています。



(6) サービス利用の回数と施設等検討の状況の関係

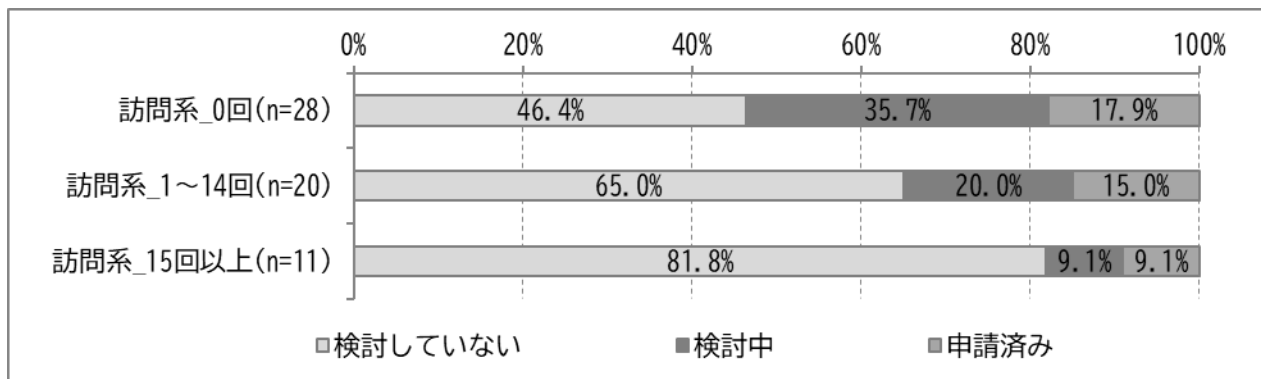
ア サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、要介護3以上）

施設等の検討状況を訪問系の利用回数別に見ると、「訪問系\_0回」では「検討していない」が44.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が33.3%、「申請済み」が22.2%となっています。「訪問系\_1～14回」では「検討していない」が54.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が22.7%となっています。「訪問系\_15回以上」では「検討していない」が82.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が11.8%、「申請済み」が5.9%となっています。



イ サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、認知症Ⅲ以上）

施設等の検討状況を訪問系の利用回数別に見ると、「訪問系\_0回」では「検討していない」が46.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が35.7%、「申請済み」が17.9%となっています。「訪問系\_1～14回」では「検討していない」が65.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が20.0%、「申請済み」が15.0%となっています。「訪問系\_15回以上」では「検討していない」が81.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が9.1%となっています。

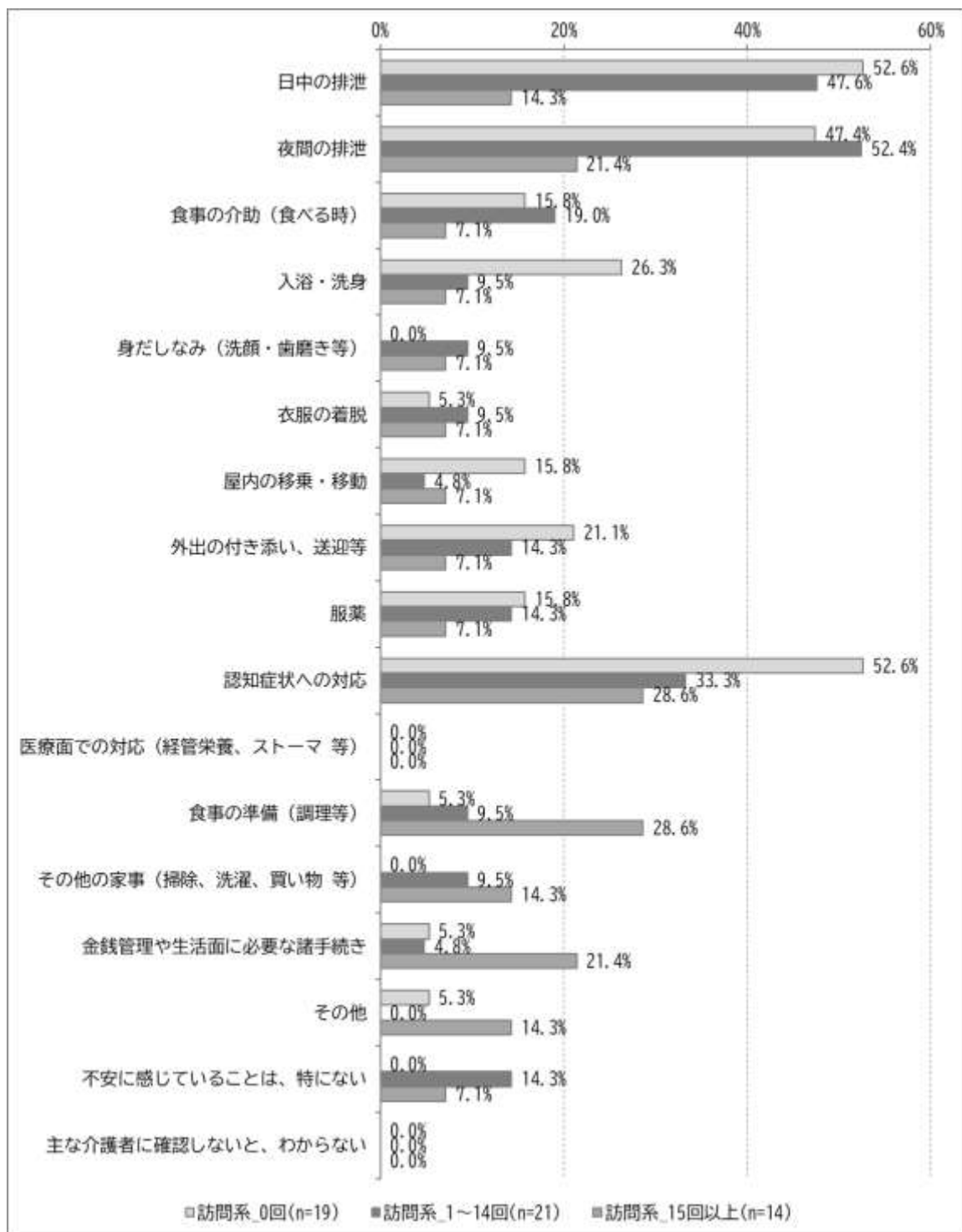


(7) サービス利用の回数と主な介護者が不安に感じる介護の関係

【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）】

介護者が不安に感じる介護を訪問系の利用回数別に見ると、「訪問系\_0回」では「日中の排泄」、「認知症状への対応」が52.6%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が47.4%、「入浴・洗身」が26.3%となっています。「訪問系\_1～14回」では「夜間の排泄」が52.4%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が47.6%、「認知症状への対応」が33.3%となっています。「訪問系\_15回以上」では「認知症状への対応」、「食事の準備（調理等）」が28.6%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が21.4%、「日中の排泄」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、「その他」が14.3%となっています。





## (8) 考察

訪問系サービスを頻回に利用しているケースでは、施設等を検討していない割合が多く、「認知症状への対応」や「日中・夜間の排泄」に係る介護者不安が軽減され、「不安に感じていることは、特にない」と回答した割合が高い傾向が見られました。また、要介護3以上で施設入所を検討していない方のサービス利用の組み合わせをみると、「訪問系のみ」又は「訪問系を含む組み合わせ」のサービスを利用している方の割合が高いことから、介護不安が軽減されるような訪問系サービスを充実していくことが、在宅介護の限界点を高めていくことに効果的であると考えられます。

ただし、多頻度の訪問が「認知症状への対応」に係る介護者不安の軽減に寄与する傾向がみられたことは、単にサービスが頻回に入ることによる効果ではなく、在宅での生活に専門職である介護・看護職等の目が多く入ることにより、在宅生活の環境改善が図られ、介護者の不安の軽減につながった可能性も考えられます。

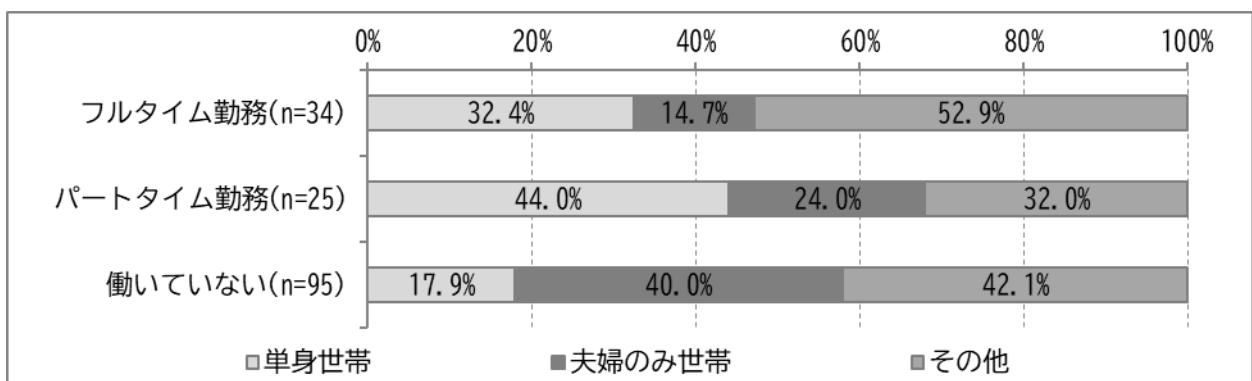
こうしたことから、「要介護者の在宅生活の継続」の達成に向けては、単純にサービスの整備を推進するのではなく、「狛江市においてこのサービスの整備が必要か」といった目標に対する手段の適正性を関係者間で共有する必要があります。また、サービスの整備を推進する場合には、その効果が十分に得られるよう各専門職が果たすべき役割について、関係者間での意見交換を行っていくことなどが重要であると考えられます。

## 2 在宅介護の限界点を高めるための支援

### (1) 基本集計

#### ア 就労状況別・世帯類型

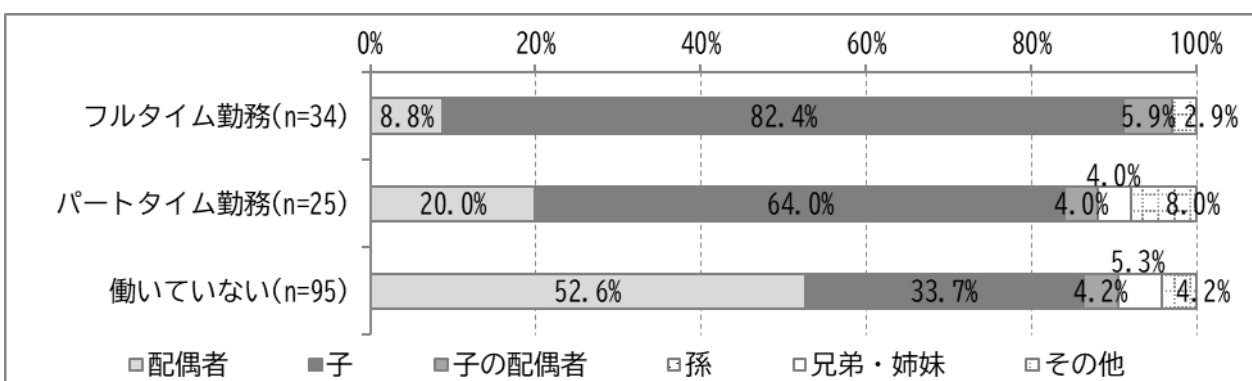
世帯類型を介護者の勤務形態別に見ると、「フルタイム勤務」では「その他」が52.9%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が32.4%、「夫婦のみ世帯」が14.7%となっています。「パートタイム勤務」では「単身世帯」が44.0%と最も割合が高く、次いで「その他」が32.0%、「夫婦のみ世帯」が24.0%となっています。「働いていない」では「その他」が42.1%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が40.0%、「単身世帯」が17.9%となっています。



※「フルタイム勤務」、「パートタイム勤務」、「働いていない」のnの数は、主な介護者の仕事に関する回答を基に集計した数です。

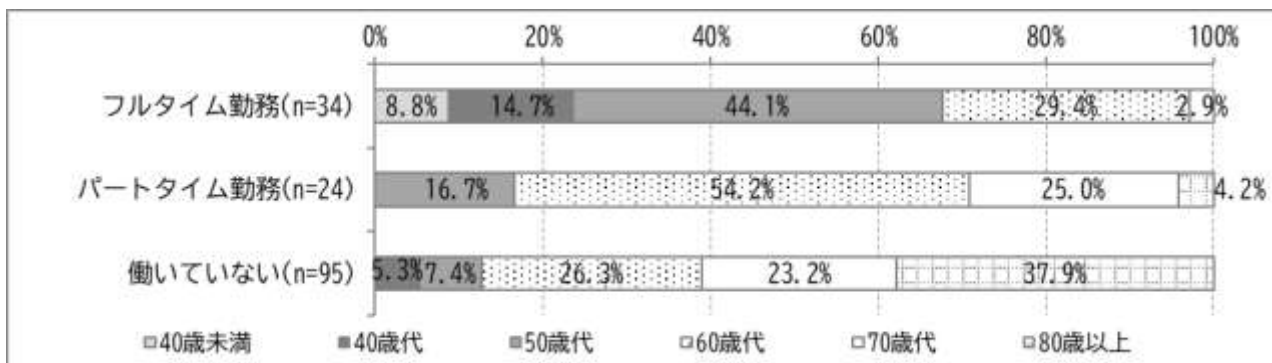
#### イ 就労状況別・主な介護者の本人との関係

主な介護者を介護者の勤務形態別に見ると、「フルタイム勤務」では「子」が82.4%と最も割合が高く、次いで「配偶者」が8.8%、「子の配偶者」が5.9%となっています。「パートタイム勤務」では「子」が64.0%と最も割合が高く、次いで「配偶者」が20.0%、「その他」が8.0%となっています。「働いていない」では「配偶者」が52.6%と最も割合が高く、次いで「子」が33.7%、「兄弟・姉妹」が5.3%となっています。



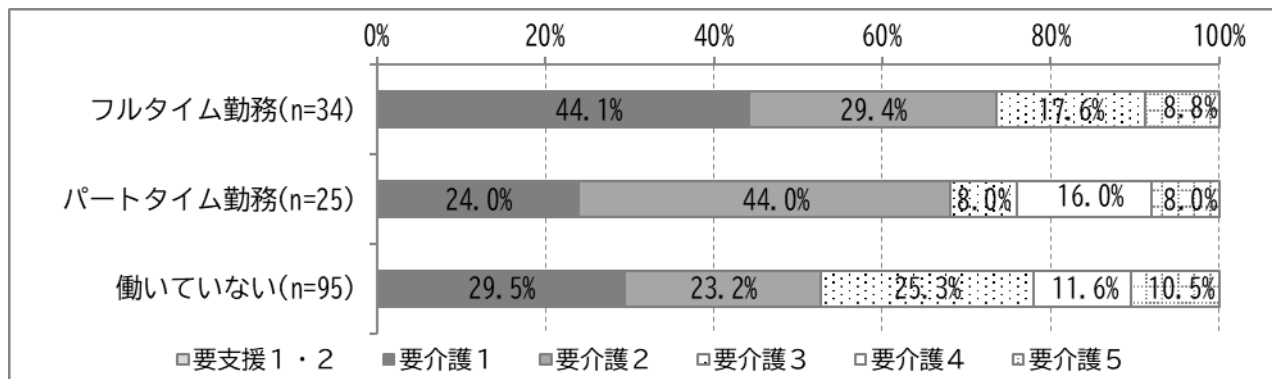
ウ 就労状況別・主な介護者の年齢

介護者の年齢を介護者の勤務形態別に見ると、「フルタイム勤務」では「50歳代」が44.1%と最も割合が高く、次いで「60歳代」が29.4%、「40歳代」が14.7%となっています。「パートタイム勤務」では「60歳代」が54.2%と最も割合が高く、次いで「70歳代」が25.0%、「50歳代」が16.7%となっています。「働いていない」では「80歳以上」が37.9%と最も割合が高く、次いで「60歳代」が26.3%、「70歳代」が23.2%となっています。



エ 就労状況別・要介護度

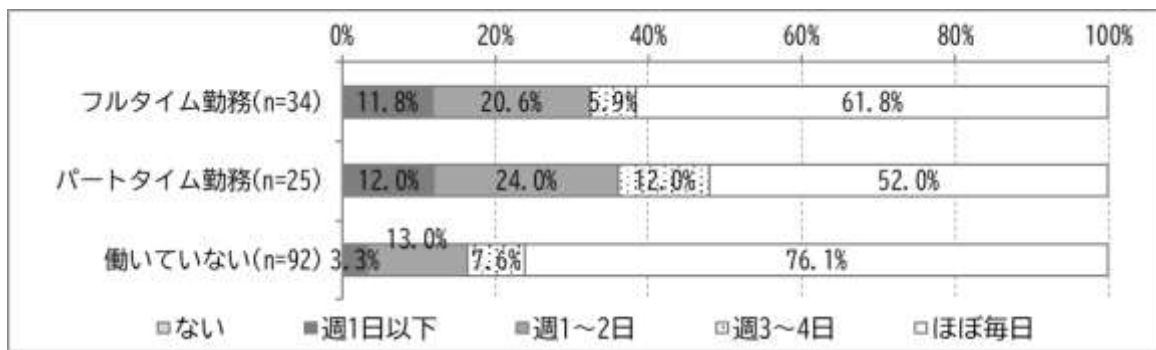
2次判定結果を介護者の勤務形態別に見ると、「フルタイム勤務」では「要介護1」が44.1%と最も割合が高く、次いで「要介護2」が29.4%、「要介護3」が17.6%となっています。「パートタイム勤務」では「要介護2」が44.0%と最も割合が高く、次いで「要介護1」が24.0%、「要介護4」が16.0%となっています。「働いていない」では「要介護1」が29.5%と最も割合が高く、次いで「要介護3」が25.3%、「要介護2」が23.2%となっています。



(2) 就労状況別の主な介護者が行っている介護と就労継続見込み

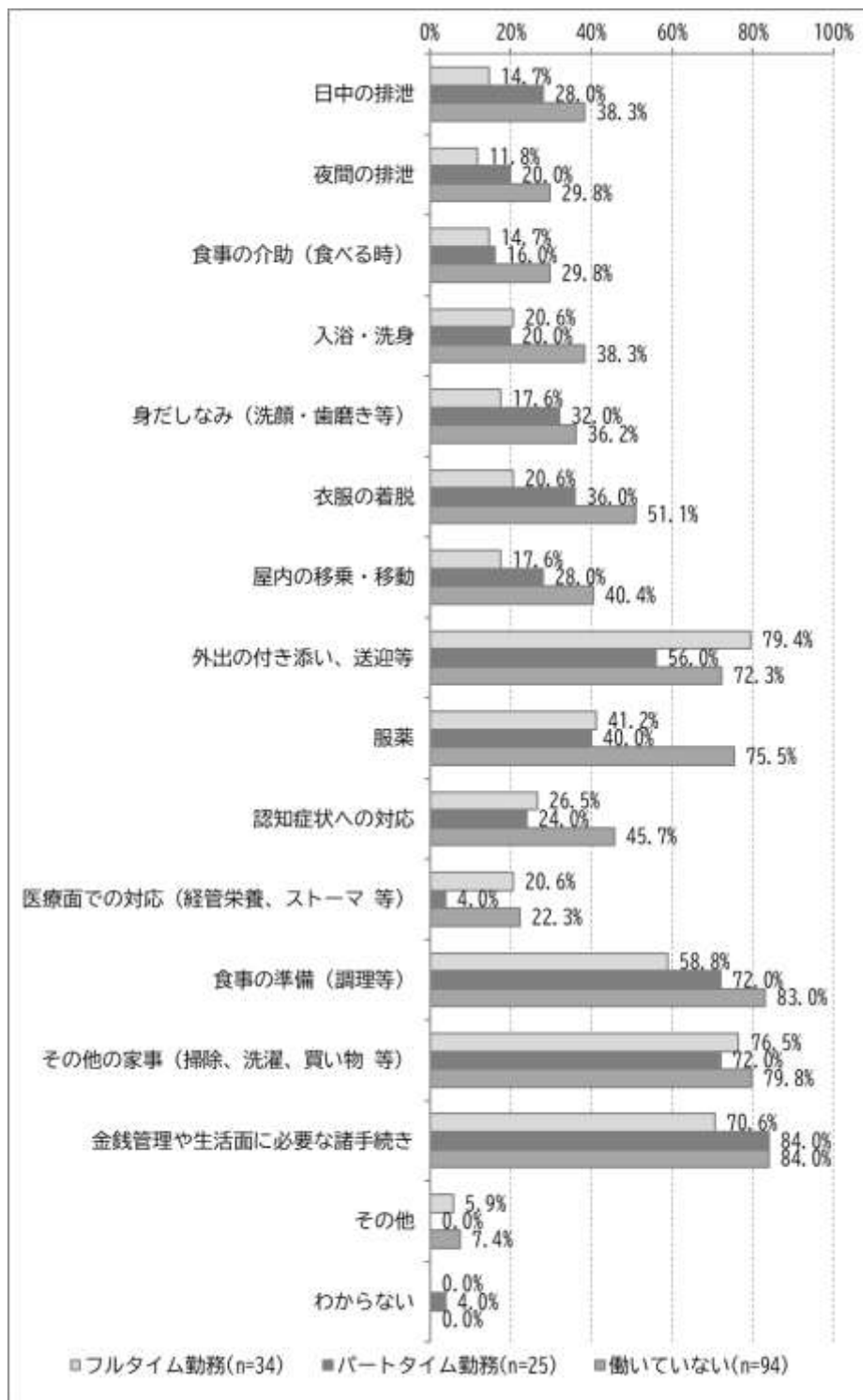
ア 就労状況別・家族等による介護の頻度

ご家族等の介護の頻度を介護者の勤務形態別に見ると、「フルタイム勤務」では「ほぼ毎日」が61.8%と最も割合が高く、次いで「週1~2日」が20.6%、「週1日以下」が11.8%となっています。「パートタイム勤務」では「ほぼ毎日」が52.0%と最も割合が高く、次いで「週1~2日」が24.0%、「週1日以下」、「週3~4日」が12.0%となっています。「働いていない」では「ほぼ毎日」が76.1%と最も割合が高く、次いで「週1~2日」が13.0%、「週3~4日」が7.6%となっています。



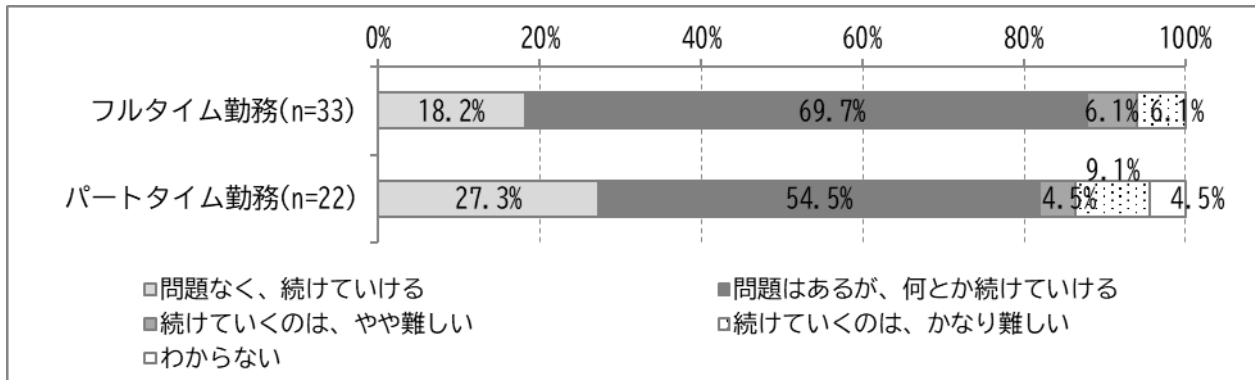
イ 就労状況別・主な介護者が行っている介護

介護者が行っている介護を介護者の勤務形態別に見ると、「フルタイム勤務」では「外出の付き添い、送迎等」が79.4%と最も割合が高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が76.5%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が70.6%となっています。「パートタイム勤務」では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が84.0%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が72.0%、「外出の付き添い、送迎等」が56.0%となっています。「働いていない」では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が84.0%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が83.0%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が79.8%となっています。



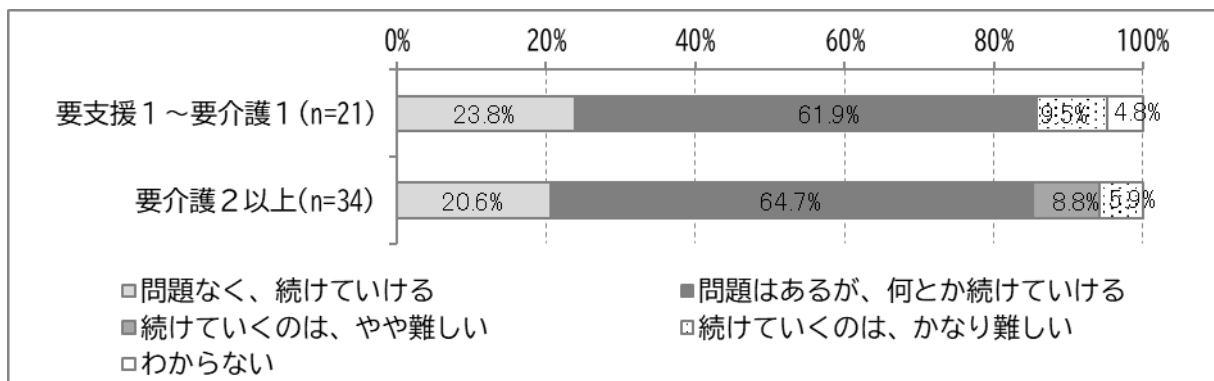
### ウ 就労状況別・就労継続見込み

介護者の就労継続の可否に係る意識を介護者の勤務形態別に見ると、「フルタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 69.7%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 18.2%、「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり難しい」が 6.1%となっています。「パートタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 54.5%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 27.3%、「続けていくのは、かなり難しい」が 9.1%となっています。



### エ 要介護度別・就労継続見込み（フルタイム勤務+パートタイム勤務）

介護者の就労継続の可否に係る意識を要介護度別に見ると、「要介護1」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 61.9%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 23.8%、「続けていくのは、かなり難しい」が 9.5%となっています。「要介護2以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が 64.7%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が 20.6%、「続けていくのは、やや難しい」が 8.8%となっています。

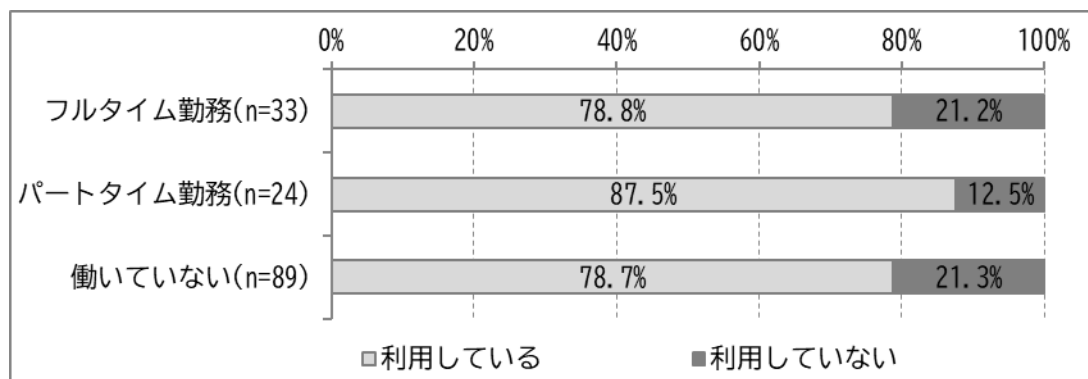


(3) 介護保険サービスの利用状況・主な介護者が不安に感じる介護と就労継続見込みの関係

ア 就労状況別・介護保険サービス利用の有無

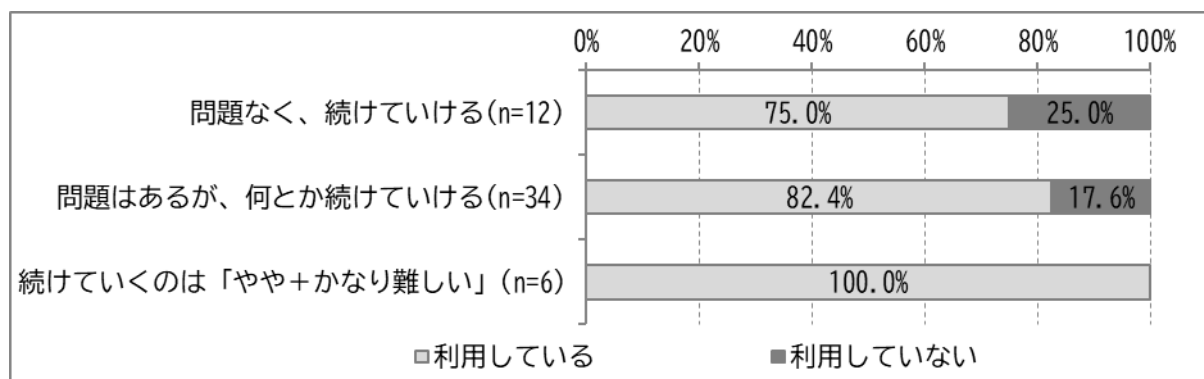
介護保険サービスの利用の有無を介護者の勤務形態別に見ると、「フルタイム勤務」では「利用している」が78.8%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が21.2%となっています。

「パートタイム勤務」では「利用している」が87.5%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が12.5%となっています。「働いていない」では「利用している」が78.7%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が21.3%となっています。



イ 就労継続見込み別・介護保険サービス利用の有無（フルタイム勤務+パートタイム勤務）

介護保険サービスの利用の有無を介護者の就労継続の可否に係る意識別に見ると、「問題なく、続けていける」では「利用している」が75.0%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が25.0%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「利用している」が82.4%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が17.6%となっています。「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「利用している」が100.0%となっています。

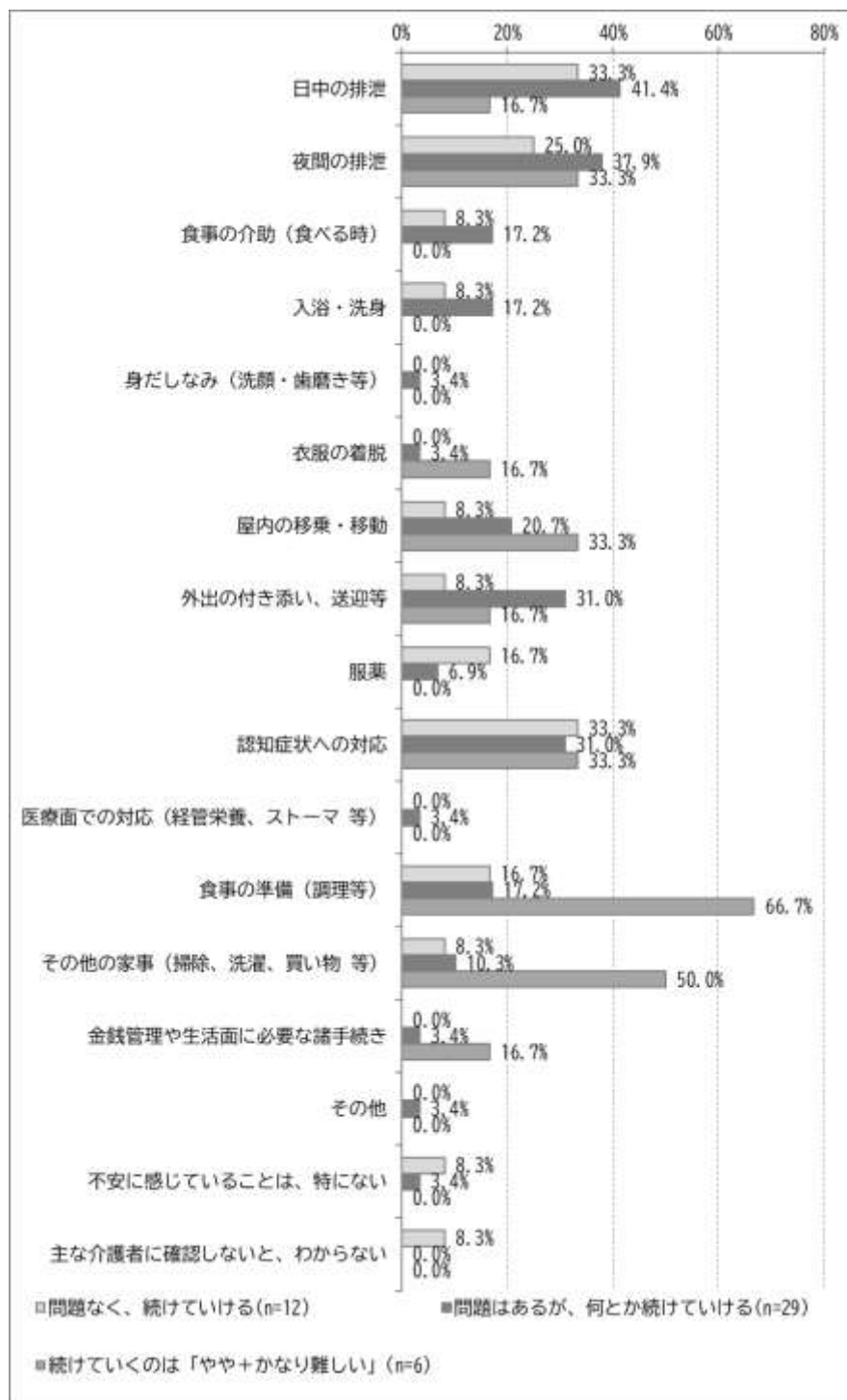


※「問題なく、続けていける」、「問題はあるが、何とか続けていける」、「続けていくのはやや+かなり難しい」のnの数は、主な介護者の仕事継続に関する回答を基に集計した数です。



ウ 就労継続見込み別・介護者が不安を感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）

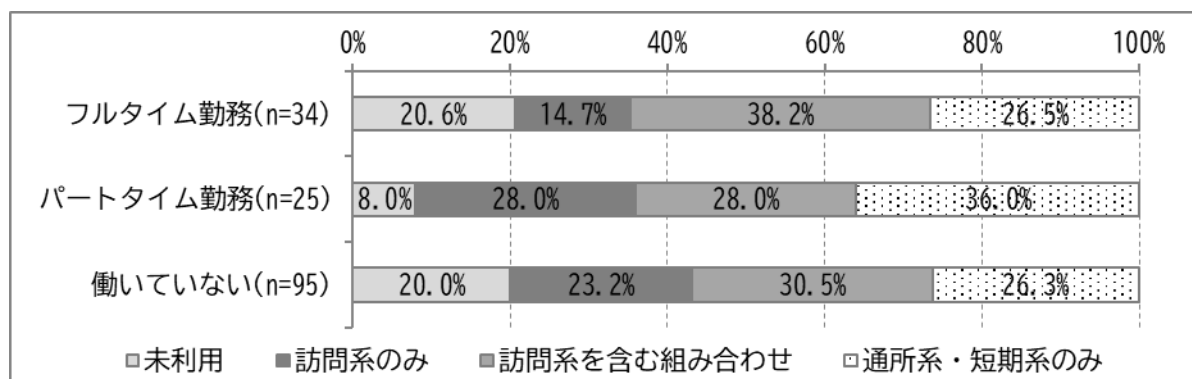
介護者が不安を感じる介護を介護者の就労継続の可否に係る意識別に見ると、「問題なく、続けていける」では「日中の排泄」、「認知症状への対応」が 33.3%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が 25.0%、「服薬」、「食事の準備（調理等）」が 16.7%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「日中の排泄」が 41.4%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が 37.9%、「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」が 31.0%となっています。「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「食事の準備（調理等）」が 66.7%と最も割合が高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 50.0%、「夜間の排泄」、「屋内の移乗・移動」、「認知症状への対応」が 33.3%となっています。



(4) 「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係

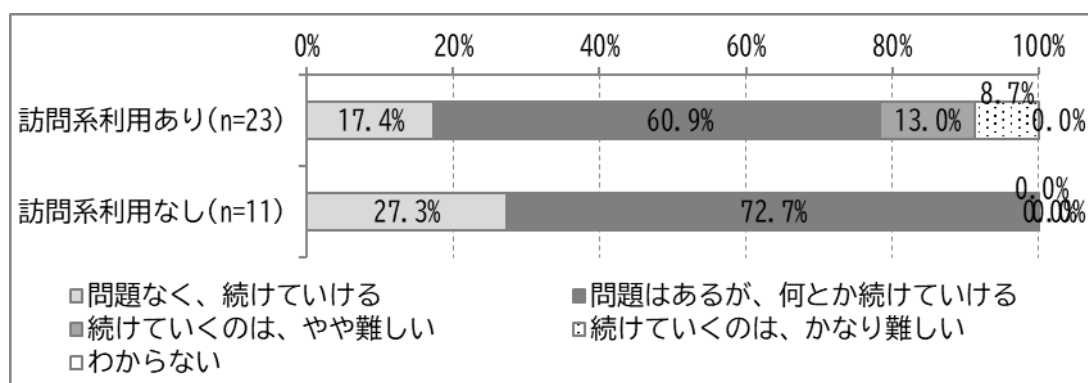
ア 就労状況別・サービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを介護者の勤務形態別に見ると、「フルタイム勤務」では「訪問系を含む組み合わせ」が38.2%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が26.5%、「未利用」が20.6%となっています。「パートタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が36.0%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が28.0%、「未利用」が8.0%となっています。「働いていない」では「訪問系を含む組み合わせ」が30.5%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が26.3%、「訪問系のみ」が23.2%となっています。



イ サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務）

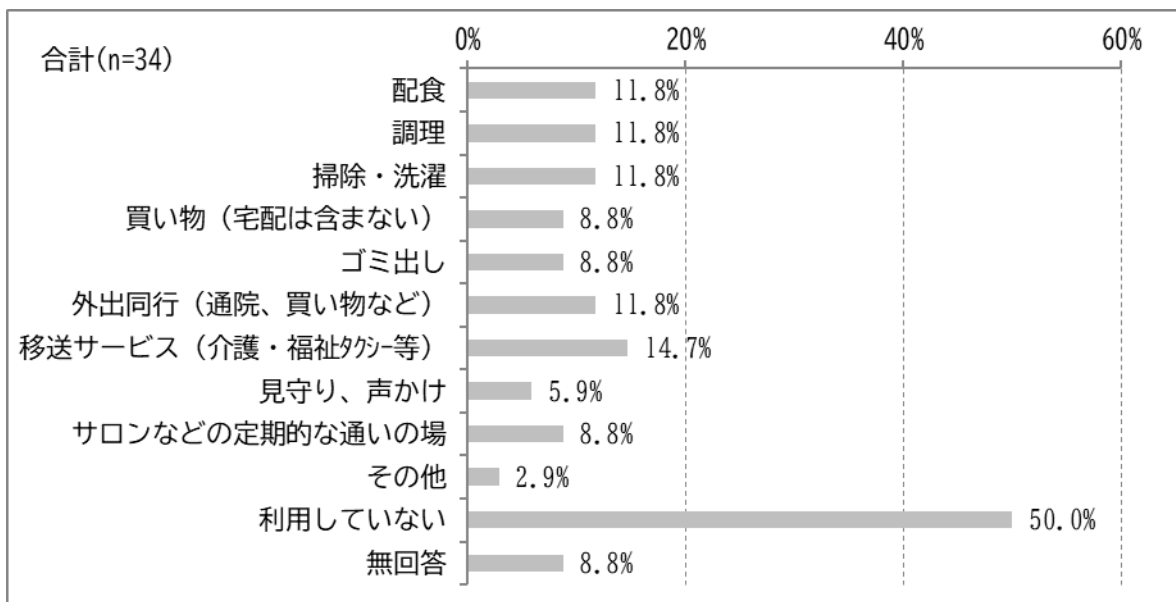
介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別に見ると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が60.9%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が17.4%、「続けていくのは、やや難しい」が13.0%となっています。「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が72.7%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が27.3%、「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり難しい」、「わからない」が0.0%となっています。



(5) 就労状況別の、保険外の支援・サービスの利用状況と、施設等検討の状況

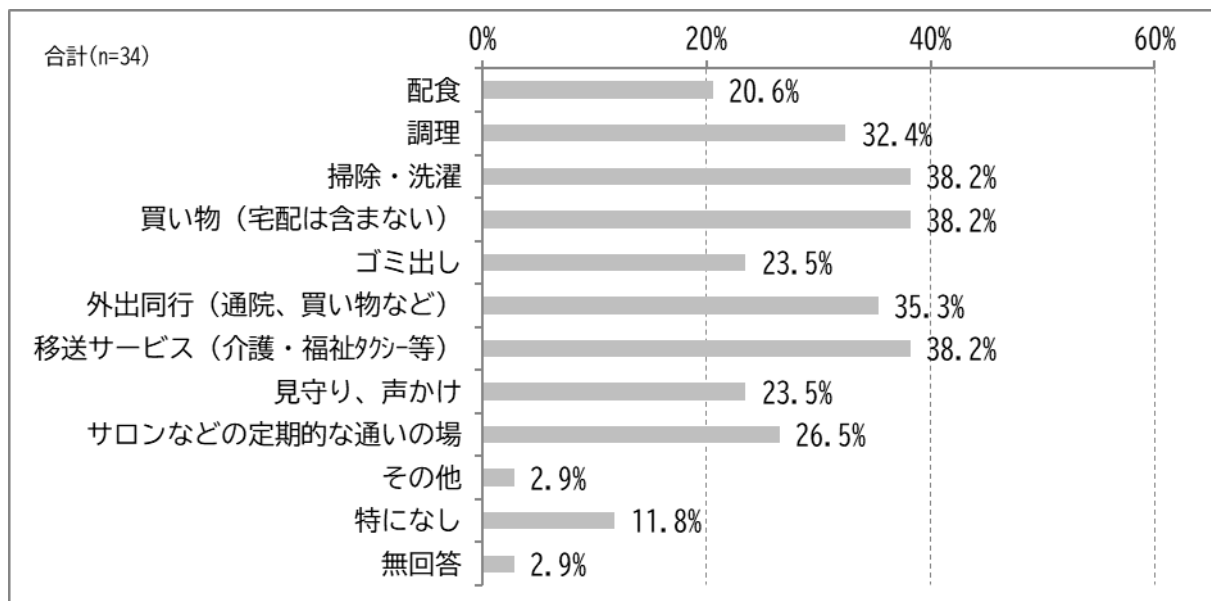
ア 利用している保険外の支援・サービス（フルタイム勤務）

「利用していない」の割合が最も高く 50.0%となっています。次いで、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（14.7%）」、「配食（11.8%）」、「調理（11.8%）」、「掃除・洗濯（11.8%）」、「外出同行（通院、買い物など）（11.8%）」となっています。



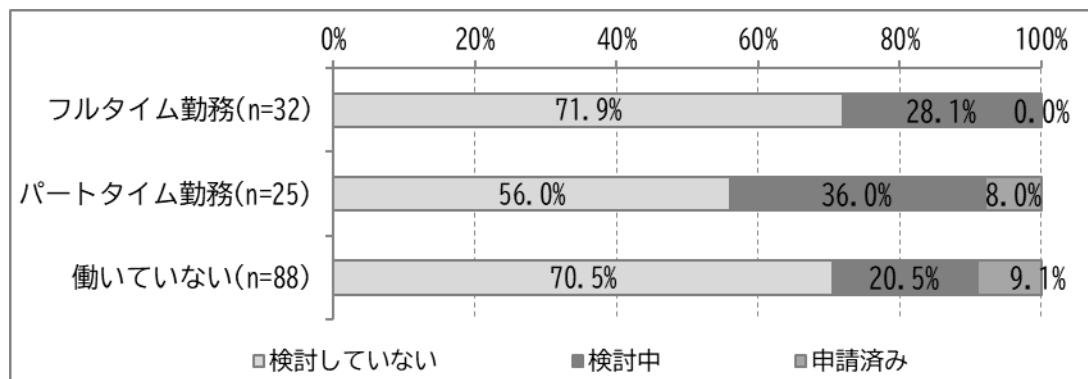
イ 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（フルタイム勤務）

「掃除・洗濯」、「買い物（宅配は含まない）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が高く、それぞれ 38.2%となっています。次いで、「外出同行（通院、買い物など）（35.3%）」、「調理（32.4%）」となっています。



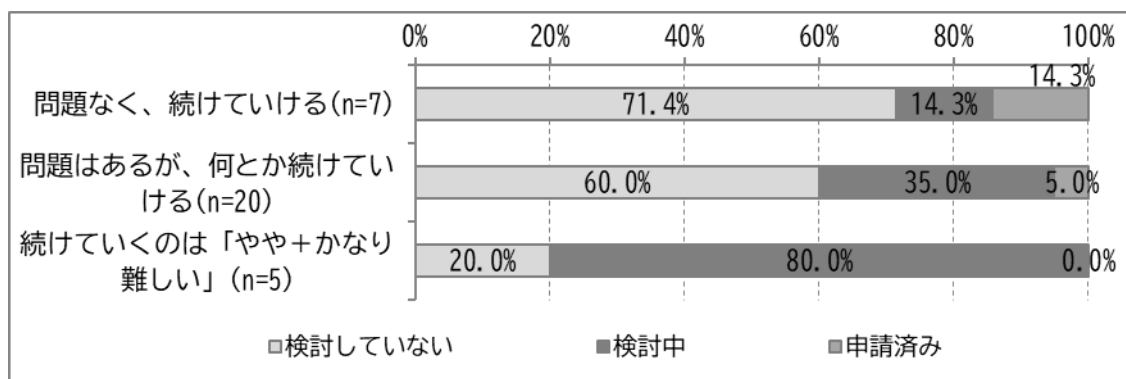
ウ 就労状況別・施設等検討の状況

施設等の検討状況を介護者の勤務形態別に見ると、「フルタイム勤務」では「検討していない」が71.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が28.1%、「申請済み」が0.0%となっています。「パートタイム勤務」では「検討していない」が56.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が36.0%、「申請済み」が8.0%となっています。「働いていない」では「検討していない」が70.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が20.5%、「申請済み」が9.1%となっています。



エ 就労継続見込み別・施設等検討の状況 (要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)

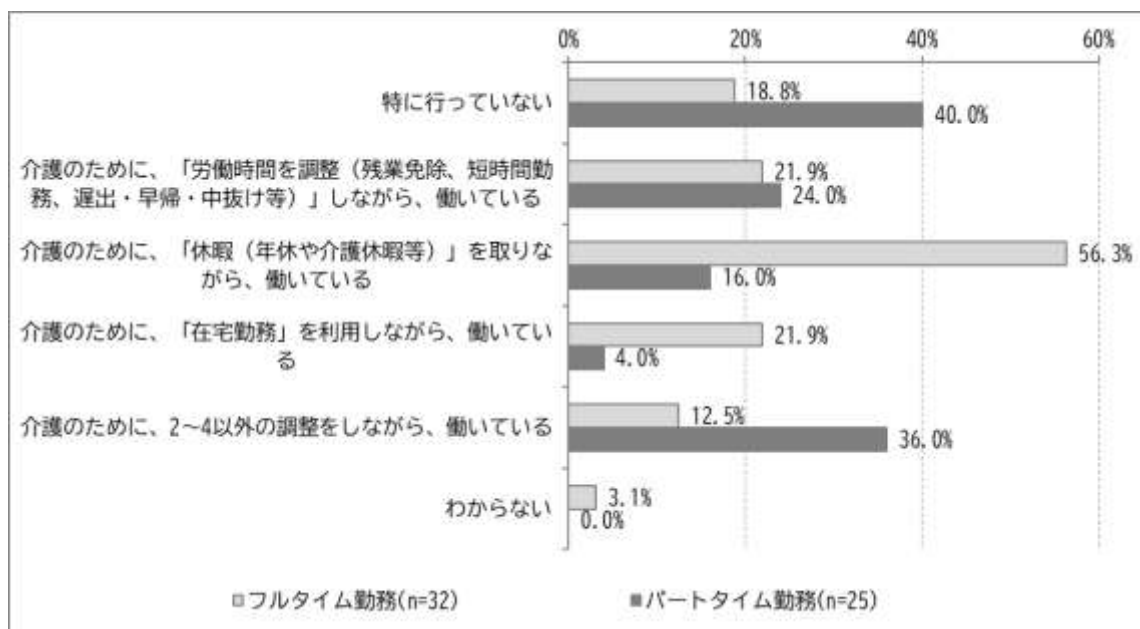
施設等の検討状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別に見ると、「問題なく、続けていける」では「検討していない」が71.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が14.3%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「検討していない」が60.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が35.0%、「申請済み」が5.0%となっています。「続けていくのは「やや+かなり難しい」では「検討中」が80.0%と最も割合が高く、次いで「検討していない」が20.0%、「申請済み」が0.0%となっています。



(6) 就労状況別の、介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援

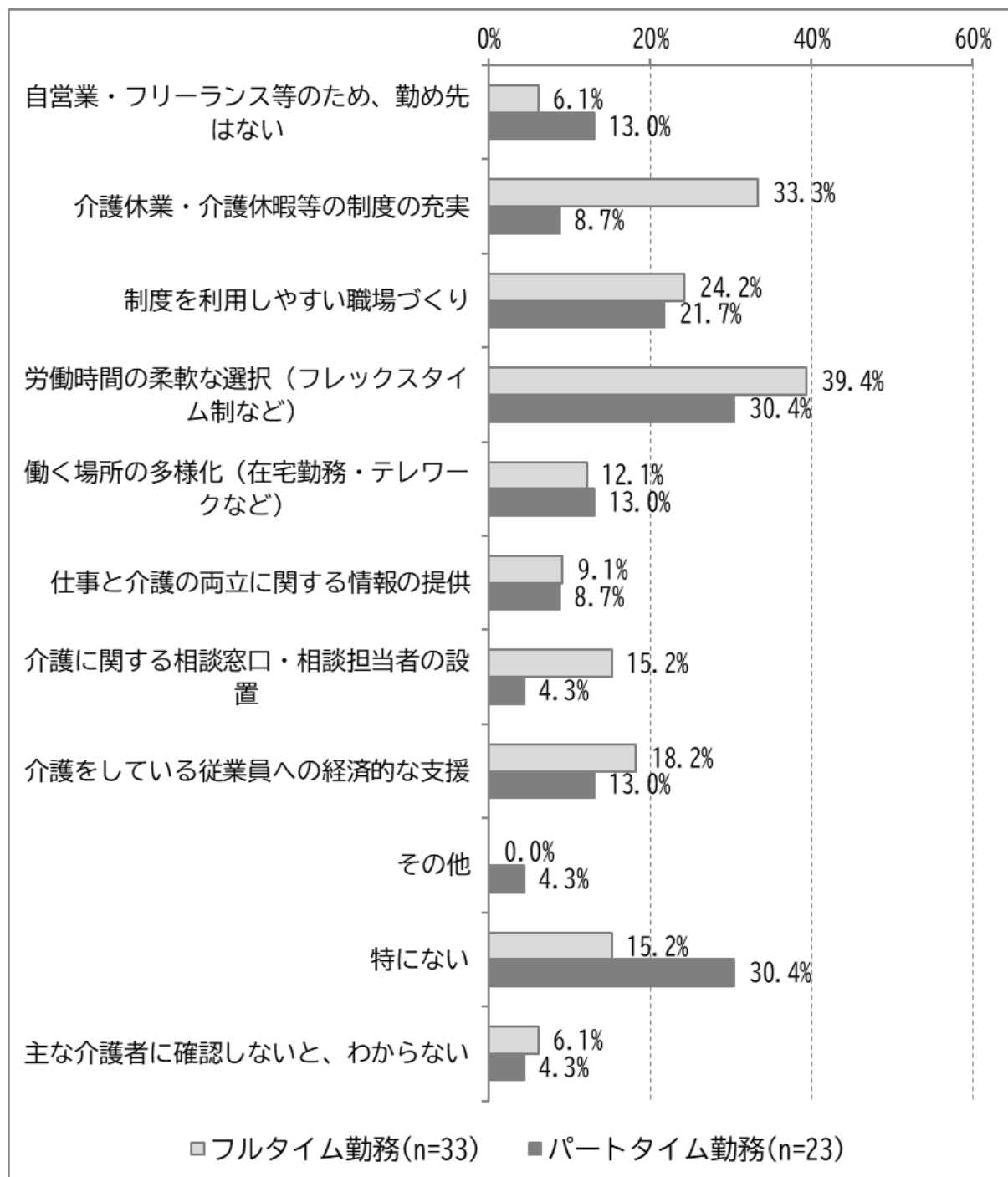
ア 就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務+パートタイム勤務）

介護者の働き方の調整の状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別に見ると、「問題なく、続けていける」では「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が41.7%と最も割合が高く、次いで「特に行っていない」が33.3%、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が25.0%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が36.4%と最も割合が高く、次いで「特に行っていない」、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が27.3%、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」が18.2%となっています。「続けていくのは「やや+かなり難しい」では「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が57.1%と最も割合が高く、次いで「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が42.9%、「特に行っていない」、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が28.6%となっています。



イ 就労状況別・効果的な勤め先からの支援

効果的な勤め先からの支援を介護者の勤務形態別に見ると、「フルタイム勤務」では「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が39.4%と最も割合が高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が33.3%、「制度を利用しやすい職場づくり」が24.2%となっています。「パートタイム勤務」では「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」、「特にない」が30.4%と最も割合が高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が21.7%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」、「働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）」、「介護をしている従業員への経済的な支援」が13.0%となっています。



## (7) 考察

介護をしながら仕事を継続している主たる介護者のうち、「問題はあるが、何とか続けていける」又は「続けていくのは難しい」とする層が不安を感じる介護については、「認知症状への対応」、「外出の付き添い、送迎等」、「日中・夜間の排泄」と回答した割合が高い傾向が見られました。これらの介護への不安をいかに軽減していくかが、仕事と介護の両立に向けた支援において重要であると考えられます。

なお、仕事を「問題なく、続けていける」と回答した層は、要介護度や認知症高齢者の日常生活自立度の状態から、支援のニーズそのものが低い可能性もあります。そのため、施策の検討に当たっては、「問題はあるが、何とか続けていける」と回答した層に向けた介護サービスや職場への働きかけを通じた支援を考えていくことが効果的であると考えられます。

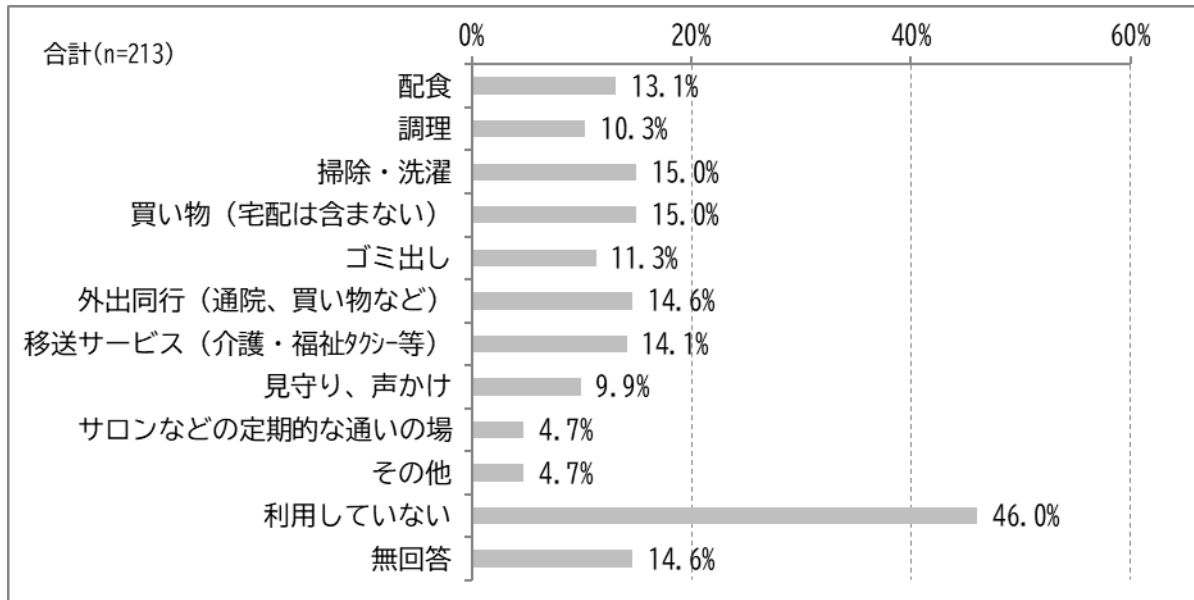
また、介護者の就労状況等により関わる介護が異なることから、介護サービスに対するニーズは、要介護者の状況だけでなく、介護者の就労状況等によっても異なると考えられます。介護者の多様な就労状況に合わせた柔軟な対応が可能となる訪問系サービスや通所系サービスの組み合わせなどを活用できる環境を整えることが、仕事の介護の支援につながるものと見られます。

3 インフォーマルな地域資源の整備

(1) 基礎集計

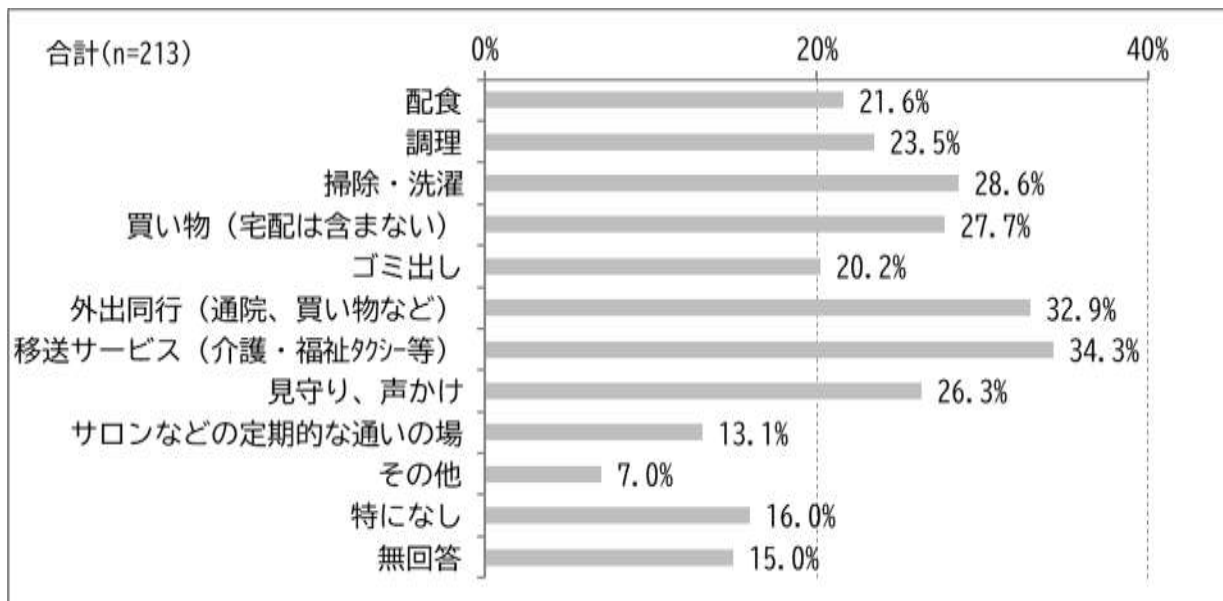
ア 保険外の支援・サービスの利用状況

「利用していない」の割合が最も高く 46.0%となっています。次いで、「掃除・洗濯 (15.0%)」、「買い物 (宅配は含まない) (15.0%)」、「外出同行 (通院、買い物など) (14.6%)」となっています。



イ 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

「移送サービス (介護・福祉タクシー等)」の割合が最も高く 34.3%となっています。次いで、「外出同行 (通院、買い物など) (32.9%)」、「掃除・洗濯 (28.6%)」となっています。

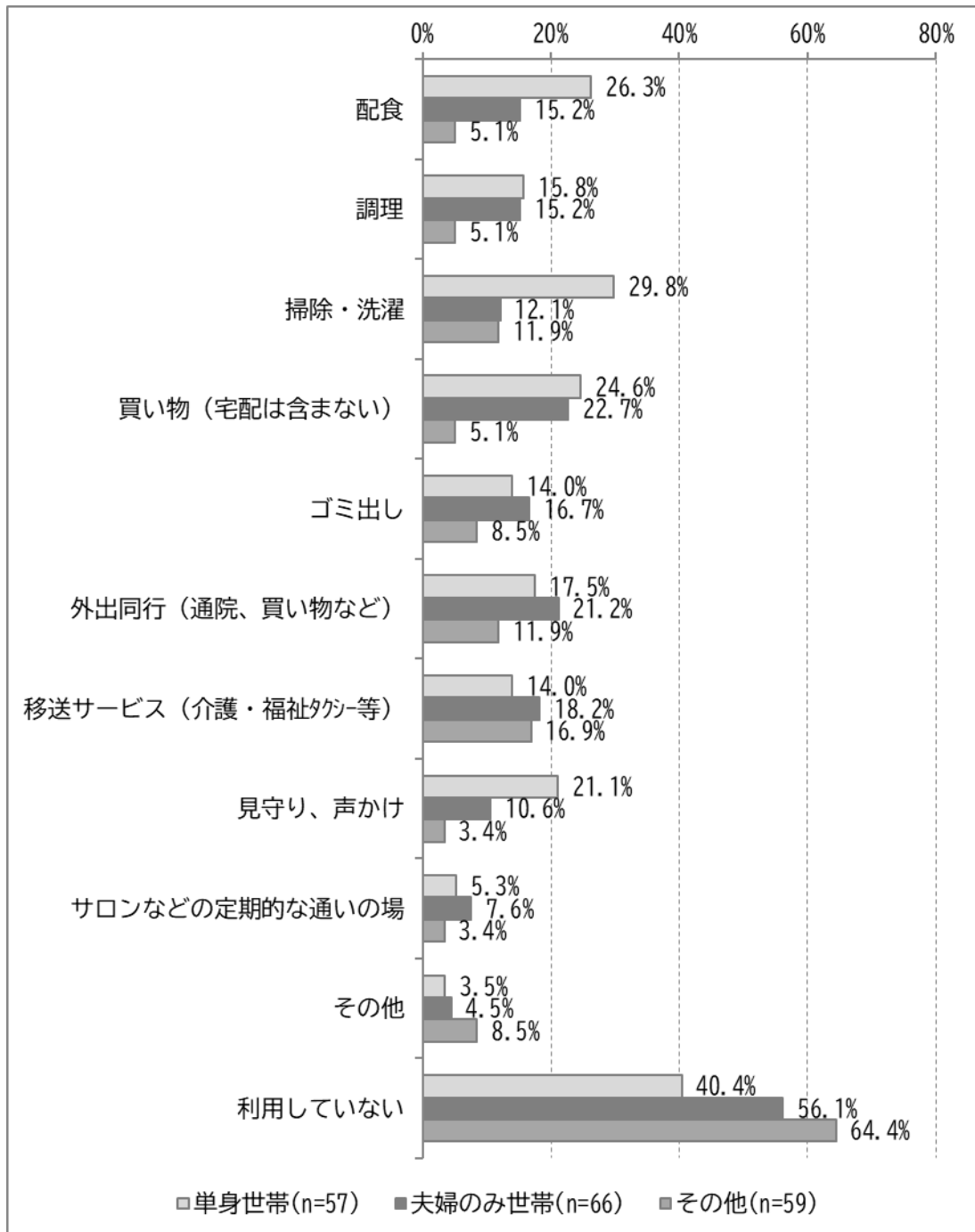




(2) 世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス

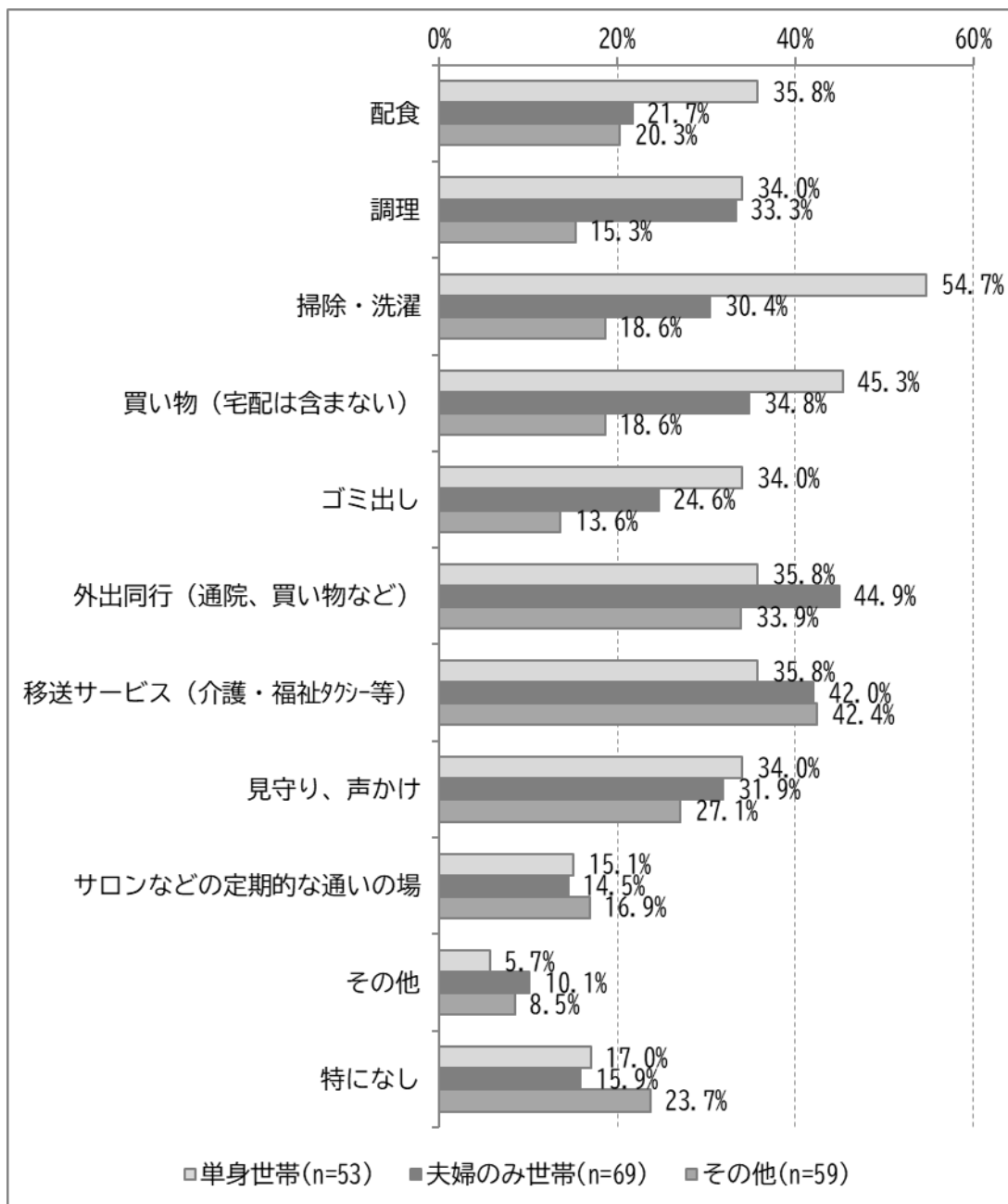
ア 世帯類型別・保険外の支援・サービスの利用状況

保険外の支援・サービスの利用状況を世帯類型別に見ると、「単身世帯」では「利用していない」が40.4%と最も割合が高く、次いで「掃除・洗濯」が29.8%、「配食」が26.3%となっています。「夫婦のみ世帯」では「利用していない」が56.1%と最も割合が高く、次いで「買い物(宅配は含まない)」が22.7%、「外出同行(通院、買い物など)」が21.2%となっています。「その他」では「利用していない」が64.4%と最も割合が高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が16.9%、「掃除・洗濯」、「外出同行(通院、買い物など)」が11.9%となっています。



イ 世帯類型別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

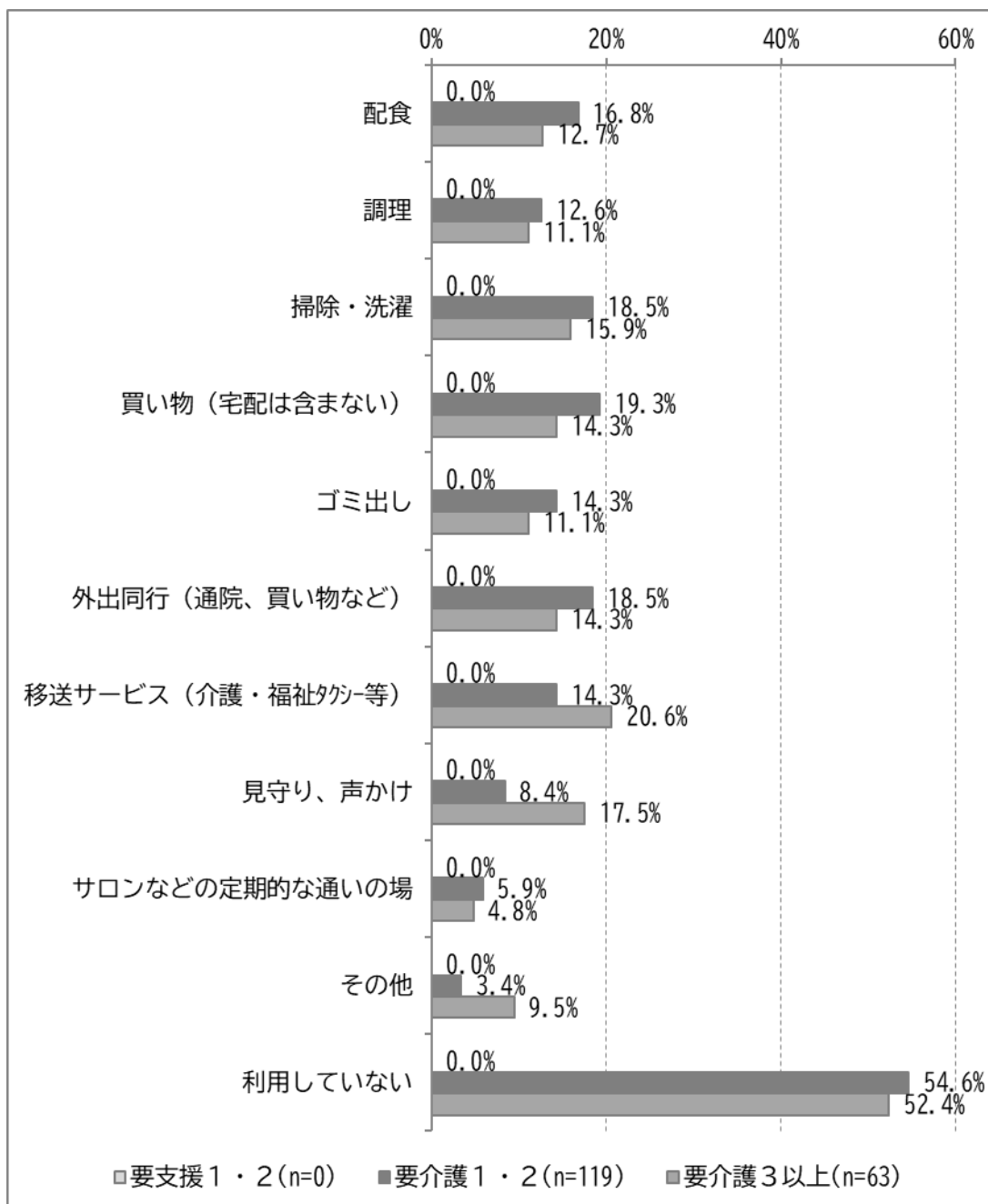
保険外の支援・サービスの必要性を世帯類型別に見ると、「単身世帯」では「掃除・洗濯」が54.7%と最も割合が高く、次いで「買い物（宅配は含まない）」が45.3%、「配食」、「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が35.8%となっています。「夫婦のみ世帯」では「外出同行（通院、買い物など）」が44.9%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が42.0%、「買い物（宅配は含まない）」が34.8%となっています。「その他」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が42.4%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が33.9%、「見守り、声かけ」が27.1%となっています。



(3) 「世帯類型」 × 「要介護度」 × 「保険外の支援・サービスの利用状況」

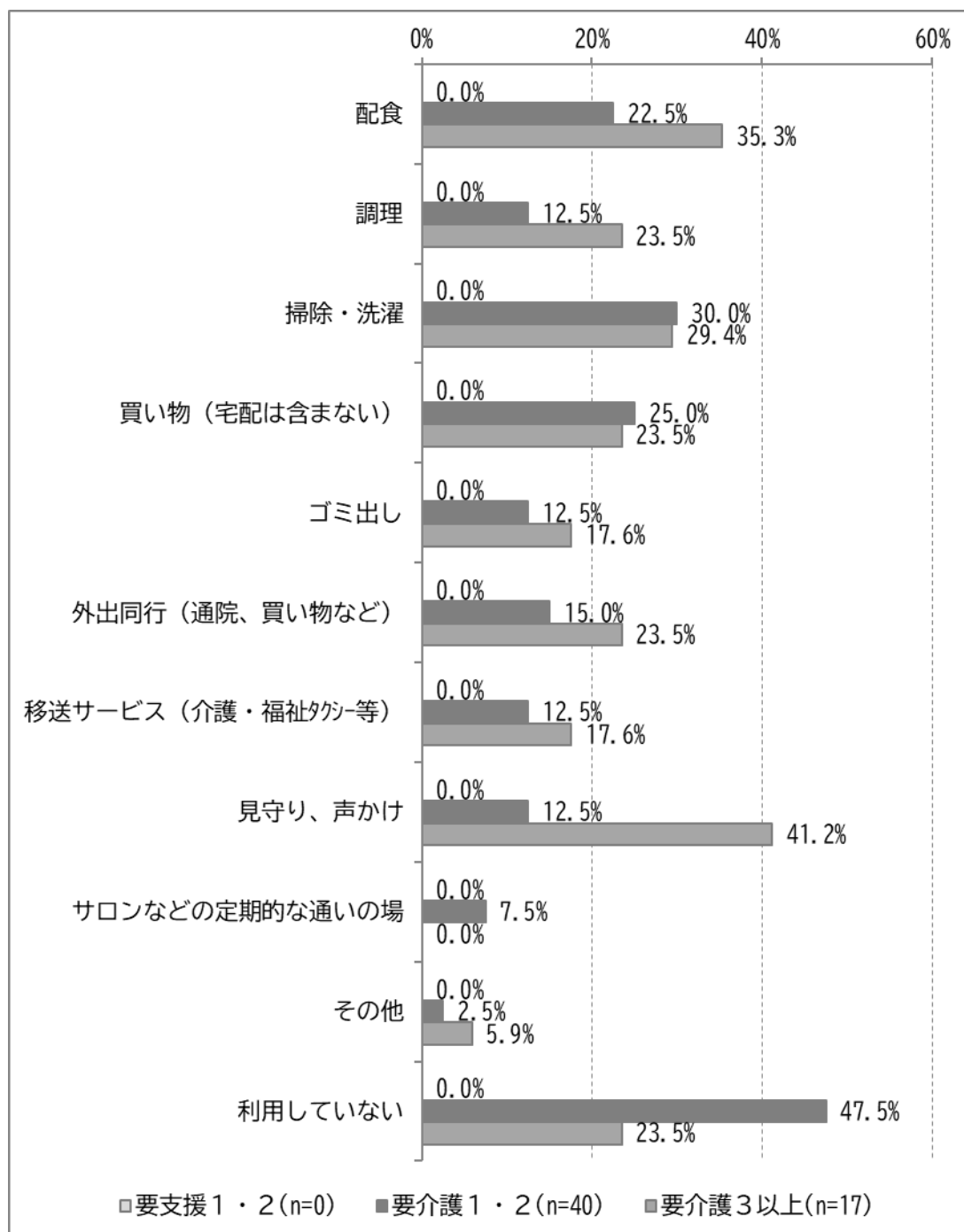
ア 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況

保険外の支援・サービスの利用状況を要介護度別に見ると、「要介護1・2」では「利用していない」が54.6%と最も割合が高く、次いで「買い物（宅配は含まない）」が19.3%、「掃除・洗濯」、「外出同行（通院、買い物など）」が18.5%となっています。「要介護3以上」では「利用していない」が52.4%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が20.6%、「見守り、声かけ」が17.5%となっています。



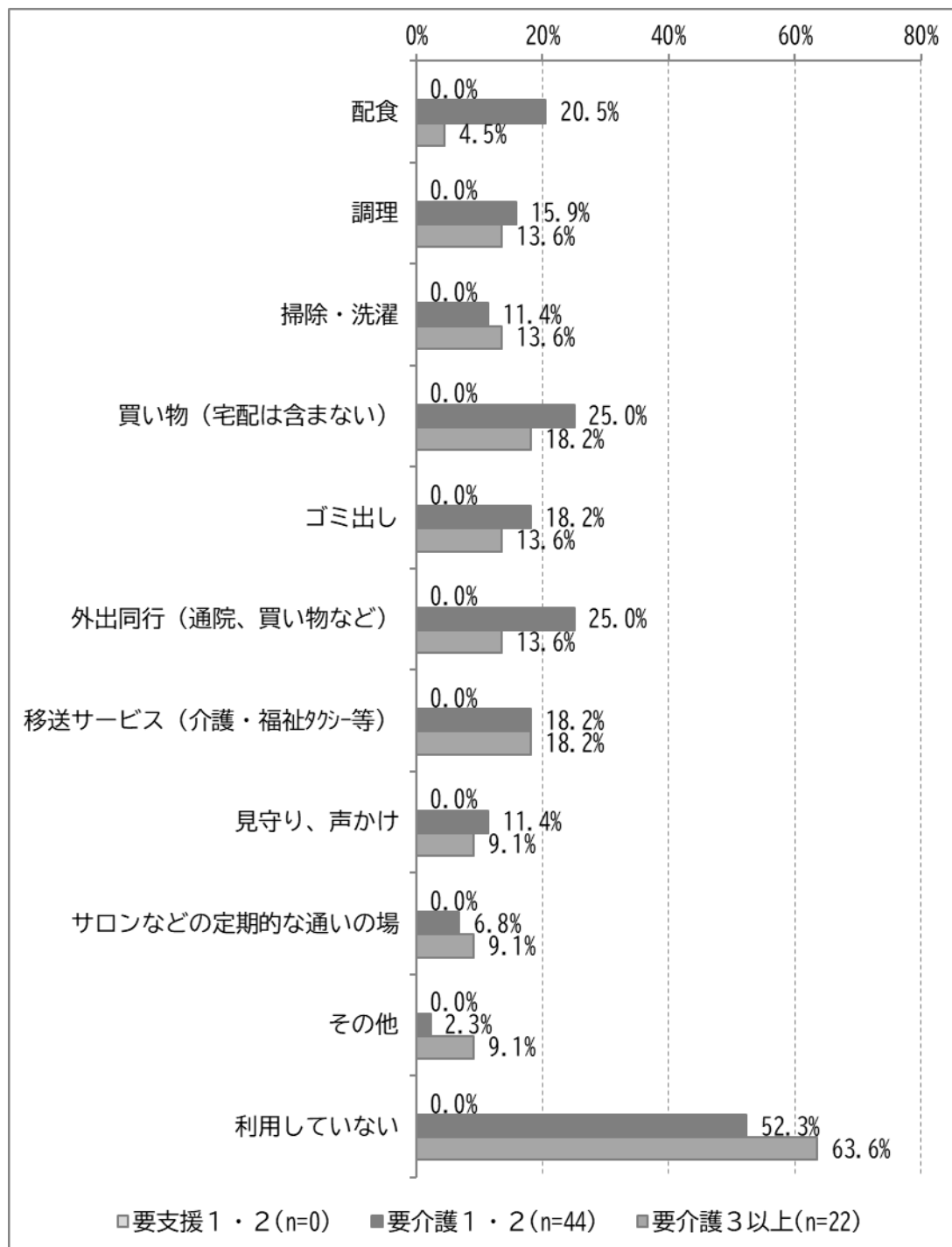
イ 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（単身世帯）

保険外の支援・サービスの利用状況を要介護度別に見ると、「要介護1・2」では「利用していない」が47.5%と最も割合が高く、次いで「掃除・洗濯」が30.0%、「買い物（宅配は含まない）」が25.0%となっています。「要介護3以上」では「見守り、声かけ」が41.2%と最も割合が高く、次いで「配食」が35.3%、「掃除・洗濯」が29.4%となっています。



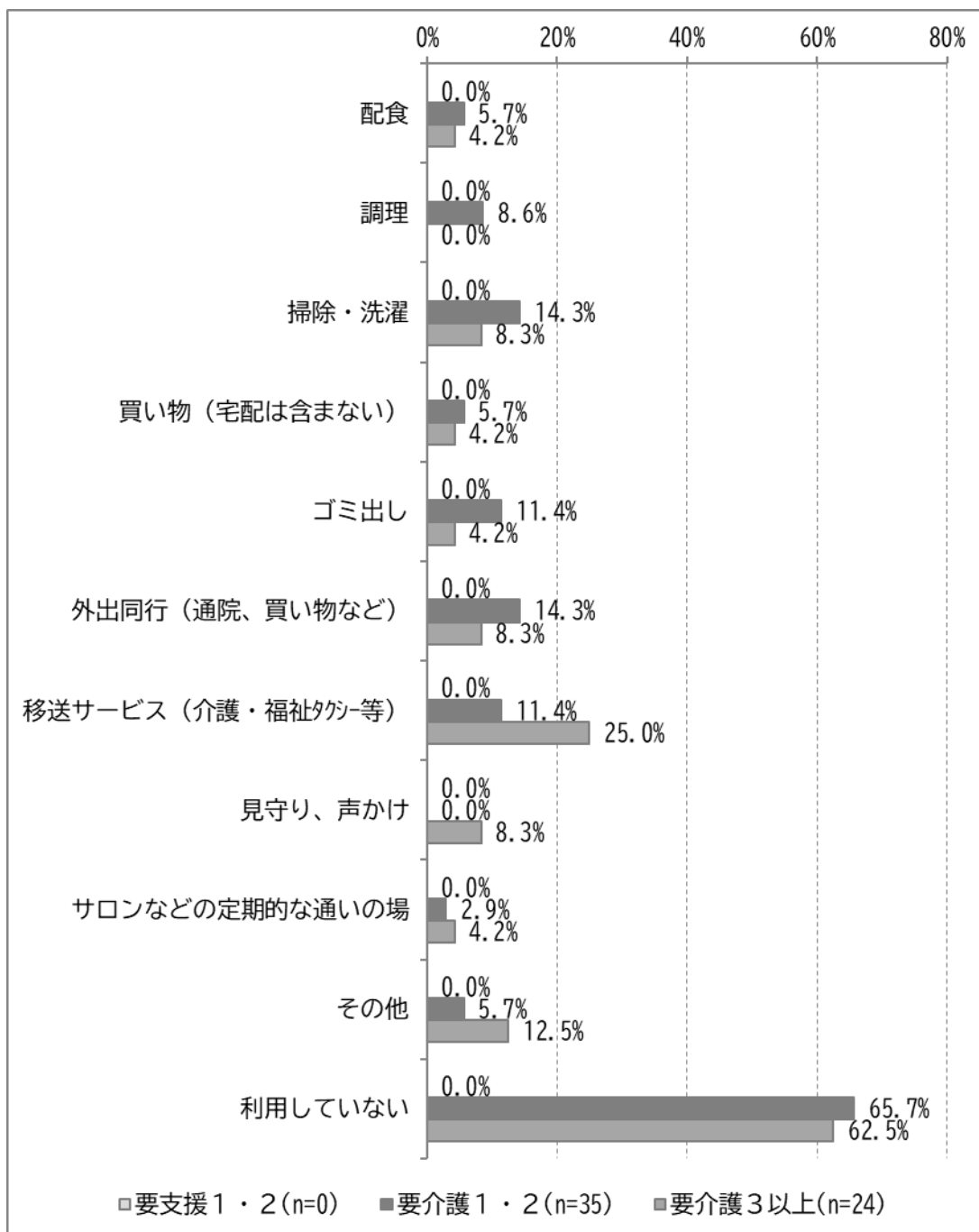
ウ 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（夫婦のみ世帯）

保険外の支援・サービスの利用状況を要介護度別に見ると、「要介護1・2」では「利用していない」が52.3%と最も割合が高く、次いで「買い物（宅配は含まない）」、「外出同行（通院、買い物など）」が25.0%、「配食」が20.5%となっています。「要介護3以上」では「利用していない」が63.6%と最も割合が高く、次いで「買い物（宅配は含まない）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が18.2%、「調理」、「掃除・洗濯」、「ゴミ出し」、「外出同行（通院、買い物など）」が13.6%となっています。



エ 要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（その他世帯）

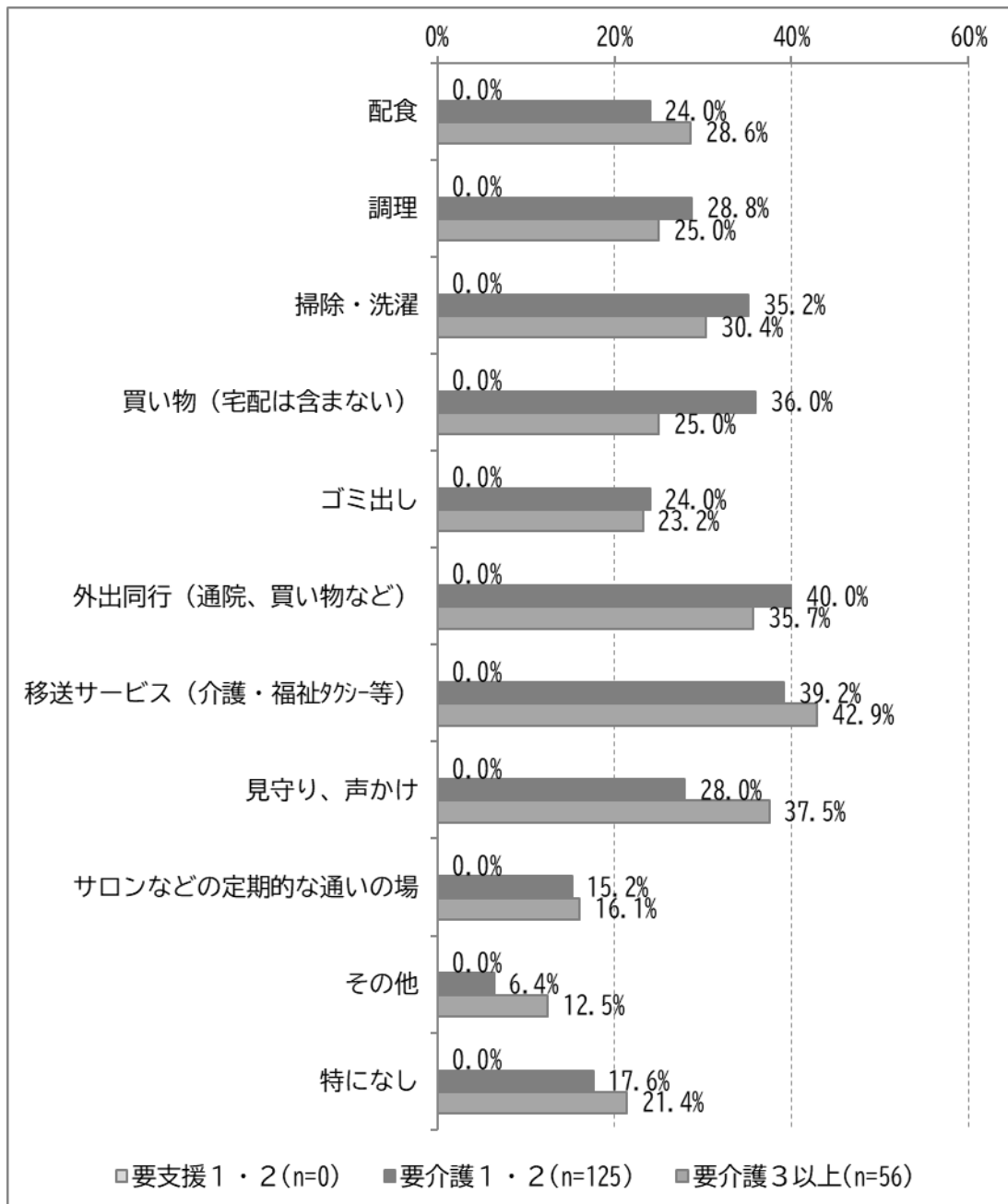
保険外の支援・サービスの利用状況を要介護度別に見ると、「要介護1・2」では「利用していない」が65.7%と最も割合が高く、次いで「掃除・洗濯」、「外出同行（通院、買い物など）」が14.3%、「ゴミ出し」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が11.4%となっています。「要介護3以上」では「利用していない」が62.5%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が25.0%、「その他」が12.5%となっています。



(4) 「世帯類型」 × 「要介護度」 × 「必要と感じる支援・サービス」

【要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

保険外の支援・サービスの必要性を要介護度別に見ると、「要介護1・2」では「外出同行（通院、買い物など）」が40.0%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が39.2%、「買い物（宅配は含まない）」が36.0%となっています。「要介護3以上」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が42.9%と最も割合が高く、次いで「見守り、声かけ」が37.5%、「外出同行（通院、買い物など）」が35.7%となっています。



(5) 考察

「在宅生活の継続に必要と感じる介護保険外の支援・サービス」について、「掃除・洗濯」、「買い物」、「配食」等の支援を世帯類型別に見ると、「夫婦のみ世帯」や「その他世帯」よりも「単身世帯」のニーズが高い傾向が見られました。今後、「単身世帯」の増加に伴って、求められる地域支援は増大し多様化していくと見られます。

今後は、世帯類型や要介護度によって必要とされる介護保険外の支援・サービスが異なることを踏まえ、ボランティアや民間事業者を対象とした、要介護者への支援やサービス提供に係る研修会の開催を検討するなど、多様なニーズに対応できる人材の育成を進めていくことが必要であると考えられます。なお、今後必要になる介護保険外の支援・サービスを検討するに当たっては、地域ケア会議における個別ケース検討の積み上げのほか、生活支援コーディネーターや各種協議体での議論を通じ、地域資源のニーズを把握していくことが求められます。

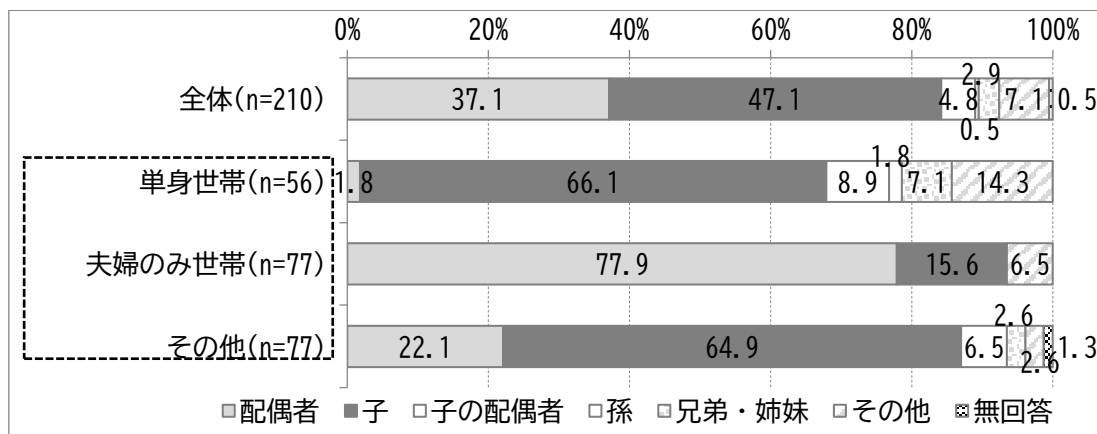


#### 4 世帯類型に応じた支援

##### (1) 基礎集計

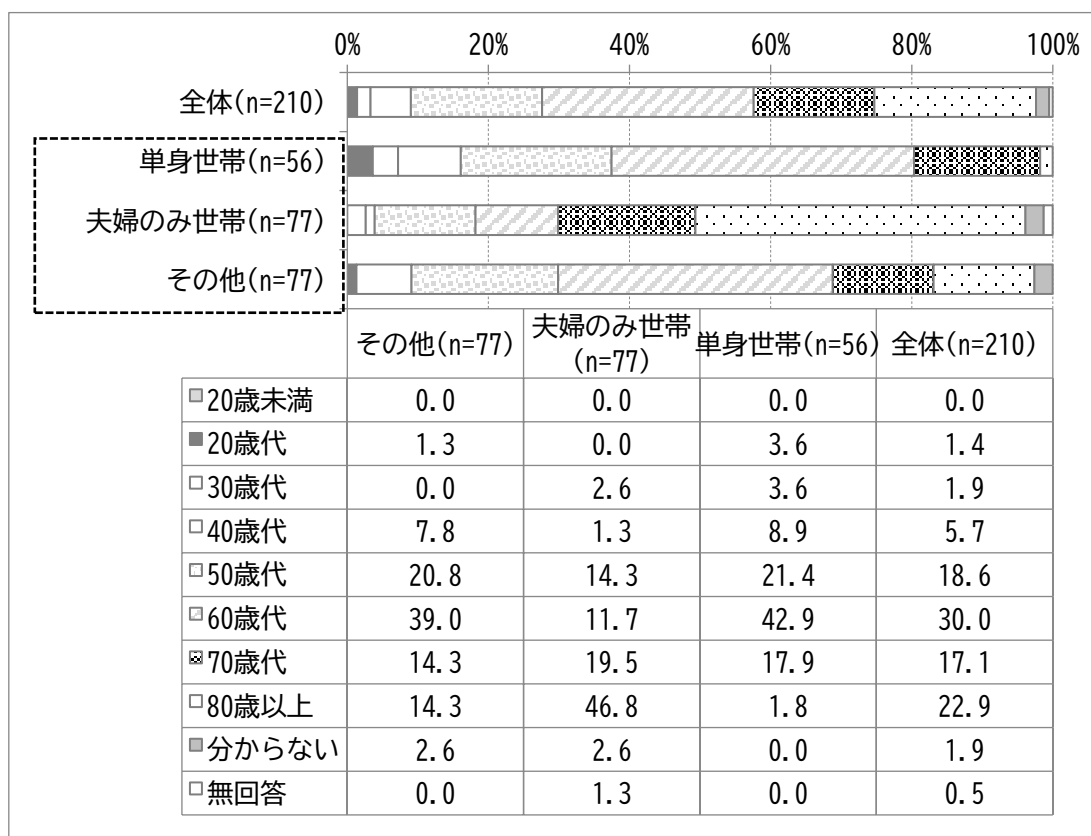
###### ア 世帯類型・主な介護者

世帯類型を主な介護者に見ると、「単身世帯」では「子」が 66.1%と最も割合が高く、次いで「その他」が 14.3%となっています。「夫婦のみ世帯」では「配偶者」が 77.9%と最も割合が高く、次いで「子」が 15.6%となっています。「その他」では「子」が 64.9%と最も割合が高く、次いで「配偶者」が 22.1%となっています。



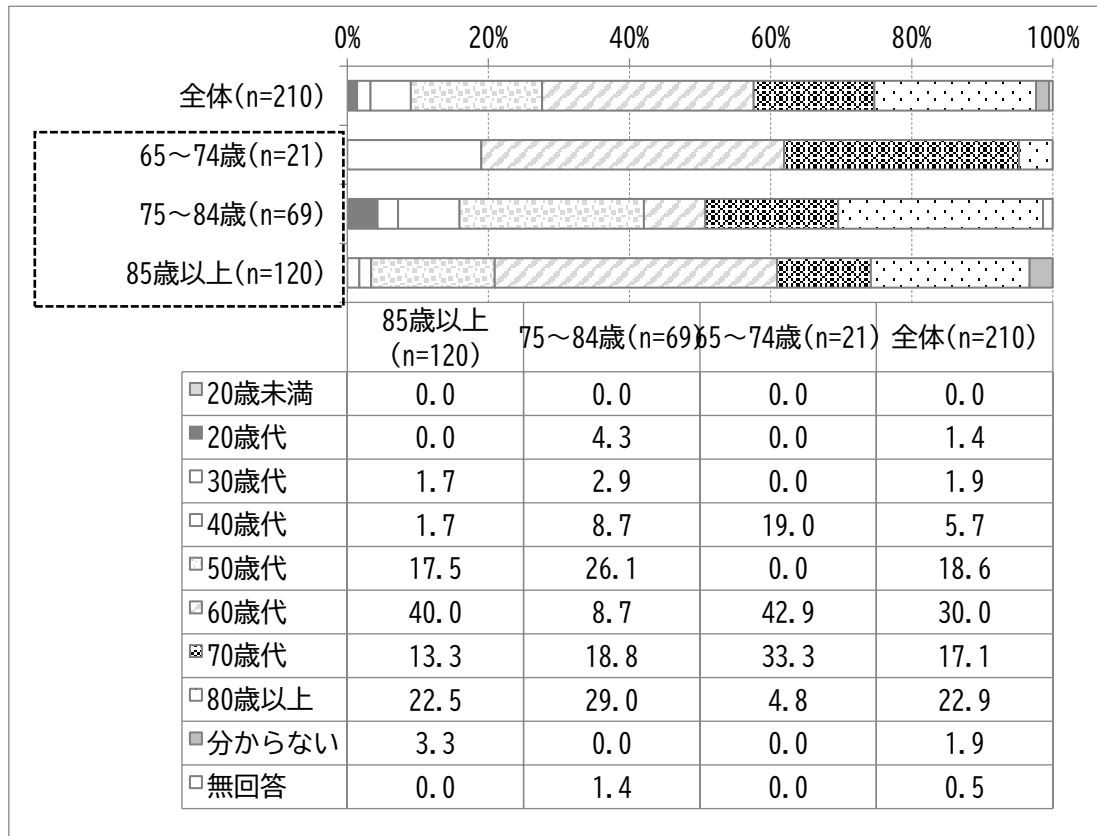
###### イ 世帯類型・主な介護者の年齢

世帯類型を主な介護者の年齢に見ると、「単身世帯」では「60歳代」が 42.9%と最も割合が高く、次いで「50歳代」が 21.4%となっています。「夫婦のみ世帯」では「80歳代」が 46.8%と最も割合が高く、次いで「70歳代」が 19.5%となっています。「その他」では「60歳代」が 39.0%と最も割合が高く、次いで「50歳代」が 20.8%となっています。



ウ 要介護者の年齢・主な介護者の年齢

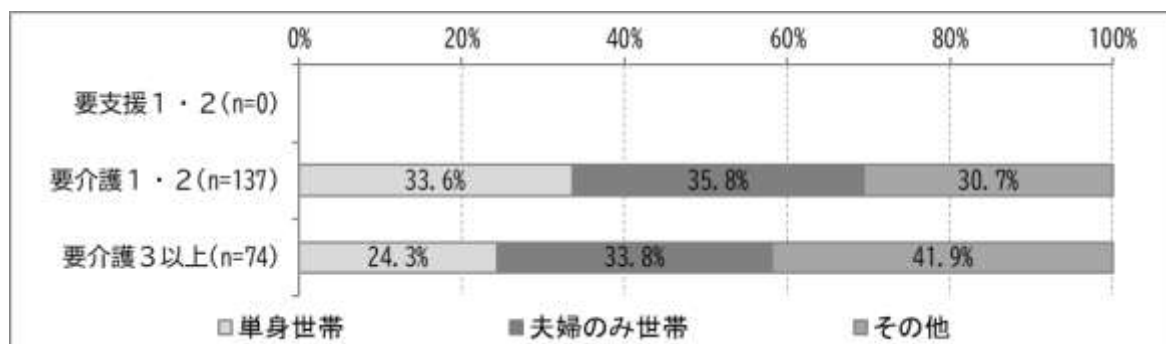
要介護者の年齢を主な介護者の年齢に見ると、「65～74歳」では「60歳代」が42.9%と最も割合が高く、次いで「70歳代」が33.3%となっています。「75～84歳」では「80歳代」が29.0%と最も割合が高く、次いで「70歳代」が26.1%となっています。「85歳以上」では「60歳代」が40.0%と最も割合が高く、次いで「80歳以上」が22.5%となっています。



※ 「65～74歳」、「75～84歳」、「85歳以上」のnの数は、介護保険総合データベースに蓄積された情報を基に集計した数です。

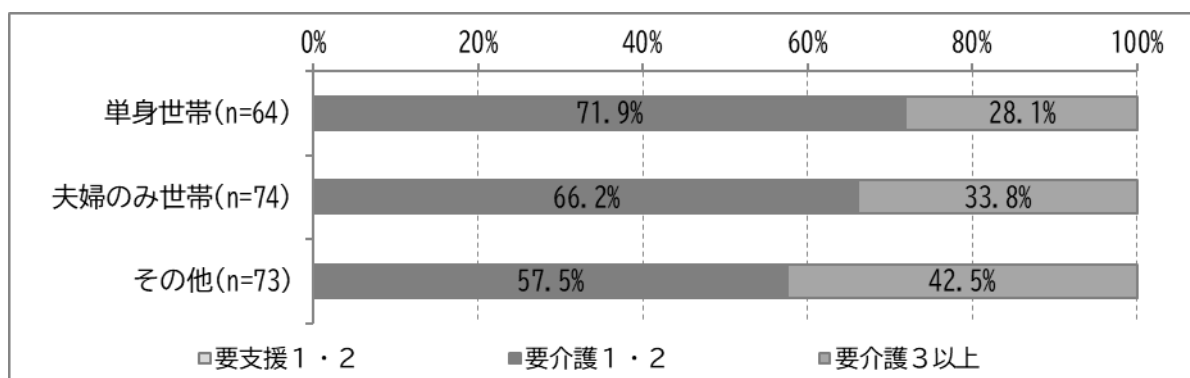
## エ 要介護度別・世帯類型

世帯類型を要介護度別に見ると、「要介護1・2」では「夫婦のみ世帯」が35.8%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が33.6%、「その他」が30.7%となっています。「要介護3以上」では「その他」が41.9%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が33.8%、「単身世帯」が24.3%となっています。



## オ 世帯類型別・要介護度

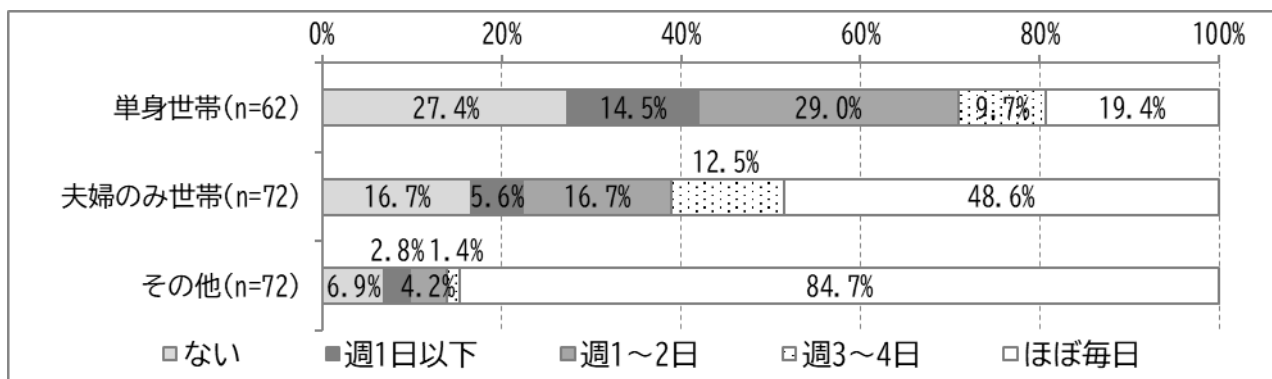
2次判定結果を世帯類型別に見ると、「単身世帯」では「要介護1・2」が71.9%と最も割合が高く、次いで「要介護3以上」が28.1%となっています。「夫婦のみ世帯」では「要介護1・2」が66.2%と最も割合が高く、次いで「要介護3以上」が33.8%となっています。「その他」では「要介護1・2」が57.5%と最も割合が高く、次いで「要介護3以上」が42.5%となっています。



(2) 要介護度別・世帯類型別の家族等による介護の頻度

【世帯類型別・家族等による介護の頻度】

ご家族等の介護の頻度を世帯類型別に見ると、「単身世帯」では「週1～2日」が29.0%と最も割合が高く、次いで「ない」が27.4%、「ほぼ毎日」が19.4%となっています。「夫婦のみ世帯」では「ほぼ毎日」が48.6%と最も割合が高く、次いで「ない」、「週1～2日」が16.7%、「週3～4日」が12.5%となっています。「その他」では「ほぼ毎日」が84.7%と最も割合が高く、次いで「ない」が6.9%、「週1～2日」が4.2%となっています。



(3) 要介護度別・認知症自立度別の世帯類型別のサービス利用の組み合わせ

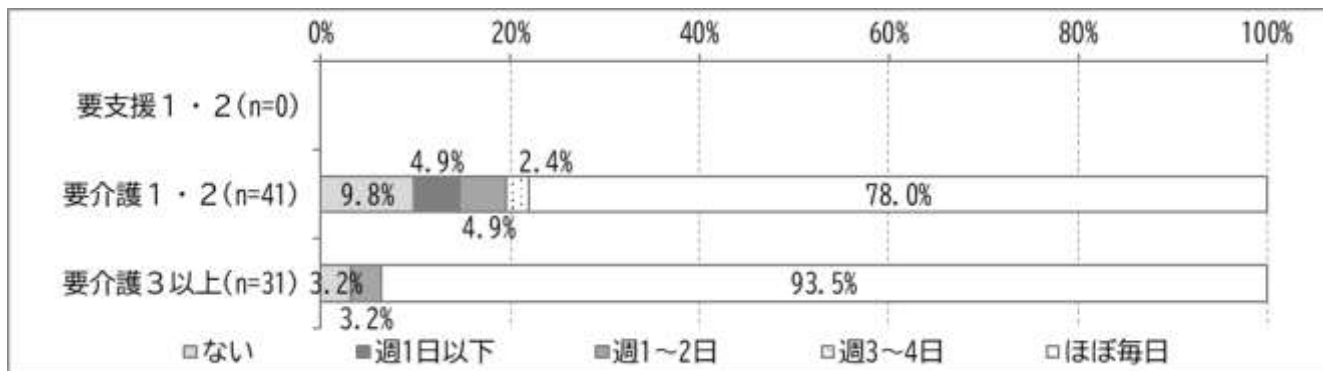
ア 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）

サービス利用の組み合わせを要介護度別に見ると、「要介護1・2」では「訪問系を含む組み合わせ」が41.3%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が23.9%、「未利用」が21.7%となっています。「要介護3以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が33.3%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が27.8%、「通所系・短期系のみ」が22.2%となっています。



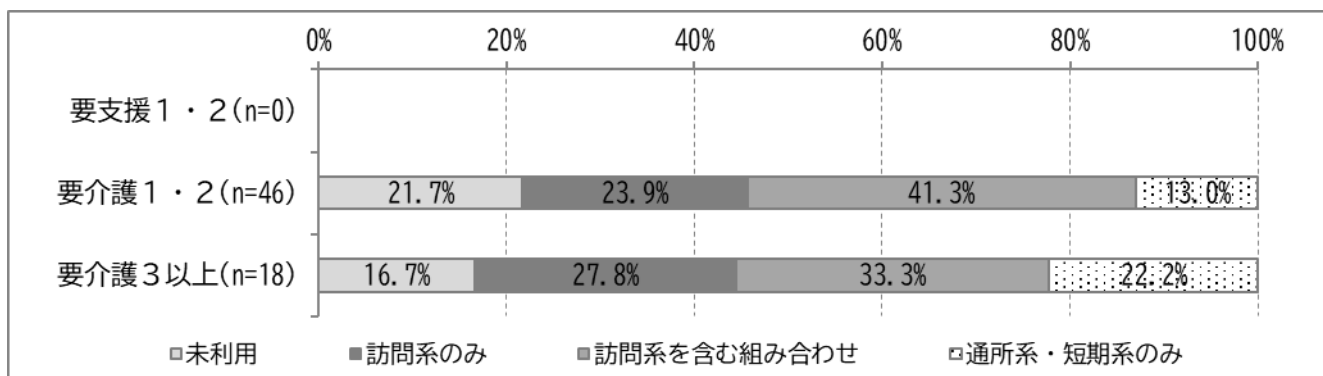
イ 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）

サービス利用の組み合わせを要介護度別に見ると、「要介護1・2」では「通所系・短期系のみ」が34.7%と最も割合が高く、次いで「未利用」が28.6%、「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が18.4%となっています。「要介護3以上」では「訪問系のみ」が36.0%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が28.0%、「通所系・短期系のみ」が20.0%となっています。



ウ 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）

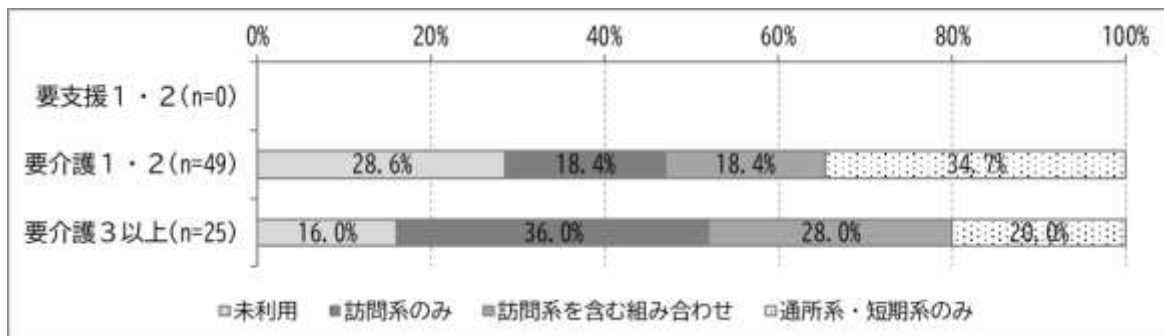
サービス利用の組み合わせを要介護度別に見ると、「要介護1・2」では「未利用」が35.7%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が26.2%、「通所系・短期系のみ」が23.8%となっています。「要介護3以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が32.3%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が29.0%、「通所系・短期系のみ」が25.8%となっています。



(4) 要介護度別・認知症自立度別別の世帯類型別の施設等検討の状況

【世帯類型別・施設等検討の状況（全要介護度）】

施設等の検討状況を世帯類型別に見ると、「単身世帯」では「検討していない」が58.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が29.1%、「申請済み」が12.7%となっています。「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が69.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が25.8%、「申請済み」が4.5%となっています。「その他」では「検討していない」が77.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が16.4%、「申請済み」が6.0%となっています。



(5) 【考察】

単身世帯の方について、介護保険サービス未利用を除くと、要介護度が高くなるにつれて、「訪問系のみ」のサービス利用が増加する傾向が見られました。今後は、単身世帯の増加とともに、訪問系サービスを軸としたサービス利用が増加していく状況に備え、訪問系の支援・サービスの整備や、「訪問介護・看護の包括的サービス拠点」としての「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の整備等を進めることにより、中重度の単身世帯の方の在宅生活を支えていくことが一つの方法として考えられます。

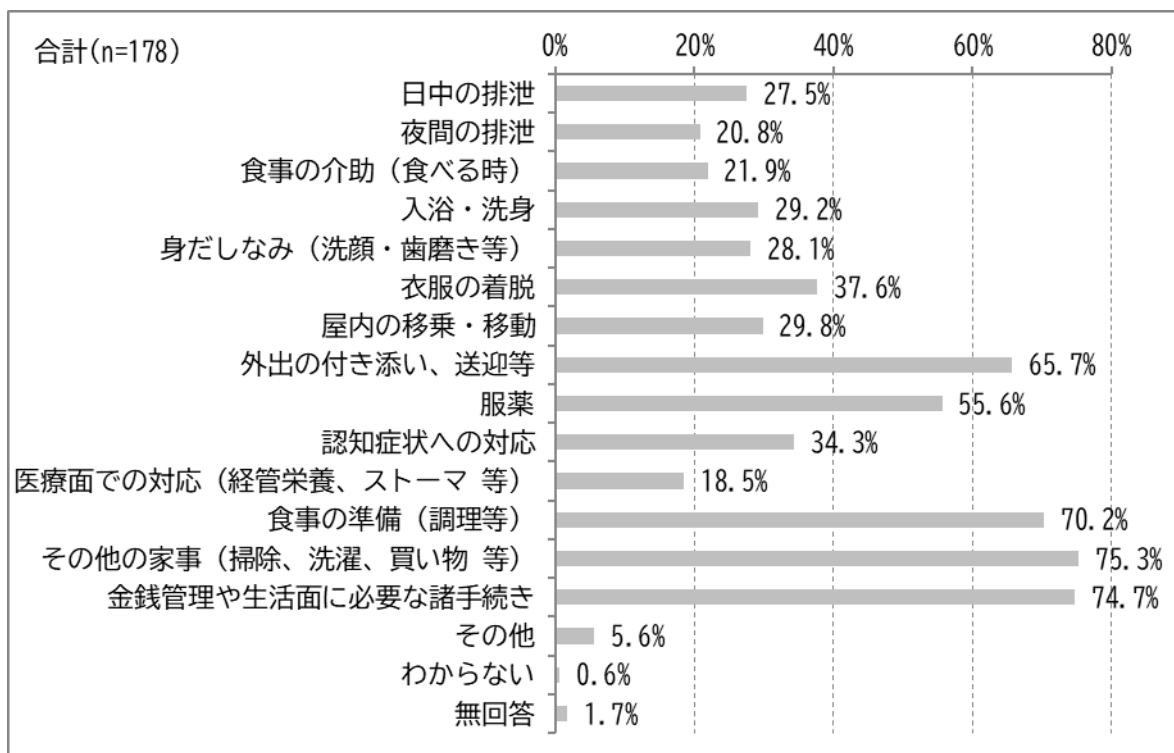
その他、不足する地域資源等について、多職種によるワークショップや地域ケア会議におけるケース検討等を通じて、そのノウハウの集約・共有を進めること等も考えられます。

## 5 医療ニーズが高い在宅生活者への支援

### (1) 基礎集計

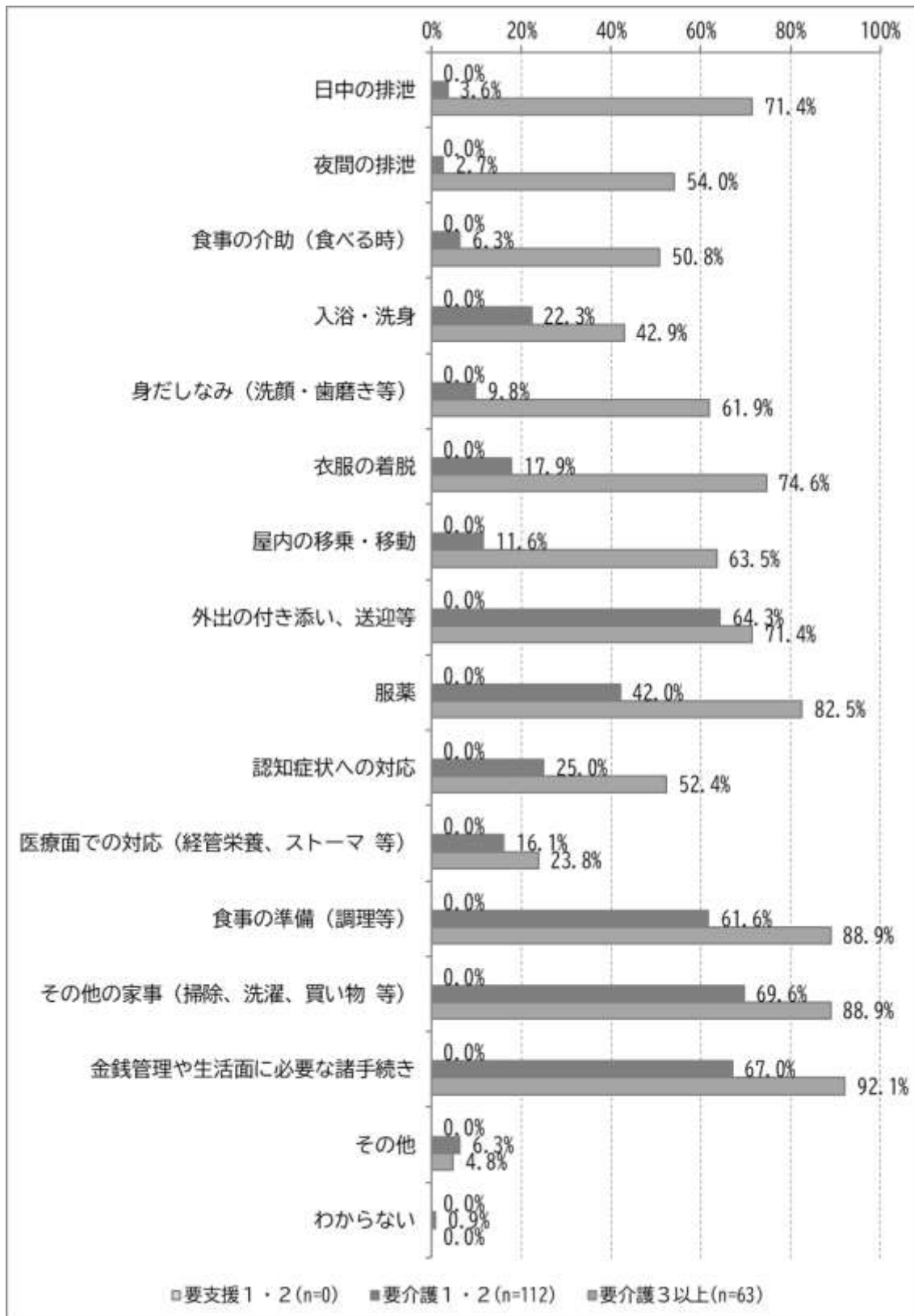
#### ア 主な介護者が行っている介護

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が最も高く 75.3%となっています。次いで、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き（74.7）」、「食事の準備（調理等）（70.2）」となっています。



イ 要介護度別・主な介護者が行っている介護

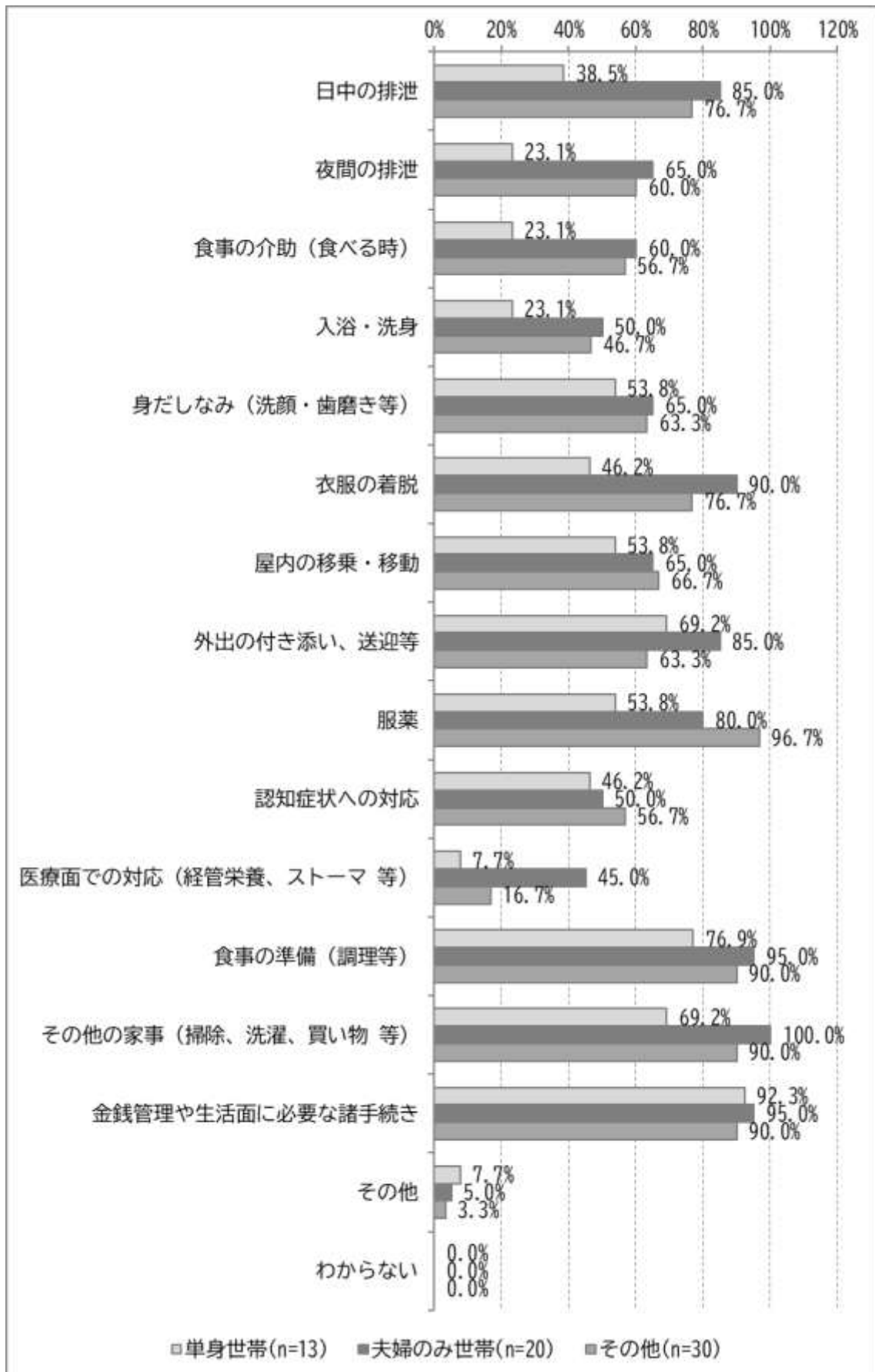
介護者が行っている介護を要介護度別に見ると、「要介護1・2」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が69.6%と最も割合が高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が67.0%、「外出の付き添い、送迎等」が64.3%となっています。「要介護3以上」では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が92.1%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が88.9%、「服薬」が82.5%となっています。





#### ウ 世帯類型別・主な介護者が行っている介護（要介護3以上）

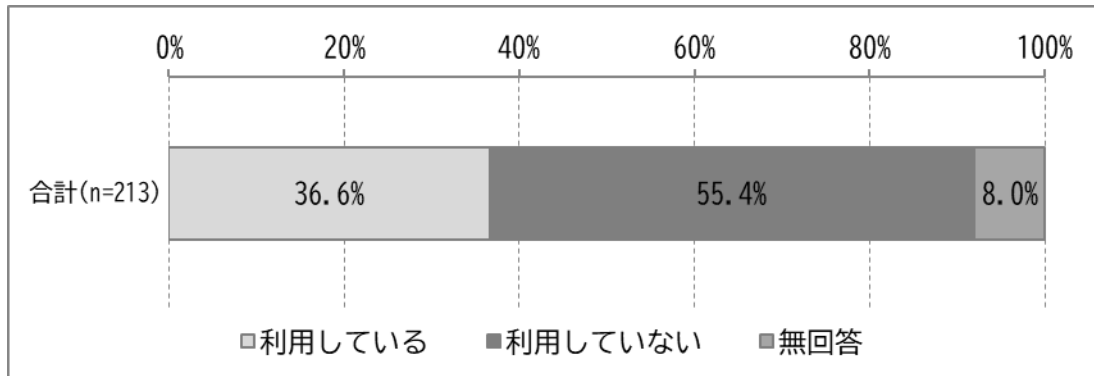
介護者が行っている介護を世帯類型別に見ると、「単身世帯」では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が92.3%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が76.9%、「外出の付き添い、送迎等」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が69.2%となっています。「夫婦のみ世帯」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が100.0%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が95.0%、「衣服の着脱」が90.0%となっています。「その他」では「服薬」が96.7%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が90.0%、「日中の排泄」、「衣服の着脱」が76.7%となっています。



(2) 訪問診療の利用割合

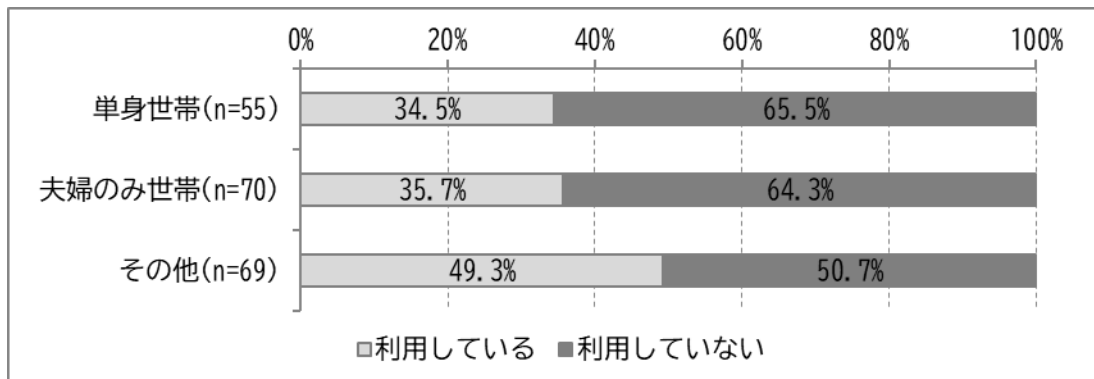
ア 訪問診療の利用の有無

「利用していない」の割合が最も高く 55.4%となっています。次いで、「利用している (36.6%)」となっています。



イ 世帯類型別・訪問診療の利用割合

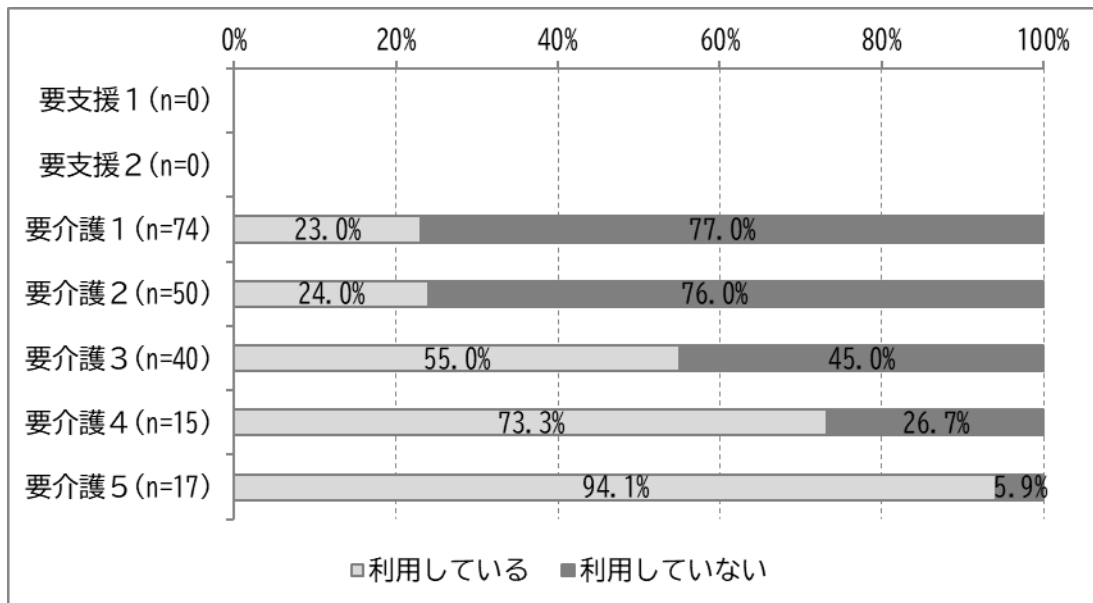
訪問診療の利用の有無を世帯類型別に見ると、「単身世帯」では「利用していない」が 65.5%と最も割合が高く、次いで「利用している」が 34.5%となっています。「夫婦のみ世帯」では「利用していない」が 64.3%と最も割合が高く、次いで「利用している」が 35.7%となっています。「その他」では「利用していない」が 50.7%と最も割合が高く、次いで「利用している」が 49.3%となっています。



ウ 要介護度別・訪問診療の利用割合

訪問診療の利用の有無を要介護度別に見ると、要介護1」では「利用していない」が77.0%と最も割合が高く、次いで「利用している」が23.0%となっています。「要介護2」では「利用していない」が76.0%と最も割合が高く、次いで「利用しています」が24.0%となっています。

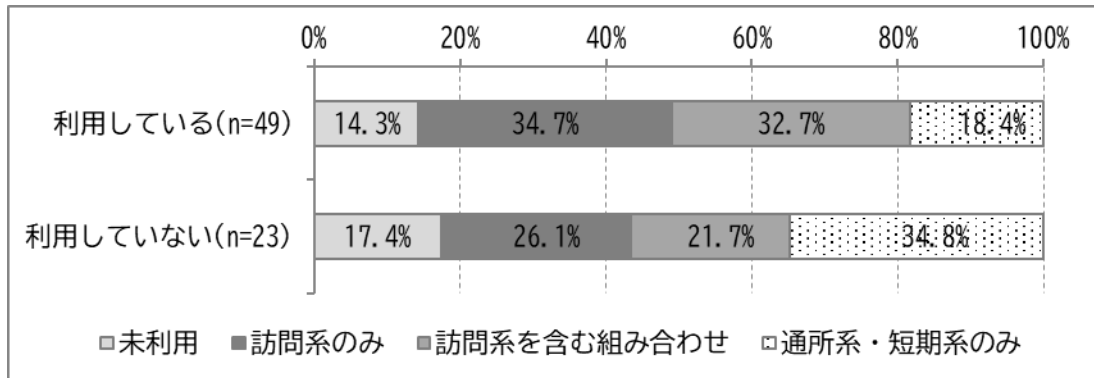
「要介護3」では「利用しています」が55.0%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が45.0%となっています。「要介護4」では「利用しています」が73.3%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が26.7%となっています。「要介護5」では「利用しています」が94.1%と最も割合が高く、次いで「利用していない」が5.9%となっています。



(3) 訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ

【訪問診療の利用の有無別・サービス利用の組み合わせ（要介護3以上）】

サービス利用の組み合わせを訪問診療の利用の有無別に見ると、「利用している」では「訪問系のみ」が34.7%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が32.7%、「通所系・短期系のみ」が18.4%となっています。「利用していない」では「通所系・短期系のみ」が34.8%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が26.1%、「訪問系を含む組み合わせ」が21.7%となっています。

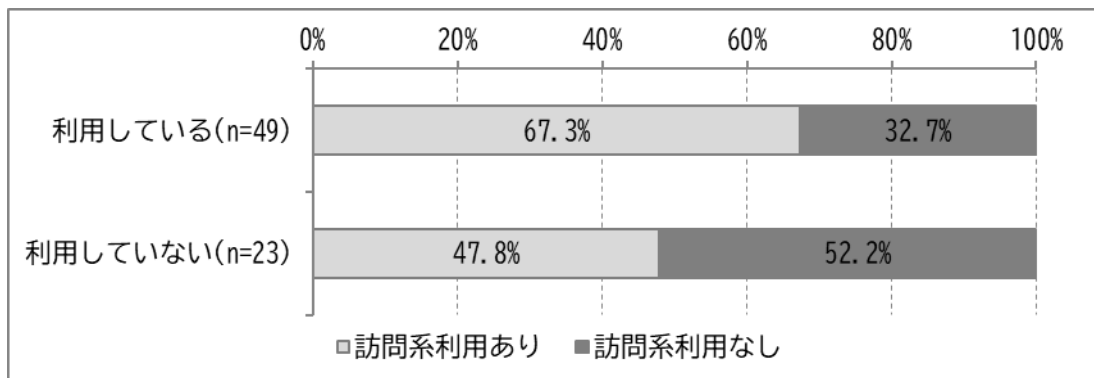


※「利用している」、「利用していない」のnの数は、訪問診療の利用状況に関する回答を基に集計した数です。

(4) 訪問診療の利用の有無別の訪問系・通所系・短期系サービスの利用の有無

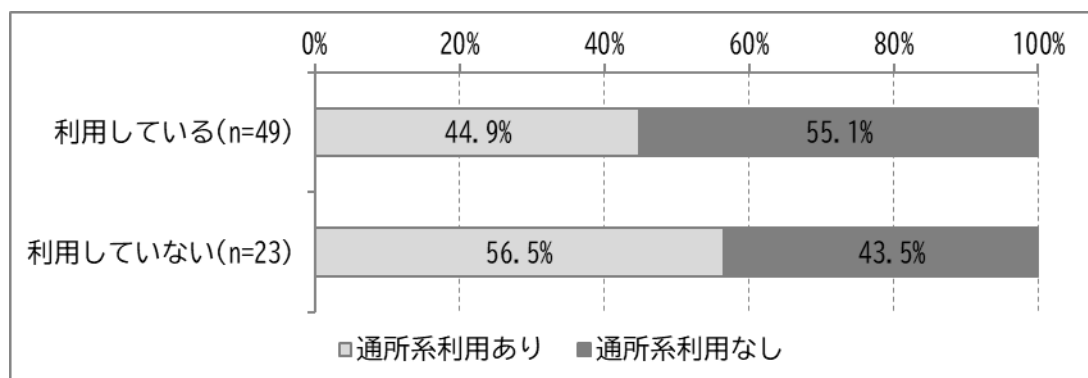
ア 訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（訪問系、要介護3以上）

訪問系の利用の有無を訪問診療の利用の有無別に見ると、「利用している」では「訪問系利用あり」が67.3%と最も割合が高く、次いで「訪問系利用なし」が32.7%となっています。「利用していない」では「訪問系利用なし」が52.2%と最も割合が高く、次いで「訪問系利用あり」が47.8%となっています。



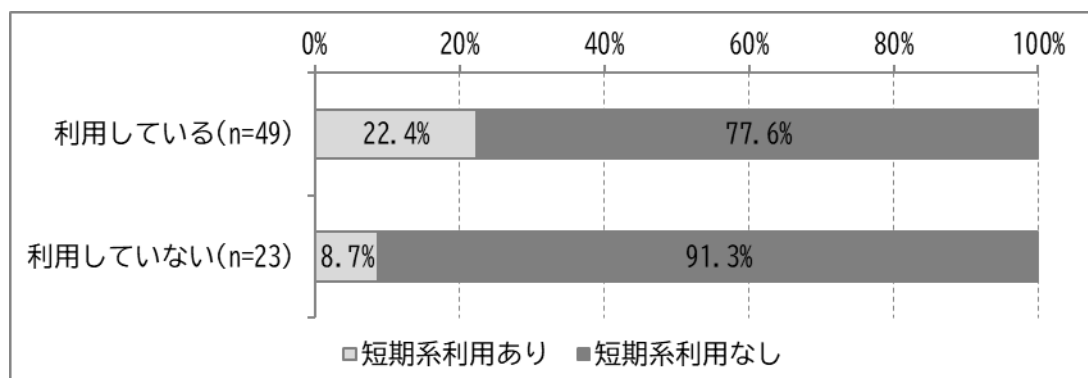
イ 訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（通所系、要介護3以上）

通所系の利用の有無（定期巡回を除く）を訪問診療の利用の有無別に見ると、「利用している」では「通所系利用なし」が55.1%と最も割合が高く、次いで「通所系利用あり」が44.9%となっています。「利用していない」では「通所系利用あり」が56.5%と最も割合が高く、次いで「通所系利用なし」が43.5%となっています。



ウ 訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無（短期系、要介護3以上）

短期系の利用の有無（定期巡回を除く）を訪問診療の利用の有無別に見ると、「利用している」では「短期系利用なし」が77.6%と最も割合が高く、次いで「短期系利用あり」が22.4%となっています。「利用していない」では「短期系利用なし」が91.3%と最も割合が高く、次いで「短期系利用あり」が8.7%となっています。



(5) 考察

「訪問診療の利用の有無」の結果から、要介護度が高くなるにつれて、訪問診療の利用割合が増加する傾向が見られました。

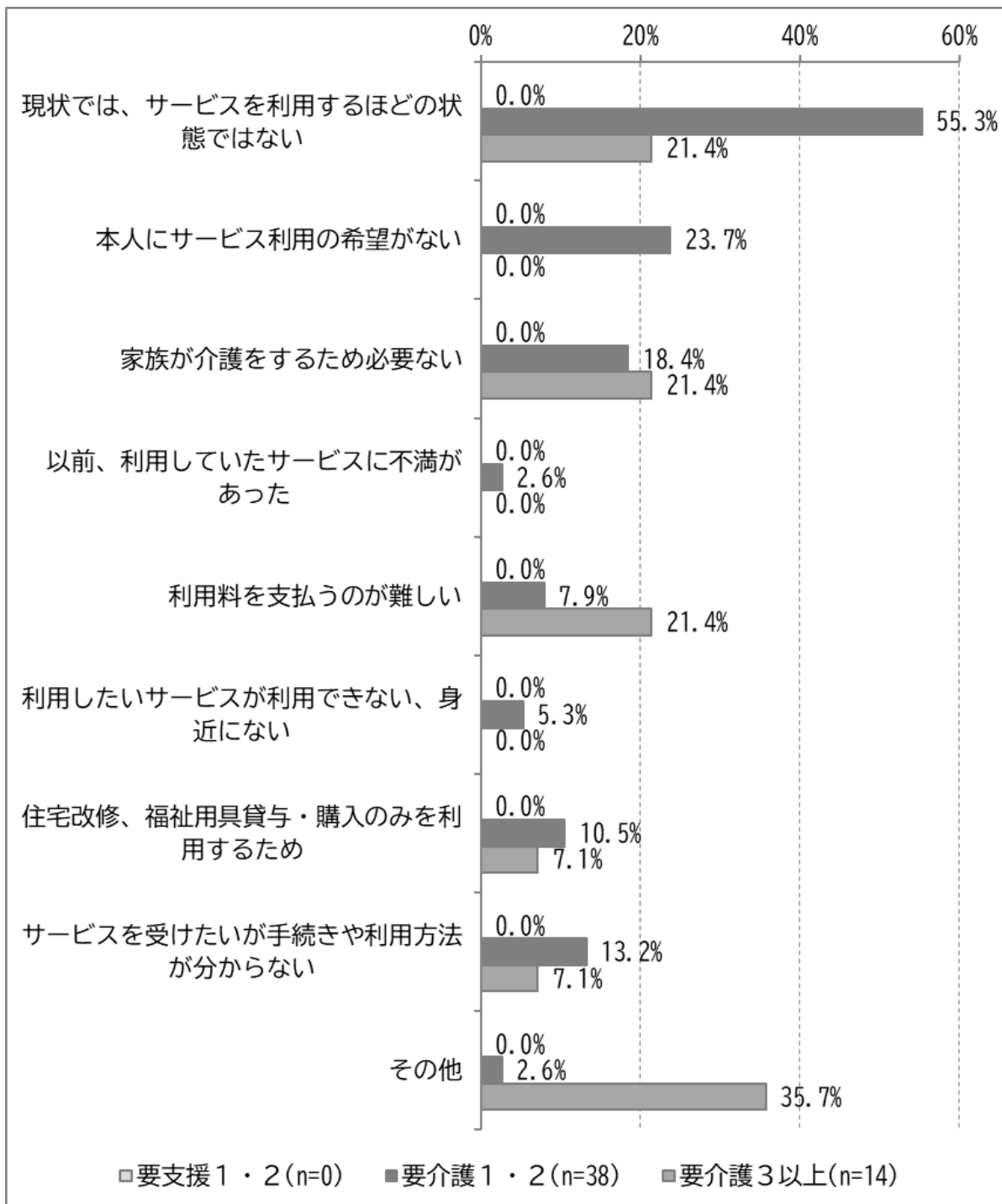
看取りまでを視野に入れた在宅生活の継続を実現するためには、在宅医療と介護の多職種連携をさらに進めていく必要があります。今後は、「医療と介護の両方のニーズを持つ在宅生活者」の大幅な増加が見込まれることから、このようなニーズに対して、いかに適切なサービス提供体制を確保していくかが重要な課題となります。医療ニーズのある利用者に対応することができる介護保険サービスとして、「訪問介護・看護の包括的サービス拠点」としての「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」の整備が必要となるかを検討するとともに、在宅医療と介護連携のさらなる推進に取り組んでいく必要があります。

## 6 その他サービス未利用の理由など

### (1) 要介護度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

#### 【要介護度別のサービス未利用の理由】

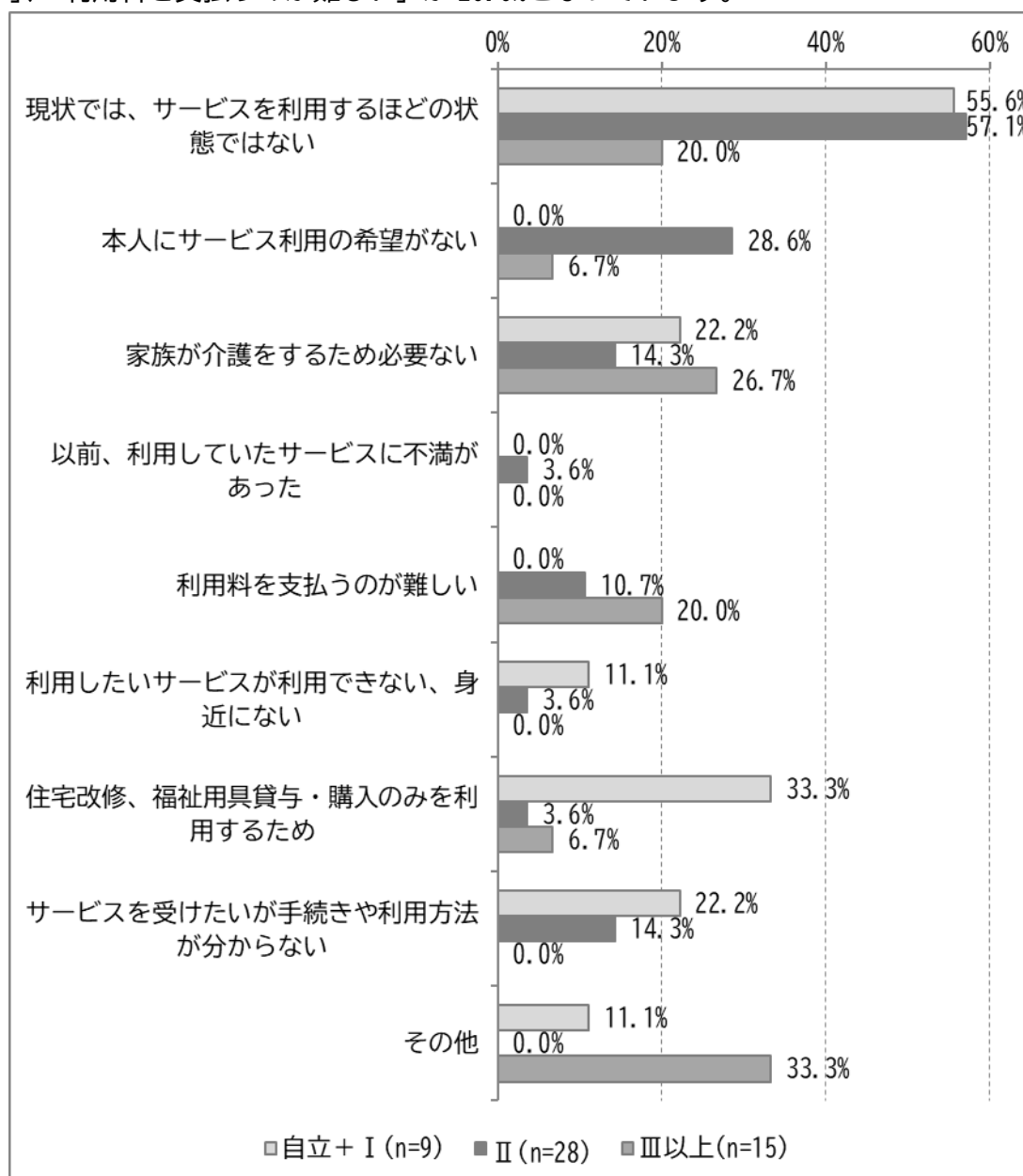
未利用の理由を要介護度別に見ると、「要介護1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が55.3%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が23.7%、「家族が介護をするため必要ない」が18.4%となっています。「要介護3以上」では「その他」が35.7%と最も割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」、「利用料を支払うのが難しい」が21.4%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が7.1%となっています。



(2) 認知症自立度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

【認知症自立度別のサービス未利用の理由】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別に見ると、「自立+ I」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 55.6%と最も割合が高く、次いで「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 33.3%、「家族が介護をするため必要ない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が 22.2%となっています。「II」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 57.1%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 28.6%、「家族が介護をするため必要ない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が 14.3%となっています。「III以上」では「その他」が 33.3%と最も割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 26.7%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「利用料を支払うのが難しい」が 20.0%となっています。

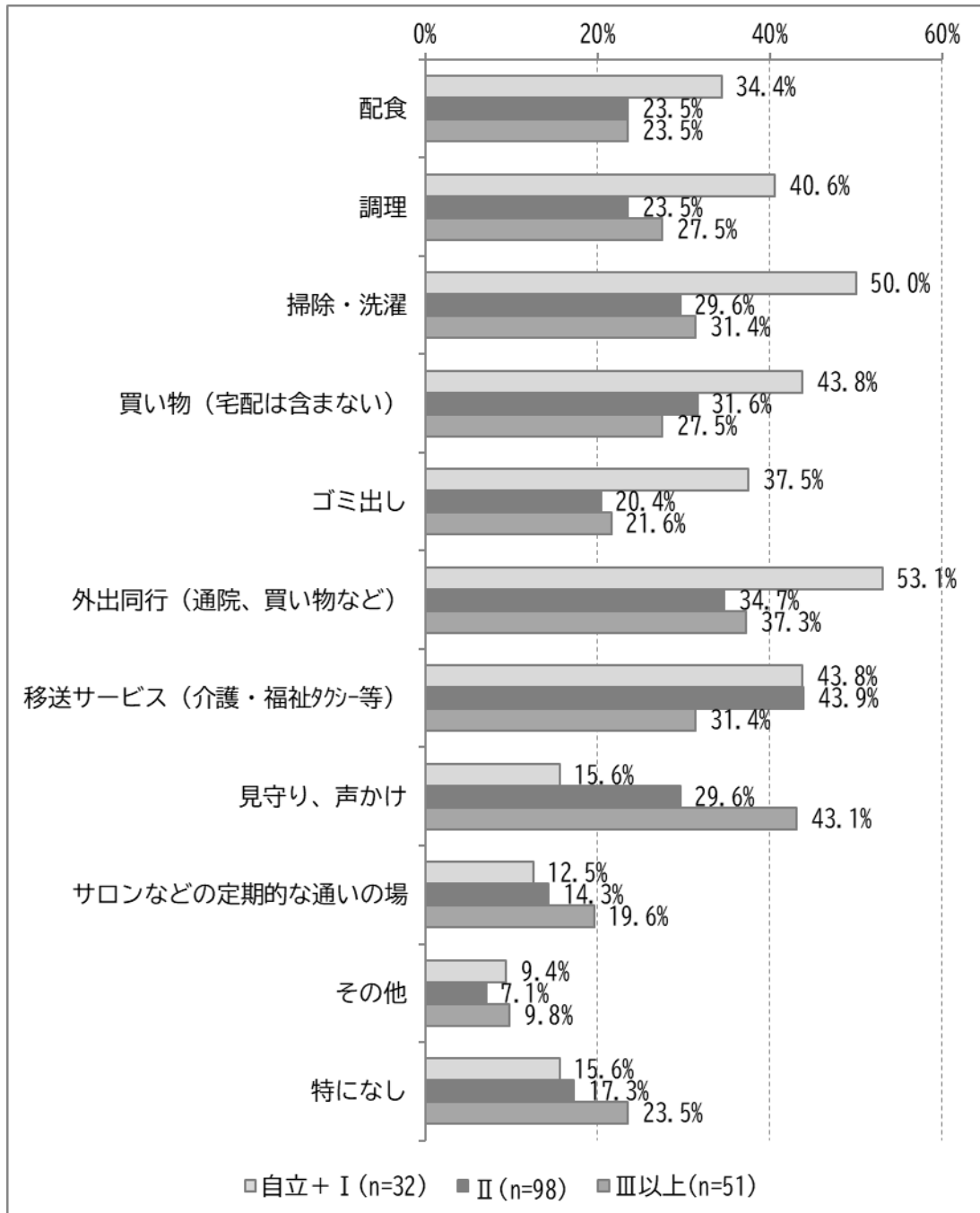




(3) 認知症自立度別の今後の在宅生活に必要なと感じる支援・サービス

【認知症自立度別の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス】

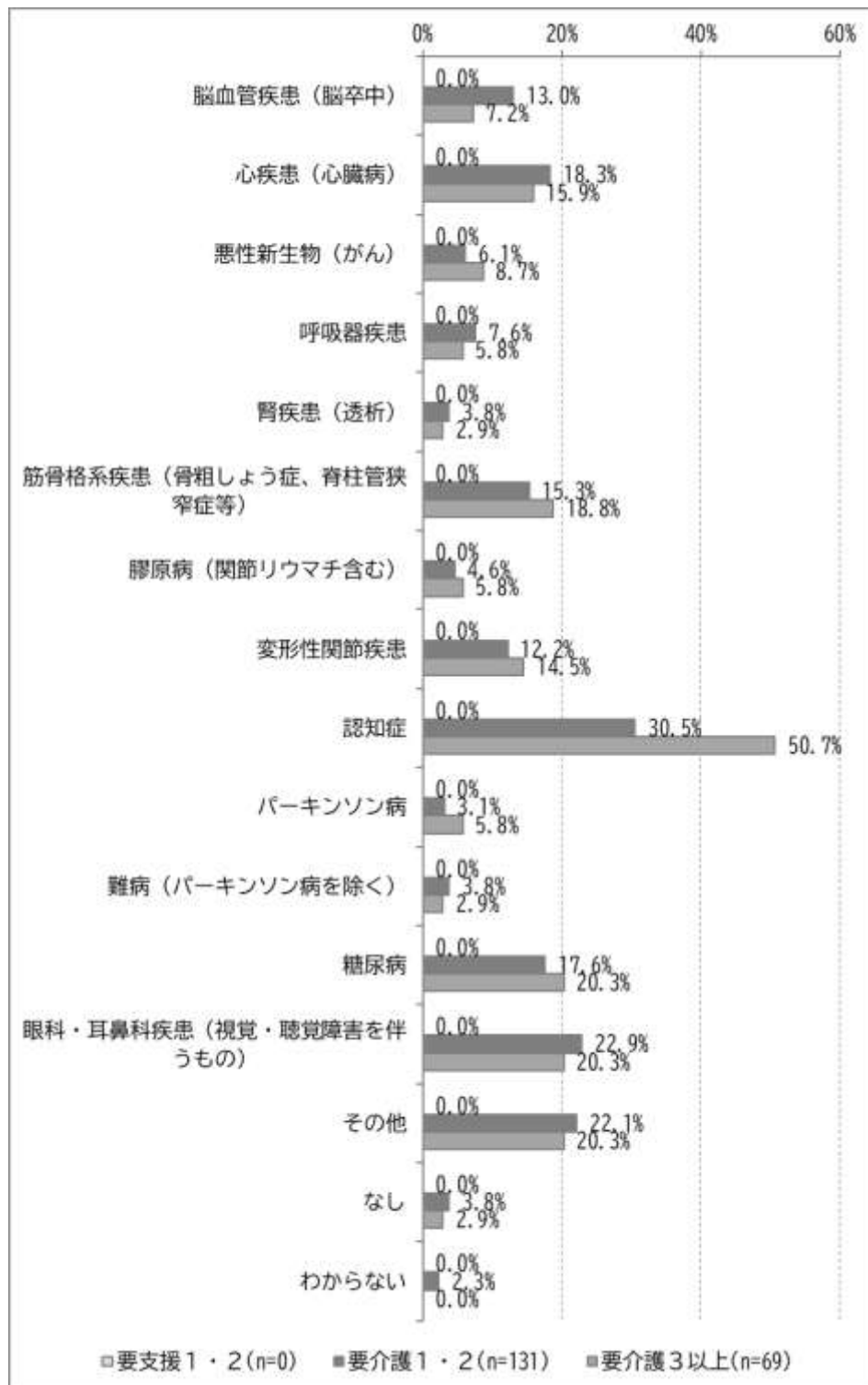
保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別に見ると、「自立+ I」では「外出同行（通院、買い物など）」が53.1%と最も割合が高く、次いで「掃除・洗濯」が50.0%、「買い物（宅配は含まない）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が43.8%となっています。「II」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が43.9%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が37.3%、「買い物（宅配は含まない）」が31.6%となっています。「III以上」では「見守り、声かけ」が43.1%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が37.3%、「掃除・洗濯」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が31.4%となっています。



(4) 要介護度別の抱えている傷病

【要介護度別・抱えている傷病】

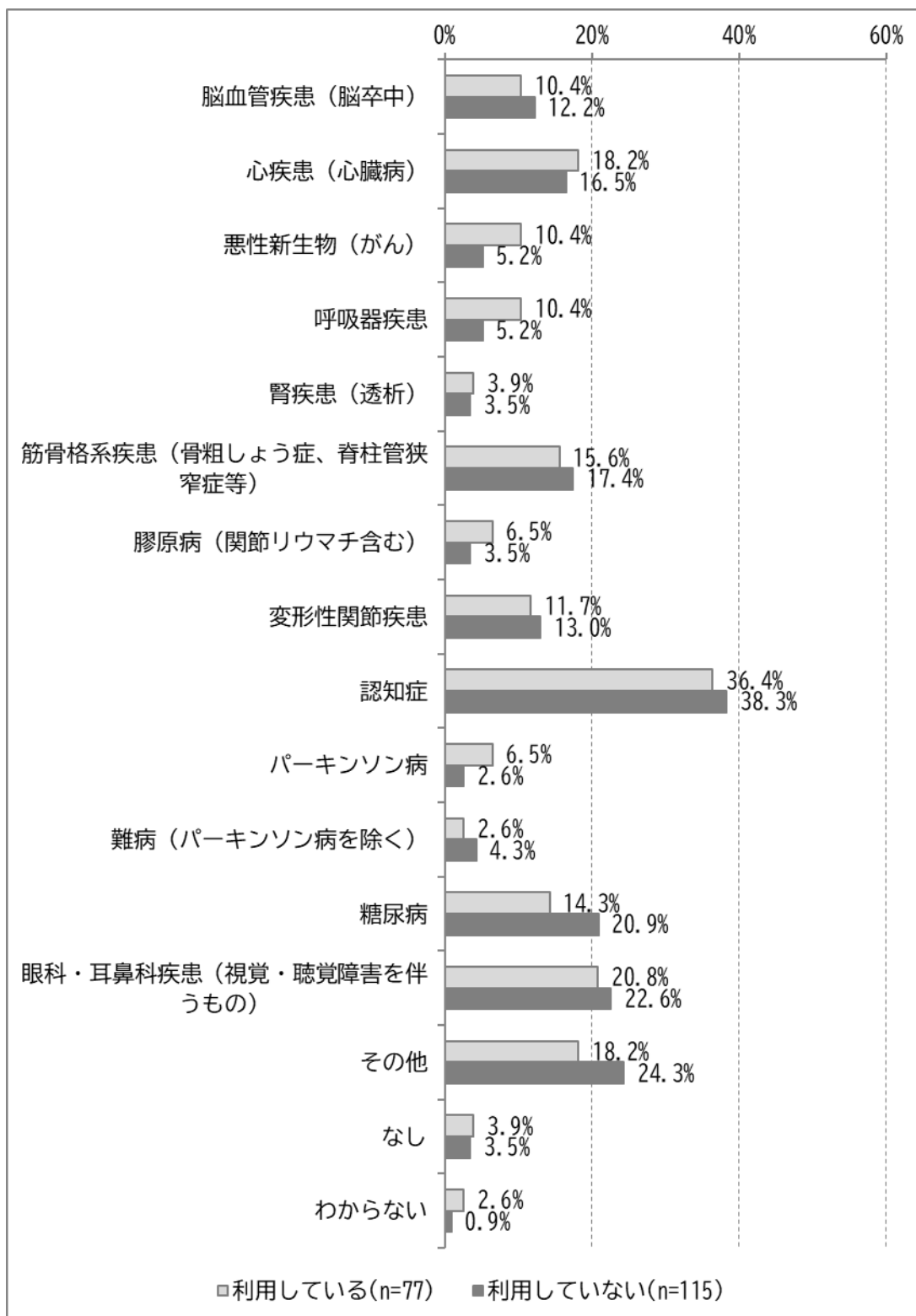
抱えている傷病を要介護度別に見ると、「要介護1・2」では「認知症」が30.5%と最も割合が高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が22.9%、「その他」が22.1%となっています。「要介護3以上」では「認知症」が50.7%と最も割合が高く、次いで「糖尿病」、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が18.8%となっています。



(5) 訪問診療の利用の有無別の抱えている傷病

【訪問診療の利用の有無別・抱えている傷病】

抱えている傷病を訪問診療の利用の有無別に見ると、「利用している」では「認知症」が 36.4%と最も割合が高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 20.8%、「心疾患（心臓病）」、「その他」が 18.2%となっています。「利用していない」では「認知症」が 38.3%と最も割合が高く、次いで「その他」が 24.3%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 22.6%となっています。



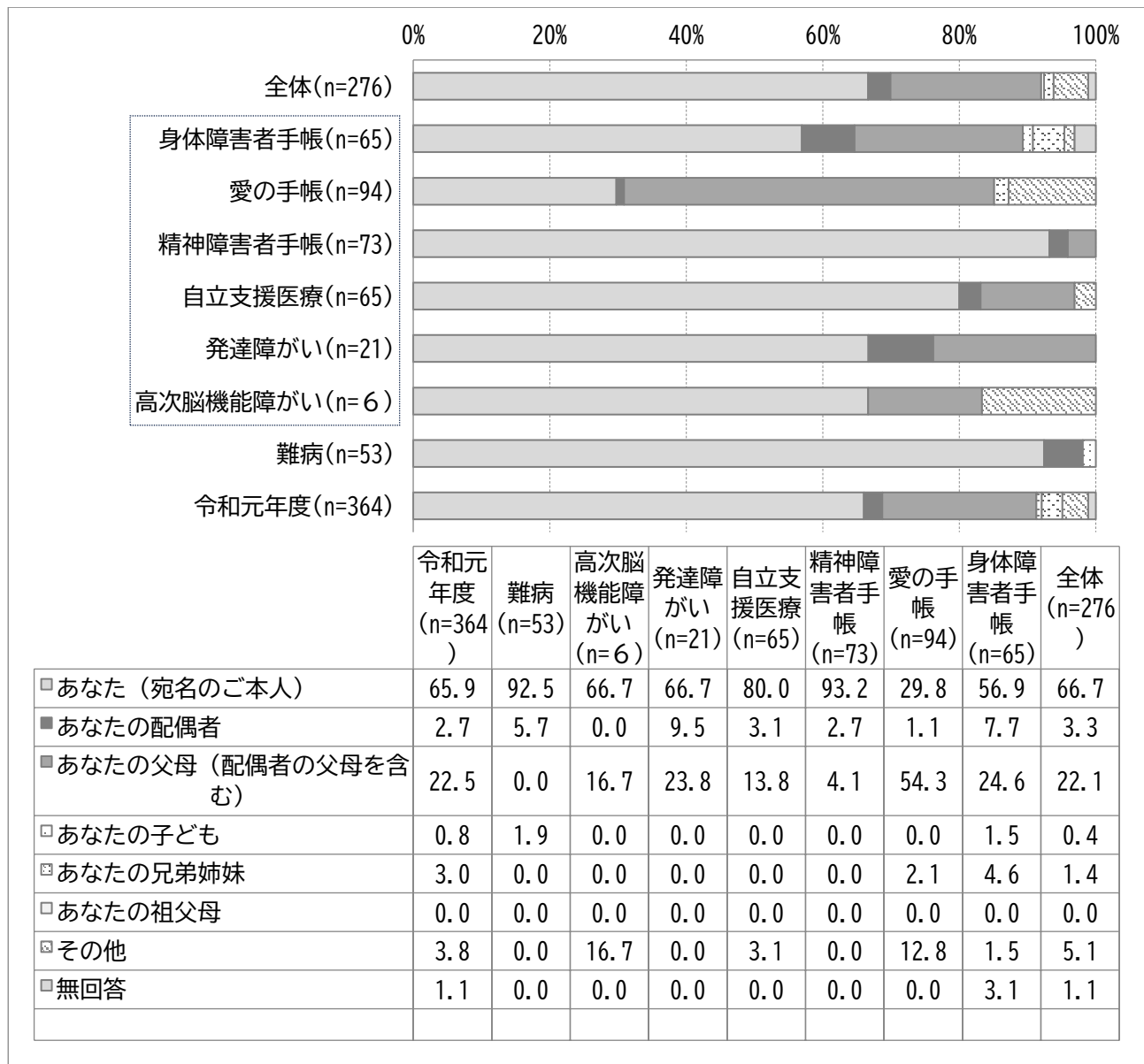
## 第6章 障がい者等調査

### A 本人、家族について（基本事項）

問1 この調査に回答される方はどなたですか。（○は1つ）

回答者は、「あなた（宛名のご本人）」が66.7%で最も多く、次いで、「あなたの父母（配偶者の父母を含む）」が22.1%となっています。

手帳の種類・診断名別でみると、愛の手帳を持っている方では「あなたの父母（配偶者の父母を含む）」が最も多くなっています。

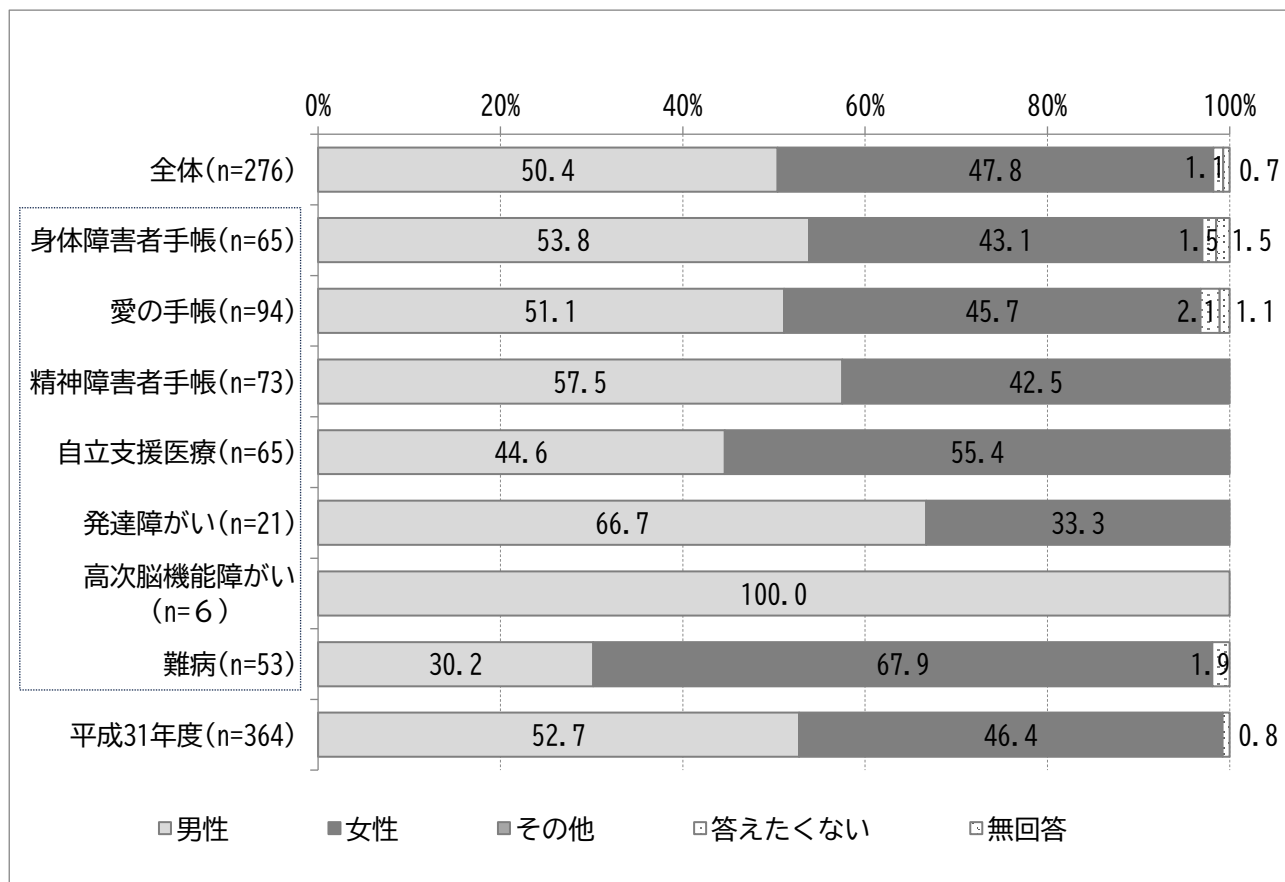


※「身体障害者手帳」、「愛の手帳」、「精神障害者手帳」、「自立支援医療」、「発達障がい」、「高次脳機能障がい」及び「難病」のnの数は、問9で「お持ちの手帳又は受けている診断名等」についてそれぞれ「身体障害者手帳を持っている」、「愛の手帳を持っている」、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」、「自立支援医療を受給している」、「発達障がいの診断を受けている」、「高次脳機能障がいの診断を受けている」、「難病の診断を受けている」を選択された方の数です。なお、問9では、複数回答ができること、「その他」及び「無回答」の方がいることから各エリアのnの合計者数と全体の回答者数とは、合致しません。以下この章で同じです。

問2 あなた（宛名のご本人）の性別を選択・ご記入ください。（○は1つ）

性別は、「男性」が50.4%、「女性」が47.8%となっています。

手帳の種類・診断名別で見ると、自立支援医療を受給している方及び難病の診断を受けている方は「女性」が「男性」を上回っています。



※平成31年度は、選択肢「その他」、「答えたくない」の選択肢なし。

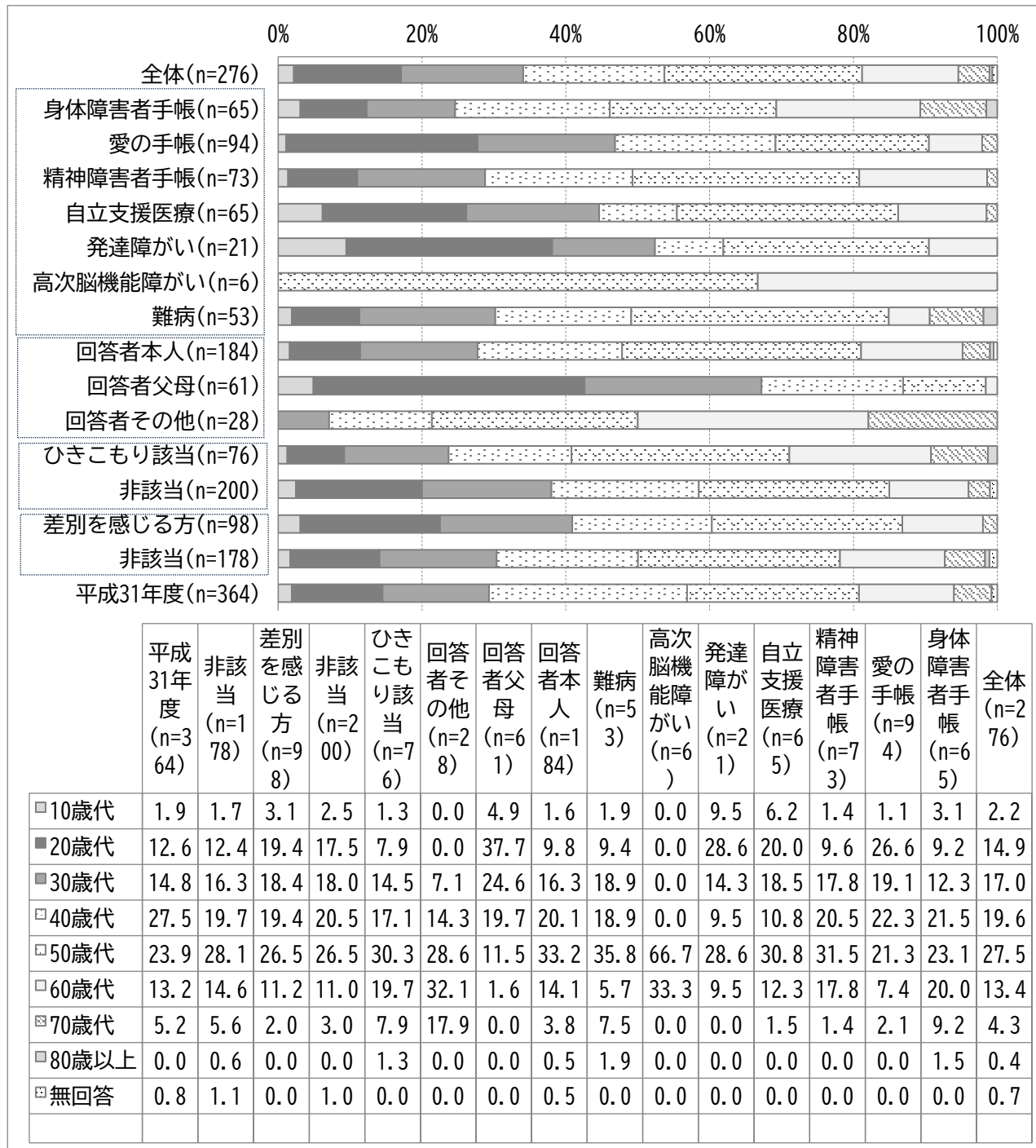
第6章 障がい者等調査

A 本人、家族について（基本事項）

問3 令和4年12月1日現在のあなた（宛名のご本人）の年齢をお伺いします。  
（○は1つ）

年齢は、「50歳代」が27.5%で最も多く、次いで、「40歳代」が19.6%となっています。

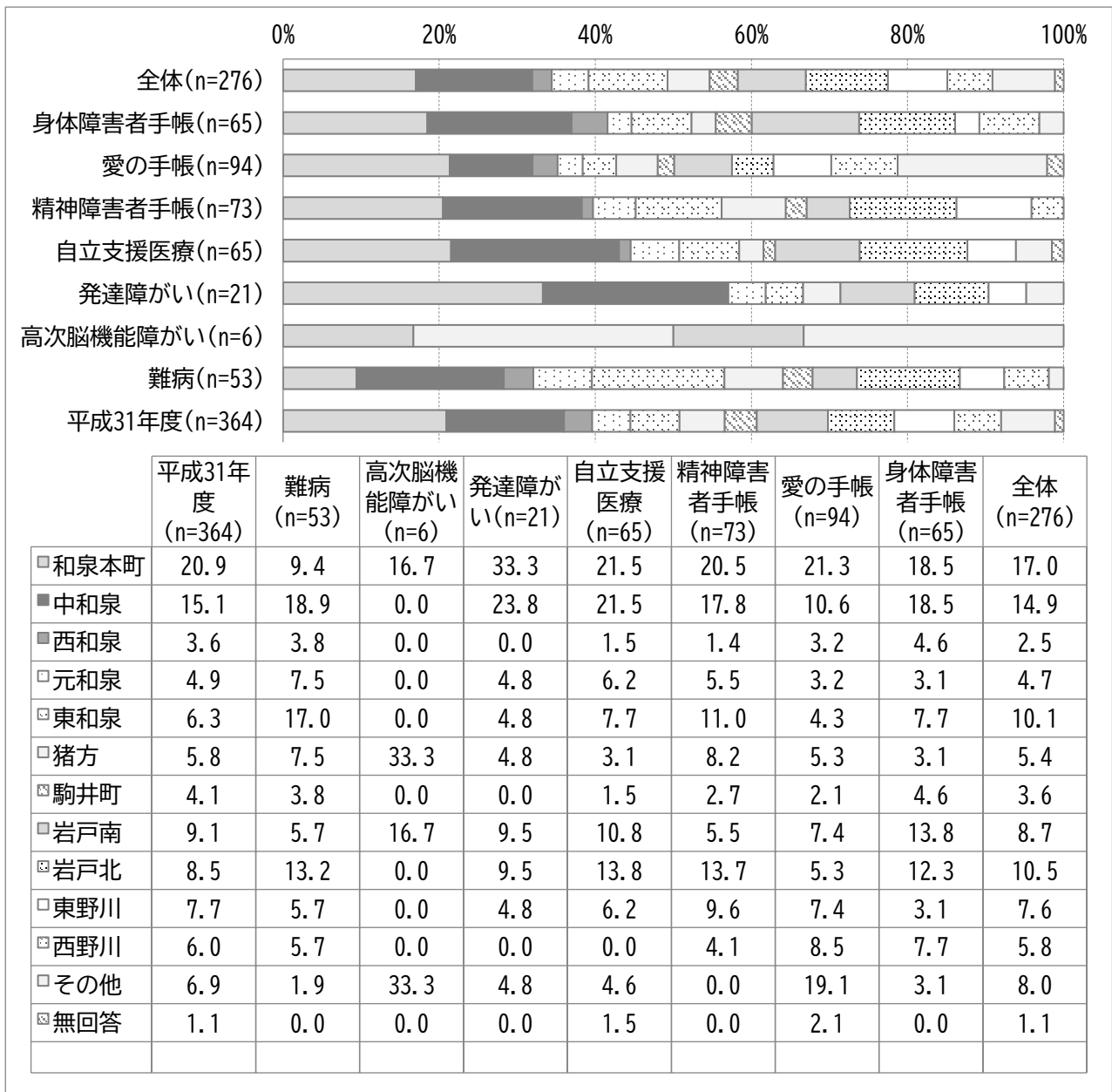
手帳の種類・診断名別で見ると、愛の手帳を持っている方では「20歳代」、自立支援医療を受給している方及び難病の診断を受けている方では「50歳代」が最も多くなっています。



※平成31年度は、選択肢「80歳以上」の調査なし。

問4 お住まいの地域はどちらですか。(〇は1つ)

居住地域は、「和泉本町」が17.0%で最も多く、次いで、「中和泉」が14.9%となっています。

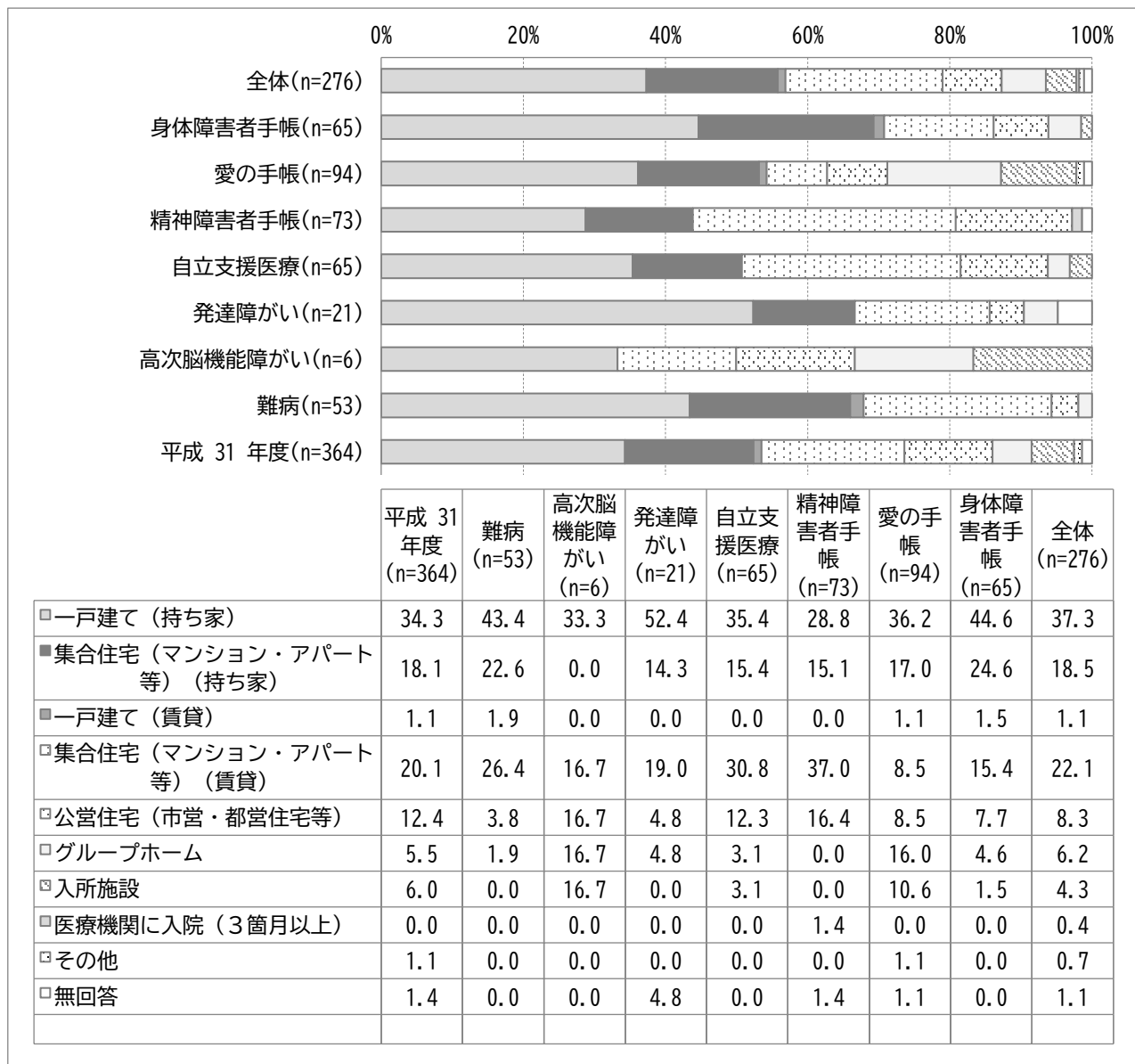


第6章 障がい者等調査

A 本人、家族について（基本事項）

問5 あなたのお住まいは、次のどれですか。（○は1つ）

居住形態は、「一戸建て（持ち家）」が37.3%、次いで、「集合住宅（マンション・アパート等）（賃貸）」が22.1%となっています。

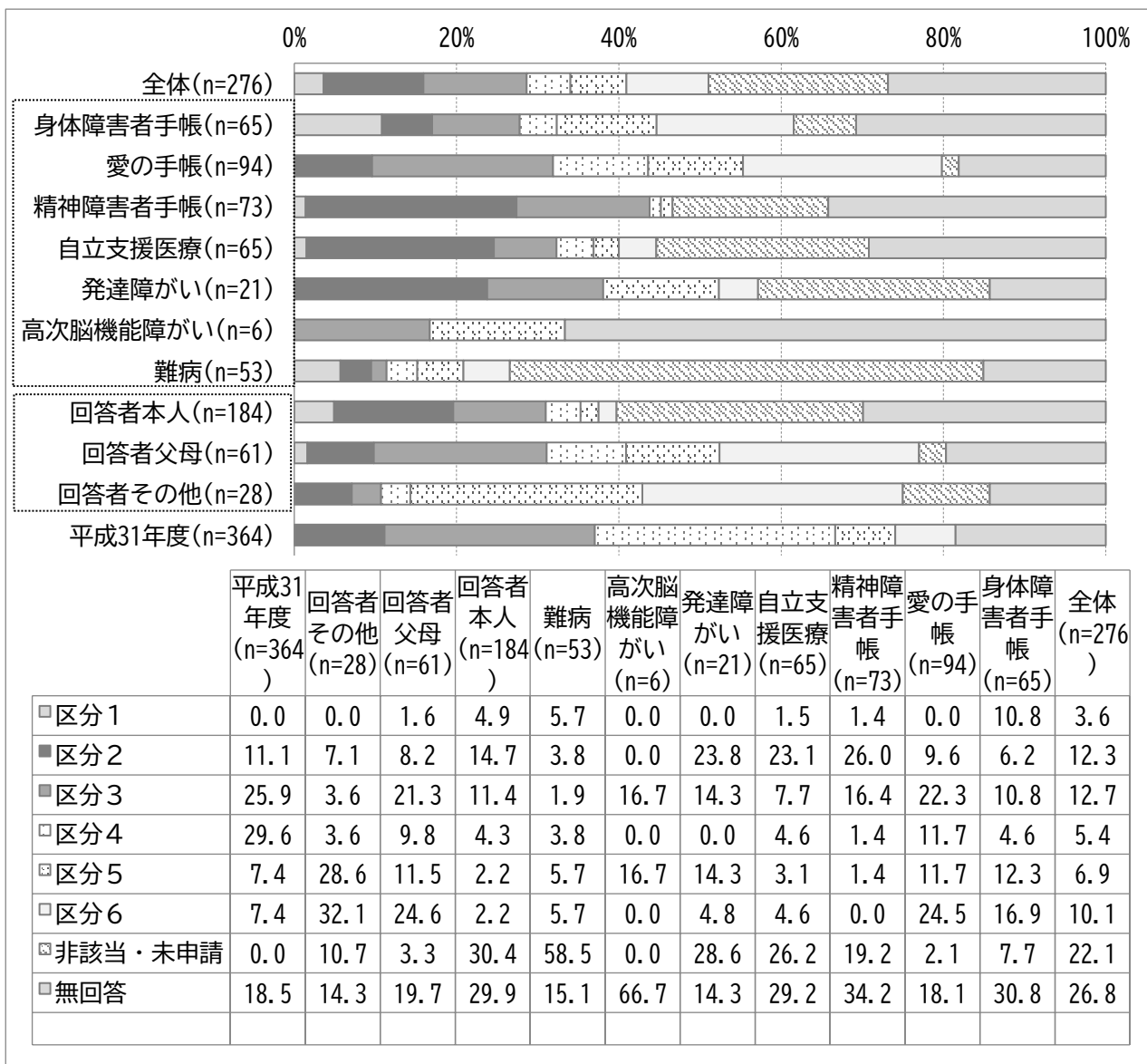


※平成 31 年度は、選択肢「医療機関に入院（3箇月以上）」の調査なし。



問6 障害支援区分は何ですか。(○は1つ)

障害支援区分は、「区分3」が12.7%で最も多く、次いで、「区分2」が12.3%となっています。



※「回答者本人」のnの数は、問1で「この調査に回答される方」について「あなた（宛名のご本人）」を選択された方の数です。「回答者父母」のnの数は、「あなたの父母（配偶者の父母を含む）」を選択された方の数です。「回答者その他」のnの数は、「あなたの配偶者」、「あなたの子ども」、「あなたの兄弟姉妹」、「あなたの祖父母」又は「その他」のいずれかを選択された方の合計者数です。なお、問1では、「無回答」の方がいることから各エリアのnの合計者数と全体の回答者数とは、合致しません。以下この章で同じです。

第6章 障がい者等調査

A 本人、家族について（基本事項）

問7 あなたは今後、誰とどのようなお住まいで生活したいと思いますか。（○は1つ）

希望する同居者と住まいについては、「家族と一緒に一戸建て」が27.9%、次いで、「家族と一緒に集合住宅（マンション・アパート等）」が17.0%となっています。

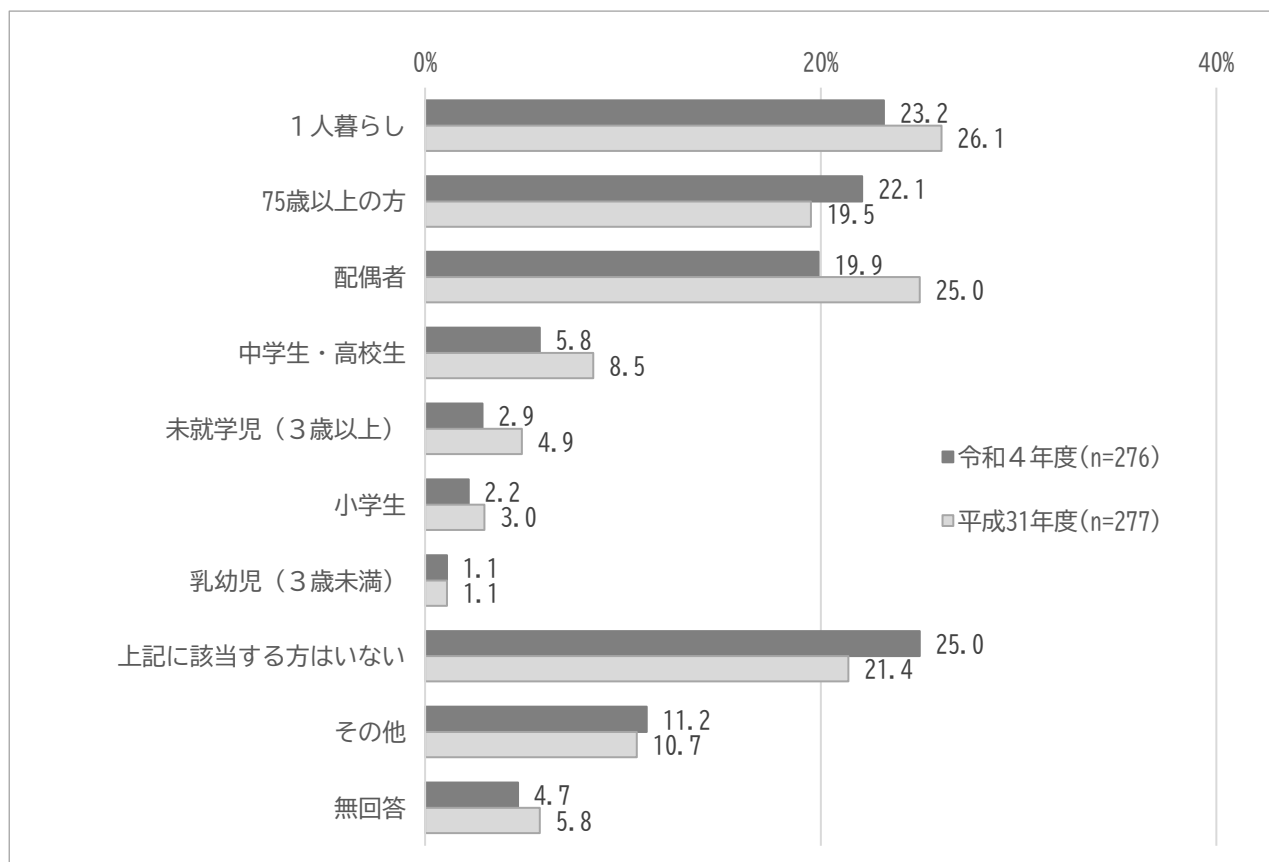
手帳の種類・診断名別で見ると、最も多いのは愛の手帳を持っている方が「グループホーム」が37.2%、となっています。

全体(n=276)	0% 20% 40% 60% 80% 100%											
	平成31年度 (n=364)	回答者その他 (n=28)	回答者父母 (n=61)	回答者本人 (n=84)	難病 (n=53)	高次脳機能障がい (n=6)	発達障がい (n=21)	自立支援医療 (n=65)	精神障害者手帳 (n=73)	愛の手帳 (n=94)	身体障害者手帳 (n=65)	全体 (n=276)
<input checked="" type="checkbox"/> 家族と一緒に一戸建て	26.4	25.0	29.5	28.3	39.6	33.3	28.6	26.2	19.2	21.3	35.4	27.9
<input checked="" type="checkbox"/> 家族と一緒に集合住宅(マンション・アパート等)	17.0	14.3	19.7	16.8	32.1	0.0	9.5	10.8	12.3	9.6	20.0	17.0
<input checked="" type="checkbox"/> 家族と一緒に公営住宅(市営・都営住宅等)	0.0	3.6	1.6	6.5	3.8	16.7	4.8	7.7	9.6	4.3	6.2	5.1
<input type="checkbox"/> 一人暮らしで一戸建て	2.7	0.0	1.6	2.7	0.0	0.0	0.0	3.1	2.7	2.1	0.0	2.2
<input type="checkbox"/> 一人暮らしで集合住宅(マンション・アパート等)	12.6	0.0	0.0	15.8	15.1	16.7	4.8	10.8	21.9	1.1	4.6	10.5
<input type="checkbox"/> 一人暮らしで公営住宅(市営・都営住宅等)	0.0	0.0	0.0	6.5	1.9	0.0	4.8	9.2	12.3	2.1	3.1	4.7
<input checked="" type="checkbox"/> グループホーム	12.6	14.3	34.4	8.2	1.9	16.7	28.6	13.8	4.1	37.2	12.3	14.9
<input type="checkbox"/> 入所施設	4.4	28.6	1.6	0.5	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	8.5	6.2	3.6
<input type="checkbox"/> その他	10.9	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
<input type="checkbox"/> 分からない	9.9	14.3	9.8	12.5	5.7	16.7	14.3	13.8	16.4	12.8	9.2	12.0
<input checked="" type="checkbox"/> 無回答	3.3	0.0	1.6	1.6	0.0	0.0	4.8	3.1	1.4	1.1	3.1	1.8

※平成31年度は、「家族と一緒に公営住宅(市営・都営住宅等)」と「一人暮らしで公営住宅(市営・都営住宅等)」をまとめて「公営住宅(市営・都営住宅など)」として調査しているため、今次調査の選択肢と合わせるために、平成31年度の当該選択肢の回答は「その他」に含めて集計している。

問8 あなたご自身も含め、ご家族（同居）の中に次の方はいますか。（○はいくつでも）

同居している方は、「1人暮らし」が23.2%、「75歳以上の方」が22.1%と多くなっています。前回調査結果と比較すると、「配偶者」は5.1ポイント低くなっています。



(単位：人、%)

区分	人数	無回答	その他	ない	右記に該当する方はい	乳幼児（3歳未満）	小学生	未就学児（3歳以上）	中学生・高校生	配偶者	75歳以上の方	1人暮らし
全体	276	4.7	11.2	25.0	1.1	2.2	2.9	5.8	19.9	22.1	23.2	
身体障害者手帳	65	4.6	7.7	20.0	0.0	3.1	3.1	4.6	30.8	33.8	16.9	
愛の手帳	94	7.4	16.0	36.2	0.0	0.0	0.0	5.3	3.2	28.7	10.6	
精神障害者手帳	73	2.7	11.0	21.9	0.0	1.4	2.7	0.0	12.3	15.1	43.8	
自立支援医療	65	3.1	12.3	29.2	0.0	3.1	4.6	9.2	15.4	15.4	27.7	
発達障がい	21	0.0	4.8	38.1	0.0	9.5	0.0	9.5	19.0	23.8	19.0	
高次脳機能障がい	6	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	
難病	53	3.8	7.5	18.9	5.7	3.8	7.5	9.4	45.3	18.9	17.0	
平成31年度	364	5.8	10.7	21.4	1.1	4.9	3.0	8.5	25.0	19.5	26.1	

第6章 障がい者等調査

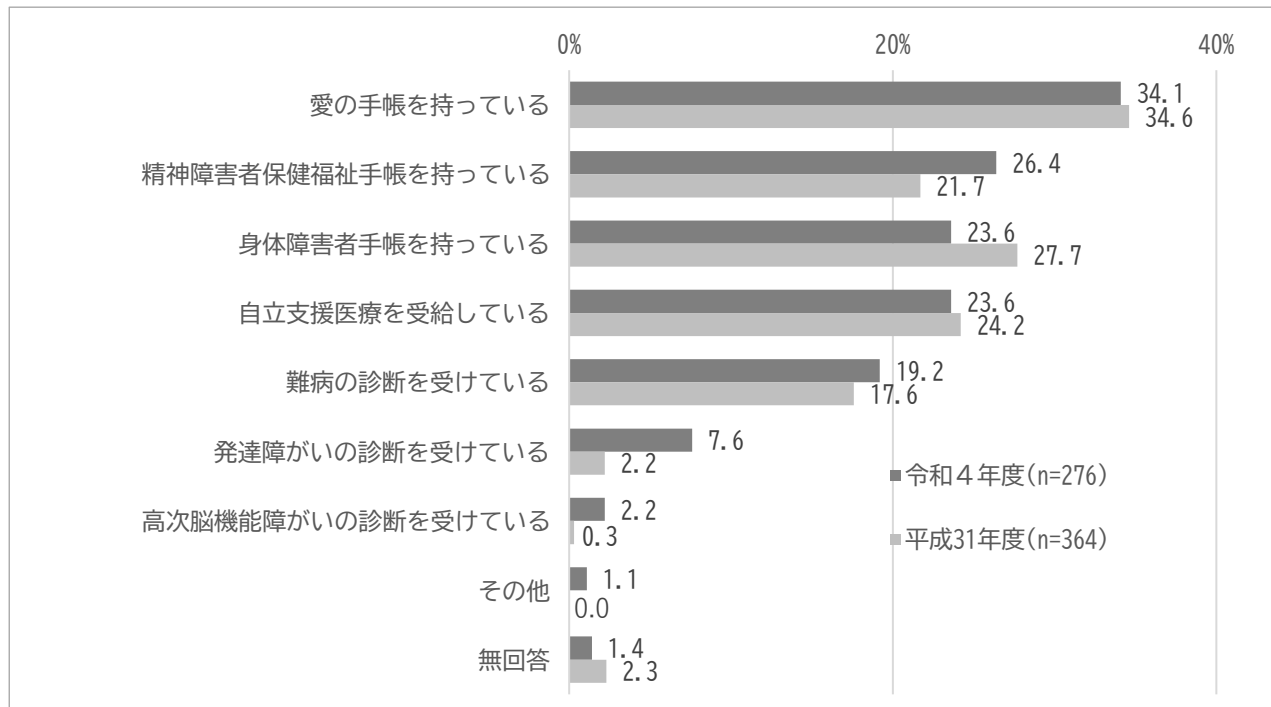
A 本人、家族について（基本事項）

問9 お持ちの手帳又は受けている診断名等は何ですか。また、手帳の等級をご記入ください。（〇はいくつでも）

<所持している手帳又は診断名等>

所持している手帳及びその等級又は受けている診断名等は、「愛の手帳を持っている」が34.1%で最も多く、次いで、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」が26.4%となっています。

前回調査結果と比較すると、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」は約5ポイント高くなっており、「身体障害者手帳を持っている」は約4ポイント低くなっています。



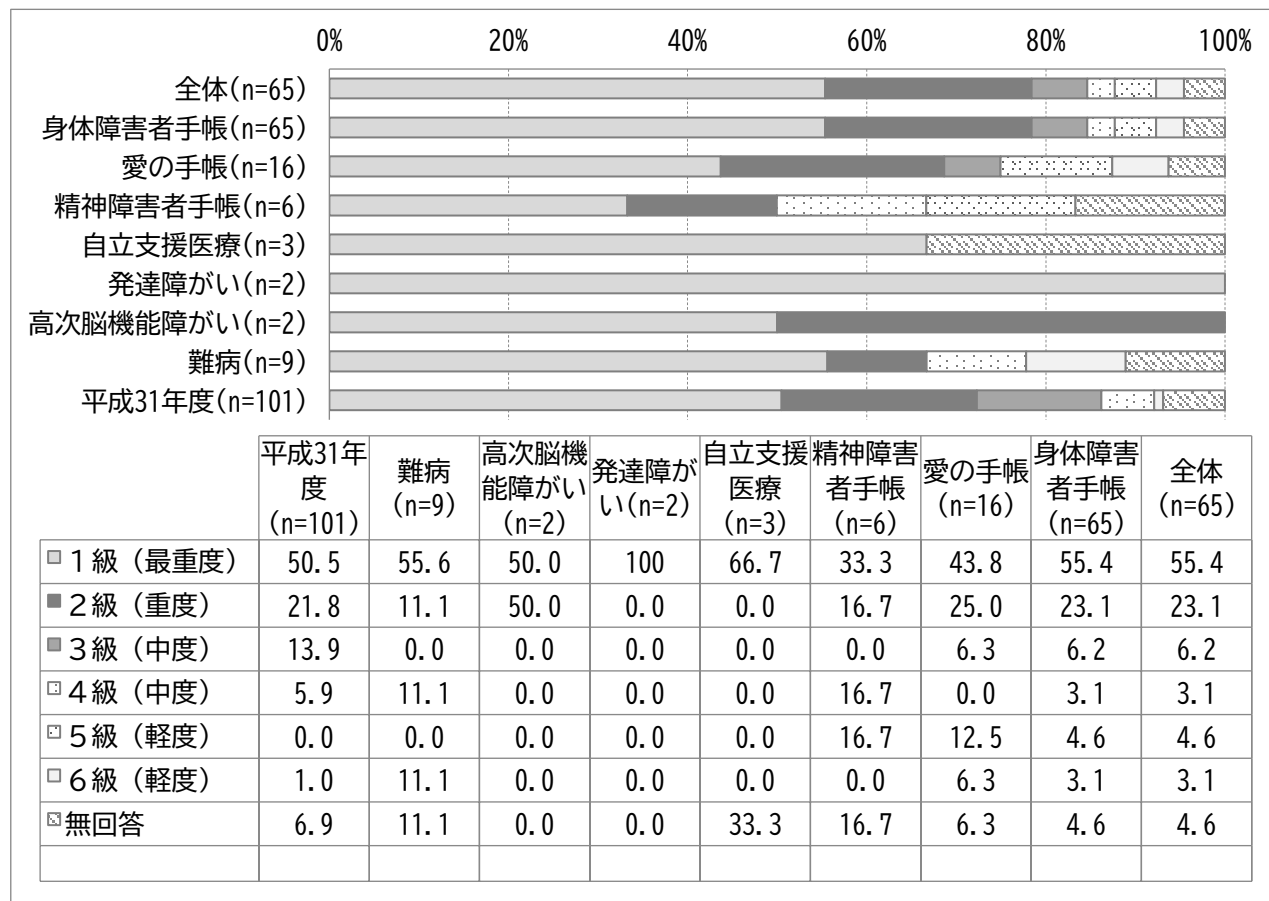
(単位：人、%)

区分	人数	無回答	その他	高次脳機能障がいの診断を受けている	発達障がいの診断を受けている	難病の診断を受けている	自立支援医療を受給している	身体障害者手帳を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	愛の手帳を持っている
全体	276	1.4	1.1	2.2	7.6	19.2	23.6	23.6	26.4	34.1
身体障害者手帳	65	0.0	1.5	3.1	3.1	13.8	4.6	-	9.2	24.6
愛の手帳	94	0.0	1.1	0.0	6.4	1.1	16.0	17.0	3.2	-
精神障害者手帳	73	0.0	0.0	4.1	16.4	2.7	43.8	8.2	-	4.1
自立支援医療	65	0.0	0.0	3.1	21.5	3.1	-	4.6	49.2	23.1
発達障がい	21	0.0	0.0	0.0	-	4.8	66.7	9.5	57.1	28.6
高次脳機能障がい	6	0.0	0.0	-	0.0	0.0	33.3	33.3	50.0	0.0
難病	53	0.0	0.0	0.0	1.9	-	3.8	17.0	3.8	1.9
回答者本人	184	1.6	1.1	2.2	7.6	26.6	28.3	20.1	37.0	15.2
回答者父母	61	-	1.6	1.6	8.2	-	14.8	26.2	4.9	83.6
回答者その他	28	-	-	3.6	7.1	14.3	14.3	35.7	7.1	53.6
ひきこもり該当	76	0.0	0.0	5.3	7.9	25.0	26.3	28.9	28.9	18.4
ひきこもり非該当	200	2.0	1.5	1.0	7.5	17.0	22.5	21.5	25.5	40.0
差別を感じる該当	98	1.0	0.0	2.0	14.3	8.2	34.7	24.5	32.7	37.8
差別を感じる非該当	178	1.7	1.7	2.2	3.9	25.3	17.4	23.0	23.0	32.0
平成31年度	364	2.3	-	0.3	2.2	17.6	24.2	27.7	21.7	34.6

※「ひきこもり該当」のnの数は、問14で「問13で「普段は家にいるが、自分の趣味のために外出する」、「普段は家にいるが、近所のコンビニ等には出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」と回答した方」について、「6箇月～1未満」、「1年～5年未満」及び5年以上」を選択された方の合計者数です。「ひきこもり非該当」のnの数は、全体(n=276)から「ひきこもり該当」数を除した数です。以下この章で同じです。

※「差別を感じる該当」のnの数は、問46で「あなたは障がいがあることで、差別を感じたり嫌な思いをしたりしたこと」について、「よくある」又は「時々ある」を選択された方の合計者数です。「差別を感じる非該当」のnの数は、全体(n=276)から「差別を感じる該当」数を除した数です。以下この章で同じです。

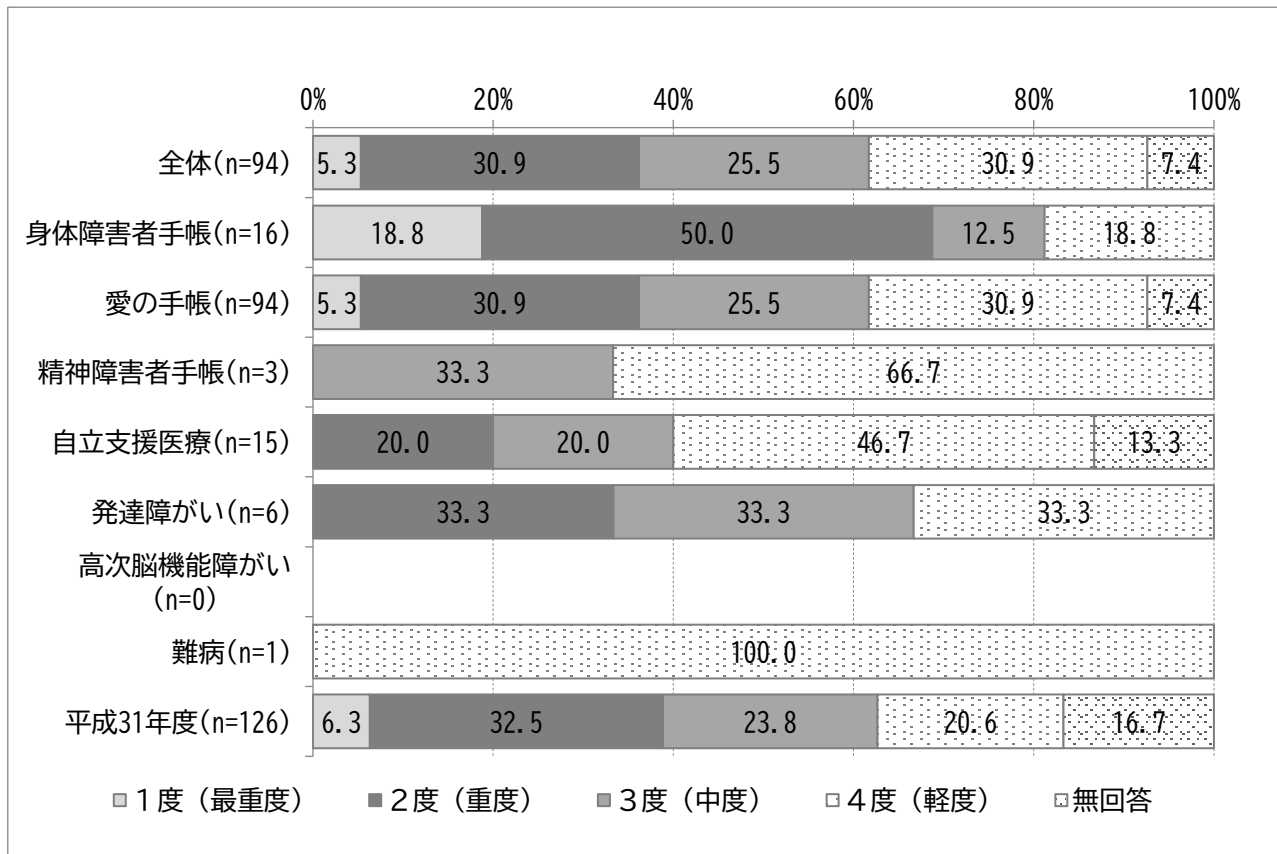
### <身体障害者手帳：等級>



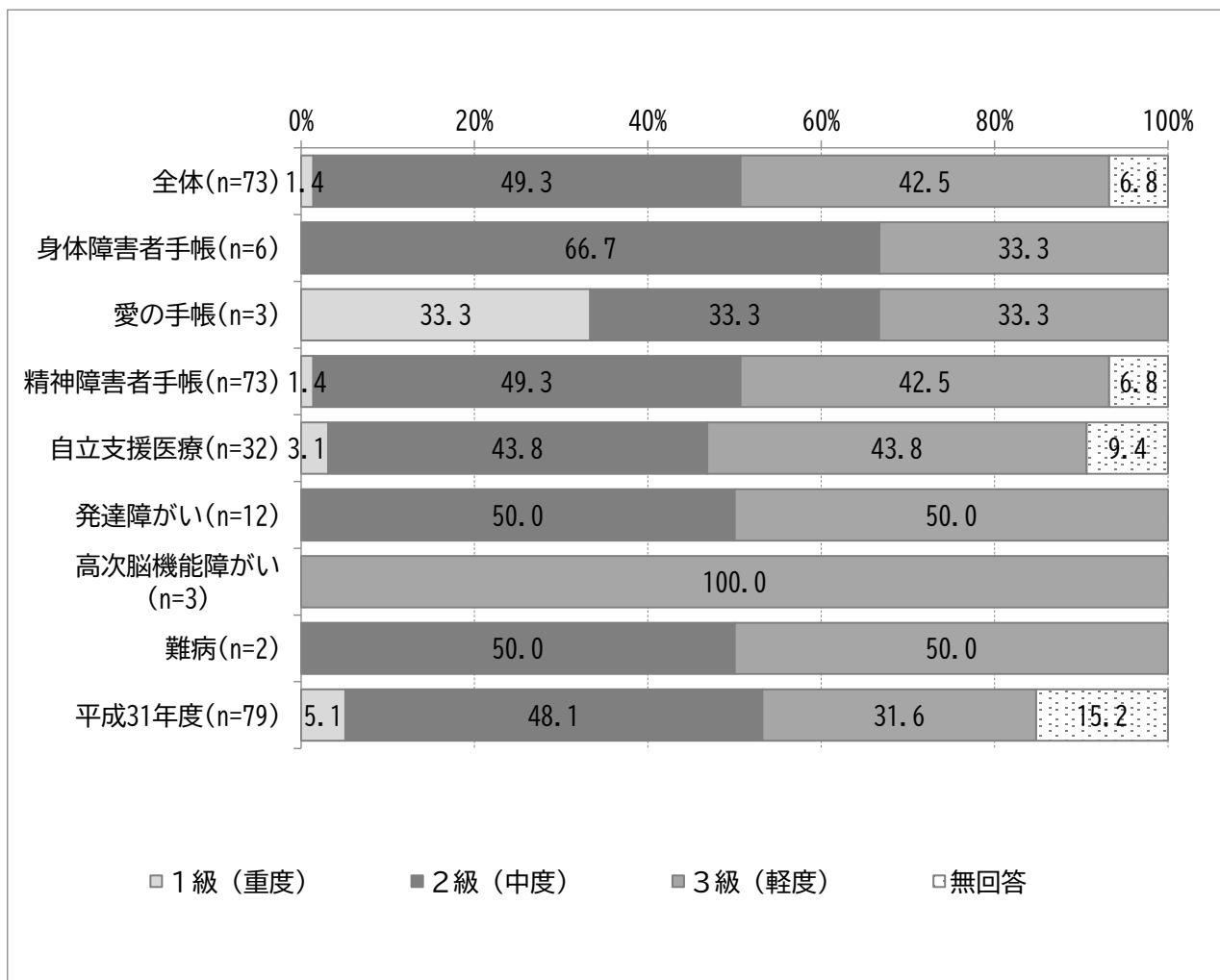
第6章 障がい者等調査

A 本人、家族について（基本事項）

<愛の手帳：等級>



<精神障害者保健福祉手帳：等級>



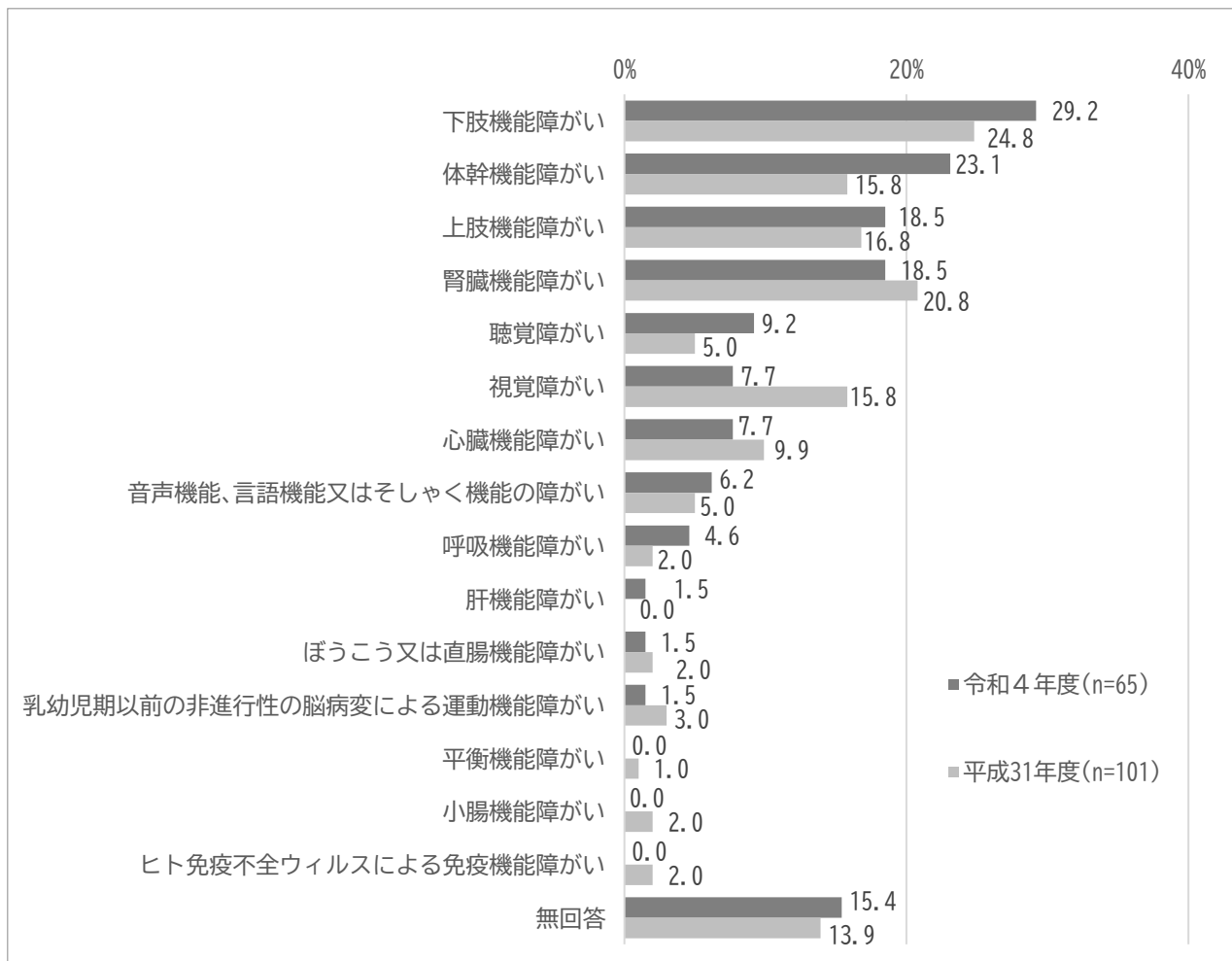
第6章 障がい者等調査

A 本人、家族について（基本事項）

問10 【問9で「身体障害者手帳を持っている」と回答した方にお伺いします。】  
 障がいの種別は何ですか。（〇はいくつでも）

障がいの種別は、「下肢機能障がい」が29.2%で最も多く、次いで、「体幹機能障がい」が23.1%となっています。

前回調査結果と比較すると、「下肢機能障がい」は約4ポイント、「体幹機能障がい」は約7ポイント高くなっており、「視覚障がい」は約8ポイント低くなっています。





(単位：人、%)

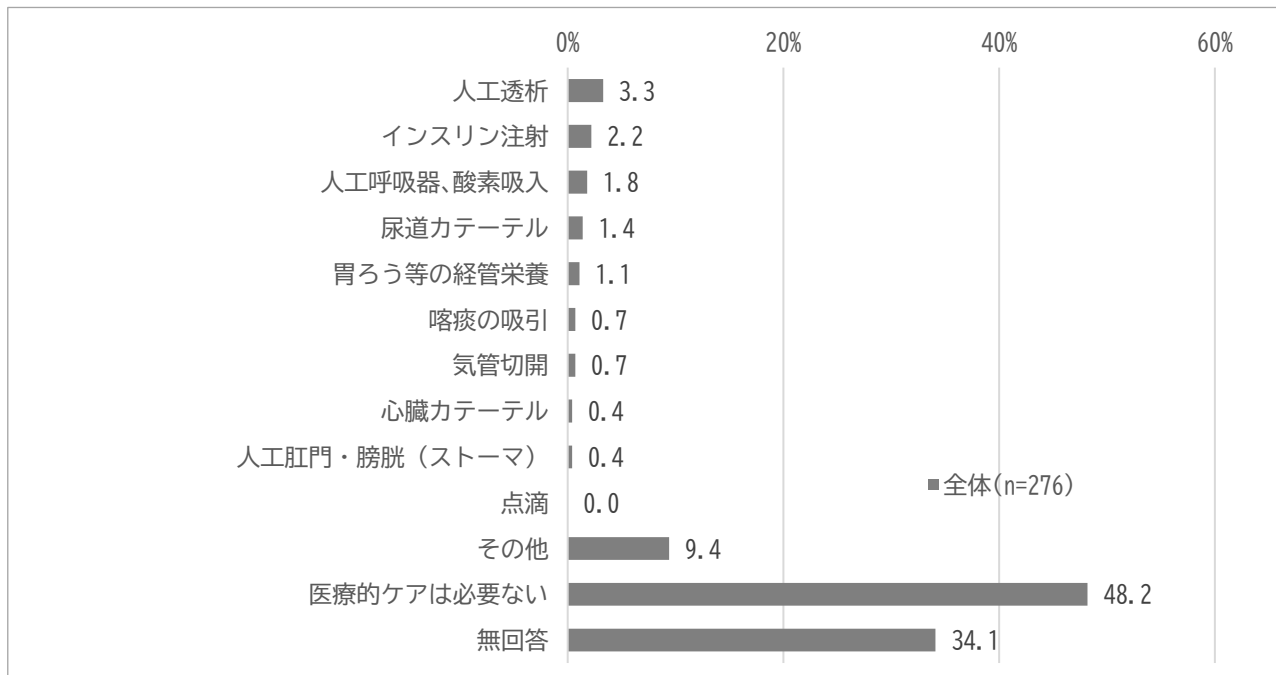
区分	人数	無回答	免疫不全ウイルスによる免疫機能障がい	小腸機能障がい	平衡機能障がい	乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障がい	ぼうこう又は直腸機能障がい	肝機能障がい	呼吸機能障がい	音声機能、言語機能又はしゃく機能の障がい	心臓機能障がい	視覚障がい	聴覚障がい	腎臓機能障がい	上肢機能障がい	体幹機能障がい	下肢機能障がい
全体	276	15.4	0.0	0.0	0.0	1.5	1.5	1.5	4.6	6.2	7.7	7.7	9.2	18.5	18.5	23.1	29.2
身体障害者手帳	65	15.4	0.0	0.0	0.0	1.5	1.5	1.5	4.6	6.2	7.7	7.7	9.2	18.5	18.5	23.1	29.2
愛の手帳	94	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	6.3	31.3	25.0
精神障害者手帳	73	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7
自立支援医療	65	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3
発達障がい	21	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0
高次脳機能障がい	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
難病	53	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	55.6	22.2	55.6
平成 31 年度	101	13.9	2.0	2.0	1.0	3.0	2.0	0.0	2.0	5.0	9.9	15.8	5.0	20.8	16.8	15.8	24.8

## 第6章 障がい者等調査

### A 本人、家族について（基本事項）

問 11 普段の生活で医療的ケアを必要としていますか。必要としている場合は、具体的な内容を選択してください。（〇はいくつでも）

普段の生活で医療的ケアが必要な方では、「人工透析」が3.3%で最も多く、次いで、「インスリン注射」が2.2%となっています。

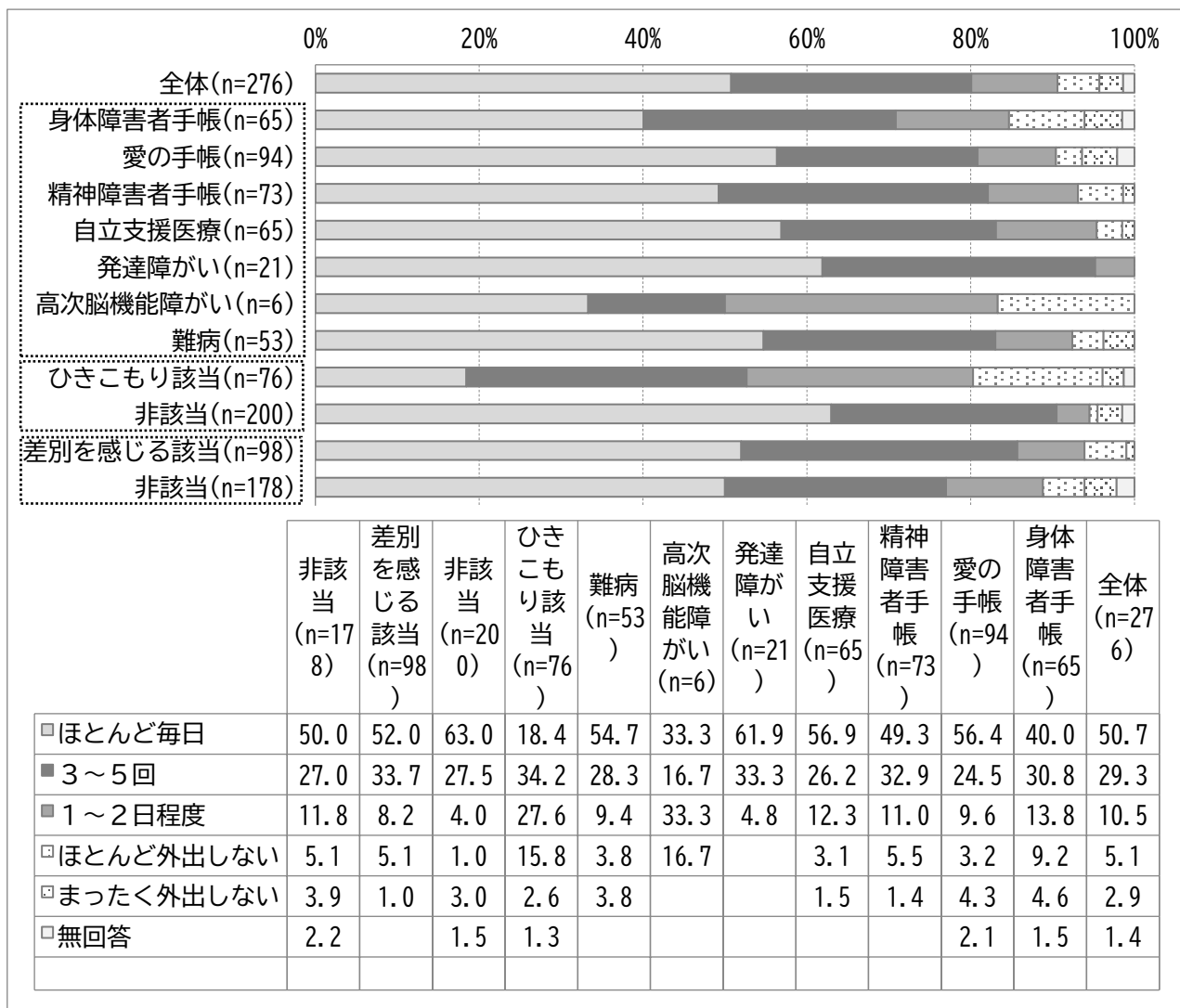


（単位：人、%）

区分	人数	無回答	医療的ケアは必要ない	その他	点滴	人工肛門・膀胱（ストーマ）	心臓カテーテル	気管切開	喀痰の吸引	栄養	胃ろう等の経管	尿道カテーテル	吸入人工呼吸器、酸素	インスリン注射	人工透析
全体	276	34.1	48.2	9.4	0.0	0.4	0.4	0.7	0.7	1.1	1.4	1.8	2.2	3.3	
身体障害者手帳	65	24.6	32.3	16.9	0.0	1.5	1.5	3.1	3.1	4.6	3.1	7.7	3.1	13.8	
愛の手帳	94	43.6	43.6	9.6	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	1.1	0.0	
精神障害者手帳	73	35.6	53.4	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.1	1.4	
自立支援医療	65	36.9	53.8	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	4.6	1.5	
発達障がい	21	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
高次脳機能障がい	6	16.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	
難病	53	24.5	56.6	11.3	0.0	0.0	0.0	3.8	3.8	3.8	3.8	5.7	1.9	0.0	

問 12 あなたは週にどのくらい外出しますか。(○は1つ)

外出の頻度は、「ほとんど毎日」が 50.7%で最も多く、次いで、「3～5回」が 29.3%となっています。

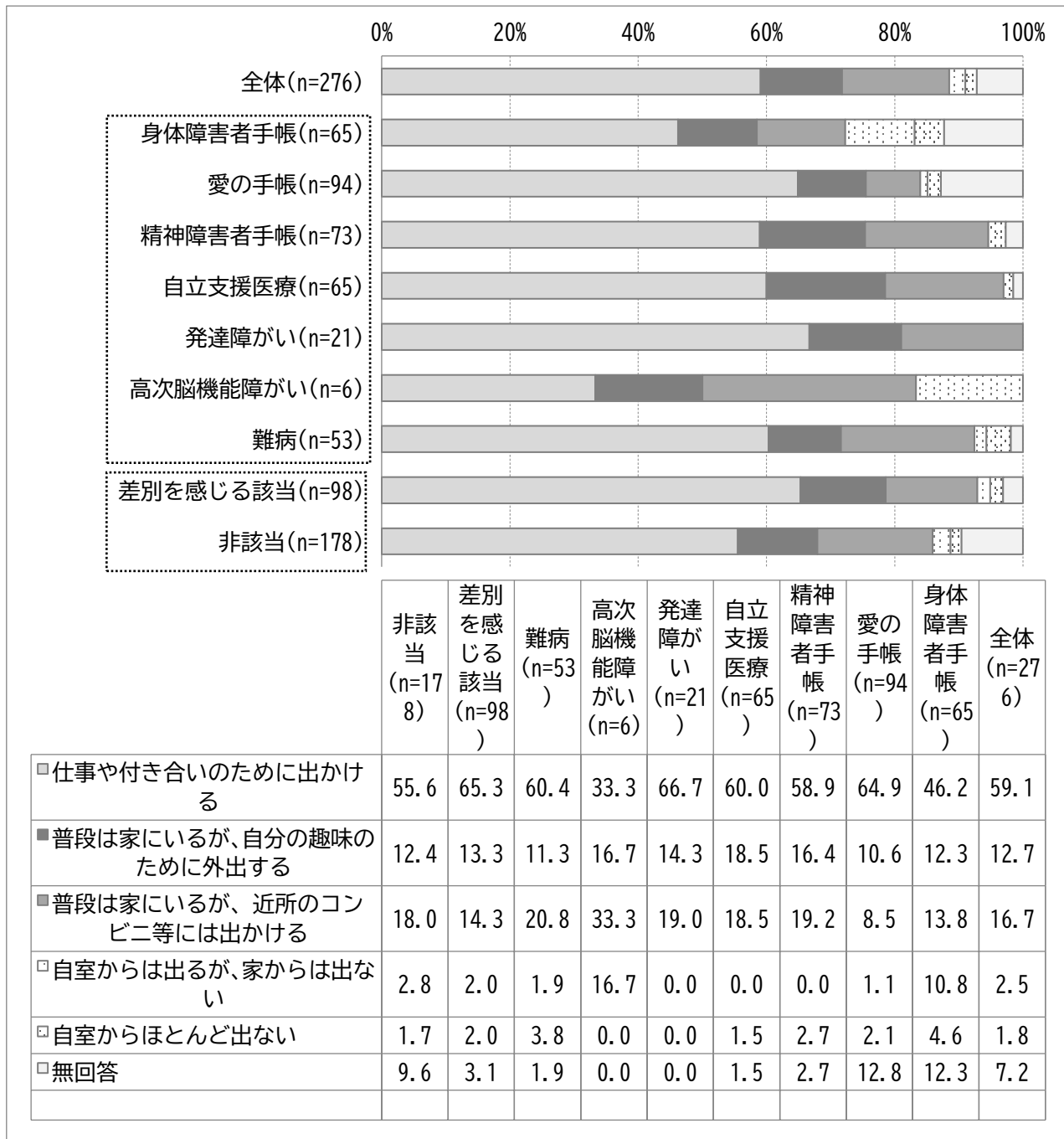


第6章 障がい者等調査

A 本人、家族について（基本事項）

問 13 外出の理由は何ですか。（○は1つ）

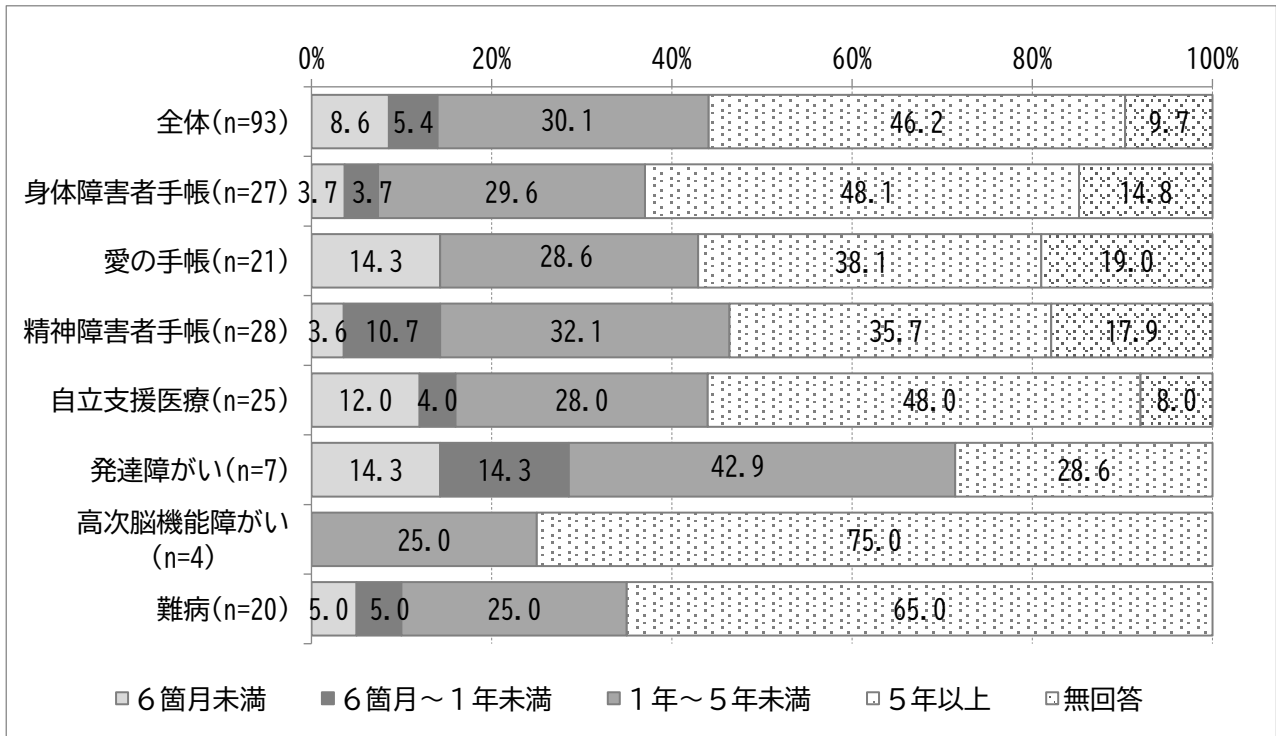
外出の理由は、「仕事や付き合いのために出かける」が59.1%で最も多く、次いで、「普段は家にいるが、近所のコンビニ等には出かける」が16.7%となっています。



問 14 【問 13 で「普段は家にいるが、自分の趣味のために外出する」、「普段は家にいるが、近所のコンビニ等には出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」と回答した方にお伺いします。】

その状態になってどのくらい続いていますか。(〇は1つ)

現在の外出の状態の継続期間は、「5年以上」が46.2%で最も多く、次いで、「1年～5年未満」が30.1%となっています。

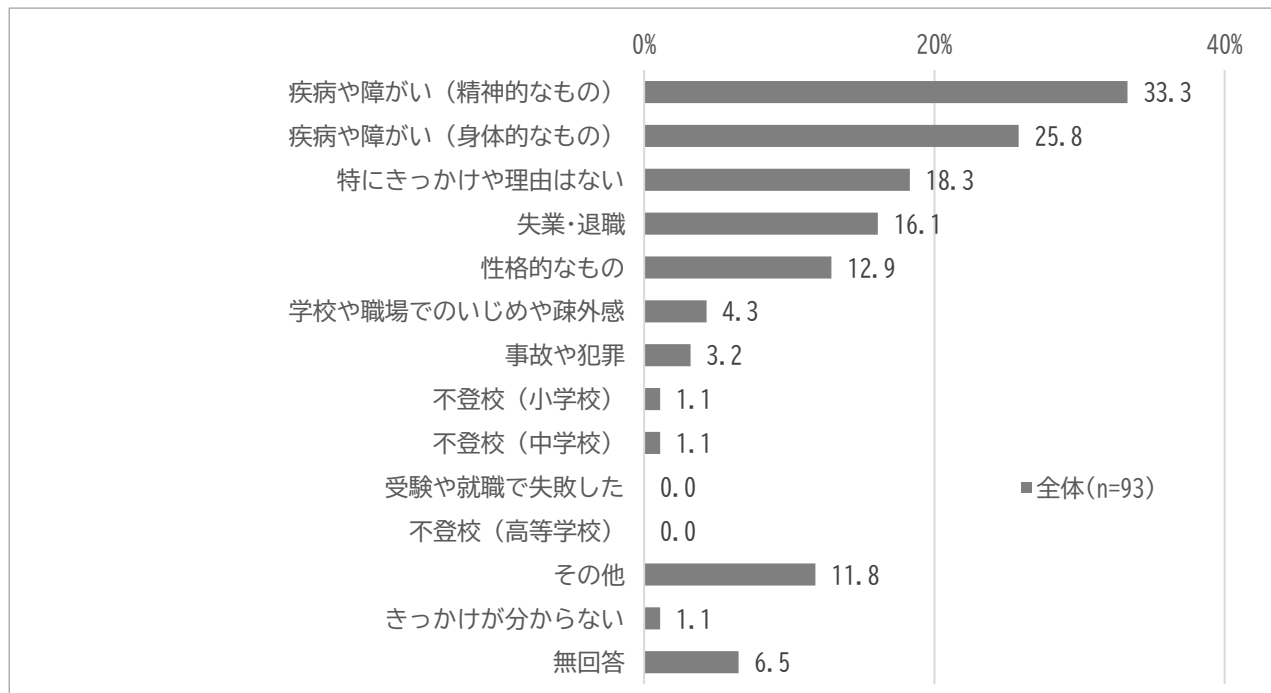


第6章 障がい者等調査

A 本人、家族について（基本事項）

問 14-2 その状態になったきっかけは何ですか。（〇はいくつでも）

現在の外出の状態になったきっかけは、「疾病や障がい（精神的なもの）」が 33.3%で最も多く、次いで、「疾病や障がい（身体的なもの）」が 25.8%となっています。



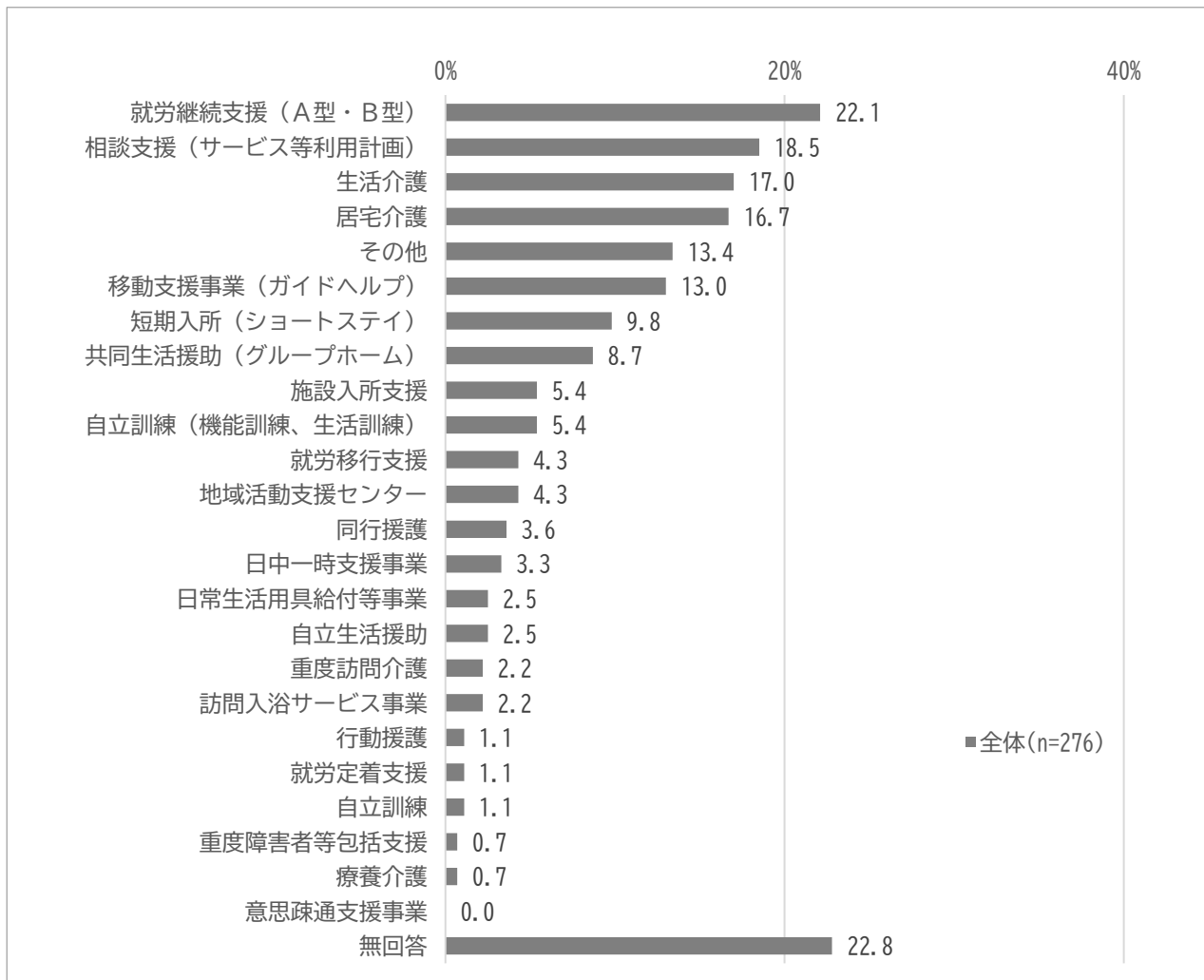
(単位：人、%)

区分	人数	無回答	きっかけが分からない	その他	不登校（高等学校）	受験や就職で失敗した	不登校（中学校）	不登校（小学校）	事故や犯罪	学校や職場でのいじめや疎外感	性格的なもの	失業・退職	特にきっかけや理由はない	疾病や障がい（身体的なもの）	疾病や障がい（精神的なもの）
全体	93	6.5	1.1	11.8	0.0	0.0	1.1	1.1	3.2	4.3	12.9	16.1	18.3	25.8	33.3
身体障害者手帳	27	3.7	0.0	14.8	0.0	0.0	0.0	0.0	7.4	0.0	3.7	7.4	14.8	48.1	11.1
愛の手帳	21	19	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	4.8	19.0	9.5	19.0
精神障害者手帳	28	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	3.6	0.0	14.3	21.4	25.0	25.0	7.1	60.7
自立支援医療	25	4.0	4.0	8.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	28.0	24.0	12.0	12.0	56.0
発達障がい	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	57.1	14.3	14.3	57.1
高次脳機能障がい	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	75.0	25.0
難病	20	5.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	10.0	25.0	15.0	50.0	15.0

## B 市の障がい福祉サービスについて

問 15 あなたが、現在利用している障がい福祉サービスは何ですか。(〇はいくつでも)

現在利用している障がい福祉サービスは、「就労継続支援(A型・B型)」が22.1%で最も多く、次いで、「相談支援(サービス等利用計画)」が18.5%となっています。



第6章 障がい者等調査

B 市の障がい福祉サービスについて

(単位：人、%)

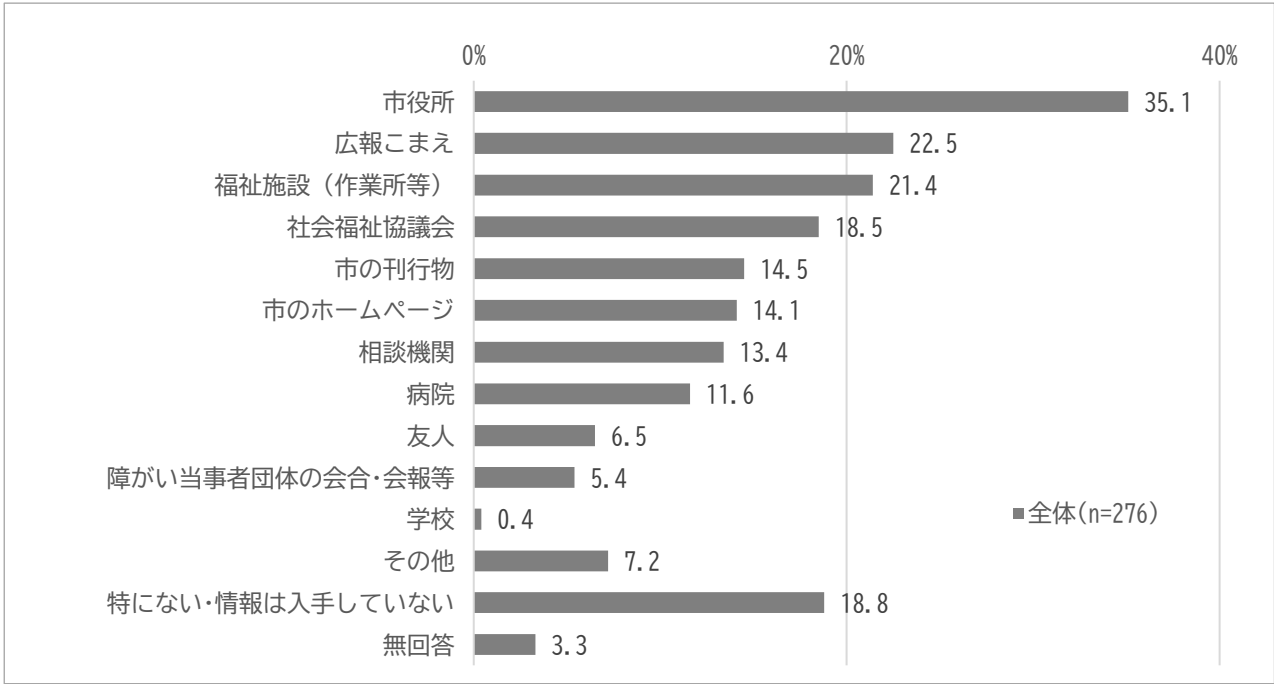
区分	人数	無回答	意思疎通支援事業	療養介護	重度障害者等包括支援	自立訓練	就労定着支援	行動援護	訪問入浴サービス事業	重度訪問介護	自立生活援助	日常生活用具給付等事業	日中一時支援事業
全体	276	22.8	0.0	0.7	0.7	1.1	1.1	1.1	2.2	2.2	2.5	2.5	3.3
身体障害者手帳	65	21.5	0.0	0.0	0.0	3.1	1.5	0.0	9.2	7.7	1.5	10.8	4.6
愛の手帳	94	8.5	0.0	1.1	1.1	2.1	0.0	3.2	1.1	1.1	2.1	2.1	8.5
精神障害者手帳	73	5.5	0.0	1.4	1.4	1.4	2.7	0.0	0.0	0.0	4.1	1.4	0.0
自立支援医療	65	12.3	0.0	1.5	1.5	0.0	1.5	1.5	0.0	1.5	4.6	1.5	1.5
発達障がい	21	9.5	0.0	0.0	0.0	4.8	4.8	4.8	0.0	4.8	4.8	4.8	0.0
高次脳機能障がい	6	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病	53	58.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	7.5	0.0	3.8	0.0

区分	同行援護	地域活動支援センター	就労移行支援	自立訓練（機能訓練、生活訓練）	施設入所支援	共同生活援助（グループホーム）	短期入所（シヨートステイ）	移動支援事業（ガイドヘルプ）	その他	居宅介護	生活介護	相談支援（サービス等利用計画）	就労継続支援（A型・B型）
全体	3.6	4.3	4.3	5.4	5.4	8.7	9.8	13.0	13.4	16.7	17.0	18.5	22.1
身体障害者手帳	10.8	3.1	3.1	4.6	6.2	3.1	15.4	20.0	7.7	33.8	18.5	16.9	16.9
愛の手帳	3.2	2.1	2.1	5.3	11.7	22.3	23.4	31.9	8.5	11.7	37.2	22.3	28.7
精神障害者手帳	0.0	11.0	11.0	13.7	0.0	1.4	1.4	1.4	11.0	26.0	6.8	31.5	34.2
自立支援医療	0.0	4.6	4.6	12.3	4.6	4.6	6.2	7.7	20.0	18.5	10.8	27.7	27.7
発達障がい	0.0	4.8	4.8	14.3	4.8	14.3	14.3	19.0	28.6	14.3	14.3	23.8	23.8
高次脳機能障がい	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	33.3	16.7
難病	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	1.9	1.9	26.4	11.3	1.9	5.7	1.9



問16 あなたは、市の障がい福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。(〇はいくつでも)

障がい福祉サービスに関する情報の入手先は、「市役所」が35.1%で最も多く、次いで、「広報こまえ」が22.5%となっています。

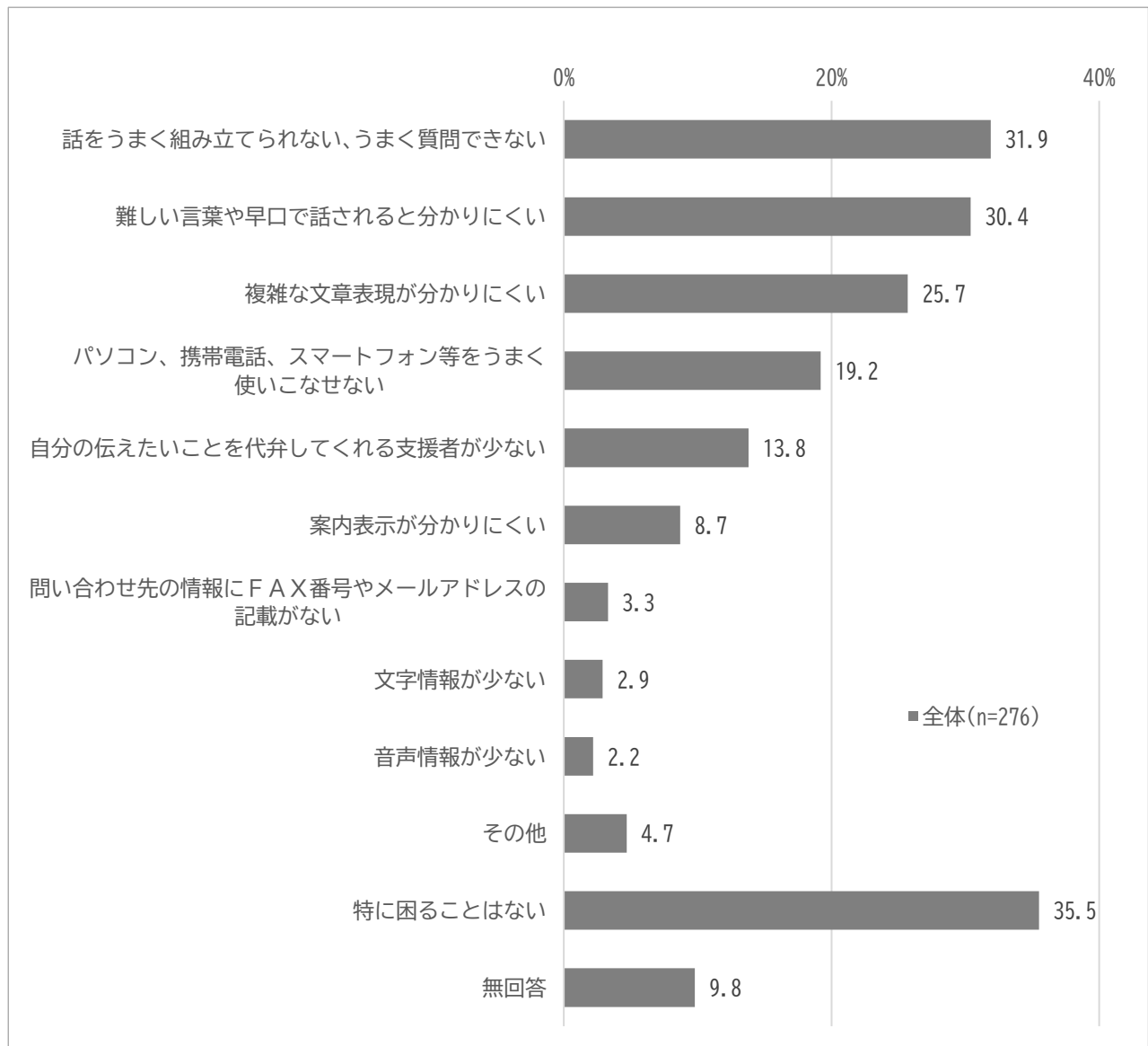


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	特にない・情報は入手していない	その他	学校	障がい当事者団体の会合・会報等	友人	病院	相談機関	市のホームページ	市の刊行物	社会福祉協議会	福祉施設 (作業所等)	広報こまえ	市役所
全体	276	3.3	18.8	7.2	0.4	5.4	6.5	11.6	13.4	14.1	14.5	18.5	21.4	22.5	35.1
身体障害者手帳	65	1.5	13.8	10.8	1.5	10.8	9.2	9.2	15.4	12.3	13.8	18.5	18.5	21.5	41.5
愛の手帳	94	3.2	12.8	10.6	0.0	11.7	8.5	2.1	25.5	9.6	19.1	25.5	43.6	27.7	34.0
精神障害者手帳	73	0.0	12.3	6.8	1.4	2.7	5.5	17.8	13.7	16.4	12.3	21.9	20.5	24.7	41.1
自立支援医療	65	0.0	10.8	7.7	1.5	6.2	7.7	21.5	20.0	24.6	15.4	21.5	16.9	27.7	46.2
発達障がい	21	0.0	4.8	0.0	4.8	9.5	9.5	19.0	28.6	33.3	33.3	19.0	23.8	42.9	57.1
高次脳機能障がい	6	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	66.7
難病	53	5.7	37.7	5.7	1.9	3.8	5.7	9.4	3.8	17.0	13.2	7.5	1.9	18.9	30.2

問17 コミュニケーションを行う上で困ることはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

コミュニケーションを行う上で困ることは、「話をうまく組み立てられない、うまく質問できない」が31.9%で最も多く、次いで、「難しい言葉や早口で話されると分かりにくい」が30.4%となっています。



(単位：人、%)

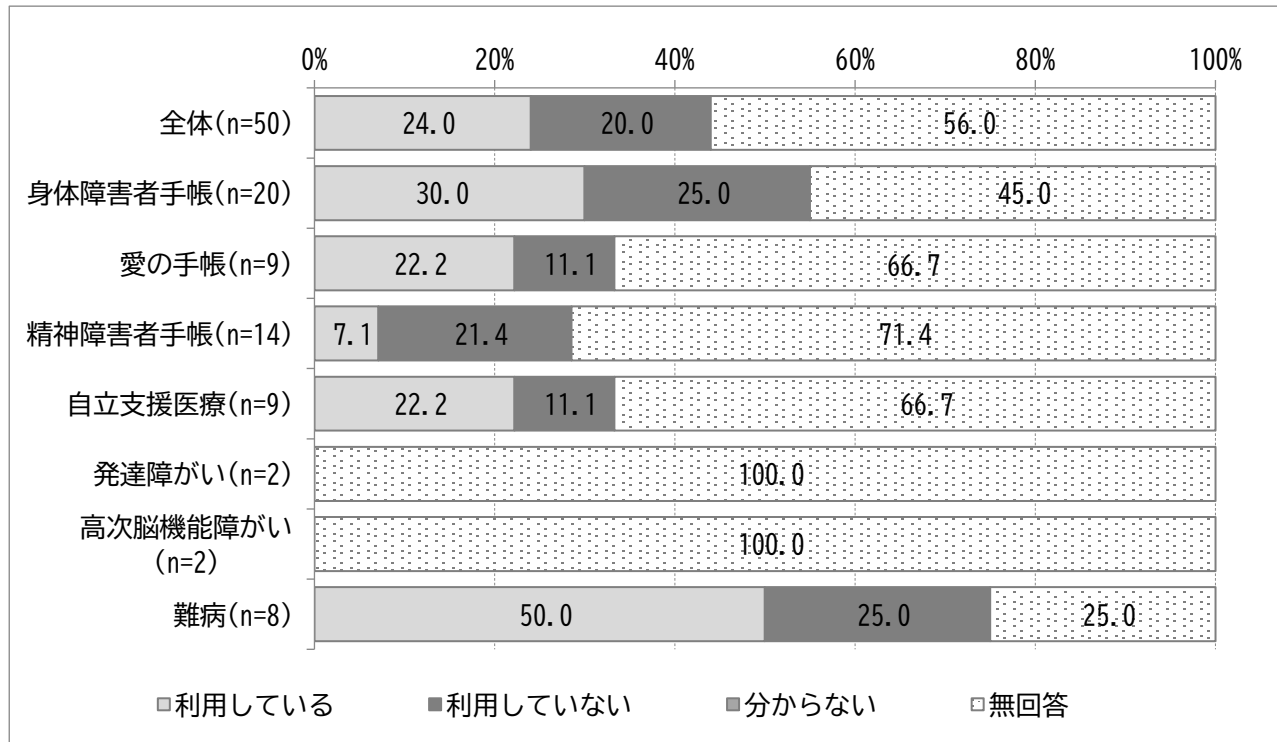
区分	人数	無回答	特に困ることはない	その他	音声情報が少ない	文字情報が少ない	問い合わせ先の情報にFAX番号やメールアドレスの記載がない	案内表示が分かりにくい	自分の伝えたいことを代弁してくれる支援者が少ない	パソコン、携帯電話、スマートフォン等をうまく使いこなせない	複雑な文章表現が分かりにくい	難しい言葉や早口で話されると分かりにくい	話をうまく組み立てられない、うまく質問できない
全体	276	9.8	35.5	4.7	2.2	2.9	3.3	8.7	13.8	19.2	25.7	30.4	31.9
身体障害者手帳	65	6.2	35.4	6.2	4.6	0.0	4.6	10.8	12.3	21.5	24.6	36.9	20.0
愛の手帳	94	12.8	18.1	6.4	3.2	5.3	4.3	14.9	25.5	19.1	42.6	48.9	48.9
精神障害者手帳	73	5.5	27.4	4.1	0.0	2.7	4.1	6.8	11.0	28.8	27.4	28.8	39.7
自立支援医療	65	4.6	26.2	4.6	0.0	1.5	3.1	4.6	20.0	16.9	33.8	41.5	52.3
発達障がい	21	4.8	19.0	9.5	0.0	0.0	0.0	4.8	23.8	9.5	42.9	47.6	61.9
高次脳機能障がい	6	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	33.3	50.0	33.3	83.3	66.7	50.0	50.0
難病	53	11.3	69.8	1.9	3.8	0.0	1.9	3.8	3.8	3.8	0.0	3.8	3.8
回答者本人	184	7.6	45.1	2.7	2.2	2.2	2.7	6.5	7.1	16.8	18.5	23.4	25.0
回答者父母	61	14.8	8.2	9.8	1.6	4.9	6.6	11.5	37.7	31.1	52.5	55.7	50.8
回答者その他	28	10.7	35.7	7.1	3.6	3.6	0.0	17.9	7.1	10.7	17.9	21.4	35.7
ひきこもり該当	76	2.6	40.8	3.9	5.3	5.3	5.3	10.5	10.5	21.1	21.1	19.7	31.6
ひきこもり非該当	200	12.5	33.5	5.0	1.0	2.0	2.5	8.0	15.0	18.5	27.5	34.5	32.0
差別を感じる該当	98	8.2	14.3	7.1	3.1	4.1	3.1	11.2	25.5	28.6	41.8	53.1	49.0
差別を感じる非該当	178	10.7	47.2	3.4	1.7	2.2	3.4	7.3	7.3	14.0	16.9	18.0	22.5

第6章 障がい者等調査

B 市の障がい福祉サービスについて

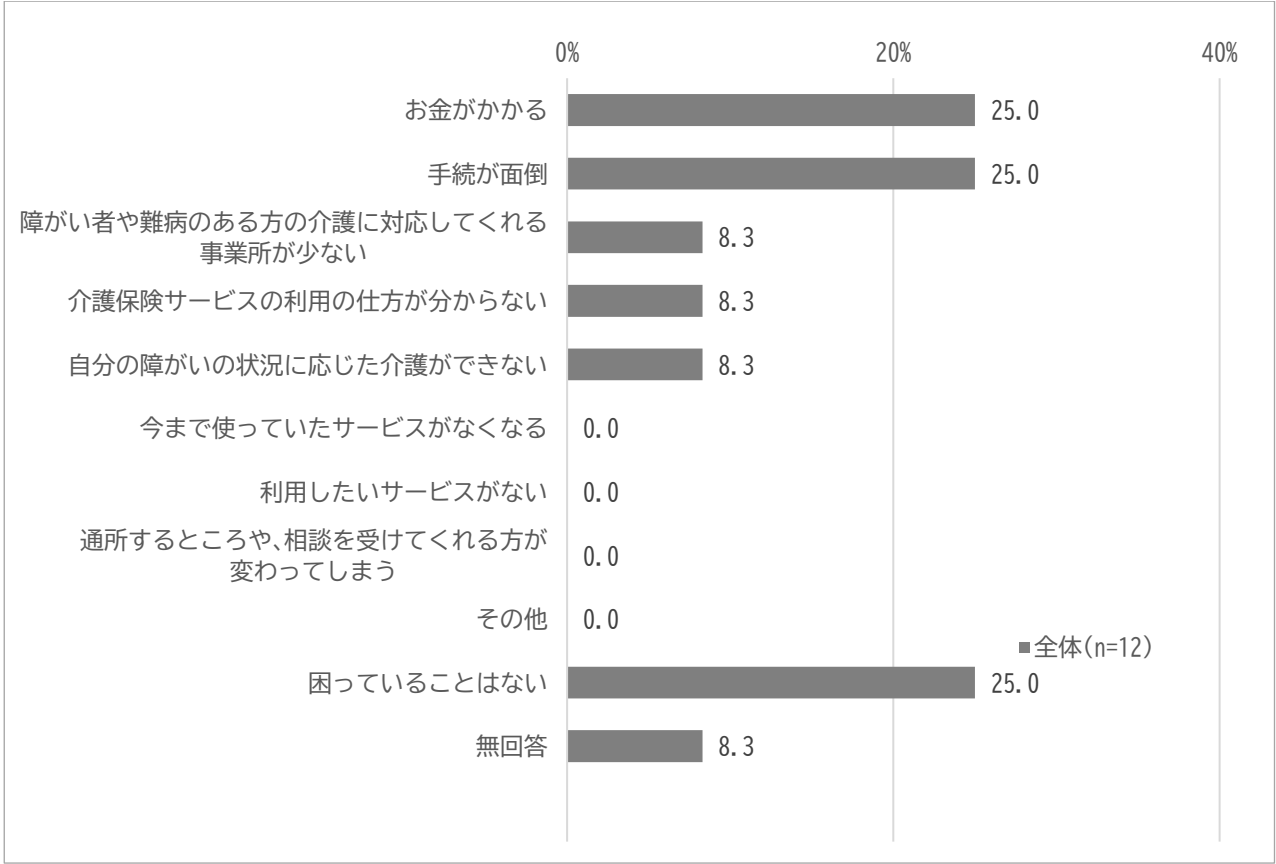
問18 65歳以上の方にお伺いします。あなたは、障がい福祉サービスの他に、介護保険サービスを利用していますか。(〇は1つ)

65歳以上の方の介護保険サービスの利用状況については、「利用している」が24.0%で最も多く、次いで、「利用していない」が20.0%となっています。なお、本設問の集計は、65歳以上の人数が不明なため、60歳以上の50人を対象にしました。



問 19 【問 18 で「利用している」と回答した方にお伺いします】介護保険サービスを利用する場合に、困ることはありますか。(〇はいくつでも)

介護保険サービスを利用する場合に困ることについては、「お金がかかる」及び「手続が面倒」が最も多く、それぞれ 25.0%となっています。



(単位：人、%)

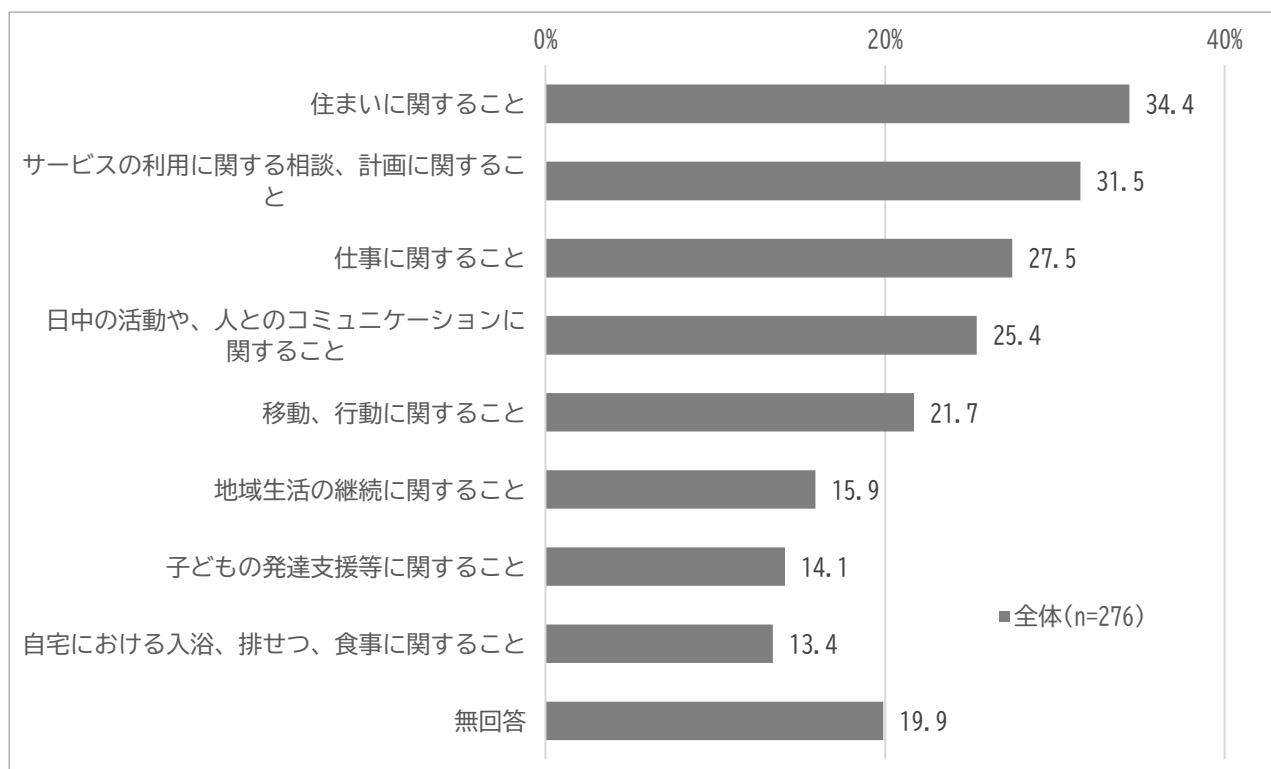
区分	人数	無回答	困っていることはない	その他	通所するところや、相談を受けてくれる方が変わってしまう	利用したいサービスがない	今まで使っていたサービスがなくなる	できない	自分の障がいの状況に応じた介護が分からない	介護保険サービスの利用の仕方が分からない	障がい者や難病のある方の介護に対応してくれる事業所が少ない	手続が面倒	お金がかかる
全体	12	8.3	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	8.3	25.0	25.0	
身体障害者手帳	6	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3	16.7	
愛の手帳	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
精神障害者手帳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0
自立支援医療	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
発達障がい	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高次脳機能障がい	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病	4	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0

第6章 障がい者等調査

B 市の障がい福祉サービスについて

問 20 今後、市が取り組む障がい福祉サービス等で、次のうちどれを優先して充実すべきだ  
とお考えですか。(数字に○を付けてください。○は3つまで)

優先して充実すべき障がい福祉サービス等については、「住まいに関すること」が 34.4%で最も多く、次いで、「サービスの利用に関する相談、計画に関すること」が 31.5%となっています。

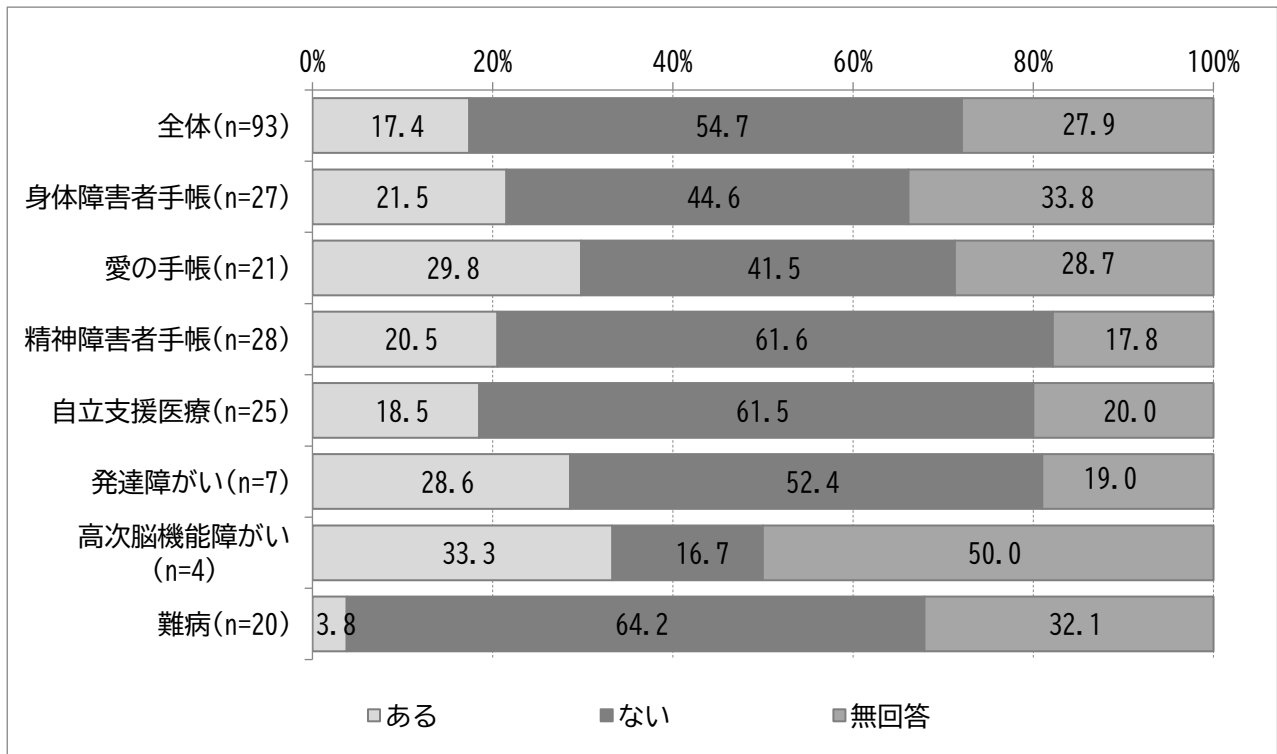


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	自宅における入浴、排せつ、食事に関すること	子どもの発達支援等に関すること	地域生活の継続に関すること	移動、行動に関すること	日中の活動や、人とのコミュニケーションに関すること	仕事に関すること	サービスの利用に関する相談、計画に関すること	住まいに関すること
全体	276	19.9	13.4	14.1	15.9	21.7	25.4	27.5	31.5	34.4
身体障害者手帳	65	26.2	23.1	7.7	12.3	29.2	21.5	9.2	33.8	32.3
愛の手帳	94	17.0	5.3	9.6	25.5	34.0	33.0	22.3	29.8	58.5
精神障害者手帳	73	20.5	13.7	13.7	5.5	15.1	31.5	43.8	31.5	16.4
自立支援医療	65	15.4	16.9	20.0	16.9	23.1	20.0	33.8	44.6	27.7
発達障がい	21	14.3	9.5	23.8	9.5	28.6	23.8	28.6	42.9	33.3
高次脳機能障がい	6	66.7	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	33.3	0.0
難病	53	18.9	20.8	20.8	22.6	15.1	15.1	20.8	30.2	34.0
ひきこもり該当	76	21.1	15.8	11.8	18.4	22.4	22.4	18.4	32.9	31.6
ひきこもり非該当	200	19.5	12.5	15.0	15.0	21.5	26.5	31.0	31.0	35.5
差別を感じる該当	98	16.3	12.2	13.3	15.3	31.6	32.7	30.6	38.8	43.9
差別を感じる被該当	178	21.9	14.0	14.6	16.3	16.3	21.3	25.8	27.5	29.2

問 21 市が提供する障がい福祉サービス等で、近隣に当該サービスを提供する事業所がないため、利用できないサービスはありますか。(○は1つ)

利用できない障がい福祉サービスの有無については、「ない」が 54.7%で最も多く、次いで、「ある」が 17.4%となっています。

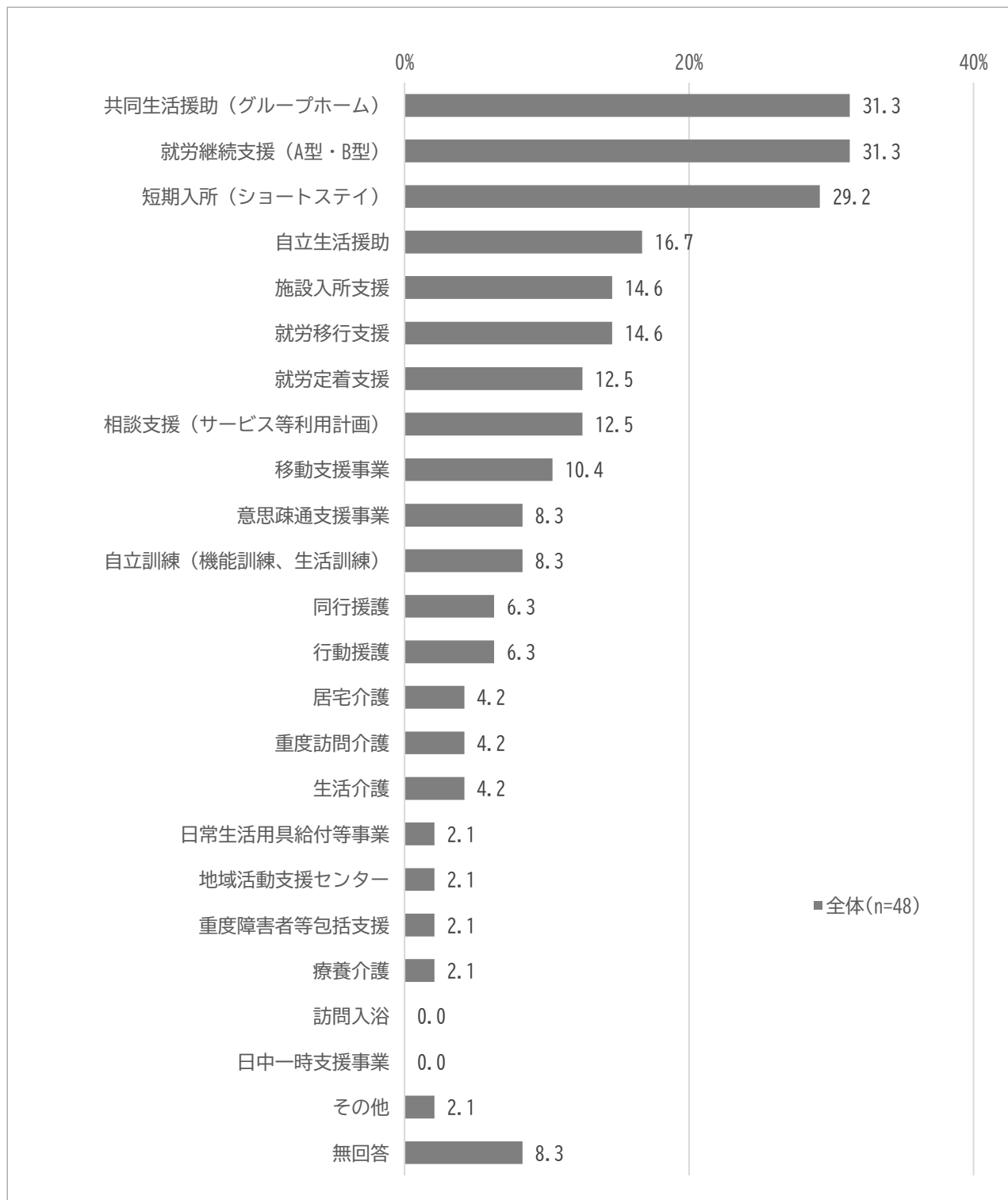


第6章 障がい者等調査

B 市の障がい福祉サービスについて

問 22 【問 21 で「ある」と回答した方にお伺いします。】利用できないサービスは、次のうちのサービスですか。(〇はいくつでも)

利用できない障がい福祉サービスの内容については、「共同生活援助（グループホーム）」及び「就労継続支援（A型・B型）」がそれぞれ31.3%で最も多く、次いで、「短期入所（ショートステイ）」が29.2%となっています。





<利用できない障がい福祉サービス（全体）>

（単位：人、％）

区分	人数	無回答	その他	日中一時支援事業	訪問入浴	療養介護	重度障害者等包括支援	地域活動支援センター	日常生活用具給付等事業	生活介護	重度訪問介護	居宅介護	行動援護
全体	48	8.3	2.1	0.0	0.0	2.1	2.1	2.1	2.1	4.2	4.2	4.2	6.3
身体障害者手帳	14	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0
愛の手帳	28	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	3.6	0.0	0.0	3.6	3.6	7.1
精神障害者手帳	15	6.7	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	6.7	13.3	6.7	0.0	6.7
自立支援医療	12	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	16.7	0.0	16.7
発達障がい	6	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
高次脳機能障がい	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0
難病	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	同行援護	自立訓練（機能訓練、生活訓練）	意思疎通支援事業	移動支援事業	相談支援（サービス等利用計画）	就労定着支援	就労移行支援	施設入所支援	自立生活援助	短期入所（ショートステイ）	就労継続支援（A型・B型）	共同生活援助（グループホーム）
全体	6.3	8.3	8.3	10.4	12.5	12.5	14.6	14.6	16.7	29.2	31.3	31.3
身体障害者手帳	14.3	7.1	14.3	21.4	7.1	7.1	7.1	14.3	7.1	42.9	21.4	50.0
愛の手帳	3.6	10.7	7.1	10.7	7.1	10.7	14.3	14.3	17.9	32.1	21.4	42.9
精神障害者手帳	6.7	13.3	6.7	6.7	33.3	20.0	26.7	6.7	20.0	20.0	66.7	6.7
自立支援医療	8.3	8.3	0.0	0.0	16.7	8.3	16.7	25.0	8.3	41.7	25.0	25.0
発達障がい	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3	33.3	0.0	66.7	50.0	16.7
高次脳機能障がい	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	0.0
難病	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	100	0.0	100	50.0	100

第6章 障がい者等調査

B 市の障がい福祉サービスについて

問 23 利用できないサービスは、どのようなサービスですか。問 22 のサービス 1 から 23 までの中から上位 3 つまで選び、番号を記入してください。

<利用できない障がい福祉サービス（第 1 位）>

利用できない障がい福祉サービス（第 1 位）は、「共同生活援助（グループホーム）」及び「就労継続支援（A型・B型）」が最も多く、それぞれ 14.6%となっています。

（単位：人、％）

区分	人数	無回答	その他	日中一時支援事業	訪問入浴	療養介護	重度障害者等包括支援	地域活動支援センター	日常生活用具給付等事業	生活介護	重度訪問介護	居宅介護	行動援護
全体	48	31.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	2.1	4.2
身体障害者手帳	14	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
愛の手帳	28	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	7.1
精神障害者手帳	15	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0
自立支援医療	12	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	16.7
発達障がい	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
高次脳機能障がい	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
難病	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	同行援護	自立訓練（機能訓練、生活訓練）	意思疎通支援事業	移動支援事業	相談支援（サービス等利用計画）	就労定着支援	就労移行支援	施設入所支援	自立生活援助	短期入所（シヨートステイ）	就労継続支援（A型・B型）	共同生活援助（グループホーム）
全体	4.2	0.0	2.1	6.3	0.0	0.0	4.2	4.2	2.1	8.3	14.6	14.6
身体障害者手帳	7.1	0.0	0.0	21.4	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	14.3	7.1	14.3
愛の手帳	3.6	0.0	3.6	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	3.6	10.7	3.6	25.0
精神障害者手帳	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	40.0	0.0
自立支援医療	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7
発達障がい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
高次脳機能障がい	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0

<利用できない障がい福祉サービス（第2位）>

利用できない障がい福祉サービス（第2位）は、「共同生活援助（グループホーム）」が 8.3%で最も多く、次いで、「短期入所（ショートステイ）」が 6.3%となっています。

（単位：人、％）

区分	人数	無回答	その他	日中一時支援事業	訪問入浴	療養介護	重度障害者等包括支援	地域活動支援センター	日常生活用具給付等事業	生活介護	重度訪問介護	居宅介護	行動援護
全体	48	54.2	2.1	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
身体障害者手帳	14	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
愛の手帳	28	46.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0
精神障害者手帳	15	60.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自立支援医療	12	50.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0
発達障がい	6	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高次脳機能障がい	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	同行援護	自立訓練（機能訓練、生活訓練）	意思疎通支援事業	移動支援事業	相談支援（サービス等利用計画）	就労定着支援	就労移行支援	施設入所支援	自立生活援助	短期入所（ショートステイ）	就労継続支援（A型・B型）	共同生活援助（グループホーム）
全体	2.1	0.0	0.0	4.2	4.2	2.1	2.1	4.2	4.2	6.3	2.1	8.3
身体障害者手帳	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	21.4
愛の手帳	0.0	0.0	0.0	3.6	7.1	3.6	0.0	7.1	7.1	10.7	3.6	3.6
精神障害者手帳	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	6.7
自立支援医療	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	16.7	0.0	8.3
発達障がい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7
高次脳機能障がい	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100

## 第6章 障がい者等調査

### B 市の障がい福祉サービスについて

#### <利用できない障がい福祉サービス（第3位）>

利用できない障がい福祉サービス（第3位）は、「短期入所（ショートステイ）」が6.3%で最も多く、次いで、「意思疎通支援事業」、「就労移行支援」及び「就労定着支援」がそれぞれ4.2%となっています。

（単位：人、％）

区分	人数	無回答	その他	日中一時支援事業	訪問入浴	療養介護	重度障害者等包括支援	地域活動支援センター	日常生活用具給付等事	生活介護	重度訪問介護	居宅介護	行動援護
全体	48	70.8	-	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
身体障害者手帳	14	64.3	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
愛の手帳	28	71.4	-	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精神障害者手帳	15	73.3	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自立支援医療	12	66.7	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障がい	6	50.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高次脳機能障がい	2	50.0	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病	2	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	同行援護	自立訓練（機能訓練、生活訓練）	意思疎通支援事業	移動支援事業	就労移行支援	就労定着支援	相談支援（サービス等利用計画）	施設入所支援	自立生活援助	短期入所（ショートステイ）	就労継続支援（A型・B型）	共同生活援助（グループホーム）
全体	0.0	2.1	4.2	2.1	4.2	4.2	0.0	2.1	0.0	6.3	2.1	0.0
身体障害者手帳	0.0	0.0	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0
愛の手帳	0.0	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	0.0	3.6	0.0	3.6	0.0	0.0
精神障害者手帳	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0
自立支援医療	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	8.3	0.0
発達障がい	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0
高次脳機能障がい	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0

問 23-2 利用できないサービスをどのように補っていますか。(〇はいくつでも)

利用できない障がい福祉サービス(第1位)の補い方は、「家族が介助・支援している」が33.3%で最も多く、次いで「相談支援専門員に相談している」が22.9%となっている。

利用できない障がい福祉サービス(第2位)の補い方は、「家族が介助・支援している」及び「特に何もしていない」が最も多く、それぞれ22.9%となっている。

利用できない障がい福祉サービス(第3位)の補い方は、「特に何もしていない」が16.7%で最も多く、次いで「家族が介助・支援している」が8.3%となっている。

(単位:人、%)

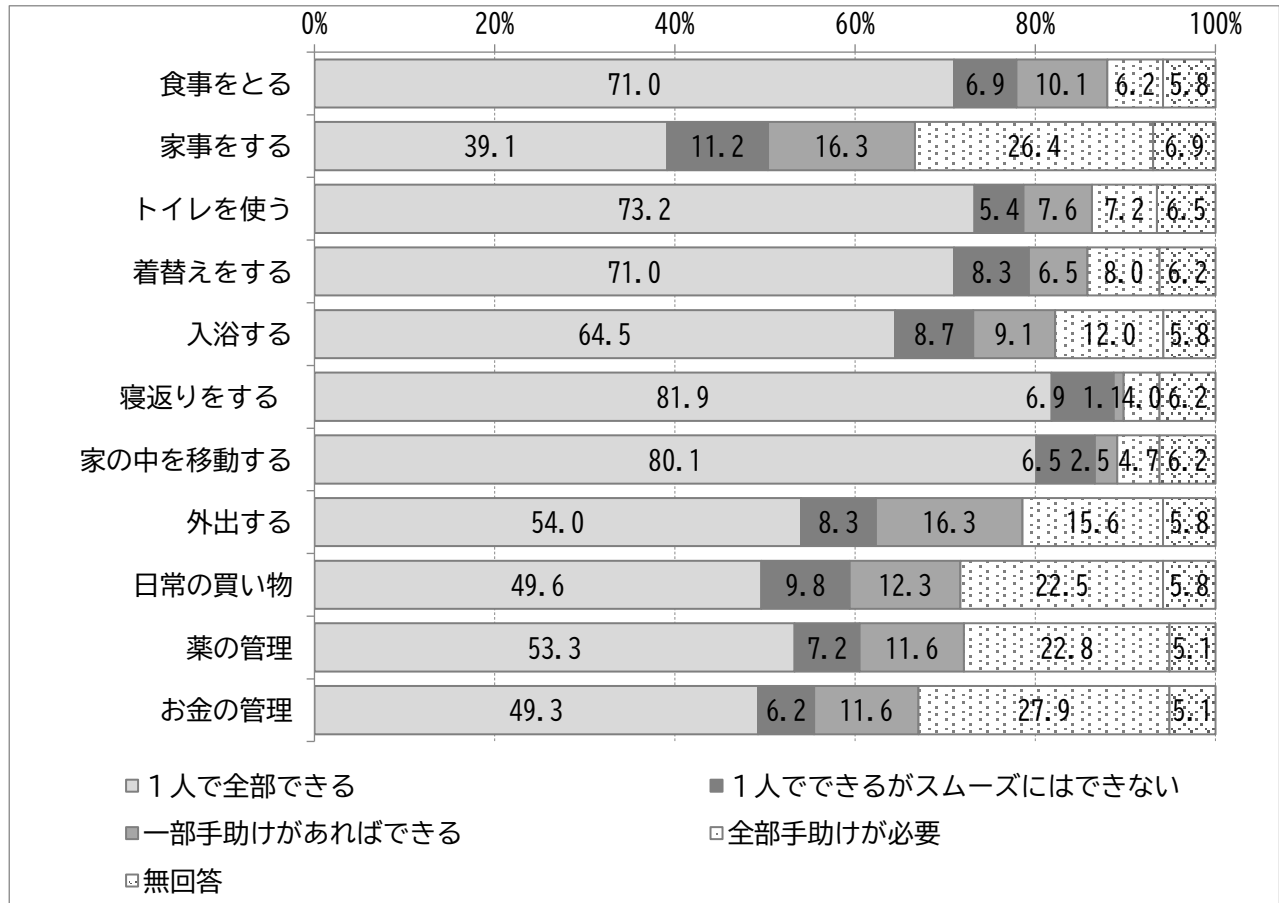
	区分	人数	自費でヘルパーや介助者を雇っている	家族が介助・支援している	友人や知人に支援してもらっている	相談支援専門員に相談している	特に何もしていない	その他	無回答
第1位	全体	48	8.3	33.3	4.2	22.9	16.7	10.4	22.9
	身体障害者手帳	14	14.3	57.1	14.3	21.4	7.1	14.3	21.4
	愛の手帳	28	7.1	42.9	0.0	32.1	14.3	10.7	14.3
	精神障害者手帳	15	6.7	6.7	0.0	6.7	33.3	6.7	40.0
	自立支援医療	12	8.3	25.0	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7
	発達障がい	6	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
	高次脳機能障がい	2	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
第2位	全体	48	4.2	22.9	2.1	14.6	22.9	2.1	41.7
	身体障害者手帳	14	14.3	35.7	7.1	21.4	21.4	0.0	35.7
	愛の手帳	28	3.6	21.4	0.0	21.4	25.0	3.6	32.1
	精神障害者手帳	15	0.0	13.3	0.0	0.0	33.3	6.7	53.3
	自立支援医療	12	0.0	8.3	0.0	8.3	25.0	8.3	50.0
	発達障がい	6	0.0	16.7	0.0	16.7	33.3	0.0	33.3
	高次脳機能障がい	2	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	難病	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
第3位	全体	48	4.2	8.3	4.2	6.3	16.7	2.1	64.6
	身体障害者手帳	14	14.3	14.3	14.3	7.1	7.1	7.1	57.1
	愛の手帳	28	3.6	7.1	3.6	3.6	17.9	0.0	64.3
	精神障害者手帳	15	0.0	0.0	0.0	0.0	26.7	0.0	73.3
	自立支援医療	12	0.0	0.0	0.0	8.3	25.0	0.0	66.7
	発達障がい	6	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0	50.0
	高次脳機能障がい	2	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	難病	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

**C 日常生活と困りごと**

問 24 日常生活における(1)～(11)の項目についてそれぞれお答えください。(○は1つ)

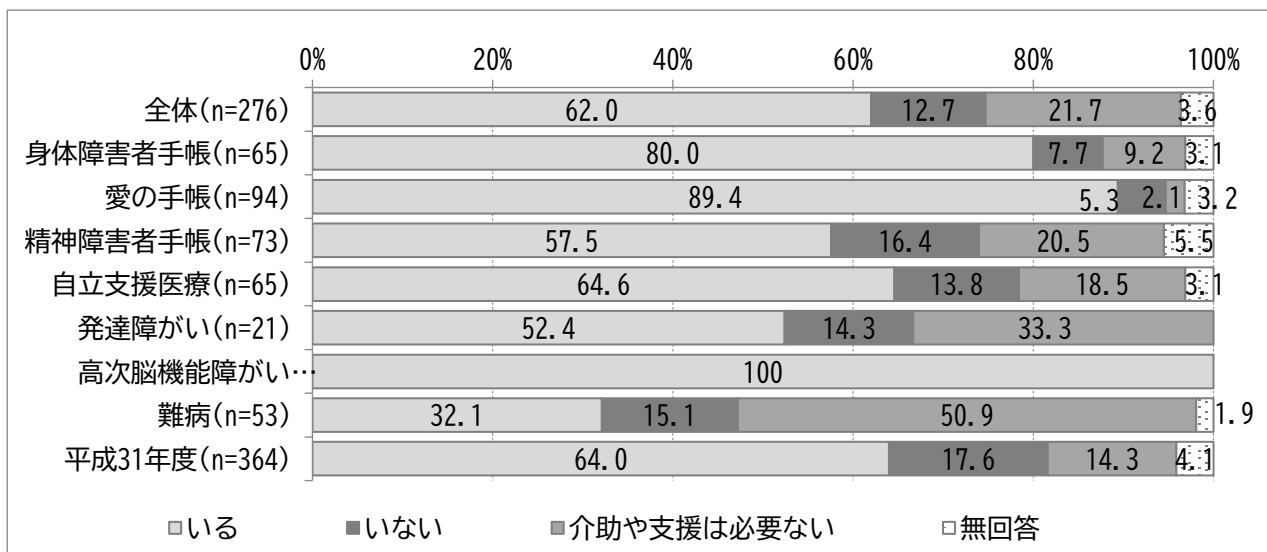
「1人で全部できる」の割合が最も多いのは「寝返りをする」(81.9%)であり、次いで、「家の中を移動する」(80.1%)、「トイレを使う」(73.2%)となっています。

一方、「全部手助けが必要」の割合が最も多いのは、「お金の管理」(27.9%)であり、次いで、「家事をする」(26.4%)となっています。



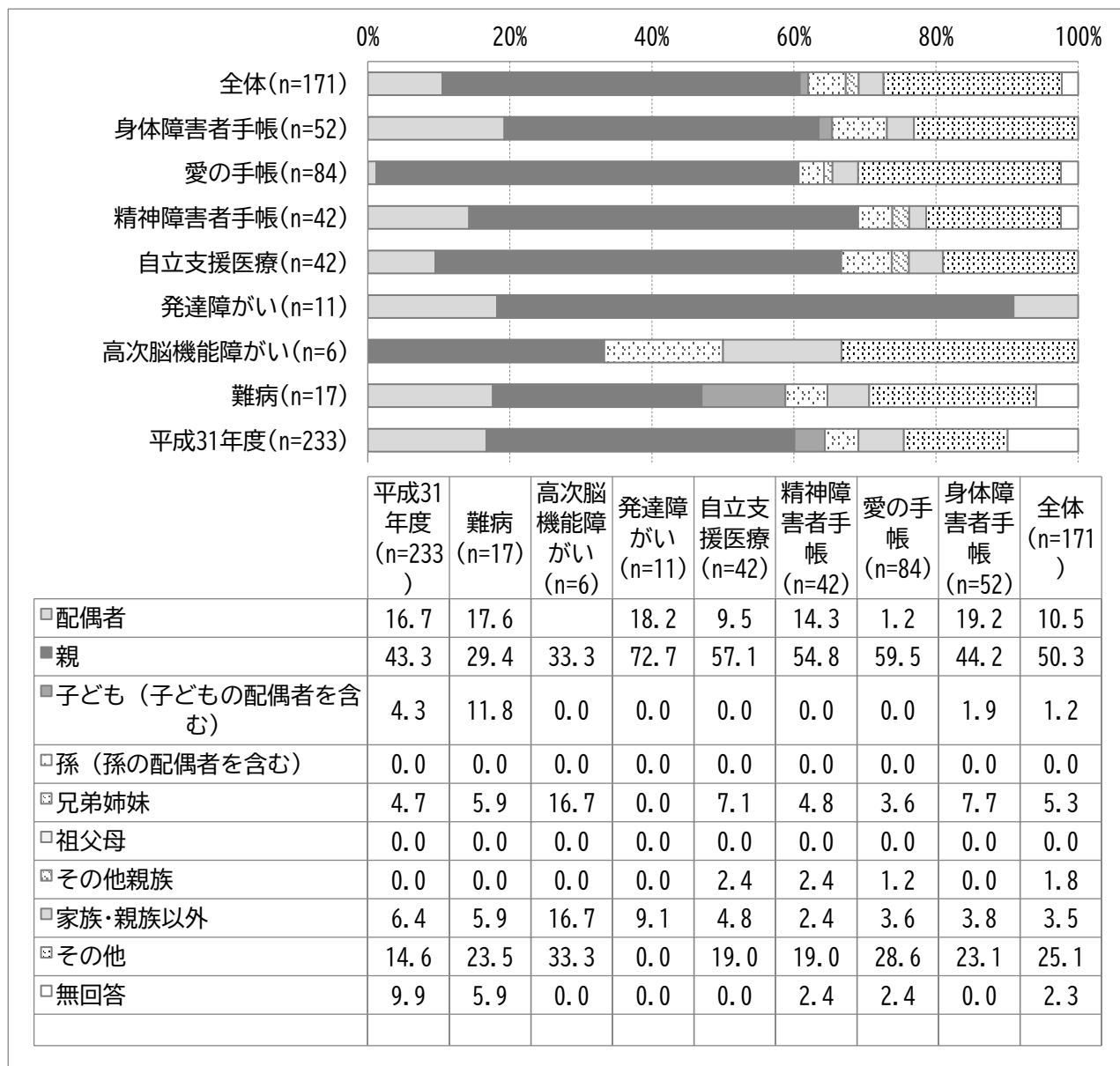
問 25 あなたには、あなたの介助や支援をする方がいますか。(○は1つ)

介助や支援をする方がいるかどうかについては、「いる」が 62.0%で最も多く、次いで、「介助や介護は必要ない」が 21.7%となっています。



問 26 【問 25 で「いる」と回答した方へお伺いします】あなたの介助や支援を主にしている方はどなたですか。あなたからみた続柄で回答してください。(○は1つ)

介助や支援を主にしている方の続柄は、「親」が 50.3%で最も多く、次いで、「その他」が 25.1%となっています。



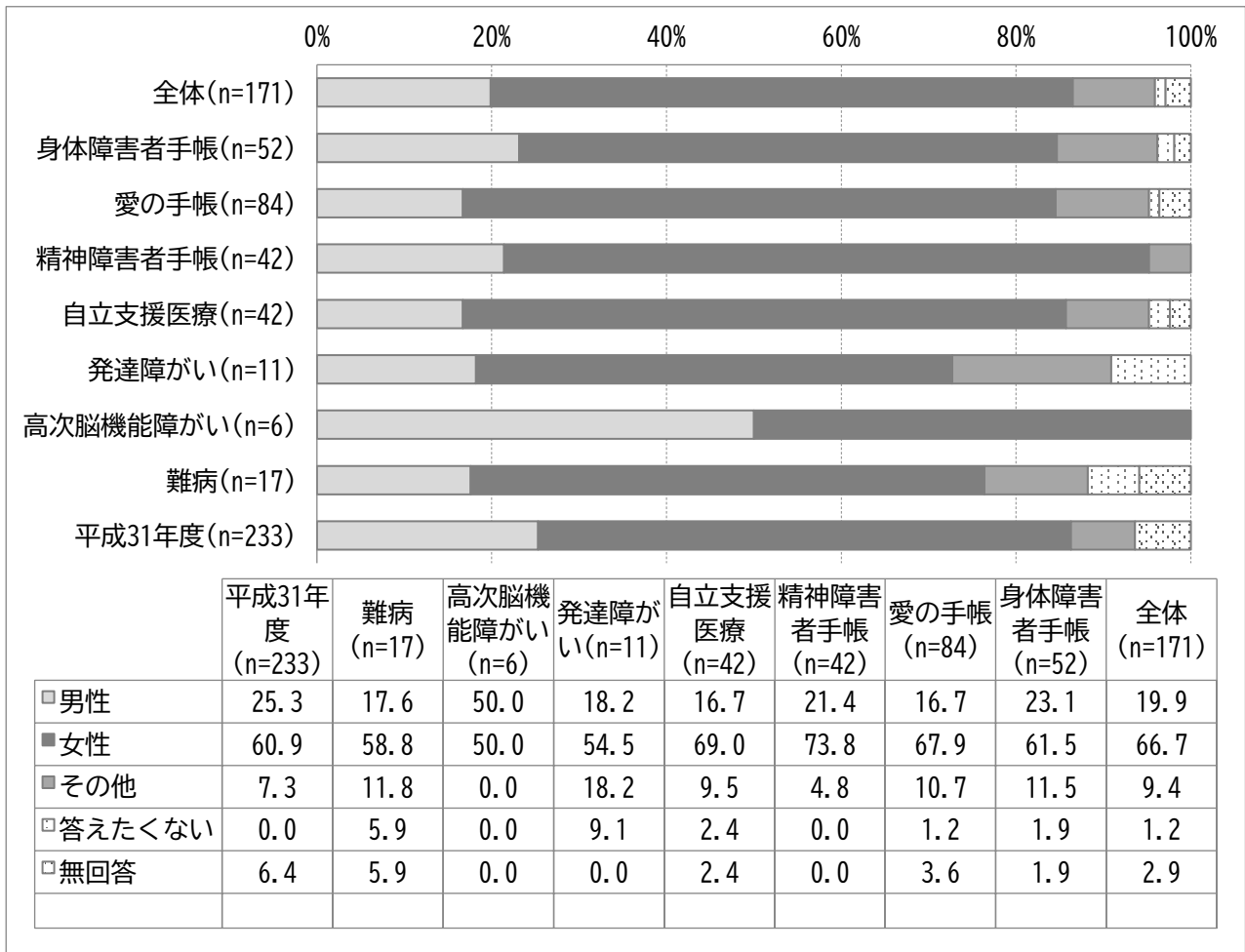
※平成 31 年度調査では、「子ども (子どもの配偶者を含む)」、「孫 (孫の配偶者を含む)」は調査なし。



問 27 【問 25 で「いる」と回答した方へお伺いします】

あなたの介助や支援を主にしている方の性別を選択・ご記入ください。(○は1つ)

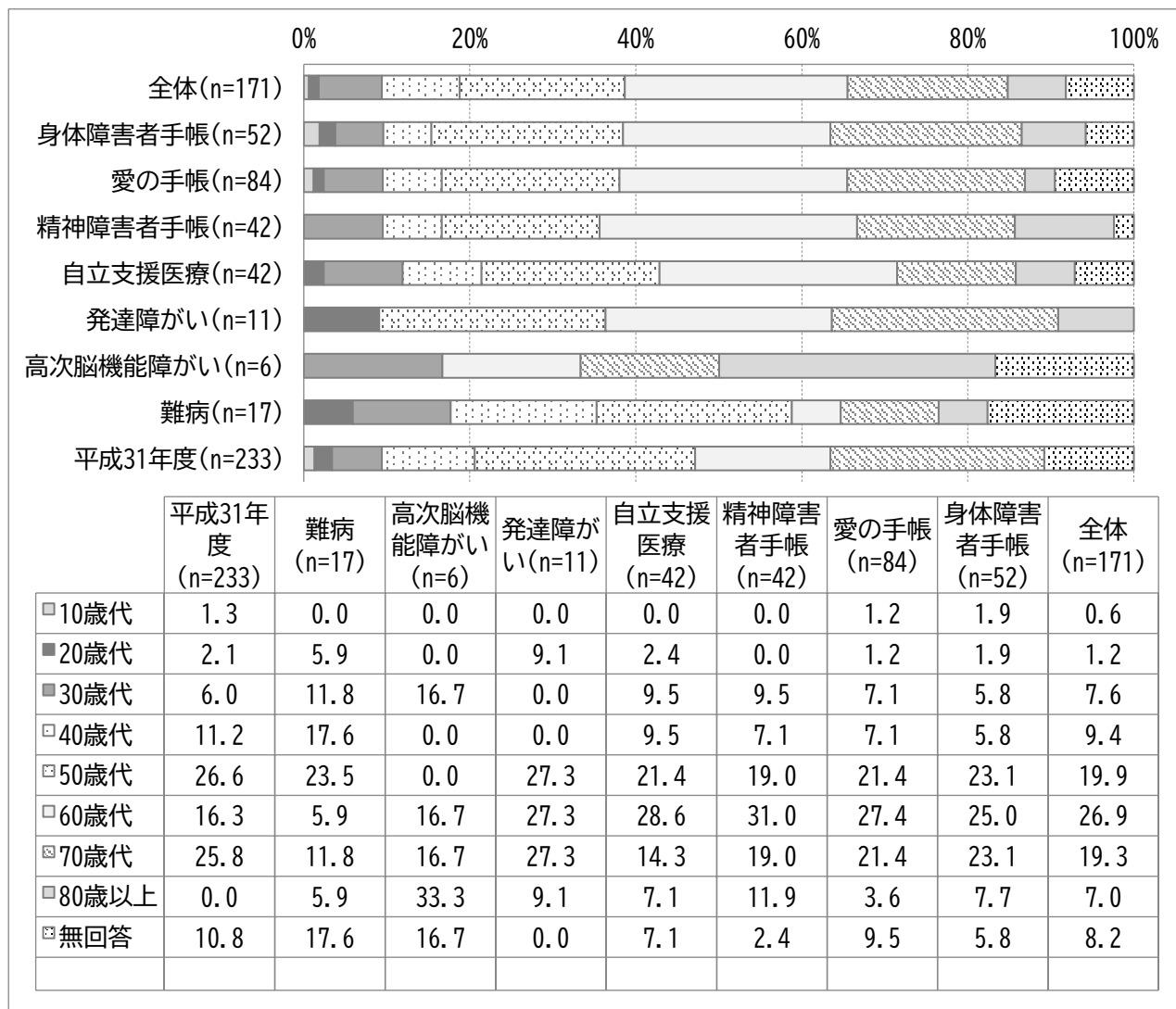
介助や支援を主にしている方の性別は、「女性」が 66.7%で最も多く、次いで、「男性」が 19.9%となっています。



問 27-2 【問 25 で「いる」と回答した方へお伺いします】

令和4年12月1日現在のあなたの介助や支援を主にしている方の年齢をお伺いします。(○は1つ)

介助や支援を主にしている方の年齢は、「60歳代」が26.9%で最も多く、次いで、「50歳代」が19.9%となっています。

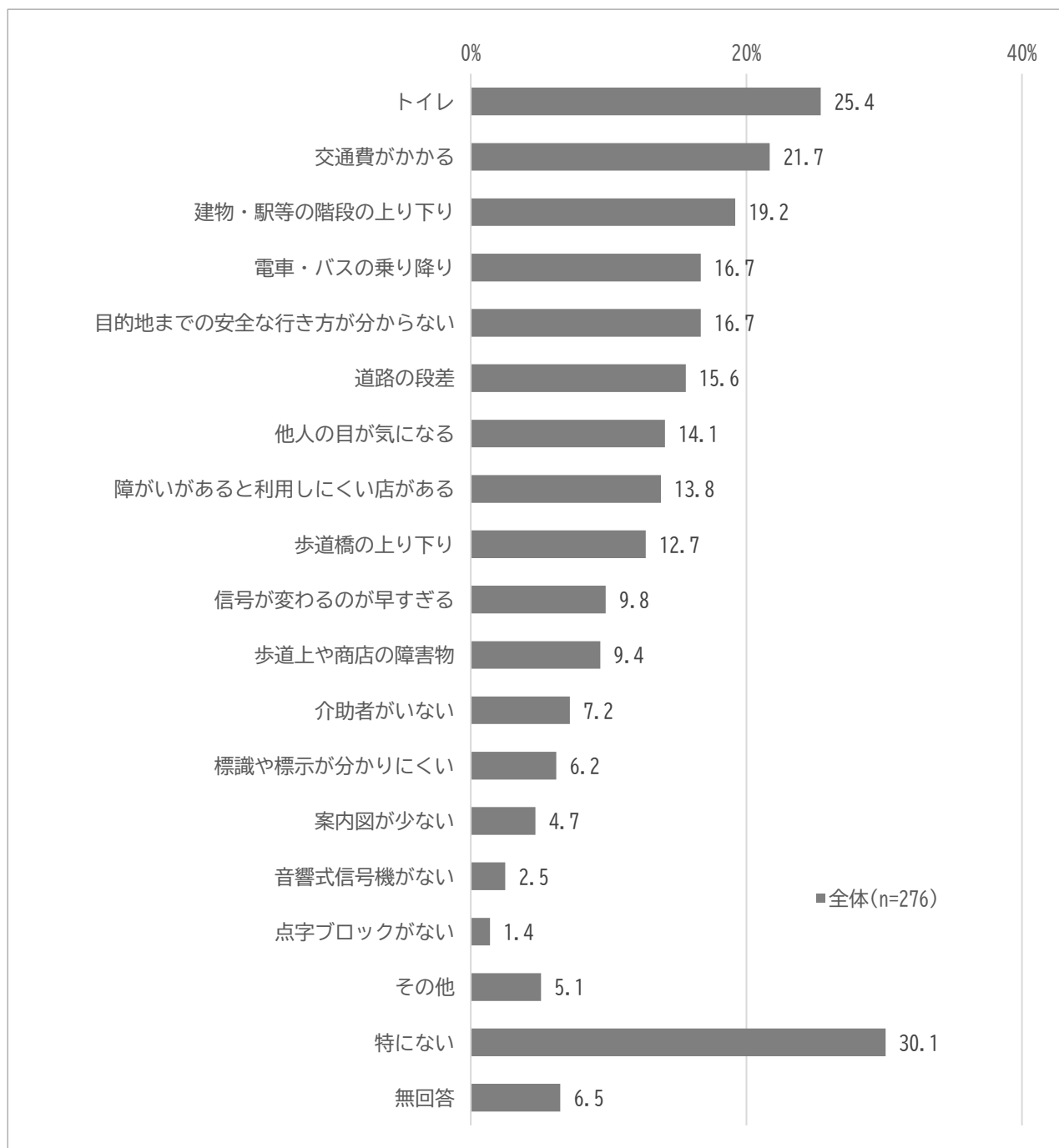


※平成31年度調査では、「80歳以上」の選択肢がなく「70歳以上」であったため、本問では「70歳代」として集計した。

※平成31年度調査では、選択肢「分からない」があったため、本問では「分からない」(5.2%)と「無回答」(5.6%)を合わせて「無回答」として集計した。

問 28 あなたが外出するときに、困ったり不便に思ったりするのはどのようなことですか。  
(〇はいくつでも)

外出するときに、困ったり不便に思ったりすることは、「トイレ」が25.4%で最も多く、次いで、「交通費がかかる」が21.7%となっています。



第6章 障がい者等調査

C 日常生活と困りごと

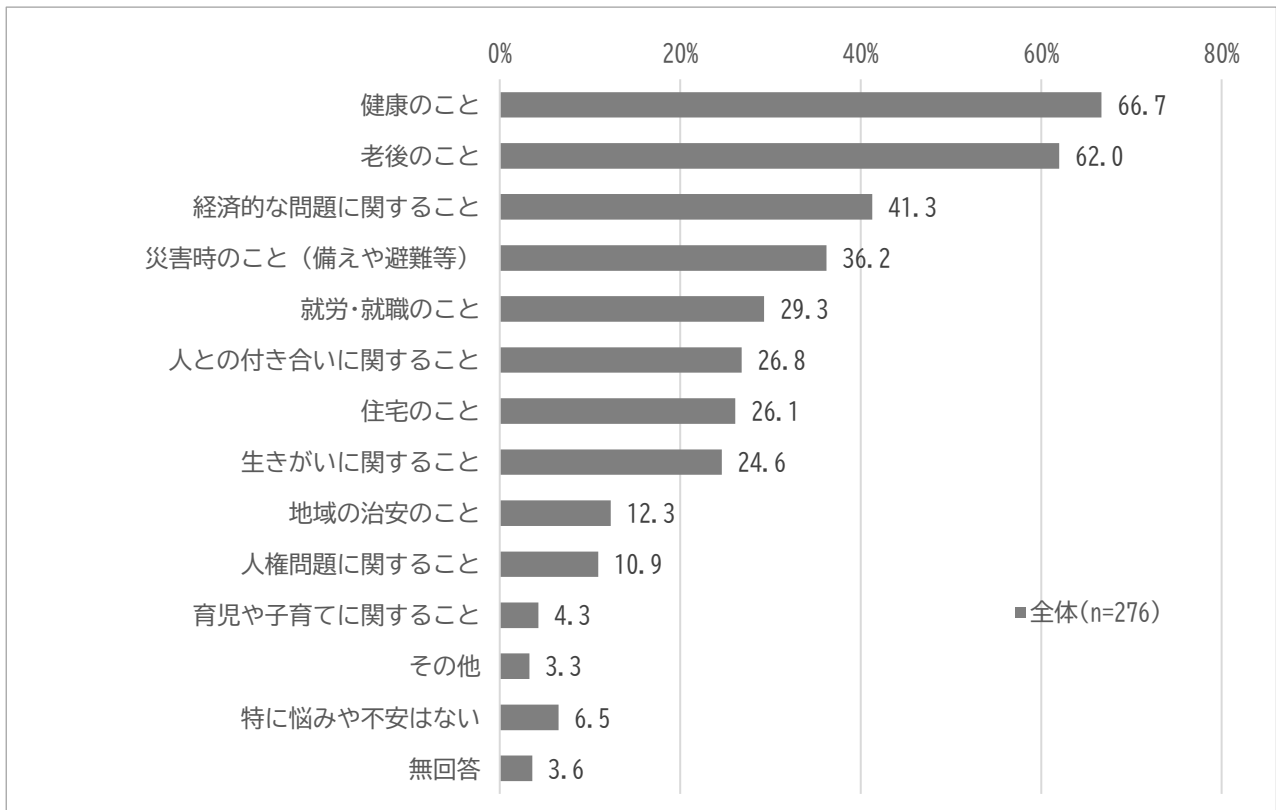
(単位：人、%)

区分	人数	無回答	特 に ない	そ の 他	点 字 ブ ロ ッ ク が ない	音 響 式 信 号 機 が ない	案 内 図 が 少 ない	標 識 や 標 示 が 分 か り に く い	歩 道 橋 の 上 り 下 り	信 号 が 変 わ る の が 早 す ぎ る
全体	276	6.5	30.1	5.1	1.4	2.5	4.7	6.2	12.7	9.8
身体障害者手帳	65	4.6	21.5	4.6	6.2	7.7	7.7	10.8	24.6	21.5
愛の手帳	94	4.3	19.1	7.4	1.1	2.1	2.1	9.6	12.8	8.5
精神障害者手帳	73	9.6	30.1	1.4	0.0	1.4	11.0	2.7	12.3	11.0
自立支援医療	65	6.2	24.6	7.7	0.0	3.1	9.2	6.2	9.2	6.2
発達障がい	21	0.0	9.5	4.8	0.0	0.0	9.5	14.3	14.3	14.3
高次脳機能障がい	6	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	33.3	16.7	33.3	33.3
難病	53	5.7	50.9	7.5	1.9	1.9	1.9	3.8	11.3	1.9

区分	歩 道 上 や 商 店 の 障 害 物	介 助 者 が い ない	障 が い が あ る と 利 用 し に く い 店 が あ る	他 人 の 目 が 気 に な る	道 路 の 段 差	分 か ら ない 目 的 地 ま で の 安 全 な 行 き 方 が	電 車 ・ バ ス の 乗 り 降 り	建 物 ・ 駅 等 の 階 段 の 上 り 下 り	交 通 費 が か か る	ト イ レ
全体	9.4	7.2	13.8	14.1	15.6	16.7	16.7	19.2	21.7	25.4
身体障害者手帳	27.7	18.5	24.6	4.6	38.5	18.5	30.8	35.4	18.5	41.5
愛の手帳	8.5	12.8	20.2	14.9	10.6	28.7	24.5	14.9	20.2	33.0
精神障害者手帳	5.5	2.7	6.8	23.3	12.3	15.1	9.6	23.3	37.0	16.4
自立支援医療	4.6	1.5	13.8	23.1	12.3	21.5	16.9	16.9	29.2	24.6
発達障がい	4.8	4.8	23.8	42.9	9.5	42.9	23.8	19.0	52.4	42.9
高次脳機能障がい	33.3	16.7	16.7	16.7	33.3	50.0	16.7	16.7	50.0	33.3
難病	9.4	3.8	9.4	5.7	18.9	5.7	11.3	17.0	11.3	18.9

問 29 あなたやあなたのご家族は、日々の生活の中でどのような悩みや不安を感じることがありますか。(〇はいくつでも)

日々の生活の中で悩みや不安を感じることが、「健康のこと」が 66.7%で最も多く、次いで、「老後のこと」が 62.0%となっています。

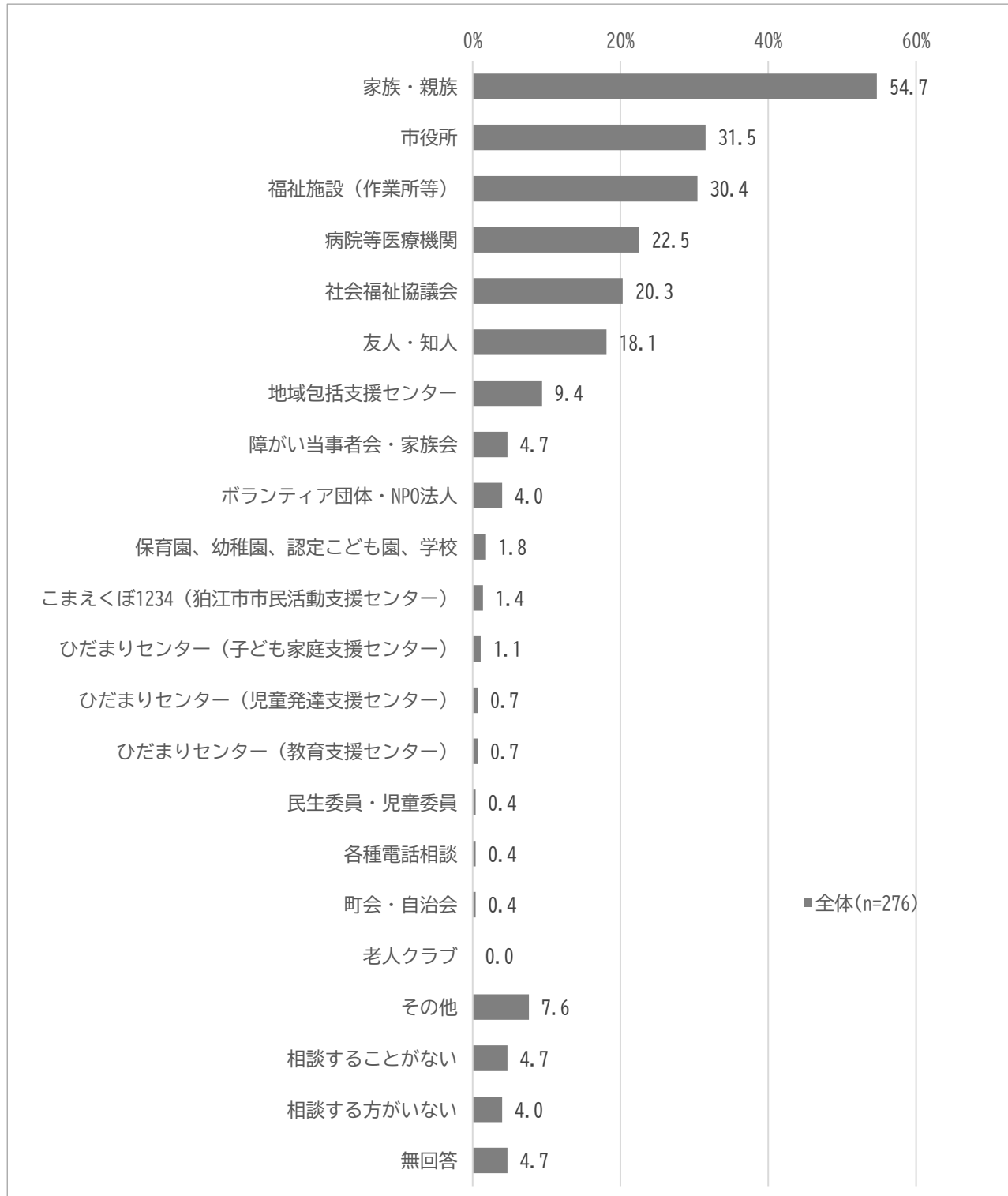


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	特に悩みや不安はない	その他	育児や子育てに関すること	人権問題に関すること	地域の治安のこと	生きがいに関すること	住宅のこと	人との付き合いに関すること	就労・就職のこと	災害時のこと(備えや避難等)	経済的な問題に関すること	老後のこと	健康のこと
全体	276	3.6	6.5	3.3	4.3	10.9	12.3	24.6	26.1	26.8	29.3	36.2	41.3	62.0	66.7
身体障害者手帳	65	6.2	6.2	4.6	1.5	9.2	6.2	24.6	23.1	12.3	20.0	47.7	30.8	61.5	69.2
愛の手帳	94	5.3	6.4	6.4	2.1	14.9	13.8	24.5	21.3	26.6	17.0	41.5	34.0	63.8	67.0
精神障害者手帳	73	1.4	2.7	0.0	1.4	12.3	13.7	38.4	37.0	41.1	52.1	37.0	58.9	69.9	63.0
自立支援医療	65	1.5	1.5	1.5	3.1	18.5	18.5	36.9	35.4	44.6	43.1	36.9	56.9	61.5	72.3
発達障がい	21	0.0	0.0	4.8	0.0	23.8	33.3	42.9	42.9	66.7	52.4	38.1	61.9	71.4	57.1
高次脳機能障がい	6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3	33.3	50.0	16.7	16.7	16.7	50.0	66.7
難病	53	1.9	13.2	3.8	13.2	7.5	17.0	18.9	30.2	20.8	26.4	35.8	47.2	54.7	71.7
ひきこもり該当	76	2.6	6.6	3.9	1.3	7.9	15.8	31.6	27.6	27.6	30.3	32.9	39.5	64.5	71.1
ひきこもり非該当	200	4.0	6.5	3.0	5.5	12.0	11.0	22.0	25.5	26.5	29.0	37.5	42.0	61.0	65.0
差別を感じる該当	98	1.0	0.0	4.1	3.1	18.4	17.3	36.7	36.7	37.8	37.8	44.9	54.1	70.4	73.5
差別を感じる非該当	178	5.1	10.1	2.8	5.1	6.7	9.6	18.0	20.2	20.8	24.7	31.5	34.3	57.3	62.9

問 30 生活での困りごとや、高齢者や障がいのある方のこと、子育てに関すること等、福祉に関する困りごとがあった場合、あなたは主にどこに相談しますか。(〇はいくつでも)

福祉に関する困りごとがあった場合の相談先については、「家族・親族」が 54.7%で最も多く、次いで、「市役所」が 31.5%となっています。



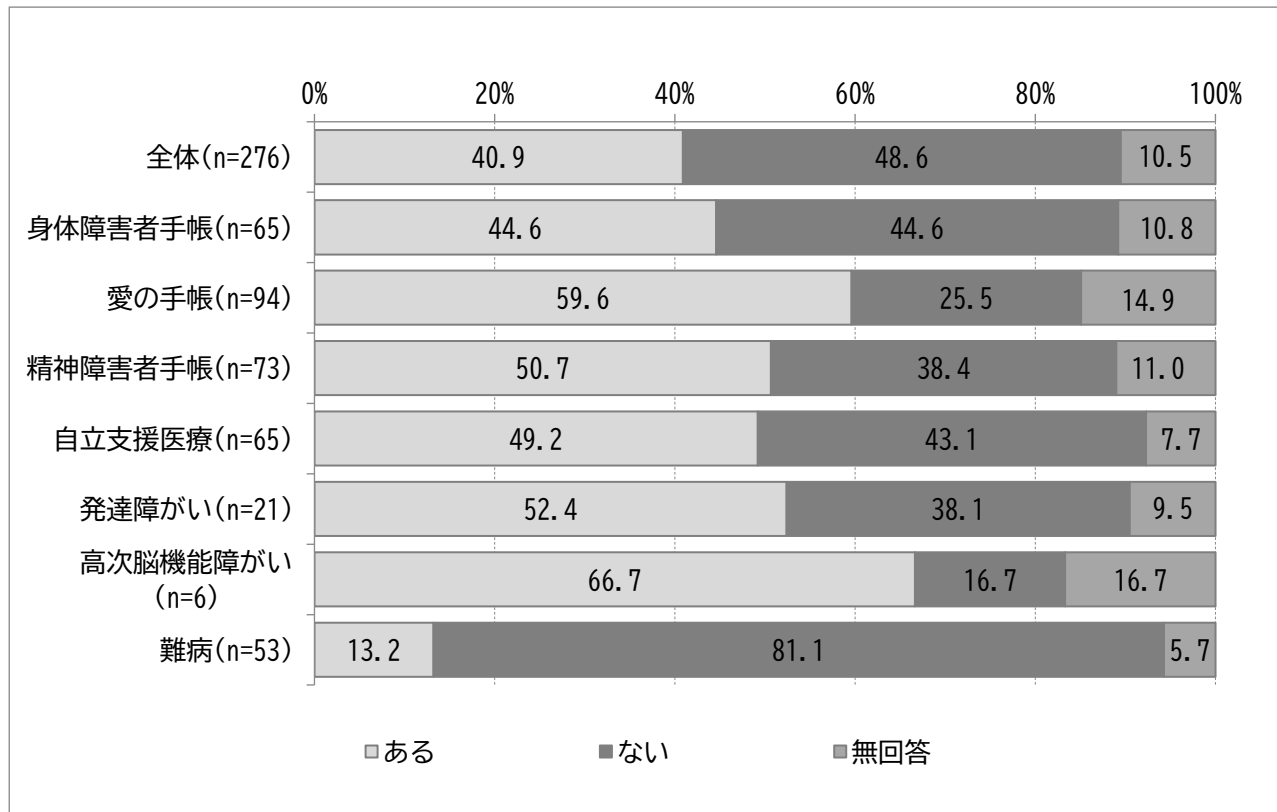
(単位：人、%)

区分	人数	家族・親族	友人・知人	学校 保育園、幼稚園、認定こども園、	病院等医療機関	ひだまりセンター(子ども家庭支援センター)	ひだまりセンター(児童発達支援センター)	ひだまりセンター(教育支援センター)	地域包括支援センター	障がい当事者会・家族会	社会福祉協議会	こまえくぼ1234(市民活動支援センター)
全体	276	54.7	18.1	1.8	22.5	1.1	0.7	0.7	9.4	4.7	20.3	1.4
身体障害者手帳	65	53.8	23.1	0.0	21.5	1.5	0.0	0.0	13.8	6.2	26.2	1.5
愛の手帳	94	50.0	13.8	0.0	16.0	0.0	0.0	0.0	5.3	8.5	23.4	2.1
精神障害者手帳	73	45.2	9.6	0.0	34.2	1.4	1.4	0.0	13.7	2.7	19.2	1.4
自立支援医療	65	58.5	20.0	1.5	33.8	1.5	3.1	1.5	7.7	6.2	24.6	3.1
発達障がい	21	66.7	14.3	9.5	57.1	0.0	0.0	0.0	14.3	9.5	28.6	4.8
高次脳機能障がい	6	50.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	16.7
難病	53	66.0	28.3	5.7	18.9	3.8	0.0	1.9	11.3	3.8	7.5	0.0

区分	福祉施設(作業所等)	ボランティア団体・NPO法人	民生委員・児童委員	市役所	各種電話相談	町会・自治会	老人クラブ	その他	相談する方がいない	相談することがない	無回答
全体	30.4	4.0	0.4	31.5	0.4	0.4	0.0	7.6	4.0	4.7	4.7
身体障害者手帳	23.1	3.1	0.0	30.8	0.0	0.0	0.0	12.3	1.5	3.1	6.2
愛の手帳	57.4	4.3	1.1	28.7	0.0	1.1	0.0	12.8	3.2	3.2	4.3
精神障害者手帳	27.4	5.5	0.0	42.5	0.0	0.0	0.0	2.7	4.1	2.7	5.5
自立支援医療	35.4	4.6	0.0	41.5	0.0	1.5	0.0	6.2	3.1	1.5	3.1
発達障がい	28.6	4.8	0.0	57.1	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0	4.8
高次脳機能障がい	16.7	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
難病	7.5	0.0	0.0	34.0	1.9	0.0	0.0	11.3	5.7	11.3	3.8

問 31 あなたは相談支援事業所を利用したことがありますか。(○は1つ)

相談支援事業所の利用については、「ない」が48.6%で最も多く、次いで、「ある」が40.9%となっています。

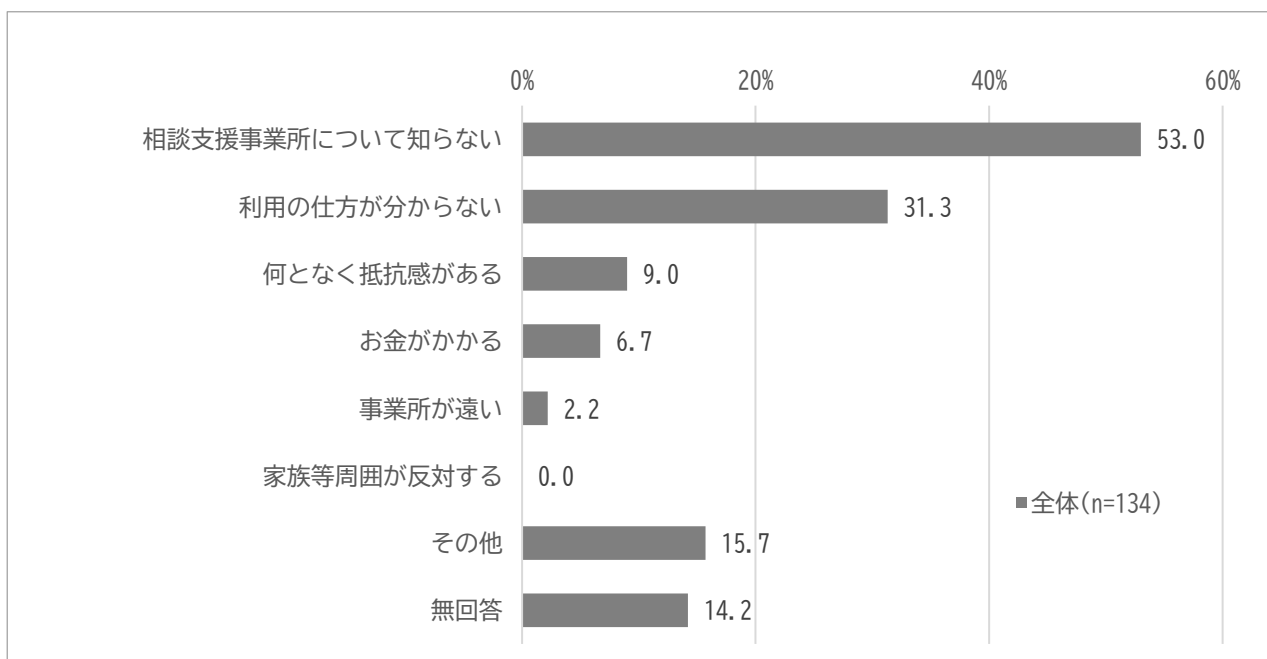




問 31-2 【①で「ない」と回答した方にお伺いします。】

利用したことがない方はその理由は何ですか。(〇はいくつでも)

利用したことがない理由については、「相談事業所について知らない」が53.0%で最も多く、次いで、「利用の仕方が分からない」が31.3%となっています。



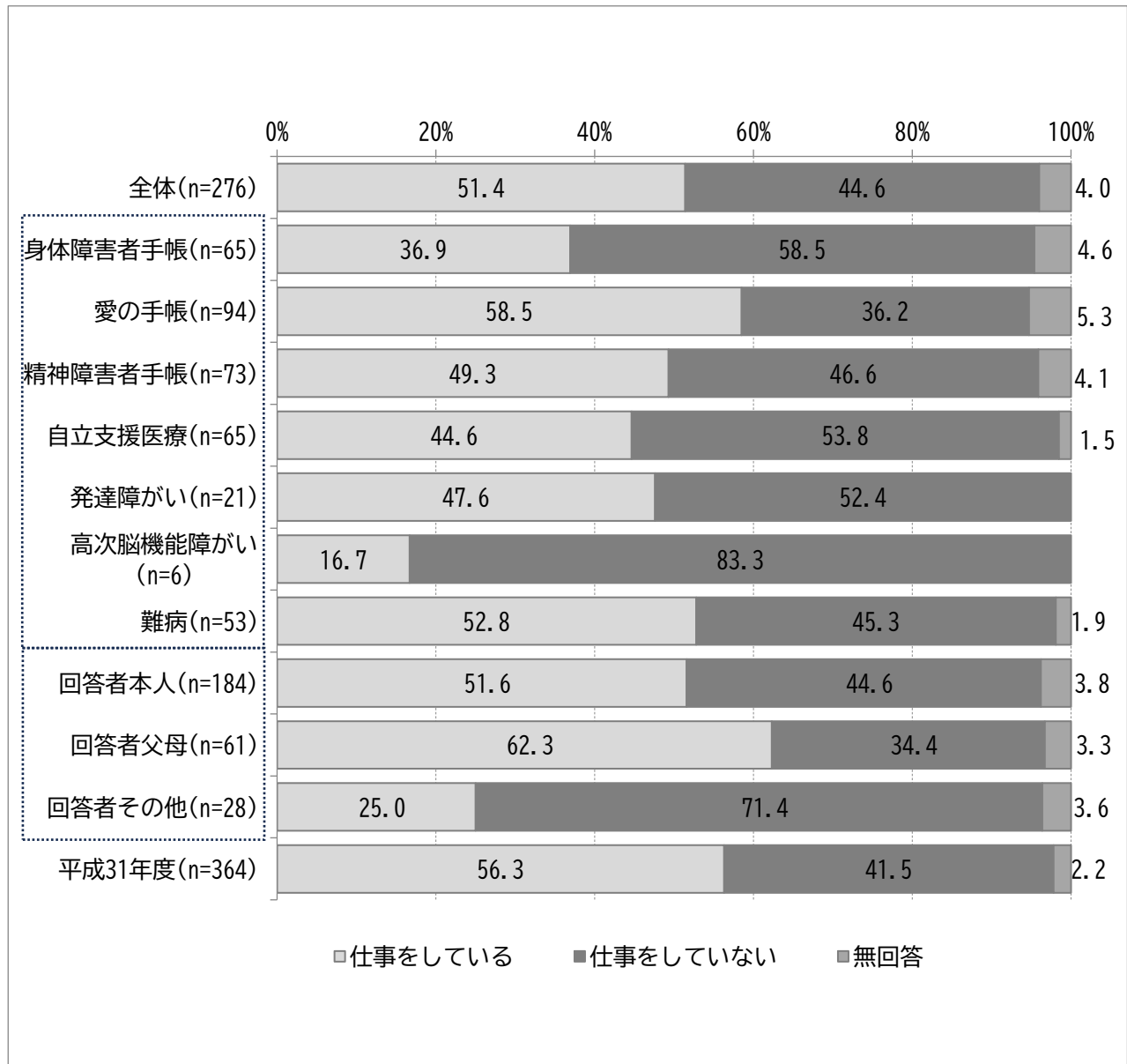
(単位：人、%)

区分	人数	無回答	その他	家族等周囲が反対する	事業所が遠い	お金がかかる	何となく抵抗感がある	利用の仕方が分からない	相談支援事業所について知らない
全体	134	14.2	15.7	0.0	2.2	6.7	9.0	31.3	53.0
身体障害者手帳	29	17.2	17.2	0.0	3.4	3.4	3.4	31.0	44.8
愛の手帳	24	29.2	12.5	0.0	4.2	12.5	8.3	25.0	37.5
精神障害者手帳	28	0.0	3.6	0.0	3.6	14.3	17.9	46.4	78.6
自立支援医療	28	3.6	7.1	0.0	3.6	17.9	14.3	42.9	71.4
発達障がい	8	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	50.0	62.5
高次脳機能障がい	1	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病	43	14.0	25.6	0.0	0.0	0.0	9.3	25.6	46.5

D 就労等の状況

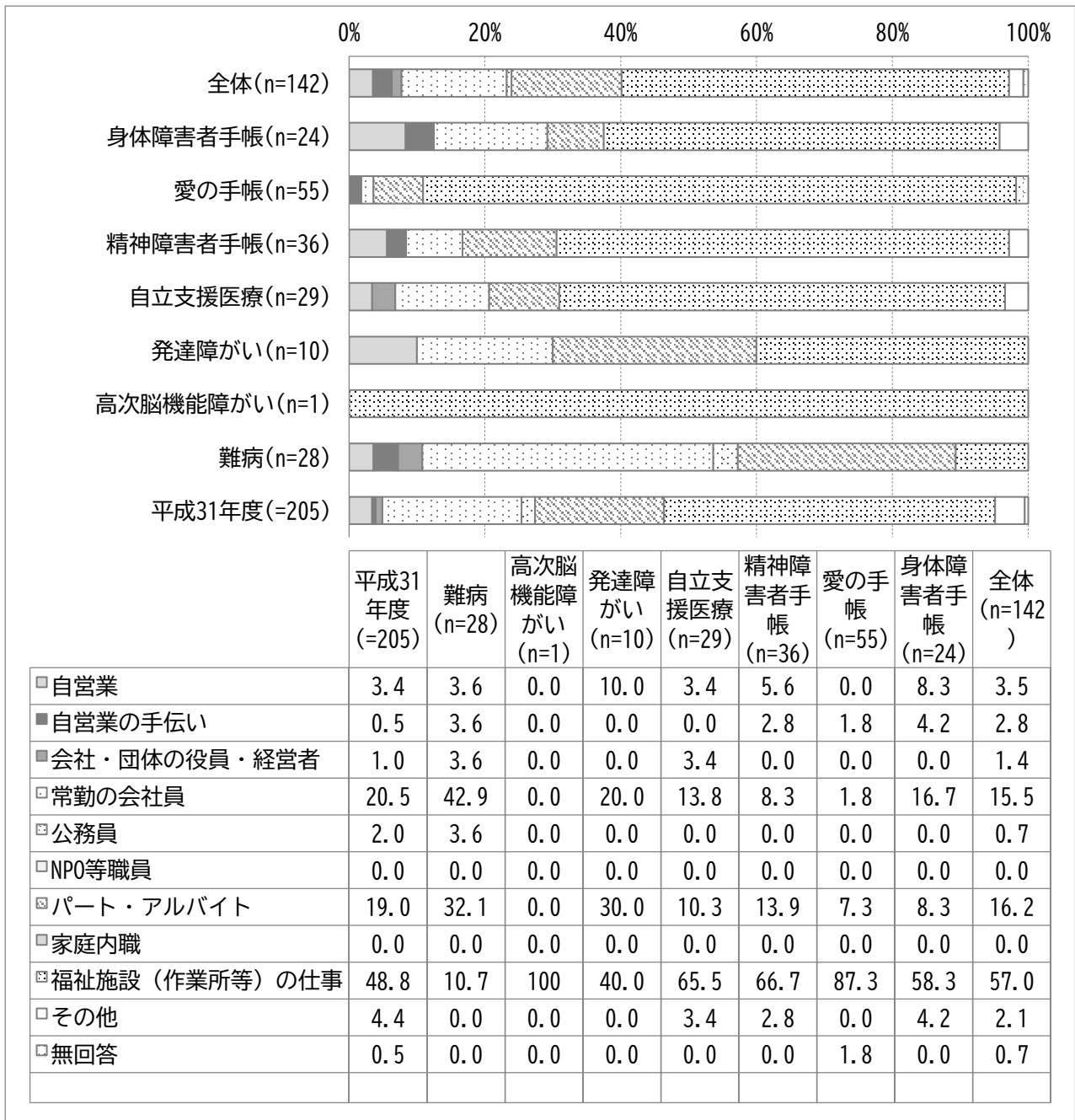
問 32 あなたは、現在、給料や工賃を伴う仕事をしていますか。(○は1つ)

給料や工賃を伴う仕事をしているかどうかについては、「仕事をしている」が51.4%で最も多く、次いで、「仕事をしていない」が44.6%となっています。



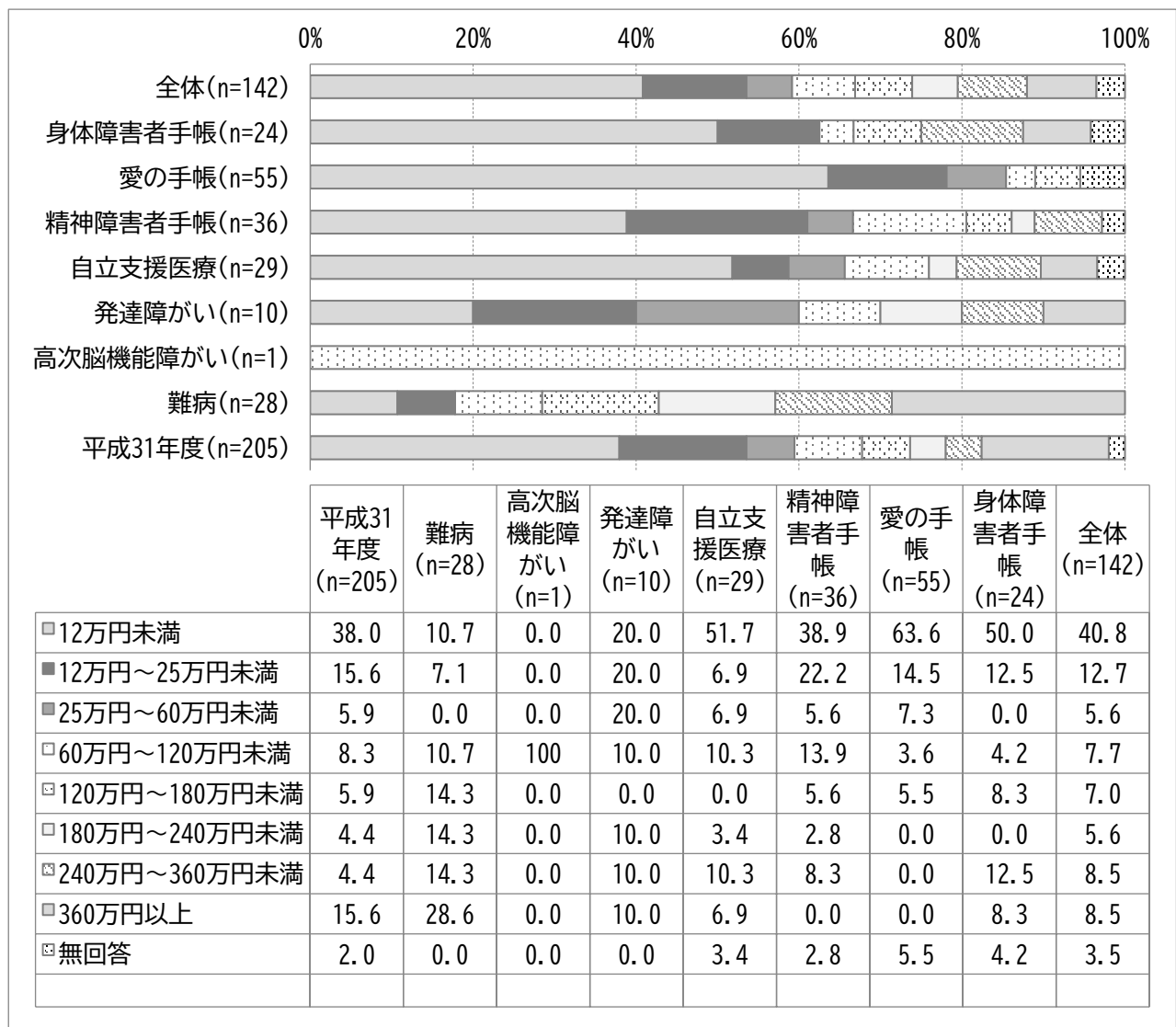
問 33 【問 32 で「仕事をしている」と回答した方へお伺いします】どのような仕事をして  
いますか。(○は1つ)

仕事の内容は、「福祉施設（作業所等）」が 57.0%で最も多く、次いで、「パート・アルバイト」  
が 16.2%となっています。



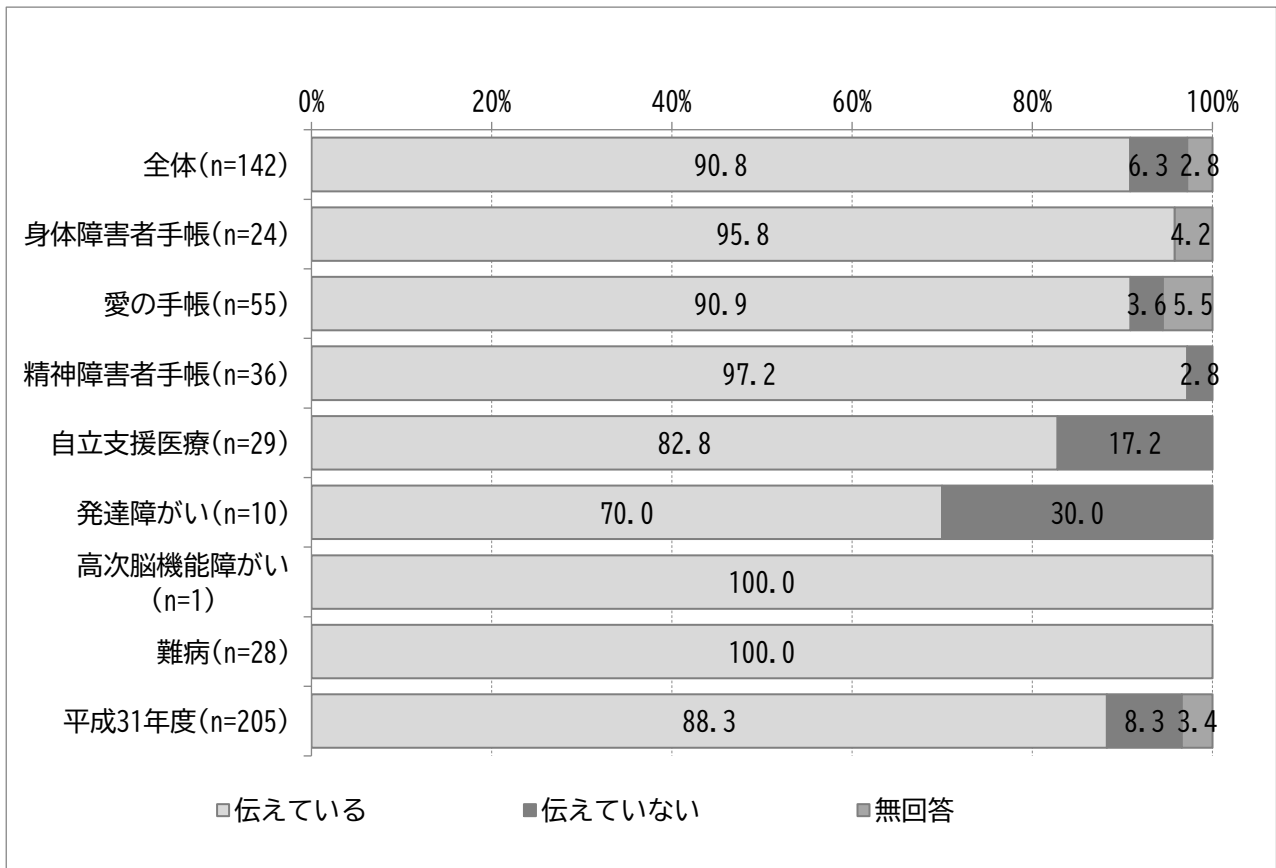
問 34 【問 32 で「仕事をしている」と回答した方へお伺いします】現在の仕事による年収はおよそどのくらいですか。(〇は1つ)

現在の仕事による年収は、「12万円未満」が40.8%で最も多く、次いで、「12万円～25万円未満」が12.7%となっています。



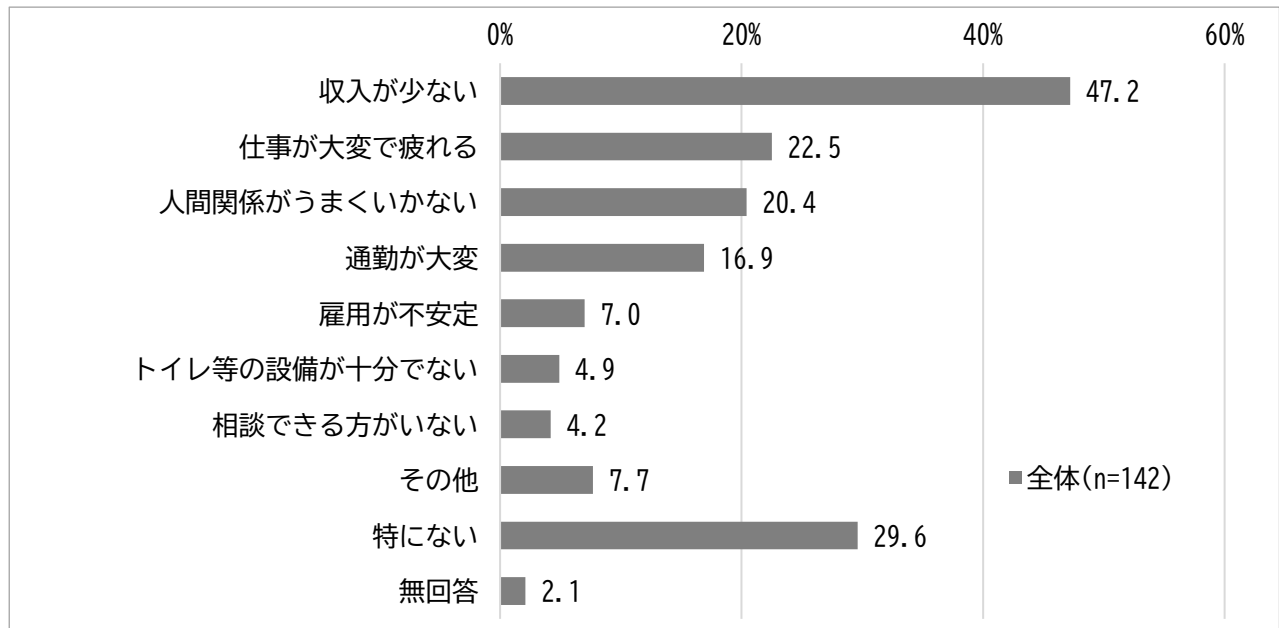
問 35 【問 32 で「仕事をしている」と回答した方へお伺いします】勤務先へ障がいや病気であることを伝えてありますか。(〇は1つ)

勤務先へ障がいや病気であることを伝えているかどうかについては、「伝えている」が90.8%で最も多く、次いで、「伝えていない」が6.3%となっています。



問 36 【問 32 で「仕事をしている」と回答した方へお伺いします】仕事をする上での不安は何ですか。(〇はいくつでも)

仕事をする上での不安については、「収入が少ない」が47.2%で最も多く、次いで、「仕事が大変で疲れる」が22.5%となっています。

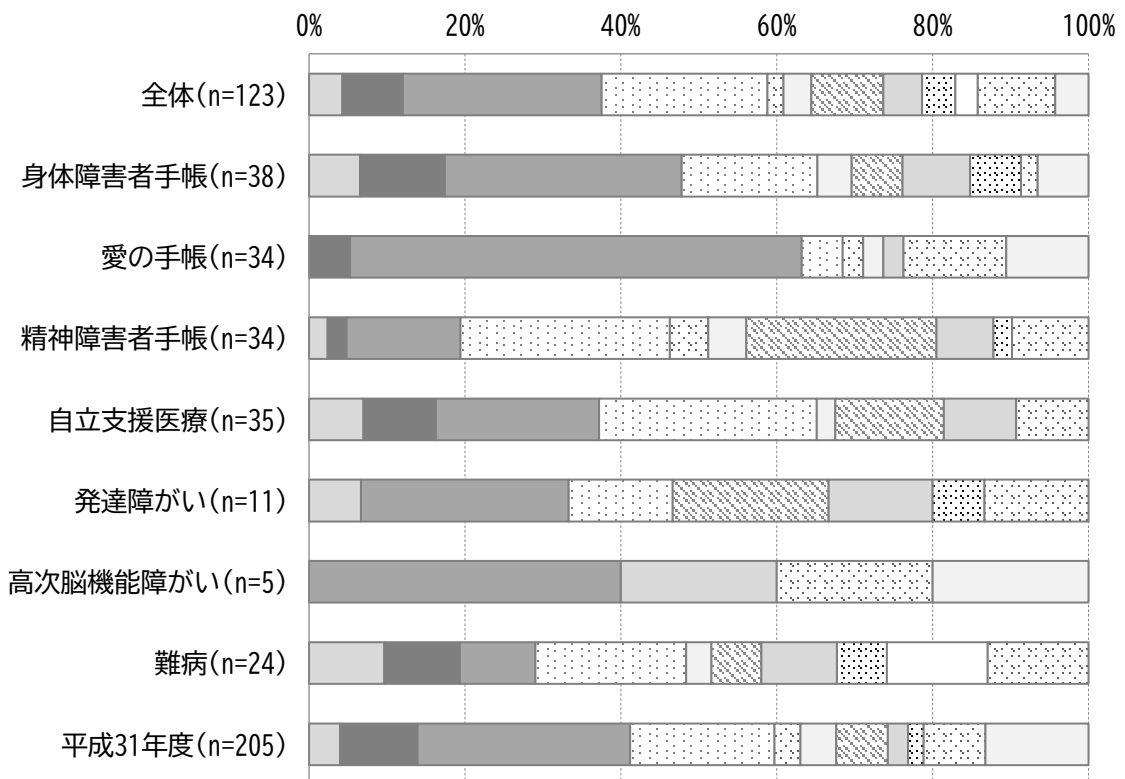


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	特にない	その他	相談できる方がいない	トイレ等の設備が十分でない	雇用が不安定	通勤が大変	人間関係がうまくいかない	仕事が大変で疲れる	収入が少ない
全体	142	2.1	29.6	7.7	4.2	4.9	7.0	16.9	20.4	22.5	47.2
身体障害者手帳	24	0.0	37.5	8.3	4.2	16.7	8.3	25.0	12.5	4.2	50.0
愛の手帳	55	3.6	38.2	9.1	5.5	3.6	3.6	10.9	25.5	14.5	47.3
精神障害者手帳	36	2.8	22.2	2.8	5.6	5.6	13.9	13.9	27.8	30.6	55.6
自立支援医療	29	0.0	13.8	6.9	0.0	3.4	13.8	6.9	27.6	27.6	58.6
発達障がい	10	0.0	10.0	10.0	10.0	10.0	20.0	20.0	40.0	20.0	70.0
高次脳機能障がい	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	100
難病	28	0.0	28.6	10.7	0.0	3.6	0.0	25.0	3.6	42.9	32.1

問 37 【問 32 で「仕事をしていない」と回答した方へお伺いします】仕事をしていない主な理由は、次のうちどれですか。(〇は1つ)

仕事をしていない主な理由は、「重い障がいのため」が 29.3%で最も多く、次いで、「病気のため(入院を含む)」が 24.4%となっています。



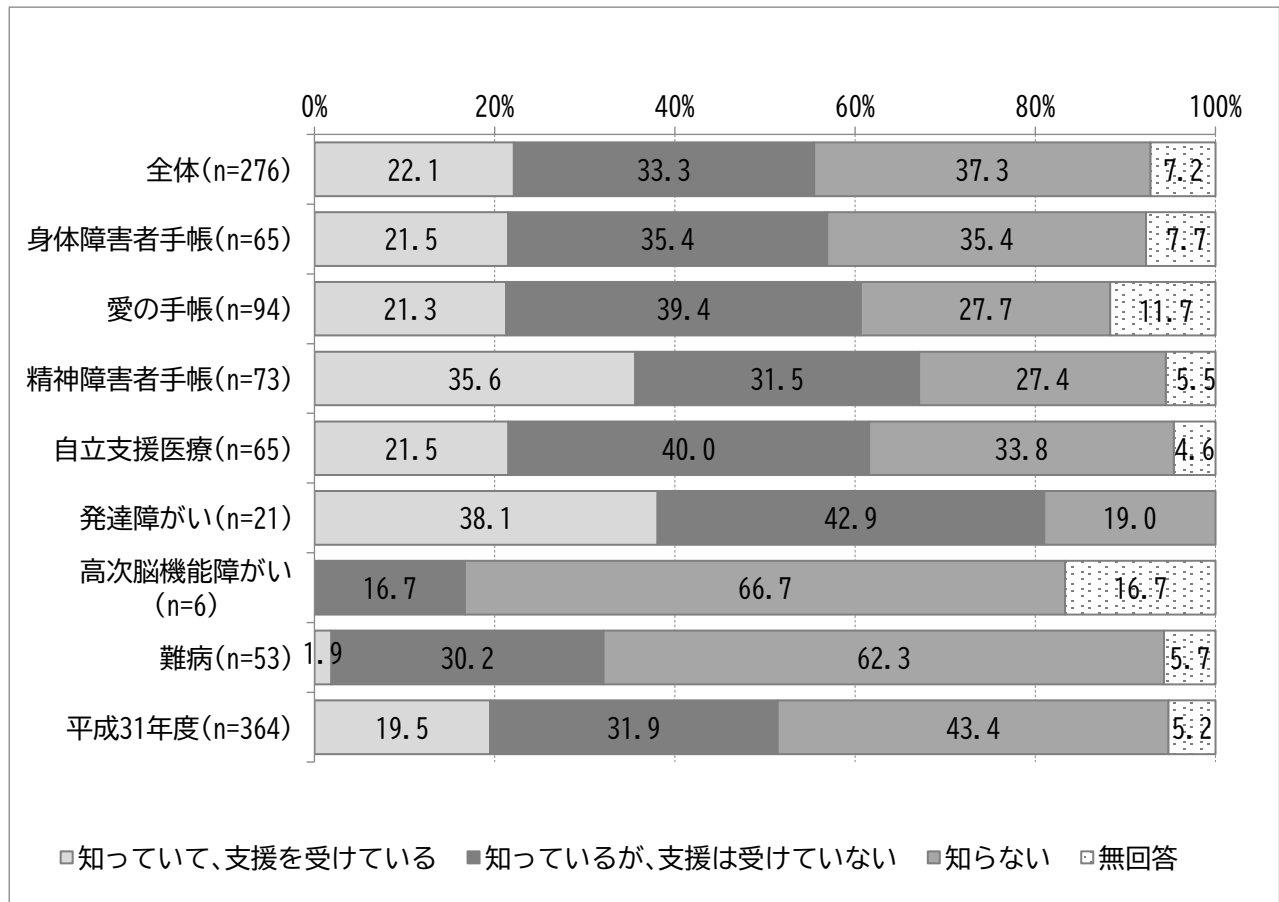
	平成31年度 (n=205)	難病 (n=24)	高次脳機能障がい (n=5)	発達障がい (n=11)	自立支援医療 (n=35)	精神障害者手帳 (n=34)	愛の手帳 (n=34)	身体障害者手帳 (n=38)	全体 (n=123)
□就学中のため	4.0	12.5	0.0	9.1	8.6	2.9	0.0	7.9	4.9
■高齢のため	9.9	12.5	0.0	0.0	11.4	2.9	5.9	13.2	8.9
■重い障がいのため	27.2	12.5	40.0	36.4	25.7	17.6	64.7	36.8	29.3
□病気のため(入院を含む)	18.5	25.0	0.0	18.2	34.3	32.4	5.9	21.1	24.4
☑希望する職種がないため	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	2.9	0.0	2.4
□通勤が難しいため	4.6	4.2	0.0	0.0	2.9	5.9	2.9	5.3	4.1
☑就労に向けて準備中(訓練中)のため	6.6	8.3	0.0	27.3	17.1	29.4	0.0	7.9	10.6
□現在仕事を探しているため	2.6	12.5	20.0	18.2	11.4	8.8	2.9	10.5	5.7
☑働く必要がないため	2.0	8.3	0.0	9.1	0.0	2.9	0.0	7.9	4.9
□働きたくないため	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3
☑その他	7.9	16.7	20.0	18.2	11.4	11.8	14.7	2.6	11.4
□無回答	13.2	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	11.8	7.9	4.9
☑									

第6章 障がい者等調査

D 就労等の状況

問 38 あなたは、障がい者の就労を支援する就労支援センター「サポート」を知っていますか。また、支援を受けていますか。(○は1つ)

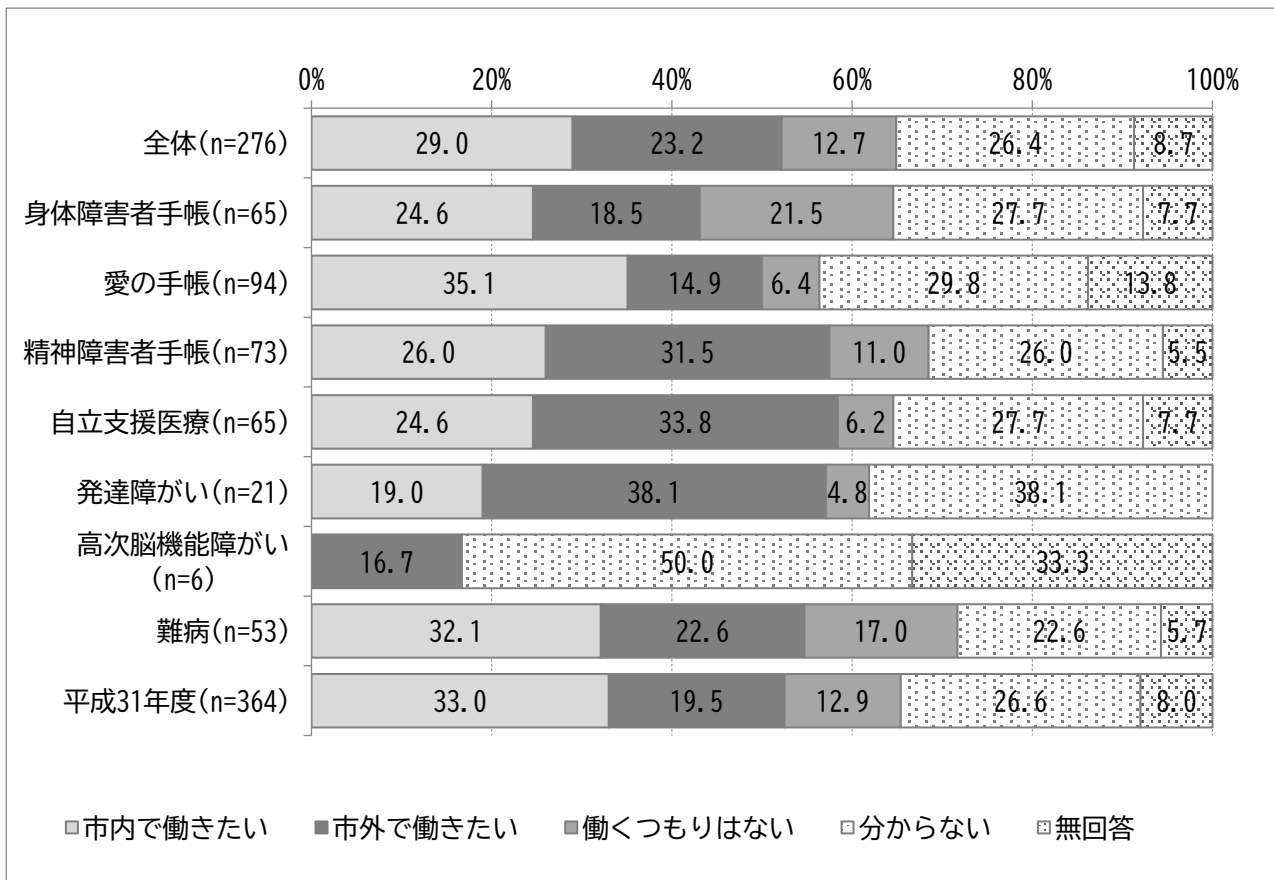
就労支援センター「サポート」の認知度及び支援については、「知らない」が37.3%で最も多く、次いで、「知っているが、支援は受けていない」が33.3%となっています。





問 39 あなたは、今後どのように働きたいですか。(現在働いていて、これからも同じ仕事を続けたい場合も含みます。(〇は1つ)

今後の働き方については、「市内で働きたい」が29.0%で最も多く、次いで、「分からない」が26.4%となっています。

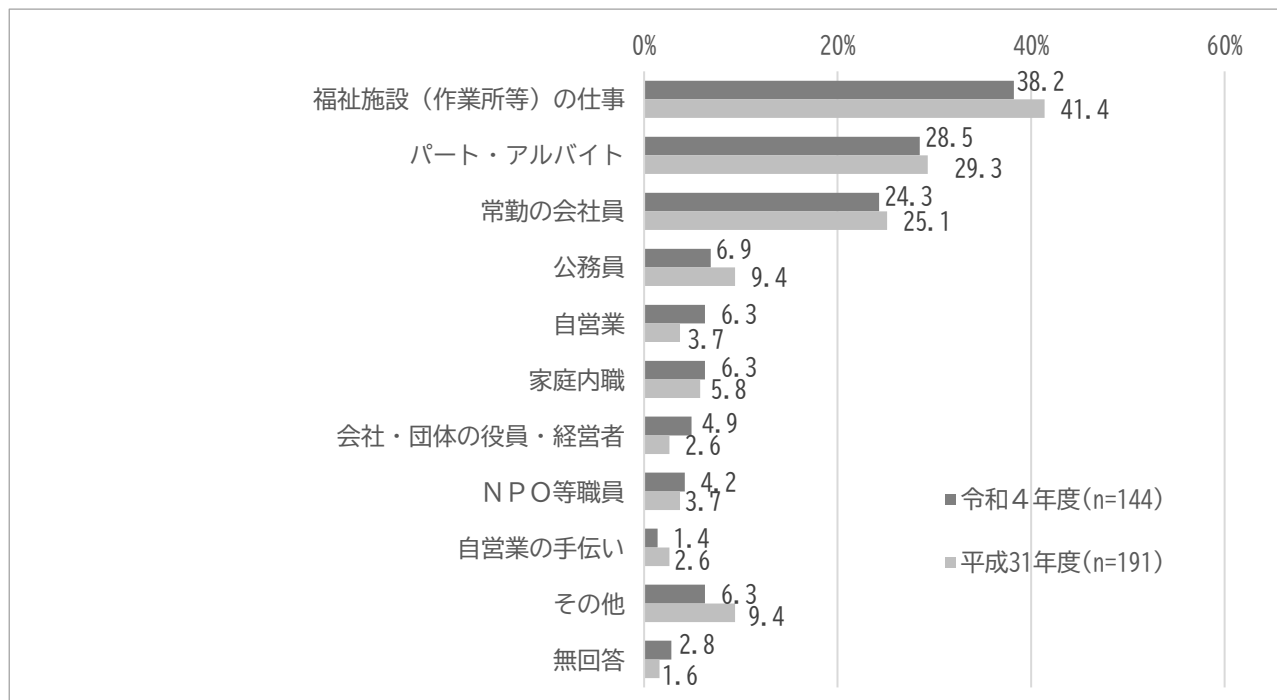


第6章 障がい者等調査

D 就労等の状況

問 40 【問 39 で「市内で働きたい」又は「市外で働きたい」のいずれかを回答した方にお伺いします】働きたい仕事の種類は何ですか。(〇はいくつでも)

働きたい仕事の種類については、「福祉施設（作業所等）の仕事」が 38.2%で最も多く、次いで、「パート・アルバイト」が 28.5%となっています。

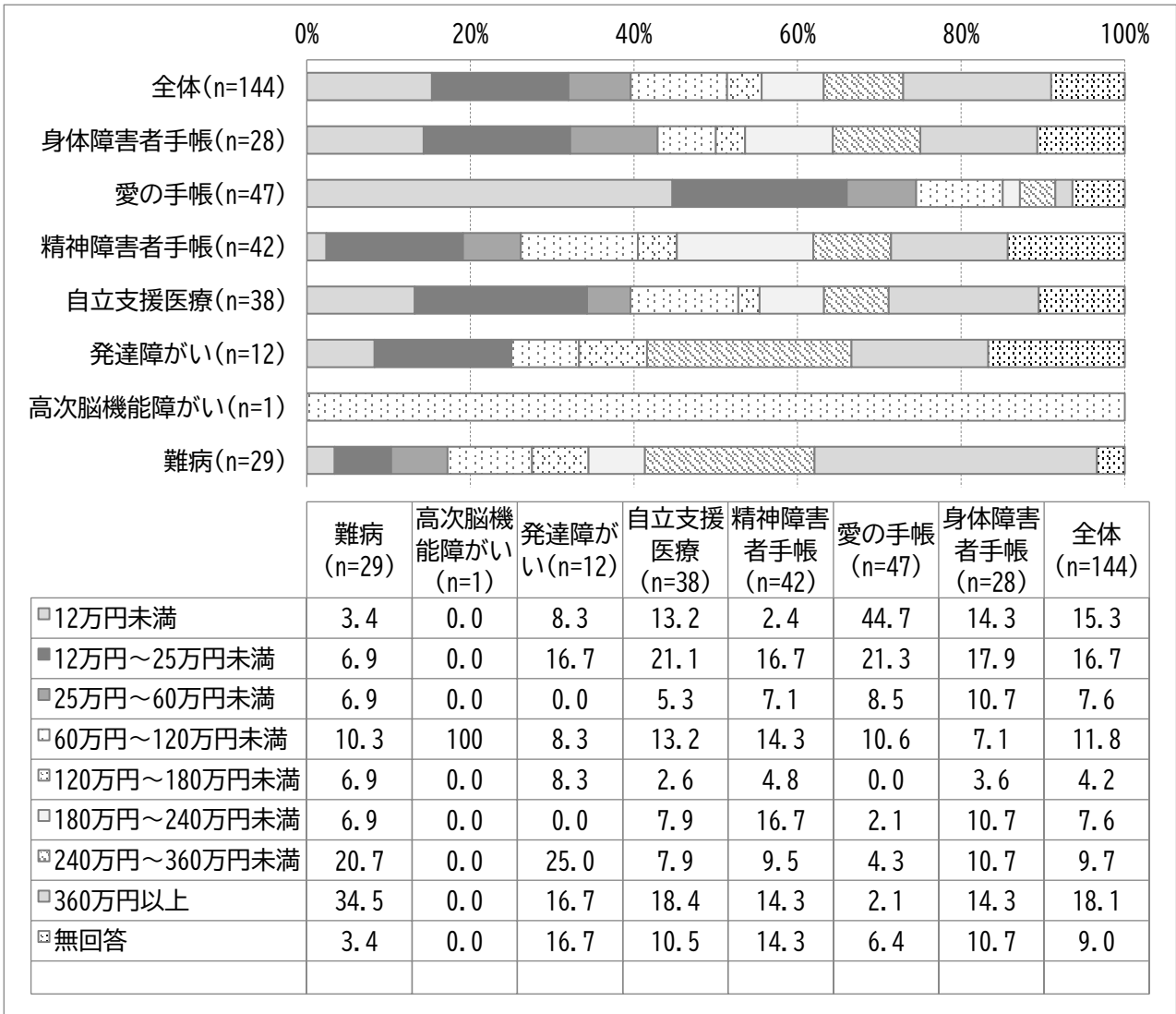


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	その他	自営業の手伝い	NPO等職員	会社・団体の役員・経営者	家庭内職	自営業	公務員	常勤の会社員	パート・アルバイト	福祉施設（作業所等）の仕事
全体	144	2.8	6.3	1.4	4.2	4.9	6.3	6.3	6.9	24.3	28.5	38.2
身体障害者手帳	28	0.0	10.7	0.0	7.1	10.7	3.6	14.3	3.6	32.1	10.7	35.7
愛の手帳	47	0.0	4.3	2.1	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	2.1	12.8	80.9
精神障害者手帳	42	9.5	7.1	2.4	7.1	7.1	7.1	7.1	11.9	26.2	42.9	28.6
自立支援医療	38	5.3	10.5	0.0	7.9	2.6	10.5	0.0	5.3	18.4	34.2	42.1
発達障がい	12	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	16.7	0.0	8.3	50.0	33.3	33.3
高次脳機能障がい	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100
難病	29	0.0	3.4	0.0	3.4	6.9	13.8	6.9	17.2	48.3	37.9	10.3
平成 31 年度	191	1.6	9.4	2.6	3.7	2.6	5.8	3.7	9.4	25.1	29.3	41.4

問 41 【問 39 で「市内で働きたい」又は「市外で働きたい」のいずれかを回答した方にお伺いします】働きたい仕事の賃金は、次のうちいくら（年収）を希望しますか（○は1つ）

働きたい仕事での希望する賃金は、「360万円以上」が18.1%で最も多く、次いで、「12万円～25万円未満」が16.7%となっています。

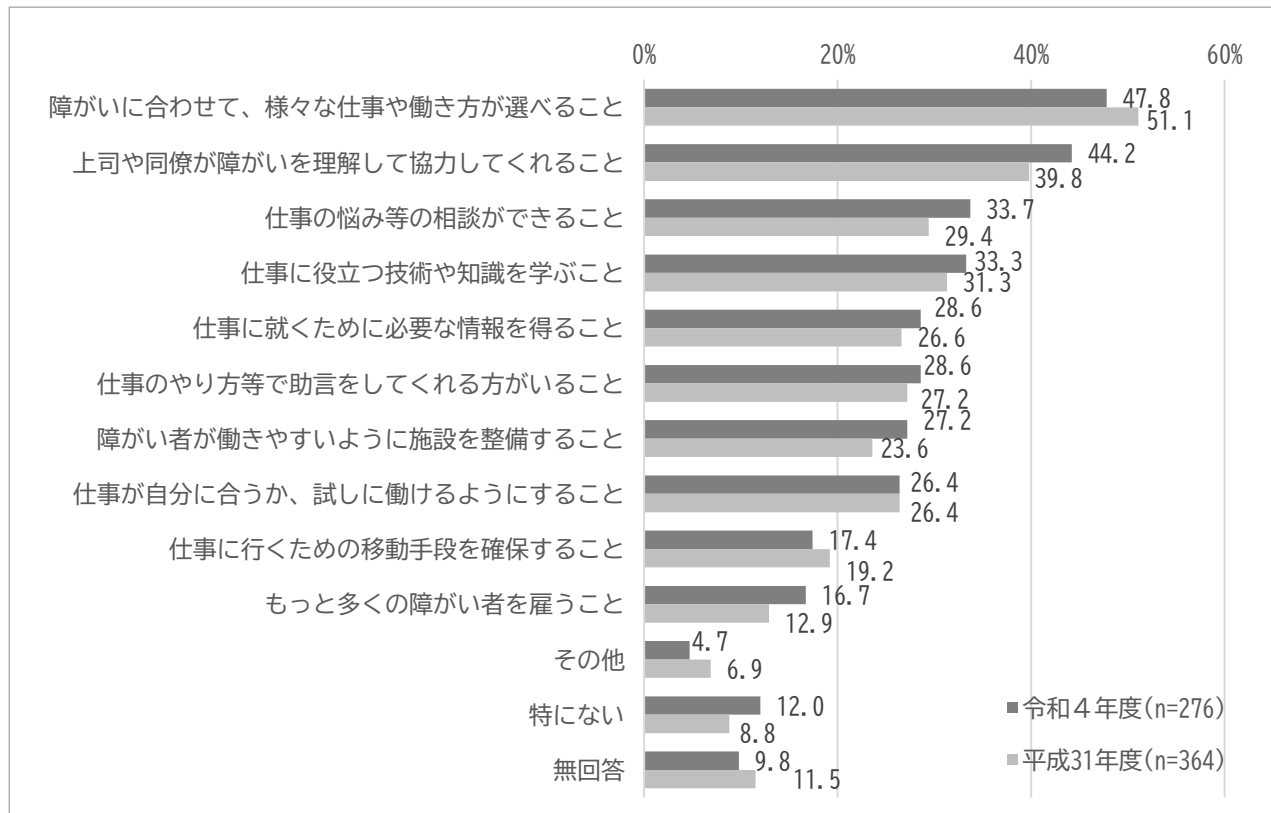


第6章 障がい者等調査

D 就労等の状況

問 42 あなたが仕事をする（続ける）ために、必要だと思うことは何ですか。（〇はいくつでも）

仕事をする（続ける）ために必要だと思うことは、「障がいに合わせて、様々な仕事や働き方が選べること」が47.8%で最も多く、次いで、「上司や同僚が障がいを理解して協力してくれること」が44.2%となっています。



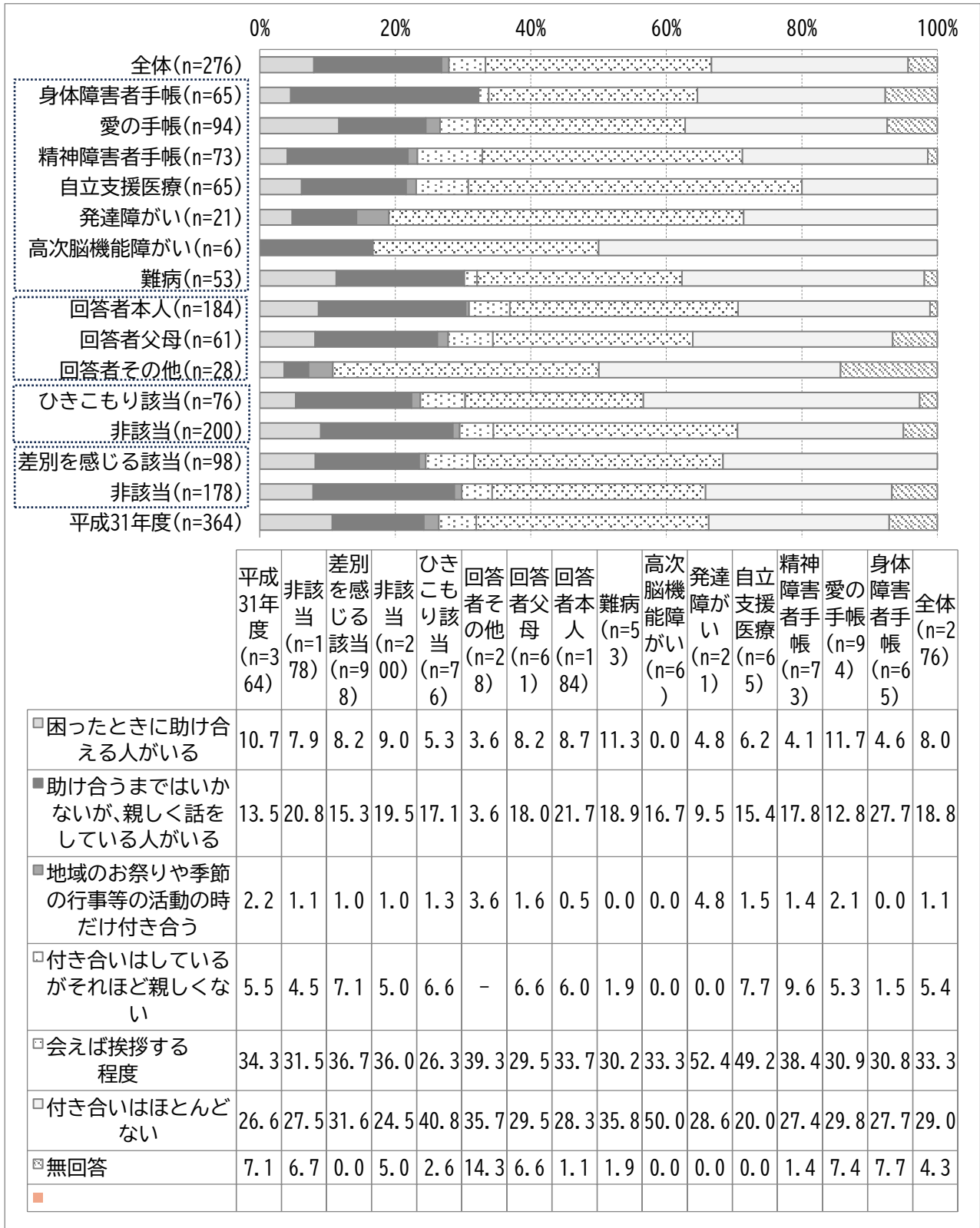
(単位：人、%)

区分	人数	無回答	特にない	その他	もっと多くの障がい者を雇うこと	仕事に行くための移動手段を確保すること	仕事が自分に合うか、試しに働けるようにすること	障がい者が働きやすいように施設を整備すること	仕事のやり方等で助言をしてくれる方がいること	仕事に就くために必要な情報を得ること	仕事に役立つ技術や知識を学ぶこと	仕事の悩み等の相談ができること	上司や同僚が障がいを理解して協力してくれること	障がいに合わせて、様々な仕事や働き方が選べること
全体	276	9.8	12.0	4.7	16.7	17.4	26.4	27.2	28.6	28.6	33.3	33.7	44.2	47.8
身体障害者手帳	65	10.8	12.3	4.6	15.4	26.2	18.5	24.6	26.2	24.6	26.2	27.7	38.5	47.7
愛の手帳	94	11.7	9.6	4.3	17.0	20.2	21.3	41.5	29.8	14.9	17.0	28.7	36.2	57.4
精神障害者手帳	73	4.1	8.2	8.2	27.4	15.1	42.5	26.0	45.2	46.6	43.8	54.8	54.8	58.9
自立支援医療	65	7.7	6.2	4.6	21.5	13.8	43.1	33.8	41.5	38.5	40.0	49.2	47.7	58.5
発達障がい	21	0.0	4.8	9.5	28.6	23.8	52.4	42.9	42.9	38.1	33.3	52.4	61.9	57.1
高次脳機能障がい	6	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	50.0
難病	53	11.3	20.8	3.8	7.5	13.2	18.9	13.2	15.1	24.5	41.5	28.3	50.9	32.1
平成31年度	364	11.5	8.8	6.9	12.9	19.2	26.4	23.6	27.2	26.6	31.3	29.4	39.8	51.1

## E 地域とのつながり

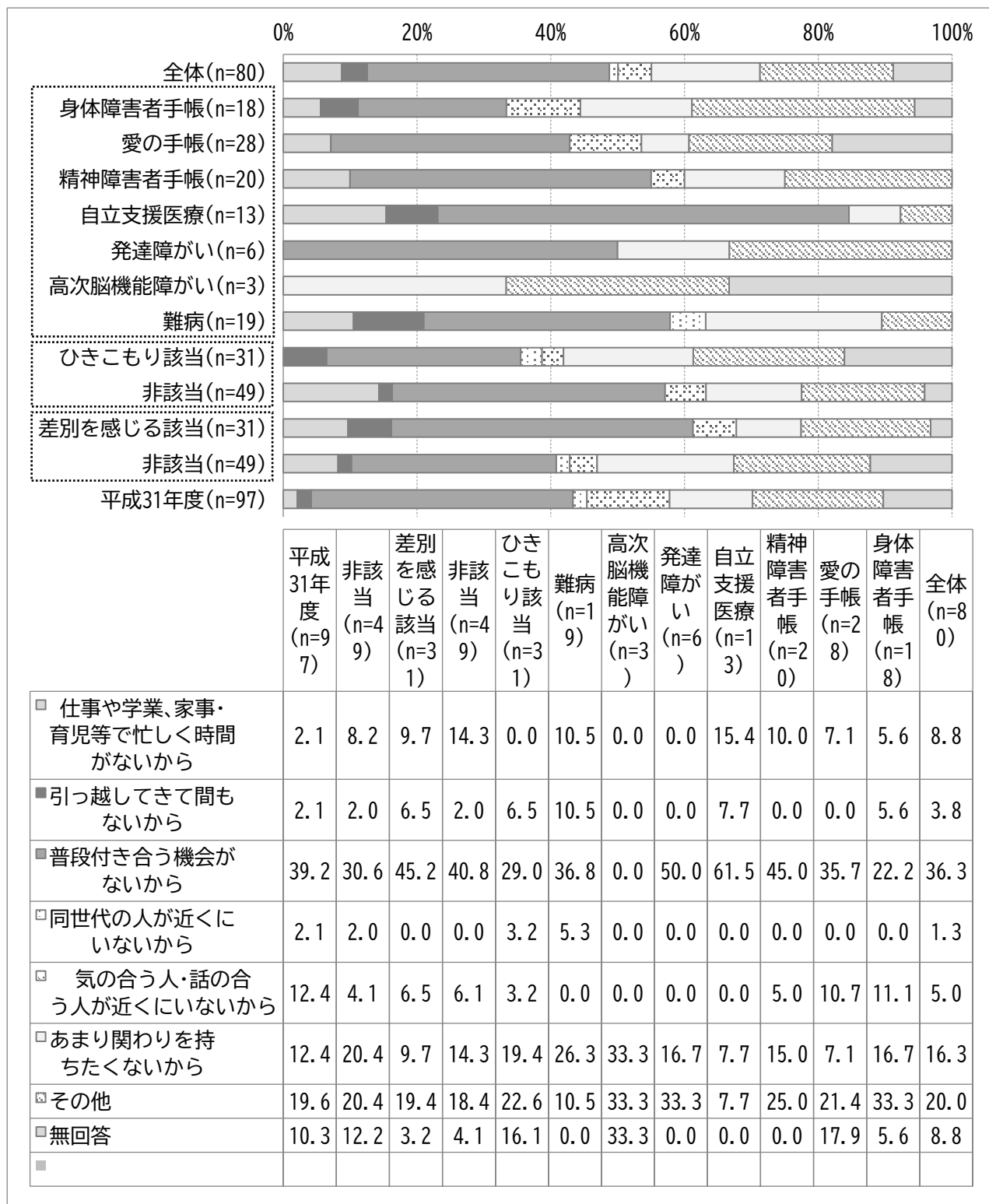
問 43 あなたは普段どの程度、ご近所付き合いをしていますか。(○は1つ)

普段の近所付き合いの程度は、「会えば挨拶する程度」が33.3%で最も多く、次いで、「付き合いはほとんどない」が29.0%となっています。



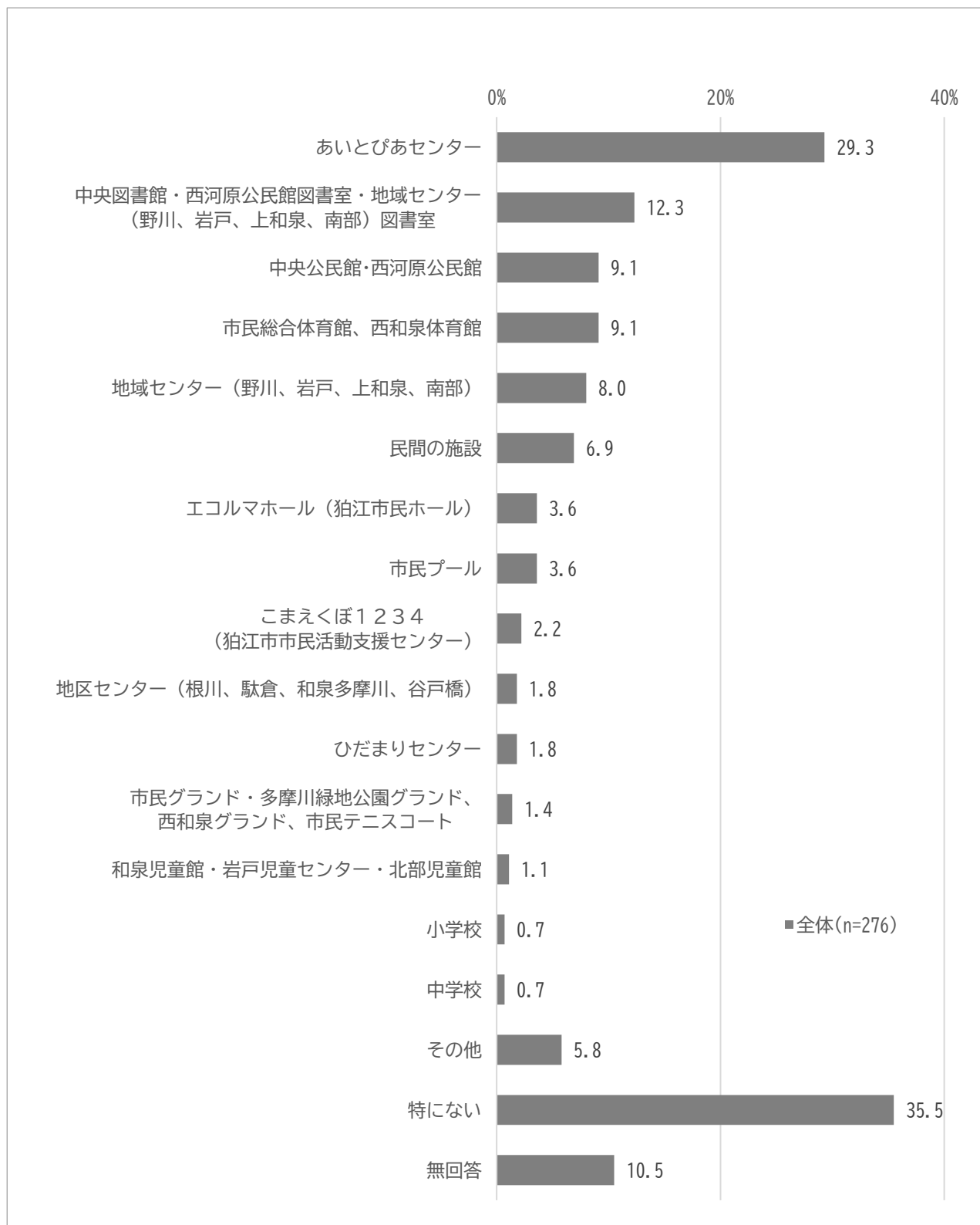
問 44 【問 43 で「付き合いはほとんどない」と回答した方にお伺いします】近所付き合いをしていない理由は何ですか。(〇は1つ)

近所付き合いをしていない理由は、「普段付き合う機会がないから」が 36.3%で最も多く、次いで、「その他」が 20.0%となっています。



問 45 あなたが利用している施設は、次のうちどこですか。(〇はいくつでも)

利用している施設は、「あいとぴあセンター」が29.3%で最も多く、次いで、「中央図書館・西河原公民館図書室・地域センター（野川、岩戸、上和泉、南部）図書室」が12.3%となっています。



第6章 障がい者等調査

E 地域とのつながり

(単位：人、%)

区分	人数	無回答	特にな い	その他	中 学 校	小 学 校	和泉児童館・岩戸児童センター・ 北部児童館	地区センター(根川、駄倉、和泉 多摩川、谷戸橋)	市民ランド・多摩川緑地公園グ ランド、西和泉ランド、市民テ ニスコート	ひだまりセンター
全体	276	10.5	35.5	5.8	0.7	0.7	1.1	1.8	1.4	1.8
身体障害者手帳	65	16.9	32.3	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	1.5
愛の手帳	94	11.7	25.5	10.6	1.1	0.0	0.0	2.1	2.1	1.1
精神障害者手帳	73	5.5	37.0	6.8	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	1.4
自立支援医療	65	4.6	36.9	7.7	1.5	0.0	0.0	1.5	1.5	3.1
発達障がい	21	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高次脳機能障がい	6	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
難病	53	7.5	41.5	1.9	1.9	3.8	3.8	1.9	1.9	3.8

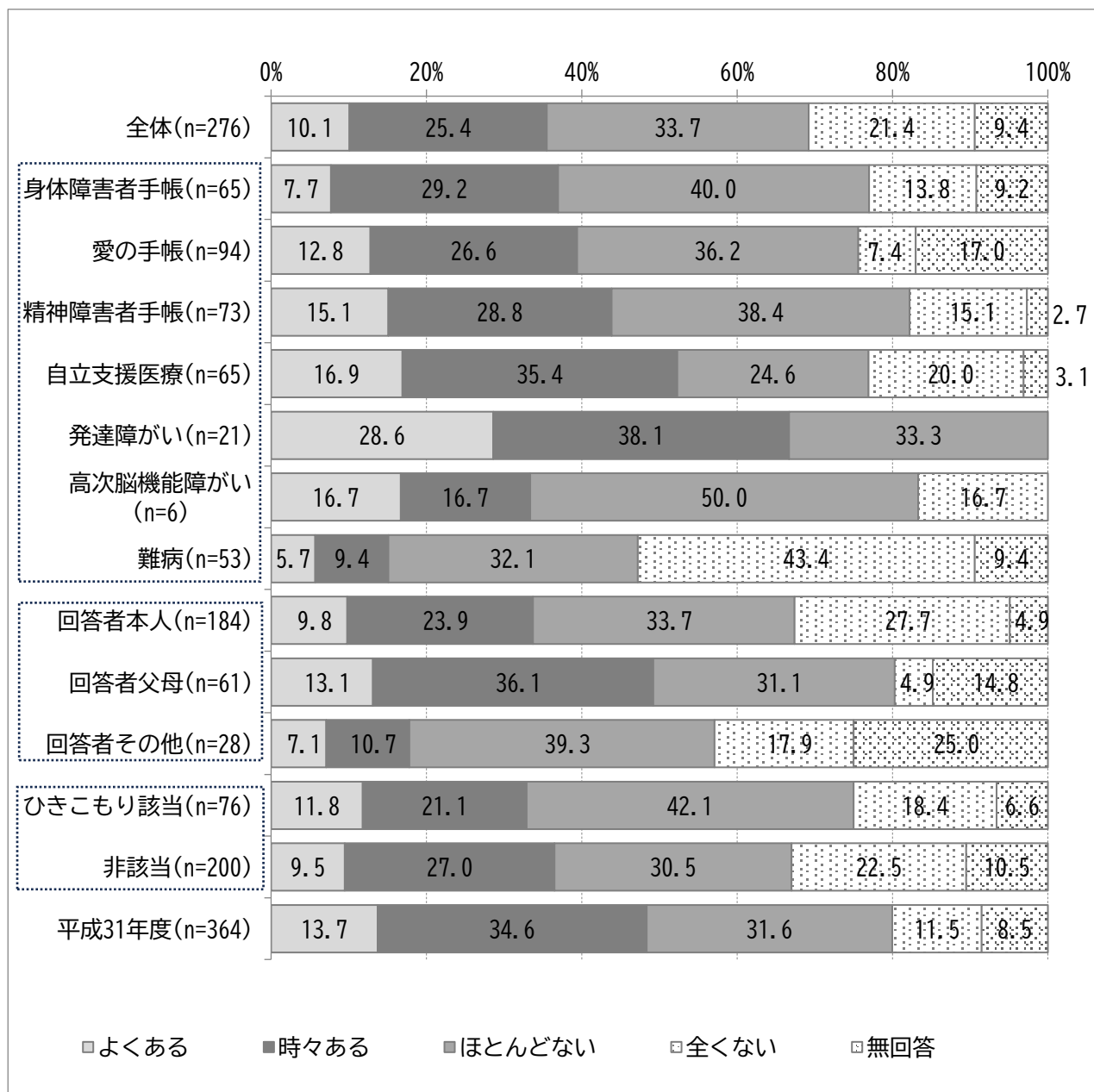
区分	地域センター(野川、岩戸、上 和泉、南部)	こまなくほ1234(市民活動支 援センター)	市民プ ール	エ コ ル マ ホ ー ル (市民ホール)	民 間 の 施 設	市 民 総 合 体 育 館、 西 和 泉 体 育 館	中 央 公 民 館 ・ 西 河 原 公 民 館	中 央 図 書 館 ・ 西 河 原 公 民 館 図 書 室 ・ 地 域 セ ン タ ー (野川、岩戸、 上 和 泉、 南 部) 図 書 室	あ い と び あ セ ン タ ー
全体	8.0	2.2	3.6	3.6	6.9	9.1	9.1	12.3	29.3
身体障害者手帳	15.4	4.6	3.1	1.5	4.6	10.8	6.2	4.6	29.2
愛の手帳	10.6	2.1	6.4	5.3	9.6	13.8	9.6	5.3	41.5
精神障害者手帳	5.5	1.4	4.1	2.7	8.2	4.1	12.3	16.4	37.0
自立支援医療	10.8	4.6	1.5	6.2	7.7	10.8	12.3	16.9	35.4
発達障がい	4.8	0.0	0.0	9.5	14.3	4.8	4.8	14.3	38.1
高次脳機能障がい	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
難病	5.7	1.9	0.0	3.8	7.5	9.4	15.1	24.5	11.3



## F 障がい者差別について

問 46 あなたは障がいがあることで、差別を感じたり嫌な思いをしたりしたことがありますか。(○は1つ)

障がいがあることで、差別を感じたり嫌な思いをしたりしたことがあるかどうかについては、「ほとんどない」が33.7%で最も多く、次いで、「時々ある」が25.4%となっています。



問 47 差別を感じたり嫌な思いをしたりしたのは、どのようなときですか。ご自由にお書きください。

**市民や家庭における理解不足、不適切な接し方（その他）：32 件**

- ・重度の高次脳機能障がいのため、公共の場で声を出す、走り出すなど場にそぐわない行動に冷たい対応や、追い出されたりしたことがある。
- ・障がい者だと分かると、相手の態度が変わること。
- ・健常者の方と知りあっても障がいがあることを伝えると差別的発言や、嫌がらせを受けたこともある。また、難しいことが理解できない、記憶力が悪いと知られたことで、宗教に入信させられたり、借りてもないお金を貸したとお金を要求されたりすることもあった。障がいやうつ病、てんかんなどがあったことで、人に嫌味を言われるなど。

**教育・保育・労働における理解不足、不適切な接し方：12 件**

- ・障がいがあると言っただけで、仕事の面接で落とされる。
- ・現在、民間会社で障がい者雇用にて嘱託身分で就労中。正社員との身分の差について、障がい起因するのかなどの自己葛藤が時々ある。また、社内で腹を割って話をできる方はいないので、ストレスを感じる時がある。自分を含めて、誰も他者の障がいについて少なからぬ差別感はあると思う。社内でも、啓発活動をすべきと思う。
- ・職場での相談などで自分の体調、精神的な不調、自分なりの対処を伝えても、健常者には腑に落ちないようで「何故？どうして？」と言われること。精一杯やっているつもりでも向上を求められる。それは雇う側や相談を受ける側の満足のためなのか。

**情報や文化面の壁：4 件**

- ・症状が悪化したときにヘルプマークを利用しています。見た目では分からないため、電車やバス等では高齢の方に席を譲らなくてはならない状況になります。

**市民や家庭における理解不足、不適切な接し方（公共交通機関内等）：3 件**

- ・バスの運転手に、降りるときに車椅子なので車体を降ろしてくれなくて落ちそうになった。「降りやがれ！」と言われた。
- ・バスに乗る時に、車椅子使用のためおもむろに運転手（乗客）に嫌な顔をされる。

**医療・福祉施設での理解不足、不適切な接し方：3 件**

- ・整形外科へ通院したときに心の病だから心が治れば足の痛みも治るといわれ相手にしてもらえなかった。精神科以外の病院歯医者等へ行くと、既往歴を書くと、差別されるので既往歴をあまり書きたくない。
- ・病院の受診を断られる。じろじろ見られる。嫌な顔をされる。福祉施設の建設に対する住民の反対運動等

**市民や家庭における理解不足、不適切な接し方（近隣住民等）：2 件**

- ・成人して何年も経ちますが、体が小さいのもあり、マンションの子ども達から差別的発言をされ

たり、その親もそのようなニュアンスの言葉をいわれたりすることがよくあるので、少々辛いところ。個人レベルでのことなので、どうにかして欲しいと思ってもどうしようもないことに悲しさがあります。

- ・買い物にヘルパーさんと出かけたとき、親と一緒にいったとき等、車椅子をじろじろ見たり指さしたりする子どもがいたりする。親の対応を望みたい。近所の方の中にも偏見が見えるため、エレベーターや通路でお会いしてもそっぽを向く方がいて、嫌な思いを何度もした。

#### 市民や家庭における理解不足、不適切な接し方（家族等）：2件

- ・家族に病気のことでもバカにされる。できないことがあると、どなられたり、なぐられたりする。話がかみ合わない、理解してもらえない。
- ・自分自身に発達障がいがあるのですが、お父さんがあまり（ほとんど）認めたくないと思っているため、あまり理解してもらえていないです。

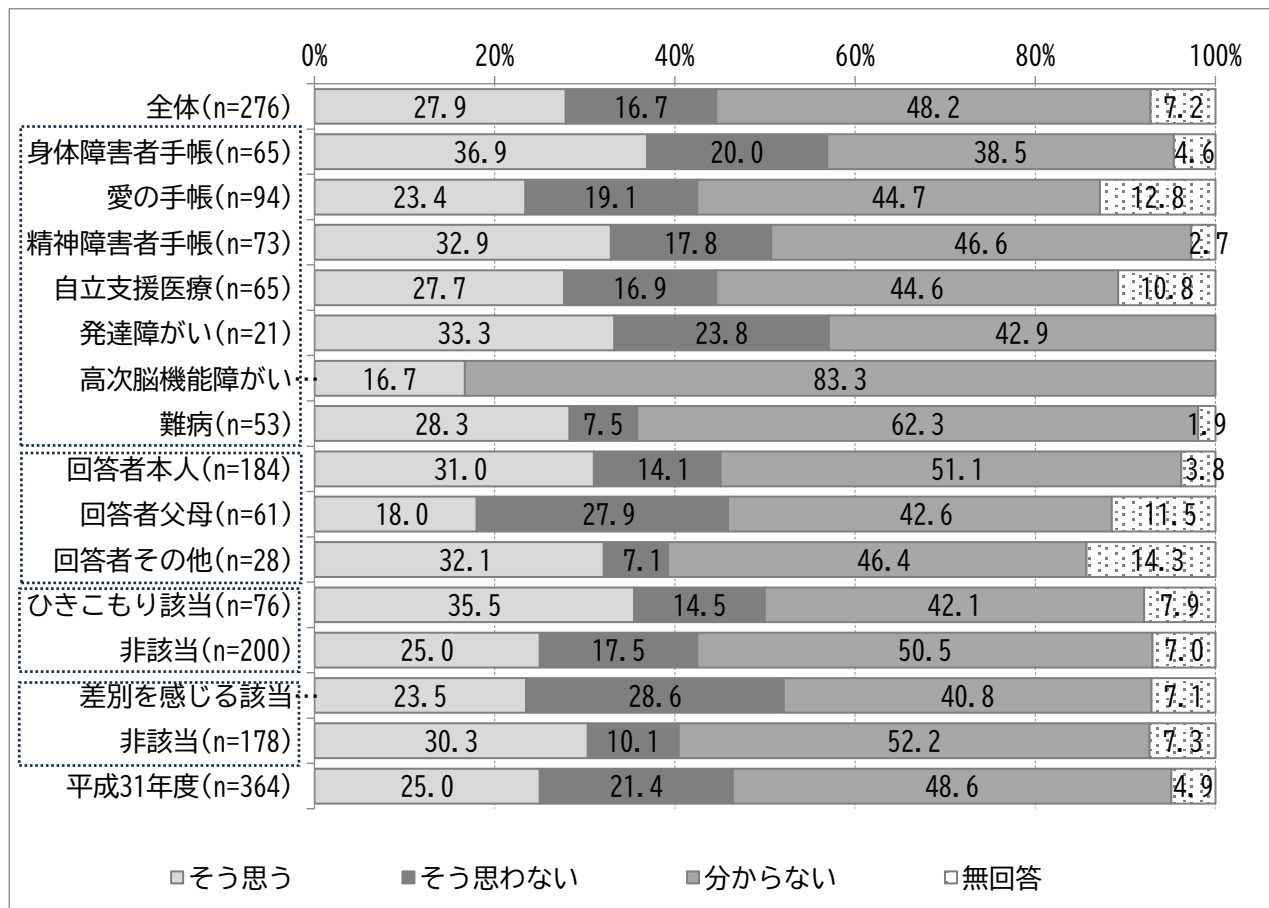
#### その他：8件

- ・市職員さんの言動。難聴者と重複（知的）難聴者の分け隔て。（FAX申請時）知的障がい者の地域生活移行について非難めいたことをいわれた。
- ・勝手な思い込みかもしれないが生き辛い。
- ・自分のことを何ひとつできず、意思の疎通も難しいので、何故生きているのかとか、生かされているのか？の自問自答だと思います。
- ・障がい者の気持ちを考えずに作られた、このようなアンケートを目の当たりにした際。精神病の場合、自分の病状を見つめ直したり、過去のことを考えたり思い出したりするのが苦痛。お役所仕事で送って来たアンケートをどう使っていたただけるのか。市政に本当に役立ててもらえるか。

G 市の障がい者福祉施策について

問 48 あなたは、市が障がいのある方にとって住みやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

市が障がいのある方にとって住みやすいまちだと思うかどうかについては、「分からない」が48.2%で最も多く、次いで、「そう思う」が27.9%となっています。



問 49 (「問 48 あなたは、市が障がいのある方にとって住みやすいまちだと思いますか。」)  
の回答の理由をご自由にお書きください。

<そう思う>

**障がいへの理解等：20 件**

- ・時々バスに乗るのですが、ハートマークを付けているとほとんどの方が席を譲って下さる。狛江市に住む方達の意識がとても良いと感じています。
- ・私みたいな軽度な発達障がい者でも、親身になって話を聞いてくださるからです。
- ・精神障がい者に対する援助で充実している。差別もあまり感じない。私はうつ症状でたまに家で大声を出すときがあるが、周りも特に嫌がらず許容してくれている。

**サービス・施設等の充実：20 件**

- ・サポートがかなり充実していて相談等もしやすいから。
- ・生活する上で何か困った時は相談できるから。
- ・福祉、施設が充実している。
- ・福祉が充実している。社協や、“カレーショップ メイ”、市役所の福祉相談課、ヘルパーさんなど、助けてもらって、ありがたいです。

**立地・利便性等：9 件**

- ・道が広く車椅子に便利。静かで治安が良い。人混みが無い。
- ・駅の近くに病院や市役所があり、行きやすいため。市役所の方が親切なため。
- ・お店が多く便利。心地良く生活できる。

<そう思わない>

**サービス等への不満：12 件**

- ・就労場所や作業所、生活介護施設の数少なく選べない。また、ヘルパーさんの数も少ない（特に重度障がいに対応できるヘルパーさん）。市内にあるいくつかの放課後デイサービスが閉鎖してしまったが、それに代わる施設等がなく、市外の放課後デイサービスに行かなければならない。送迎があればよいが、ない場合、親の負担が大きい。またそもそも重度障がいがあり、他害がある子どもの受け入れ先がなく自宅に居ざるを得ない状態が続いている。

**住まいや入所施設、利用施設等への不満：9 件**

- ・障がい者に対する施設や職員が他の市より少なく、工賃が安すぎるので将来が不安です。
- ・入所施設、グループホームが少ない、作業所の設備が充分ではない。
- ・重度障がい者が入れる施設をもう何年も前から作って欲しいと要望しているが、できない。親が高齢になり、いつまで介護できるか、毎日不安の中で生活している。入所希望（都）を出しても、いつ順番が来るか分からない。

**不便：3 件**

- ・外出が困難な方にとっては、行ける施設や働ける所もなければ市からの支援もない。コロナにな

ってから往診してくれる病院がなかった。交通の便が良くない。駅前以外何もない。

#### 安全性への不安：2件

- ・駐車場のチェーン・ロープが危ない。以前、夜まっ暗な駐車場入口にチェーンが掛けてあり、突っ込んで転んでしまった。防犯上のこともあるのだろうが、私のような視覚に障がいがある方や、高齢者で夜見えづらい方にも配慮した策を考えて欲しい。視野が狭いので、足元が見えていない、段差の高低感が読み取りづらい。むやみやたらと低い車止めや、腰高の柵等、ぶつかりやすいものが多いと思う。また、目の高さにあっても危ない。それが視野に入らないとぶつかるため。
- ・まちの段差が多い。信号を渡って歩道に車椅子であがる時、歩道がデコボコして車椅子では走りにくい。

#### 経済的支援・援助等の不足：2件

- ・全く合理的配慮を感じられないから。経済的支援、援助が得られないから。
- ・生活に対しての金銭補助が少なく、年をとることに不安になる。

#### その他：6件

- ・良くも悪くも狛江は小さいまちなので、人間関係が良くも悪くも密になり、知られたくないプライバシーも、知られやすいのがマイナスかと思います。
- ・まちで障がいのある方を見かけたことがない。障がい者のための設備みたいなものを見かけない、又は知らないため。
- ・障がいのある方に対しての偏見は相変わらずある。グループホームを一棟建てるにしても、反対する方が多い。他の市に比べて、閉鎖的な感じがする。

#### <分からない>

#### サービス等への不満：6件

- ・市役所で感じの悪い職員に当たってしまうとそう感じる。
- ・市役所の福祉課は、奥の狭い所にあって窓もなく暗くて、生活で一番よく使う場所なのに、とても居心地が悪い。
- ・質問をしたときに、いきなり大声で言われるのはびっくりする。メールや電話でどうすればいいのかも分からない。どう返信すればいいのかも分からないから、聞きに来たのにいきなり大声で怒られるように言われるのはびっくりした。どういう状況で来ているのかを聞いてから、アドバイスして欲しかったと思います。

#### 地域とのつながり：6件

- ・狛江は小さなまちなので、作業所のスタッフの方々やグループホームの世話人さん他、様々な所でお世話になっている方々が狛江住民の場合、駅前等で会うことが多く、親子で歩いていても「○○さん！」と声をかけて下さったり、また母親の友だちがあちこちで見かけた娘の情報を聞かせてくれたり（「○○ちゃんあそこでこんなことしていたよ」など）と、グループホームで暮らしているのに良くも悪くも親にさまざまなことがばれてしまいます。このような方達の暖かい目のある暮らしは狛江という小さなまちならではかと思えます。親目線から見ると制度や様々な所に

疑問を持つところはあるけれども、本人目線から見た狛江は、暖かくて住みやすいまちなのではないかと思います。

- ・作業所に行く以外に市内で参加できることがほとんどない。スポーツが好きなので、近くで運動する場所が欲しい。

#### **住まいや入所施設、利用施設等への不満：5件**

- ・今のところ困ってはいなくても、将来的に困ることが出てくると思う。親が面倒を見られなくなった場合の入所先や、ショートステイ、ヘルパー（居宅や移動支援など）を派遣できる事業所が少ない。障がい者の余暇活動などを行うところや、事業が成り立っていない。
- ・親も高齢になって近い将来面倒を見ることができなくなります。その時に、重度の障がい者も安心して入れるグループホームや施設が市内には少ないように思います。
- ・狛江市の利用したい施設に空きがなかったために、現在は、他市の施設を利用しているため、狛江市のことはよく分かりません。

#### **就労等への不満：2件**

- ・非常に行き届いているところ（“あいとぴあセンター”の職員の対応等）はあります。ただし、知的障がいの方が特別支援学校を卒業してからの就労先、作業先等は保護者が自分で探さねばならず、またその必要のある障がい者の数だけの作業所は不足しています。

#### **その他：30件**

- ・困りごとに関しては市が相談に乗ってくれているので不安はありませんが、地域の方々が福祉についてどれだけ理解があるのかが分かりません。特に障がい者に対する偏見はこの地区にもあり、インクルーシブ社会の形成はまだまだ遠いものと考えます。
- ・狛江市は大好きなまちだから、色々な方に住んで欲しい。障がいのある方やそうじゃない方、沢山の方に狛江を知って欲しい。コミュニケーションのまち狛江になって欲しい。
- ・自分は難病患者で障がい手帳は持っていないが、このようなアンケートを実施し、声を吸い上げて下さることは今後も続けて欲しい。どんな立場の方でも住みやすいまちづくりを志して欲しい。

問 50 市へのご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

**合理的配慮・移動手手段の充実・誰もが利用しやすいまちづくり：20 件**

- ・車椅子であちこち自由に行けるまちづくりをお願いします。どうしても家にこもりがちなので、病気の話など気楽に話せる仲間が欲しいです。たくさんの交流があると楽しそうです。
- ・自宅近くに気軽に立ち寄れる家（居場所）が欲しい。
- ・少し長く歩くと苦しくなることがよくあるので、あちこちに腰を掛けられるところがあるとありがたいのですが。
- ・視覚障がい者にとって、道路の危険が多いのが不安である。

**生活の拠点：11 件**

- ・グループホームを沢山作って欲しい。
- ・ショートステイ、グループホームを一刻も早く作って欲しい。
- ・重度障がい者が入所できる施設を早急に作って欲しい（グループホームでは、医療的ケアができない）。

**障がい福祉サービスの充実：11 件**

- ・障がい者の余暇活動を事業として取り組んで欲しい。
- ・狛江市の行政サービスは多種多様であり、一方財源や人的資源には限りがあると思います。その中でどれを優先するかは大変難しい問題だと思います。狛江市で日々の暮らしを営む者として「生活や命に直結する」面を優先して頂きたいと思います。重度の障がいがある者（保護者を含む）として福祉作業所、入所施設、グループホーム等の充実を是非お願い申し上げます。

**経済難・生活困窮・補助：11 件**

- ・政府や東京都は子育て支援に傾注しているようだが、物価高の折、障がい者にも子育て支援以上に支援をしてもらいたい。
- ・知的障がいの子どものために住宅改修をしたが、身体（障がい）の改修費には助成金が出るのに、知的（障がい）では出ないとのことだった。穴のあいた壁や、倒れそうな壊された押し入れの扉を直し、部屋にクールダウンスペースを作ったりしたところ、何十万とかかったが、全部自費だった。長く一緒に生活するための改修工事なのに助成されないというのは、おかしいのではないかと思う。
- ・障害年金をもらっている方は、生活保護の方との金額差が激しい。

**相談体制・情報発信・窓口の利用のしやすさ：10 件**

- ・市役所の窓口の方がいつも親身になって色々な疑問や不安に関して答えてくださるので、とてもありがたく感謝しております。
- ・広報やHP、SNS等での発信が増えているので、得たい情報へのアクセスがしやすくなったと感じている。今後も、もっと様々な方が早く支援につながるができるようにして欲しい。
- ・もう少し悩み相談ができる日を増やして欲しいです。



### 地域でともに暮らす：6件

- ・分かりやすい障がい、分かりにくい障がい、助けたくなる障がい者、関わりたくないタイプの障がい者、関わる方もテクニックがあるので、大変なことだと思います。「共に」というのが難しいですね。
- ・障がい者と地域の交流を促して行って欲しいです。また、幼い頃から、障がいのある子どもと接する機会を多く作って欲しいですが、カリキュラムを組んだりするのではなく、当たり前のように、一緒に健常児も障がい児も成長していく市になることを願います。

### 親亡き後：4件

- ・親なき後、どうやって生きていくのか…とにかくこれが心配。
- ・今、娘はとっても幸せな状態だと思います。本人はこの幸せがずっと続くと思っているでしょう。が、親はいずれいなくなりますし、本人も歳をとり、働けなくなれば収入もなくなります。グループホームも永遠ではないとすれば…本人に寄り添い、一緒に考え、アドバイスをくれる方が必要になるでしょう。それは困ってからではなく、困った時に安心して相談できるように、時間をかけて本人とつながって行けるような、どこか？誰か？そんな場所があって欲しいと思います。

### 就労に関する支援：2件

- ・在宅で働ける仕事を増やして欲しい。
- ・ストアなどで商品を並べる仕事など体験させて欲しいと思うが、障がいがある者の雇用がないと思うので残念に思う。簡単にできる仕事で理解のある方々がいるような受け入れてくれる企業がたくさんあればありがたいが、働く場所と障がいのある方をつないでくれるサポートしてくれる部署があるとありがたい。障がいがあって、一人ひとりの特性を生かして働ける場所があれば生きがいを持って生きていけると思う。

### その他：13件

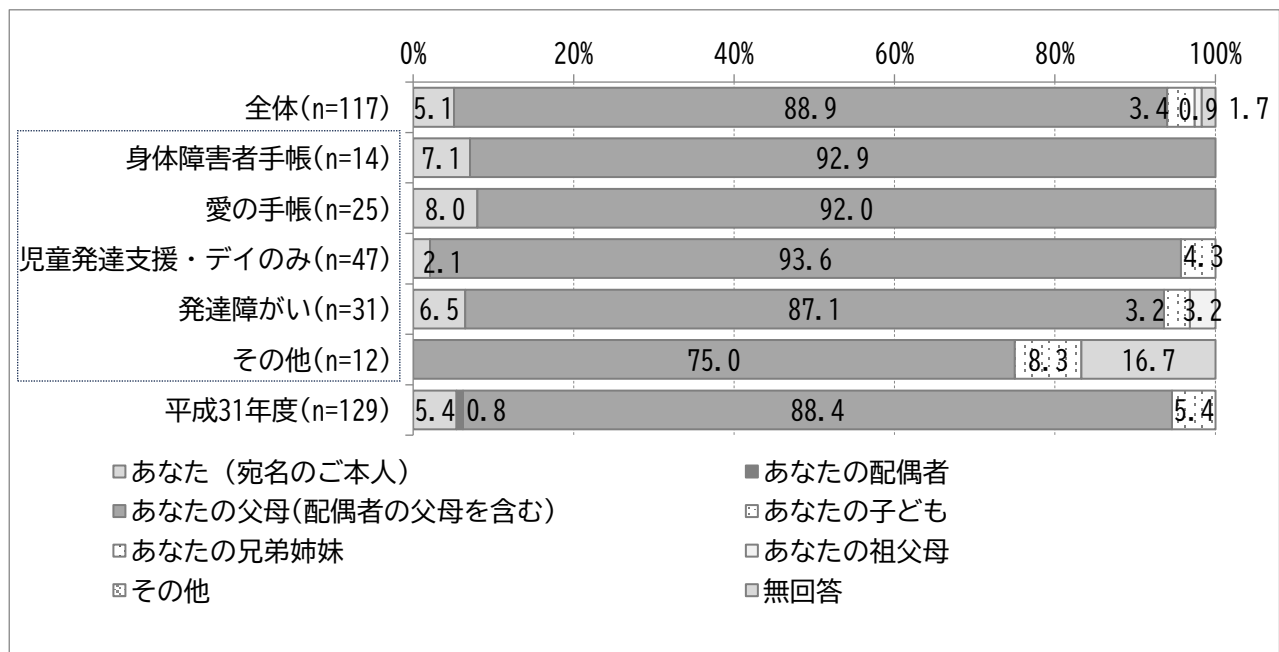
- ・小学生の頃からの教育が大切。障がいのある方への思いやり、助け合える心、障がいを抱え不自由ながらも、精一杯生きていることを小学生の頃から理解させる。学級を分けずに触れ合って、自然な生活の中で、自然に理解できるように担任の力量も大切
- ・家族から殴られたとき、泊めてくれる場所が欲しい。一度、市役所に助けて欲しいと言ったら、名前や住所、全て書かないと何もできないと言われてあきらめたことがあります。匿名で一晩だけでもいいから保護してくれる所があると、とても良い。
- ・障がい者ばかりでなく、未来のある子どものために役立てて欲しい。障がい者はある意味優遇されているはず。障がい者と子ども、共存しながら明るい狛江市を目指して下さい。
- ・いつも狛江市民のことを考え、市民が暮らしやすいまちを提供して下さり、ありがとうございます。
- ・市民が傷づかない、ポジティブな社会であれば問題ないと思います。
- ・特にありません。市役所の対応が丁寧でありがたいです。

## 第7章 障がい児等調査

### A 本人、家族について（基本事項）

問1 この調査に回答される方はどなたですか。（○は1つ）

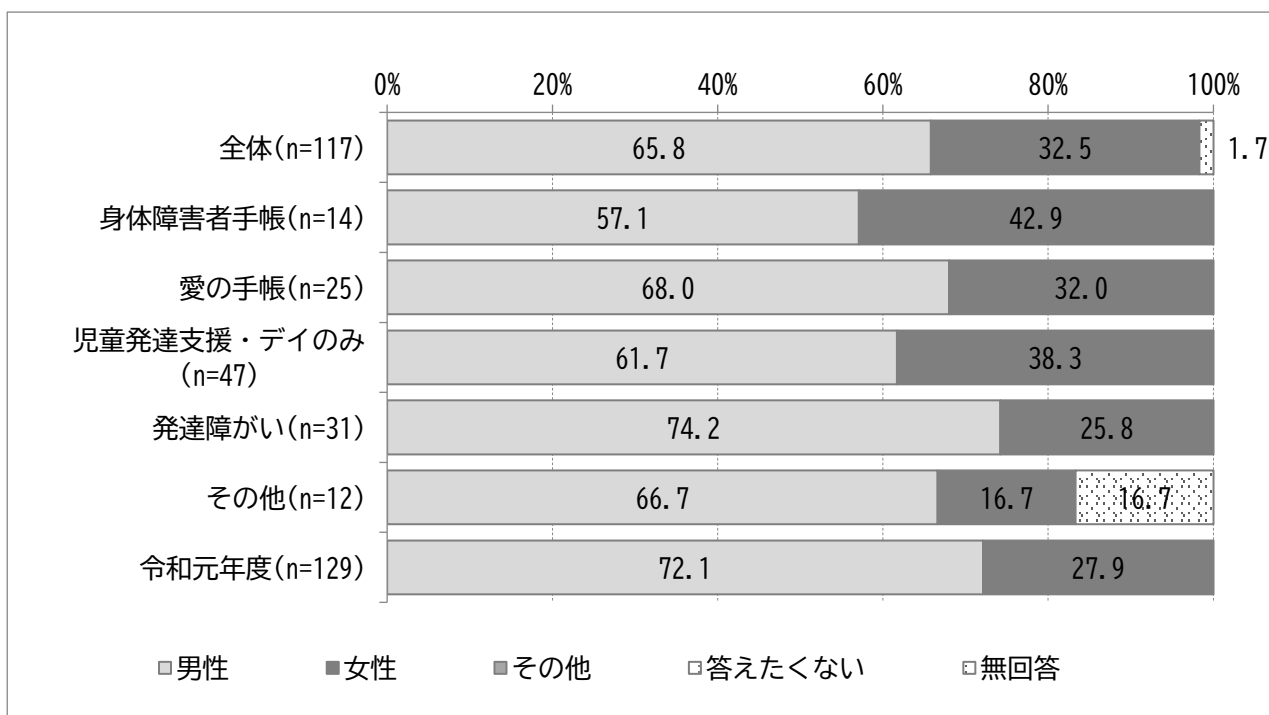
調査の回答者は、「あなたの父母（配偶者の父母を含む）」が88.9%で最も多く、次いで、「あなた（宛名のご本人）」が5.1%となっています。



※ 「身体障害者手帳」、「愛の手帳」、「児童発達支援・デイのみ」及び「発達障がい」のnの数は、問9で「お持ちの手帳又は受けている診断名等」についてそれぞれ「身体障害者手帳を持っている」、「愛の手帳を持っている」、「児童発達支援又は放課後等デイサービスを利用している」及び「発達障がいの診断を受けている」を選択された方の数です。「その他」は、「精神障害者保健福祉手帳を持っている」、「自立支援医療を受給している」、「高次脳機能障がいの診断を受けている」、「難病又は小児慢性特定疾病の診断を受けている」及び「その他」を選択された方の合計者数です。なお、問9では、複数回答ができること、「無回答」の方がいることから各エリアのnの合計者数と全体の回答者数とは、合致しません。以下この章で同じです。

問2 あなた（宛名のご本人）の性別を選択・ご記入ください。（○は1つ）

性別は、「男性」が65.8%で最も多く、次いで、「女性」が32.5%となっています。

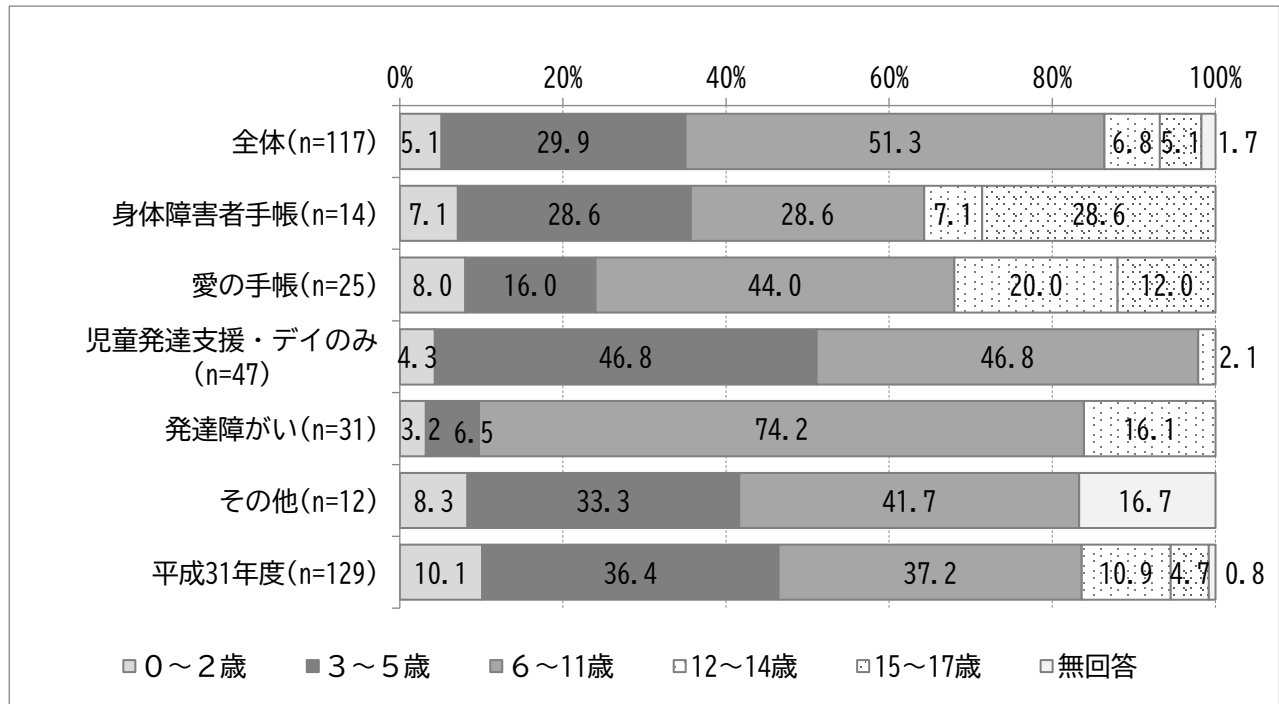


第7章 障がい児等調査

A 本人、家族について（基本事項）

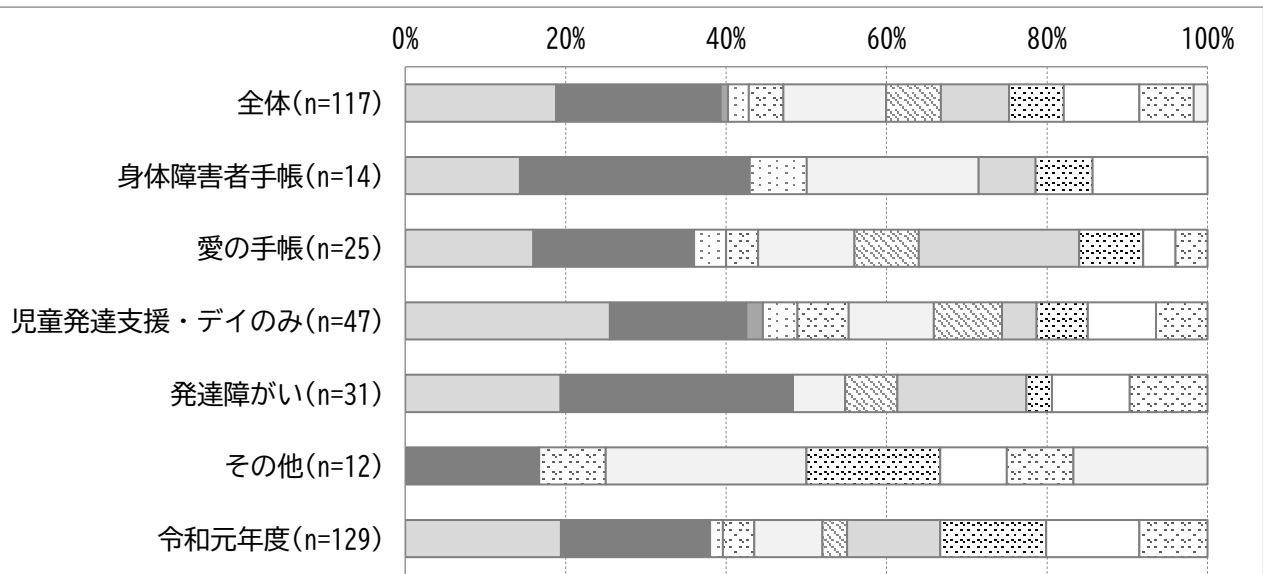
問3 令和4年12月1日現在のあなた（宛名のご本人）の年齢をお伺いします。（○は1つ）

年齢は、「6～11歳」が51.3%で最も多く、次いで、「3～5歳」が29.9%となっています。



問4 お住まいの地域はどちらですか。(○は1つ)

居住地域は、「中和泉」が20.5%で最も多く、次いで、「和泉本町」が18.8%となっています。

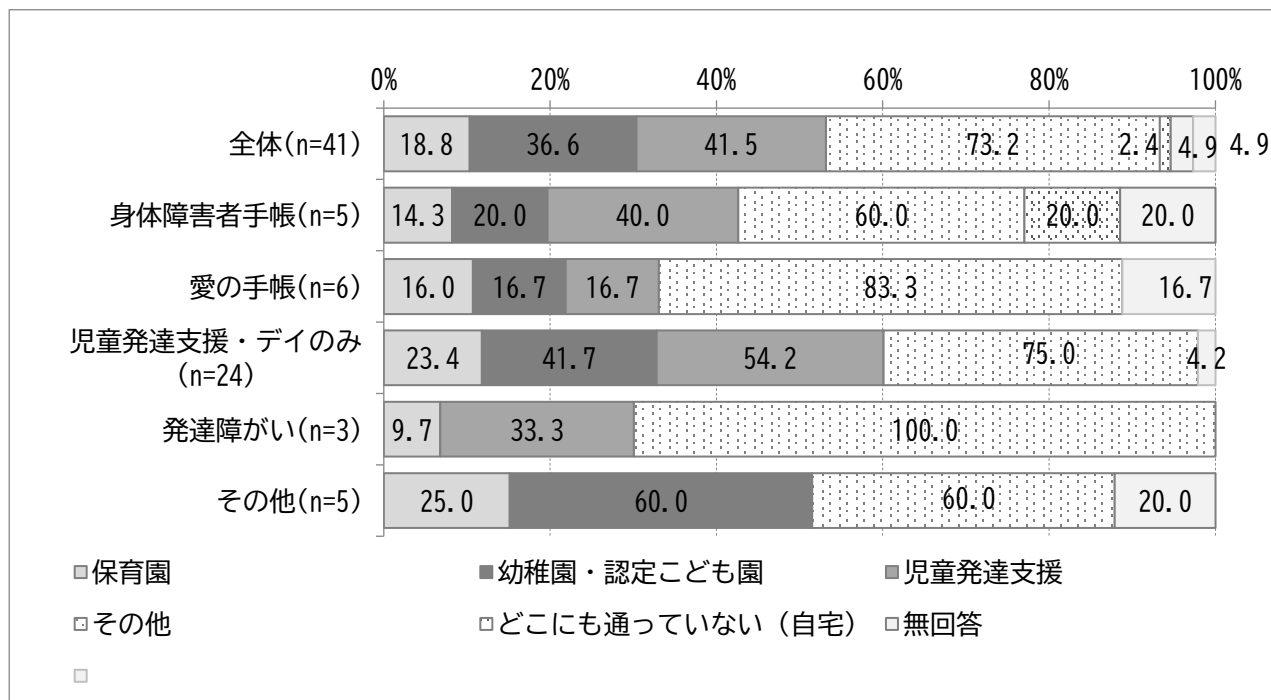


	令和元年度 (n=129)	その他 (n=12)	発達障がい (n=31)	児童発達支 援・デイの み(n=47)	愛の手帳 (n=25)	身体障害者 手帳(n=14)	全体(n=117)
□和泉本町	19.4	0.0	19.4	25.5	16.0	14.3	18.8
■中和泉	18.6	16.7	29.0	17.0	20.0	28.6	20.5
■西和泉	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.9
□元和泉	1.6	0.0	0.0	4.3	4.0	7.1	2.6
▣東和泉	3.9	8.3	0.0	6.4	4.0	0.0	4.3
□猪方	8.5	25.0	6.5	10.6	12.0	21.4	12.8
▣駒井町	3.1	0.0	6.5	8.5	8.0	0.0	6.8
□岩戸南	11.6	0.0	16.1	4.3	20.0	7.1	8.5
▣岩戸北	13.2	16.7	3.2	6.4	8.0	7.1	6.8
□東野川	11.6	8.3	9.7	8.5	4.0	14.3	9.4
□西野川	8.5	8.3	9.7	6.4	4.0	0.0	6.8
□無回答	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7

問5 あなたが通っているところがありますか。

(1) 就学前の場合（あてはまるもの全てに○）

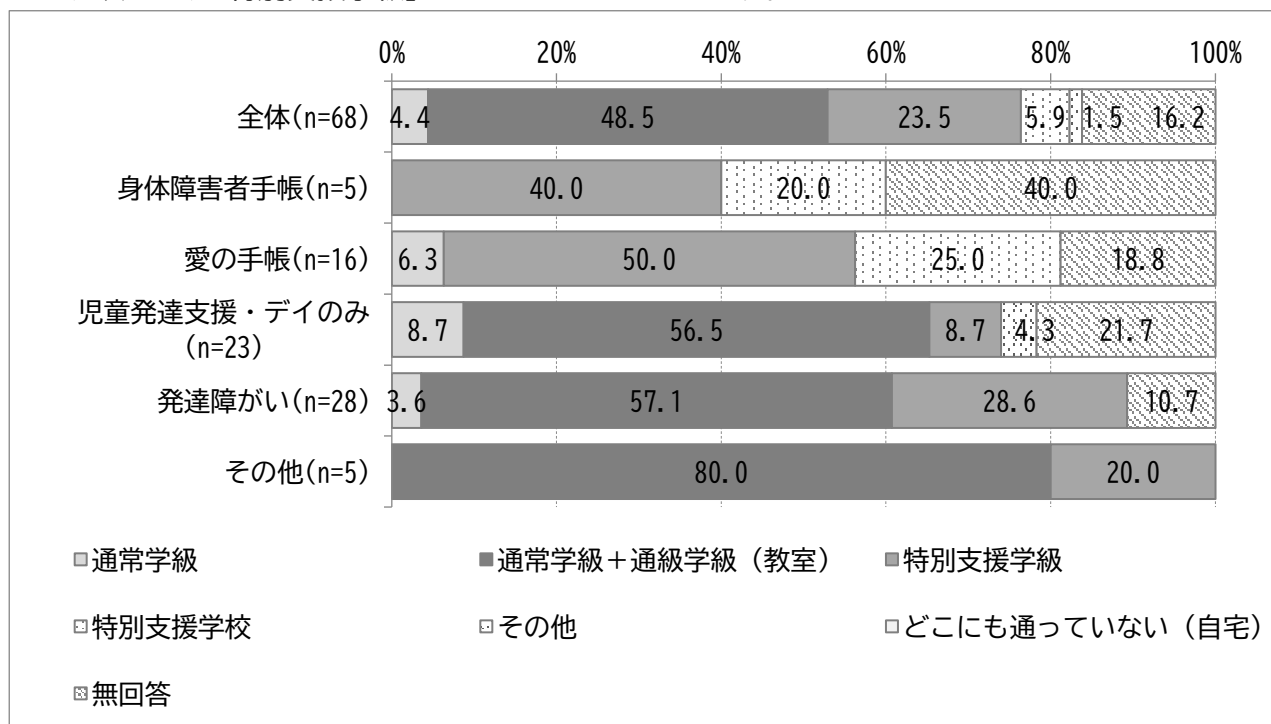
就学前の方が通っているところは、「どこにも通っていない（自宅）」が73.2%で最も多く、次いで、「児童発達支援」が41.5%となっています。



問5 あなたが通っているところがありますか。

(2) 小学校・中学校の場合(1つに○)

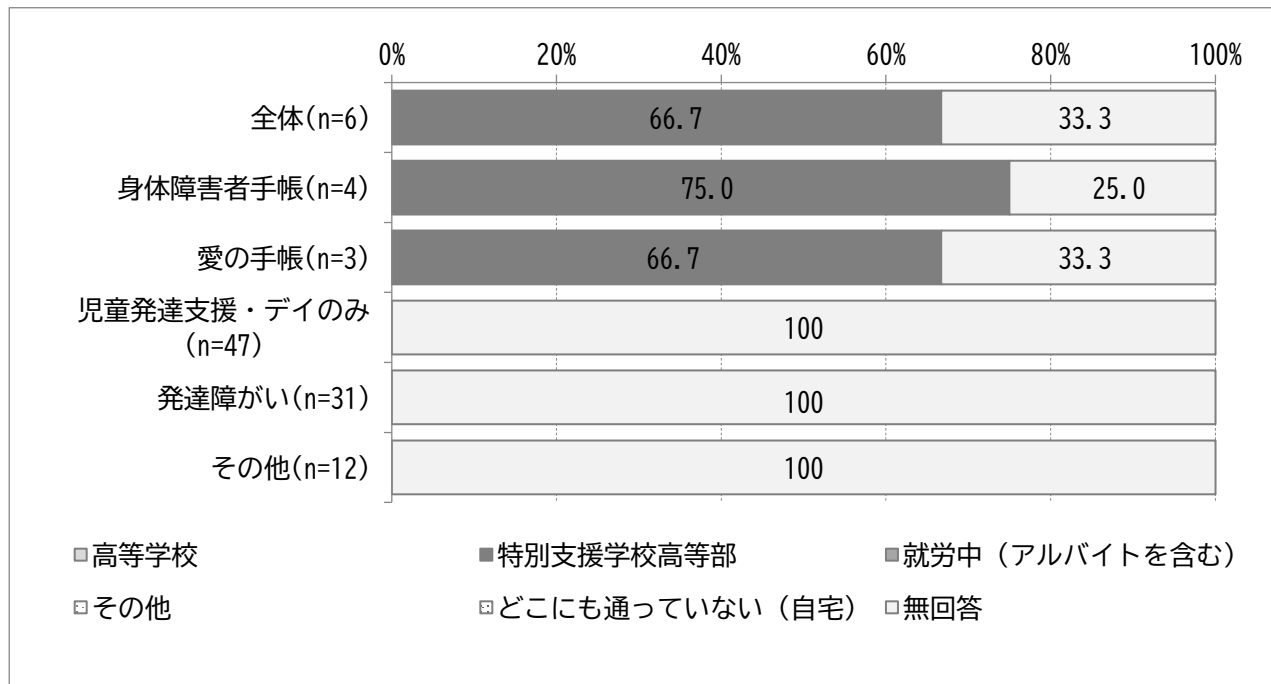
小学校・中学校の方が通っているところは、「通常学級+通級学級(教室)」が48.5%で最も多く、次いで、「特別支援学級」が23.5%となっています。



問5 あなたが通っているところがありますか。

（3）義務教育終了の場合（あてはまるもの全てに○）

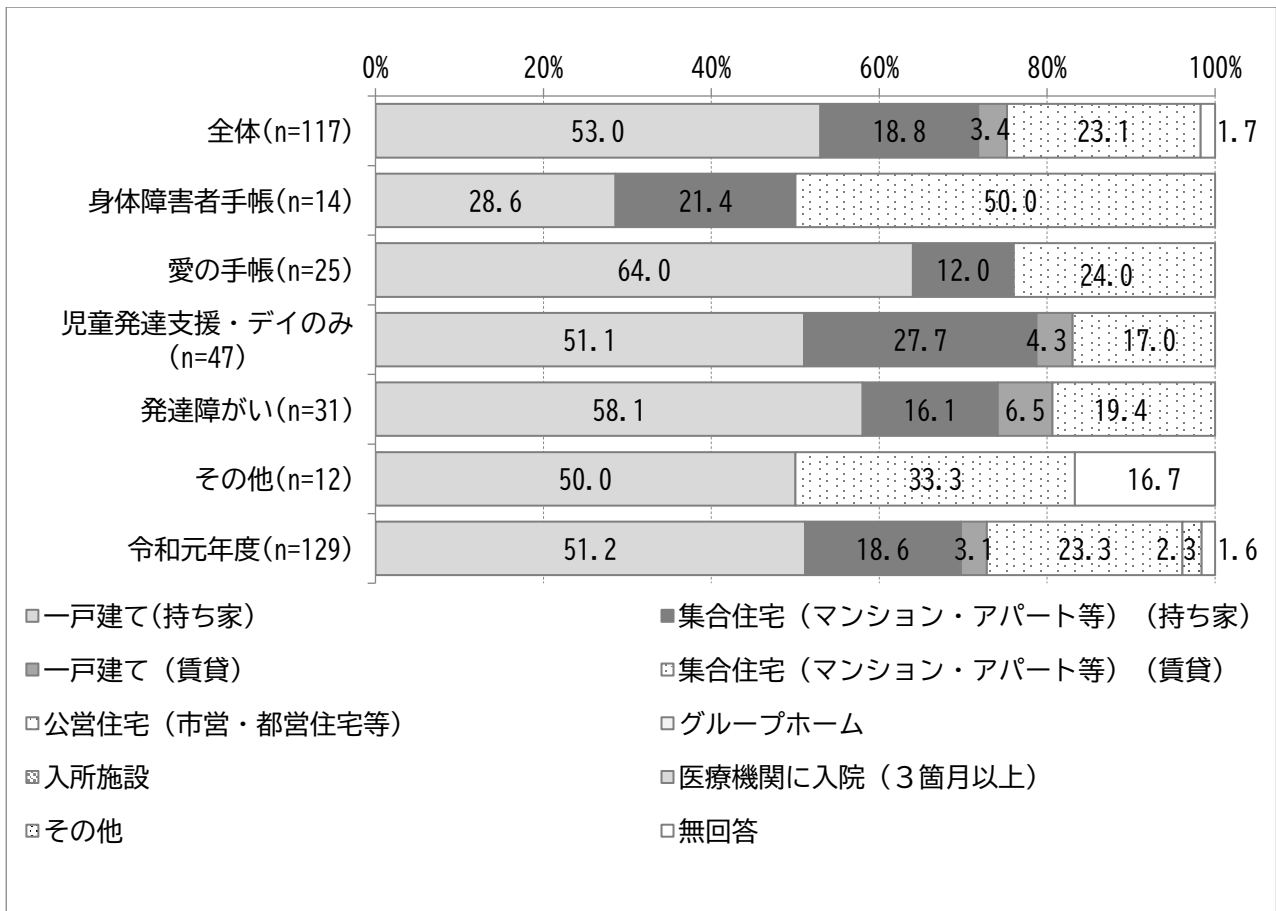
義務教育を終了した方が通っているところは、「特別支援学校高等部」が66.7%となっています。





問6 あなたのお住まいは、次のどれですか。(○は1つ)

居住形態は、「一戸建て（持ち家）」が53.0%で最も多く、次いで、「集合住宅（マンション・アパート等）（賃貸）」が23.1%となっています。

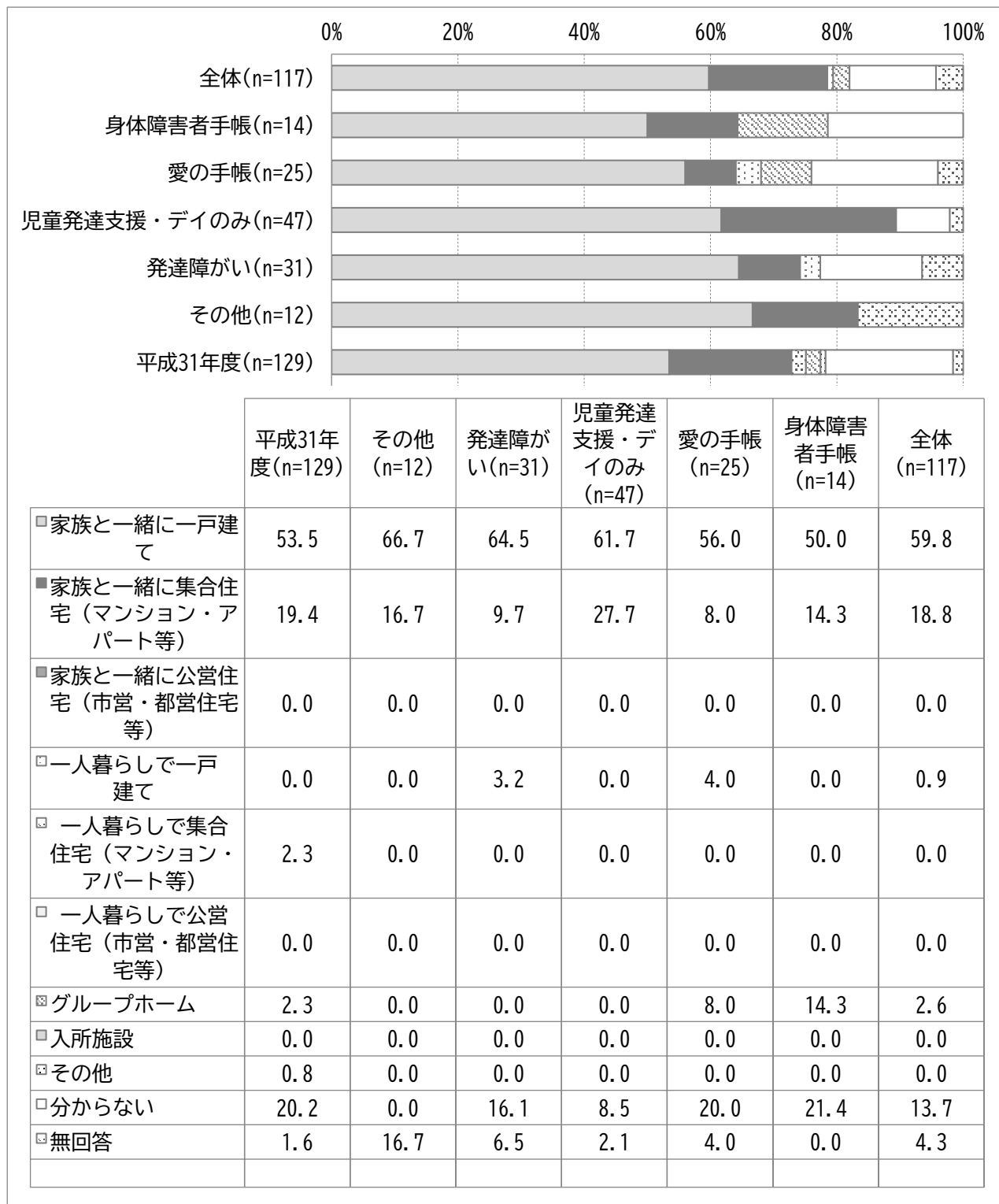


第7章 障がい児等調査

A 本人、家族について（基本事項）

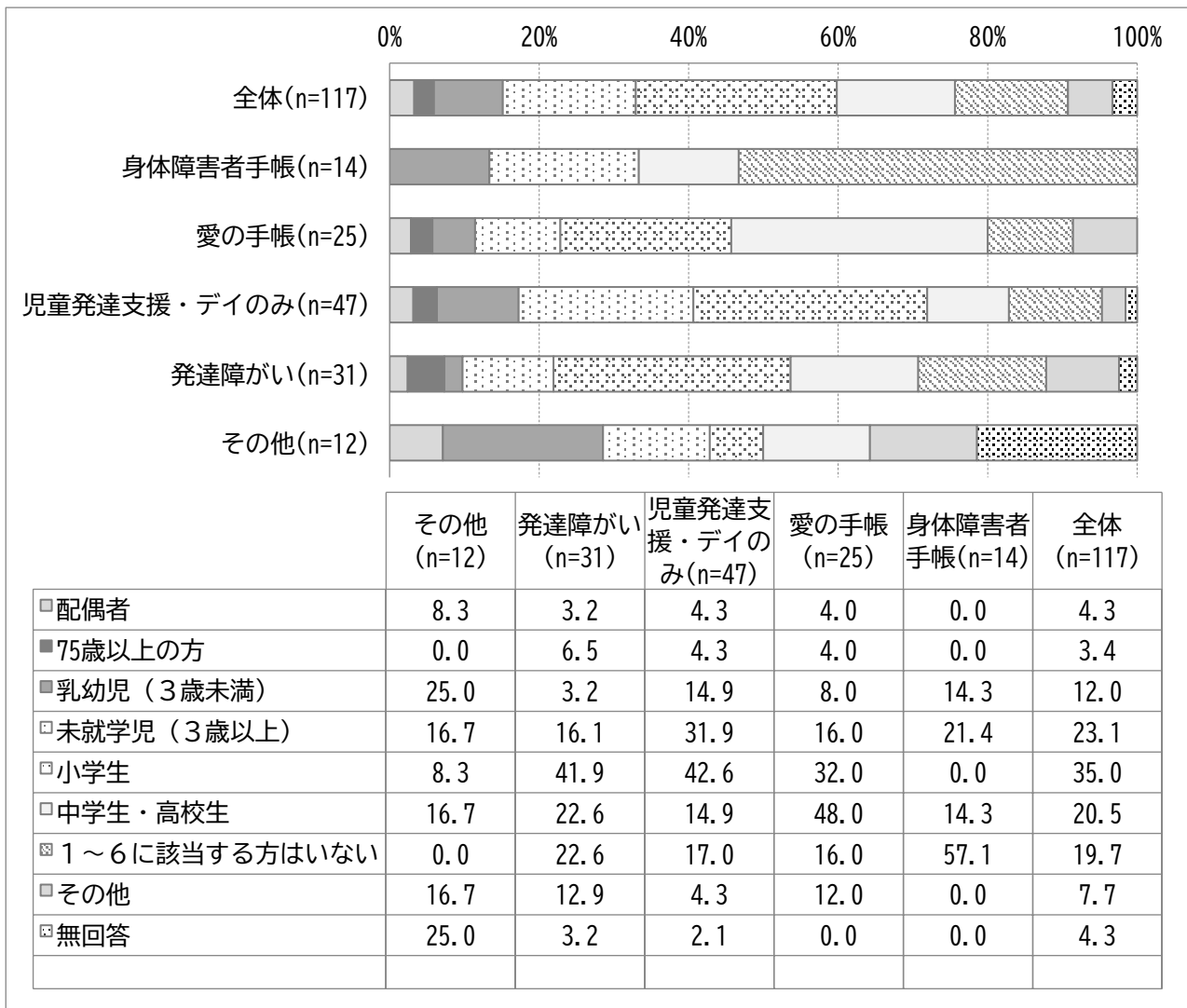
問7 あなたは今後、誰とどのようなお住まいで生活したいと思いますか。（○は1つ）

希望する同居者と住まいについては、「家族と一緒に一戸建て」が59.8%で最も多く、次いで、「家族と一緒に集合住宅（マンション・アパート等）」が18.8%となっています。



問8 あなたご自身も含め、ご家族（同居）の中に次の方はいますか。（○はいくつでも）

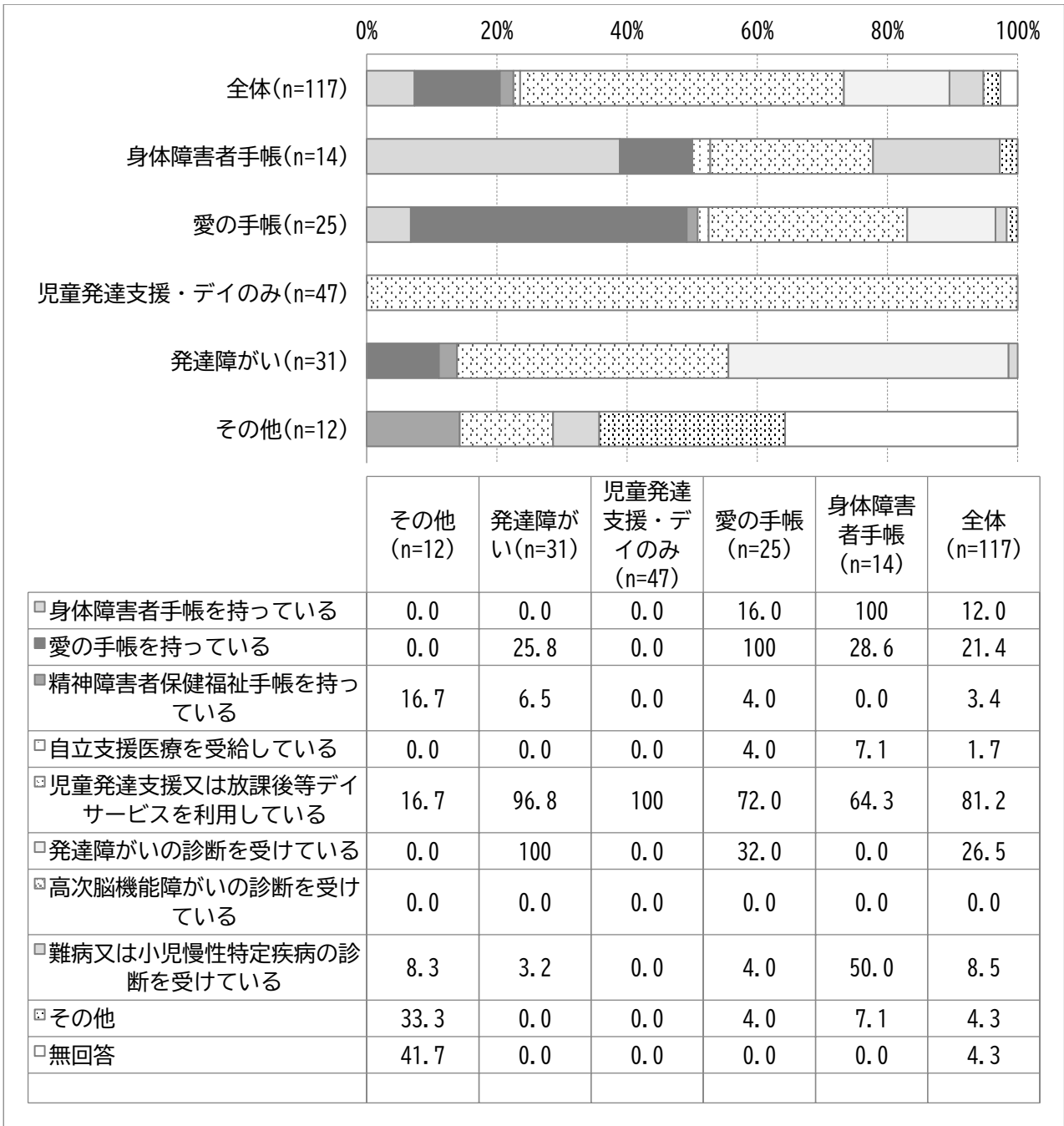
同居している方は、「小学生」が35.0%で最も多く、次いで、「未就学児（3歳以上）」が23.1%となっています。



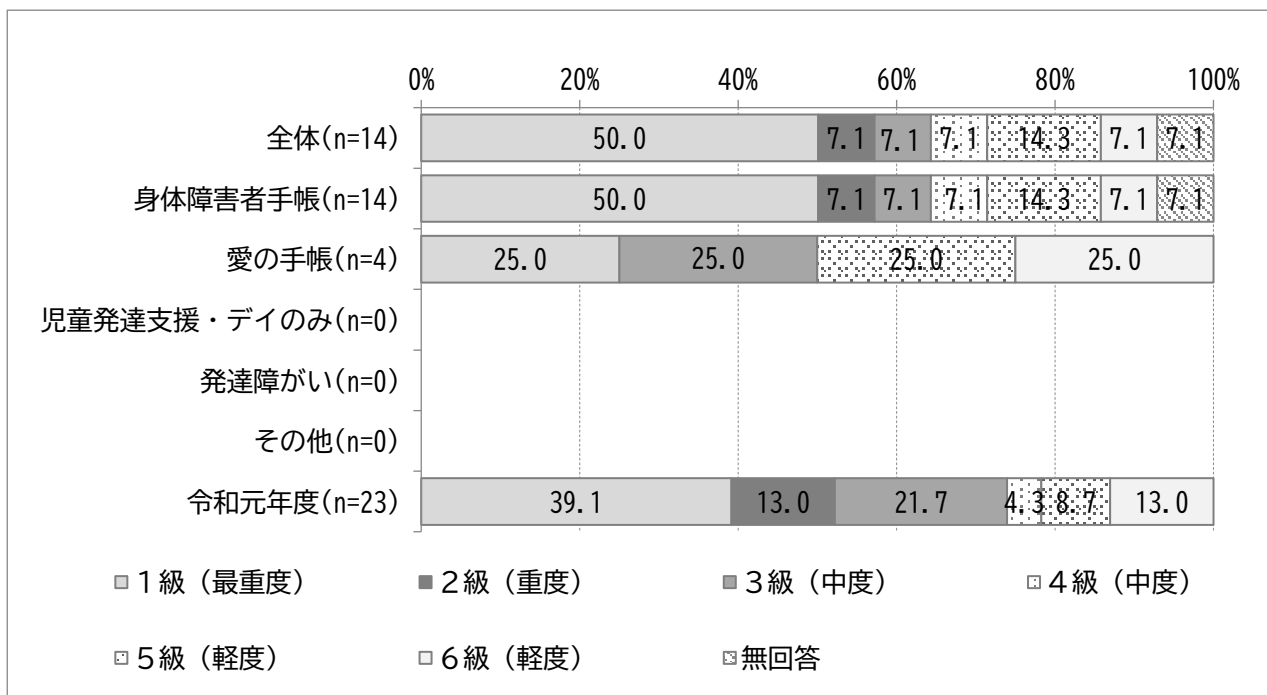
問9 お持ちの手帳又は受けている診断名等は何ですか。また、手帳の等級をご記入ください。（○はいくつでも）

<所持している手帳又は診断名等>

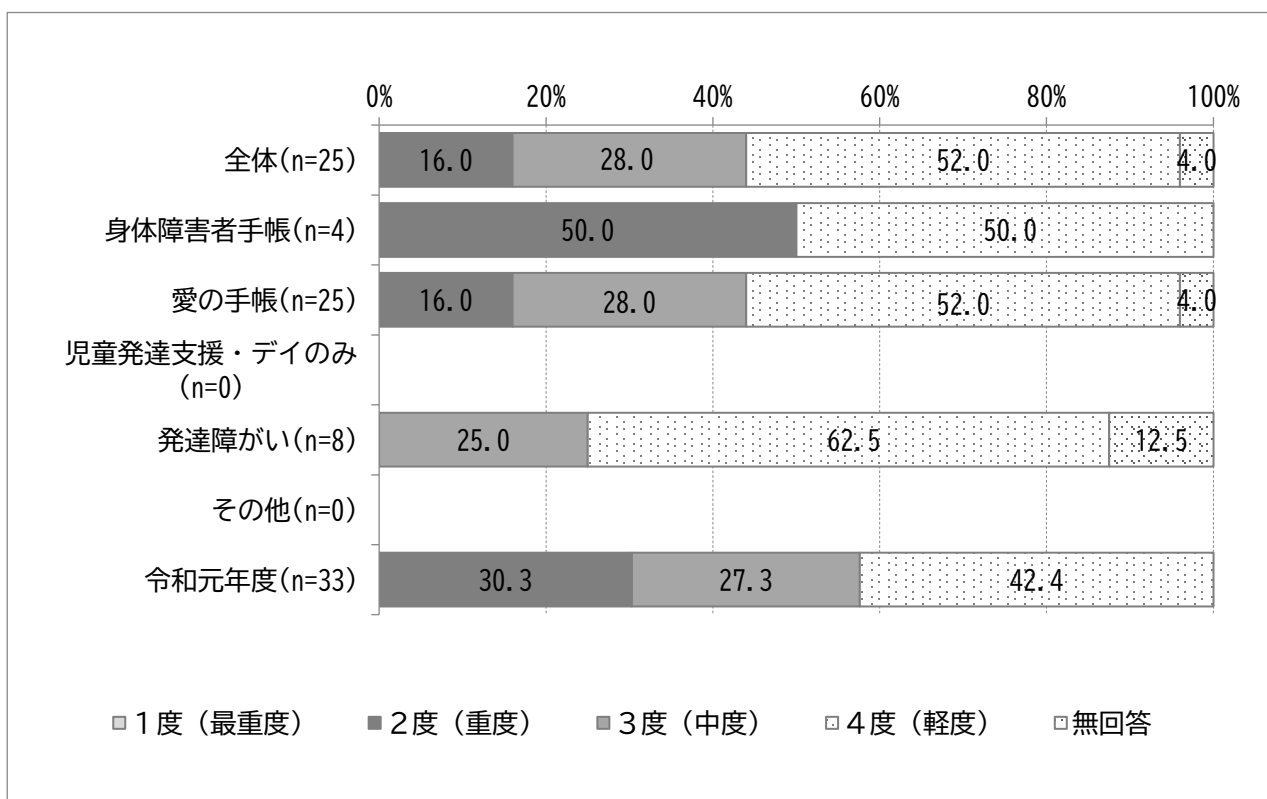
お持ちの手帳や受けている診断名等は、「児童発達支援又は放課後等デイサービスを利用している」が81.2%で最も多く、次いで、「発達障がいの診断を受けている」が26.5%となっています。



<身体障害者手帳：等級>



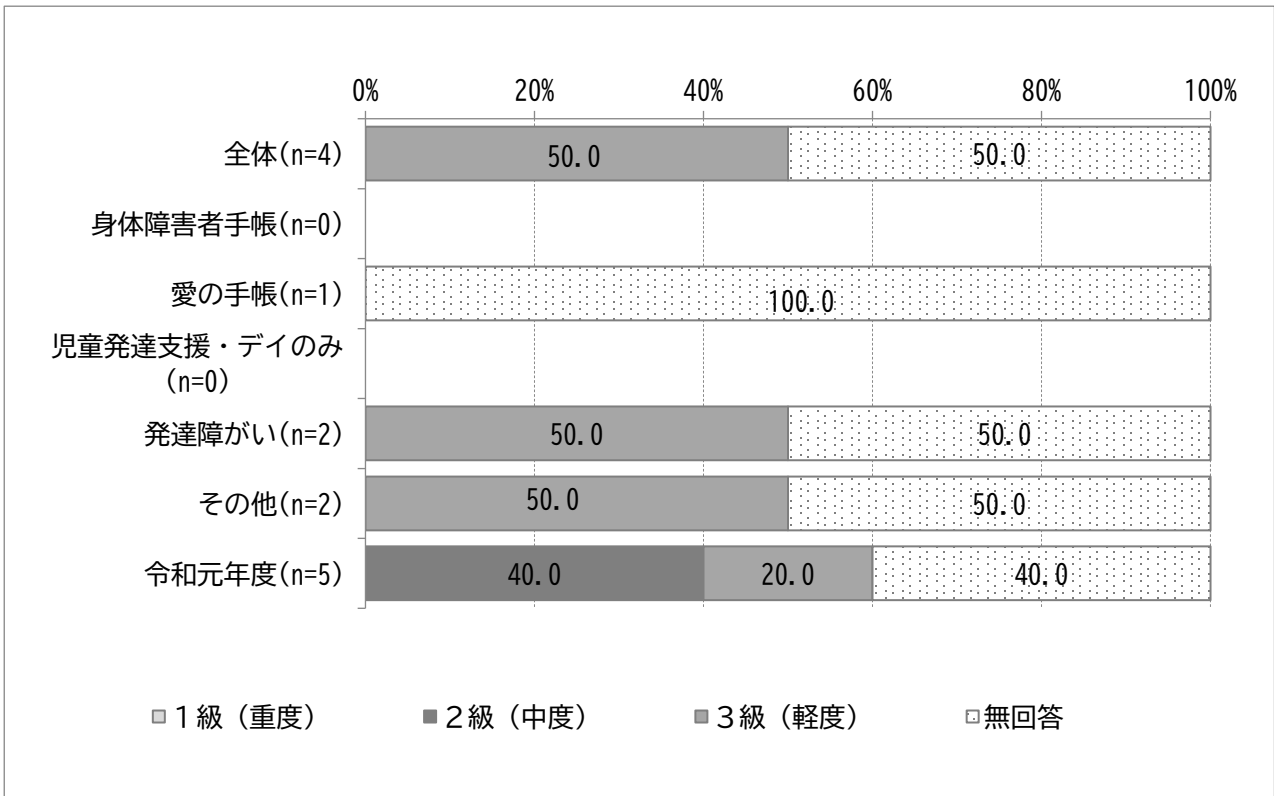
<愛の手帳：等級>



第7章 障がい児等調査

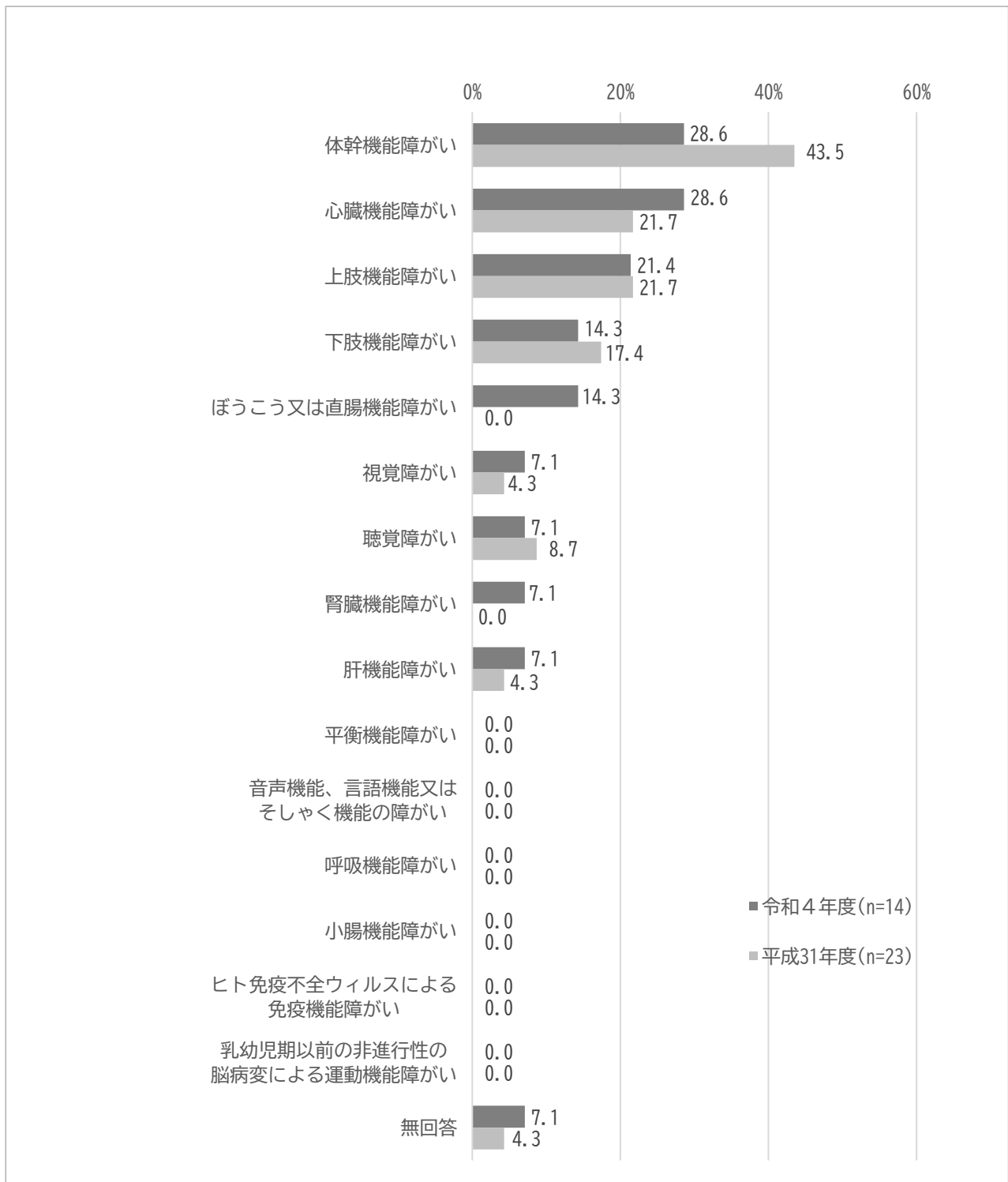
A 本人、家族について（基本事項）

<精神障害者保健福祉手帳：等級>



問 10 【問 9 で「身体障害者手帳を持っている」と回答した方にお伺いします。】障がいの種別は何ですか。(〇はいくつでも)

障がいの種別は、「体幹機能障がい」及び「心臓機能障がい」がそれぞれ 28.6%で最も多く、次いで、「上肢機能障がい」が 21.4%となっています。



第7章 障がい児等調査

A 本人、家族について(基本事項)

(単位：人、%)

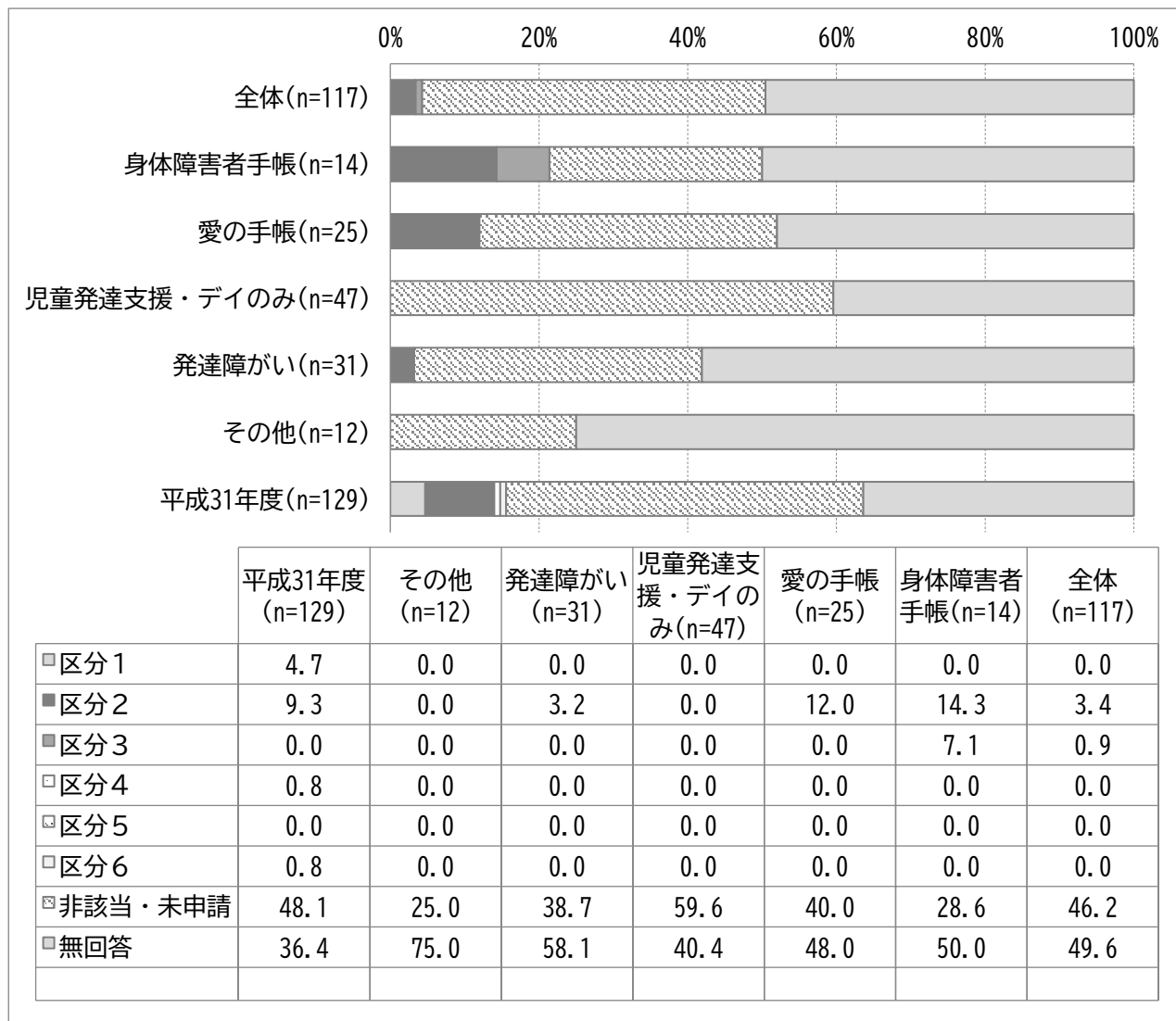
区分	人数	無回答	乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障がい	ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障がい	小腸機能障がい	呼吸機能障がい	音声機能、言語機能又はそしやく機能の障がい	平衡機能障がい	肝機能障がい
全体	14	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
身体障害者手帳	14	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
愛の手帳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
児童発達支援・デイのみ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障がい	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成 31 年度	23	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3

区分	腎臓機能障がい	聴覚障がい	視覚障がい	ぼうこう又は直腸機能障がい	下肢機能障がい	上肢機能障がい	心臓機能障がい	体幹機能障がい
全体	7.1	7.1	7.1	14.3	14.3	21.4	28.6	28.6
身体障害者手帳	7.1	7.1	7.1	14.3	14.3	21.4	28.6	28.6
愛の手帳	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	50.0
児童発達支援・デイのみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障がい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成 31 年度	0.0	8.7	4.3	0.0	17.4	21.7	21.7	43.5



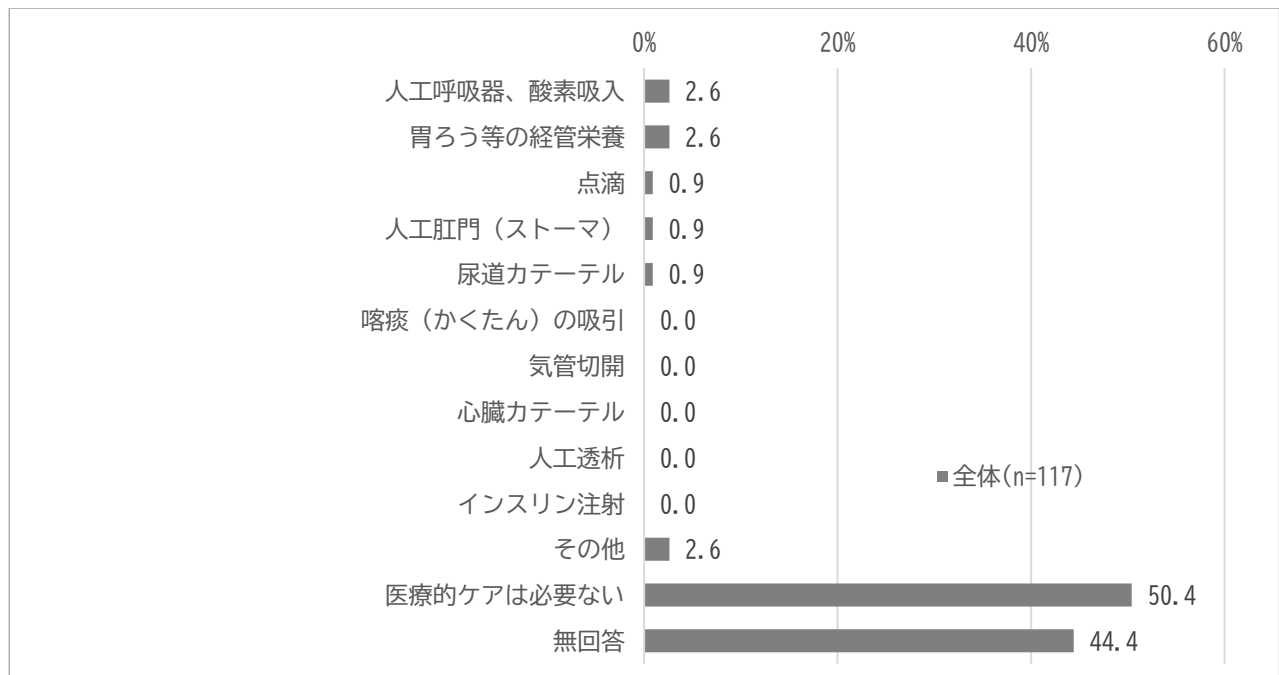
問 11 障害支援区分は何ですか。(○は1つ)

障害支援区分は、「非該当・未申請」が46.2%で最も多く、次いで、「区分2」が3.4%となっています。



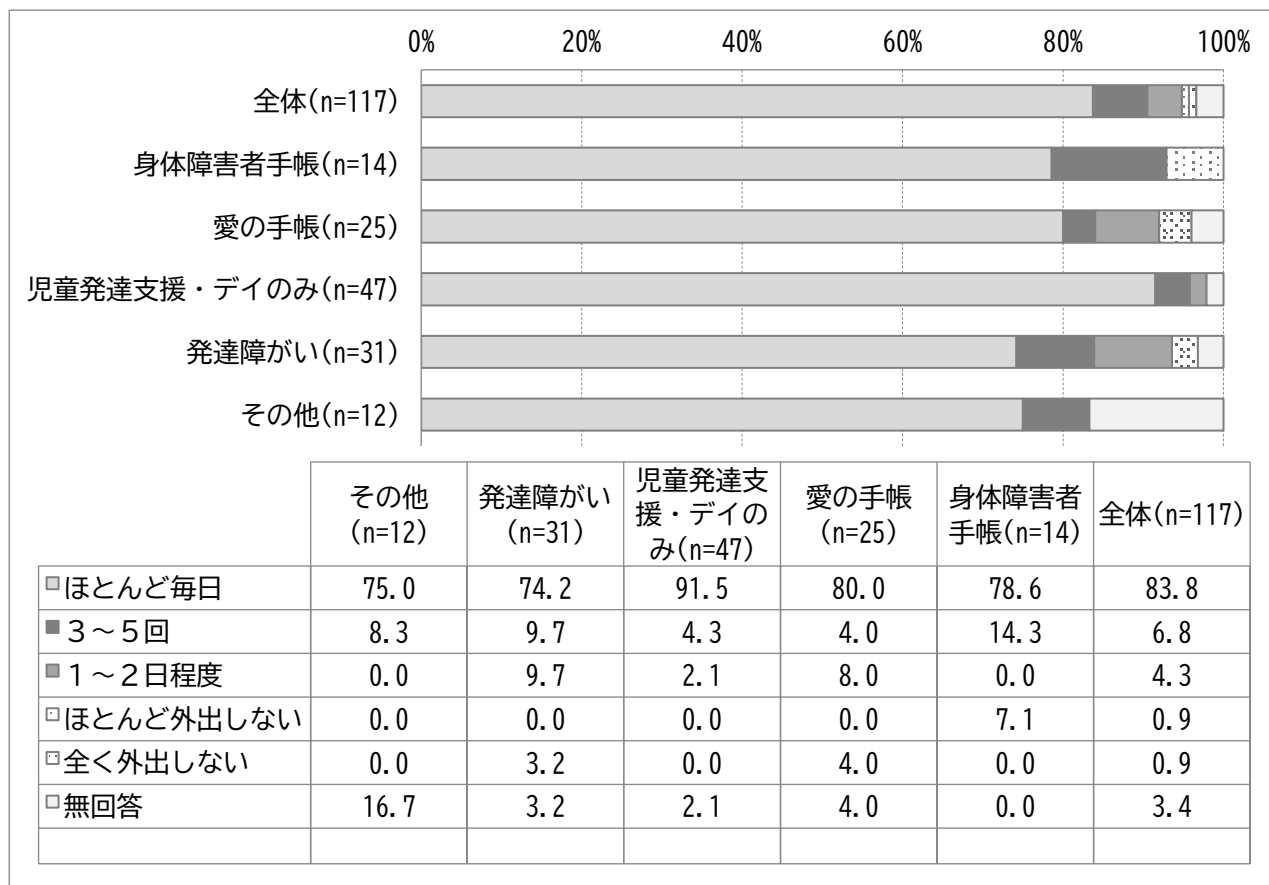
問 12 普段の生活で医療的ケアを必要としていますか。必要としている場合は、具体的な内容を選択してください。（○はいくつでも）

普段の生活で医療的ケアが必要な方は、「人工呼吸器、酸素吸入」及び「胃ろう等の経管栄養」がそれぞれ2.6%で最も多く、次いで、「点滴」が0.9%となっています。



問 13 あなたは週にどのくらい外出しますか。(○は1つ)

外出の頻度は、「ほとんど毎日」が83.8%で最も多く、次いで、「3～5回」が6.8%となっています。

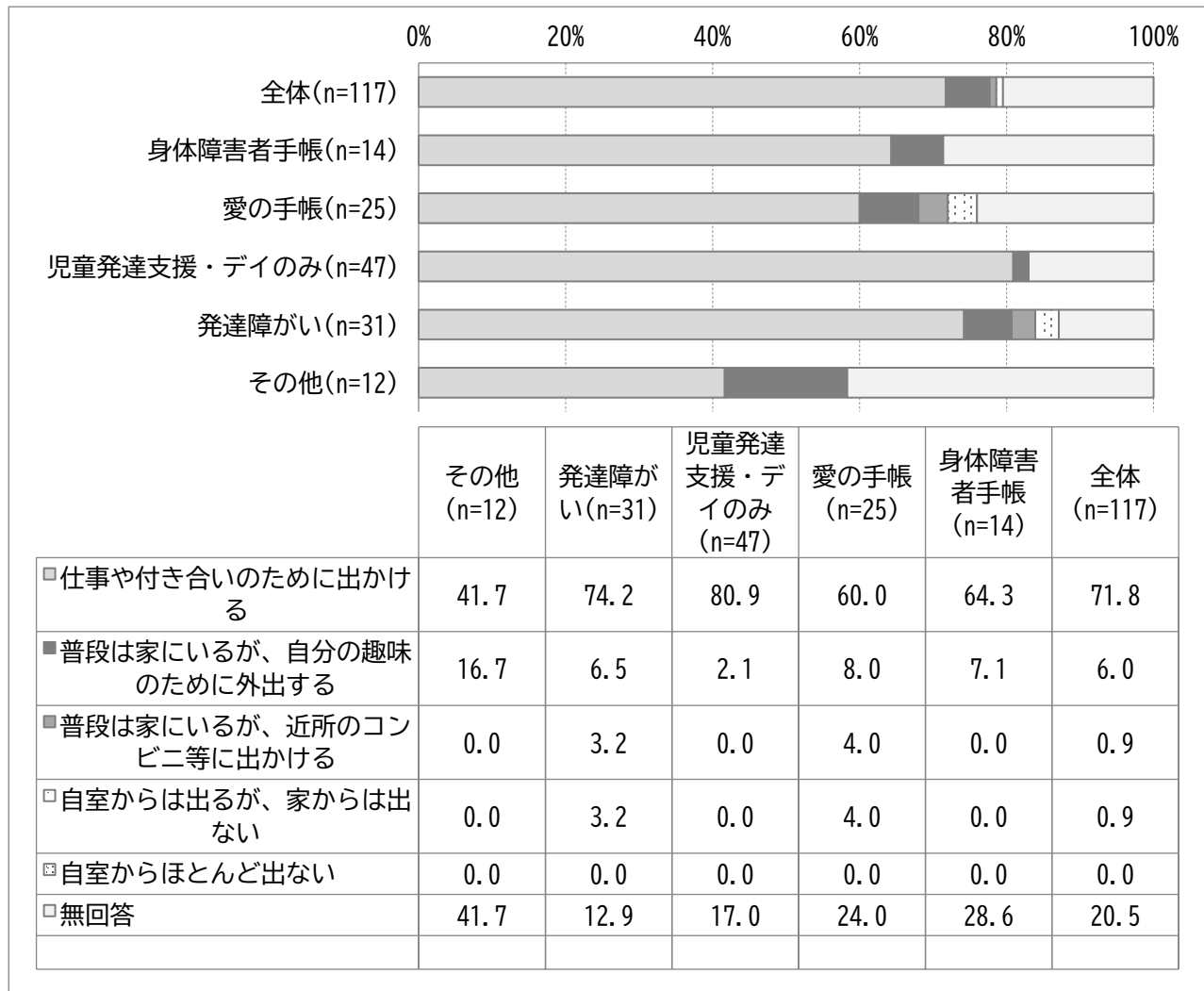


第7章 障がい児等調査

A 本人、家族について（基本事項）

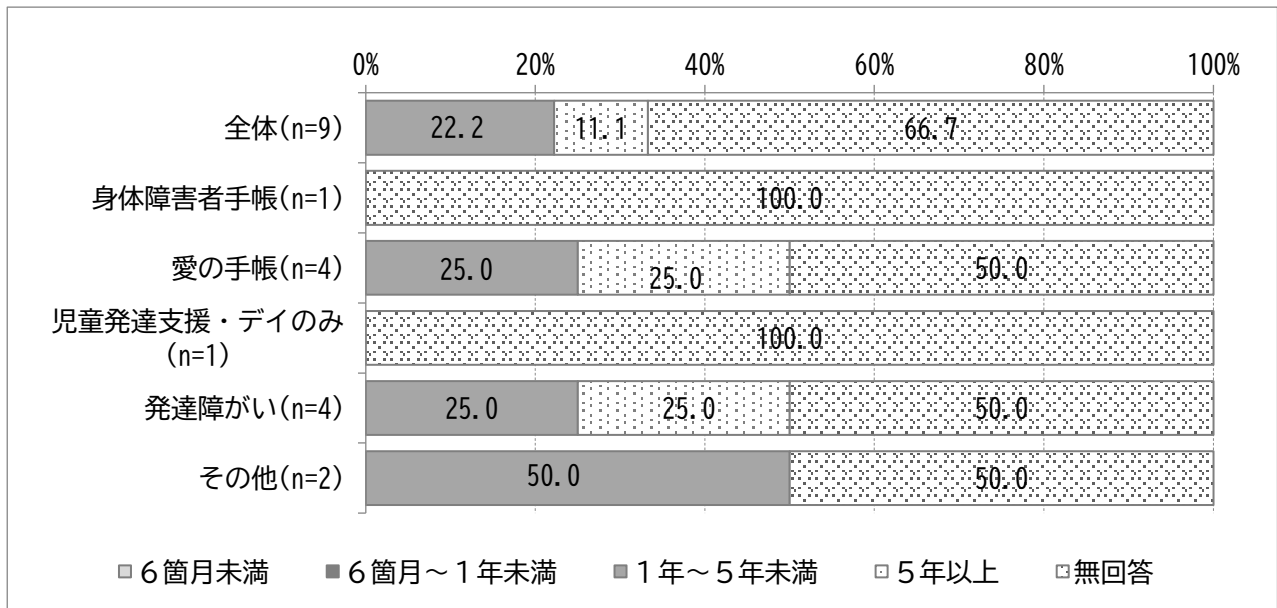
問 14 外出の理由は何ですか。（○は1つ）

外出の理由は、「仕事や付き合いのために出かける」が71.8%で最も多く、次いで、「普段は家にいるが、自分の趣味のために外出する」が6.0%となっています。



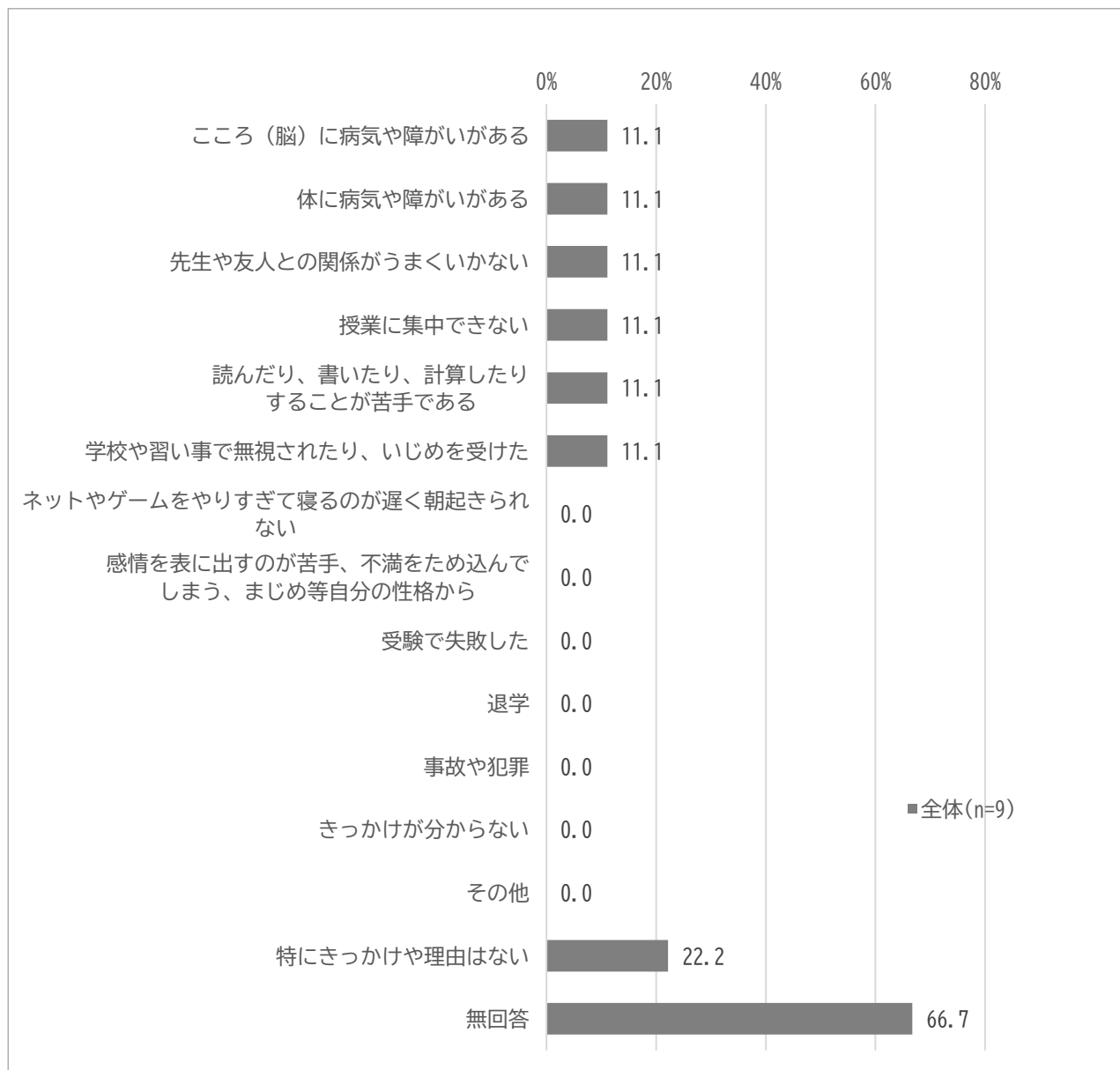
問 15 【問 14 で「自室からほとんど出ない」に○を付けた方のみにお伺いします】①その状態になってどのくらい続いていますか。(○は1つ)

現在の外出の状態の継続期間は、「1年～5年未満」が22.2%で最も多く、次いで、「5年以上」が11.1%となっています。



問 15-2 【問 14 で「自室からほとんど出ない」に○を付けた方のみにお伺いします】  
その状態になったきっかけは何ですか。（○はいくつでも）

現在の外出の状態に至ったきっかけは、「こころ（脳）に病気や障がいがある」、「体に病気や障がいがある」、「先生や友人との関係がうまくいかない」、「授業に集中できない」、「読んだり、書いたり、計算したりすることが苦手である」、「学校や習い事で無視されたり、いじめを受けた」がそれぞれ 11.1%となっています。



(単位：人、%)

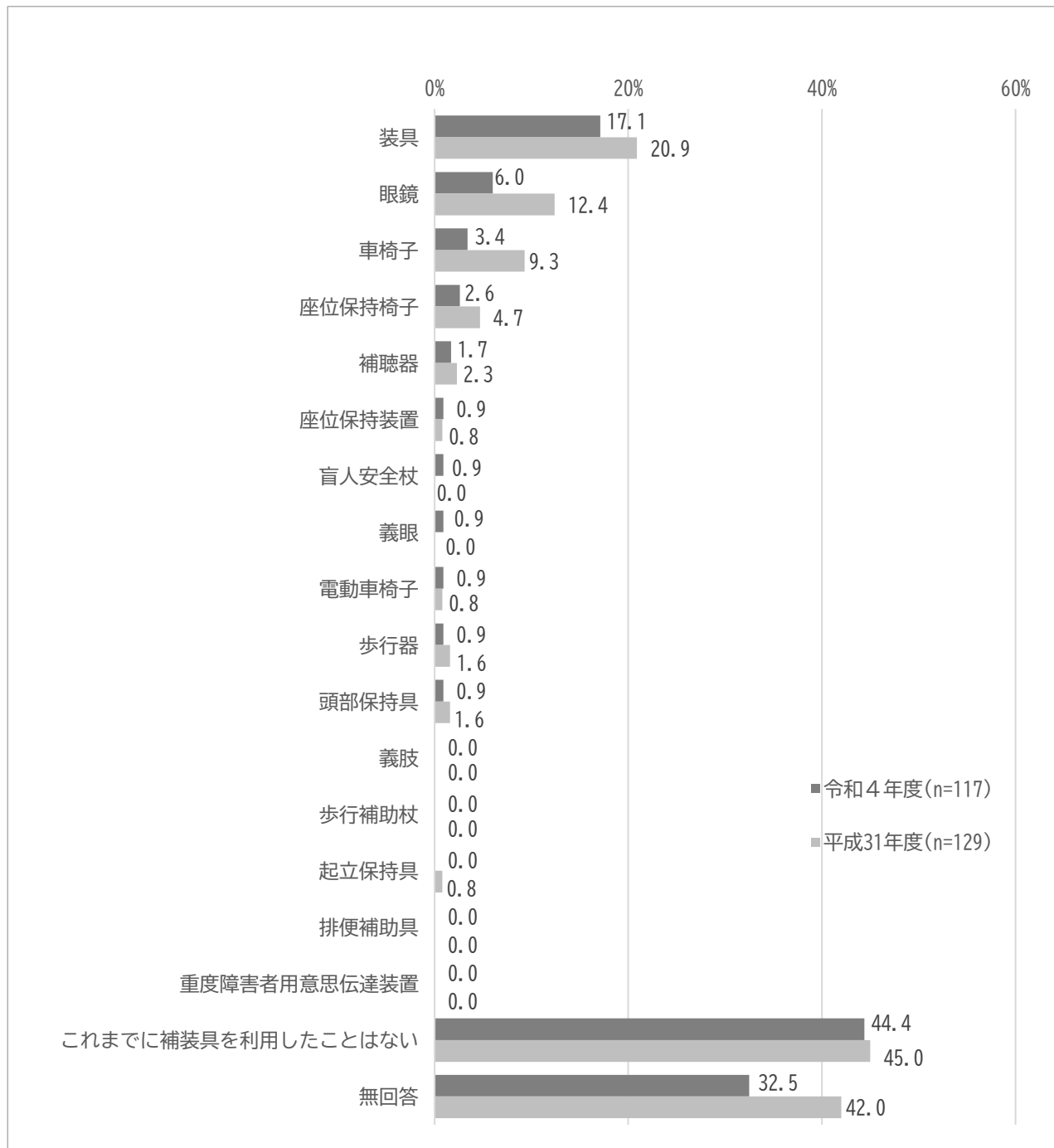
区分	人数	無回答	特にきつかけや理由はない	その他	きつかけが分からない	事故や犯罪	退学	受験で失敗した
全体	9	66.7	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
身体障害者手帳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
愛の手帳	4	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
児童発達支援・デイのみ	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障がい	4	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	感情を表に出すのが苦手、不満をため込んでしまう、まじめ等自分の性格から	ネットやゲームをやりすぎて寝るのが遅く朝起きられない	学校や習い事で無視されたたり、いじめを受けさせられたり	読んだり、書いたり、計算したりすることが苦手である	授業に集中できない	先生や友人との関係がうまくいかない	体に病気や障がいがある	こころ(脳)に病気や障がいがある
全体	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1
身体障害者手帳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
愛の手帳	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
児童発達支援・デイのみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障がい	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

**B 市の障がい福祉サービスについて**

問 16 あなたがこれまでに利用した補装具は何ですか。また、交換したことのある補装具がありましたら、交換の回数も教えてください。(〇はいくつでも)

これまでに利用した補装具及び交換したことのある補装具は、「装具」が17.1%と最も多く、次いで、「眼鏡」が6.0%となっています。





(単位：人、%)

区分	人数	無回答	これまでに補装具を利用したことはない	重度障害者用意思伝達装置	排便補助具	歩行補助杖	義肢	起立保持具	頭部保持具	歩行器
全体	117	32.5	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.9
身体障害者手帳	14	21.4	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1
愛の手帳	25	12.0	48.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0
児童発達支援・デイのみ	47	29.8	53.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障がい	31	45.2	45.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	12	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成31年度	129	42.0	45.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	1.6	1.6

区分	電動車椅子	義眼	盲人安全杖	座位保持椅子	補聴器	座位保持装置	車椅子	眼鏡	装具
全体	0.9	0.9	0.9	2.6	1.7	0.9	3.4	6.0	17.1
身体障害者手帳	7.1	0.0	7.1	21.4	7.1	0.0	28.6	21.4	50.0
愛の手帳	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	8.0	16.0	32.0
児童発達支援・デイのみ	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	2.1	14.9
発達障がい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	3.2	6.5
その他	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
平成31年度	0.8	0.0	0.0	4.7	2.3	0.8	9.3	12.4	20.9

第7章 障がい児等調査  
B 市の障がい福祉サービスについて

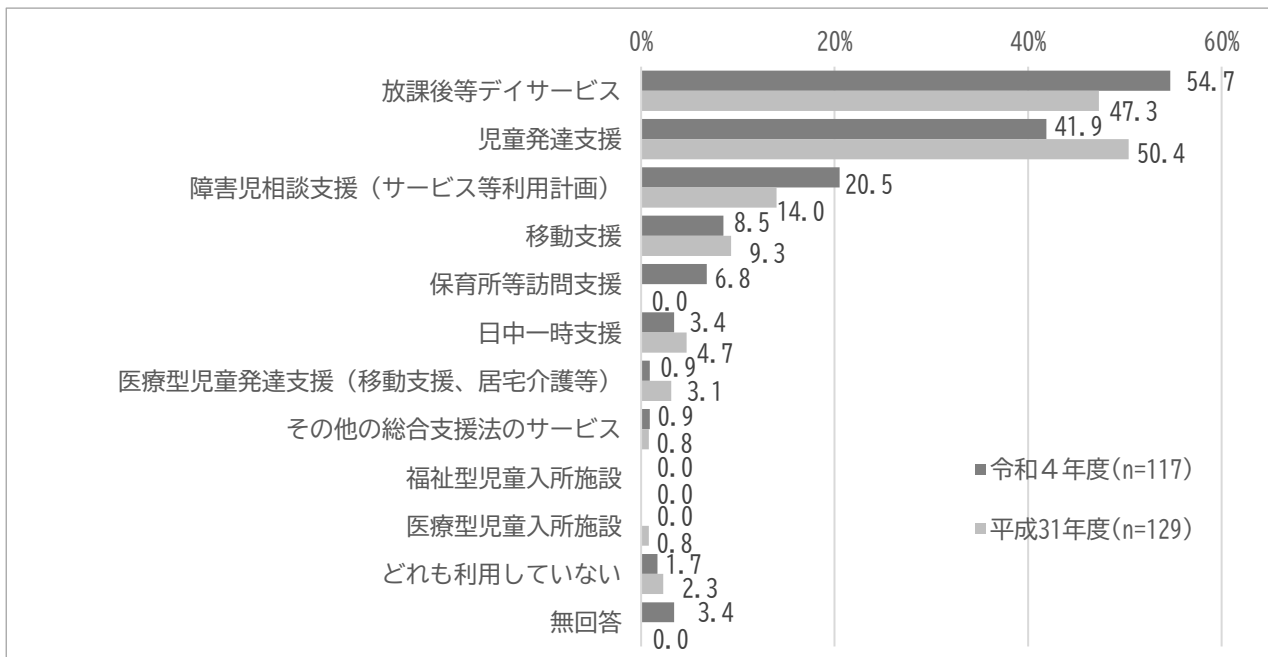
<補装具の用具別交換回数>

(単位：件数)

カテゴリ	合計 件数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回 以上	無 回答
義肢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
装具	20	3	5	6	2	1	0	2	0	1	0	0
座位保持装置	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
盲人安全杖	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
義眼	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
眼鏡	7	1	2	1	2	0	0	0	1	0	0	0
補聴器	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車椅子	4	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
電動車椅子	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歩行器	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歩行補助杖	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
座位保持椅子	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
起立保持具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
頭部保持具	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
排便補助具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重度障害者用 意思伝達装置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

問 17 あなたが、現在利用している障がい福祉サービス等は何ですか。(〇はいくつでも)

現在利用している障がい福祉サービス等は、「放課後デイサービス」が 54.7%と最も多く、次いで、「児童発達支援」が 41.9%となっています。



(単位：人、%)

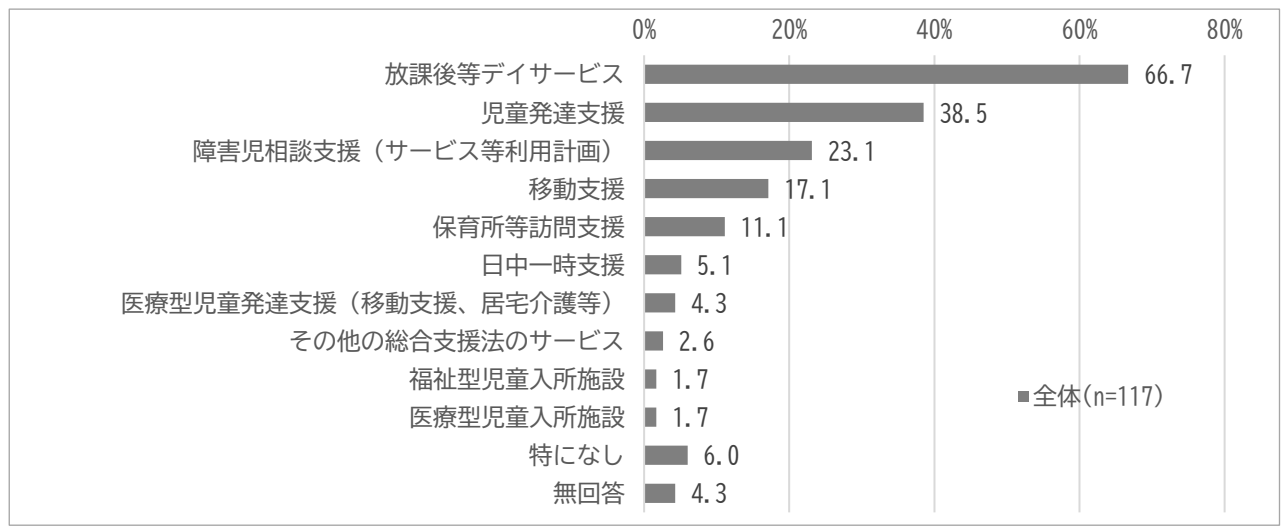
区分	人数	無回答	どれも利用していない	医療型児童入所施設	福祉型児童入所施設	その他の総合支援法のサービス	医療型児童発達支援(移動支援、居宅介護等)	日中一時支援	保育所等訪問支援	移動支援	障害児相談支援(サービス等利用計画)	児童発達支援	放課後等デイサービス
全体	117	3.4	1.7	0.0	0.0	0.9	0.9	3.4	6.8	8.5	20.5	41.9	54.7
身体障害者手帳	14	0.0	14.3	0.0	0.0	7.1	7.1	28.6	0.0	35.7	35.7	35.7	50.0
愛の手帳	25	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0	28.0	56.0	28.0	72.0
児童発達支援・デイのみ	47	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.5	0.0	8.5	59.6	38.3
発達障がい	31	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	29.0	22.6	80.6
その他	12	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	41.7	41.7
平成31年度	129	0.0	2.3	0.8	0.0	0.8	3.1	4.7	0.0	9.3	14.0	50.4	47.3

第7章 障がい児等調査

B 市の障がい福祉サービスについて

問 18 今後、利用してみたい、又は利用を継続したい障がい福祉サービスをお答えください。(〇はいくつでも)

今後、利用してみたい、又は利用を継続したい障がい福祉サービスは、「放課後等デイサービス」が66.7%と最も多く、次いで、「児童発達支援」が38.5%となっています。

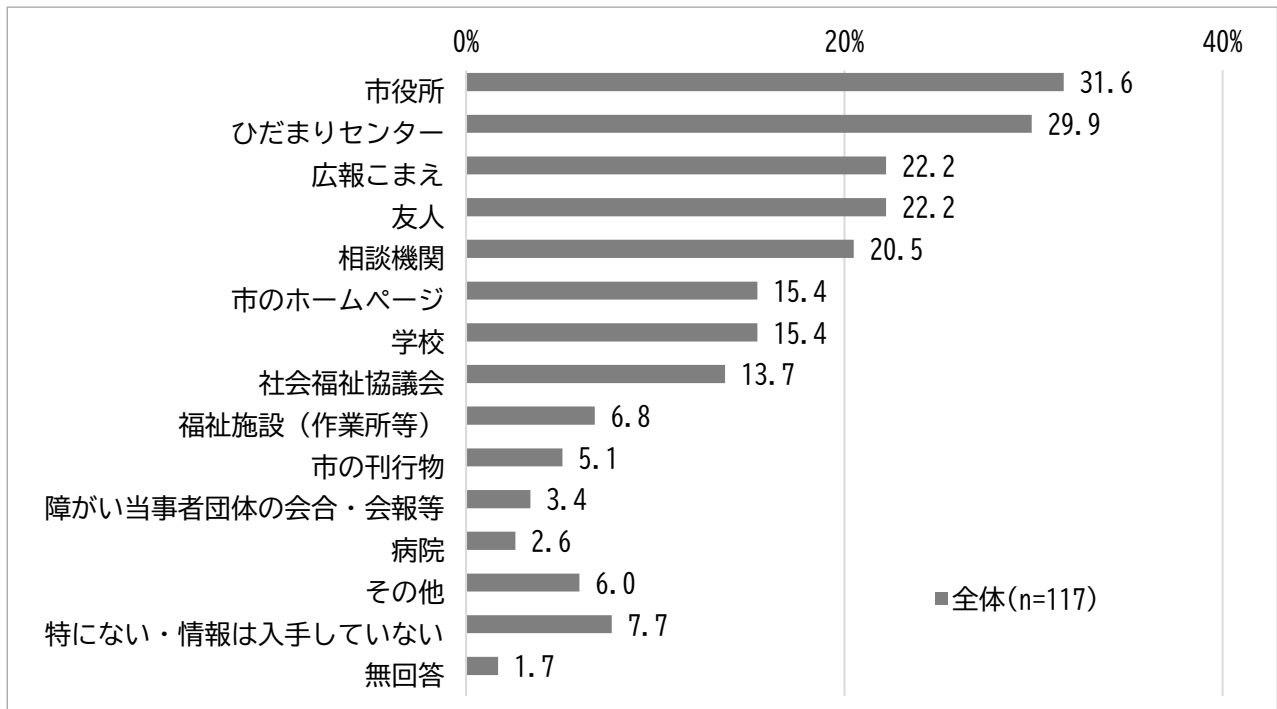


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	特になし	医療型児童入所施設	福祉型児童入所施設	その他の総合支援法のサービス	医療型児童発達支援(移動支援、居宅介護等)	日中一時支援	保育所等訪問支援	移動支援	障害児相談支援(サービス等利用計画)	児童発達支援	放課後等デイサービス
全体	117	4.3	6.0	1.7	1.7	2.6	4.3	5.1	11.1	17.1	23.1	38.5	66.7
身体障害者手帳	14	0.0	14.3	14.3	0.0	7.1	28.6	21.4	0.0	35.7	57.1	35.7	42.9
愛の手帳	25	4.0	4.0	4.0	8.0	8.0	4.0	12.0	4.0	40.0	52.0	24.0	80.0
児童発達支援・デイのみ	47	0.0	10.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.0	2.1	8.5	48.9	61.7
発達障がい	31	3.2	0.0	0.0	0.0	3.2	3.2	6.5	6.5	22.6	32.3	22.6	90.3
その他	12	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	8.3	0.0	50.0	41.7

問 19 あなたは、市の障がい福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。(〇はいくつでも)

市の障がい福祉サービスに関する情報の入手先は、「市役所」が31.6%と最も多く、次いで、「ひだまりセンター」が29.9%となっています。

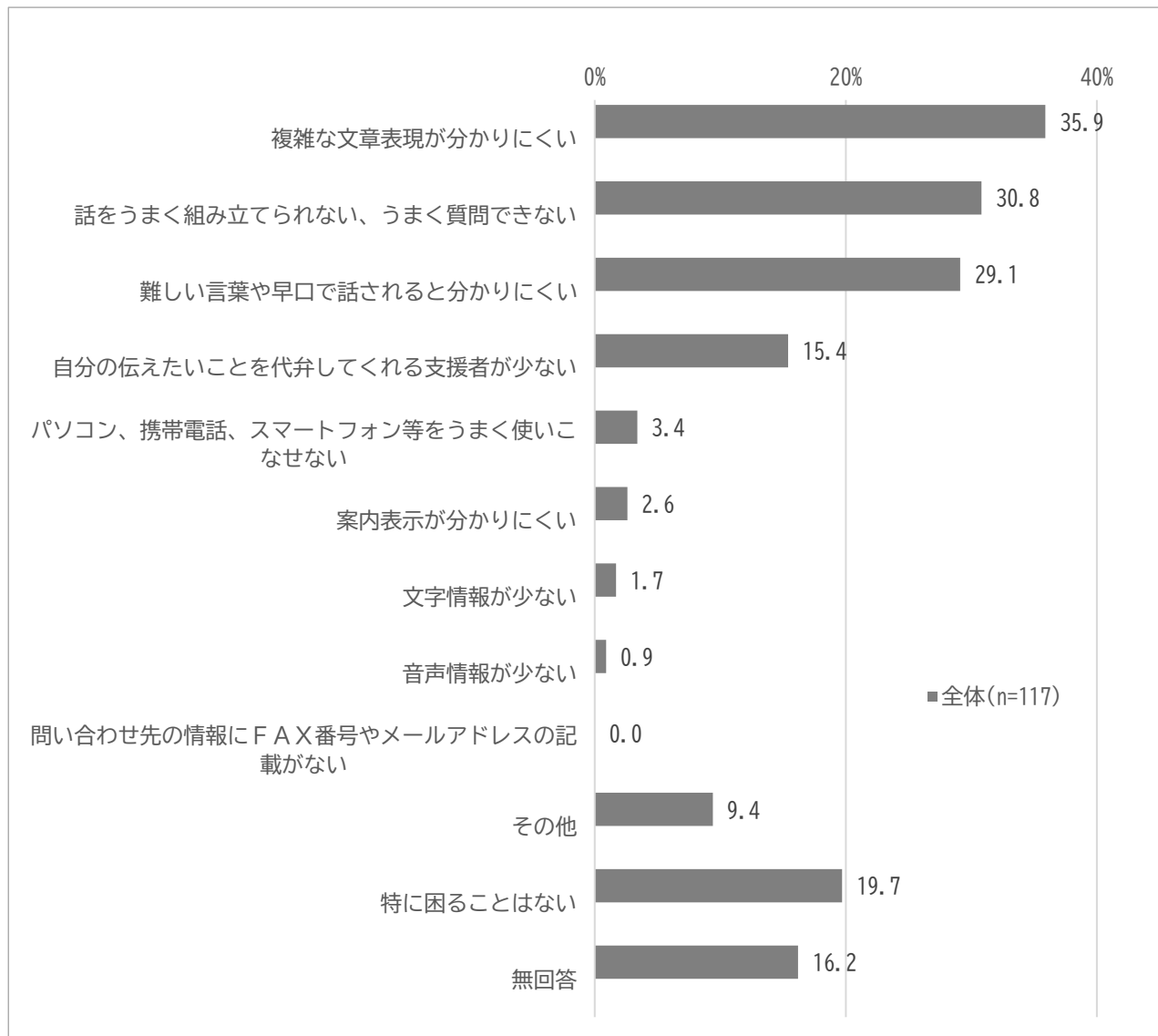


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	特にない・情報は入手していない	その他	病院	障がい当事者団体の会合・会報等	市の刊行物	福祉施設(作業所等)	社会福祉協議会	学校	市のホームページ	相談機関	友人	広報こまえ	ひだまりセンター	市役所
全体	117	1.7	7.7	6.0	2.6	3.4	5.1	6.8	13.7	15.4	15.4	20.5	22.2	22.2	29.9	31.6
身体障害者手帳	14	0.0	0.0	14.3	0.0	7.1	7.1	14.3	21.4	28.6	21.4	57.1	28.6	14.3	0.0	28.6
愛の手帳	25	0.0	0.0	4.0	8.0	12.0	8.0	8.0	12.0	16.0	24.0	24.0	36.0	32.0	28.0	44.0
児童発達支援・デイのみ	47	0.0	8.5	4.3	0.0	0.0	6.4	4.3	14.9	12.8	12.8	10.6	14.9	19.1	31.9	27.7
発達障がい	31	0.0	12.9	3.2	3.2	6.5	3.2	6.5	9.7	12.9	12.9	25.8	29.0	25.8	38.7	25.8
その他	12	16.7	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	8.3	8.3	33.3	33.3	41.7	41.7

問20 コミュニケーションを行う上で困ることはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

コミュニケーションを行う上で困ることは、「複雑な文章表現が分かりにくい」が35.9%と最も多く、次いで、「話をうまく組み立てられない、うまく質問できない」が30.8%となっています。

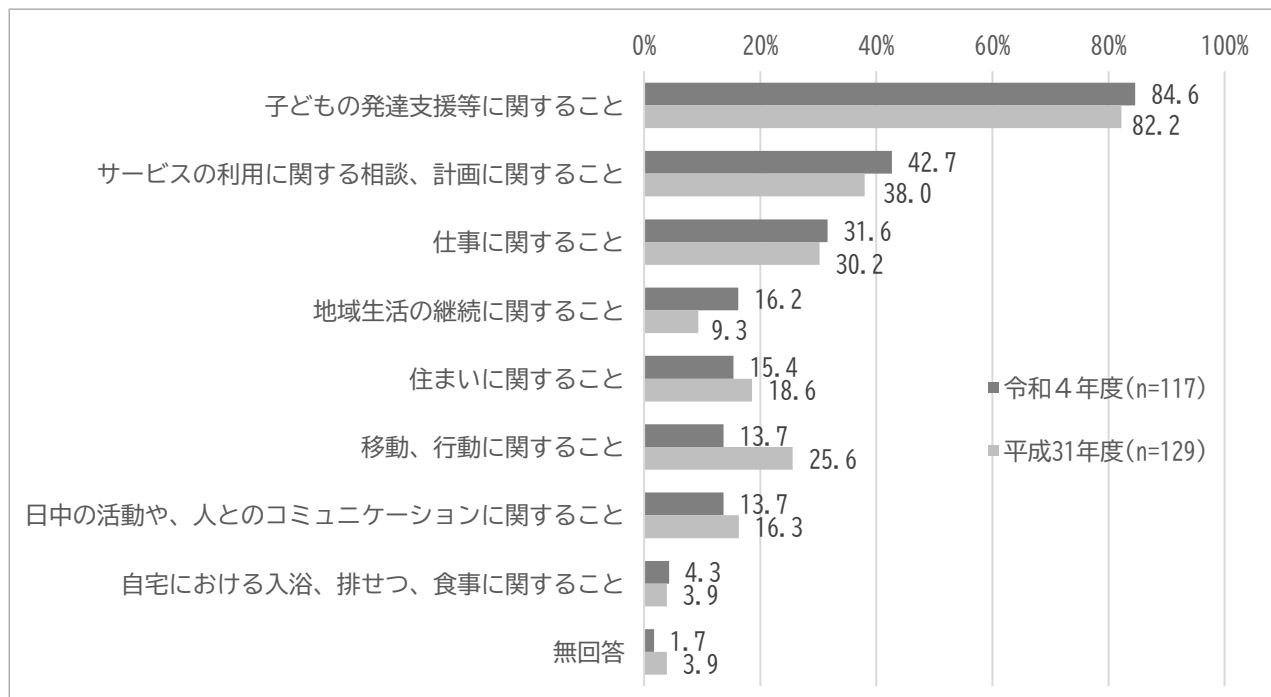


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	特に困ることはない	その他	問い合わせ先の情報にFAX番号やメールアドレスの記載がない	音声情報が少ない	文字情報が少ない	案内表示が分かりにくい	パソコン、携帯電話、スマートフォン等をうまく使いこなせない	自分の伝えたいことを代弁してくれる支援者が少ない	難しい言葉や早口で話されると分かりにくい	話をうまく組み立てられない、うまく質問できない	複雑な文章表現が分かりにくい
全体	117	16.2	19.7	9.4	0.0	0.9	1.7	2.6	3.4	15.4	29.1	30.8	35.9
身体障害者手帳	14	21.4	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	7.1	14.3	21.4
愛の手帳	25	8.0	4.0	4.0	0.0	0.0	4.0	8.0	12.0	28.0	60.0	48.0	56.0
児童発達支援・デイのみ	47	12.8	31.9	12.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	8.5	19.1	25.5	23.4
発達障がい	31	19.4	12.9	3.2	0.0	3.2	3.2	3.2	3.2	29.0	41.9	35.5	54.8
その他	12	16.7	16.7	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	16.7	25.0	41.7	41.7

問 21 今後、市が取り組む障がい福祉サービス等で、次のうちどれを優先して充実すべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

今後、市が取り組む障がい福祉サービス等で優先して充実すべきことは、「子どもの発達支援等に関すること」が 84.6%と最も多く、次いで、「サービスの利用に関する相談、計画に関すること」が 42.7%となっています。



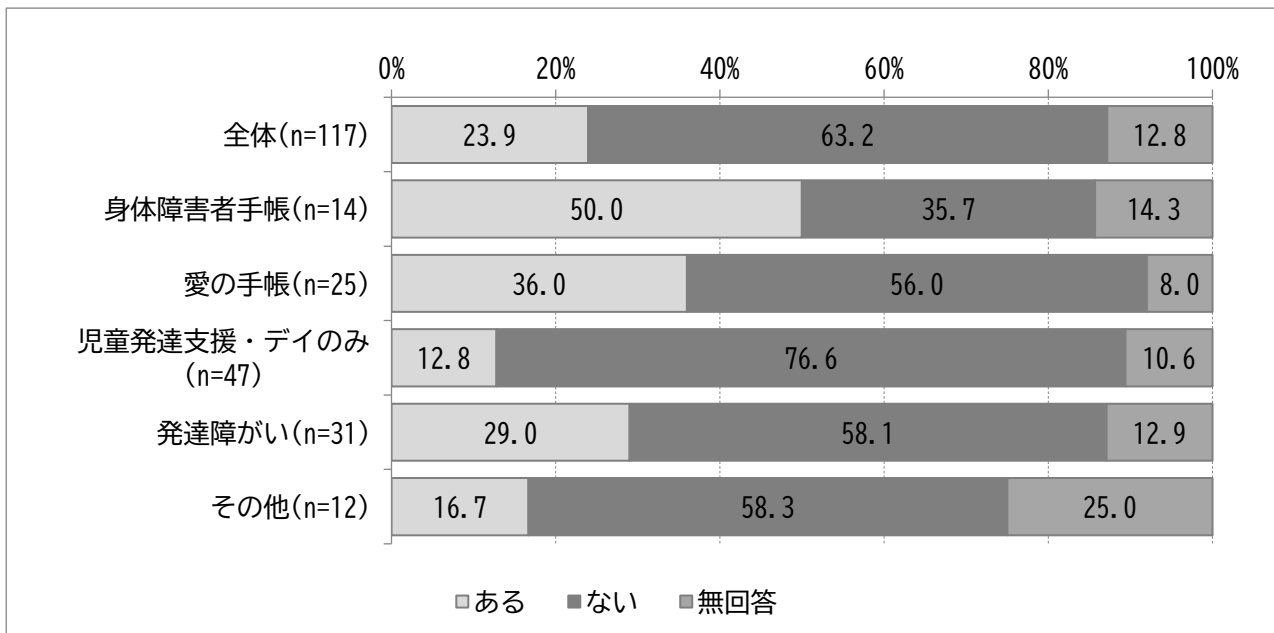
(単位：人、%)

区分	人数	無回答	自宅における入浴、排せつ、食事に関すること	日中の活動や、人とのコミュニケーションに関すること	移動、行動に関すること	住まいに関すること	地域生活の継続に関すること	仕事に関すること	サービスの利用に関する相談、計画に関すること	子どもの発達支援等に関すること
全体	117	1.7	4.3	13.7	13.7	15.4	16.2	31.6	42.7	84.6
身体障害者手帳	14	0.0	14.3	28.6	28.6	35.7	7.1	35.7	35.7	71.4
愛の手帳	25	0.0	4.0	28.0	32.0	28.0	24.0	60.0	24.0	68.0
児童発達支援・デイのみ	47	0.0	4.3	6.4	4.3	8.5	14.9	17.0	46.8	93.6
発達障がい	31	0.0	3.2	19.4	12.9	12.9	12.9	38.7	48.4	93.5
その他	12	16.7	0.0	8.3	16.7	8.3	16.7	16.7	33.3	75.0
平成 31 年度	129	3.9	3.9	16.3	25.6	18.6	9.3	30.2	38.0	82.2



問 22 市が提供する障がい福祉サービス等で、近隣に当該サービスを提供する事業所がないため、利用できないサービスはありますか。(〇は1つ)

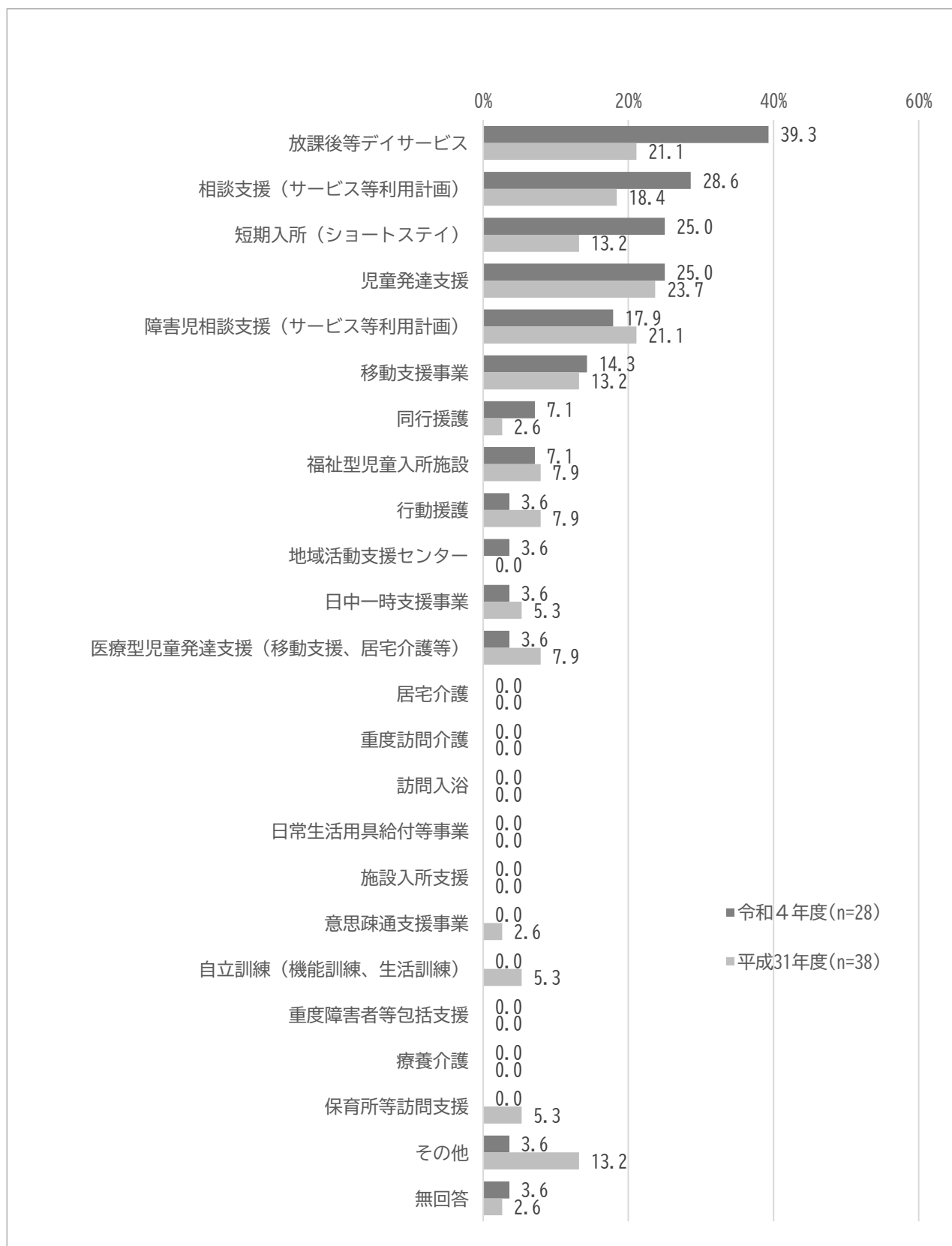
市が提供する障がい福祉サービス等で、近隣に当該サービスを提供する事業所がないため、利用できないサービスについて、「ある」が23.9%、「ない」が63.2%となっています。



問 23 【問 21 で「ある」に○を付けた方のみにお伺いします】

利用できないサービスは、次のうちどのサービスですか。(○はいくつでも)

利用できない障がい福祉サービス(全体)は、「放課後デイサービス」が39.3%で最も多く、次いで「相談支援(サービス等利用計画)」が28.6%となっています。



<利用できない障がい福祉サービス（全体）>

（単位：人、％）

区分	人数	無回答	その他	療養介護	重度障害者等包括支援	自立訓練（機能訓練、生活訓練）	意思疎通支援事業	施設入所支援	日常生活用具給付等事業	訪問入浴	重度訪問介護	居宅介護	医療型児童発達支援（移動支援、居宅介護等）
全体	28	3.6	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6
身体障害者手帳	7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
愛の手帳	9	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
児童発達支援・デイのみ	6	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障がい	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成 31 年度	38	2.6	13.2	0.0	0.0	5.3	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.9

区分	日中一時支援事業	地域活動支援センター	行動援護	保育所等訪問支援	福祉型児童入所施設	同行援護	移動支援事業	障害児相談支援（サービス等利用計画）	児童発達支援	短期入所（シヨートステイ）	相談支援（サービス等利用計画）	放課後等デイサービス
全体	3.6	3.6	3.6	0.0	7.1	7.1	14.3	17.9	25.0	25.0	28.6	39.3
身体障害者手帳	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	14.3	28.6	28.6	14.3
愛の手帳	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	33.3	11.1	11.1	66.7	0.0	22.2
児童発達支援・デイのみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0	33.3	50.0
発達障がい	11.1	0.0	11.1	0.0	22.2	22.2	22.2	11.1	22.2	22.2	44.4	44.4
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0	0.0	100
平成 31 年度	5.3	0.0	7.9	5.3	7.9	2.6	13.2	21.1	23.7	13.2	18.4	21.1

問 24 【問 21 で「ある」に○を付けた方のみにお伺いします】

①利用できないサービスは、次のうちどのサービスですか。(○はいくつでも)

<利用できない障がい福祉サービス(第1位)>

利用できない障がい福祉サービス(第1位)は、「放課後デイサービス」が28.6%で最も多く、次いで「児童発達支援」が17.9%となっています。

(単位:人、%)

区分	人数	無回答	その他	療養介護	重度障害者等包括支援	自立訓練(機能訓練、生活訓練)	意思疎通支援事業	施設入所支援	日常生活用具給付等事業	訪問入浴	重度訪問介護	居宅介護	医療型児童発達支援(移動支援、居宅介護等)
全体	28	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0
身体障害者手帳	7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
愛の手帳	9	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
児童発達支援・デイのみ	6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障がい	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	日中一時支援事業	地域活動支援センター	行動援護	保育所等訪問支援	福祉型児童入所施設	同行援護	移動支援事業	障害児相談支援(サービス等利用計画)	児童発達支援	短期入所(ショートステイ)	相談支援(サービス等利用計画)	放課後等デイサービス
全体	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	14.3	3.6	17.9	14.3	7.1	28.6
身体障害者手帳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	28.6	0.0	14.3
愛の手帳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	11.1	33.3	0.0	11.1
児童発達支援・デイのみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	33.3
発達障がい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2	0.0	22.2	0.0	22.2	22.2
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100

<利用できない障がい福祉サービス（第2位）>

利用できない障がい福祉サービス(第2位)は、「障害児相談支援(サービス等利用計画)」が 10.7%で最も多く、次いで「相談支援(サービス等利用計画)」及び「放課後デイサービス」がそれぞれ 7.1%となっています。

(単位：人、%)

区分	人数	無回答	その他	療養介護	重度障害者等包括支援	自立訓練(機能訓練、生活訓練)	意思疎通支援事業	施設入所支援	日常生活用具給付等事業	訪問入浴	重度訪問介護	居宅介護	医療型児童発達支援(移動支援、居宅介護等)
全体	28	53.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
身体障害者手帳	7	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
愛の手帳	9	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
児童発達支援・デイのみ	6	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障がい	9	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	日中一時支援事業	地域活動支援センター	行動援護	保育所等訪問支援	福祉型児童入所施設	同行援護	移動支援事業	障害児相談支援(サービス等利用計画)	児童発達支援	短期入所(シヨートステイ)	相談支援(サービス等利用計画)	放課後等デイサービス
全体	0.0	0.0	3.6	0.0	3.6	3.6	3.6	10.7	0.0	3.6	7.1	7.1
身体障害者手帳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0
愛の手帳	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1
児童発達支援・デイのみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
発達障がい	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

第7章 障がい児等調査

B 市の障がい福祉サービスについて

<利用できない障がい福祉サービス（第3位）>

利用できない障がい福祉サービス（第3位）は、「日中一時支援事業」が7.1%で最も多く、次いで「短期入所（ショートステイ）」、「相談支援（サービス等利用計画）」及び「福祉型児童入所施設」がそれぞれ3.6%となっています。

（単位：人、％）

区分	人数	無回答	その他	療養介護	重度障害者等包括支援	自立訓練（機能訓練、生活訓練）	意思疎通支援事業	施設入所支援	日常生活用具給付等事業	訪問入浴	重度訪問介護	居宅介護	医療型児童発達支援（移動支援、居宅介護等）
全体	28	82.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
身体障害者手帳	7	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
愛の手帳	9	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
児童発達支援・デイのみ	6	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障がい	9	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2	100	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	日中一時支援事業	地域活動支援センター	行動援護	保育所等訪問支援	福祉型児童入所施設	同行援護	移動支援事業	障害児相談支援（サービス等利用計画）	児童発達支援	短期入所（ショートステイ）	相談支援（サービス等利用計画）	放課後等デイサービス
全体	7.1	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	3.6	0.0
身体障害者手帳	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
愛の手帳	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0
児童発達支援・デイのみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障がい	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問 24-2 【問 21 で「ある」に○を付けた方のみにお伺いします】

どのように補っていますか。(○はいくつでも)

利用できない障がい福祉サービス(第1位)の補い方は、「家族が介助・支援している」が50.0%で最も多く、次いで「その他」が35.7%となっています。

利用できない障がい福祉サービス(第2位)の補い方は、「家族が介助・支援している」が28.7%で最も多く、次いで「特に何もしていない」及び「その他」が10.7%となっています。

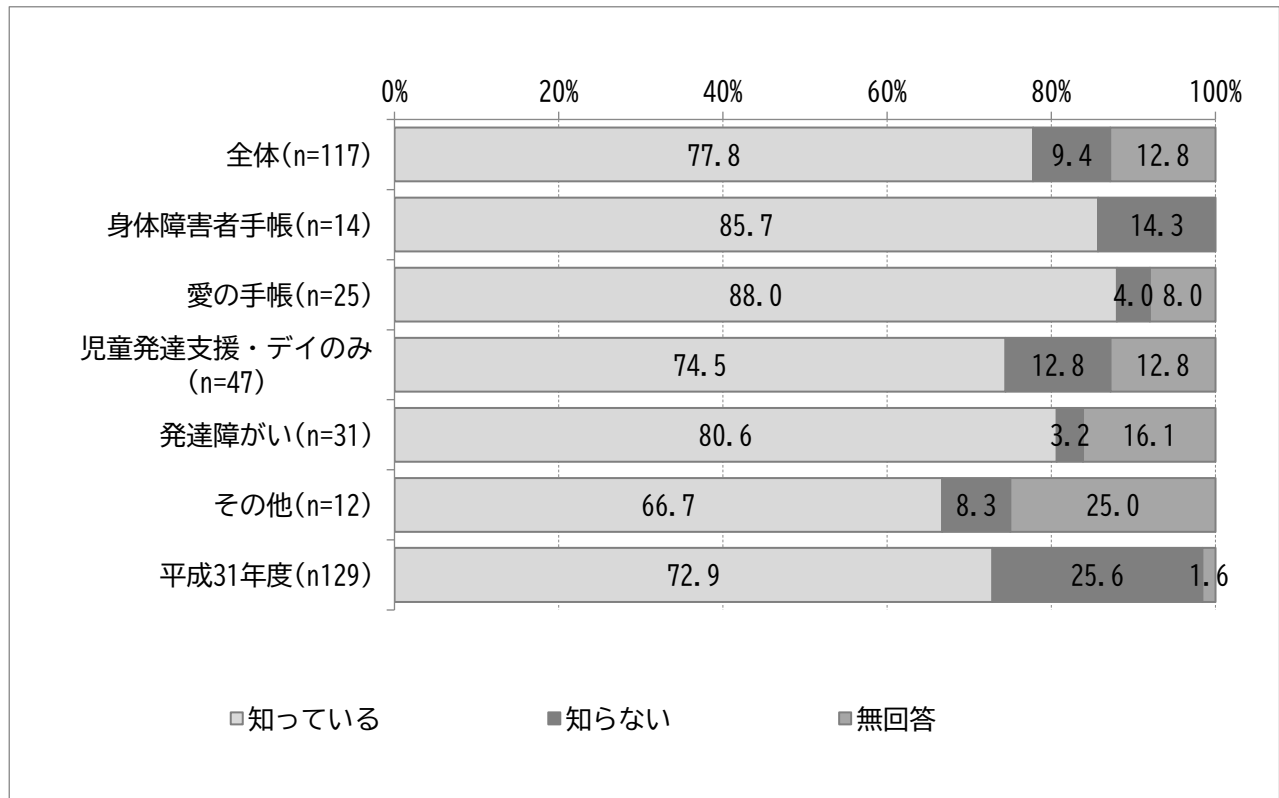
利用できない障がい福祉サービス(第3位)の補い方は、「家族が介助・支援している」が14.3%で最も多く、次いで「特に何もしていない」が7.1%となっています。

	区分	人数	自費でヘルパーや介助者を雇っている	家族が介助・支援している	友人や知人に支援してもらっている	相談支援専門員に相談している	特に何もしていない	その他	無回答
第1位	全体	28	0.0	50.0	3.6	10.7	10.7	35.7	10.7
	身体障害者手帳	7	0.0	71.4	14.3	0.0	0.0	28.6	14.3
	愛の手帳	9	0.0	44.4	0.0	11.1	22.2	22.2	11.1
	児童発達支援・デイのみ	6	0.0	50.0	0.0	16.7	16.7	16.7	33.3
	発達障がい	9	0.0	55.6	0.0	11.1	11.1	33.3	0.0
	その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
第2位	全体	28	0.0	28.6	0.0	0.0	10.7	10.7	53.6
	身体障害者手帳	7	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	14.3	42.9
	愛の手帳	9	0.0	44.4	0.0	0.0	22.2	11.1	33.3
	児童発達支援・デイのみ	6	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3
	発達障がい	9	0.0	33.3	0.0	0.0	22.2	11.1	33.3
	その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
第3位	全体	28	0.0	14.3	3.6	3.6	7.1	0.0	82.1
	身体障害者手帳	7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7
	愛の手帳	9	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
	児童発達支援・デイのみ	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	発達障がい	9	0.0	33.3	11.1	11.1	22.2	0.0	55.6
	その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

C 日常生活の困りごと

問 25 あなたは、困ったときに相談できる場所をご存じですか。(○は1つ)

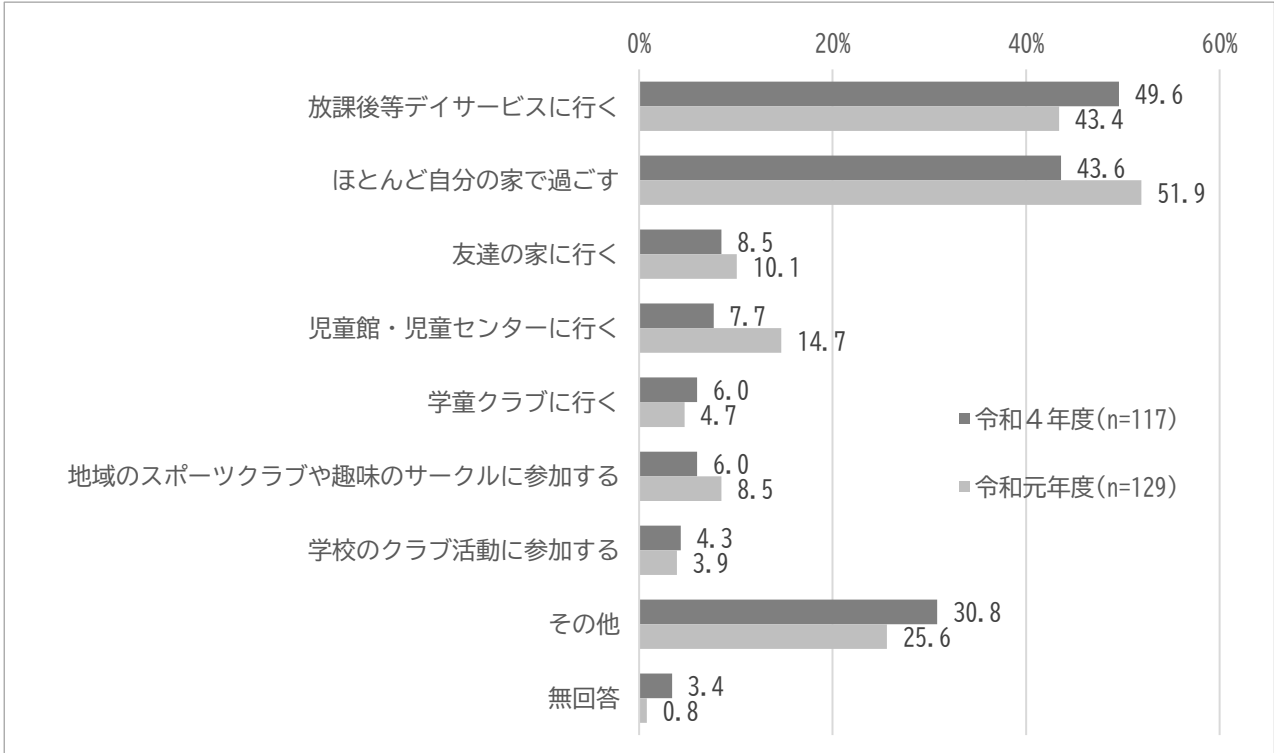
困ったときに相談できる場所の認知度は、「知っている」が77.8%、「知らない」が9.4%となっています。





問 26 あなたは、日中、幼稚園・保育園・認定こども園・学校以外では、どのように過ごしていますか。(〇はいくつでも)

日中、幼稚園・保育園・認定こども園・学校以外では、どのように過ごしているかは、「放課後デイサービスに行く」が49.6%で最も多く、次いで「ほとんど自分の家で過ごす」が43.6%となっています。

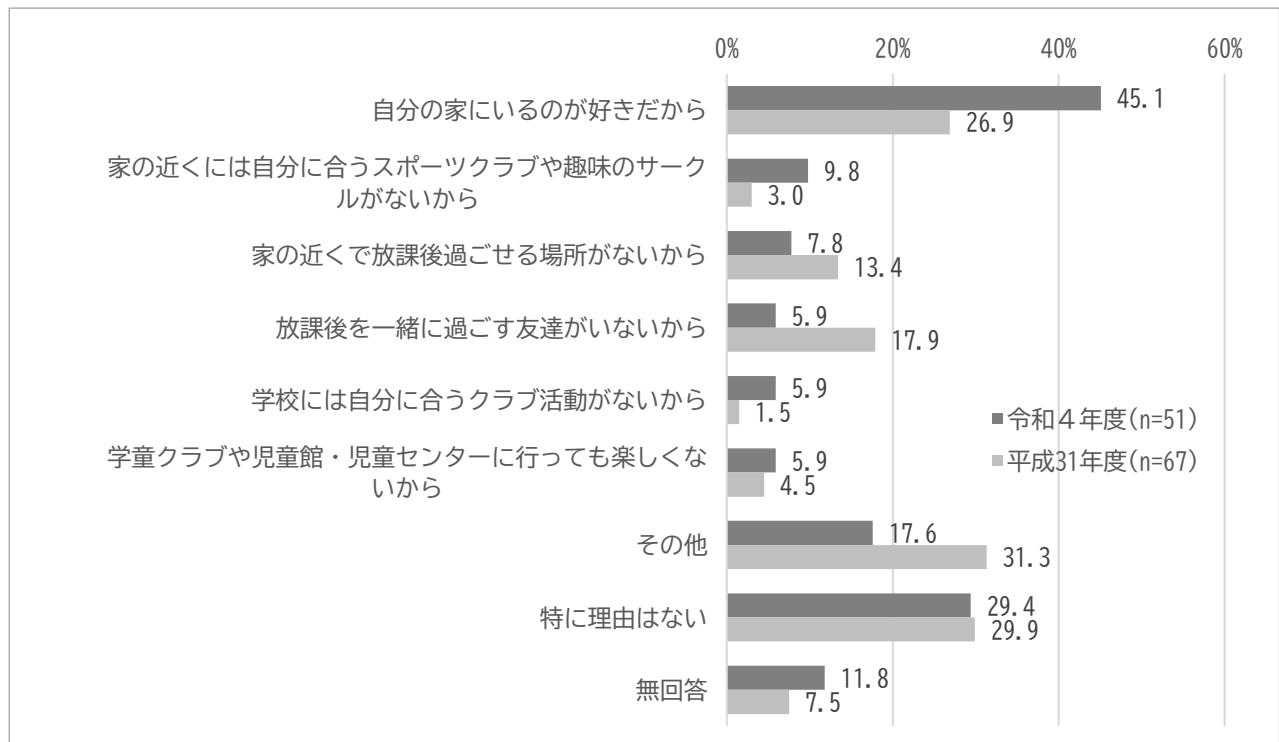


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	その他	学校のクラブ活動に参加する	味のサークルに参加する	地域のスポーツクラブや趣味のサークルに参加する	学童クラブに行く	児童館・児童センターに行く	友達の家に行く	ほとんど自分の家で過ごす	放課後等デイサービスに行く
全体	117	3.4	30.8	4.3	6.0	6.0	7.7	8.5	43.6	49.6	
身体障害者手帳	14	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	57.1	
愛の手帳	25	0.0	20.0	0.0	4.0	0.0	4.0	0.0	52.0	64.0	
児童発達支援・デイのみ	47	2.1	34.0	0.0	2.1	10.6	10.6	12.8	46.8	36.2	
発達障がい	31	0.0	32.3	6.5	12.9	6.5	3.2	9.7	38.7	67.7	
その他	12	25.0	41.7	8.3	8.3	0.0	16.7	8.3	16.7	25.0	
平成31年度	129	0.8	25.6	3.9	8.5	4.7	14.7	10.1	51.9	43.4	

問 27 【問 26 で「ほとんど自分の家で過ごす」に○を付けた方のみにお伺いします】自分の家で過ごす理由は何ですか。(○はいくつでも)

自分の家で過ごす理由は、「自分の家にいるのが好きだから」が 45.1%で最も多く、次いで「家の近くには自分に合うスポーツクラブや趣味のサークルがないから」が 9.8%となっています。

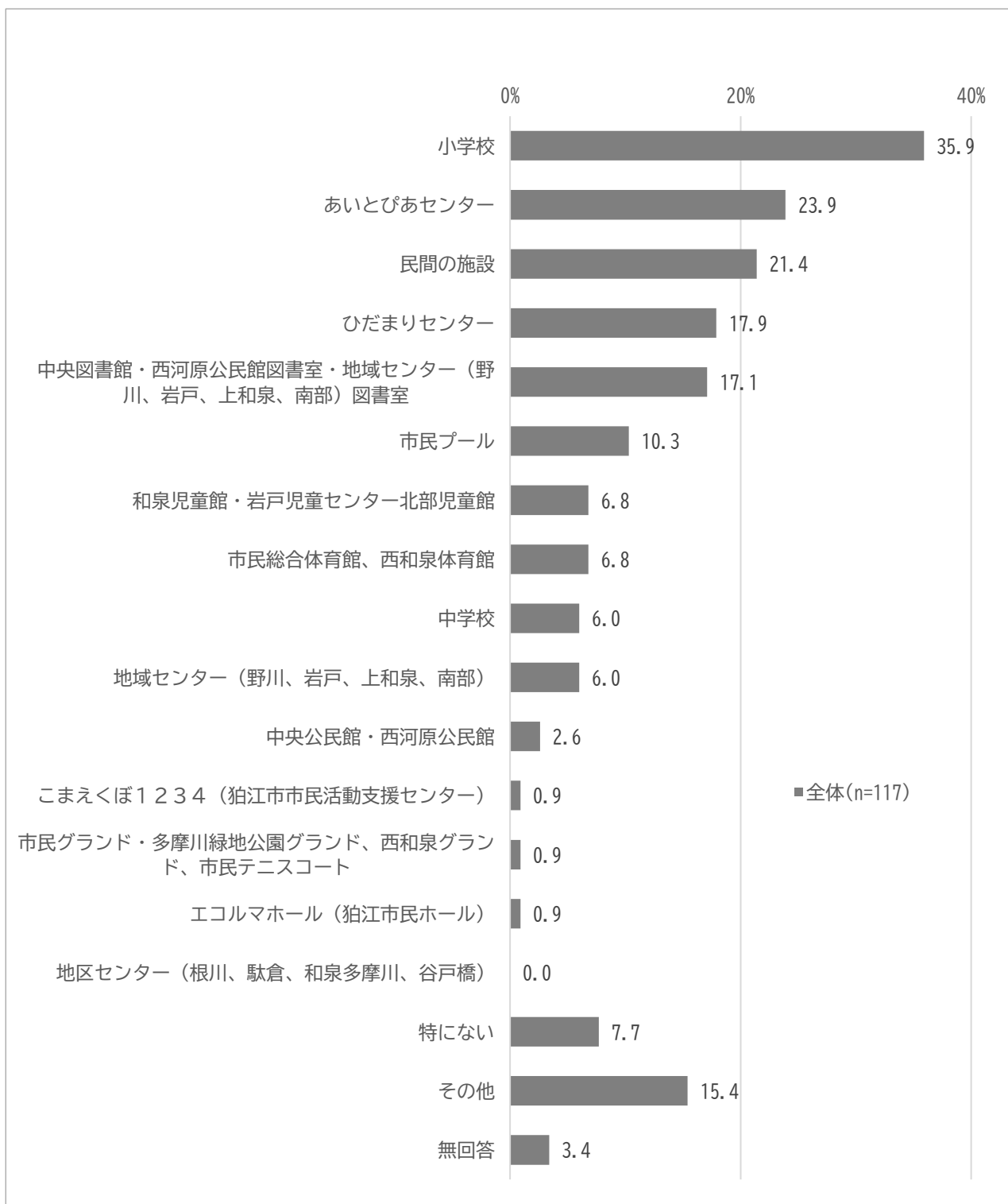


(単位: 人、%)

区分	人数	無回答	特に理由はない	その他	学童クラブや児童館・児童センターに行っても楽しくないから	学校には自分に合うクラブ活動がないから	放課後を一緒に過ごす友達がいないから	家の近くで放課後過ごせる場所がないから	家の近くには自分に合うスポーツクラブや趣味のサークルがないから	自分の家にいるのが好きだから
全体	51	11.8	29.4	17.6	5.9	5.9	5.9	7.8	9.8	45.1
身体障害者手帳	8	0.0	25.0	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	50.0
愛の手帳	13	15.4	23.1	23.1	0.0	15.4	15.4	15.4	7.7	46.2
児童発達支援・デイのみ	22	18.2	31.8	9.1	9.1	4.5	4.5	9.1	13.6	40.9
発達障がい	12	0.0	33.3	16.7	8.3	16.7	16.7	8.3	8.3	50.0
その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100
平成 31 年度	67	7.5	29.9	31.3	4.5	1.5	17.9	13.4	3.0	26.9

問 28 あなたが主に利用している施設は、次のうちどこですか。(〇はいくつでも)

主に利用している施設は、「小学校」が 35.9%で最も多く、次いで「あいとぴあセンター」が 23.9%となっています。



第7章 障がい児等調査

C 日常生活の困りごと

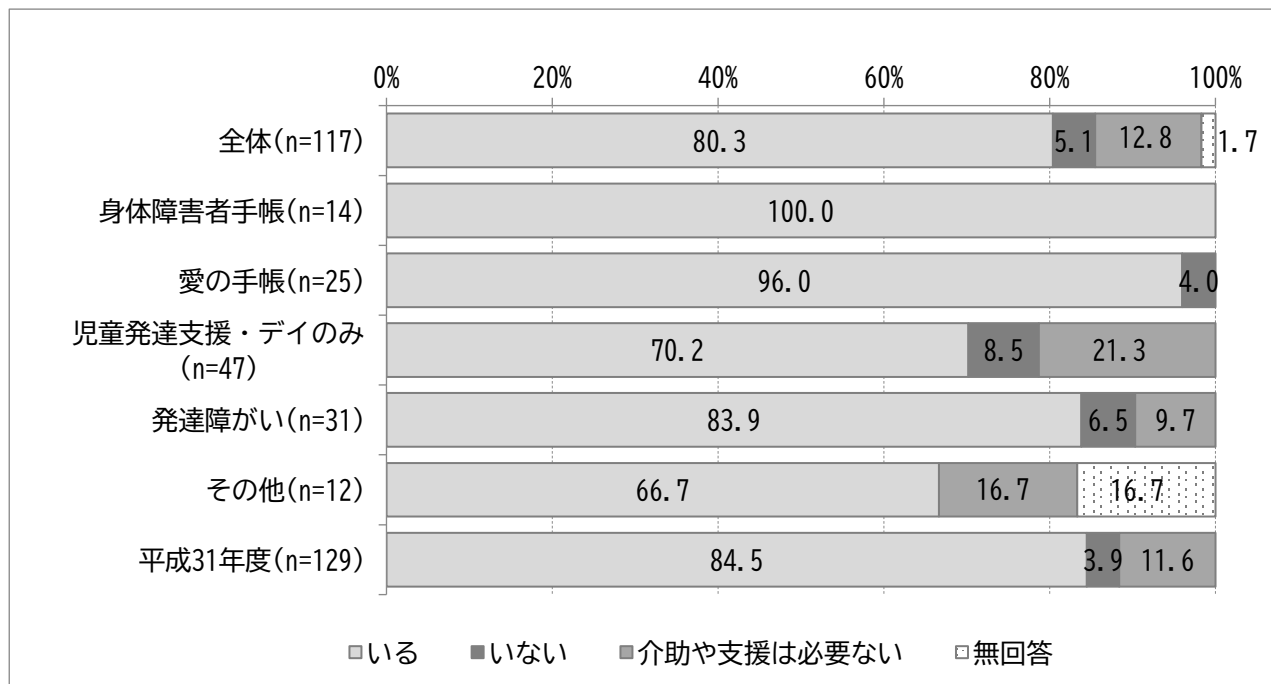
(単位：人、%)

区分	人数	無回答	その他	特 に ない	地域センター(野川、岩戸、上和泉、南部)	エコルマホール(市民ホール)	市民グラウンド・多摩川緑地公園グラウンド、西和泉グラウンド、市民テニスコート	こまえくぼ1234(市民活動支援センター)	中央公民館・西河原公民館	地区センター(根川、駄倉、和泉多摩川、谷戸橋)
全体	117	3.4	15.4	7.7	6.0	0.9	0.9	0.9	2.6	0.0
身体障害者手帳	14	7.1	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0
愛の手帳	25	0.0	12.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0
児童発達支援・デイのみ	47	2.1	21.3	4.3	8.5	0.0	0.0	2.1	2.1	0.0
発達障がい	31	0.0	6.5	3.2	3.2	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0
その他	12	16.7	8.3	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0

区分	中学校	市民総合体育館、西和泉体育館	和泉児童館・岩戸児童センター北部児童館	市民プール	中央図書館・西河原公民館図書室・地域センター(野川、岩戸、上和泉、南部)図書室	ひだまりセンター	民間の施設	あいとぴあセンター	小学校
全体	6.0	6.8	6.8	10.3	17.1	17.9	21.4	23.9	35.9
身体障害者手帳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	35.7	7.1
愛の手帳	16.0	4.0	0.0	4.0	4.0	20.0	20.0	32.0	32.0
児童発達支援・デイのみ	2.1	6.4	12.8	19.1	29.8	17.0	25.5	25.5	29.8
発達障がい	12.9	6.5	3.2	3.2	12.9	25.8	29.0	12.9	51.6
その他	0.0	25.0	8.3	8.3	16.7	16.7	8.3	8.3	41.7

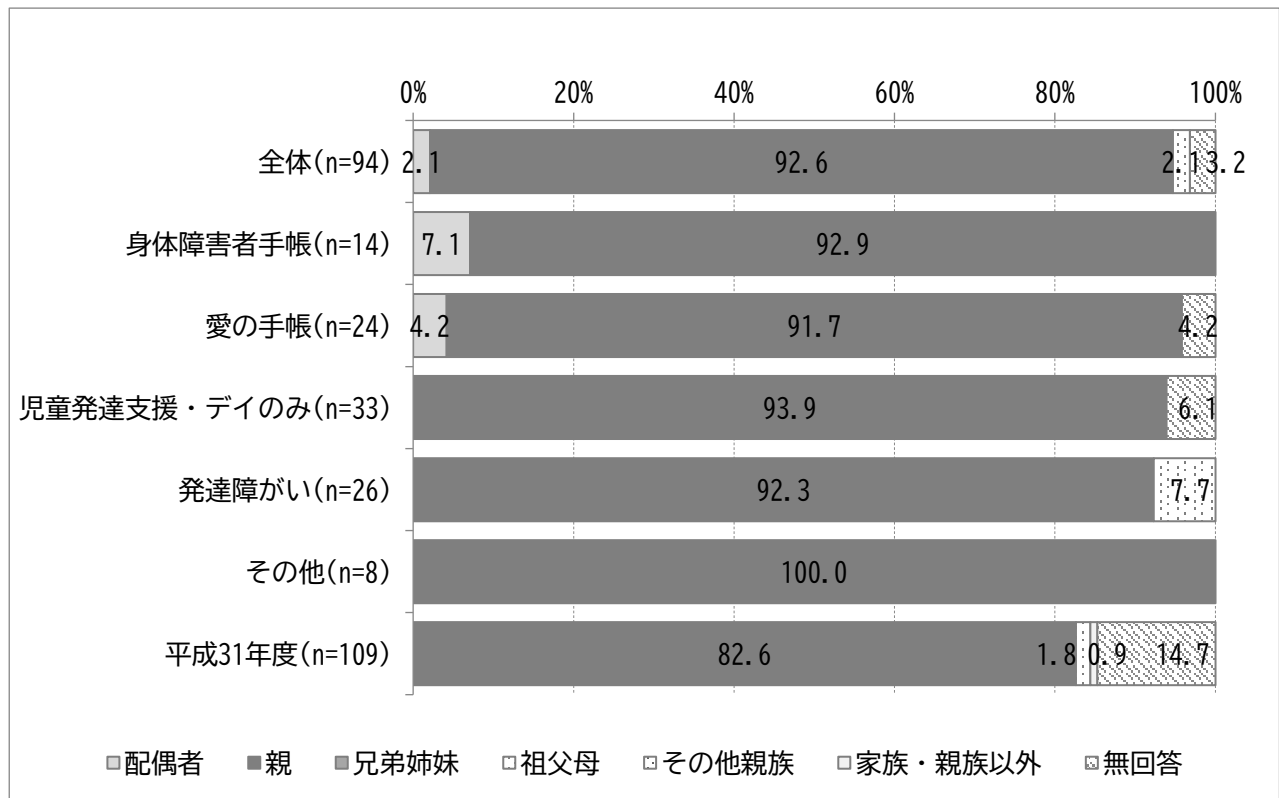
問 29 あなたには、あなたの介助や支援をする方がいますか。(○は1つ)

介助や支援をする方がいるかは、「いる」が 80.3%、「いない」が 5.1%、「介助や介護は必要ない」が 12.8%となっています。



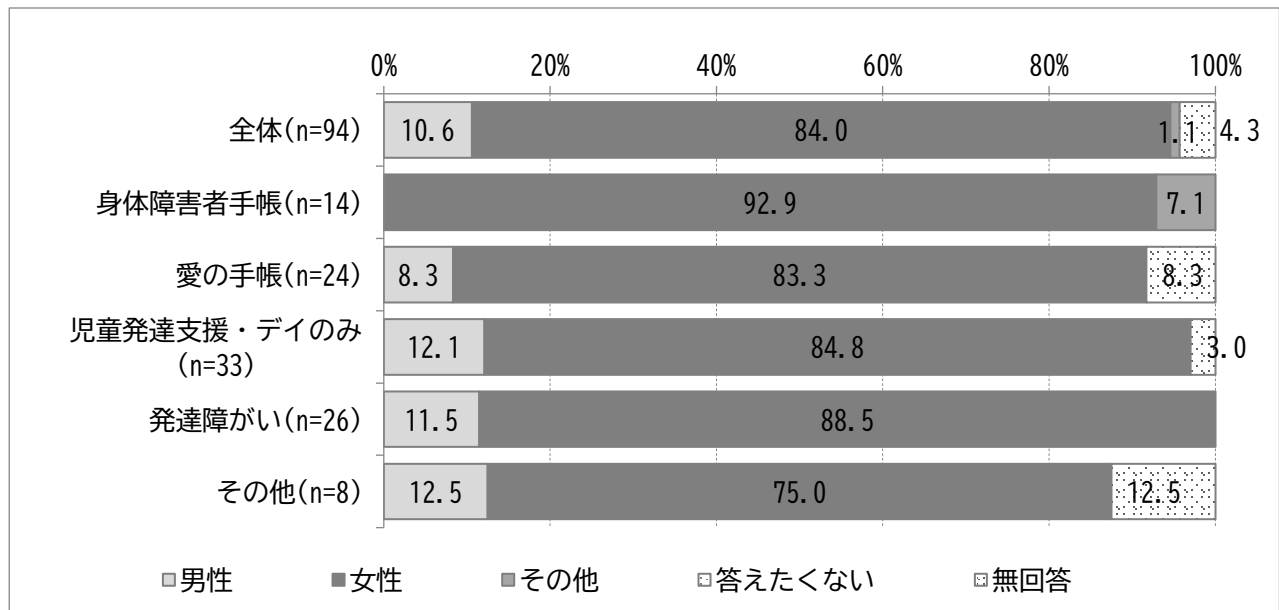
問 30 【問 29 で「いる」○を付けた方のみにお伺いします】あなたの介助や支援を主にしている方はどなたですか。(○は1つ)

介助や支援を主にしている方の続柄は、「親」が92.6%で最も多くなっています。



問 31 【問 29 で「いる」○を付けた方のみにお伺いします】あなたの介助や支援を主にしている方の性別を選択してください。(○は1つ)

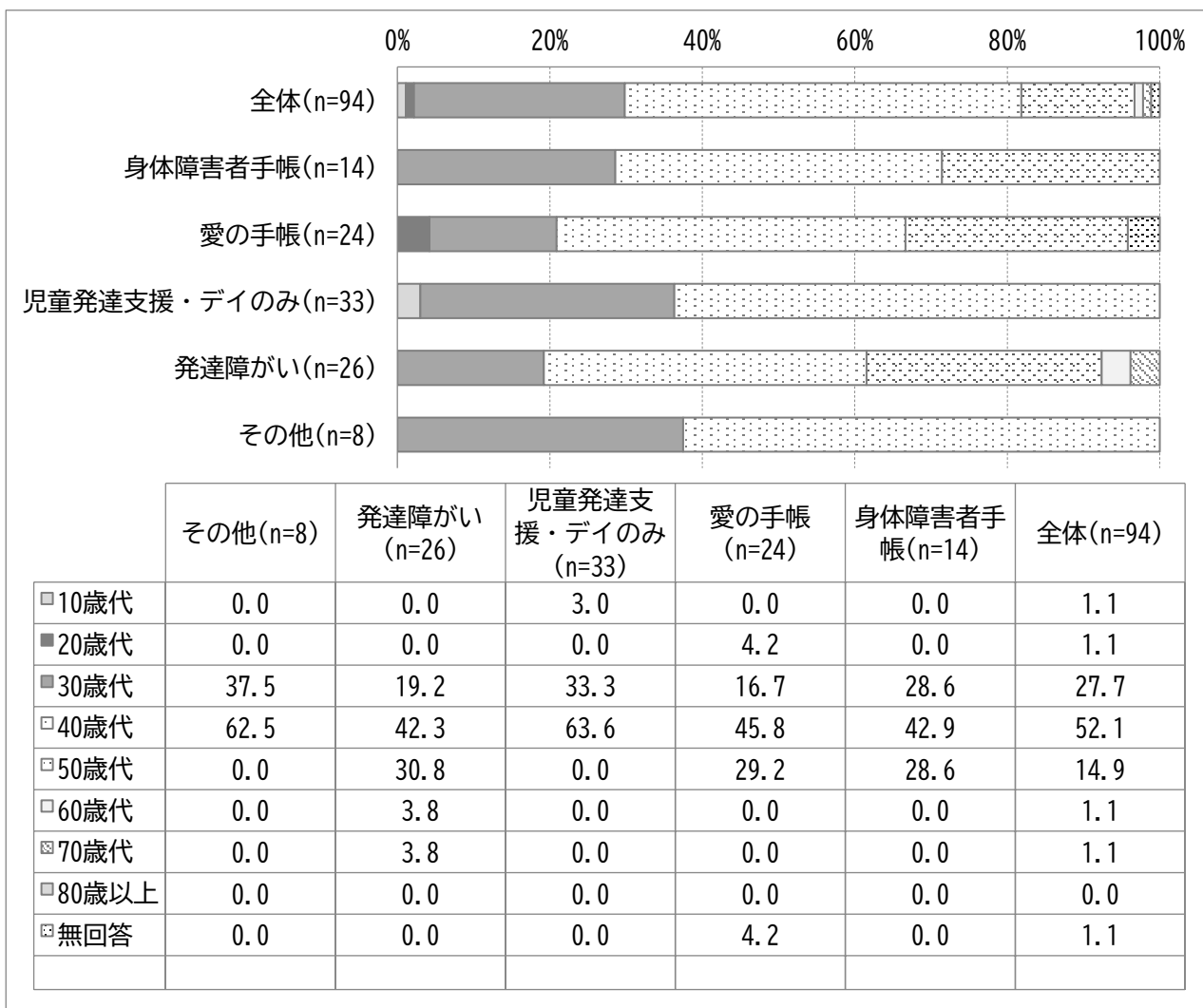
介助や支援を主にしている方の性別は、「女性」が84.0%で最も多くなっています。



問 31 - 2 【問 29 で「いる」○を付けた方のみにお伺いします】

令和 4 年 12 月 1 日現在のあなたの介助や支援を主にしている方の年齢をお伺いします。(○は 1 つ)

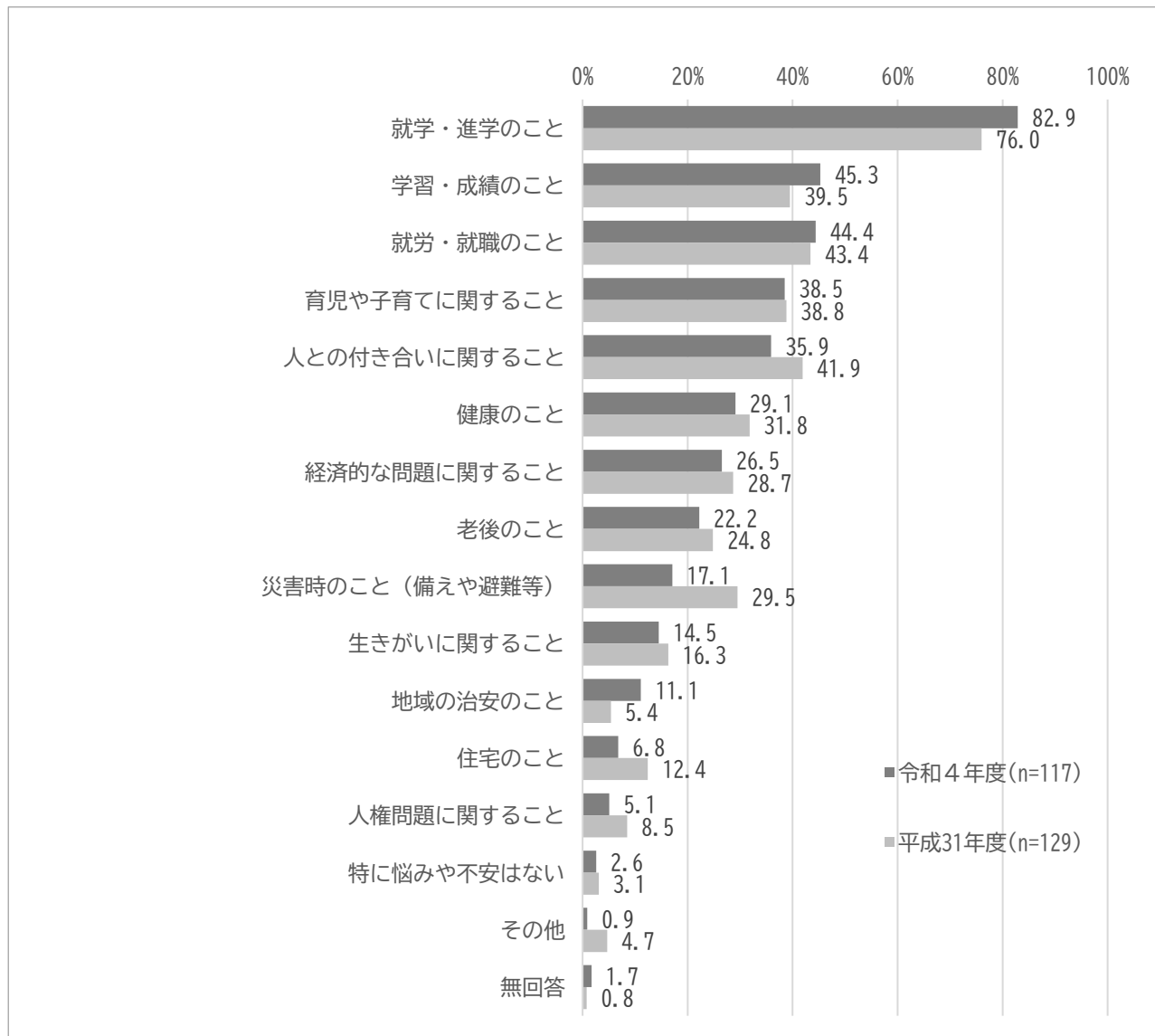
介助や支援を主にしている方の令和 4 年 12 月 1 日現在の年齢は、「40 歳代」が 52.1%で最も多く、次いで「30 歳代」が 27.7%となっています。



問 32 ご家族は、日々の生活の中でどのような悩みや不安を感じることがありますか。

(○はいくつでも)

日々の生活の中で悩みや不安を感じることは、「就学・進学のこと」が 82.9%で最も多く、次いで「学習・成績のこと」が 45.3%となっています。





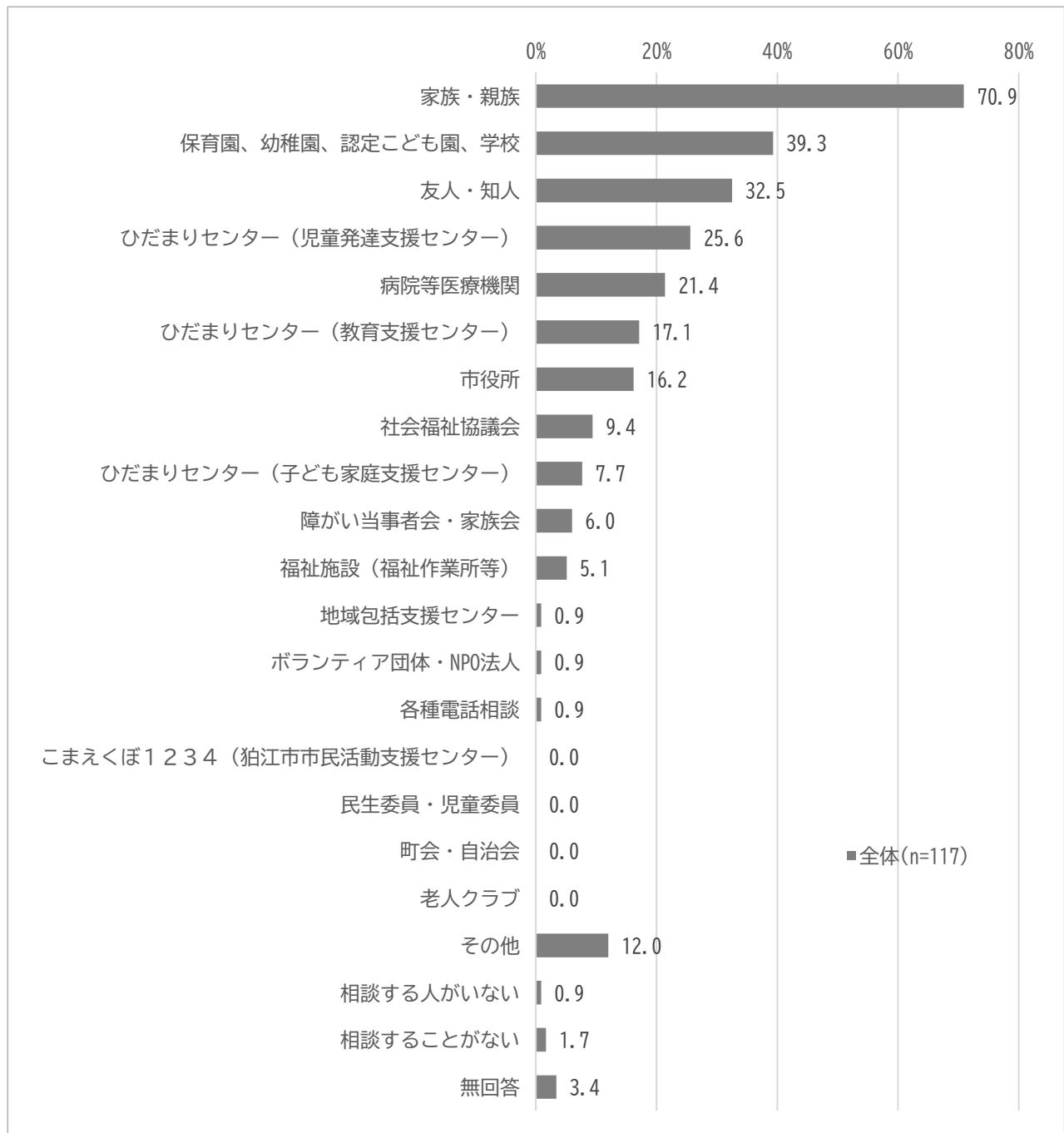
(単位：人、%)

区分	人数	無回答	その他	特に悩みや不安はない	人権問題に関する事	住宅のこと	地域の治安のこと	生きがいに関する事	災害時のこと(備えや避難等)
全体	117	1.7	0.9	2.6	5.1	6.8	11.1	14.5	17.1
身体障害者手帳	14	0.0	0.0	0.0	21.4	14.3	21.4	28.6	57.1
愛の手帳	25	0.0	4.0	0.0	4.0	16.0	12.0	28.0	24.0
児童発達支援・デイのみ	47	0.0	0.0	6.4	2.1	2.1	12.8	2.1	6.4
発達障がい	31	0.0	0.0	0.0	3.2	6.5	12.9	22.6	22.6
その他	12	16.7	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	16.7	8.3
平成31年度	129	0.8	4.7	3.1	8.5	12.4	5.4	16.3	29.5

区分	老後のこと	経済的な問題に関する事	健康のこと	人との付き合いに関する事	育児や子育てに関する事	就労・就職のこと	学習・成績のこと	就学・進学のこと
全体	22.2	26.5	29.1	35.9	38.5	44.4	45.3	82.9
身体障害者手帳	35.7	35.7	78.6	28.6	28.6	64.3	42.9	78.6
愛の手帳	60.0	40.0	44.0	40.0	12.0	76.0	28.0	84.0
児童発達支援・デイのみ	8.5	12.8	14.9	36.2	53.2	23.4	36.2	80.9
発達障がい	25.8	35.5	35.5	41.9	29.0	54.8	67.7	93.5
その他	8.3	33.3	8.3	33.3	33.3	25.0	50.0	66.7
平成31年度	24.8	28.7	31.8	41.9	38.8	43.4	39.5	76.0

問 33 高齢者・障がい者・子育て・福祉に関する生活での困りごとがあった場合、あなたは主にどこに相談しますか。(〇はいくつでも)

高齢者・障がい者・子育て・福祉に関する生活での困りごとがあった場合の相談先は、「家族・親族」が70.9%で最も多く、次いで「保育園、幼稚園、認定こども園、学校」が39.3%となっています。



(単位：人、%)

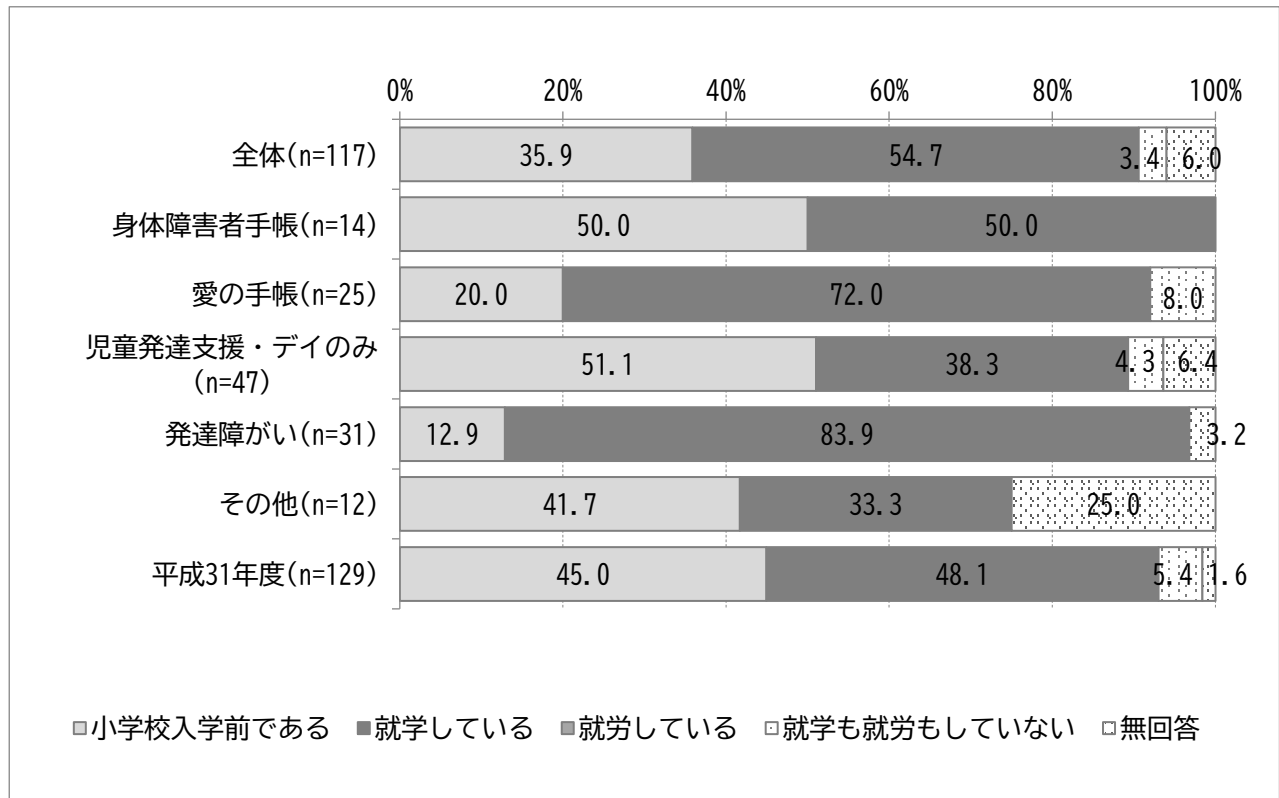
区分	人数	無回答	相談することがない	相談する人がいない	その他	老人クラブ	町会・自治会	民生委員・児童委員	こまえくぼ1234(市民活動支援センター)	各種電話相談	ボランティア団体・NPO法人	地域包括支援センター
全体	117	3.4	1.7	0.9	12.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.9	0.9
身体障害者手帳	14	0.0	7.1	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
愛の手帳	25	0.0	0.0	0.0	12.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0
児童発達支援・デイのみ	47	2.1	0.0	0.0	14.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	2.1
発達障がい	31	3.2	3.2	0.0	12.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0
その他	12	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	福祉施設(福祉作業所等)	障がい当事者会・家族会	ひだまりセンター(子ども家庭支援センター)	社会福祉協議会	市役所	ひだまりセンター(教育支援センター)	病院等医療機関	ひだまりセンター(児童発達支援センター)	友人・知人	学校 保育園、幼稚園、認定こども園、	家族・親族
全体	5.1	6.0	7.7	9.4	16.2	17.1	21.4	25.6	32.5	39.3	70.9
身体障害者手帳	14.3	14.3	0.0	21.4	21.4	7.1	64.3	7.1	42.9	35.7	71.4
愛の手帳	12.0	16.0	0.0	8.0	32.0	8.0	24.0	28.0	48.0	20.0	76.0
児童発達支援・デイのみ	2.1	2.1	12.8	12.8	6.4	14.9	8.5	31.9	27.7	51.1	68.1
発達障がい	3.2	3.2	6.5	0.0	16.1	35.5	29.0	25.8	35.5	29.0	71.0
その他	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3	25.0	41.7	41.7	83.3

D 就学・就労等の状況

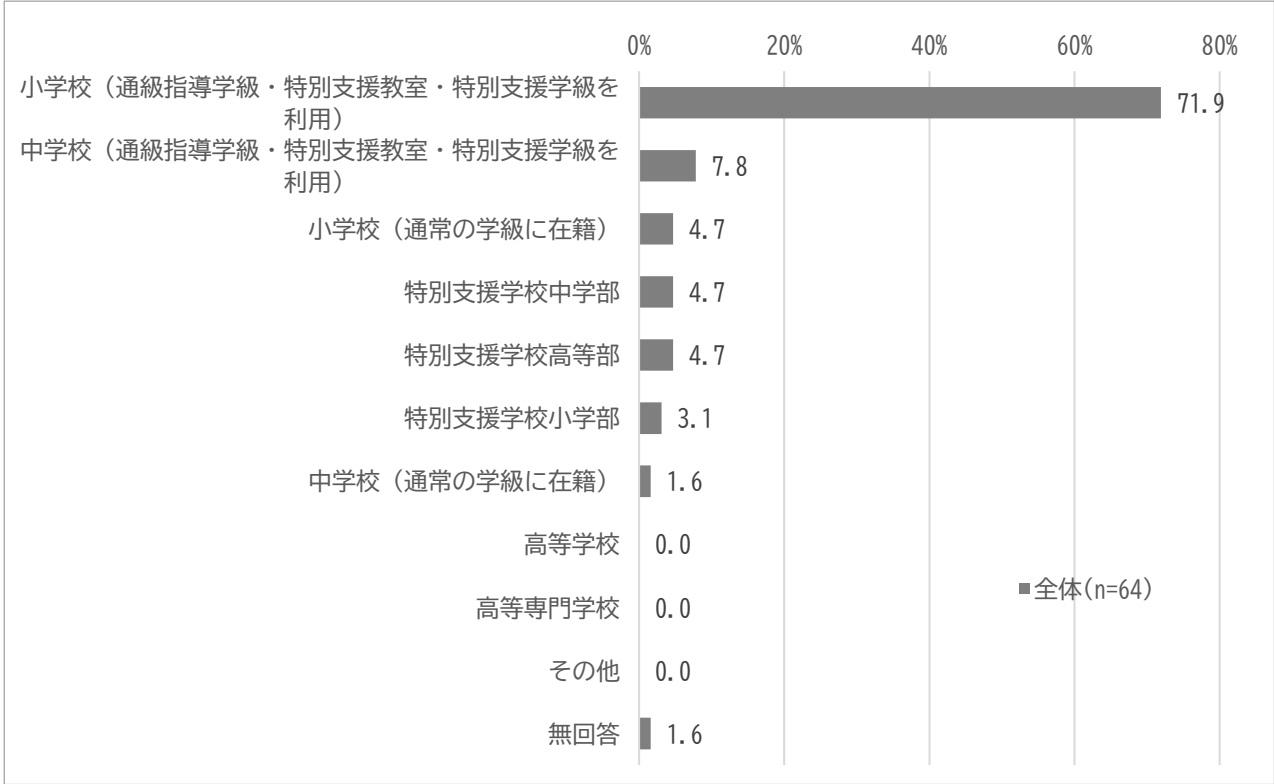
問 34 あなたは現在、就学又は就労していますか。(○は1つ)

就学又は就労の状況は、「就学している」が54.7%で最も多く、次いで「小学校入学前である」が35.9%となっています。



問 35 【問 34 で「就学している」に○を付けた方のみにお伺いします】現在の就学先は、次のうちどれですか。(○は1つ)

現在の就学先は、「小学校（通級指導学級・特別支援教室・特別支援学級を利用）」が 71.9%で最も多く、次いで「中学校（通級指導学級・特別支援教室・特別支援学級を利用）」が 7.8%となっています。

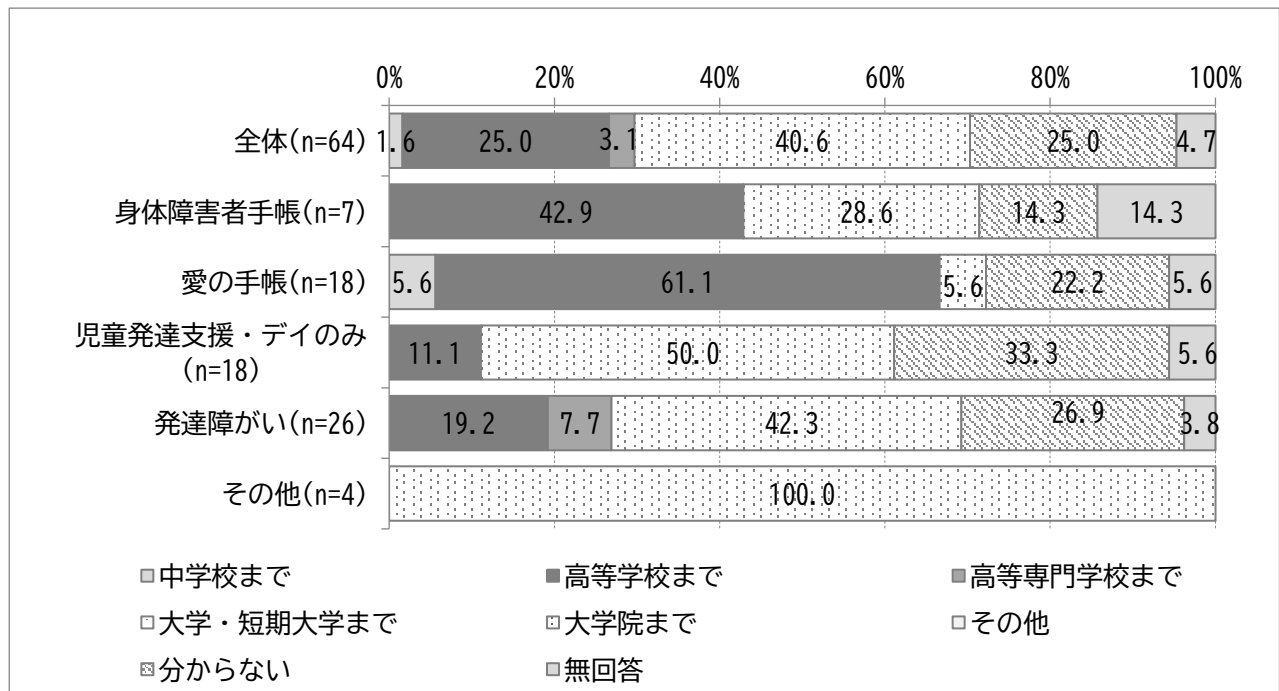


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	その他	高等専門学校	高等学校	中学校（通常の学級に在籍）	特別支援学校小学部	特別支援学校高等部	特別支援学校中学部	小学校（通常の学級に在籍）	中学校（通級指導学級・特別支援教室・特別支援学級を利用）	小学校（通級指導学級・特別支援教室・特別支援学級を利用）
全体	64	1.6	0.0	0.0	0.0	1.6	3.1	4.7	4.7	4.7	7.8	71.9
身体障害者手帳	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	28.6	0.0	0.0	28.6
愛の手帳	18	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	11.1	5.6	11.1	0.0	11.1	55.6
児童発達支援・デイのみ	18	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	5.6	77.8
発達障がい	26	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	11.5	84.6
その他	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0

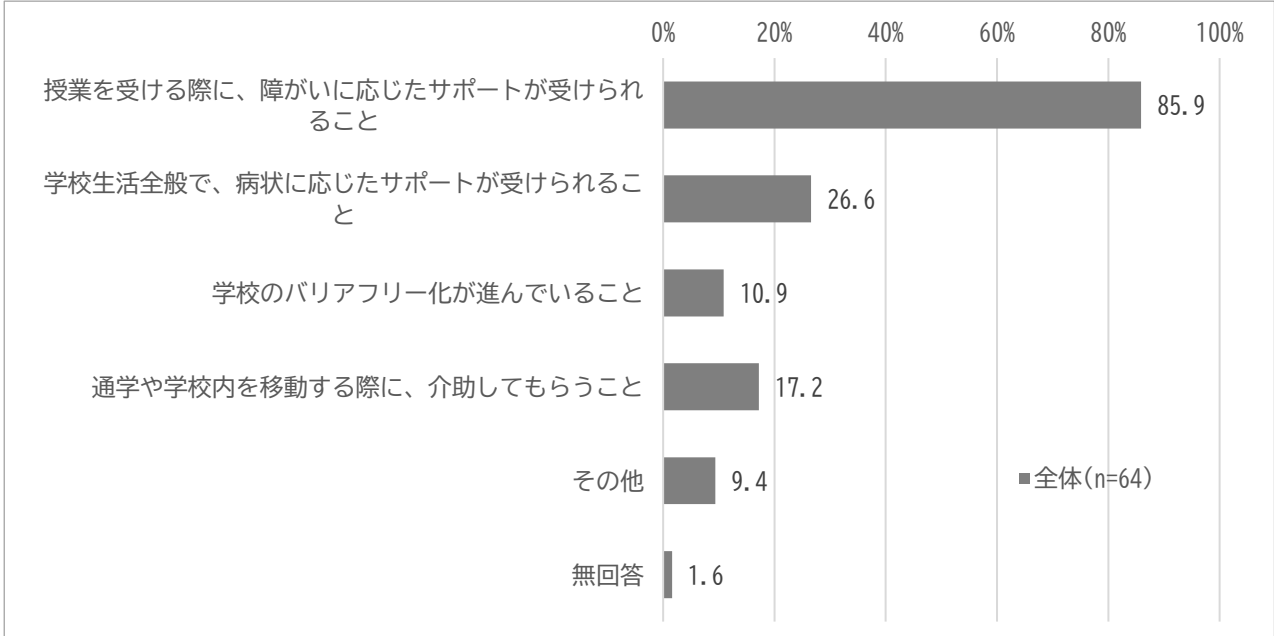
問 36 【問 34 で「就学している」に○を付けた方のみにお伺いします】将来、どこまで進学したいと考えていますか。(○は1つ)

将来、どこまで進学したいと考えているかは、「大学・短期大学まで」が40.6%で最も多く、次いで「高等学校まで」及び「分からない」が25.0%となっています。



問 37 【問 34 で「就学している」に○を付けた方のみにお伺いします】 就学する上で必要だと思うことは何ですか。(○はいくつでも)

就学する上で必要だと思うことは、「授業を受ける際に、障がいに応じたサポートが受けられること」が 85.9%で最も多く、次いで「学校生活全般で、病状に応じたサポートが受けられること」が 26.6%となっています。



(単位：人、%)

区分	人数	無回答	その他	通学や学校内を移動する際に、介助してもらうこと	学校のバリアフリー化が進んでいること	学校生活全般で、病状に応じたサポートが受けられること	授業を受ける際に、障がいに応じたサポートが受けられること
全体	64	1.6	9.4	17.2	10.9	26.6	85.9
身体障害者手帳	7	0.0	14.3	71.4	42.9	28.6	85.7
愛の手帳	18	0.0	16.7	38.9	5.6	27.8	66.7
児童発達支援・デイのみ	18	5.6	0.0	0.0	0.0	16.7	94.4
発達障がい	26	0.0	3.8	3.8	7.7	23.1	96.2
その他	4	0.0	50.0	0.0	25.0	50.0	75.0

問 38 具体的にはどのようなサポートを必要としていますか。

#### 学習支援・指導：16件

- ・日本の学校は平均の子のための授業で、上位と下位の子達に内容が合わず、授業と関係ない作業を許さず、椅子に座ってさえすればよしとされるので、時間の搾取だと思う。ADHD でなくても、耳からの理解が苦手、短期記憶が弱い子は多いはずなのに、先生がひたすら黒板の前で話し、板書する授業が多く、何も身に付かない実態があると思う。先生達も過重労働で子ども達に手が回りません。障がい児のためだけでなく、全体の子も達のために、少人数制にするか、副担任の配置、タブレット学習（チャレンジタッチなど）の許可など、学校時間で勉強が身に付くシステムにして欲しいです。放課後デイサービスや通級で勉強を教えるてはいけないというのも、廃止して欲しいです。
- ・授業の内容を分かりやすく個々に説明して欲しい。その子その子にあったサポート。学校側に何かお願いしてもできませんと言われたり、人数が多く対応できないと言われたり、何のための支援級か分からない状態です。担任の先生方が、まず、その子の障がいを理解していただきたい。

#### 日常生活上の介助や支援、合理的配慮：12件

- ・（障がいの）特性を理解した上で、本人が困ったことなど具体的に対策を講じ、平等に授業を受けられるように配慮してもらえること（補助具の導入など）。担任、クラスといった小集団だけでなく、学校全体でサポートできるよう情報共有
- ・友人づくりなど社会に溶け込めるよう、支援、環境づくり、進学、学習への支援
- ・集中力が続かないことがあるので、本人が気持ちを切替える猶予が与えられること。個人のペースが確保でき、一斉の声掛けだけで物事が進まないこと（耳からの情報だけで判断させない）。

#### サポート体制等の充実：10件

- ・外見からは分かりづらい発達障がいの個々の特性について、教師1人では対応できないので、サポートする人材が必要だと思う。
- ・子どもが何に困っているのか、密に他の先生達とも話し合っって同じサポートができるようにして欲しい。
- ・特性を理解したサポーターがいること、又は少なからず研修や勉強をしてきている人員。合理的配慮ができる環境設備（個々に合った机、イス、教材、パーテーションなど）。学校、療育、病院、放課後デイサービス等をつなぎ、支援相談のできるコーディネーター
- ・サポートをお願いできる介助員の先生が足りないように思います。

#### 周囲の理解促進：3件

- ・学校の先生達の発達障がいに関する知識が不足している（バラつきがかなりある）。特に年配の先生になる程、理解がないように見受けられる。叱られることで二次障がいが起こりうることや、その子に見合った宿題の量など勉強して欲しい。
- ・（本人の）障がいや苦手なことを先生方とクラスに知ってもらうこと。また、困ったことがあったときに、気軽に相談や話すことができる環境があると良いなと思います。



### 居場所・休憩場所等の確保：3件

- ・瞬間的な判断や応答が難しい子どもにとって、通常の集団に対する指導や授業だけでは、付いていくことができない。（勉強の内容ではなく、トラブル対応など）困っているときや、悩んだときに、落ち着いて話のできる場所や人が欲しいと思う。現状は（保健室でも）全くそのような環境がないので、学校現場には求められないのかと残念に思っています。
- ・苦手な状況を回避するための場所や、そのことに対する大人の理解

### 移動における支援：2件

- ・スクールバスの充実。高校になったら通学できるか不安。今はスクールバスがあるが、高校はないため。
- ・特別支援学級への通学のサポート（学区外から通う場合、親が付き添う上、公共交通機関の利用が難しい）

### その他：6件

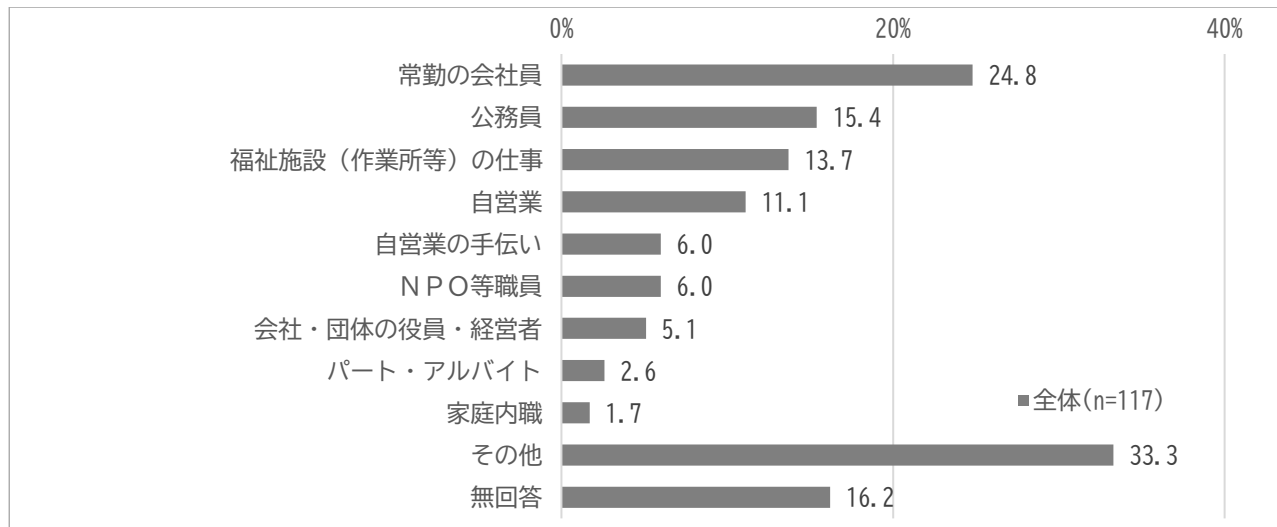
- ・柔軟な進学先、支援0か100ではなく、個に応じた支援。その事例情報の提供
- ・個別に指導を受ける機会を増して欲しい。人数が多すぎると集中できず、人に対して気がつかいすぎて疲れてしまうため、そのような心理面を理解して学べる環境があると良い。吃者の理解・啓発・病状・特に心理面で不安が強い時に集団に無理に合わせるために負担をかけすぎない指導、ただしできる可能性があることに対しては本人の意欲・自己肯定感の低下を避けるためにも、トライするチャンスも与えてくれる特別支援・学びであれば良い。

問 39 【問 34 で「就労している」に○を付けた方のみにお伺いします】就学する上で必要だと思うことは何ですか。（○はいくつでも）

該当者なし

問 40 将来、どのような仕事をしたいですか。(〇はいくつでも)

将来、どのような仕事をしたいかは、「常勤の会社員」が24.8%で最も多く、次いで「公務員」が15.4%となっています。

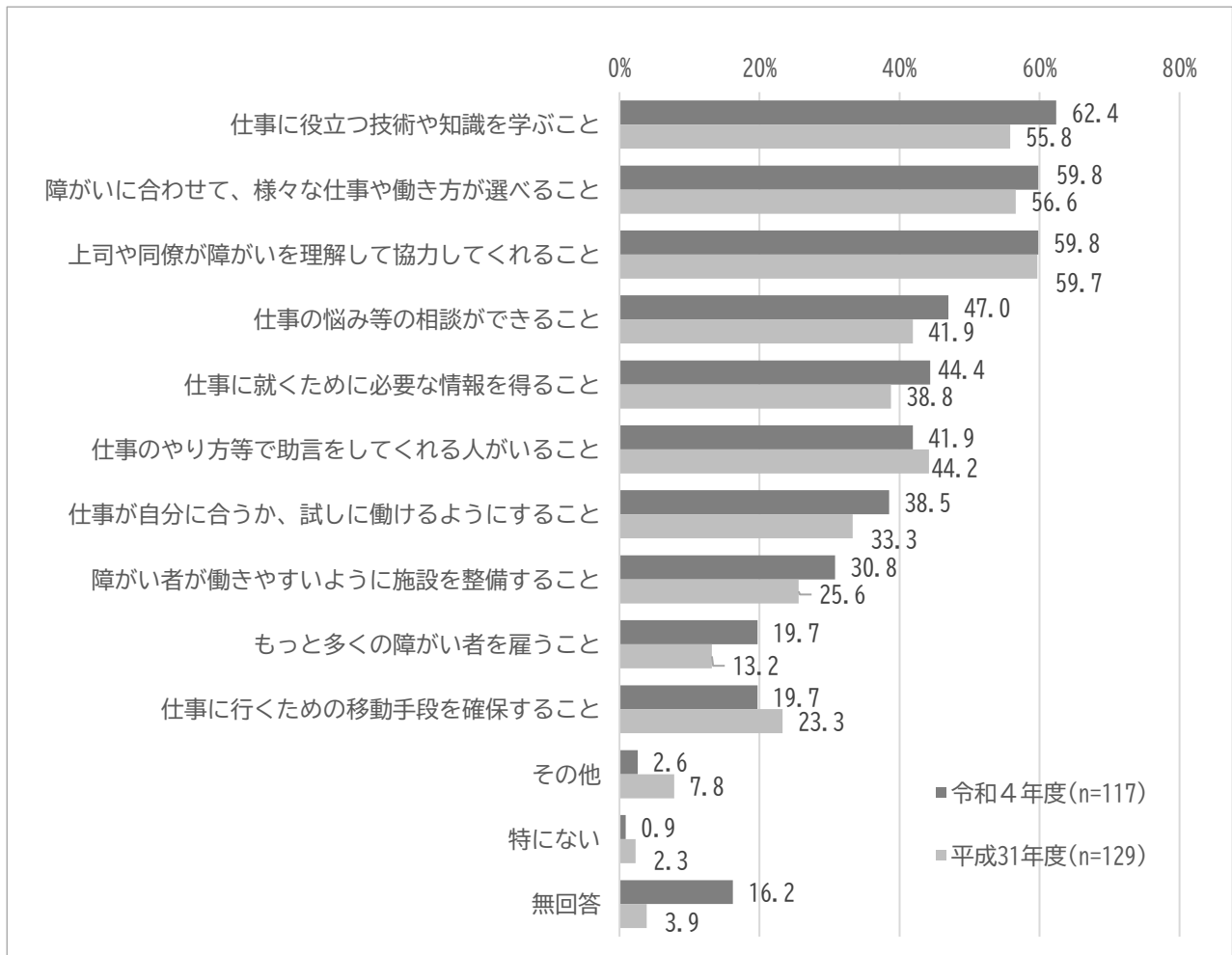


(単位：人、%)

区分	人数	無回答	その他	家庭内職	パート・アルバイト	会社・団体の役員・経営者	NPO等職員	自営業の手伝い	自営業	福祉施設(作業所等)の仕事	公務員	常勤の会社員
全体	117	16.2	33.3	1.7	2.6	5.1	6.0	6.0	11.1	13.7	15.4	24.8
身体障害者手帳	14	28.6	14.3	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	21.4	21.4	14.3	28.6
愛の手帳	25	8.0	44.0	4.0	4.0	0.0	0.0	8.0	4.0	32.0	0.0	16.0
児童発達支援・デイのみ	47	17.0	27.7	0.0	0.0	6.4	8.5	4.3	6.4	4.3	25.5	29.8
発達障がい	31	12.9	35.5	3.2	3.2	6.5	6.5	9.7	19.4	16.1	12.9	29.0
その他	12	16.7	58.3	0.0	8.3	0.0	8.3	8.3	8.3	16.7	0.0	8.3

問 41 仕事をする（続ける）ために、必要だと思うことは何ですか。（〇はいくつでも）

仕事をする（続ける）ために、必要だと思うことは、「仕事に役立つ技術や知識を学ぶこと」が62.4%で最も多く、次いで「障がいに合わせて、様々な仕事やはたらき方を選べること」が59.8%となっています。



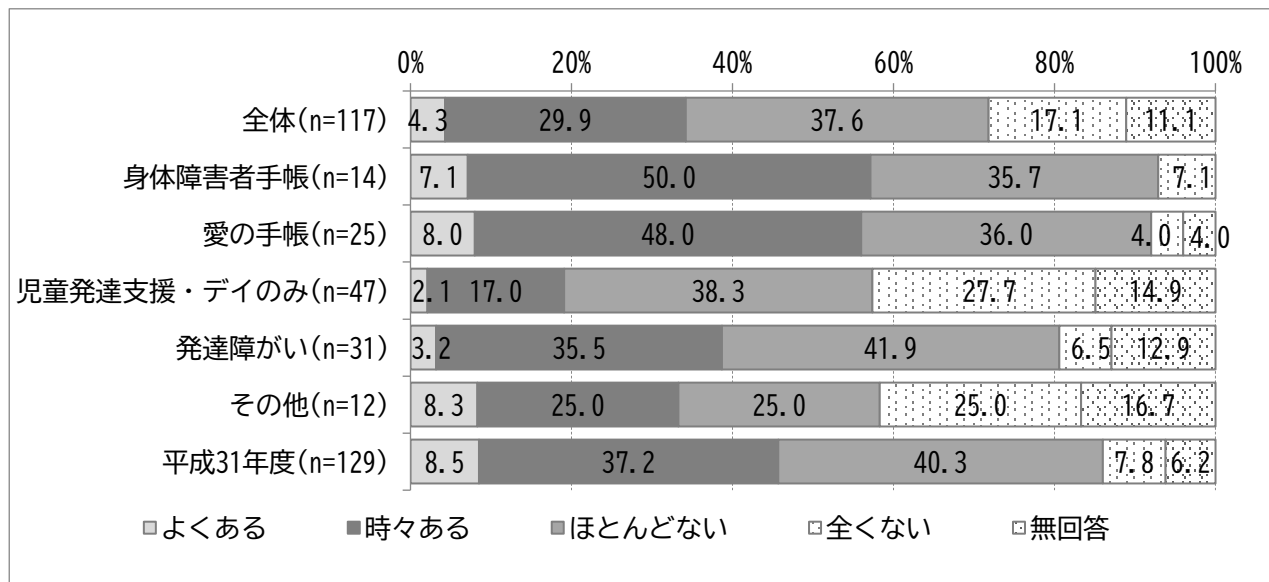
(単位：人、%)

区分	人数	無回答	特にない	その他	仕事に行くための移動手段を確保すること	もっと多くの障がい者を雇うこと	障がい者が働きやすいように施設を整備すること	試しに働けるようにすること	仕事に自分に合うか、試しに働けるようにすること	仕事のやり方等で助言をしてくれる人がいること	仕事に就くために必要な情報を得ること	仕事の悩み等の相談ができること	上司や同僚が障がいを理解して協力してくれること	障がいに合わせて、様々な仕事やはたらき方を選べること	仕事に役立つ技術や知識を学ぶこと
全体	117	16.2	0.9	2.6	19.7	19.7	30.8	38.5	41.9	44.4	47.0	59.8	59.8	62.4	
身体障害者手帳	14	21.4	0.0	0.0	42.9	28.6	50.0	35.7	42.9	42.9	42.9	57.1	78.6	64.3	
愛の手帳	25	4.0	4.0	0.0	36.0	36.0	52.0	52.0	52.0	52.0	56.0	68.0	88.0	72.0	
児童発達支援・デイのみ	47	14.9	0.0	2.1	12.8	10.6	21.3	23.4	40.4	40.4	38.3	55.3	51.1	66.0	
発達障がい	31	16.1	0.0	0.0	25.8	25.8	41.9	64.5	58.1	54.8	71.0	77.4	64.5	61.3	
その他	12	33.3	0.0	16.7	0.0	25.0	16.7	25.0	8.3	25.0	25.0	33.3	33.3	33.3	
平成31年度	129	3.9	2.3	7.8	23.3	13.2	25.6	33.3	44.2	38.8	41.9	59.7	56.6	55.8	

E 障がい者差別について

問42 あなたは障がいがあることで、差別を感じたり嫌な思いをしたりしたことがありますか。(○は1つ)

障がいがあることで、差別を感じたり嫌な思いをしたりしたことがあるかどうかは、「ほとんどない」が37.6%で最も多く、次いで「時々ある」が29.9%となっています。



問 43 差別を感じたり嫌な思いをしたりしたのは、どのようなときですか。

#### 市民や家庭における理解不足・不適切な接し方：14件

- ・理解のない方からの冷たい対応や、きちんと話を聞いてもらえていないとき。
- ・まず顔を見られる。何をすることも選択肢がない（学校内でも）。今、この用紙でアンケートに答えていること！アンケートを書かないと分かってもらえない！
- ・物事の手順や苦手な感触、自分の中で受け入れられないことを理解されず強要される。
- ・街中でパニックになり騒いでしまったとき、心ない言葉をかけられたことがある。

#### 教育・保育・労働における理解不足・不適切な接し方：12件

- ・隣のクラスの子が様子を見にくる、弱虫と言われていた。
- ・学校で友達に理解してもらえず、一方的に自分が悪いと言われてしまったとき。
- ・漢字の書きとりテストで、答えを見ながら写して良いと担任の先生に許可をもらっていたが、周りの生徒から理解してもらえず嫌な気持ちになりました。
- ・他の生徒から支援学級にいることを理由に、悪口を言われることがある。

#### サービス・利用・手続等における理解不足・不適切な接し方：5件

- ・保育所に入れず、保護者以外の日常的な公助者の確保に困ったとき
- ・保育園では療育施設に通うことを勧められ、居場所がどこか分からなくなる。支援センターの週5預かりは通えず、板ばさみになっている感じがしている。健常児と同じところにいて良いのか分からなくなり、ときどき辛い。
- ・ある民間の科学教室の体験クラスに参加したときのことで。前もって（障がいがあっても参加可能か）問合わせたにも関わらず、当日、2人のアシスタント講師が息子の行動が他と違うことに対し、不快な表情や視線をあからさまにしました。また、頭を左右に1人息子が質問しようとする、声をあげたりもしました。大変つらい時間を過ごしました。

#### 医療・福祉施設での理解不足・不適切な接し方：2件

- ・じろじろ見られる。病院で知的障がい、発達障がいを理解してもらえず受診を断られたり厳しく対応されたりする。病院探しに苦労し、他の自治体まで通わなくてはならない。

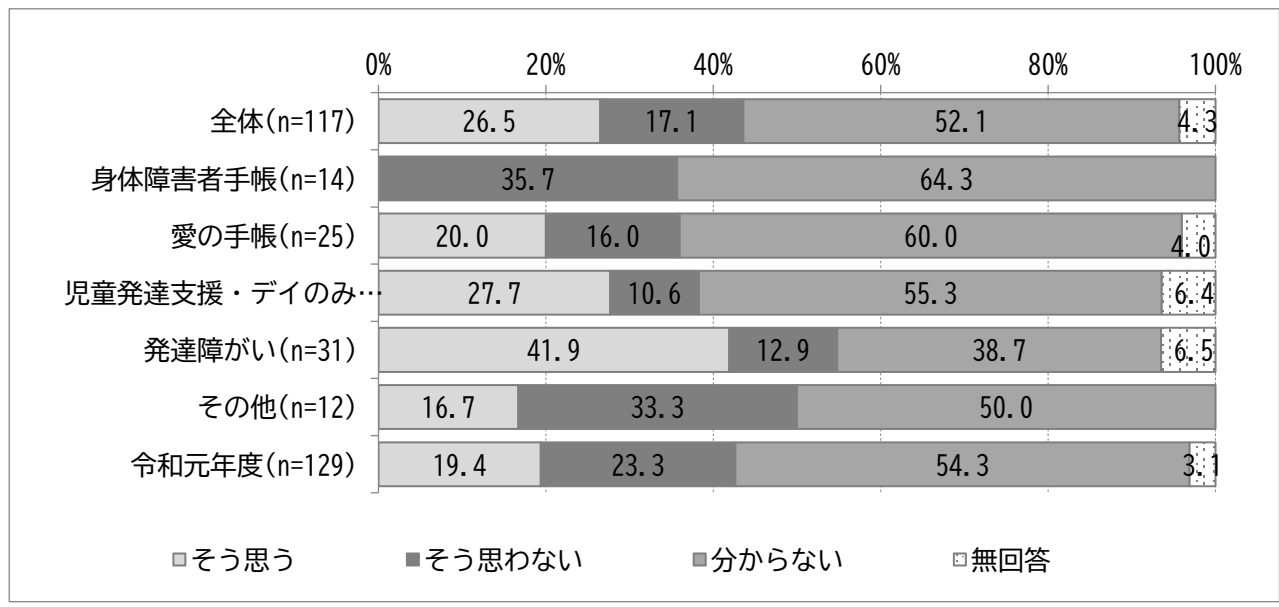
#### 物理的な壁：1件

- ・幼児のストマ処理は大変です。寝かせて処理することになるにも関わらず、横にさせるスペース、場所がほとんどありません。そのため外出が減りました。オストメイトトイレは自分で処理できる方のものにしか思えません。オムツ交換ベッドがあっても、赤ちゃん用の小さいもの、体重も制限あります。駅によっては大きなベッドがありますが、もっと色々な方がいることを知って欲しいし、限られた方だけが使えるトイレをもっと増やして欲しい。

**F 市の障がい福祉施策について**

問 44 あなたは、市が障がいのある方にとって住みやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

市が障がいのある方にとって住みやすいまちだと思うかどうかは、「分からない」が52.1%で最も多く、次いで「そう思う」が26.5%となっています。



問 45 (「問 44 あなたは、市が障がいのある方にとって住みやすいまちだと思いますか。」)  
の回答の理由をご自由にお書きください。

#### <そう思う>

##### サービス・施設等の充実：13件

- ・学校は学区外の特別支援学級なので、ハンディキャブを利用できて安心です。“ひだまりセンター”があるから安心です。
- ・色々と施設も充実していて、子どもも“ひだまりセンター”が自分の居場所のように居心地よく、周りも親切だから。
- ・“ひだまりセンター”や“ぱる”を利用するなど、支援をしていただけるのでありがたいです。

##### 相談体制の充実：7件

- ・良い意味で市内が狭いので相談しに行きやすい。電話でも(相談)可能なことが仕事をしながら子育てしている身にとって嬉しい。
- ・困りごとがあった、市役所の福祉課に相談したところ、子どものことだけでなく家族全体の困りごとを聞いてくれて、できることを対応してもらった。長期にわたり気にかけてもらい、大変心強かったです。
- ・保育園の先生、小学校の先生、放課後デイサービスの先生や療育ママなど、分からないことや知りたいことを教えて頂けてとても感謝している。

##### 障がいへの理解：5件

- ・学校の先生の理解、放課後デイサービスの存在が大きいです。
- ・学校・友人の理解がある。
- ・選挙の対応の報道発信など、周囲の理解のための発信を行っているため、将来長い目で見ると、地域として障がいへの理解が、他の市区町村よりも深くなっていると思うため。

#### <そう思わない>

##### サービス・制度等への不満：8件

- ・必要なサービスなど、人数オーバーにより受けることができない。受け入れ先(施設)が少ない。
- ・資源が充実していない。短期入所などの施設がない。ヘルパーさんの数が少ない。
- ・児童発達支援に関してはサービス提供事業所が少ない。子どもの多くが調布市や川崎市まで通っており、親の負担が大きい。

##### 放課後デイサービス不足等への不満：6件

- ・市内に放課後デイサービスがないに等しく利用できない。精神障がいの助成がない。通院が大変。費用かかる。
- ・狛江市に利用できる放課後デイサービスがない、川崎市まで行っている。“ひだまりセンター”ができたのは良かったが、定員オーバーと言われ、利用待ちの方がたくさんいる。

##### 教育・保育における理解不足・不適切な接し方：2件

- ・学校で、発達障がいの子の理解について、他の子どもや保護者に対して説明できるようなスキルをもって欲しい。かんしゃくを起こし、手を出したときに、犯罪者になるといわれました。教育者としてありえません。普通＝よい、その考え方が傷つく子もいます。
- ・保育園での加配がある・ない等保育園それぞれで対応が違う。療育手帳を持ってない場合（限りなくそのレベルに近い）、保育園申込時の点数の加点もない。

#### <分からない>

##### サービス・制度の運用や充実：14件

- ・他所での生活をしていないので分からないが、少なくとも現状、個人的に住みやすいかと言われると、そうではないと思う。市内に利用したいサービスがあっても、人数が一杯で入れなかったり、結局市外でサービスを探したりしなければならない。市外では、当然市内優先になるので入りにくいし、希望する内容とは合わない場所しかなく、あきらめることも。
- ・現在必要な支援を受けられているが、グループホームなど、卒業後の生活の見通しがまだ持てず、不安になる。
- ・サポートの窓口があっても人数の問題などでケアを受けられないことがある。

##### 障がい福祉サービス等の利用が少ない：6件

- ・子どもがまだ小学生なので、その成長した先の福祉がどうなっているのか、判断がつかないため。
- ・通級と放課後デイサービスを利用している位なので、福祉施策全体についてはよく分からない。放課後デイサービスは増えるといいなとは感じています。
- ・まだ就学前で幼稚園内での生活が中心で、体感することが少ないため、判断しにくい。

##### 誰もが利用しやすいまちづくり：5件

- ・ガードレールのある通学路がもっとできたら良いと思います。難しいとは思いますが、注意欠如なので、車と人が混在の道路が多く、塾に行かせるのも自転車でも心配です。世田谷通りの南から直接北へ行くバスがない。療育施設は北に多く、総合体育館などにも、送迎が必要。高学年が自転車で安全に通えるよう整えて欲しいです。一の橋、二の橋の交差点が危険です。水道道路を早く拡張して欲しいです。子どもが自転車で安全に移動できる道にして欲しいです。
- ・道が狭いなど障がいがある方には大変かなと思う。実際に水道道路で車椅子の方が歩道を通りにくかったようで転倒されているのを手助けしたことがある。
- ・車椅子で移動し、重度の身心障がい児なので、アップダウンのない地形、人が多すぎないのんびりとした狛江は暮らしやすいと思います。ただ、福祉施設等の資源があまりなく、卒業後に関しては選択肢がないので、将来への希望や期待感がなかなか抱けないという思いがあります。障がいのある方には、選択する自由やチャンスが少なく、大人になればなる程楽しむことが難しくなるように感じています。

##### 他都市の状況が不明のため比較が難しい：4件

- ・他の市の内容も分からないですし、実際受ける立場になれば分かると思います。
- ・他の地域と比べたことがないので。



### 情報共有の充実：3件

- ・これまで、保育園、児童発達支援、“ひだまりセンター”、放課後デイサービス等を利用してきましたが、情報を集める等、ネットを利用した自力での作業が多く、とても大変でした。そうした情報をまとめた形でもらえるようなことがないと、情報弱者だと利用できないだろうな…と感じています。また、今現在もこれから先の進学、就労にあたっての情報をまだ何も持っていないので非常に不安で、この先本人にとって住みやすいかどうか分からない状況です。

### その他：4件

- ・“ひだまりセンター”に通っているのも、子ども達は住みやすいまちだと思いますが、大人の障がい者の方々がどのように感じているかは分からない。
- ・子どもの発達支援に関しては相談できる場所が整っていると思います。小さい頃から、“ぱる”や“ゆめぽっと”を利用させていただきましたが、親身になって接してくださる先生方にとっても助けられました。

狛江市地域福祉計画等の策定等に係る  
市民意識調査結果報告書

発行日 令和5年10月

発行 狛江市 福祉保健部 福祉政策課  
〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5  
TEL 03(3430) 1111 (代表)